

令和7年度  
台東区多文化共生に関する意識調査  
報告書

令和8年2月

台東区



# 目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査実施の概要	3
3. 言語別調査票発送の内訳（外国人意識調査のみ）	3
4. 調査項目	4
5. 調査結果の見方	4
6. 台東区の人口等の推移	5
(1) 日本人の年齢3区分別人口の推移	5
(2) 外国人の年齢3区分別人口の推移	5
(3) 外国人の国籍・地域別人口の推移	6
(4) 外国人の在留資格別人口の推移	7
(5) 外国人の地区別人口の推移	8
第2章 調査結果のポイント	9
1. 外国人意識調査	11
2. 日本人意識調査	16
3. 外国人・日本人 共通設問の比較	18
第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細	21
1. 回答者の属性	23
(1) 性別	23
(2) 年齢	24
(3) 国籍・出身地域	25
(4) 在留資格	27
(5) 居住形態	30
(6) 職業	31
(7) 結婚の有無	32
(8) 同居者	33
(9) 子供の年齢	34
(10) 日本での居住年数	35
(11) 台東区での居住年数	37
(12) 居住地域	39
(13) 台東区の魅力	40
(14) 台東区の暮らしやすさ	42
(15) 台東区への定住意向	46
2. ことばについて	50
(1) わかる言語・最も得意な言語	50
(2) 日本語の習得度	61

(3) 日本語の学び方	79
(4) 日本語の学習意欲	82
(5) 日本語教室がより利用しやすくなるために重要なこと	87
3. 台東区の実践について	93
(1) 多文化共生に関するサービスや取組の認知度	93
(2) 台東区の施策に対する満足度と必要度	96
(3) 多言語による一元的な外国人相談窓口開設後に相談したいこと	100
4. 日頃の暮らしについて	104
(1) 日本での生活で、困っていることや心配なこと	104
(2) 生活で困ったときの相談先	115
(3) 生活していく上で必要な情報	120
(4) 行政サービスや区からのお知らせ等の入手手段及び今後希望する手段	125
(5) 生活していく上で必要な情報を得るときに最も利用するSNS	132
(6) 地震などの災害時の備え	136
(7) 災害に関する活動への参加意向	139
(8) 日本での妊娠や出産、育児で困ったこと	147
(9) 幼稚園・保育園、学校で困ったこと	150
(10) 現在、特に困っていること（自由記述）	154
5. 地域の日本人とのかかわりについて	159
(1) 地域の日本人に対する親しみ度合い	159
(2) 地域の中での外国人と日本人のかかわり	165
(3) 日本人との交流意向	172
(4) 地域に暮らす日本人と交流する機会	179
(5) 地域内で日本人とかわる場面	187
(6) 地域内で日本人と交流する機会がない理由	192
(7) 地域の日本人とどのようなつき合いをしていきたいか	194
(8) 住民相互の理解のために日本人に求めること	199
(9) 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、 自身が行おうと思うこと	204
(10) 台東区が力を入れるべきだと思うこと	209
6. 地域での活動について	214
(1) 地域活動の参加状況	214
(2) 今後参加したい地域の活動	235
(3) 地域活動への今後の参加意向	239
(4) 自身が地域で活動するときの困りごと	244
(5) 台東区における多文化共生の推進についての意見（自由記述）	249
<b>第4章 日本人意識調査 調査結果の詳細</b>	<b>255</b>
1. 回答者の属性	257
(1) 性別	257

(2) 年齢	258
(3) 職業	259
(4) 居住形態	260
(5) 台東区での居住年数	261
(6) 居住地域	262
(7) 台東区の魅力	263
(8) 同居者	265
(9) 子供の年齢	266
(10) 外国人や外国にルーツを持つ人の有無	267
2. 地域で暮らす外国人とのかかわりについて	268
(1) 外国人が多いと感じるか	268
(2) 地域の外国人に対する親しみ度合い	271
(3) 地域の中での日本人と外国人のかかわり	274
(4) 外国人との交流意向	279
(5) 地域に暮らす外国人と交流する機会	283
(6) 地域内で外国人とかかわる場面	290
(7) 地域に暮らす外国人と交流する機会がない理由	292
(8) 地域に暮らす外国人とどのような付き合いをしていきたいか	295
(9) 今後、地域で外国人が活躍することは必要か	298
(10) 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなること	300
(11) 地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じる事	305
(12) 地域に暮らす外国人との関係で困った経験	310
(13) 地域に暮らす外国人が不安を感じていると思うこと	317
(14) 地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできること	322
(15) 住民相互の理解のために、外国人に求めること	328
3. 多文化共生のまちづくりについて	334
(1) 「多文化共生社会」という言葉の認知度	334
(2) 「やさしい日本語」の認知度	338
(3) 多文化共生に関するサービスや取組の認知度	341
(4) 台東区が力を入れるべきだと思うこと	346
(5) 今後参加したい地域の活動	350
(6) 台東区における多文化共生の推進についての意見（自由記述）	352
<b>第5章 外国人・日本人 共通設問の比較</b>	<b>357</b>
1. 回答者の属性	359
(1) 性別（外国人：問1、日本人：問1）	359
(2) 年齢（外国人：問2、日本人：問2）	359
(3) 居住形態（外国人：問5、日本人：問4）	360
(4) 職業（外国人：問6、日本人：問3）	360
(5) 同居者（外国人：問8、日本人：問8）	361

(6) 子供の年齢（外国人：問8-2、日本人：問8-2）	361
(7) 台東区での居住年数（外国人：問10、日本人：問5）	362
(8) 居住地域（外国人：問11、日本人：問6）	362
(9) 台東区の魅力（外国人：問12、日本人：問7）	363
2. 台東区の取組について	364
(1) 多文化共生に関するサービスや取組の認知度（外国人：問20、日本人：問25）	364
3. 日頃の暮らしについて	365
(1) 日本での生活で、外国人が困っていることや心配なこと（外国人：問23、日本人：問20）	365
4. 地域に暮らす外国人と日本人とのかかわりについて	366
(1) 地域の外国人と日本人の相互の親しみ度合（外国人：問33、日本人：問11）	366
(2) 外国人と日本人の地域における相互コミュニケーション（外国人：問34、日本人：問12）	366
(3) 地域に暮らす外国人と日本人の交流意向（外国人：問35、日本人：問13）	367
(4) 地域に暮らす外国人と日本人が交流する機会（外国人：問36、日本人：問14）	367
(5) 地域内で外国人と日本人がかかわる場面（外国人：問36-2、日本人：問14-2）	368
(6) 地域内で外国人と日本人が交流する機会がない理由（外国人：問36-3、日本人：問14-3）	369
(7) 地域の外国人と日本人がどのようなつき合いをしていきたいか（外国人：問37、日本人：問15）	370
(8) 台東区が力を入れるべきだと思うこと（外国人：問40、日本人：問26）	371
5. 地域での活動について	372
(1) 今後参加したい地域の活動（外国人：問42、日本人：問27）	372
<b>第6章 資料編</b>	<b>373</b>
1. 台東区のデータ	375
(1) 台東区の外国人人口・割合と日本の総人口に占める外国人割合の推移	375
(2) 国籍・地域別人口の推移	375
(3) 国籍・地域別人口一覧	376
(4) 在留資格別人口の推移	377
(5) 在留資格一覧表	378
(6) 地区別世帯人口総数	380
(7) 年齢別人口	381
2. アンケート調査票	382
(1) 外国人意識調査 アンケート調査票	382
(2) 日本人意識調査 アンケート調査票	392

# 第1章 調査の概要



## 1. 調査実施の目的

令和8年1月1日現在、台東区には人口の約9.8%にあたる21,346人の外国人が居住している。台東区では、令和3（2021）年度に「台東区多文化共生推進プラン」を計画期間5年として策定し、これまで様々な多文化共生施策を展開してきたところだが、その間、日本語教育機関認定法の成立や入管法等の改正等、在住外国人を取り巻く状況が変化してきた。こうした状況を踏まえ、さらなる多文化共生の地域づくりを推進するために、今後のプラン策定の基礎資料を得ることを目的とし実施した。

## 2. 調査実施の概要

下記の方法により「アンケート調査」を実施した。

	外国人意識調査	日本人意識調査
調査地域	台東区全域	
調査期間	令和7年9月10日～10月1日	
調査対象	18歳以上の区内在住の外国人4,000人	18歳以上の区内在住の日本人2,000人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出	
調査方法	郵送配布／郵送回収またはWEB回答	
言語	やさしい日本語版と対象者の国籍に合わせた言語別調査票（翻訳版の調査票）を同封	日本語
回答数	975件（内、WEB回答数439件）	914件（内、WEB回答数244件）
回答率	24.4%	45.7%

## 3. 言語別調査票発送の内訳（外国人意識調査のみ）

言語別	発送数（部）
やさしい日本語	4,000
回答者の国籍に合わせた言語	4,000
英語	817
中国語（簡体字）	2,031
中国語（繁体字）	145
韓国語	501
ベトナム語	181
タガログ語	164
ネパール語	161

## 4. 調査項目

外国人意識調査	日本人意識調査
1. 回答者の属性	1. 回答者の属性
2. ことばについて	2. 地域に暮らす外国人とのかかわりについて
3. 台東区の取組について	3. 多文化共生のまちづくりについて
4. 日頃の暮らしについて	
5. 地域の日本人とのかかわりについて	
6. 地域での活動について	

## 5. 調査結果の見方

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。従って、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、％を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文中で％の比較は「ポイント」と表記している。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を簡略化している場合がある。
- ・回答者数「n」が30未満の場合、比率が上下しやすいため、本文中では原則として触れていない。
- ・本文中で、各項目と全体平均の％の比較は、原則として差が5ポイント以上あるものについて触れており、「5ポイント以上高い」「5ポイント以上低い」と表記している。例外的に5ポイント未満のものについては「やや高い」「やや低い」と表記している。
- ・本文作成にあたり原則、次のような表現方法を用いた。

例	表現
19.0%～20.9%	約20%
21.0%～23.9%	20%を超える
24.0%～28.9%	20%台半ば

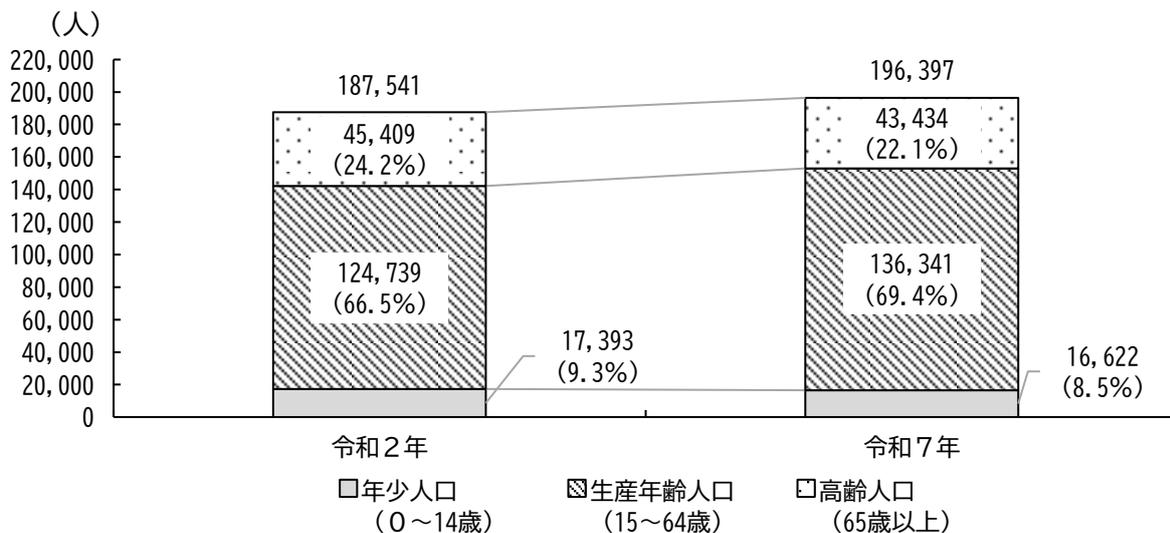
## 6. 台東区の人口等の推移

本調査は経年で実施していることから、調査結果の背景となる前回調査時と今回調査時の人口等の基礎統計データを下記のとおり記載する。

※令和2年、令和7年ともに4月1日現在のデータである。このため、令和7年のデータは調査対象者を抽出した6月時点のデータではないことに留意する必要がある。

### (1) 日本人の年齢3区分別人口の推移

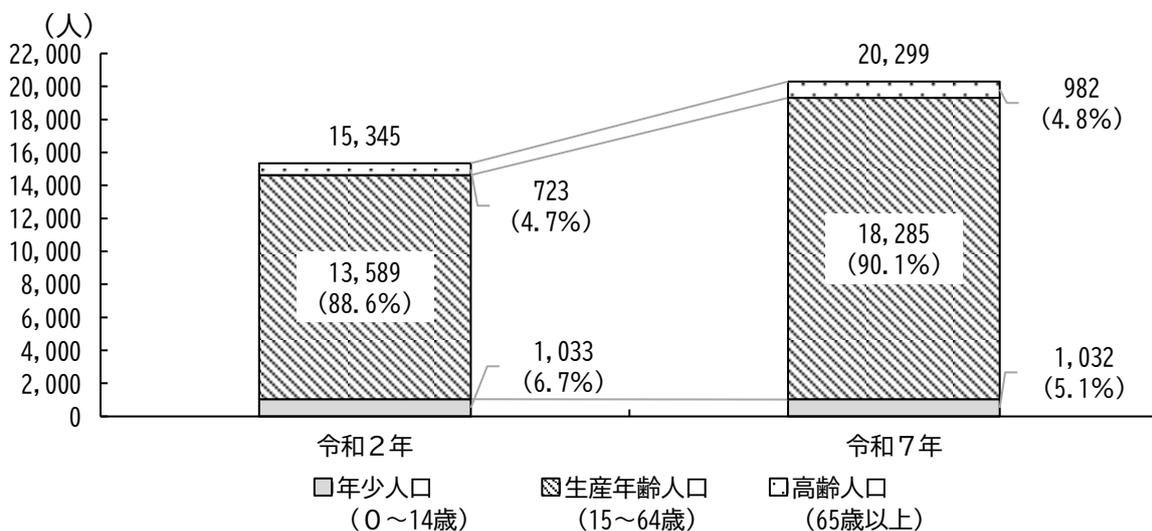
台東区に在住する日本人人口は、令和2年で187,541人だが、令和7年には196,397人となり、8,856人増加している。年齢別にみると、生産年齢人口は増加しており、年少人口および高齢人口は減少している。



資料：台東区住民基本台帳（各年4月1日現在）

### (2) 外国人の年齢3区分別人口の推移

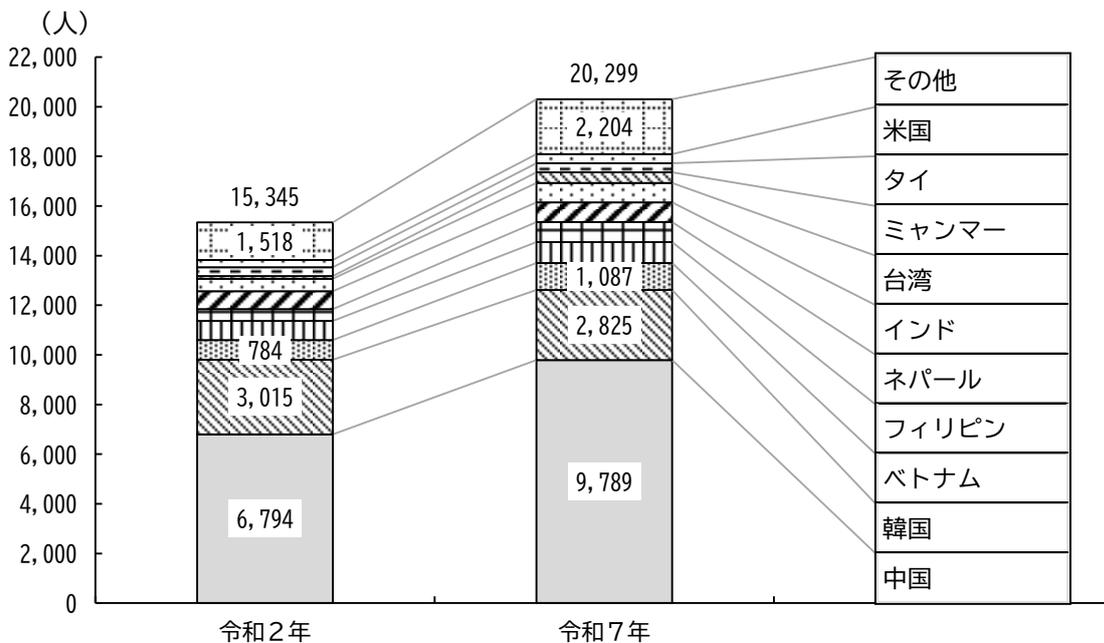
台東区に在住する外国人人口は、令和2年は15,345人だが、令和7年には20,299人となり、4,954人増加している。年齢別にみると、生産年齢人口が最も増加しており、4,696人増加している。



資料：台東区住民基本台帳（各年4月1日現在）

(3) 外国人の国籍・地域別人口の推移

令和2年及び令和7年どちらも中国が最も多く、外国人人口に占める割合は40%以上となっている。また令和2年と令和7年を比較すると、中国は2,995人増加しており、他の国籍・地域と比べて増加数が最も多い。このほか、ネパールは325人、ミャンマーは311人、ベトナムは303人、台湾は277人増加している。一方、韓国は190人減少している。



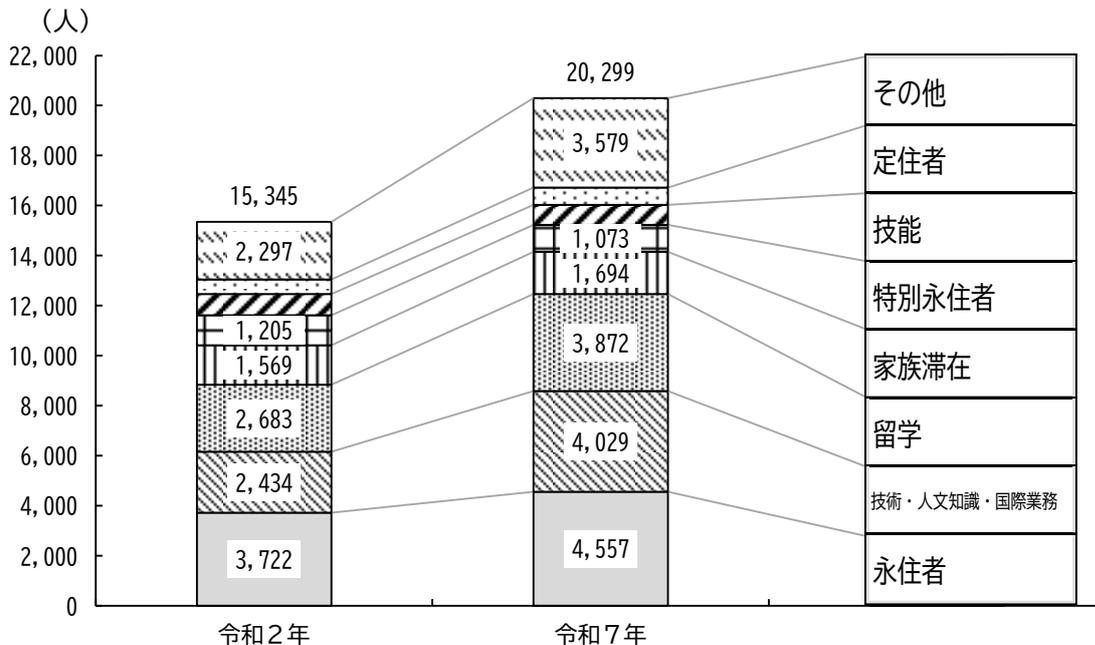
(上段: 人、下段: %)

	中国	韓国	ベトナム	フィリピン	ネパール	インド	台湾	ミャンマー	タイ	米国	その他
令和2年	6,794 44.3	3,015 19.6	784 5.1	773 5.0	479 3.1	717 4.7	501 3.3	118 0.8	355 2.3	291 1.9	1,518 9.9
令和7年	9,789 48.2	2,825 13.9	1,087 5.4	847 4.2	804 4.0	794 3.9	778 3.8	429 2.1	373 1.8	369 1.8	2,204 10.9

資料: 台東区住民基本台帳 (各年4月1日現在)

(4) 外国人の在留資格別人口の推移

令和2年及び令和7年どちらも永住者が最も多い。令和2年は2位が留学、3位が技術・人文知識・国際業務となっていたが、令和7年では順番が入れ替わっている。令和2年と令和7年を比較すると、技術・人文知識・国際業務及び留学はいずれも1,000人以上増加している。このほか、永住者は835人、家族滞在は125人、定住者は114人増加している。一方、特別永住者は132人、技能は54人減少している。



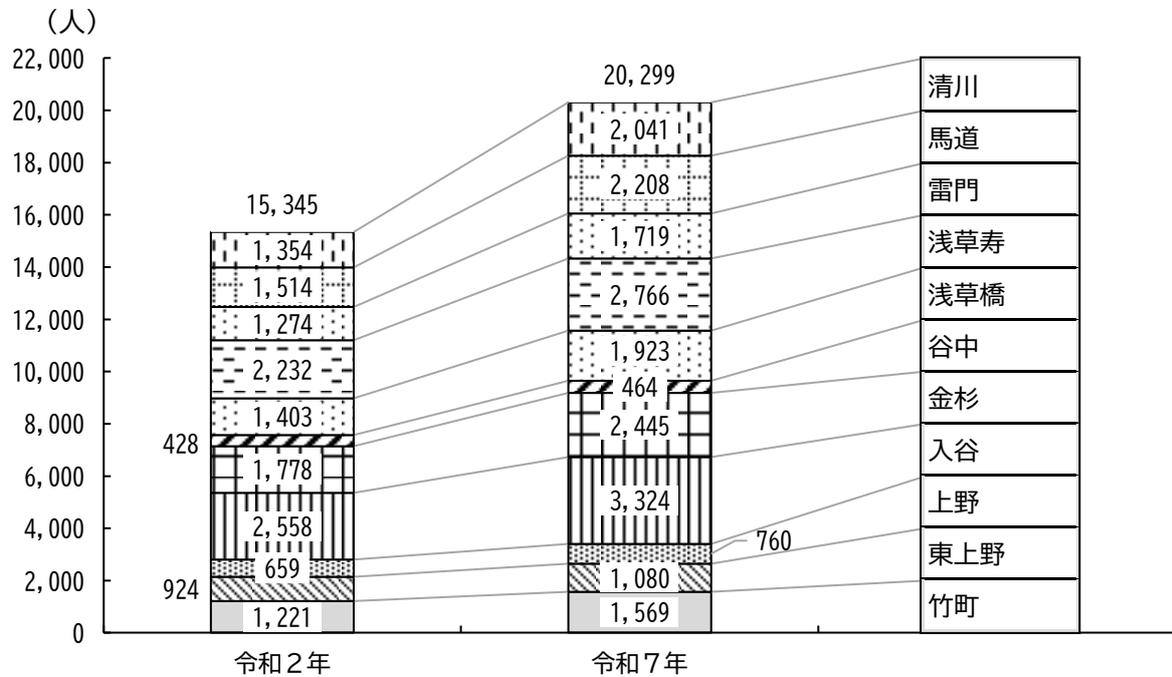
(上段：人、下段：%)

	永住者	技術・人文知識・国際業務	留学	家族滞在	特別永住者	技能	定住者	その他
令和2年	3,722 24.3	2,434 15.9	2,683 17.5	1,569 10.2	1,205 7.8	853 5.5	582 3.8	2,297 15.0
令和7年	4,557 22.5	4,029 19.8	3,872 19.1	1,694 8.4	1,073 5.3	799 3.9	696 3.4	3,579 17.6

資料：台東区住民基本台帳（各年4月1日現在）

(5) 外国人の地区別人口の推移

令和2年及び令和7年どちらも入谷が最も多く、次いで浅草寿の順となっている。令和2年と令和7年を比較すると、すべての地域で外国人人口が増加しており、増加数が多い順では入谷(766人増)、馬道(694人増)、清川(687人増)、金杉(667人増)などとなっている。



(上段：人、下段：%)

	竹町	東上野	上野	入谷	金杉	谷中	浅草橋	浅草寿	雷門	馬道	清川
令和2年	1,221	924	659	2,558	1,778	428	1,403	2,232	1,274	1,514	1,354
	8.0	6.0	4.3	16.7	11.6	2.8	9.1	14.5	8.3	9.9	8.8
令和7年	1,569	1,080	760	3,324	2,445	464	1,923	2,766	1,719	2,208	2,041
	7.7	5.3	3.7	16.4	12.0	2.3	9.5	13.6	8.5	10.9	10.1

資料：台東区住民基本台帳（各年4月1日現在）

## 第2章 調査結果のポイント



## 1. 外国人意識調査

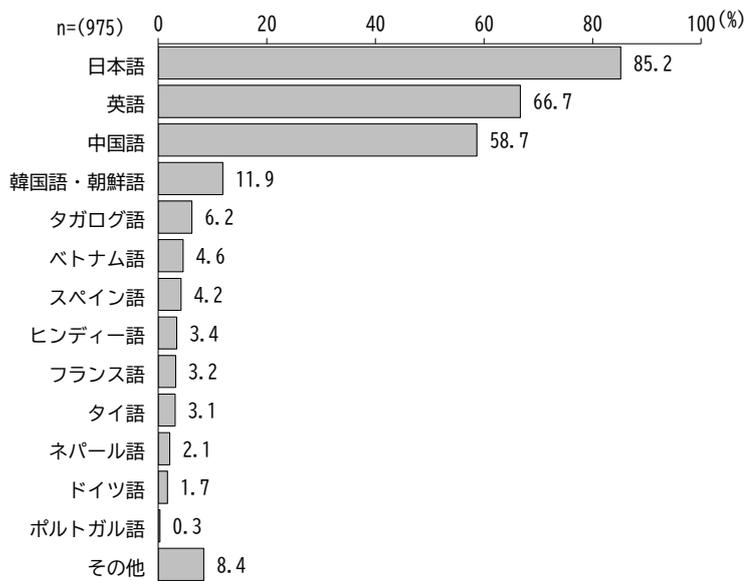
### ①外国人の日本語の理解度

Point

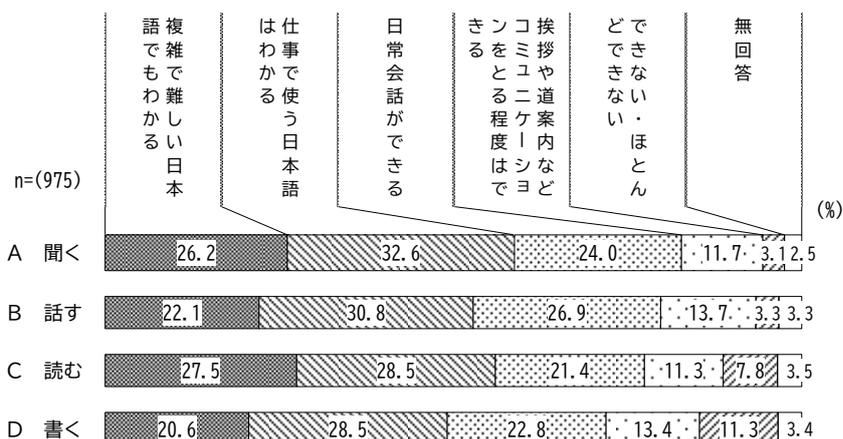
多くの外国人は日本語による日常的なコミュニケーションが可能であると考えられる。

- ・わかる言語は、「日本語」(85.2%)が最も高く、次いで、「英語」(66.7%)、「中国語」(58.7%)となっている。(問15)
- ・「A 聞く」「B 話す」「C 読む」が「日常会話ができる」レベル以上と回答した割合は80%前後、「D 書く」が「日常会話ができる」レベル以上は71.9%となっている。一方、「できない・ほとんどできない」は、「聞く」「話す」は3%台だが、「読む」は7.8%、「書く」は11.3%となっている。(問16)

図表 わかる言語 (複数回答)



図表 日本語の習得度 (単一回答)



② 区の施策

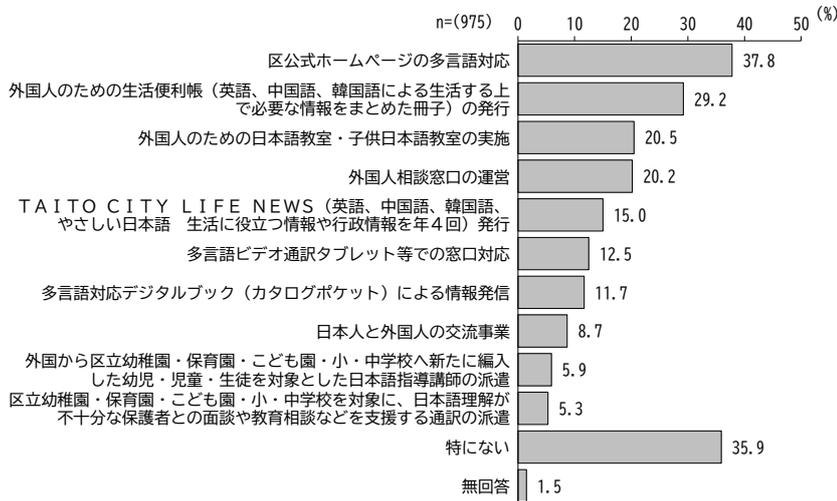
Point

外国人の中では、多文化共生に関するサービスや取組の認知度は低い。  
一方で、区の施策に対する満足度<sup>(※)</sup>はおおむね高い。

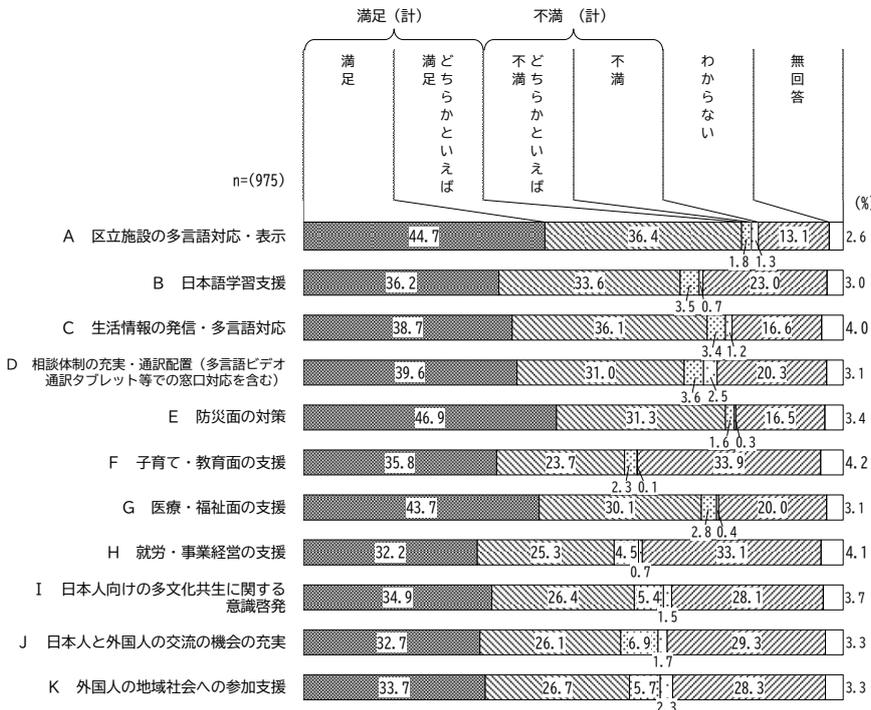
※「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値

- ・多文化共生に関するサービスや取組の認知度は、「区公式ホームページの多言語対応」(37.8%)、  
が最も高く、次いで、「外国人のための生活便利帳の発行」(29.2%)、「外国人のための日本語  
教室・子供日本語教室の実施」(20.5%)となっており、全般的に低い傾向にある。(問20)
- ・台東区の施策に対する満足度は「A 区立施設の多言語対応・表示」(81.8%)が最も高く、い  
ずれの施策も50%を超えている。また、全ての項目で、満足度は前回から10ポイント以上増加  
している。(問21)

図表 多文化共生に関するサービスや取組の認知度（複数回答）



図表 台東区の施策に対する満足度（単一回答）



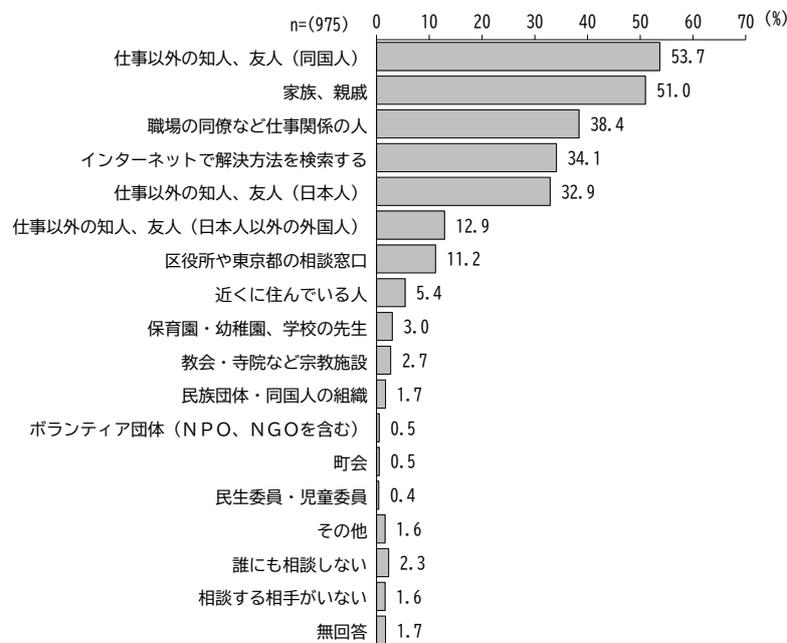
## ③ 外国人の相談窓口

## Point

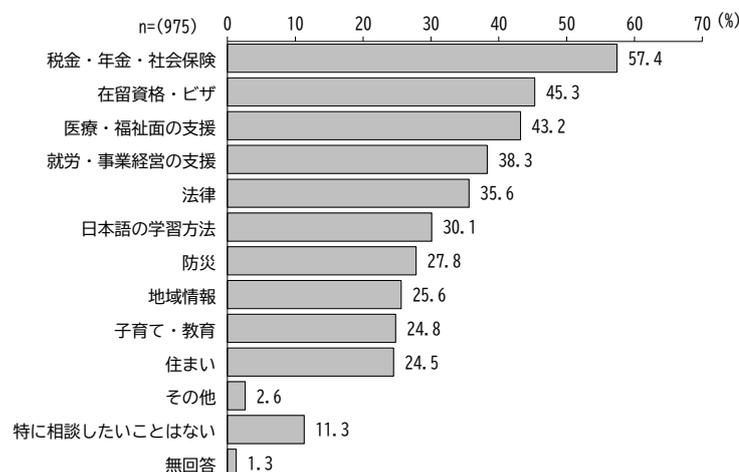
外国人が困ったときの相談先は、身近な人間関係に頼ることが多い。一方で、新たに開設する一元的な外国人相談窓口に相談したいことは、多様なものがあり、一定の需要がある。

- ・生活上の困りごとが生じた際の相談先は、「仕事以外の知人、友人（同国人）」（53.7%）が最も高く、次いで「家族、親戚」（51.0%）、「職場の同僚など仕事関係の人」（38.4%）、「インターネットで解決方法を検索する」（34.1%）、「仕事以外の知人、友人（日本人）」（32.9%）となっている。（問24）
- ・一元的な外国人相談窓口に相談したい内容は、「税金・年金・社会保険」（57.4%）、次いで、「在留資格・ビザ」（45.3%）、「医療・福祉面の支援」（43.2%）、「就労・事業経営の支援」（38.3%）、「法律」（35.6%）となっている。「特に相談したいことはない」は11.3%となっている。（問22）

図表 生活で困ったときの相談先（複数回答）



図表 多言語による一元的な外国人窓口開設後に相談したいこと（複数回答）



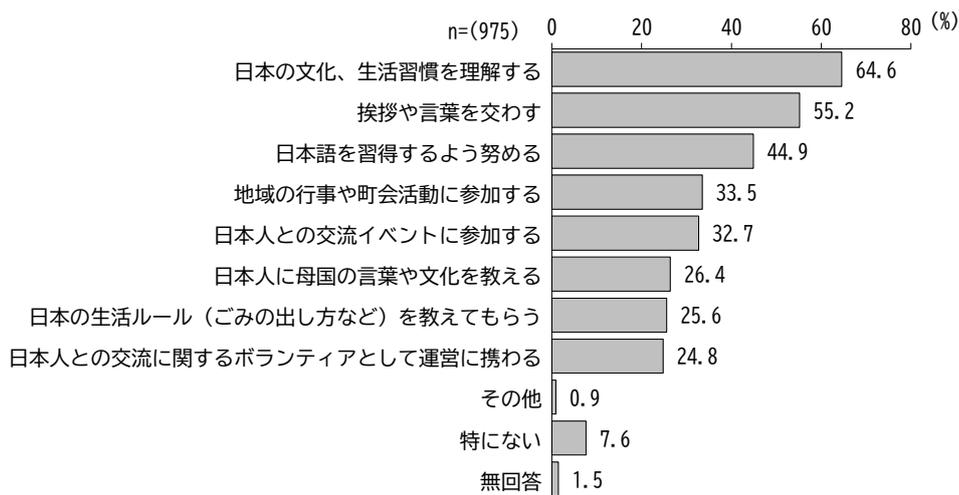
#### ④ 相互理解の促進

Point

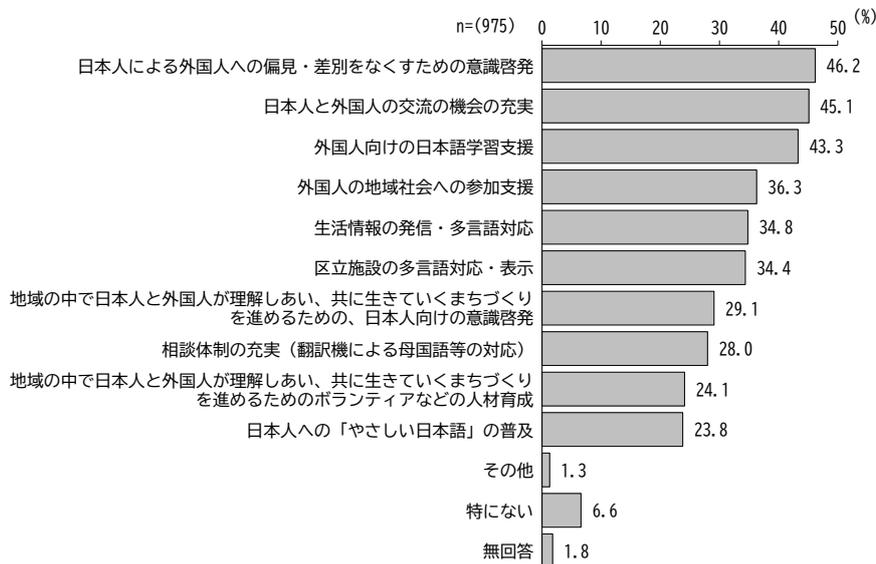
外国人が、日本人との相互理解の促進に向けて自ら行動しようとする意識は高く、その行動を支えるための環境整備や支援の充実が求められている。

- ・相互理解の促進に向け自身が行おうと思うことは、「日本の文化、生活習慣を理解する」(64.6%)が最も高く、「挨拶や言葉を交わす」(55.2%)も半数以上が挙げている。「特にない」は7.6%に留まっている。(問39)
- ・台東区が力を入れるべきだと思うことは、「日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」(46.2%)が最も高く、次いで、「日本人と外国人の交流の機会の充実」(45.1%)、「外国人向けの日本語学習支援」(43.3%)、「外国人の地域社会への参加支援」(36.3%)となっている。(問40)

図表 地域の中で日本人と外国人が理解し合い、共に生きていくまちづくりを進めるために、自身が行おうと思うこと（複数回答）



図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと（複数回答）



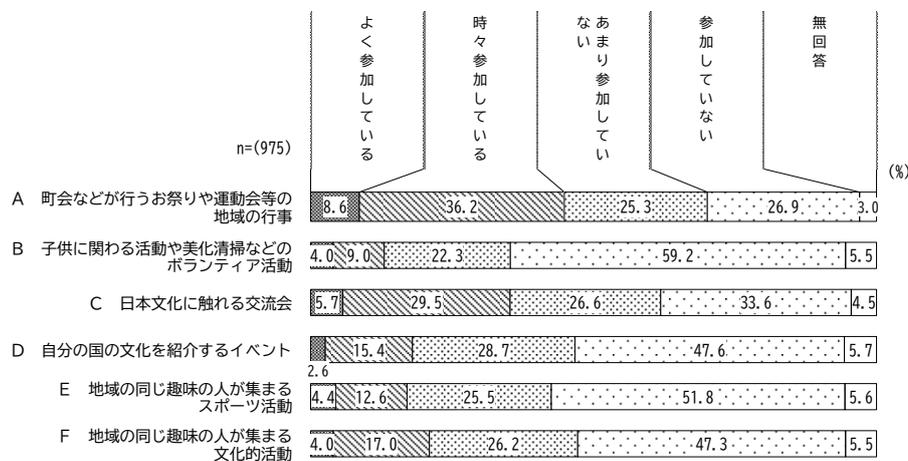
### ⑤ 地域活動

Point

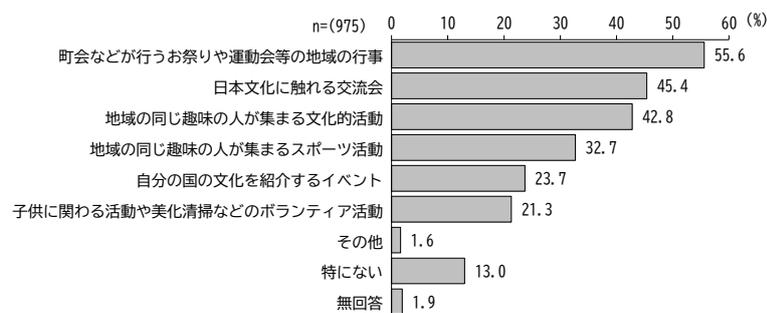
外国人の地域活動への参加は低調であるものの、担い手となり得る潜在的な層は一定程度存在しており、実際の参加に繋げるための環境整備が求められている。

- ・地域活動への参加状況をみると、お祭り・運動会等や交流会に参加している人が多いが、いずれも50%には満たない。一方で、今後参加したい地域活動は実際の参加状況を上回っており、地域活動への関心自体は一定程度存在している。(問41、42)
- ・活動するときの困りごとは、「参加の仕方がわからない」(44.3%)が最も高く、次いで、「参加する時間がない」(43.7%)、「活動に関する情報が少ない」(40.5%)となっている。(問44)

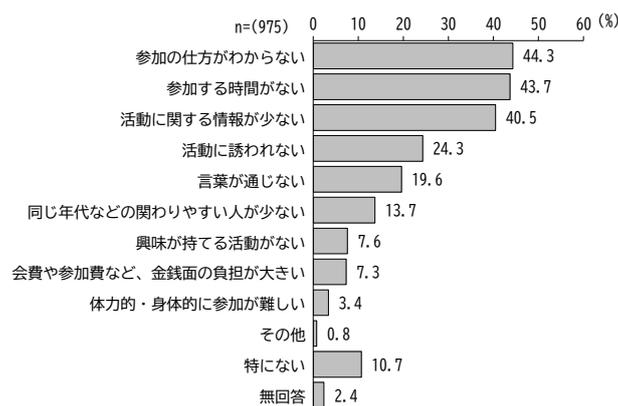
図表 地域活動の参加状況（単一回答）



図表 今後参加したい地域の活動（複数回答）



図表 自身が地域で活動するときの困りごと（複数回答）



## 2. 日本人意識調査

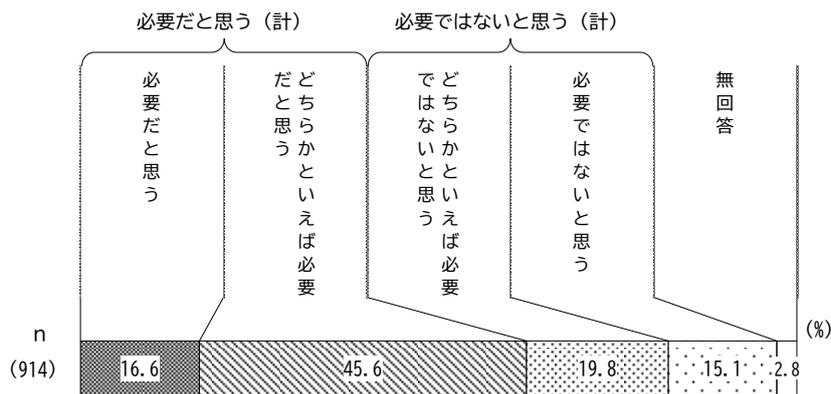
### ① 外国人が活躍することの必要性

Point

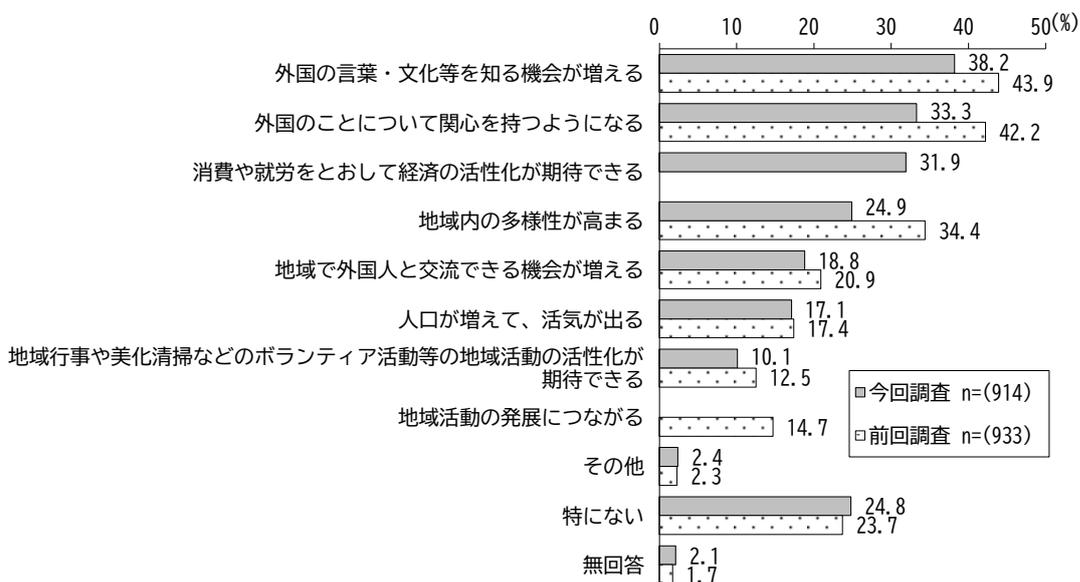
地域で外国人が活躍することの必要性は理解しているものの、受入れに対しては慎重・消極的な意識を持つ傾向がみられる。

- ・地域で外国人が活躍することは必要と考える割合は60%を超えており、外国人の存在や役割について一定の理解が広まっている。また、外国人との交流機会が多いほど、外国人の活躍が必要だと思う割合が高い。(問16)
- ・外国人が増えることにより良くなることは「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」(38.2%)が最も高く、次いで「外国のことについて関心を持つようになる」(33.3%)、「消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる」(31.9%)となっている。前回と比較すると多くの項目で割合が低下しており、外国人の受入れに対する前向きな評価は弱まっている。(問17)

図表 今後、地域で外国人が活躍することは必要か（単一回答）



図表 【経年比較】 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなること（複数回答）



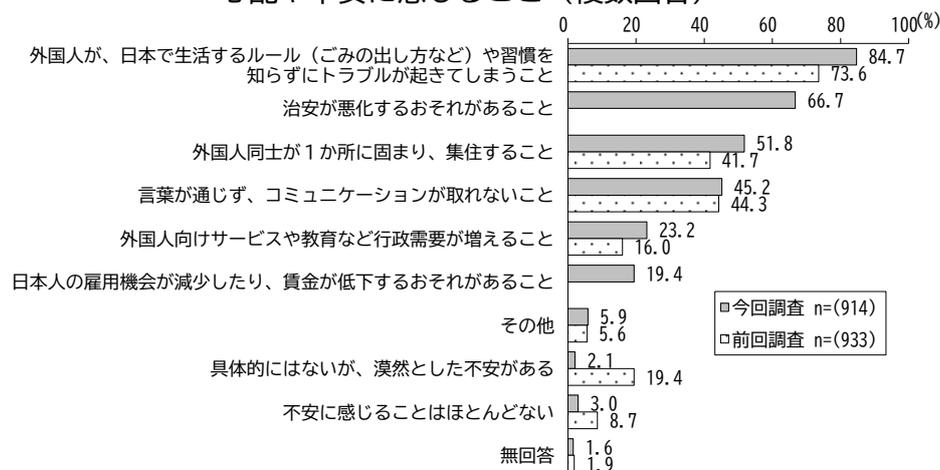
## ② 外国人が増えることに対する不安

### Point

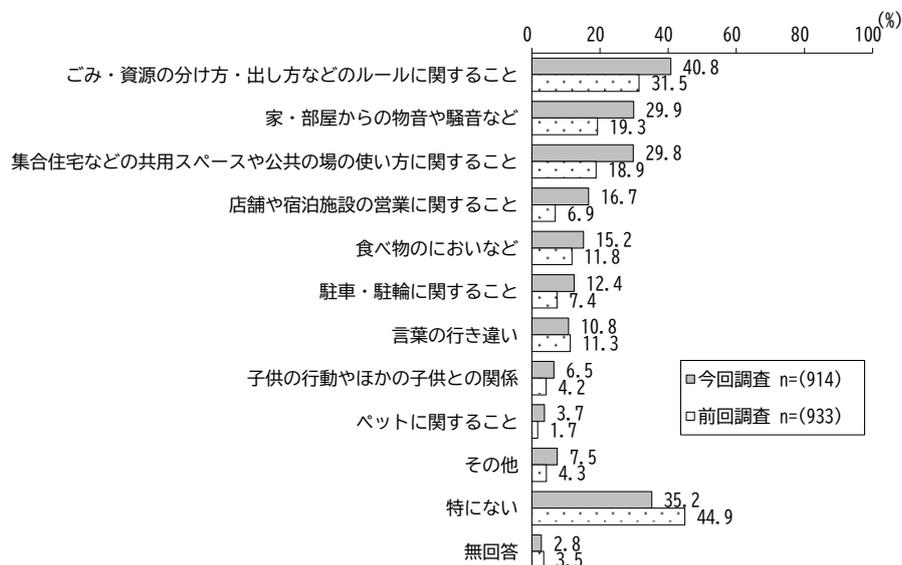
外国人が増えることで心配や不安に感じることを挙げる人は、前回より増加している。一方で、不安などを感じている人と、実際に困った経験を持つ人の割合には差がある。

- ・外国人が増えることで心配や不安に感じることは、「外国人が、日本で生活するルール（ごみの出し方など）や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと」（84.7%）が最も高く、次いで、「治安が悪化するおそれがあること」（66.7%）、「外国人同士が1か所に固まり、集住すること」（51.8%）、となっている。上位3つのうち、今回選択肢に加えた「治安が悪化するおそれがあること」以外の2つは、いずれも前回調査から割合が10ポイント以上増加している。（問18）
- ・外国人との関係で困った経験としては、「ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること」（40.8%）が最も高く、次いで、「家・部屋からの物音や騒音など」（29.9%）、「集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること」（29.8%）となっている。外国人に対する不安と実際の困りごとはいずれも前回から増加しているものの、不安などを感じる人と、実際に困った経験を持つ人の割合には差がみられる。（問19）

図表 【経年比較】 地域に暮らす外国人が増えることで  
心配や不安に感じること（複数回答）



図表 【経年比較】 地域に暮らす外国人との関係で困った経験（複数回答）



### 3. 外国人・日本人 共通設問の比較

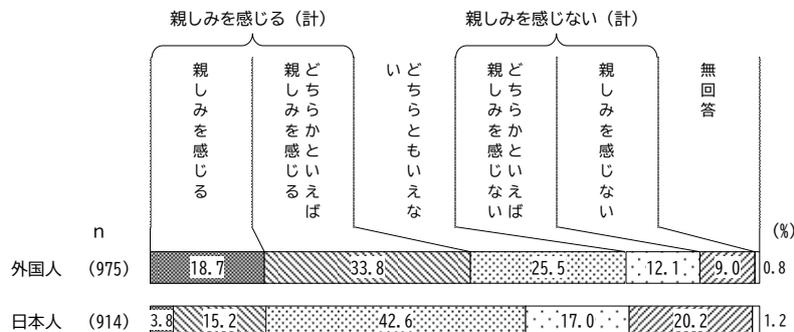
#### ① 相互間の交流意欲

Point

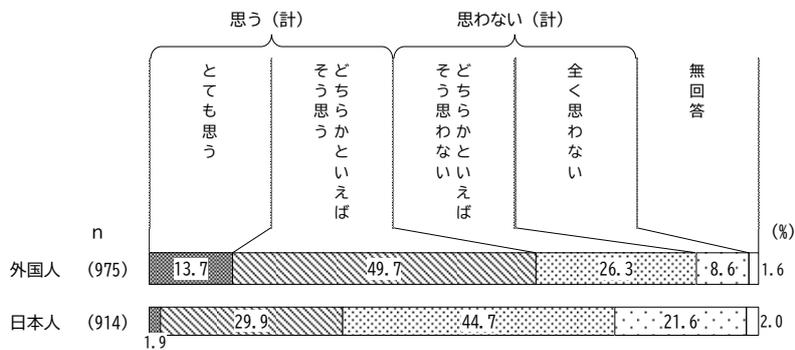
外国人は日本人との高い交流意欲を持つのに対して、日本人は外国人との交流について消極的な傾向がみられる。

- ・地域における交流に関する共通設問を比較すると、「地域の外国人と日本人の相互の親しみ度合い」（外国人：問33、日本人：問11）、「外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか」（外国人：問34、日本人：問12）、「地域に暮らす外国人と日本人の交流意向」（外国人：問35、日本人：問13）のいずれにおいても、肯定的に回答した割合は、外国人が日本人よりも30～40ポイント以上高くなっており、両者の間に意識の差がみられる。

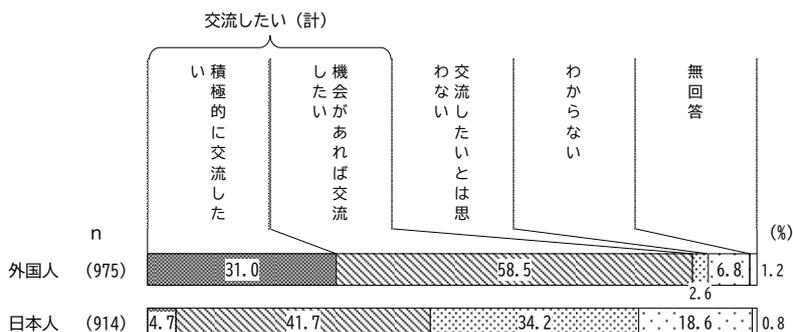
図表 地域の外国人と日本人の相互の親しみ度合（単一回答）



図表 外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか（単一回答）



図表 地域に暮らす外国人と日本人の交流意向（単一回答）



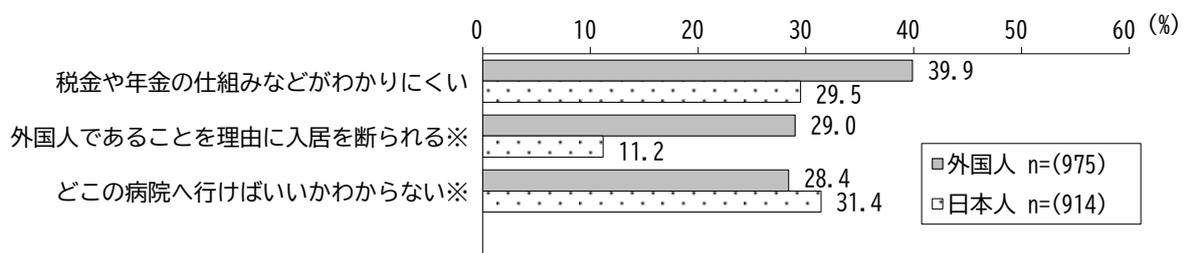
## ② 日常生活での困りごと

## Point

外国人が抱える困りごとについて、  
日本人の認識と外国人の実態との間には違いがみられる。

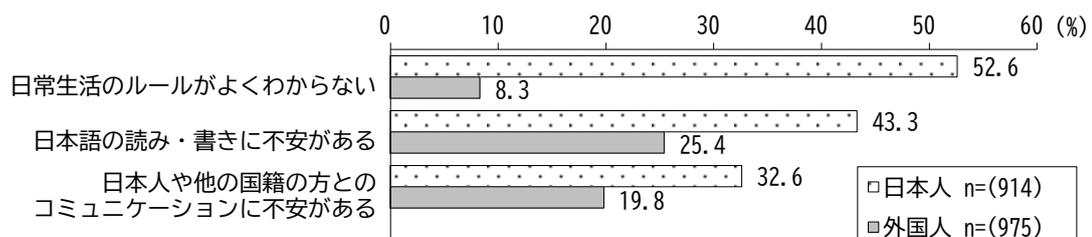
- ・外国人の困りごとは、「税金や年金の仕組みなどがわかりにくい」(39.9%)が最も高く、次いで、「外国人であることを理由に入居を断られる」(29.0%)、「どこの病院へ行けばいいかわからない」(28.4%)となっている。(外国人：問23)
- ・日本人が想定する外国人の困りごとは、「日常生活のルールがよくわからない」(52.6%)が最も高く、次いで、「日本語の読み・書きに不安がある」(43.3%)、「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」(32.6%)となっている。(日本人：問20)
- ・日本人が想定する上位3つの困りごとは、外国人が困りごととして挙げる比率は低く、「日常生活のルールがよくわからない」は外国人では8.3%、「日本語の読み・書きに不安がある」は25.4%、「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」は19.8%となっており、日本人の認識と外国人の実態との間には違いがみられる。

図表 日本での生活で、外国人が困っていることや心配なこと  
(複数回答・外国人上位3位と日本人の回答の比較)



※外国人調査票の「外国人であることを理由に入居を断られる」は日本人調査票の「住まいのこと」、外国人調査票の「どこの病院へ行けばいいかわからない」は日本人調査票の「病院や医療のこと」と比較している。

図表 日本での生活で、外国人が困っていることや心配なこと  
(複数回答・日本人上位3位と外国人の回答の比較)



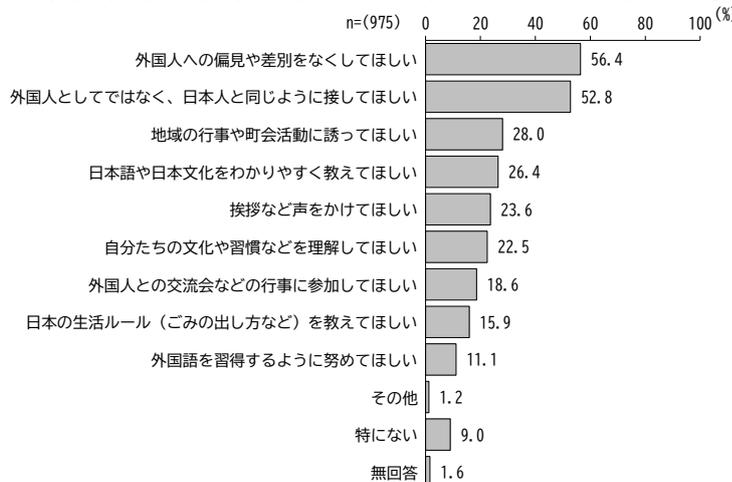
### ③ 住民相互の理解促進のために相手に求めること

Point

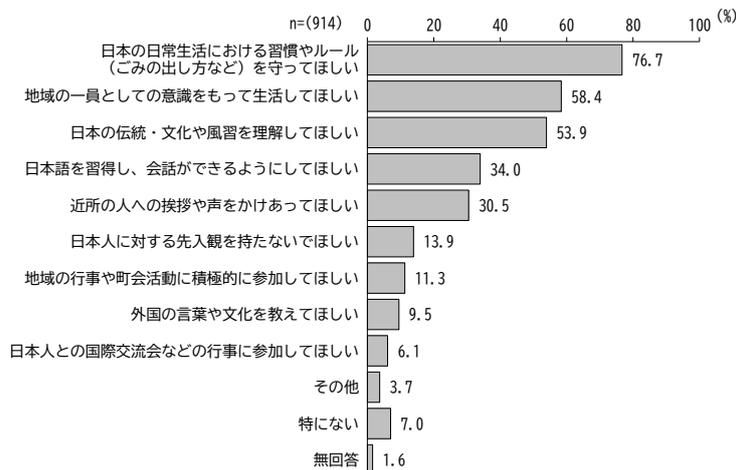
相互理解の促進のために、外国人と日本人が相手に求めることの方向性や内容には違いがあるが、目指すべき地域社会は一致していると考えられる。

- ・外国人が日本人に求めることは、「外国人への偏見や差別をなくしてほしい」(56.4%)が最も高く、「外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい」(52.8%)も半数以上が挙げている。次いで、「地域の行事や町会活動に誘ってほしい」(28.0%)、「日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい」(26.4%)となっている。(外国人：問38)
- ・日本人が外国人に求めることは、「日本の日常生活における習慣やルール(ごみの出し方など)を守ってほしい」(76.7%)が最も高い。次いで、「地域の一員としての意識をもって生活してほしい」(58.4%)、「日本の伝統・文化や風習を理解してほしい」(53.9%)、「日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい」(34.0%)、「近所の人への挨拶や声をかけあってほしい」(30.5%)となっている。(日本人：問22)
- ・外国人は、地域に日本人と同様に受け入れてほしいという意向がある一方で、日本人は、外国人に地域の一員としての行動を求める傾向があり、両者が相手に求めることの方向性や内容には差異がある。しかし、外国人、日本人ともに、地域で円滑に生活できることを目指していると考えられる。

図表 (外国人調査) 住民相互の理解のために、日本人に求めること(複数回答)



図表 (日本人調査) 住民相互の理解のために、外国人に求めること(複数回答)



## 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細



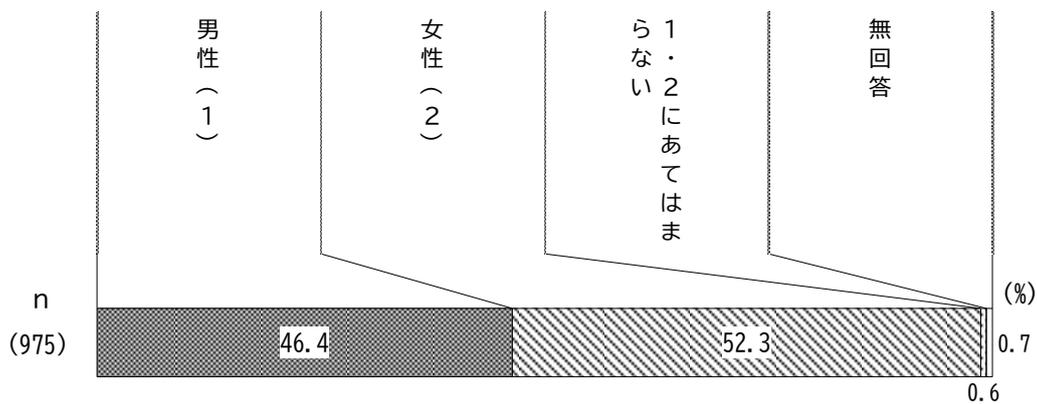
# 1. 回答者の属性

## (1) 性別

問1 あなたの性別をお選びください。(ひとつだけ○)

「男性」が46.4%、「女性」が52.3%となっている。

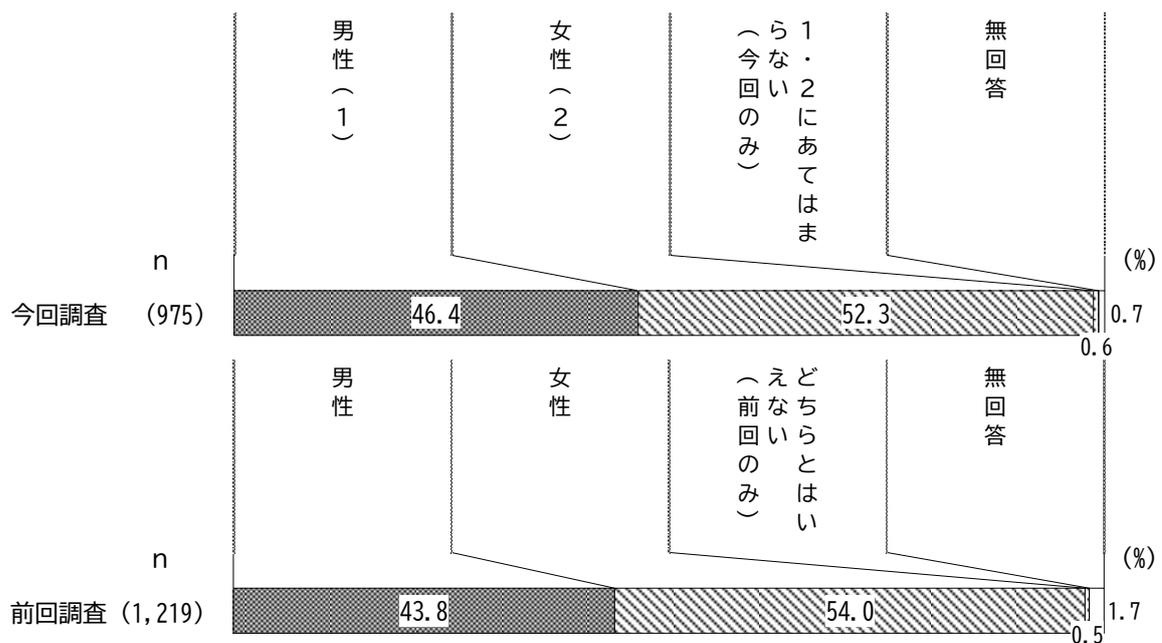
図表 性別（単一回答）



### 【参考：経年比較】

前回との比較では、各項目で多少の増減があるものの、大きな違いはみられない。

図表 【参考：経年比較】性別（単一回答）



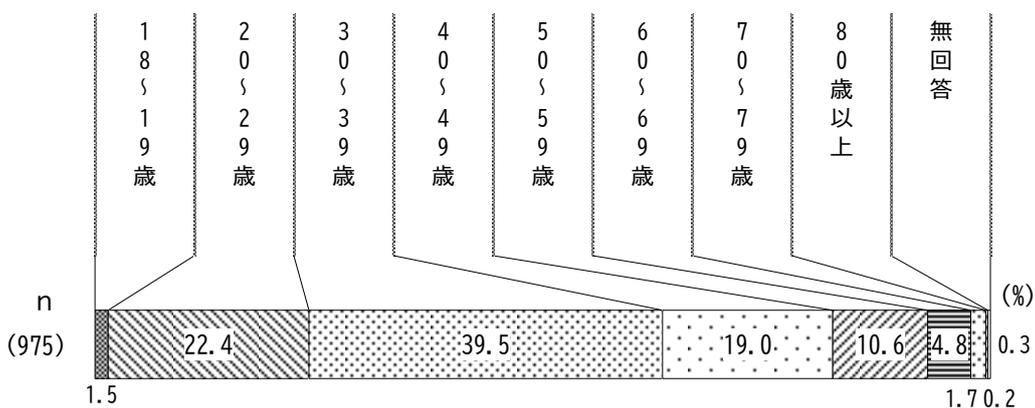
※前回調査の選択肢「どちらともいえない」が、今回調査より「1・2にあてはまらない」に変更になっており、参考までに経年比較した。

(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(ひとつだけ○)

「30～39歳」(39.5%)が最も高く、次いで、「20～29歳」(22.4%)、「40～49歳」(19.0%)となっている。

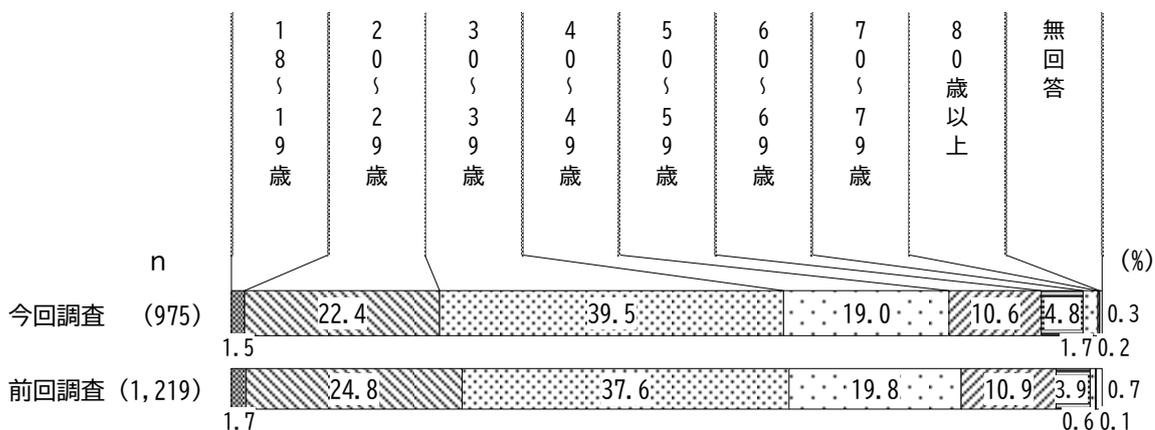
図表 年齢 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、各項目で多少の増減があるものの、大きな違いはみられない。

図表 【経年比較】年齢 (単一回答)

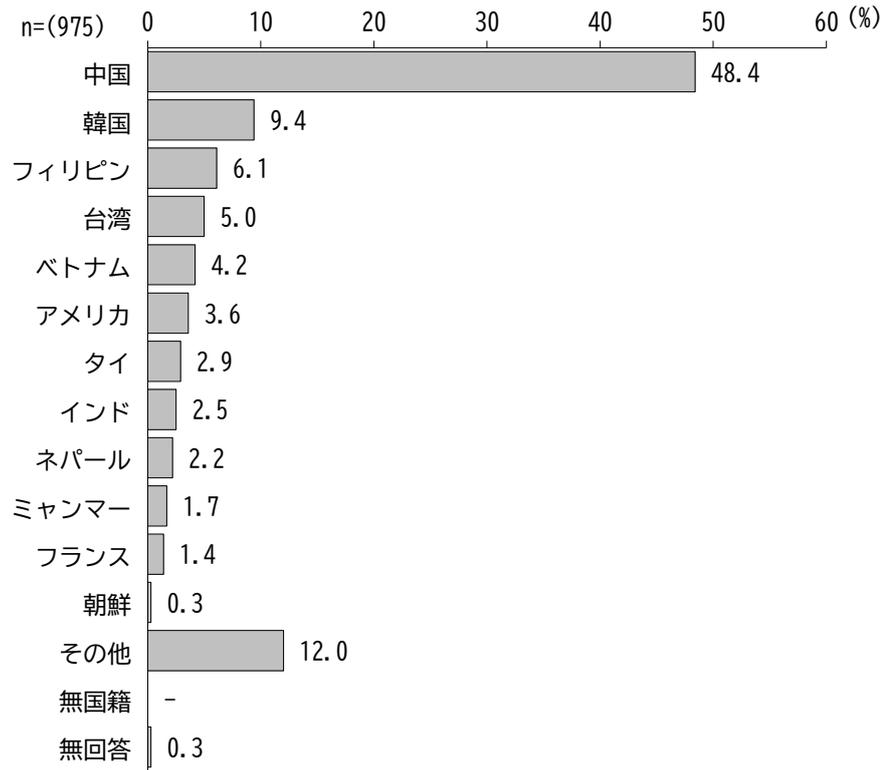


(3) 国籍・出身地域

問3 あなたの国籍・出身地域をお選びください。(ひとつだけ○)

「中国」(48.4%)が最も高く、次いで、「韓国」(9.4%)、「フィリピン」(6.1%)となっている。

図表 国籍・出身地域 (単一回答)

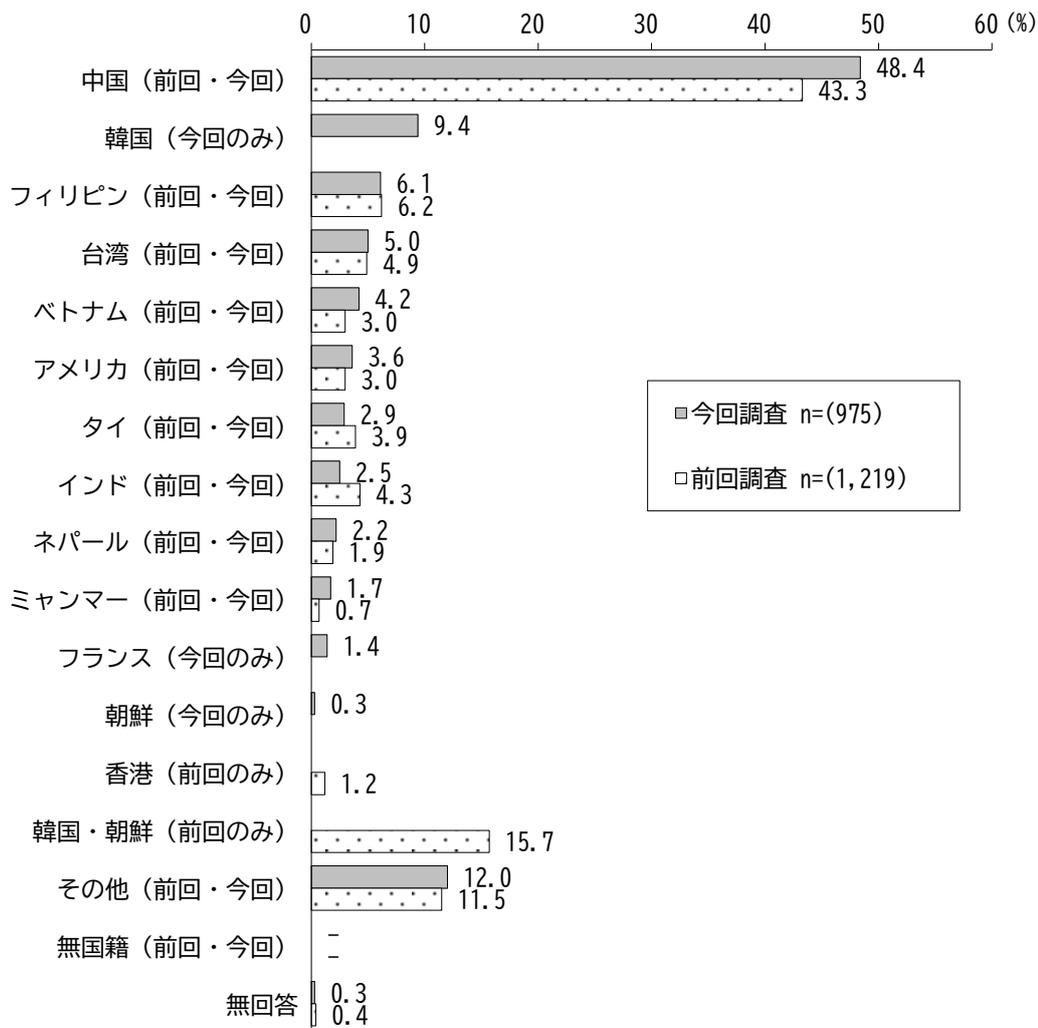


※「その他」の内訳は、ロシア(12件)、香港(11件)、インドネシア(8件)、イギリス・スペイン(各7件)、ドイツ・イタリア・カナダ(各6件)等が回答されている。

【経年比較】

前回との比較では、「中国」が5.1ポイント増加している。また、その他の国籍・出身地域に大きな違いはみられない。

図表 【経年比較】国籍・出身地域（単一回答）



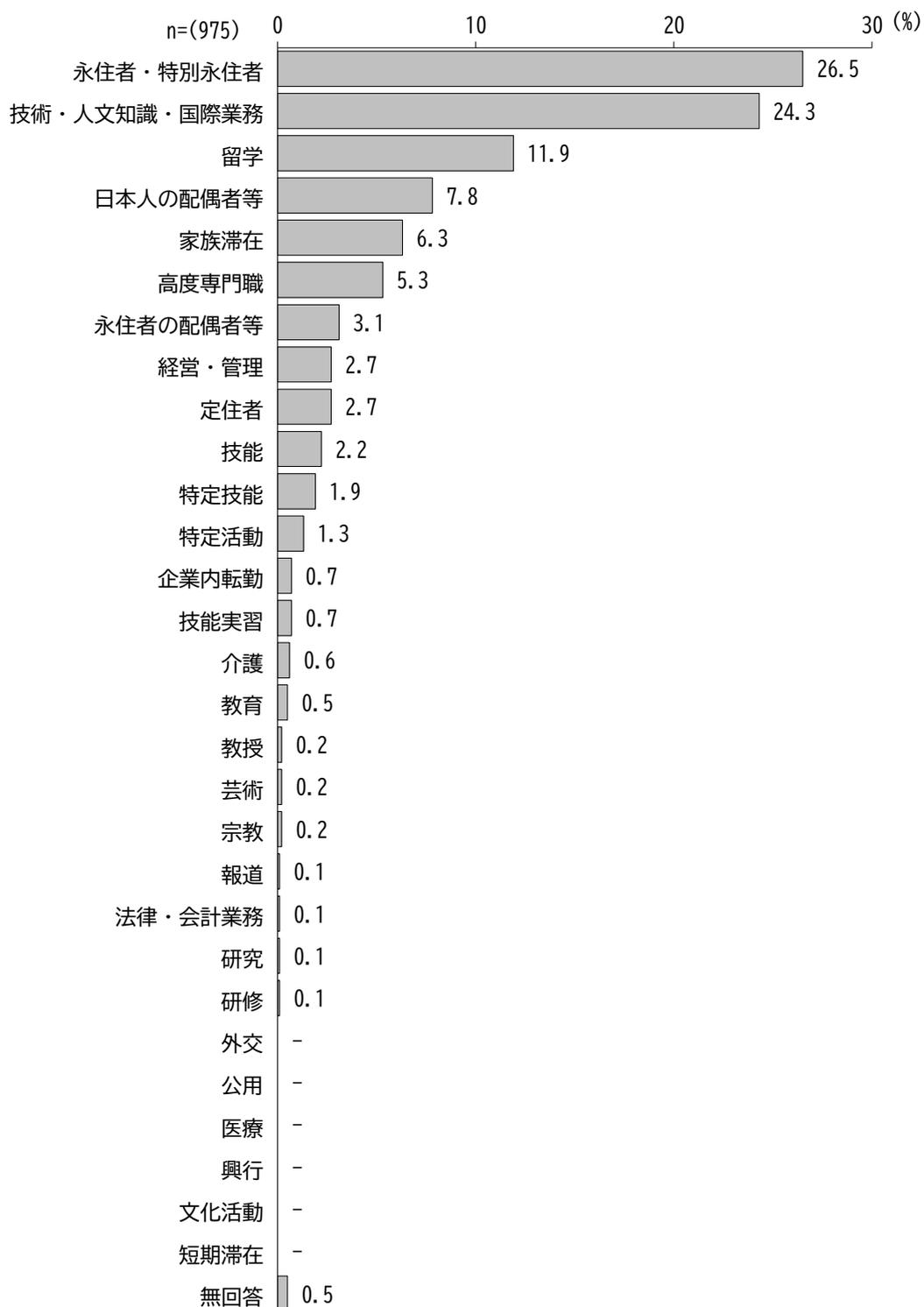
※今回調査より、選択肢「香港」が削除された。  
 ※今回調査より、選択肢「韓国・朝鮮」を「韓国」「朝鮮」に分けた。  
 ※今回調査より、選択肢「フランス」が追加された。

## (4) 在留資格

問4 あなたの日本での在留資格をお選びください。(ひとつだけ○)

「永住者・特別永住者」(26.5%)が最も高く、次いで、「技術・人文知識・国際業務」(24.3%)となり、ともに約4人に1人の割合となっている。

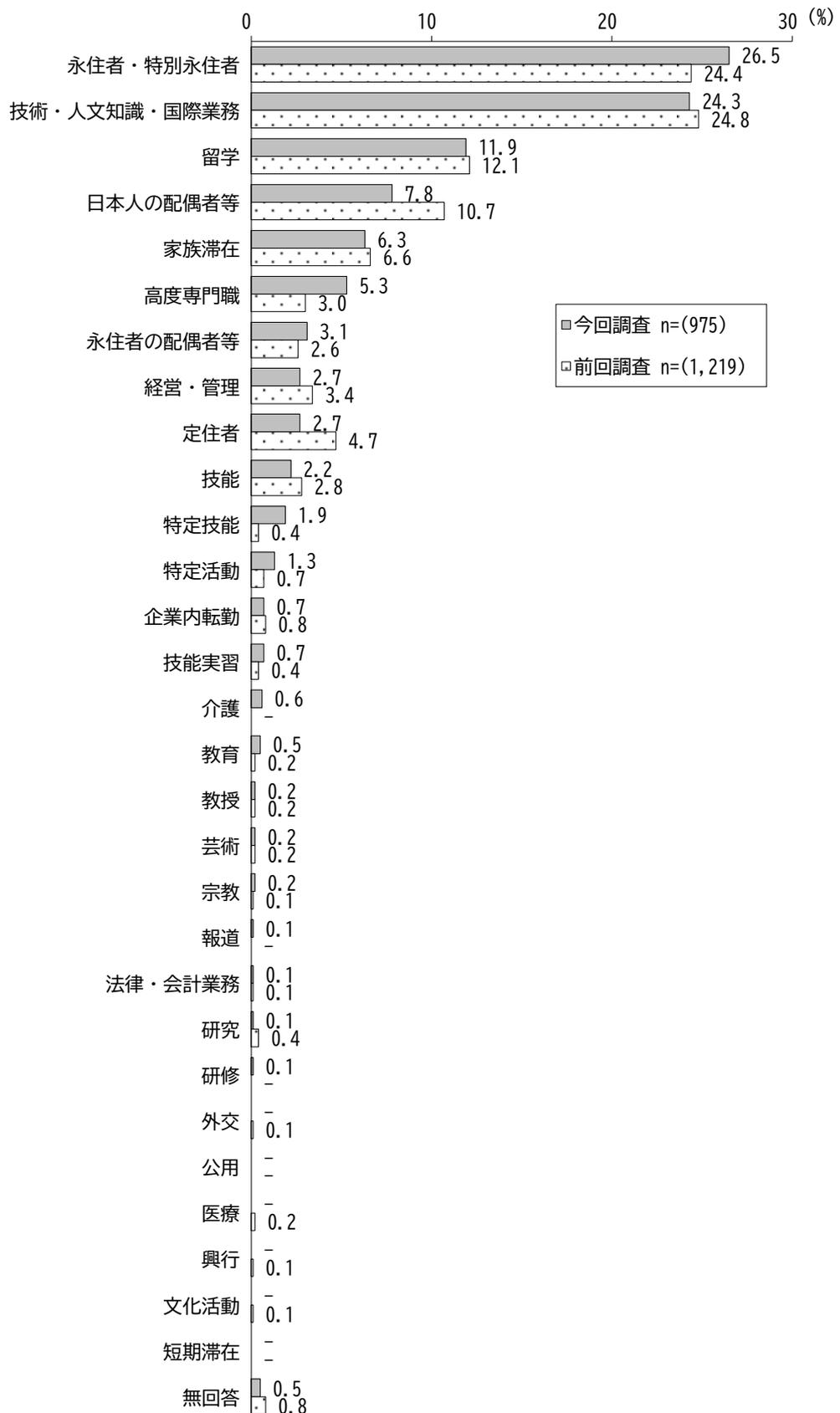
図表 在留資格 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、各項目の割合に大きな違いはみられないが、前回1位の「技術・人文知識・国際業務」と前回2位の「永住者・特別永住者」の順位が入れ替わっている。

図表 【経年比較】在留資格（単一回答）



【国籍別】

「韓国」「台湾」で「永住者・特別永住者」が、「台湾」「アメリカ」で「技術・人文知識・国際業務」が、「ベトナム」で「特定技能」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 在留資格（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	永住者・特別永住者	技術・人文知識・国際業務	留学	日本人の配偶者等	家族滞在	高度専門職	永住者の配偶者等	経営・管理	定住者	技能
全体	975 100.0%	258 26.5%	237 24.3%	116 11.9%	76 7.8%	61 6.3%	52 5.3%	30 3.1%	26 2.7%	26 2.7%	21 2.2%
中国	472 100.0%	127 26.9%	118 25.0%	87 18.4%	18 3.8%	33 7.0%	30 6.4%	15 3.2%	19 4.0%	3 0.6%	6 1.3%
韓国	92 100.0%	47 51.1%	14 15.2%	1 1.1%	6 6.5%	5 5.4%	2 2.2%	4 4.3%	1 1.1%	7 7.6%	3 3.3%
ベトナム	41 100.0%	4 9.8%	11 26.8%	4 9.8%	1 2.4%	4 9.8%	1 2.4%	- -	- -	- -	2 4.9%
フィリピン	59 100.0%	11 18.6%	5 8.5%	- -	9 15.3%	2 3.4%	- -	7 11.9%	- -	7 11.9%	6 10.2%
台湾	49 100.0%	20 40.8%	16 32.7%	5 10.2%	1 2.0%	1 2.0%	5 10.2%	- -	1 2.0%	- -	- -
アメリカ	35 100.0%	8 22.9%	12 34.3%	1 2.9%	8 22.9%	- -	1 2.9%	- -	- -	3 8.6%	- -
その他	224 100.0%	41 18.3%	61 27.2%	18 8.0%	32 14.3%	16 7.1%	13 5.8%	4 1.8%	5 2.2%	6 2.7%	4 1.8%

上段:人数 下段:%	調査数	特定技能	特定活動	企業内転勤	技能実習	介護	教育	教授	芸術	宗教	報道
全体	975 100.0%	19 1.9%	13 1.3%	7 0.7%	7 0.7%	6 0.6%	5 0.5%	2 0.2%	2 0.2%	2 0.2%	1 0.1%
中国	472 100.0%	2 0.4%	6 1.3%	4 0.8%	1 0.2%	1 0.2%	- -	- -	- -	- -	- -
韓国	92 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 1.1%	1 1.1%	- -	- -
ベトナム	41 100.0%	10 24.4%	- -	- -	2 4.9%	1 2.4%	- -	- -	- -	- -	- -
フィリピン	59 100.0%	4 6.8%	- -	- -	4 6.8%	1 1.7%	2 3.4%	- -	- -	- -	- -
台湾	49 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
アメリカ	35 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 2.9%	1 2.9%	- -
その他	224 100.0%	3 1.3%	7 3.1%	3 1.3%	- -	3 1.3%	3 1.3%	1 0.4%	- -	1 0.4%	1 0.4%

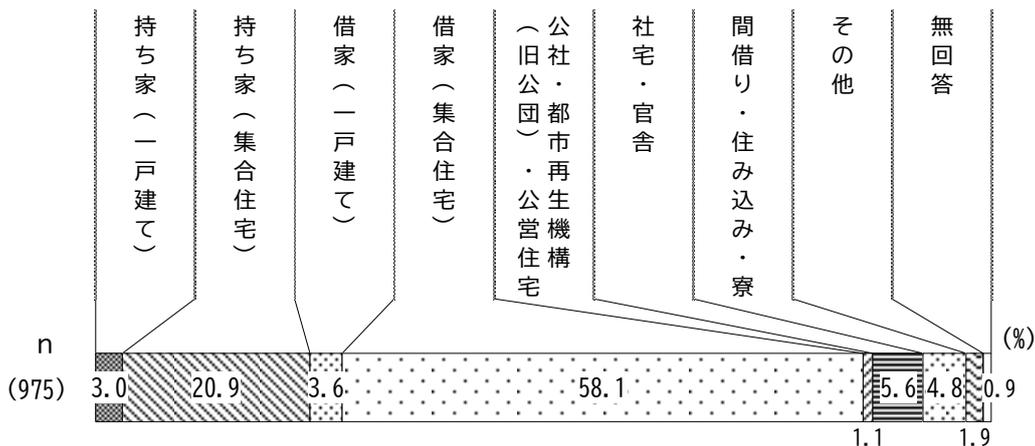
上段:人数 下段:%	調査数	法律・会計業務	研究	研修	外交	公用	医療	興行	文化活動	短期滞在	無回答
全体	975 100.0%	1 0.1%	1 0.1%	1 0.1%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	5 0.5%
中国	472 100.0%	1 0.2%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 0.2%
韓国	92 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
ベトナム	41 100.0%	- -	- -	1 2.4%	- -						
フィリピン	59 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 1.7%
台湾	49 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
アメリカ	35 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
その他	224 100.0%	- -	1 0.4%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 0.4%

(5) 居住形態

問5 あなたのお住まいは、次のうちどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

「借家（集合住宅）」（58.1%）が最も高く、次いで、「持ち家（集合住宅）」（20.9%）、「社宅・官舎」（5.6%）となっている。

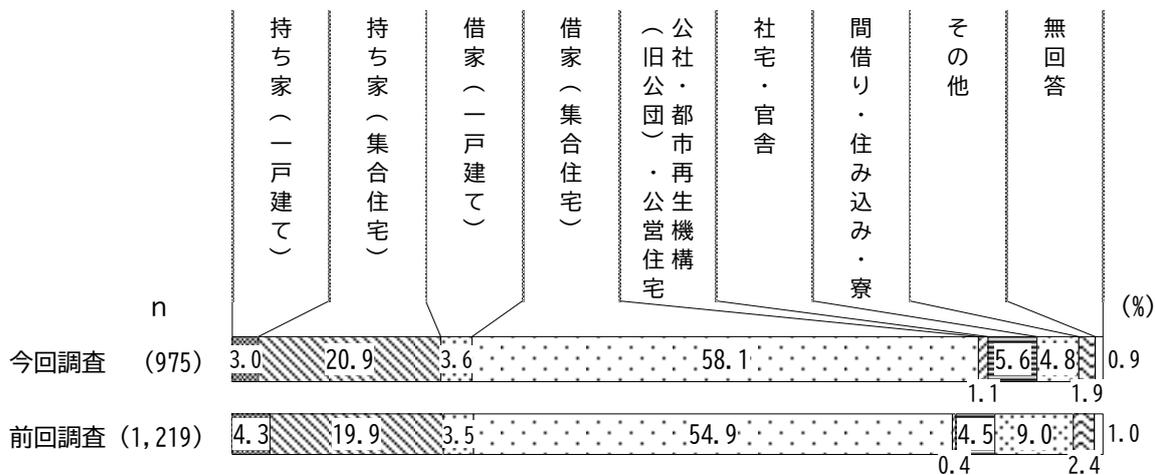
図表 居住形態（単一回答）



【経年比較】

前回との比較では、「借家（集合住宅）」がやや増加している。一方、「間借り・住み込み・寮」はやや減少している。

図表 【経年比較】居住形態（単一回答）

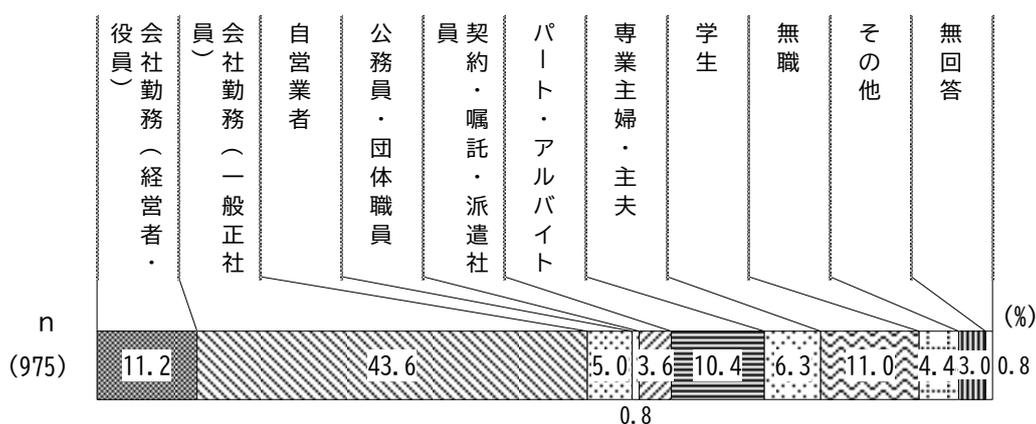


(6) 職業

問6 あなたのお仕事は、大きく分けて以下の中のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

「会社勤務(一般正社員)」(43.6%)が最も高く、次いで、「会社勤務(経営者・役員)」(11.2%)、「学生」(11.0%)、「パート・アルバイト」(10.4%)となっている。

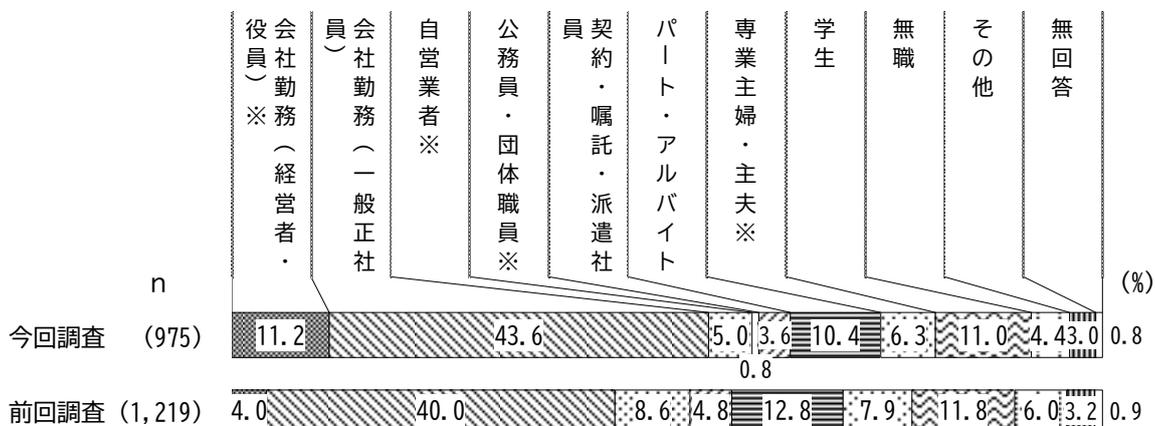
図表 職業(単一回答)



【経年比較】

前回との比較は、選択肢が一部異なるため参考程度にとどめる。

図表 【経年比較】職業(単一回答)



※今回調査の選択肢「会社勤務(経営者・役員)」は前回調査では「会社勤務(役員)」、「自営業者」は「自営業者・経営者」、「専業主婦・主夫」は「家事」であった。

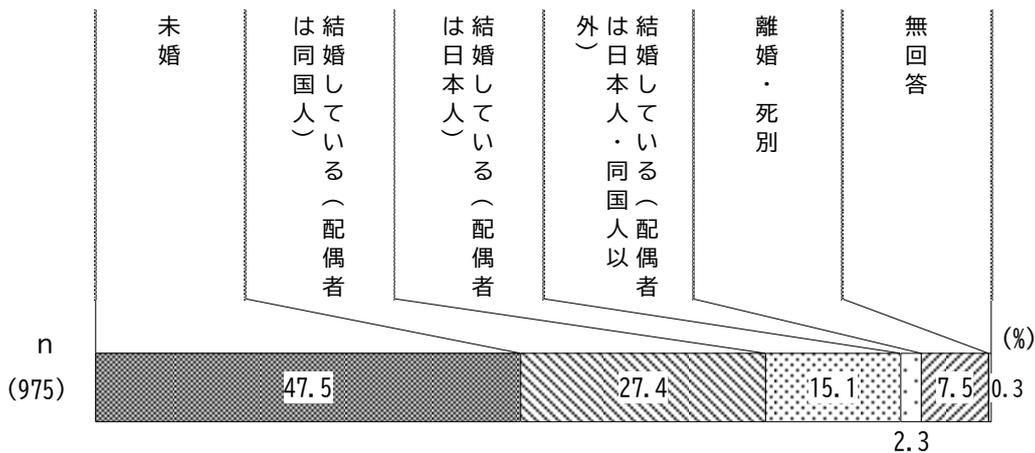
※今回調査より、選択肢「公務員・団体職員」が追加された。

(7) 結婚の有無

問7 あなたは結婚していますか。(ひとつだけ○)

「未婚」(47.5%)が最も高く、次いで、「結婚している(配偶者は同国人)」(27.4%)、「結婚している(配偶者は日本人)」(15.1%)となっている。

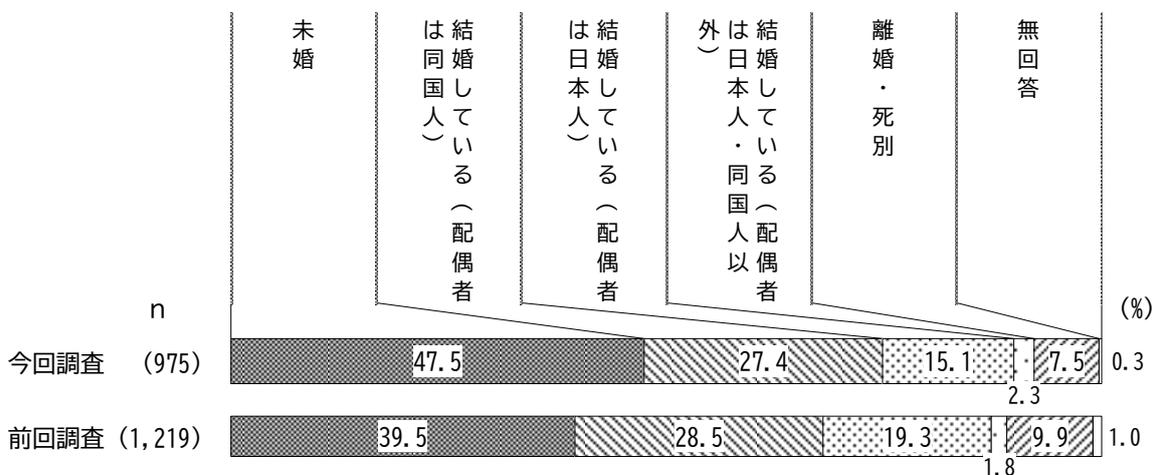
図表 結婚の有無(単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「未婚」が8.0ポイント増加している。

図表 【経年比較】結婚の有無(単一回答)

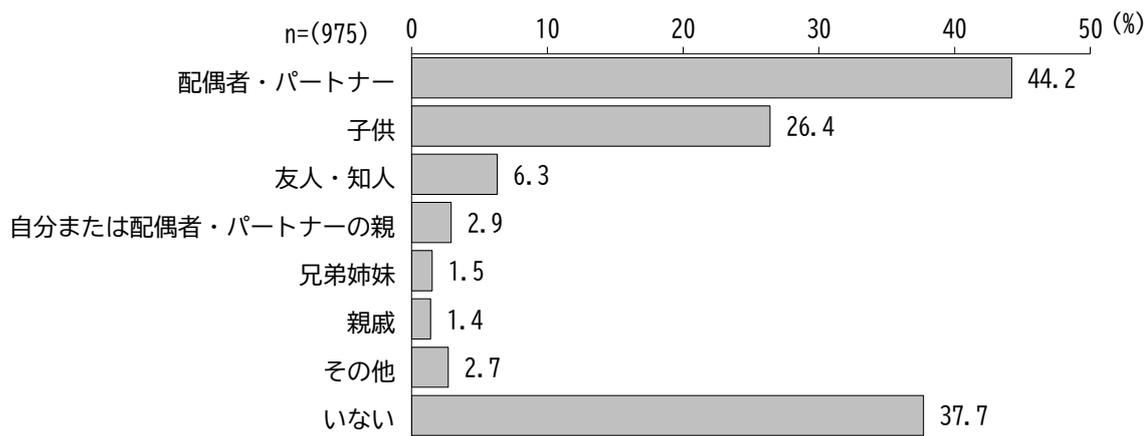


(8) 同居者

問8 あなたが現在一緒に住んでいる人はどなたですか。(当てはまるもの全てに○)

「配偶者・パートナー」(44.2%)が最も高く、次いで、「いない」(37.7%)、「子供」(26.4%)となっている。

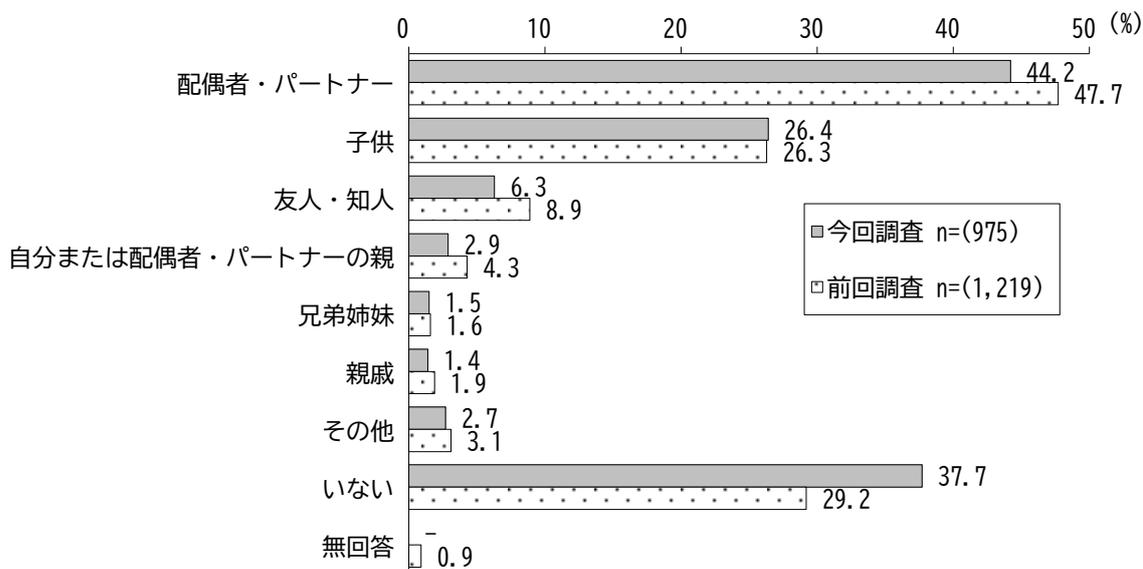
図表 同居者（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「いない」が8.5ポイント増加しており、外国人区民の単身世帯が増加している可能性がうかがえる。

図表 【経年比較】同居者（複数回答）

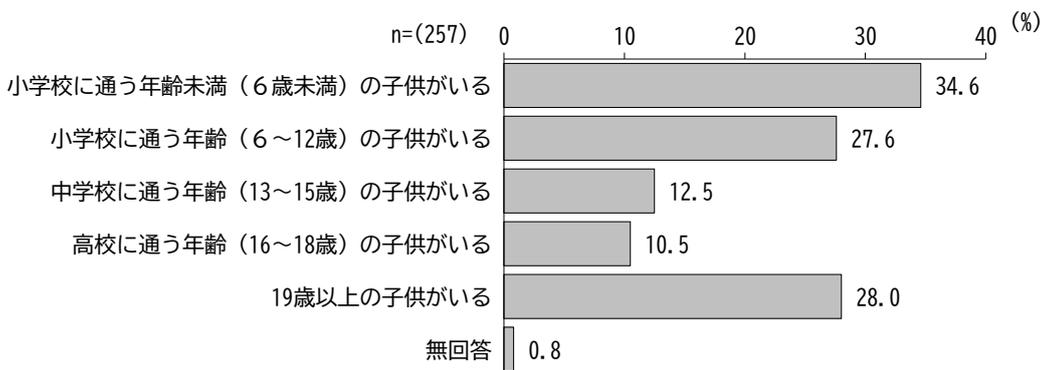


(9) 子供の年齢

問8-2 【問8で「2 子供」と回答した方にお聞きします。  
あなたの子供は何歳ですか。(当てはまるもの全てに○)

「小学校に通う年齢未満（6歳未満）の子供がいる」（34.6%）が最も高く、次いで、「19歳以上の子供がいる」（28.0%）、「小学校に通う年齢（6～12歳）の子供がいる」（27.6%）となっている。

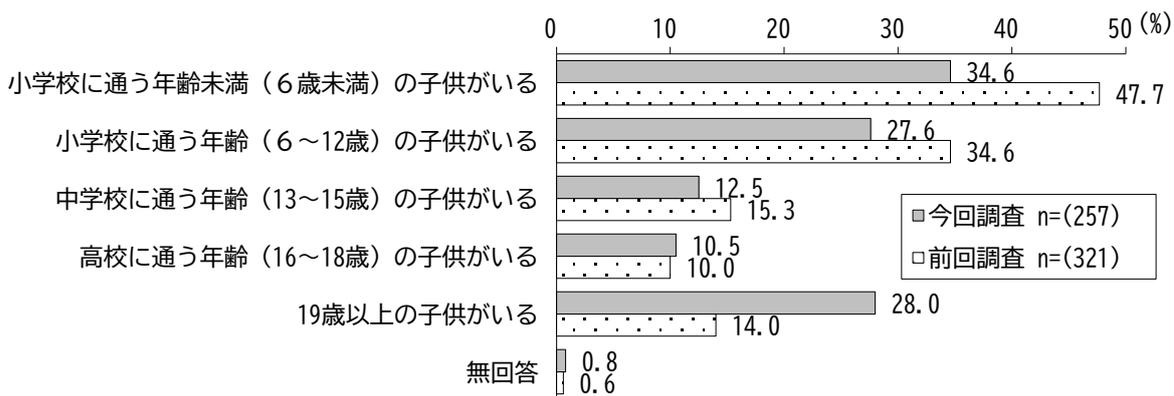
図表 子供の年齢（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「19歳以上の子供がいる」が14.0ポイント増加している。一方、「小学校に通う年齢未満（6歳未満）の子供がいる」が13.1ポイント減少している。

図表 【経年比較】子供の年齢（複数回答）

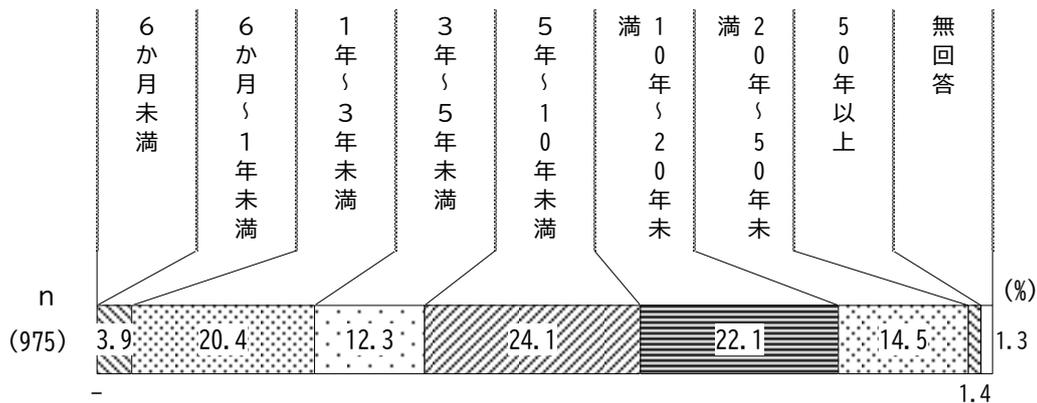


(10) 日本での居住年数

問9 あなたは、日本にどのくらい住んでいますか。(ひとつだけ○)

「5年～10年未満」(24.1%)が最も高く、次いで、「10年～20年未満」(22.1%)、「1年～3年未満」(20.4%)となっている。

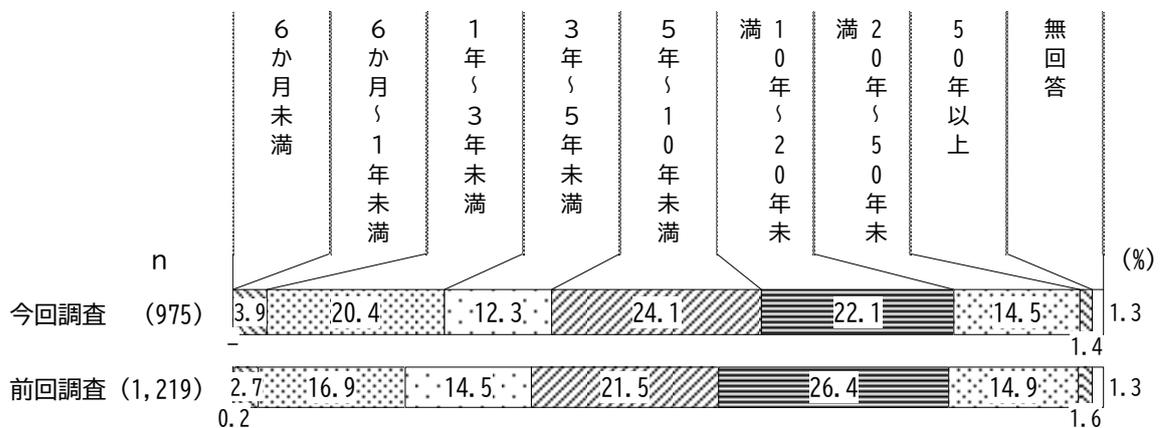
図表 日本での居住年数 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、各項目の割合に大きな違いはみられないが、居住年数10年未満がやや増加している。

図表 【経年比較】日本での居住年数 (単一回答)

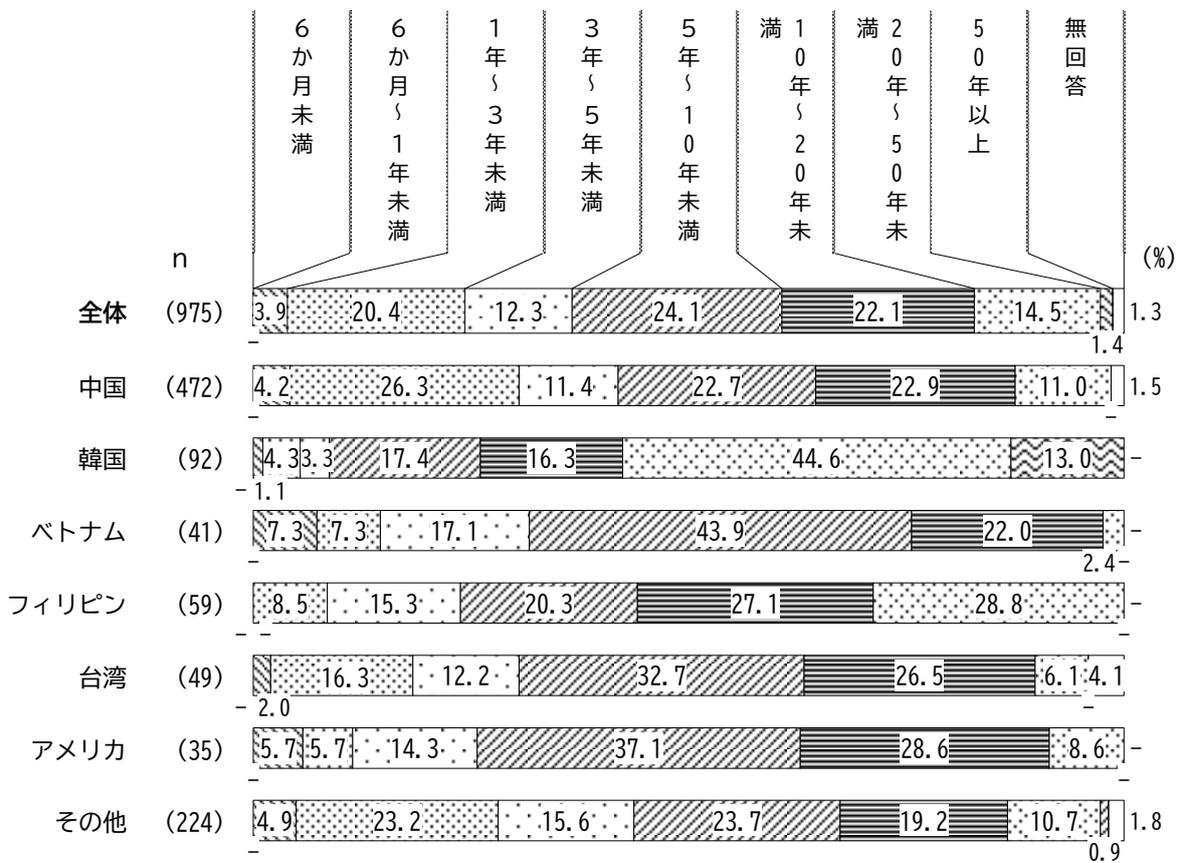


【国籍別】

「中国」で「1年～3年未満」、「ベトナム」「台湾」「アメリカ」で「5年～10年未満」、「フィリピン」で「10年～20年未満」「20年～50年未満」、「韓国」で「20年～50年未満」「50年以上」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

居住年数が10年未満と回答した人の合計で高いのは「中国」「ベトナム」「台湾」「アメリカ」「その他」である。一方、居住年数が10年以上と回答した人の合計で最も高いのは「韓国」で、次いで、「フィリピン」の順である。

図表 日本での居住年数（国籍別）



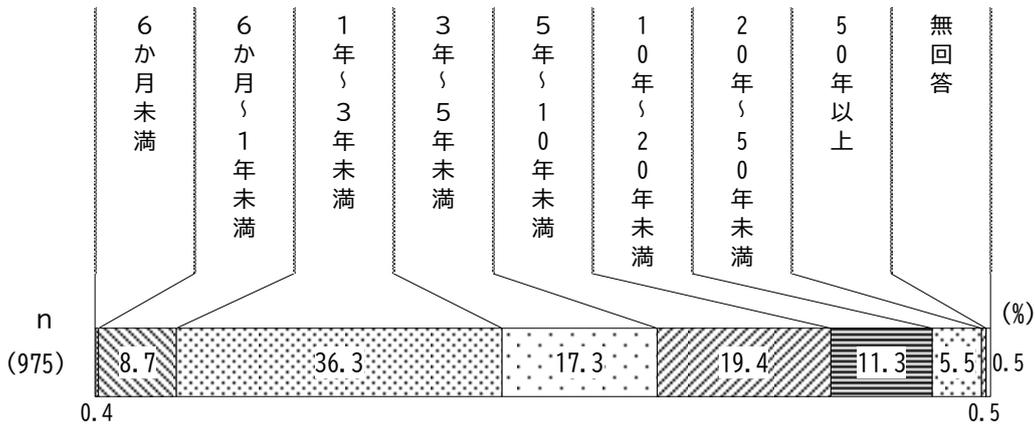
※国籍別のクロス表は、回答数30以下の「朝鮮」「ネパール」「インド」「ミャンマー」「タイ」「フランス」を「その他」に含めて掲載している（以降同様）。

(11) 台東区での居住年数

問10 あなたは、台東区にどのくらい住んでいますか。(ひとつだけ○)

「1年～3年未満」(36.3%)が最も高く、次いで、「5年～10年未満」(19.4%)、「3年～5年未満」(17.3%)となっている。

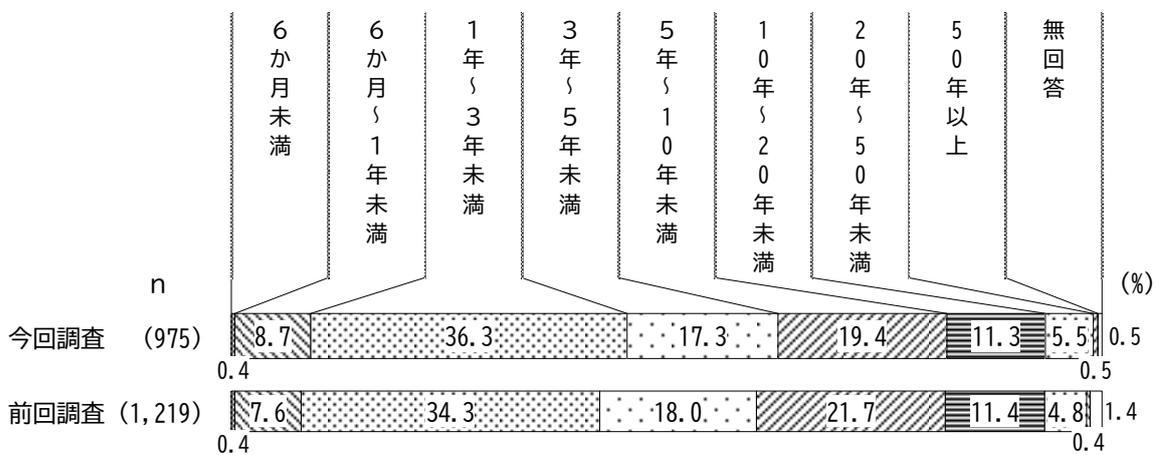
図表 台東区での居住年数 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、各項目の割合に大きな違いはみられず、居住年数5年未満にも違いはみられない。

図表 【経年比較】 台東区での居住年数 (単一回答)



【国籍別】

「中国」「ベトナム」で「1年～3年未満」、「台湾」で「3年～5年未満」、「アメリカ」で「3年～5年未満」「5年～10年未満」、「韓国」「フィリピン」で「10年～20年未満」「20年～50年未満」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。台東区での居住年数が5年未満と回答した人の合計で最も高いのは「ベトナム」で、次いで、「台湾」が高くなっている。

一方、台東区居住年数が10年以上と回答した人の合計で高いのは「韓国」「フィリピン」などである。

図表 台東区での居住年数（国籍別）

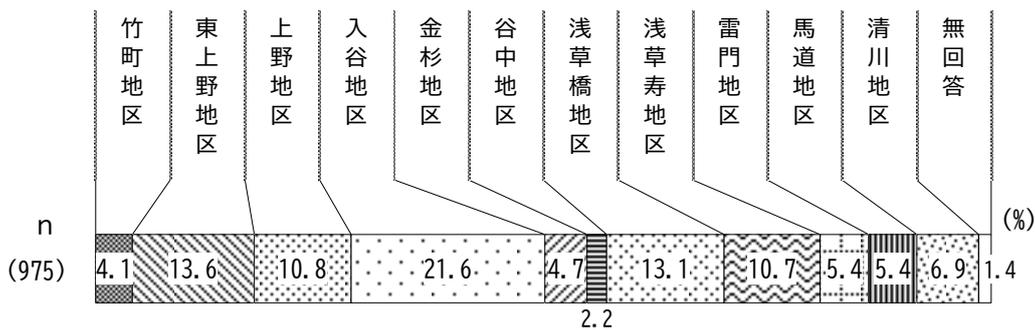
上段:人数 下段:%	調査数	6か月未満	6か月～ 1年未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年～ 20年未満	20年～ 50年未満	50年以上	無回答
全体	975 100.0%	4 0.4%	85 8.7%	354 36.3%	169 17.3%	189 19.4%	110 11.3%	54 5.5%	5 0.5%	5 0.5%
中国	472 100.0%	4 0.8%	44 9.3%	203 43.0%	76 16.1%	86 18.2%	43 9.1%	13 2.8%	- -	3 0.6%
韓国	92 100.0%	- -	5 5.4%	15 16.3%	13 14.1%	16 17.4%	18 19.6%	21 22.8%	4 4.3%	- -
ベトナム	41 100.0%	- -	3 7.3%	20 48.8%	8 19.5%	9 22.0%	- -	- -	- -	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	- -	2 3.4%	13 22.0%	10 16.9%	13 22.0%	13 22.0%	8 13.6%	- -	- -
台湾	49 100.0%	- -	4 8.2%	15 30.6%	16 32.7%	8 16.3%	5 10.2%	1 2.0%	- -	- -
アメリカ	35 100.0%	- -	3 8.6%	9 25.7%	8 22.9%	10 28.6%	3 8.6%	2 5.7%	- -	- -
その他	224 100.0%	- -	24 10.7%	78 34.8%	37 16.5%	47 21.0%	27 12.1%	9 4.0%	1 0.4%	1 0.4%

(12) 居住地域

問11 あなたの住んでいる地域を把握するため封筒のお名前の右下にある1～11の数字を選択してください。(ひとつだけ○)

「入谷地区」(21.6%)が最も高く、次いで、「東上野地区」(13.6%)、「浅草橋地区」(13.1%)となっている。

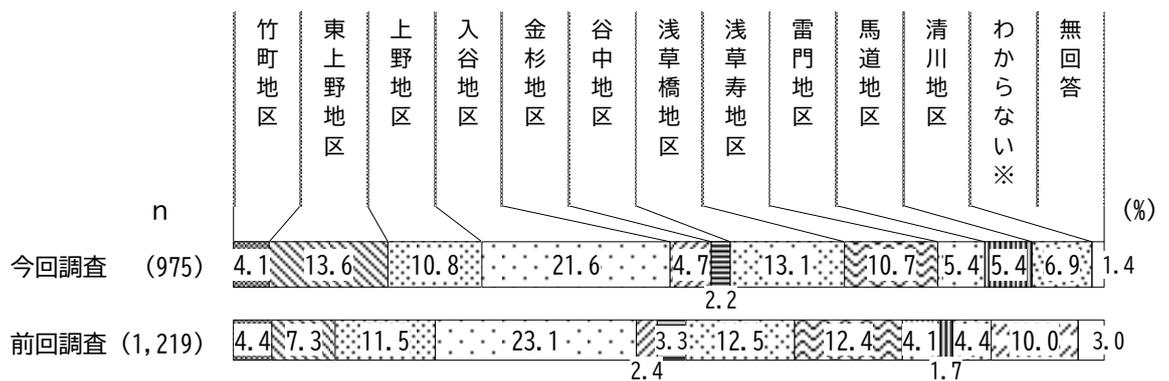
図表 居住地域 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「東上野地区」が6.3ポイント増加している。

図表 【経年比較】居住地域 (単一回答)



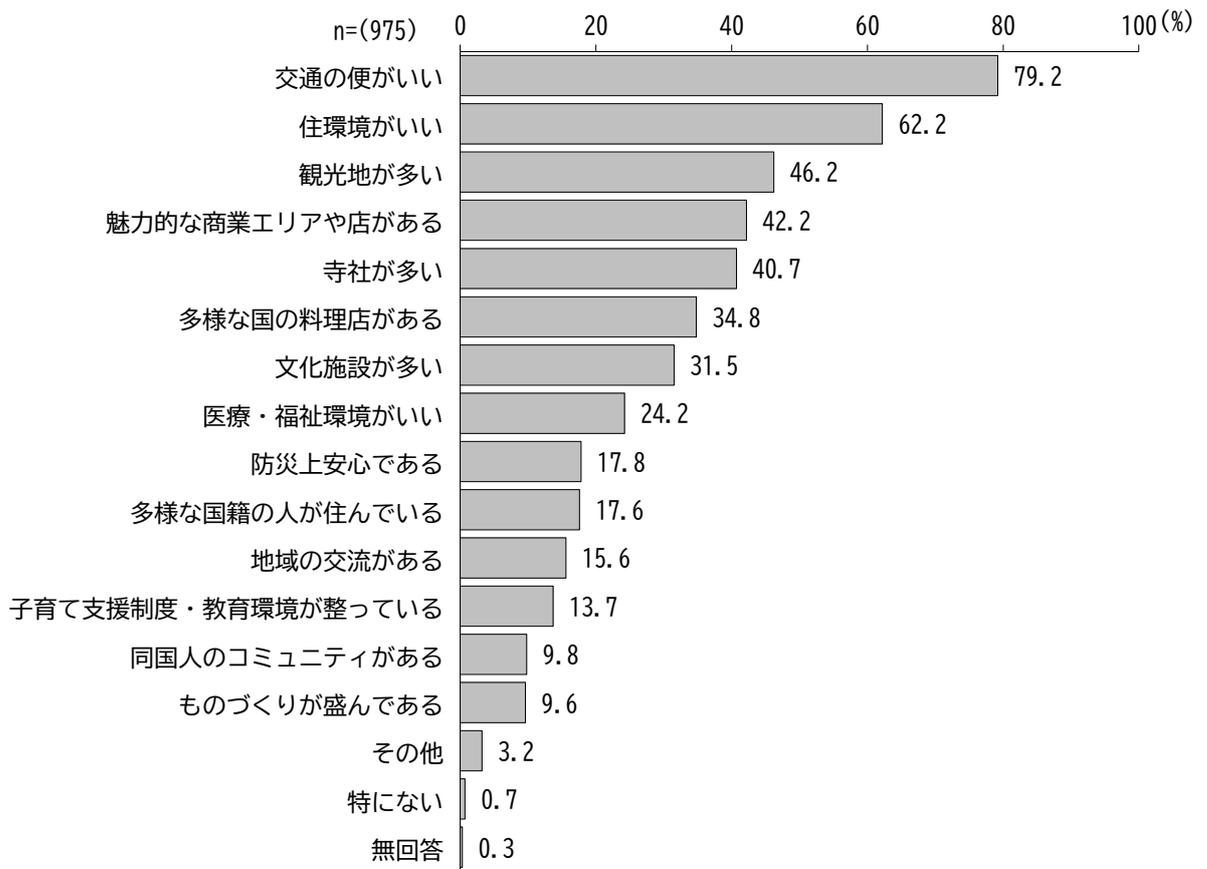
※今回調査より、選択肢「わからない」が削除された。

(13) 台東区の魅力

問12 台東区の魅力は何だと思えますか。(当てはまるもの全てに○)

「交通の便がいい」(79.2%)が最も高く、次いで、「住環境がいい」(62.2%)、「観光地が多い」(46.2%)、「魅力的な商業エリアや店がある」(42.2%)、「寺社が多い」(40.7%)、「多様な国の料理店がある」(34.8%)となっている。

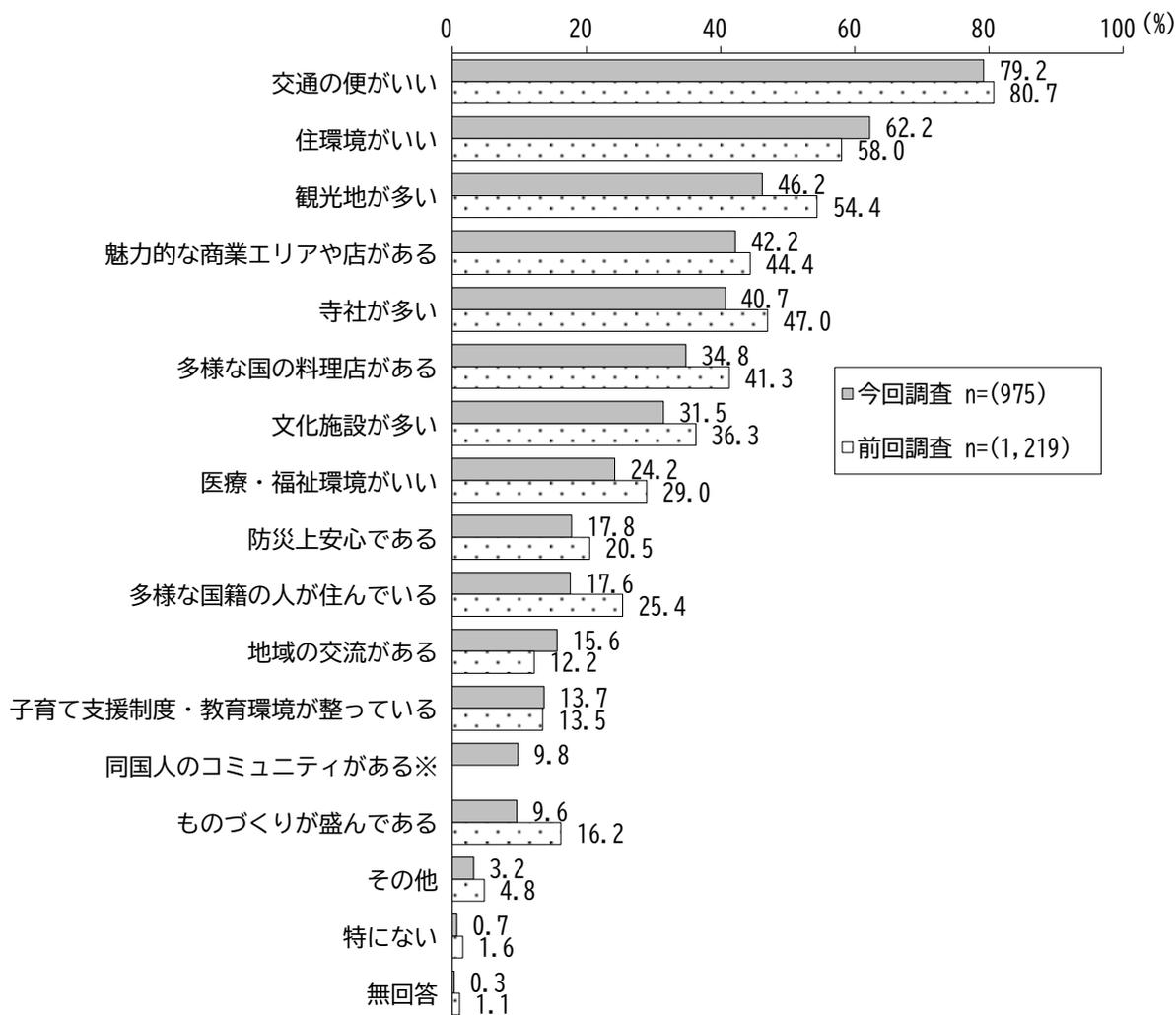
図表 台東区の魅力 (複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、減少している項目が多く、「観光地が多い」が8.2ポイント、「多様な国籍の人が住んでいる」が7.8ポイント、「ものづくりが盛んである」が6.6ポイント、「多様な国の料理店がある」が6.5ポイント、「寺社が多い」が6.3ポイント、いずれも減少している。

図表 【経年比較】台東区の魅力（複数回答）



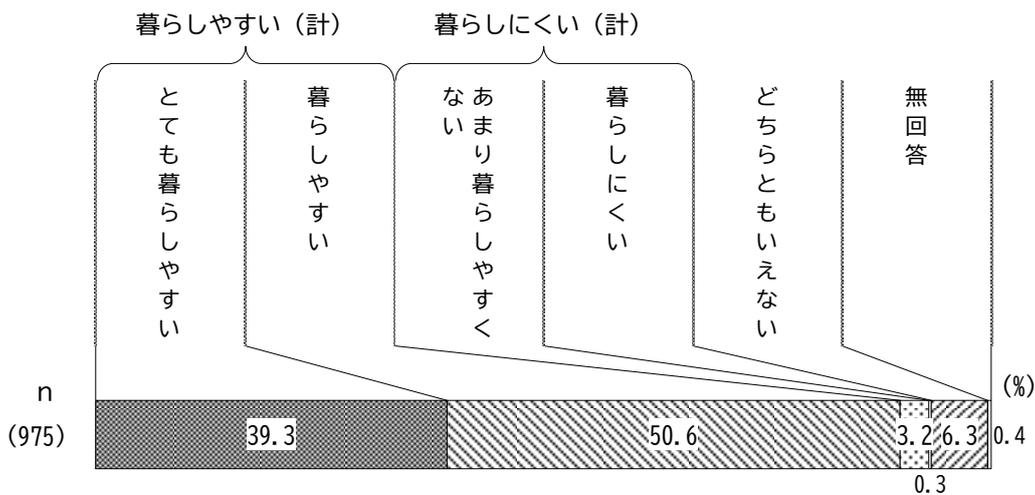
※今回調査より、選択肢「同国人のコミュニティがある」が追加された。

(14) 台東区の暮らしやすさ

問13 台東区は暮らしやすいと思いますか。(ひとつだけ○)

「暮らしやすい」(50.6%)が最も高く、次いで、「とても暮らしやすい」(39.3%)となっている。「とても暮らしやすい」「暮らしやすい」の合計の割合は89.9%、「あまり暮らしやすくない」「暮らしにくい」の合計の割合は3.5%である。

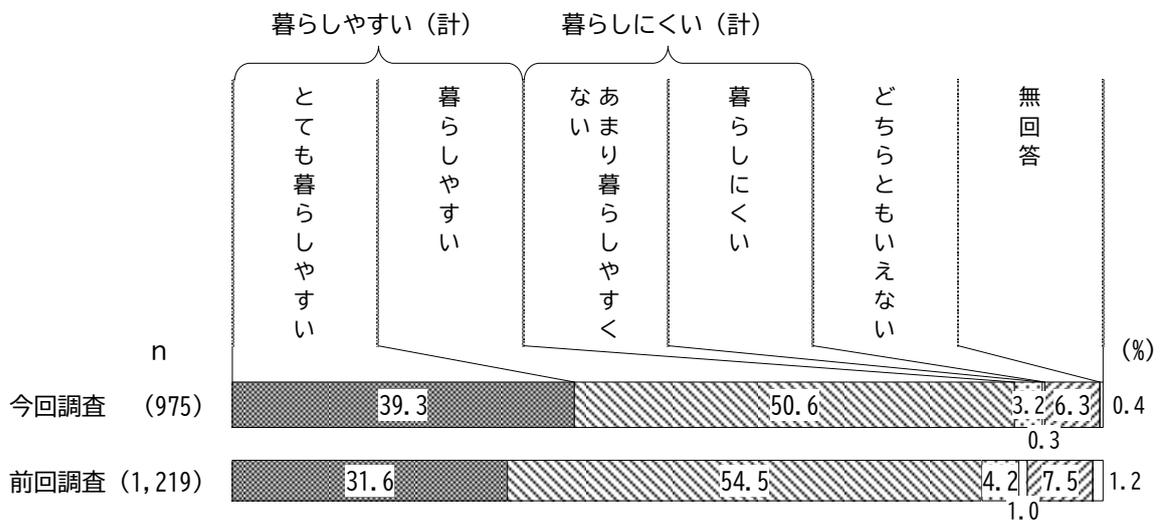
図表 台東区の暮らしやすさ (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「とても暮らしやすい」「暮らしやすい」の合計の割合がやや増加している。

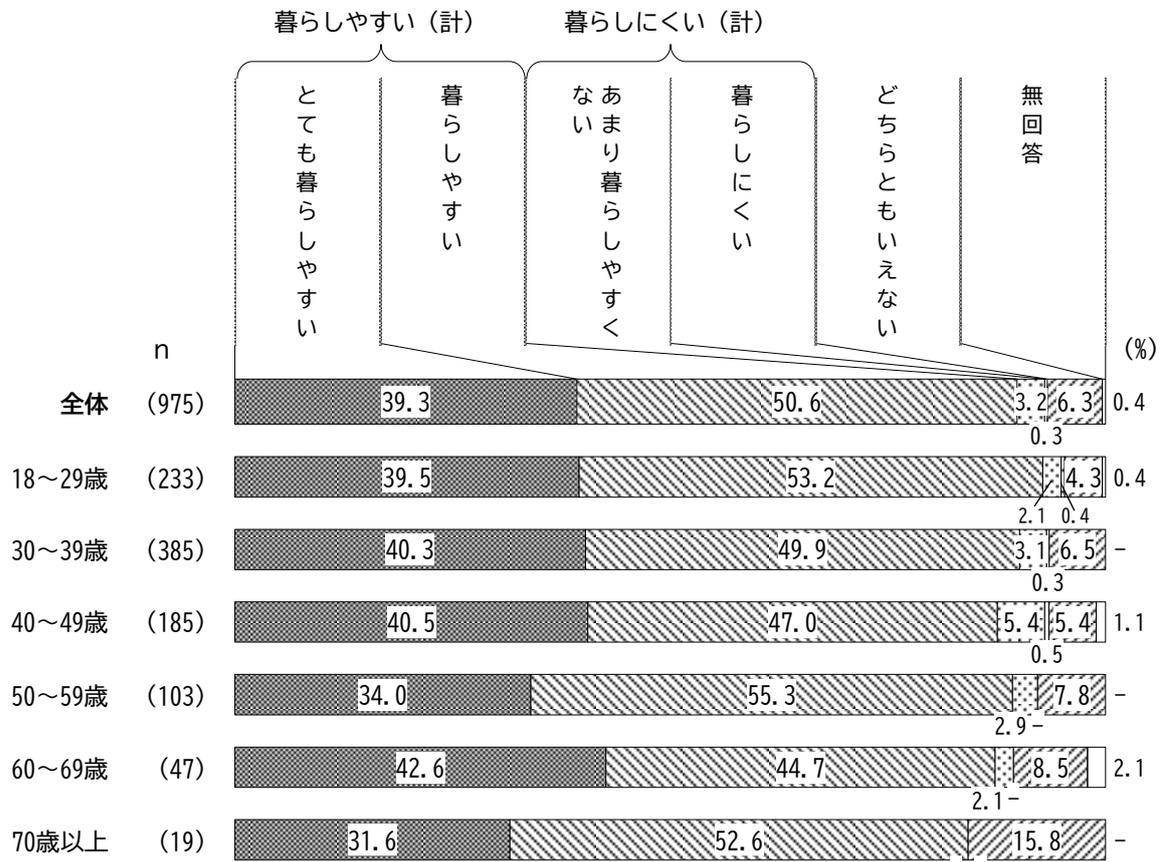
図表 【経年比較】 台東区の暮らしやすさ (単一回答)



【年齢別】

「とても暮らしやすい」「暮らしやすい」の合計の割合をみると、全ての年代において80%以上となっており、特に40歳未満で90%台となっている。

図表 台東区の暮らしやすさ（年齢別）



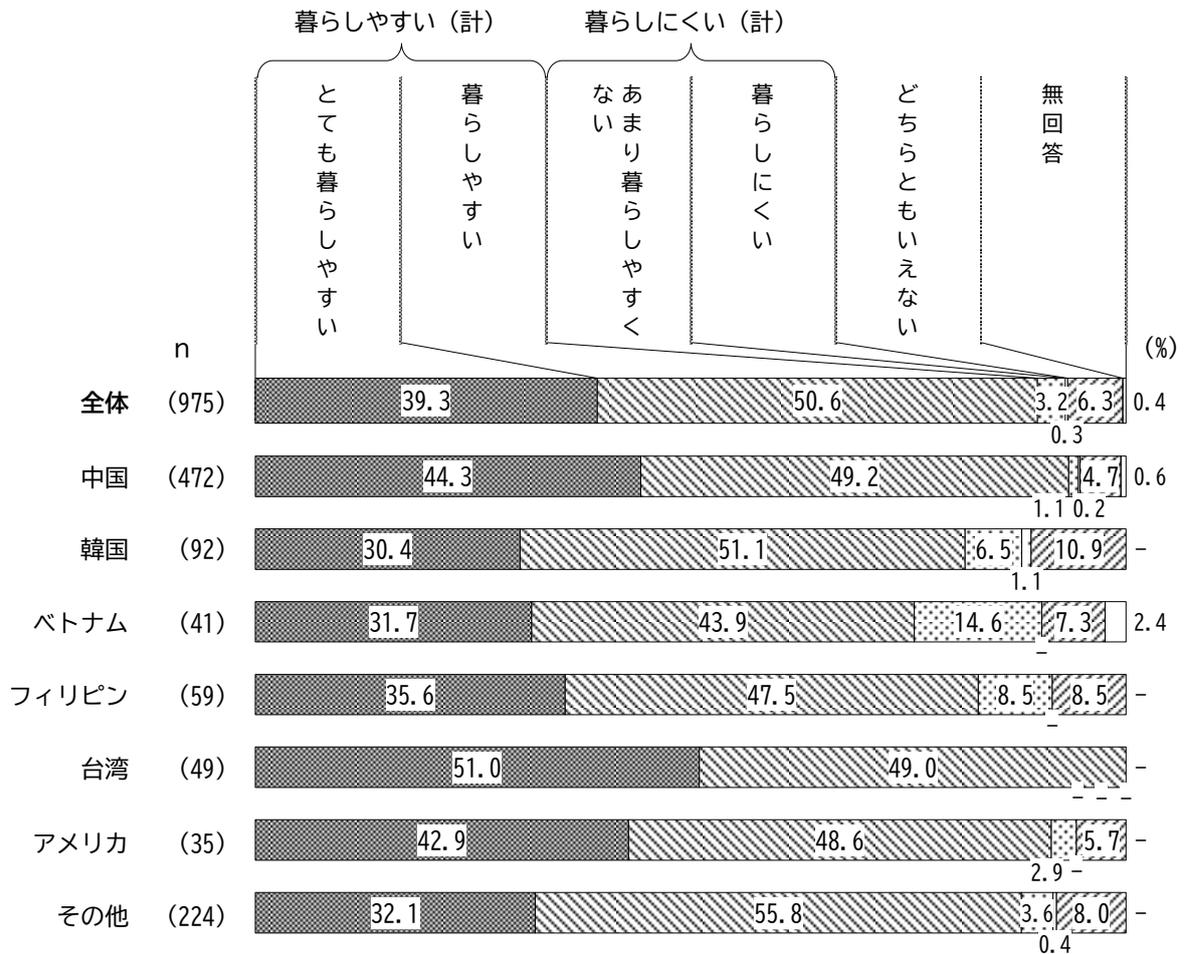
※年齢別のクロス表は、「18～19歳」「20～29歳」を合わせて「18～29歳」に、「70～79歳」「80歳以上」を合わせて「70歳以上」として掲載した（以降同様）。

【国籍別】

「とても暮らしやすい」「暮らしやすい」の合計の割合をみると、「台湾」「中国」「アメリカ」で90%台、「その他」が80%を超えている。

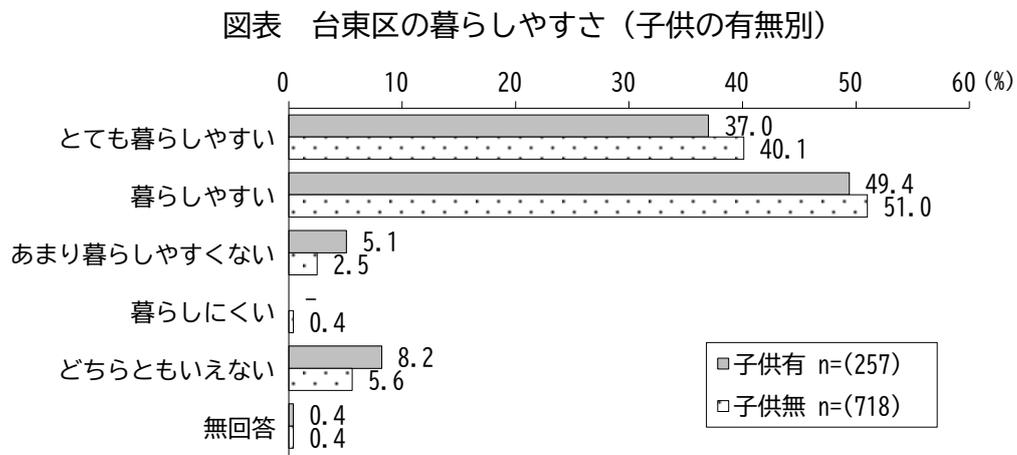
一方で、「韓国」は約80%、「ベトナム」は70%台半ばでやや低い傾向がみられる。

図表 台東区の暮らしやすさ（国籍別）



【子供の有無別】

「子供無」で「とても暮らしやすい」「暮らしやすい」の合計の割合が、「子供有」よりやや高い。



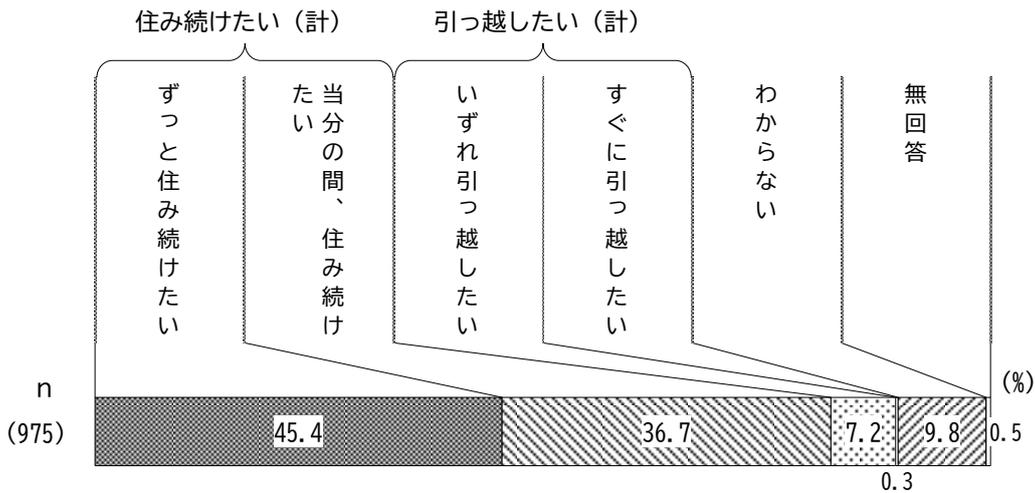
※子供の有無として、調査票問8の選択肢のうち、「子供」の回答者を「子供有」、それ以外を「子供無」として集計している（以降同様）。

(15) 台東区への定住意向

問14 台東区にどのくらいの期間住みたいと思いますか。(ひとつだけ○)

「ずっと住みたい」(45.4%)が最も高く、次いで、「当分の間、住みたい」(36.7%)となっている。

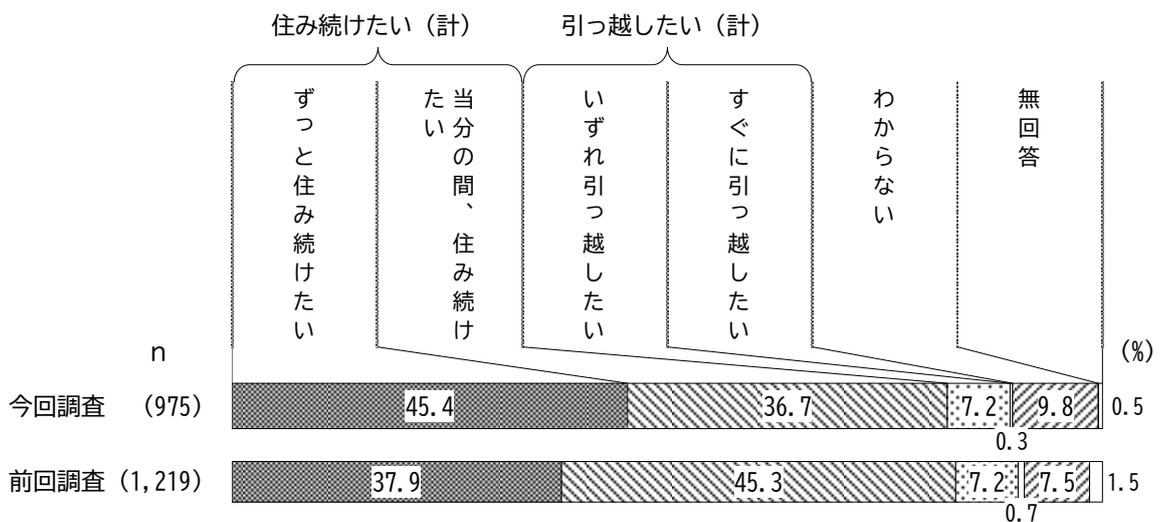
図表 台東区への定住意向 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「ずっと住みたい」が7.5ポイント増加している。一方、「当分の間、住みたい」が8.6ポイント減少している。

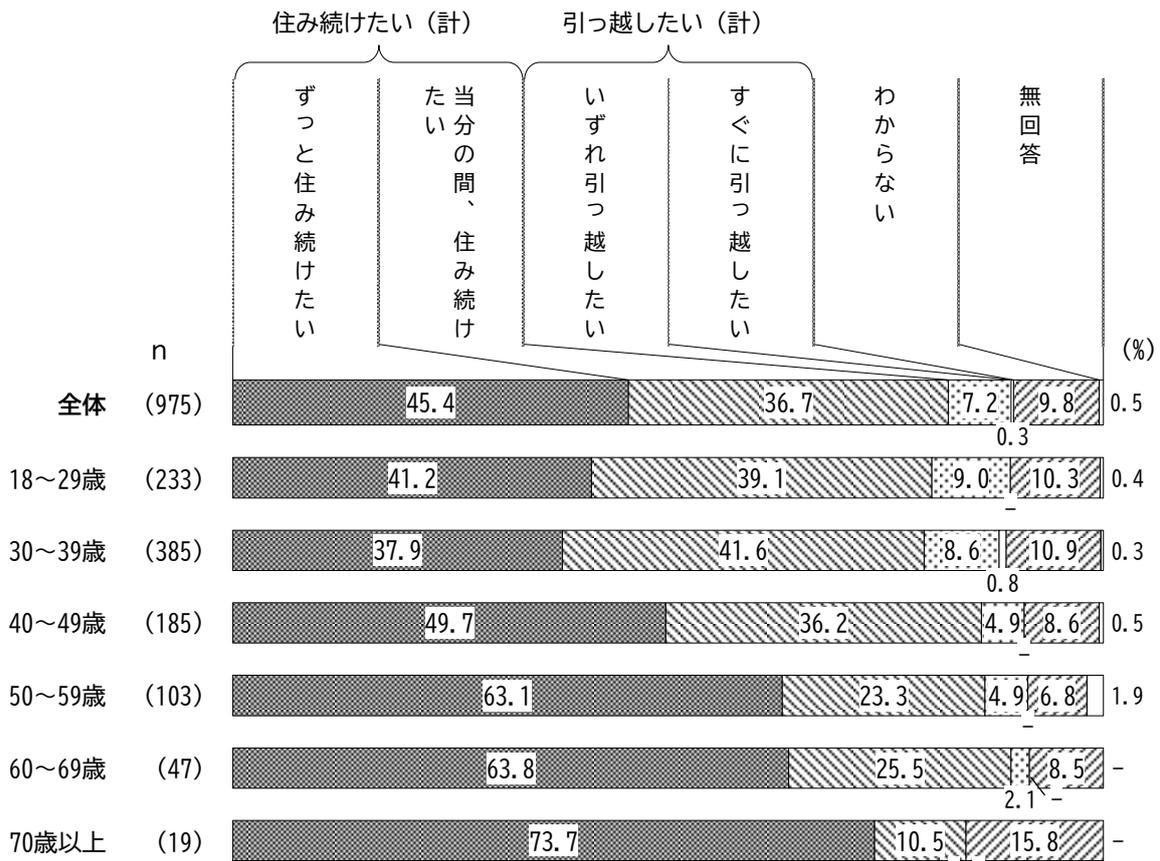
図表 【経年比較】 台東区への定住意向 (単一回答)



【年齢別】

「60～69歳」「50～59歳」で「ずっと住み続けたい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。  
 回答数の少ない「70歳以上」を含め、年代が高くなるにつれて「ずっと住み続けたい」が高くなり、「60～69歳」「50～59歳」では60%台となっている。「30～39歳」「18～29歳」は「当分の間、住み続けたい」が40%前後となっている。

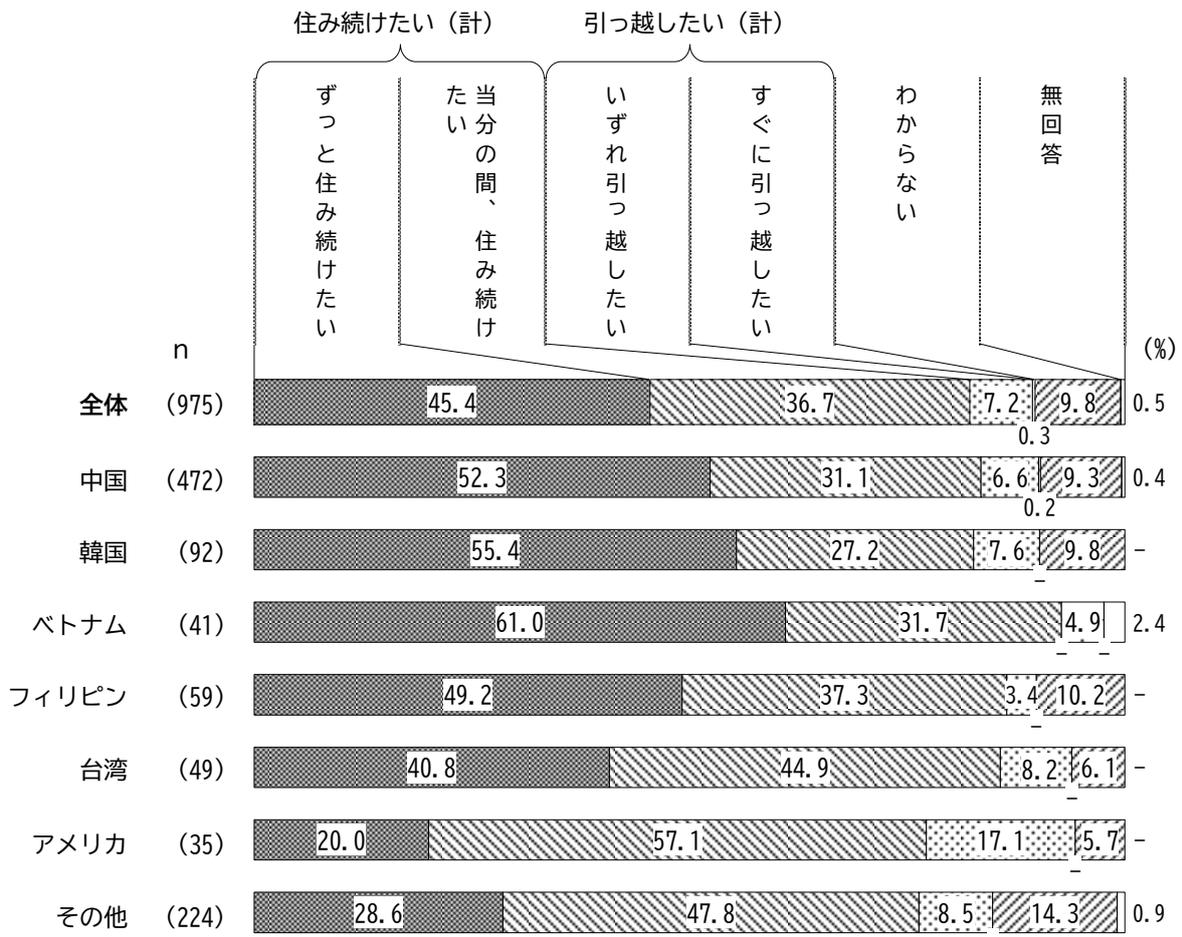
図表 台東区への定住意向（年齢別）



【国籍別】

「中国」「韓国」「ベトナム」で「ずっと住みたい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。一方、「その他」「アメリカ」では「ずっと住みたい」割合が低く、「アメリカ」では半数以上が「当分の間、住みたい」と回答している。

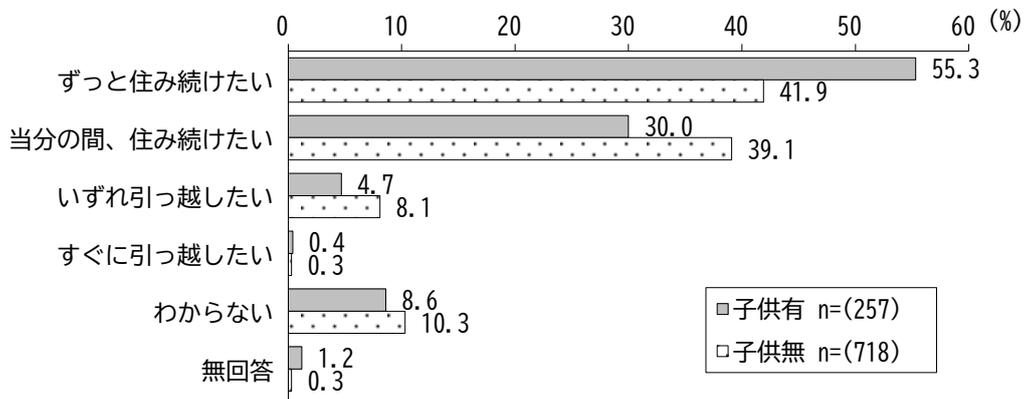
図表 台東区への定住意向（国籍別）



【子供の有無別】

「子供有」で「ずっと住み続けたい」が「子供無」より13.4ポイント高い。  
 一方、「子供無」で「当分の間、住み続けたい」が「子供有」より9.1ポイント高い。

図表 台東区への定住意向（子供の有無別）



## 2. ことばについて

### (1) わかる言語・最も得意な言語

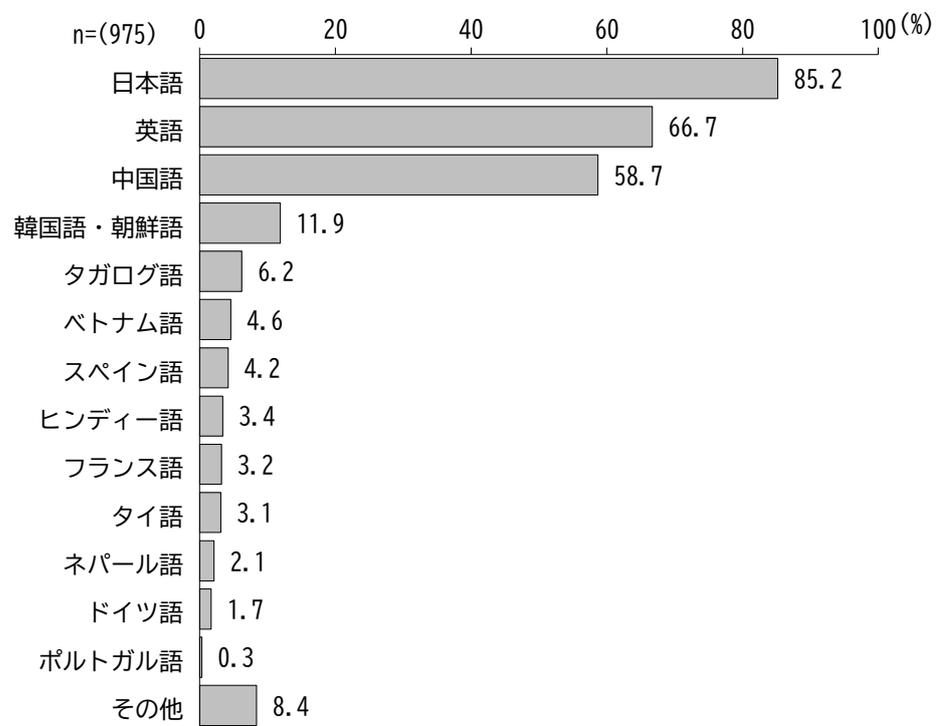
問15 わかる言語はどれですか。(当てはまるもの全てに○)

また、その中で最も得意な言語はどれですか。項目の番号を1つご記入ください。

#### 【① わかる言語】

わかる言語は、「日本語」(85.2%)が最も高く、次いで、「英語」(66.7%)、「中国語」(58.7%)となっている。

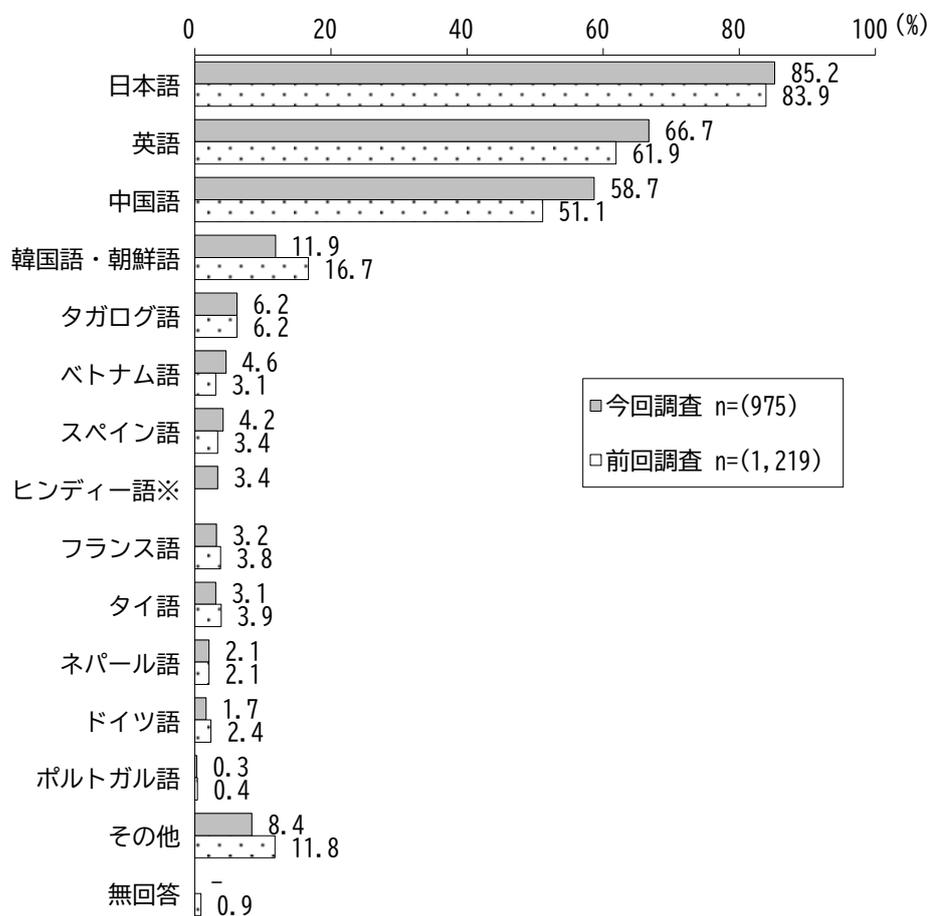
図表 わかる言語（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「中国語」が7.6ポイント増加している。また、「英語」はやや増加している。一方で、「韓国語・朝鮮語」はやや減少している。

図表 【経年比較】わかる言語（複数回答）



※今回調査より、選択肢「ヒンディー語」が追加された。

### 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細

#### 【国籍別】

「英語」は「アメリカ」「フィリピン」「その他」などで90%以上となっている一方で、「ベトナム」で17.1%、「韓国」で39.1%となっている。

「日本語」がわかる割合は、「韓国」「台湾」など東アジア圏の国・地域で高くなっている。

一方、「インド」などは「日本語」がわかる割合が低い傾向があるが、多くの国籍で70%以上が「日本語」がわかると回答している。

図表 わかる言語（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本語	英語	中国語	韓国語・朝鮮語	タガログ語	ベトナム語	スペイン語
全体	975 100.0%	831 85.2%	650 66.7%	572 58.7%	116 11.9%	60 6.2%	45 4.6%	41 4.2%
中国	472 100.0%	412 87.3%	296 62.7%	471 99.8%	21 4.4%	-	3 0.6%	8 1.7%
韓国	92 100.0%	84 91.3%	36 39.1%	5 5.4%	84 91.3%	-	-	-
朝鮮	3 100.0%	3 100.0%	1 33.3%	-	2 66.7%	-	-	-
ベトナム	41 100.0%	35 85.4%	7 17.1%	4 9.8%	-	-	41 100.0%	-
フィリピン	59 100.0%	46 78.0%	55 93.2%	1 1.7%	2 3.4%	59 100.0%	-	5 8.5%
ネパール	21 100.0%	15 71.4%	13 61.9%	-	-	-	-	-
インド	24 100.0%	13 54.2%	23 95.8%	-	-	-	-	-
台湾	49 100.0%	45 91.8%	37 75.5%	49 100.0%	2 4.1%	-	-	-
ミャンマー	17 100.0%	17 100.0%	8 47.1%	-	-	-	-	-
タイ	28 100.0%	19 67.9%	14 50.0%	-	-	-	-	-
アメリカ	35 100.0%	31 88.6%	35 100.0%	5 14.3%	3 8.6%	-	1 2.9%	4 11.4%
フランス	14 100.0%	8 57.1%	14 100.0%	-	-	-	-	1 7.1%
その他	117 100.0%	101 86.3%	109 93.2%	35 29.9%	2 1.7%	-	-	23 19.7%

上段:人数 下段:%	調査数	ヒンディー語	フランス語	タイ語	ネパール語	ドイツ語	ポルトガル語	その他
全体	975 100.0%	33 3.4%	31 3.2%	30 3.1%	20 2.1%	17 1.7%	3 0.3%	82 8.4%
中国	472 100.0%	-	6 1.3%	2 0.4%	-	5 1.1%	-	9 1.9%
韓国	92 100.0%	-	-	-	-	-	-	-
朝鮮	3 100.0%	-	-	-	-	-	-	-
ベトナム	41 100.0%	-	-	-	-	-	-	-
フィリピン	59 100.0%	-	-	-	-	-	-	1 1.7%
ネパール	21 100.0%	9 42.9%	-	-	20 95.2%	-	-	1 4.8%
インド	24 100.0%	23 95.8%	1 4.2%	-	-	-	-	4 16.7%
台湾	49 100.0%	-	-	-	-	-	-	-
ミャンマー	17 100.0%	-	-	1 5.9%	-	-	-	8 47.1%
タイ	28 100.0%	-	-	26 92.9%	-	-	-	1 3.6%
アメリカ	35 100.0%	-	1 2.9%	-	-	-	-	1 2.9%
フランス	14 100.0%	-	14 100.0%	-	-	2 14.3%	-	1 7.1%
その他	117 100.0%	1 0.9%	9 7.7%	1 0.9%	-	10 8.5%	3 2.6%	56 47.9%

※上記のクロス表は、調査票問3の選択肢の国籍をすべて掲載した。

【日本居住年数別】

「5年～10年未満」で「日本語」、「1年～3年未満」から「5年～10年未満」までで「英語」、「1年～3年未満」で「中国語」、「20年以上」で「韓国語・朝鮮語」の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

「日本語」がわかる割合は、3年未満までは70%台であるのに対し、3年以上は80%以上となっている。「英語」がわかる割合は、年数が経つにつれて低くなる傾向がみられ、「20年以上」で最も低く、40%を超えている。

図表 わかる言語（日本居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本語	英語	中国語	韓国語・朝鮮語	タガログ語	ベトナム語	スペイン語
全体	975 100.0%	831 85.2%	650 66.7%	572 58.7%	116 11.9%	60 6.2%	45 4.6%	41 4.2%
1年未満	38 100.0%	28 73.7%	27 71.1%	24 63.2%	1 2.6%	- -	3 7.9%	2 5.3%
1年～3年未満	199 100.0%	155 77.9%	150 75.4%	137 68.8%	10 5.0%	5 2.5%	3 1.5%	10 5.0%
3年～5年未満	120 100.0%	100 83.3%	91 75.8%	75 62.5%	4 3.3%	10 8.3%	8 6.7%	3 2.5%
5年～10年未満	235 100.0%	212 90.2%	175 74.5%	136 57.9%	25 10.6%	12 5.1%	20 8.5%	13 5.5%
10年～20年未満	215 100.0%	188 87.4%	136 63.3%	135 62.8%	24 11.2%	16 7.4%	10 4.7%	9 4.2%
20年以上	155 100.0%	137 88.4%	64 41.3%	56 36.1%	52 33.5%	17 11.0%	1 0.6%	3 1.9%

上段:人数 下段:%	調査数	ヒンディー語	フランス語	タイ語	ネパール語	ドイツ語	ポルトガル語	その他
全体	975 100.0%	33 3.4%	31 3.2%	30 3.1%	20 2.1%	17 1.7%	3 0.3%	82 8.4%
1年未満	38 100.0%	3 7.9%	- -	1 2.6%	3 7.9%	1 2.6%	- -	5 13.2%
1年～3年未満	199 100.0%	6 3.0%	7 3.5%	6 3.0%	8 4.0%	5 2.5%	- -	18 9.0%
3年～5年未満	120 100.0%	4 3.3%	4 3.3%	2 1.7%	3 2.5%	2 1.7%	- -	11 9.2%
5年～10年未満	235 100.0%	4 1.7%	14 6.0%	8 3.4%	2 0.9%	4 1.7%	2 0.9%	26 11.1%
10年～20年未満	215 100.0%	6 2.8%	4 1.9%	7 3.3%	4 1.9%	4 1.9%	1 0.5%	14 6.5%
20年以上	155 100.0%	9 5.8%	2 1.3%	5 3.2%	- -	1 0.6%	- -	7 4.5%

※日本居住年数別のクロス表は、「50年以上」が回答数30以下であるため、「20年以上～50年未満」「50年以上」を合わせて「20年以上」として掲載している（以降同様）。

【年齢別】

「日本語」「英語」「中国語」は、年齢が若いほど割合がおおむね高い傾向にある。

「18～29歳」で「英語」「中国語」、「30～39歳」で「英語」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。「50～59歳」「60～69歳」で「韓国語・朝鮮語」「タガログ語」が全体平均と比較して5ポイント以上高いものの、「英語」「中国語」は5ポイント以上低い。

図表 わかる言語（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本語	英語	中国語	韓国語・朝鮮語	タガログ語	ベトナム語	スペイン語
全体	975 100.0%	831 85.2%	650 66.7%	572 58.7%	116 11.9%	60 6.2%	45 4.6%	41 4.2%
18～29歳	233 100.0%	210 90.1%	171 73.4%	158 67.8%	16 6.9%	7 3.0%	23 9.9%	7 3.0%
30～39歳	385 100.0%	341 88.6%	297 77.1%	233 60.5%	34 8.8%	19 4.9%	19 4.9%	22 5.7%
40～49歳	185 100.0%	146 78.9%	112 60.5%	109 58.9%	21 11.4%	12 6.5%	3 1.6%	8 4.3%
50～59歳	103 100.0%	82 79.6%	50 48.5%	48 46.6%	21 20.4%	15 14.6%	-	3 2.9%
60～69歳	47 100.0%	37 78.7%	12 25.5%	16 34.0%	18 38.3%	5 10.6%	-	1 2.1%
70歳以上	19 100.0%	13 68.4%	6 31.6%	6 31.6%	6 31.6%	1 5.3%	-	-

上段:人数 下段:%	調査数	ヒンディー語	フランス語	タイ語	ネパール語	ドイツ語	ポルトガル語	その他
全体	975 100.0%	33 3.4%	31 3.2%	30 3.1%	20 2.1%	17 1.7%	3 0.3%	82 8.4%
18～29歳	233 100.0%	5 2.1%	5 2.1%	1 0.4%	10 4.3%	5 2.1%	-	20 8.6%
30～39歳	385 100.0%	14 3.6%	13 3.4%	14 3.6%	6 1.6%	7 1.8%	1 0.3%	41 10.6%
40～49歳	185 100.0%	9 4.9%	10 5.4%	9 4.9%	2 1.1%	5 2.7%	1 0.5%	14 7.6%
50～59歳	103 100.0%	4 3.9%	3 2.9%	4 3.9%	2 1.9%	-	1 1.0%	5 4.9%
60～69歳	47 100.0%	1 2.1%	-	2 4.3%	-	-	-	2 4.3%
70歳以上	19 100.0%	-	-	-	-	-	-	-

【居住地域別】

「英語」は「馬道地区」「浅草橋地区」「浅草寿地区」「金杉地区」で70%台となっている一方で、「上野地区」で48.6%、「清川地区」で58.2%となっている。「中国語」は「雷門地区」で70%、「入谷地区」「浅草橋地区」で60%台となっている。

「日本語」がわかる割合は、「上野地区」を除き、いずれの地区も80%以上となっており、特に「馬道地区」「東上野地区」では90%台となっている。

図表 わかる言語（居住地域別）

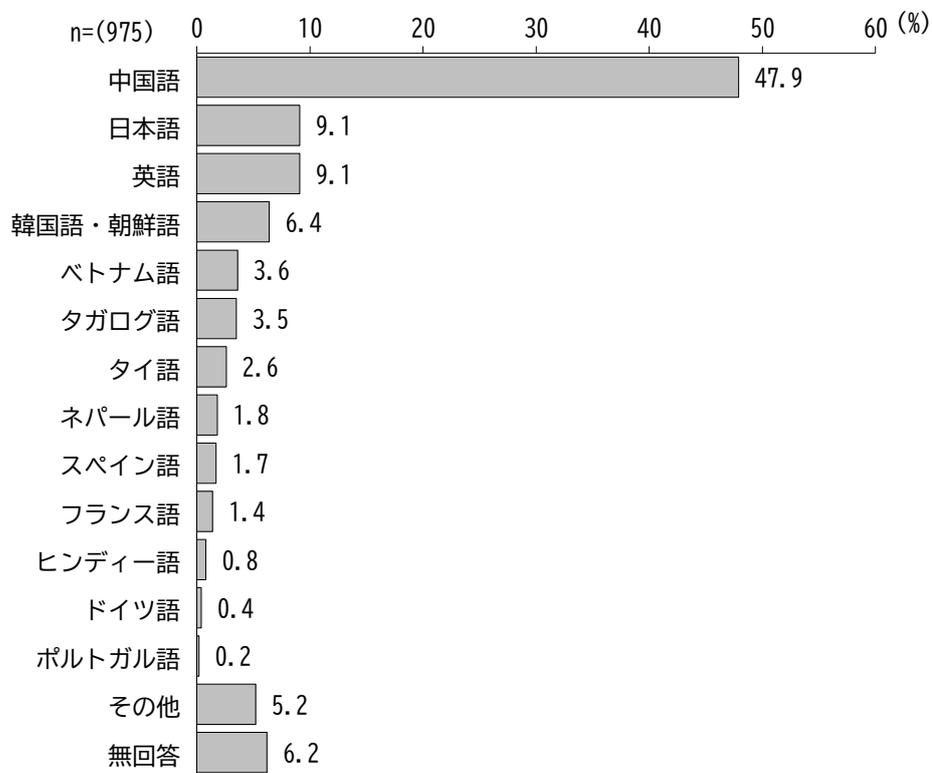
上段:人数 下段:%	調査数	日本語	英語	中国語	韓国語・朝鮮語	タガログ語	ベトナム語	スペイン語
全体	975 100.0%	831 85.2%	650 66.7%	572 58.7%	116 11.9%	60 6.2%	45 4.6%	41 4.2%
竹町地区	40 100.0%	33 82.5%	27 67.5%	18 45.0%	8 20.0%	2 5.0%	- -	2 5.0%
東上野地区	133 100.0%	121 91.0%	93 69.9%	72 54.1%	15 11.3%	13 9.8%	10 7.5%	4 3.0%
上野地区	105 100.0%	80 76.2%	51 48.6%	61 58.1%	13 12.4%	4 3.8%	7 6.7%	4 3.8%
入谷地区	211 100.0%	181 85.8%	133 63.0%	142 67.3%	16 7.6%	6 2.8%	11 5.2%	8 3.8%
金杉地区	46 100.0%	39 84.8%	33 71.7%	26 56.5%	9 19.6%	4 8.7%	1 2.2%	1 2.2%
谷中地区	21 100.0%	18 85.7%	13 61.9%	4 19.0%	4 19.0%	- -	- -	- -
浅草橋地区	128 100.0%	111 86.7%	95 74.2%	81 63.3%	14 10.9%	13 10.2%	7 5.5%	6 4.7%
浅草寿地区	104 100.0%	89 85.6%	77 74.0%	55 52.9%	15 14.4%	6 5.8%	3 2.9%	6 5.8%
雷門地区	53 100.0%	45 84.9%	37 69.8%	38 71.7%	3 5.7%	2 3.8%	3 5.7%	4 7.5%
馬道地区	53 100.0%	50 94.3%	41 77.4%	30 56.6%	9 17.0%	6 11.3%	- -	2 3.8%
清川地区	67 100.0%	56 83.6%	39 58.2%	39 58.2%	8 11.9%	3 4.5%	2 3.0%	4 6.0%

上段:人数 下段:%	調査数	ヒンディー語	フランス語	タイ語	ネパール語	ドイツ語	ポルトガル語	その他
全体	975 100.0%	33 3.4%	31 3.2%	30 3.1%	20 2.1%	17 1.7%	3 0.3%	82 8.4%
竹町地区	40 100.0%	4 10.0%	2 5.0%	2 5.0%	- -	1 2.5%	- -	2 5.0%
東上野地区	133 100.0%	8 6.0%	3 2.3%	1 0.8%	4 3.0%	2 1.5%	- -	14 10.5%
上野地区	105 100.0%	3 2.9%	2 1.9%	5 4.8%	2 1.9%	- -	- -	5 4.8%
入谷地区	211 100.0%	4 1.9%	4 1.9%	5 2.4%	7 3.3%	3 1.4%	2 0.9%	20 9.5%
金杉地区	46 100.0%	1 2.2%	3 6.5%	4 8.7%	1 2.2%	1 2.2%	- -	6 13.0%
谷中地区	21 100.0%	1 4.8%	1 4.8%	4 19.0%	2 9.5%	- -	- -	1 4.8%
浅草橋地区	128 100.0%	3 2.3%	3 2.3%	2 1.6%	1 0.8%	2 1.6%	1 0.8%	5 3.9%
浅草寿地区	104 100.0%	4 3.8%	5 4.8%	4 3.8%	3 2.9%	3 2.9%	- -	7 6.7%
雷門地区	53 100.0%	1 1.9%	3 5.7%	- -	- -	1 1.9%	- -	9 17.0%
馬道地区	53 100.0%	- -	3 5.7%	- -	- -	3 5.7%	- -	4 7.5%
清川地区	67 100.0%	- -	1 1.5%	2 3.0%	- -	1 1.5%	- -	9 13.4%

【② 最も得意な言語】

わかる言語の中で、最も得意な言語は、「中国語」(47.9%)が最も高く、次いで、「日本語」「英語」(ともに9.1%)、「韓国語・朝鮮語」(6.4%)となっている。

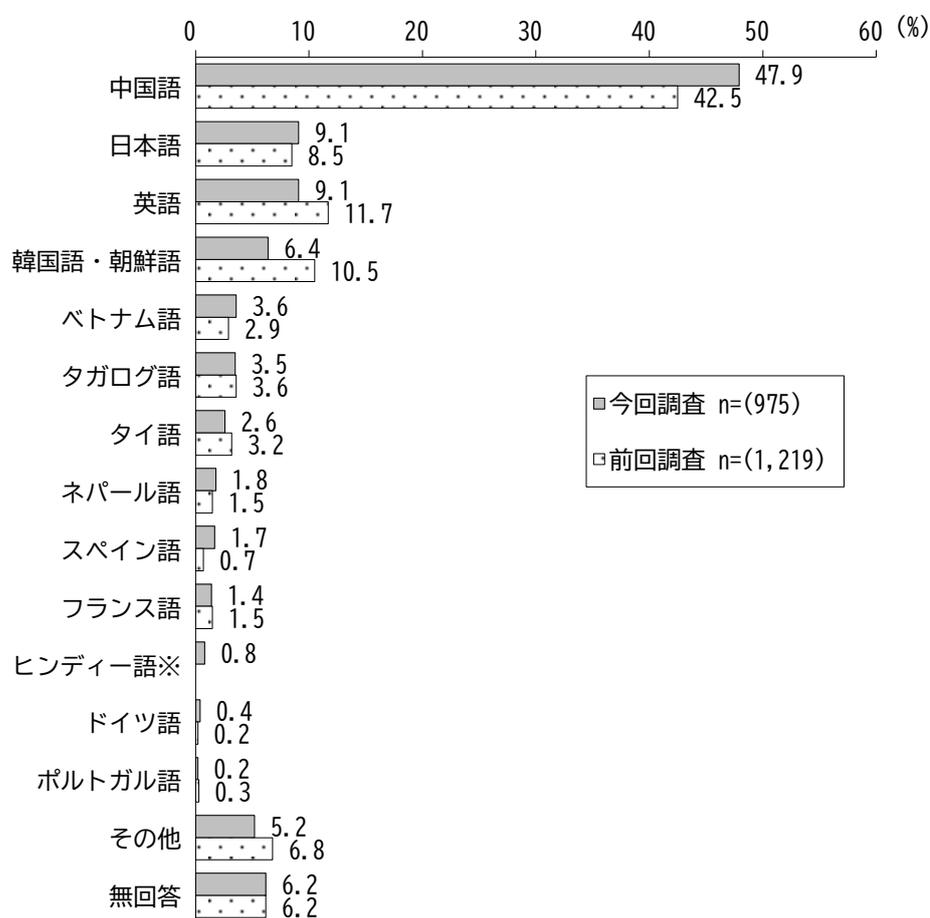
図表 最も得意な言語 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「中国語」が5.4ポイント増加している。また、「日本語」は、前回4位から今回2位へと上昇している。

図表 【経年比較】最も得意な言語（単一回答）



※今回調査より、選択肢「ヒンディー語」が追加された。

### 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細

#### 【国籍別】

「韓国」で「日本語」の割合が約30%となっており、全体平均と比較して5ポイント以上高い。「英語」の割合は「アメリカ」とともに「その他」で高くなっている。

図表 最も得意な言語（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	中国語	日本語	英語	韓国語・朝鮮語	ベトナム語	タガログ語	タイ語	ネパール語
全体	975	467	89	89	62	35	34	25	18
	100.0%	47.9%	9.1%	9.1%	6.4%	3.6%	3.5%	2.6%	1.8%
中国	472	412	30	-	4	-	-	-	-
	100.0%	87.3%	6.4%	-	0.8%	-	-	-	-
韓国	92	-	28	1	58	-	-	-	-
	100.0%	-	30.4%	1.1%	63.0%	-	-	-	-
朝鮮	3	-	3	-	-	-	-	-	-
	100.0%	-	100.0%	-	-	-	-	-	-
ベトナム	41	-	2	-	-	35	-	-	-
	100.0%	-	4.9%	-	-	85.4%	-	-	-
フィリピン	59	-	1	7	-	-	34	-	-
	100.0%	-	1.7%	11.9%	-	-	57.6%	-	-
ネパール	21	-	1	1	-	-	-	-	18
	100.0%	-	4.8%	4.8%	-	-	-	-	85.7%
インド	24	-	-	11	-	-	-	-	-
	100.0%	-	-	45.8%	-	-	-	-	-
台湾	49	42	4	3	-	-	-	-	-
	100.0%	85.7%	8.2%	6.1%	-	-	-	-	-
ミャンマー	17	-	8	-	-	-	-	-	-
	100.0%	-	47.1%	-	-	-	-	-	-
タイ	28	-	1	-	-	-	-	25	-
	100.0%	-	3.6%	-	-	-	-	89.3%	-
アメリカ	35	-	2	32	-	-	-	-	-
	100.0%	-	5.7%	91.4%	-	-	-	-	-
フランス	14	-	-	2	-	-	-	-	-
	100.0%	-	-	14.3%	-	-	-	-	-
その他	117	11	9	32	-	-	-	-	-
	100.0%	9.4%	7.7%	27.4%	-	-	-	-	-

上段:人数 下段:%	調査数	スペイン語	フランス語	ヒンディー語	ドイツ語	ポルトガル語	その他	無回答
全体	975	17	14	8	4	2	51	60
	100.0%	1.7%	1.4%	0.8%	0.4%	0.2%	5.2%	6.2%
中国	472	-	-	-	1	-	5	20
	100.0%	-	-	-	0.2%	-	1.1%	4.2%
韓国	92	-	-	-	-	-	-	5
	100.0%	-	-	-	-	-	-	5.4%
朝鮮	3	-	-	-	-	-	-	-
	100.0%	-	-	-	-	-	-	-
ベトナム	41	-	-	-	-	-	-	4
	100.0%	-	-	-	-	-	-	9.8%
フィリピン	59	-	-	-	-	-	1	16
	100.0%	-	-	-	-	-	1.7%	27.1%
ネパール	21	-	-	-	-	-	-	1
	100.0%	-	-	-	-	-	-	4.8%
インド	24	-	-	8	-	-	2	3
	100.0%	-	-	33.3%	-	-	8.3%	12.5%
台湾	49	-	-	-	-	-	-	-
	100.0%	-	-	-	-	-	-	-
ミャンマー	17	-	-	-	-	-	8	1
	100.0%	-	-	-	-	-	47.1%	5.9%
タイ	28	-	-	-	-	-	-	2
	100.0%	-	-	-	-	-	-	7.1%
アメリカ	35	-	-	-	-	-	-	1
	100.0%	-	-	-	-	-	-	2.9%
フランス	14	-	12	-	-	-	-	-
	100.0%	-	85.7%	-	-	-	-	-
その他	117	17	2	-	3	2	35	6
	100.0%	14.5%	1.7%	-	2.6%	1.7%	29.9%	5.1%

※上記のクロス表は、調査票問3の選択肢の国籍をすべて掲載した。

【日本居住年数別】

「中国語」の割合は「1年未満」「1年～3年未満」で全体平均と比較して5ポイント以上高く、「20年以上」で23.2%と低くなっている。「20年以上」で「日本語」「韓国語・朝鮮語」の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 最も得意な言語（日本居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	中国語	日本語	英語	韓国語・朝鮮語	ベトナム語	タガログ語	タイ語	ネパール語
全体	975 100.0%	467 47.9%	89 9.1%	89 9.1%	62 6.4%	35 3.6%	34 3.5%	25 2.6%	18 1.8%
1年未満	38 100.0%	21 55.3%	- -	4 10.5%	1 2.6%	3 7.9%	- -	1 2.6%	3 7.9%
1年～3年未満	199 100.0%	121 60.8%	15 7.5%	17 8.5%	3 1.5%	3 1.5%	2 1.0%	5 2.5%	6 3.0%
3年～5年未満	120 100.0%	63 52.5%	6 5.0%	14 11.7%	3 2.5%	7 5.8%	4 3.3%	2 1.7%	3 2.5%
5年～10年未満	235 100.0%	113 48.1%	12 5.1%	22 9.4%	16 6.8%	15 6.4%	4 1.7%	6 2.6%	2 0.9%
10年～20年未満	215 100.0%	106 49.3%	13 6.0%	23 10.7%	14 6.5%	7 3.3%	11 5.1%	6 2.8%	4 1.9%
20年以上	155 100.0%	36 23.2%	41 26.5%	8 5.2%	25 16.1%	- -	13 8.4%	4 2.6%	- -

上段:人数 下段:%	調査数	スペイン語	フランス語	ヒンディー語	ドイツ語	ポルトガル語	その他	無回答
全体	975 100.0%	17 1.7%	14 1.4%	8 0.8%	4 0.4%	2 0.2%	51 5.2%	60 6.2%
1年未満	38 100.0%	2 5.3%	- -	- -	- -	- -	3 7.9%	- -
1年～3年未満	199 100.0%	3 1.5%	4 2.0%	- -	- -	- -	12 6.0%	8 4.0%
3年～5年未満	120 100.0%	- -	3 2.5%	2 1.7%	- -	- -	6 5.0%	7 5.8%
5年～10年未満	235 100.0%	8 3.4%	5 2.1%	- -	2 0.9%	2 0.9%	15 6.4%	13 5.5%
10年～20年未満	215 100.0%	3 1.4%	2 0.9%	1 0.5%	1 0.5%	- -	9 4.2%	15 7.0%
20年以上	155 100.0%	1 0.6%	- -	5 3.2%	1 0.6%	- -	6 3.9%	15 9.7%

【居住地域別】

「竹町地区」で「韓国語・朝鮮語」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

「中国語」は「雷門地区」「入谷地区」「馬道地区」で50%台となっている。「日本語」が最も得意な割合は、「浅草橋地区」「浅草寿地区」「馬道地区」で10%台となっている。

図表 最も得意な言語（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	中国語	日本語	英語	韓国語・朝鮮語	ベトナム語	タガログ語	タイ語	ネパール語
全体	975 100.0%	467 47.9%	89 9.1%	89 9.1%	62 6.4%	35 3.6%	34 3.5%	25 2.6%	18 1.8%
竹町地区	40 100.0%	16 40.0%	1 2.5%	4 10.0%	7 17.5%	- -	1 2.5%	2 5.0%	- -
東上野地区	133 100.0%	61 45.9%	11 8.3%	13 9.8%	7 5.3%	8 6.0%	9 6.8%	1 0.8%	3 2.3%
上野地区	105 100.0%	52 49.5%	10 9.5%	6 5.7%	7 6.7%	6 5.7%	2 1.9%	4 3.8%	2 1.9%
入谷地区	211 100.0%	114 54.0%	16 7.6%	20 9.5%	11 5.2%	7 3.3%	4 1.9%	4 1.9%	7 3.3%
金杉地区	46 100.0%	22 47.8%	4 8.7%	3 6.5%	3 6.5%	1 2.2%	3 6.5%	3 6.5%	1 2.2%
谷中地区	21 100.0%	4 19.0%	2 9.5%	5 23.8%	2 9.5%	- -	- -	4 19.0%	2 9.5%
浅草橋地区	128 100.0%	63 49.2%	15 11.7%	12 9.4%	7 5.5%	6 4.7%	5 3.9%	2 1.6%	- -
浅草寿地区	104 100.0%	42 40.4%	14 13.5%	11 10.6%	7 6.7%	3 2.9%	4 3.8%	3 2.9%	3 2.9%
雷門地区	53 100.0%	29 54.7%	3 5.7%	2 3.8%	1 1.9%	1 1.9%	2 3.8%	- -	- -
馬道地区	53 100.0%	27 50.9%	7 13.2%	5 9.4%	4 7.5%	- -	3 5.7%	- -	- -
清川地区	67 100.0%	31 46.3%	6 9.0%	7 10.4%	5 7.5%	2 3.0%	- -	1 1.5%	- -

上段:人数 下段:%	調査数	スペイン語	フランス語	ヒンディー語	ドイツ語	ポルトガル語	その他	無回答
全体	975 100.0%	17 1.7%	14 1.4%	8 0.8%	4 0.4%	2 0.2%	51 5.2%	60 6.2%
竹町地区	40 100.0%	- -	2 5.0%	3 7.5%	- -	- -	2 5.0%	2 5.0%
東上野地区	133 100.0%	1 0.8%	1 0.8%	1 0.8%	- -	- -	9 6.8%	8 6.0%
上野地区	105 100.0%	2 1.9%	- -	- -	- -	- -	4 3.8%	10 9.5%
入谷地区	211 100.0%	2 0.9%	2 0.9%	- -	- -	2 0.9%	12 5.7%	10 4.7%
金杉地区	46 100.0%	- -	1 2.2%	- -	1 2.2%	- -	4 8.7%	- -
谷中地区	21 100.0%	- -	1 4.8%	- -	- -	- -	1 4.8%	- -
浅草橋地区	128 100.0%	3 2.3%	1 0.8%	1 0.8%	- -	- -	3 2.3%	10 7.8%
浅草寿地区	104 100.0%	3 2.9%	2 1.9%	1 1.0%	1 1.0%	- -	4 3.8%	6 5.8%
雷門地区	53 100.0%	4 7.5%	1 1.9%	- -	- -	- -	6 11.3%	4 7.5%
馬道地区	53 100.0%	1 1.9%	2 3.8%	- -	1 1.9%	- -	1 1.9%	2 3.8%
清川地区	67 100.0%	1 1.5%	1 1.5%	- -	1 1.5%	- -	5 7.5%	7 10.4%

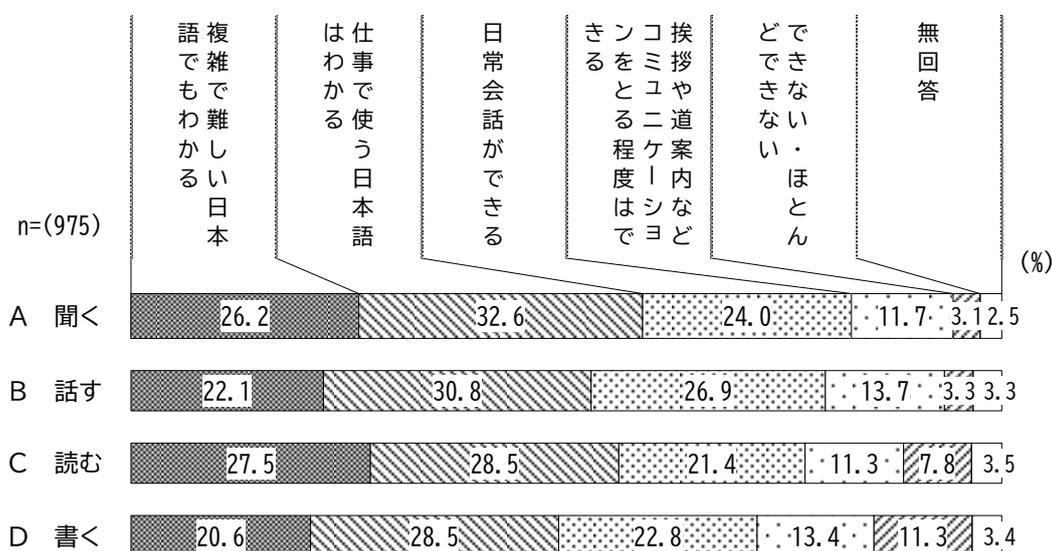
(2) 日本語の習得度

問16 あなたはどのくらい日本語ができますか。(それぞれひとつに○)

「A. 聞く」「B. 話す」「C. 読む」の習得度は、「複雑で難しい日本語でもわかる」「仕事で使う日本語はわかる」「日常会話ができる」の合計の割合が80%前後となっている。「D. 書く」の習得度は、「複雑で難しい日本語でもわかる」「仕事で使う日本語はわかる」「日常会話ができる」の合計の割合が71.9%となっている。

一方、「できない・ほとんどできない」は、「聞く」「話す」は3%台だが、「読む」は7.8%、「書く」は11.3%となっている。

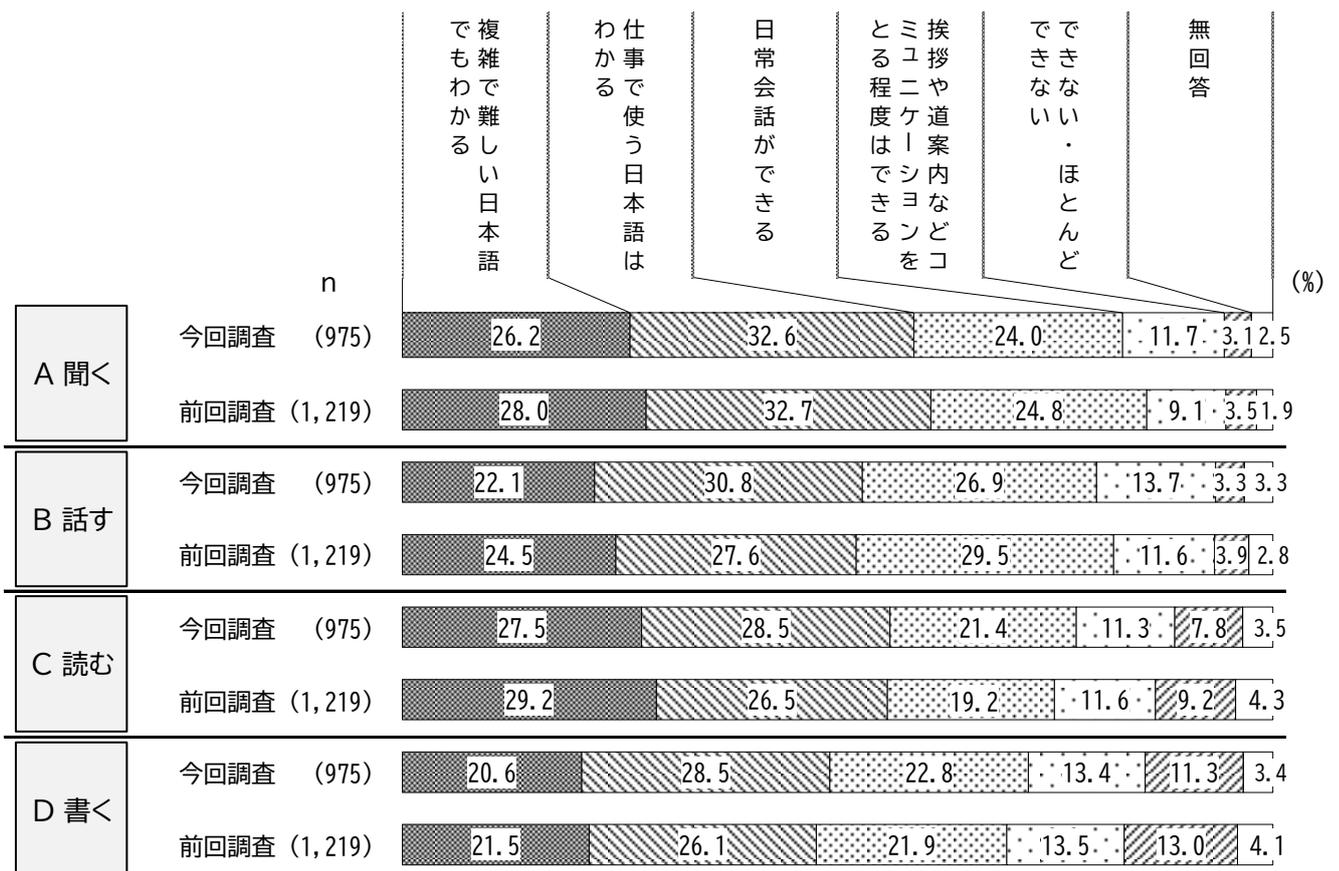
図表 日本語の習得度 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較で、「複雑で難しい日本語でもわかる」「仕事で使う日本語はわかる」「日常会話ができる」の合計の割合をみると、「A. 聞く」「B. 話す」は前回からわずかに減少している一方、「C. 読む」「D. 書く」はわずかに増加している。

図表 【経年比較】日本語の習得度（単一回答）

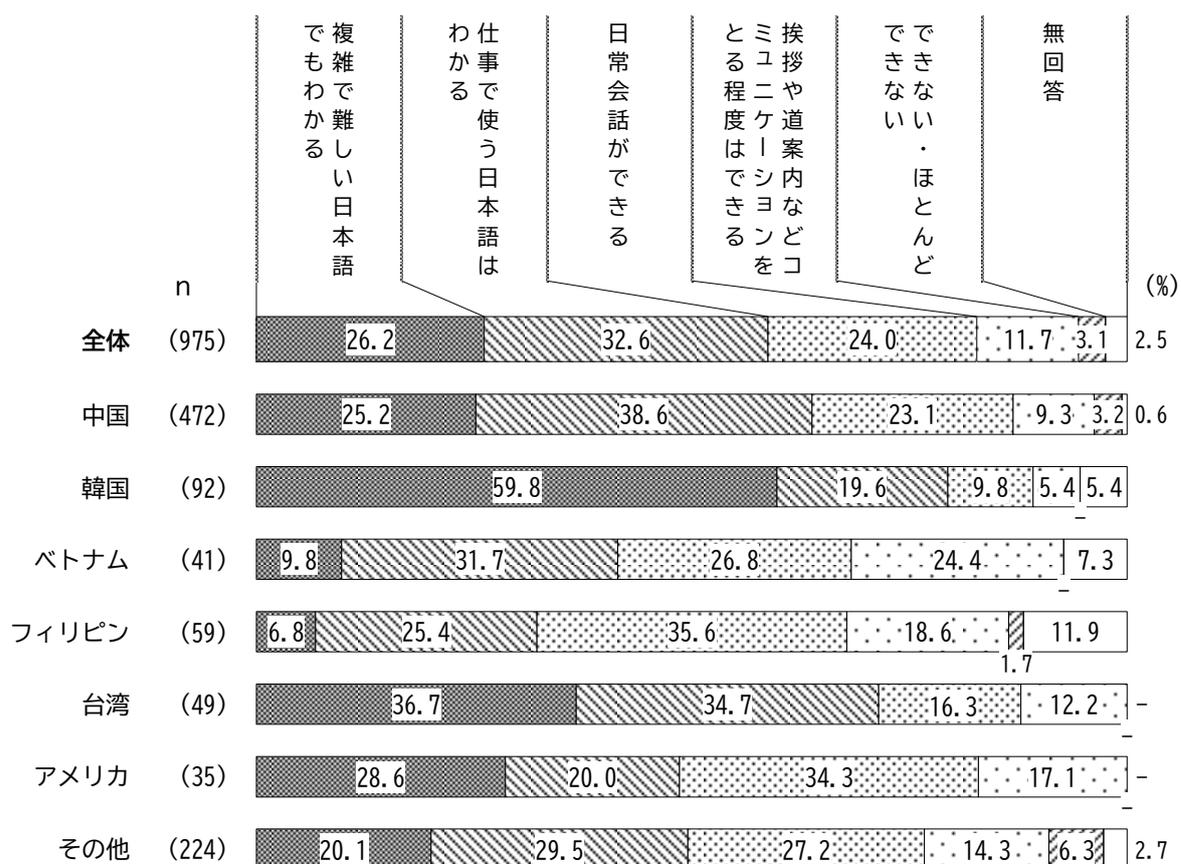


【A. 聞く（国籍別）】

「複雑で難しい日本語でもわかる」は「韓国」「台湾」で全体平均と比較して5ポイント以上高い一方で、「フィリピン」「ベトナム」で低くなっている。

「日常会話ができる」レベル以上でみると、「韓国」「台湾」「中国」「アメリカ」といった国・地域では80%台となっているが、「その他」では76.8%、「ベトナム」「フィリピン」では60%台となっており、国籍によって習得状況に違いがみられる。

図表 日本語の習得度【聞く】（国籍別）

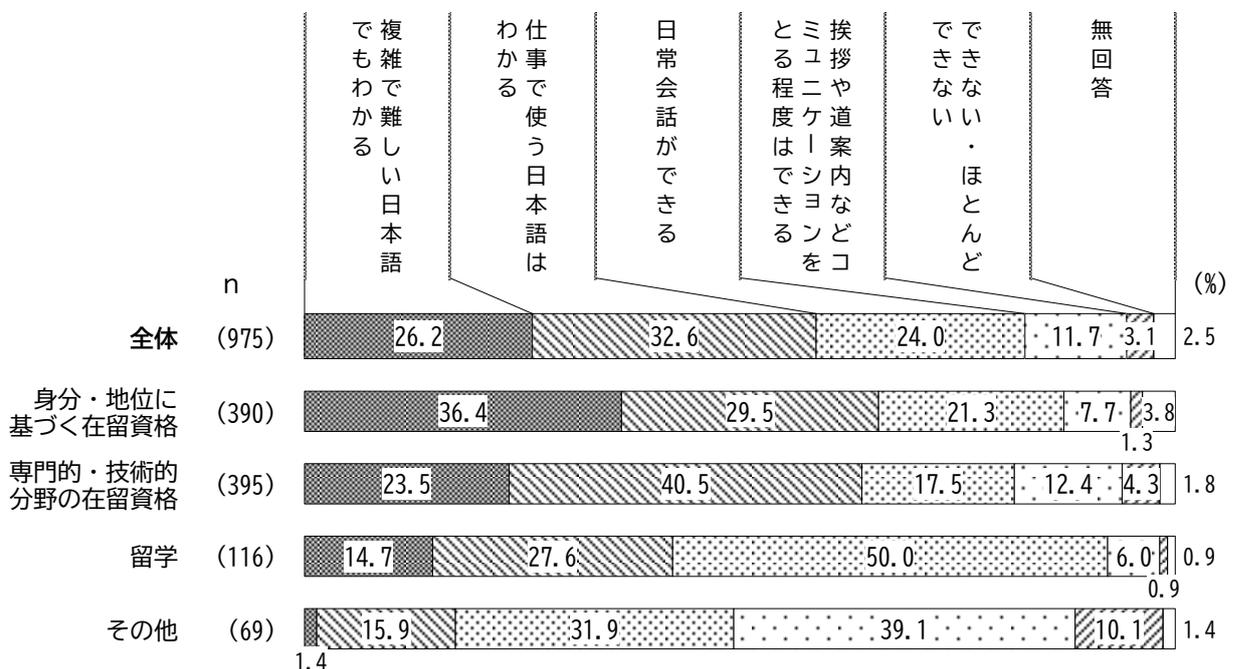


【A. 聞く（在留資格別）】

「留学」及び「身分・地位に基づく在留資格」では、「日常会話ができる」レベル以上が90%前後を占める。しかし、「身分・地位に基づく在留資格」では、「複雑で難しい日本語でもわかる」が高いが、「留学」では低い。

一方、「専門的・技術的分野の在留資格」は、「仕事で使う日本語はわかる」が40.5%で、他の在留資格と比較して最も高いが、「日常会話ができる」レベルに満たない人も16.7%で、日本語をあまり使わない仕事に就いている人がいると考えられる。また、「その他」では、「できない・ほとんどできない」が10.1%となっている。

図表 日本語の習得度【聞く】（在留資格別）



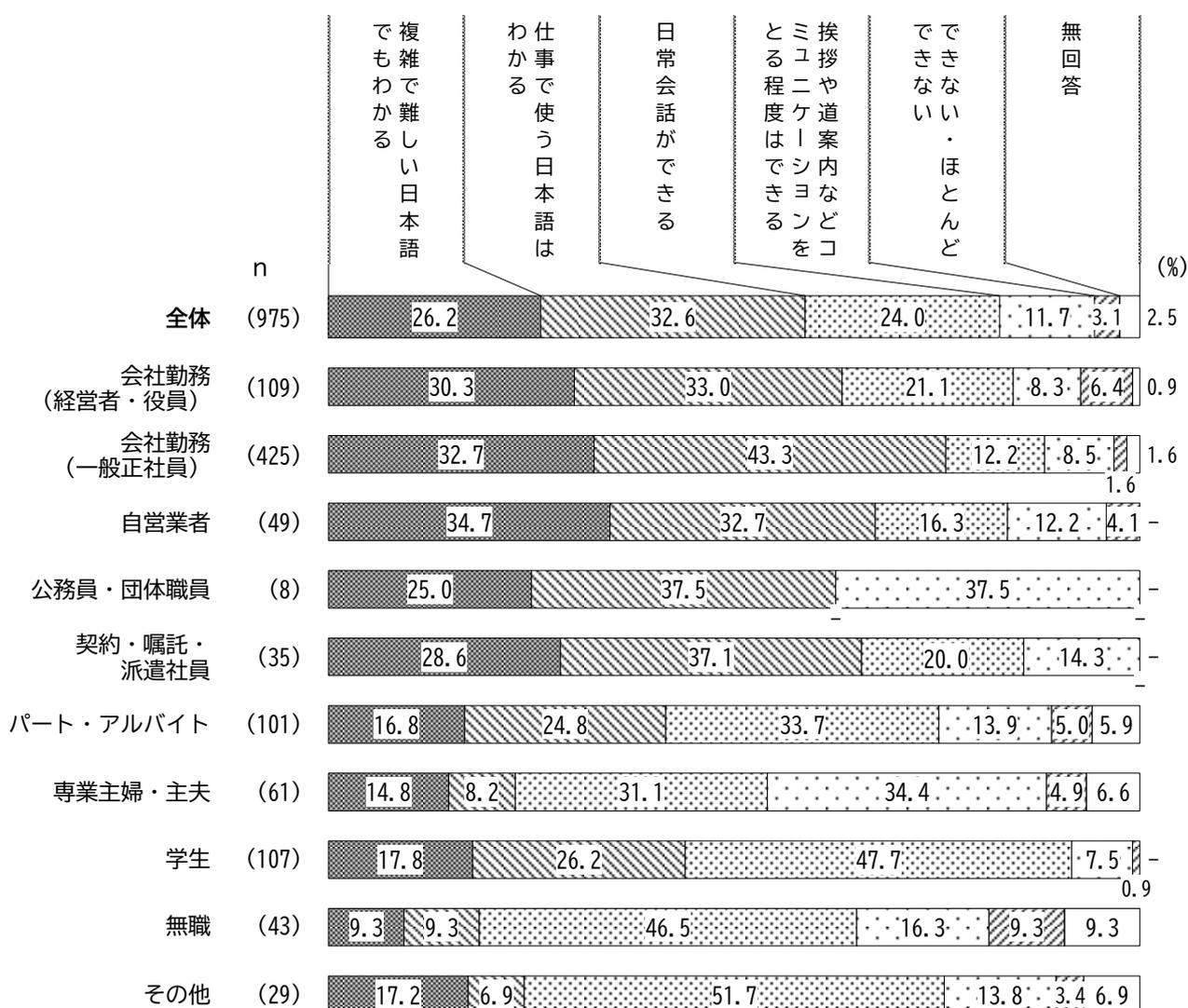
※「在留資格」として調査票問4の選択肢のうち、「永住者・特別永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」を「身分・地位に基づく在留資格」、「教授」「芸術」「宗教」「報道」「高度専門職」「経営・管理」「法律・会計業務」「医療」「研究」「教育」「技術・人文知識・国際業務」「企業内転勤」「介護」「興行」「技能」「特定活動」「特定技能」を「専門的・技術的分野の在留資格」、「留学」を「留学」、「外交」「公用」「技能実習」「文化活動」「短期滞在」「研修」「家族滞在」を「その他」として集計している（以降同様）。

【A. 聞く（職業別）】

「会社勤務（一般正社員）」で「仕事で使う日本語はわかる」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

「仕事で使う日本語はわかる」レベル以上の割合が、「会社勤務（一般正社員）」では70%台半ばであるのに対し、「パート・アルバイト」で40%超えにとどまっており、日本語の習得状況が雇用形態に関係している可能性も考えられる。また、「専業主婦・主夫」で「日常会話ができる」レベルに満たない割合が約40%で、他の職業と比較して最も高くなっている。

図表 日本語の習得度【聞く】（職業別）

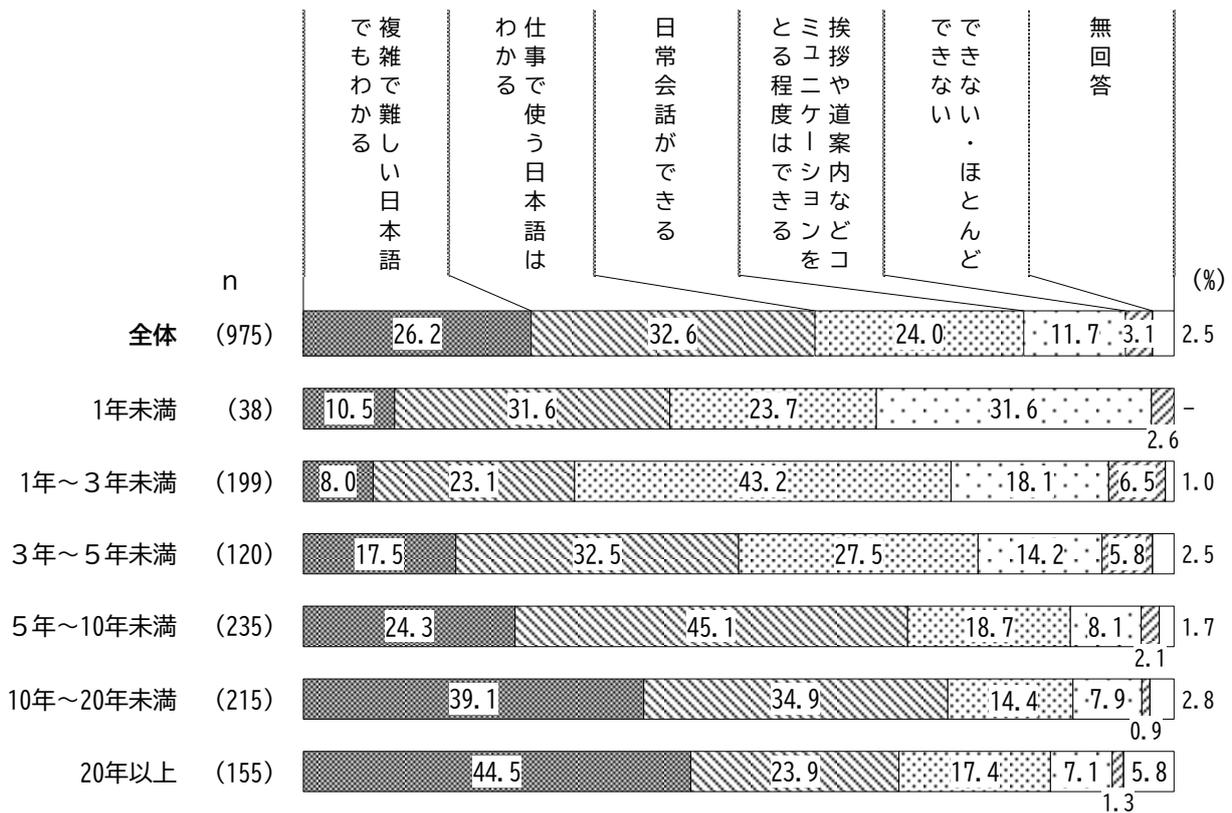


【A. 聞く（日本居住年数別）】

居住年数が経つにつれて、「日常会話ができる」レベル以上の割合が高くなる傾向がみられる。

「1年未満」と「20年以上」を除いて、居住年数が経つにつれて、「仕事で使う日本語はわかる」レベル以上の割合が高くなり、「10年～20年未満」では70%台半ばとなっている。

図表 日本語の習得度【聞く】（日本居住年数別）

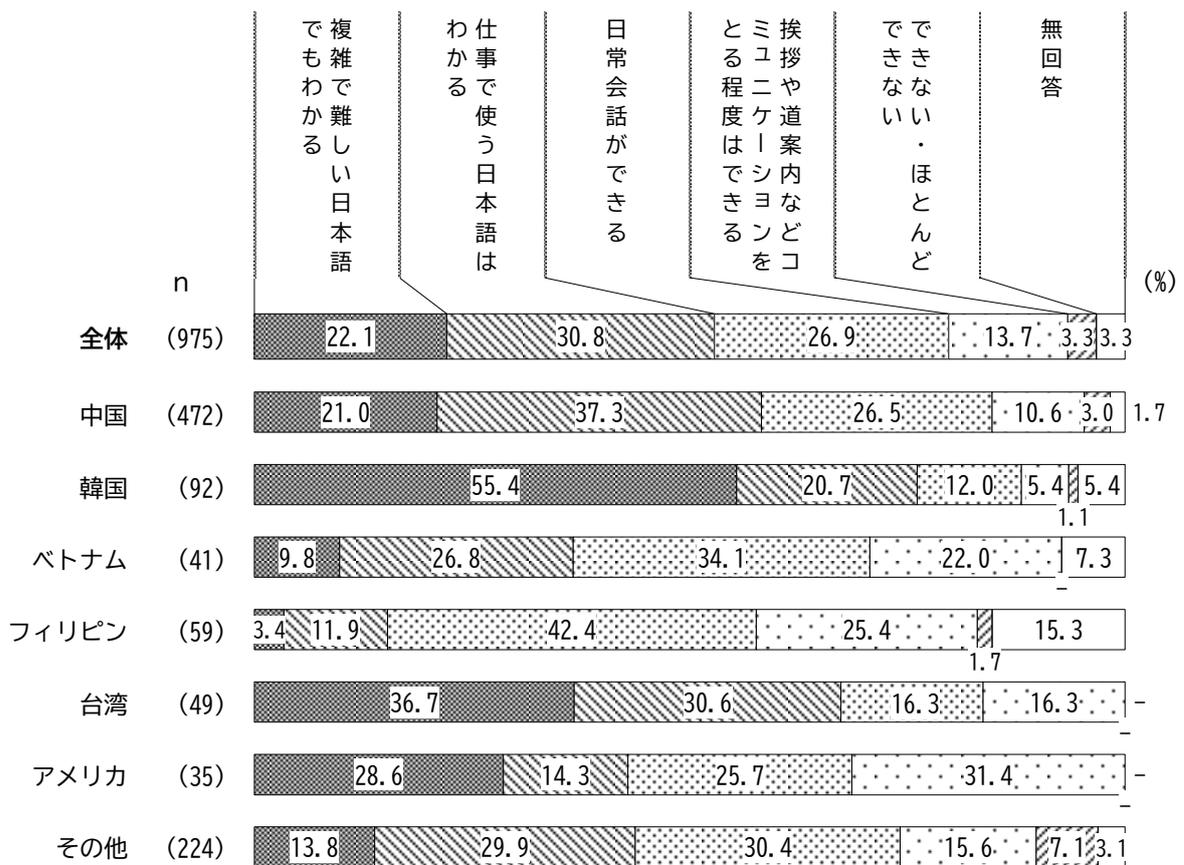


【B. 話す（国籍別）】

「複雑で難しい日本語でもわかる」は「韓国」「台湾」で全体平均と比較して5ポイント以上高い一方で、「ベトナム」「フィリピン」で5ポイント以上低くなっている。

「日常会話ができる」レベル以上でみると、「韓国」「中国」「台湾」など東アジアの国・地域では80%以上になるが、「フィリピン」では50%台半ばとなっており、国籍によって習得状況の違いがみられる。

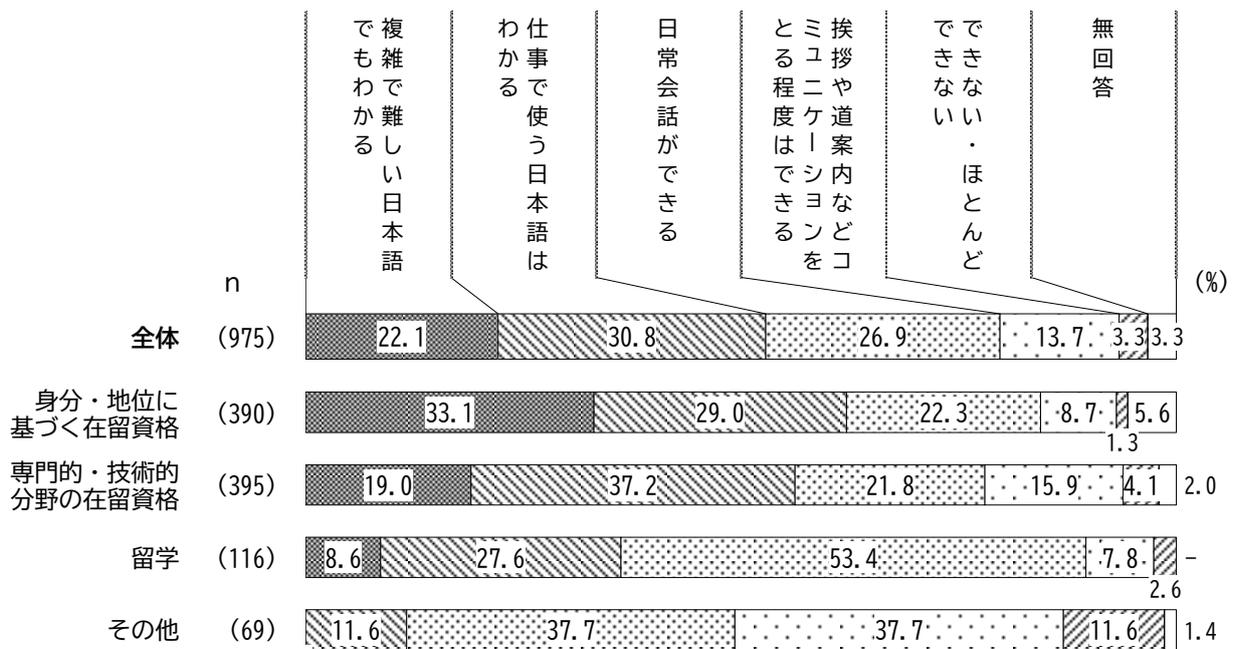
図表 日本語の習得度【話す】（国籍別）



【B. 話す（在留資格別）】

「留学」「身分・地位に基づく在留資格」では、「日常会話ができる」レベル以上が80%台で、他の在留資格と比較して高い。一方、「その他」は、「日常会話ができる」レベルに満たない割合が約50%となっている。

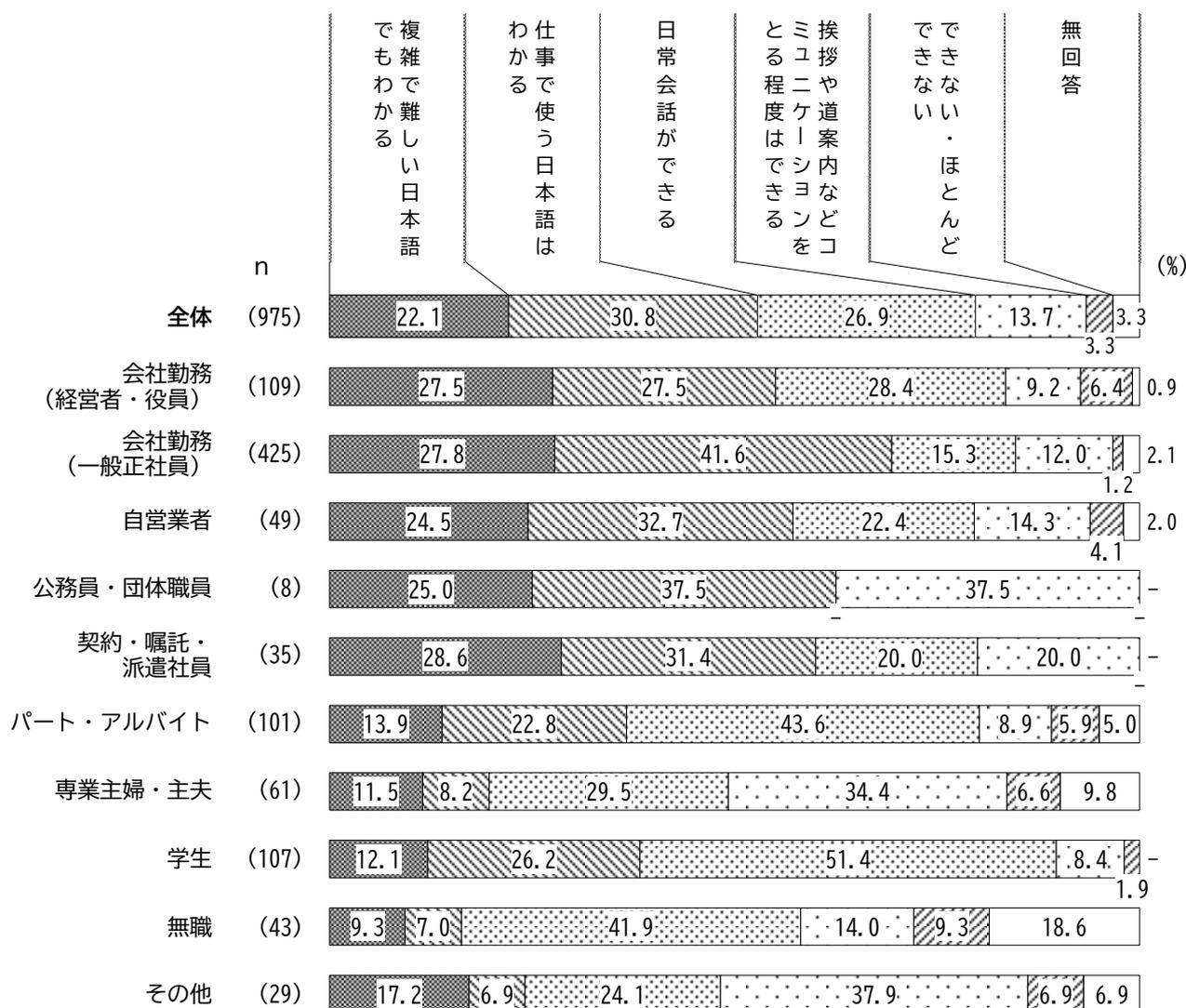
図表 日本語の習得度【話す】（在留資格別）



【B. 話す（職業別）】

「仕事で使う日本語はわかる」レベル以上の割合が、「会社勤務（一般正社員）」では約70%であるのに対し、「パート・アルバイト」で30%台半ばにとどまっており、日本語の習得状況が雇用形態に関係している可能性も考えられる。また、「専業主婦・主夫」で「日常会話ができる」レベルに満たない割合が40%を超え、他の職業と比較して高くなっている。

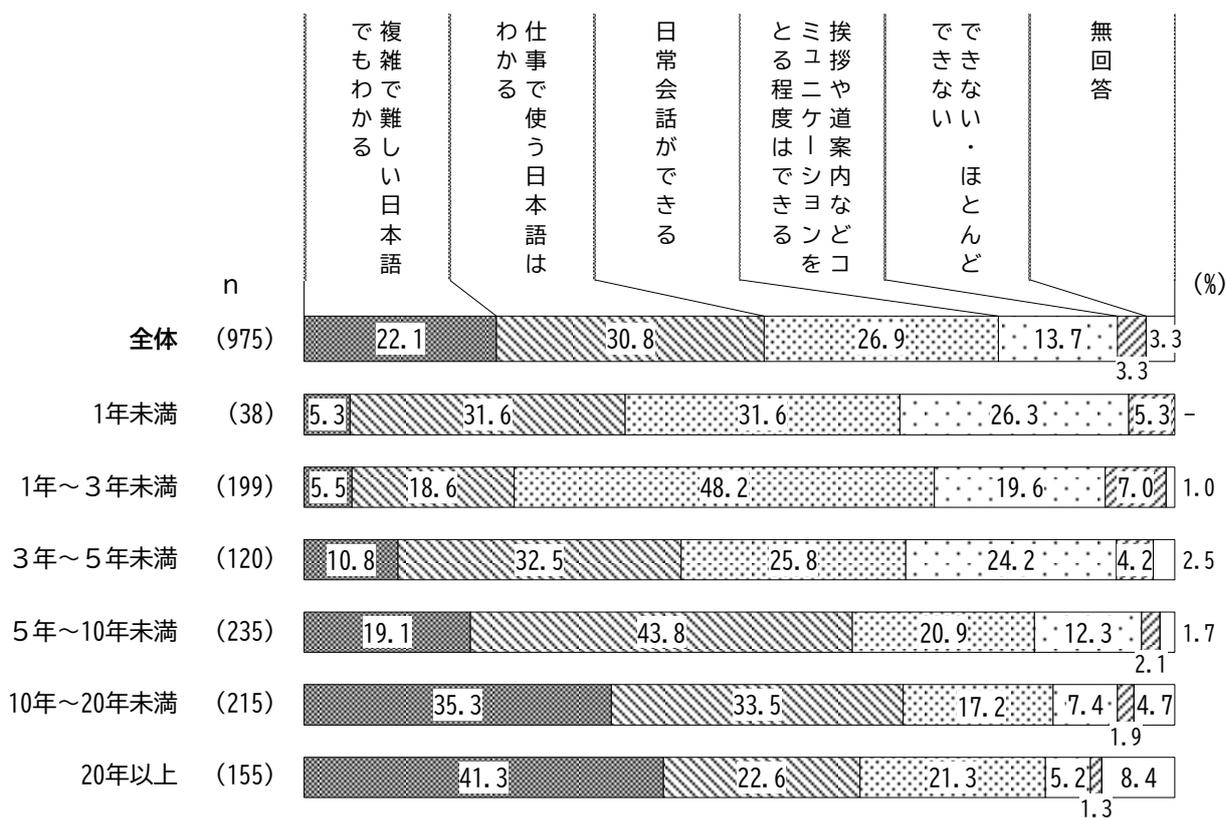
図表 日本語の習得度【話す】（職業別）



【B. 話す（日本居住年数別）】

「10～20年未満」「20年以上」で「日常会話ができる」レベル以上の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、居住年数が3年以上経つにつれて、「仕事で使う日本語はわかる」レベル以上の割合が高くなる傾向が見られ、「10年～20年未満」では60%台半ばとなっている。

図表 日本語の習得度【話す】（日本居住年数別）

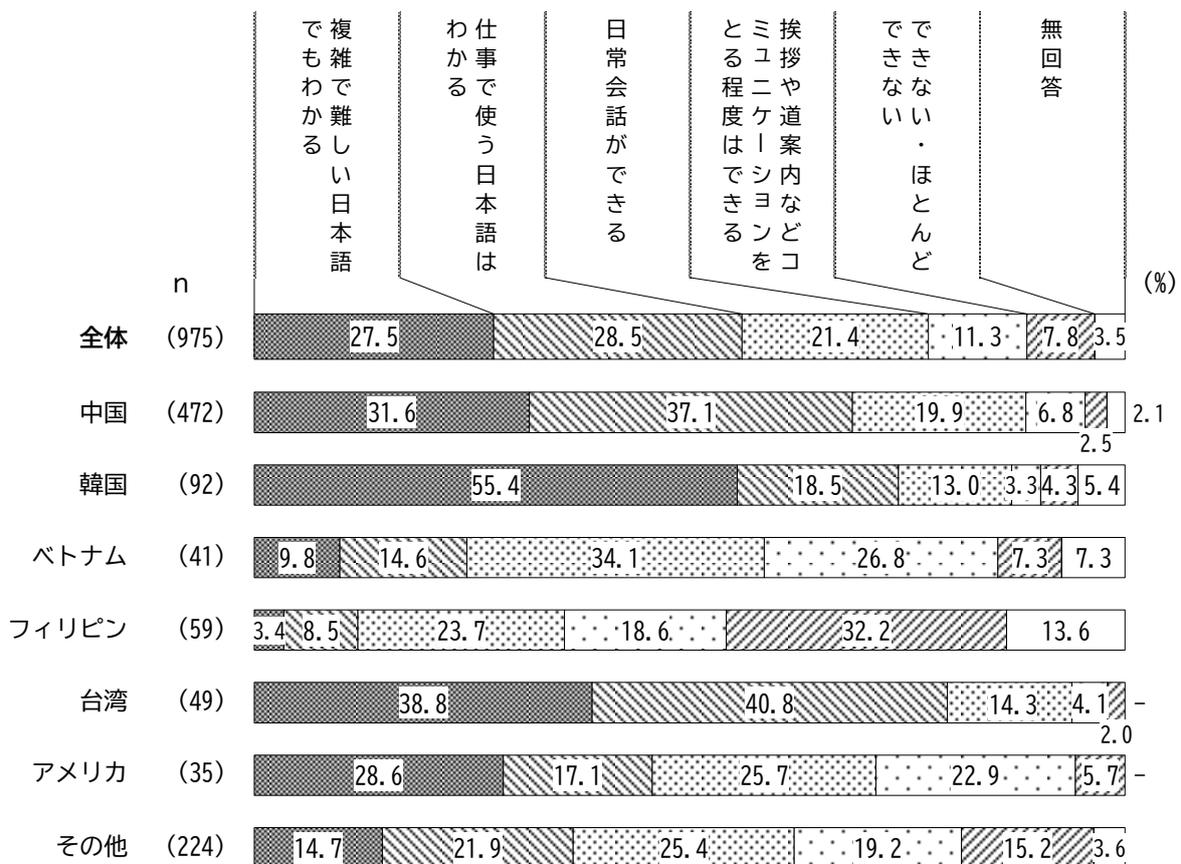


【C. 読む（国籍別）】

「複雑で難しい日本語でもわかる」は「韓国」「台湾」で高い一方で、「ベトナム」「フィリピン」で低くなっている。

「日常会話ができる」レベル以上でみると、「台湾」「中国」「韓国」の東アジアの国・地域では80%以上になるが、「ベトナム」で50%台半ば、「フィリピン」で30%台半ばとなっており、国籍によって習得状況の違いがみられる。

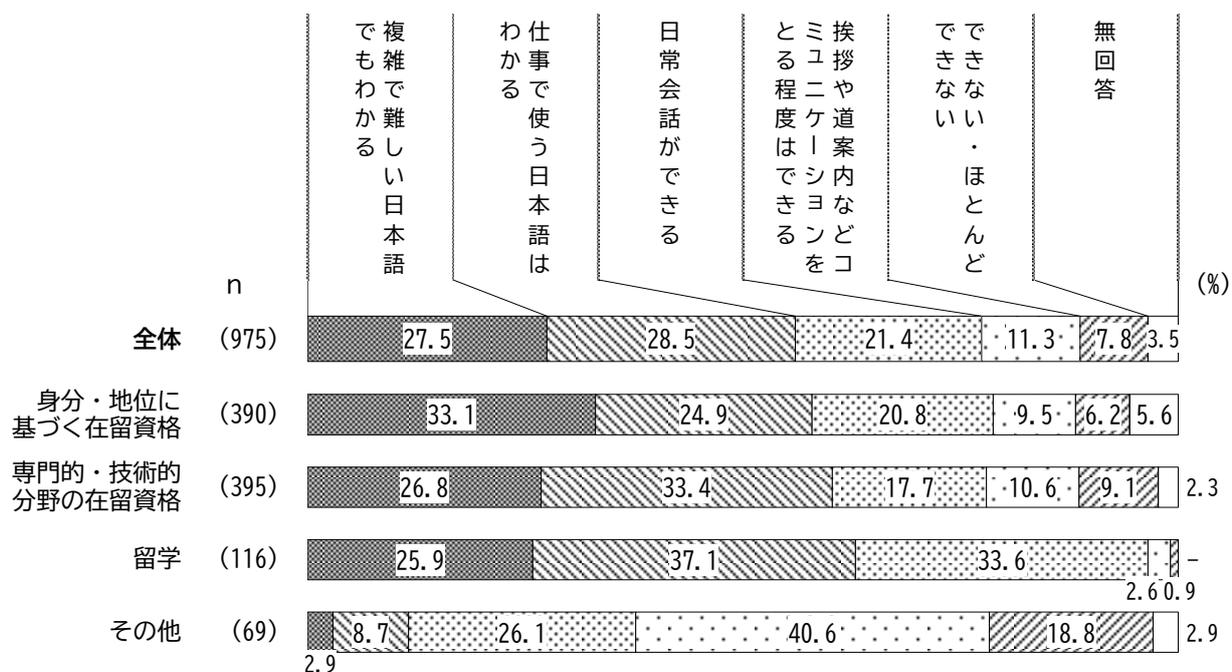
図表 日本語の習得度【読む】（国籍別）



【C. 読む（在留資格別）】

「留学」では、「日常会話ができる」レベル以上が90%台半ばで、他の在留資格と比較して最も高い。一方、「その他」は、「日常会話ができる」レベルに満たない割合が約60%となっており、「A. 話す」「B. 聞く」と比較しても習得が難しいことが考えられる。

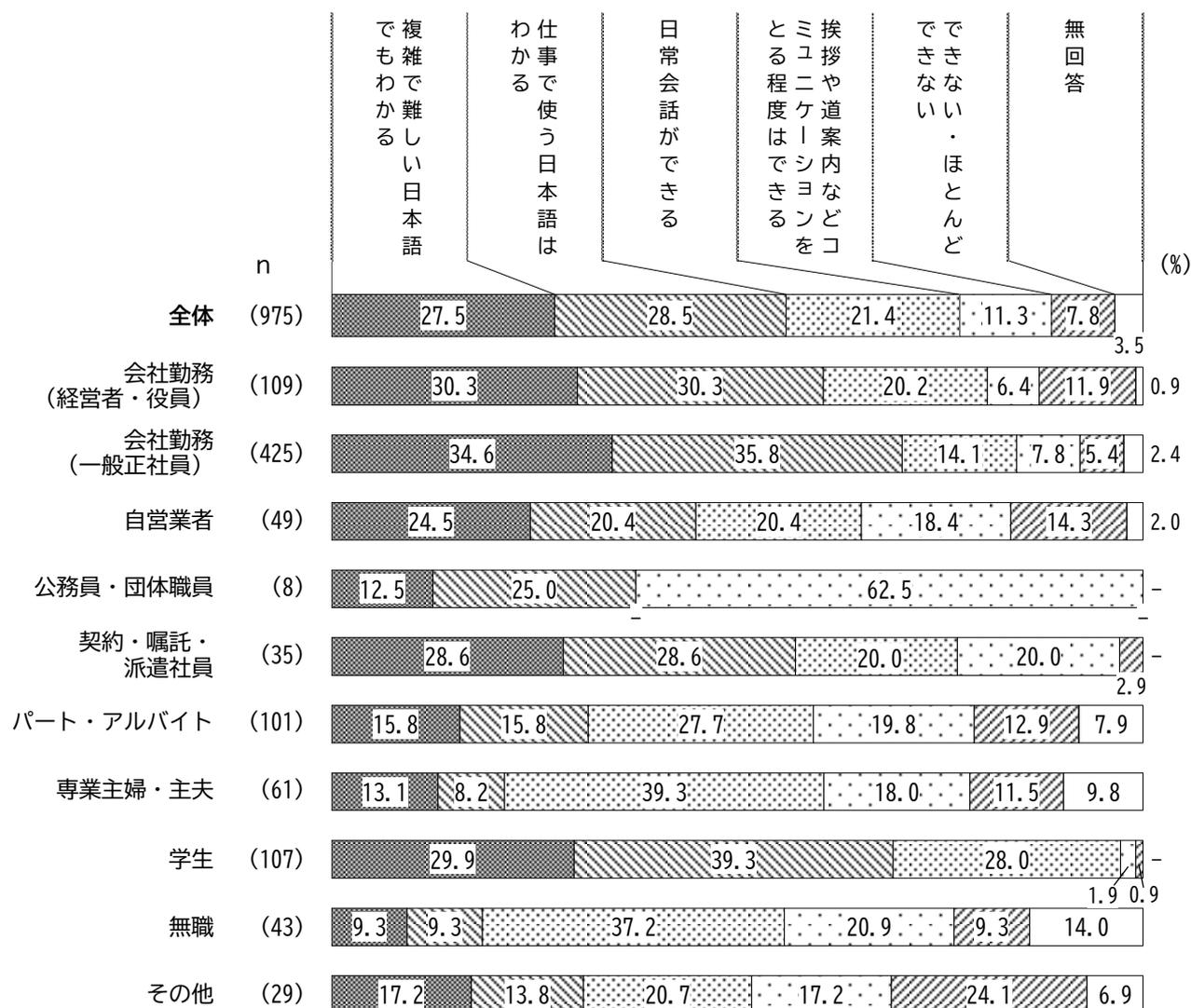
図表 日本語の習得度【読む】（在留資格別）



【C. 読む（職業別）】

「仕事で使う日本語はわかる」レベル以上の割合が、「会社勤務（一般正社員）」で約70%であるのに対し、「パート・アルバイト」で30%超えにとどまっており、日本語の習得状況が雇用形態に関係している可能性も考えられる。また、「その他」で「日常会話ができる」レベルに満たない割合が40%を超えており、他の職業と比較して最も高くなっている。

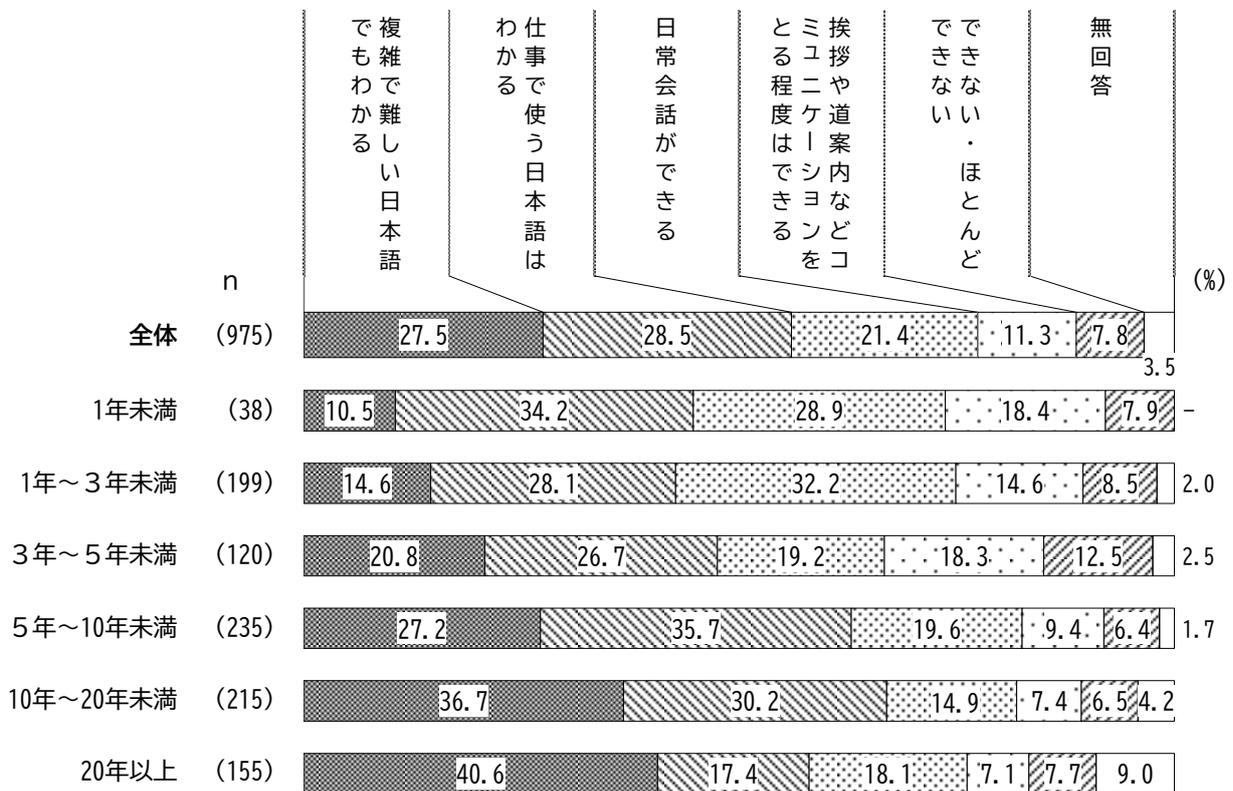
図表 日本語の習得度【読む】（職業別）



【C. 読む（日本居住年数別）】

「5年～10年未満」で「日常会話ができる」レベル以上の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。また、居住年数が経つにつれて、「複雑で難しい日本語でもわかる」の割合が高くなり、「20年以上」では40.6%となっている。

図表 日本語の習得度【読む】（日本居住年数別）

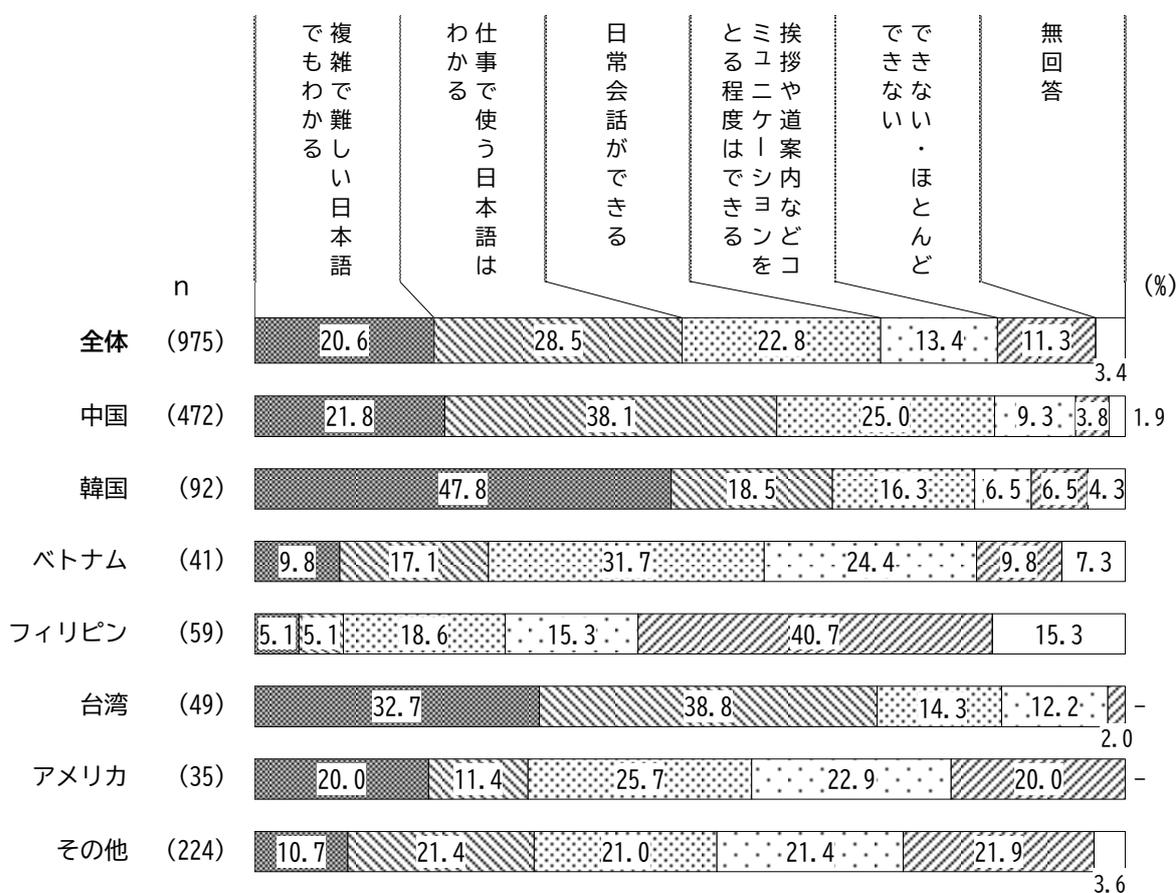


【D. 書く（国籍別）】

「複雑で難しい日本語でもわかる」は「韓国」で高い一方で、「ベトナム」「フィリピン」で低くなっている。「できない・ほとんどできない」は「フィリピン」で全体平均と比較して5ポイント以上高い。

「日常会話ができる」レベル以上でみると、「中国」「韓国」「台湾」の東アジアの国・地域では80%以上になるが、「その他」で50%を超え、「フィリピン」で20%台半ばとなっており、国籍によって習得状況の違いがみられる。

図表 日本語の習得度【書く】（国籍別）

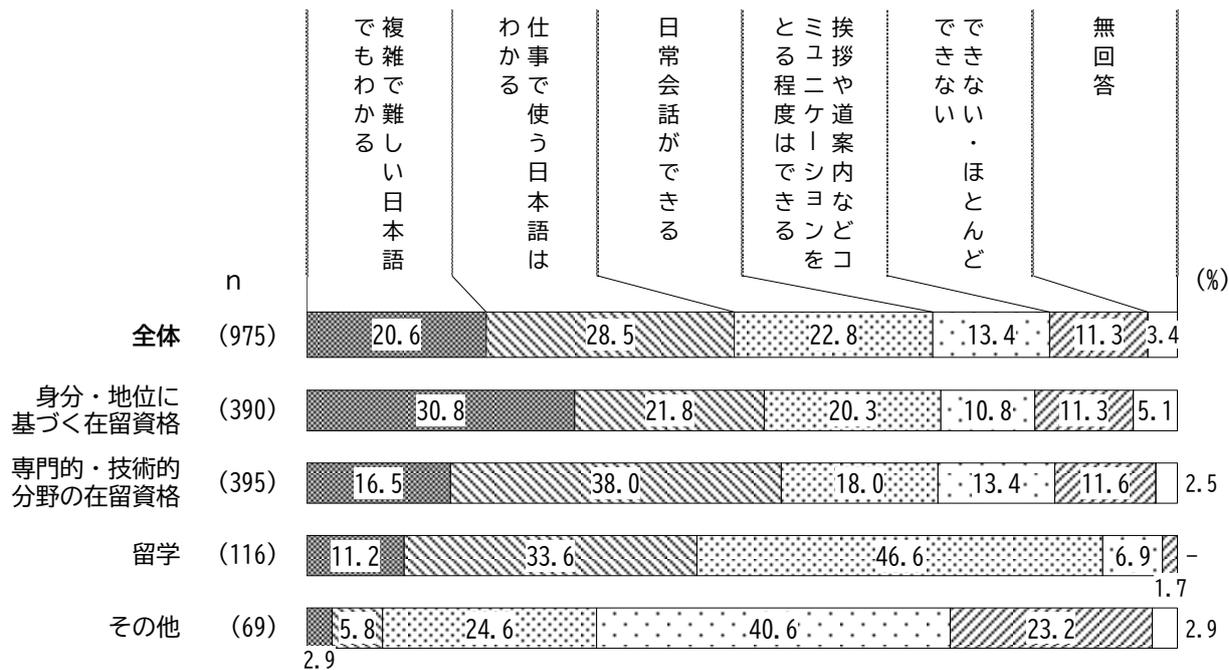


【D. 書く（在留資格別）】

「留学」では、「複雑で難しい日本語でもわかる」が低いが、「日常会話ができる」レベル以上が90%を超えている。

一方、「その他」は、「日常会話ができる」レベルに満たない割合が60%を超えており、「A. 聞く」「B. 話す」と比較しても習得が難しいことが考えられる。

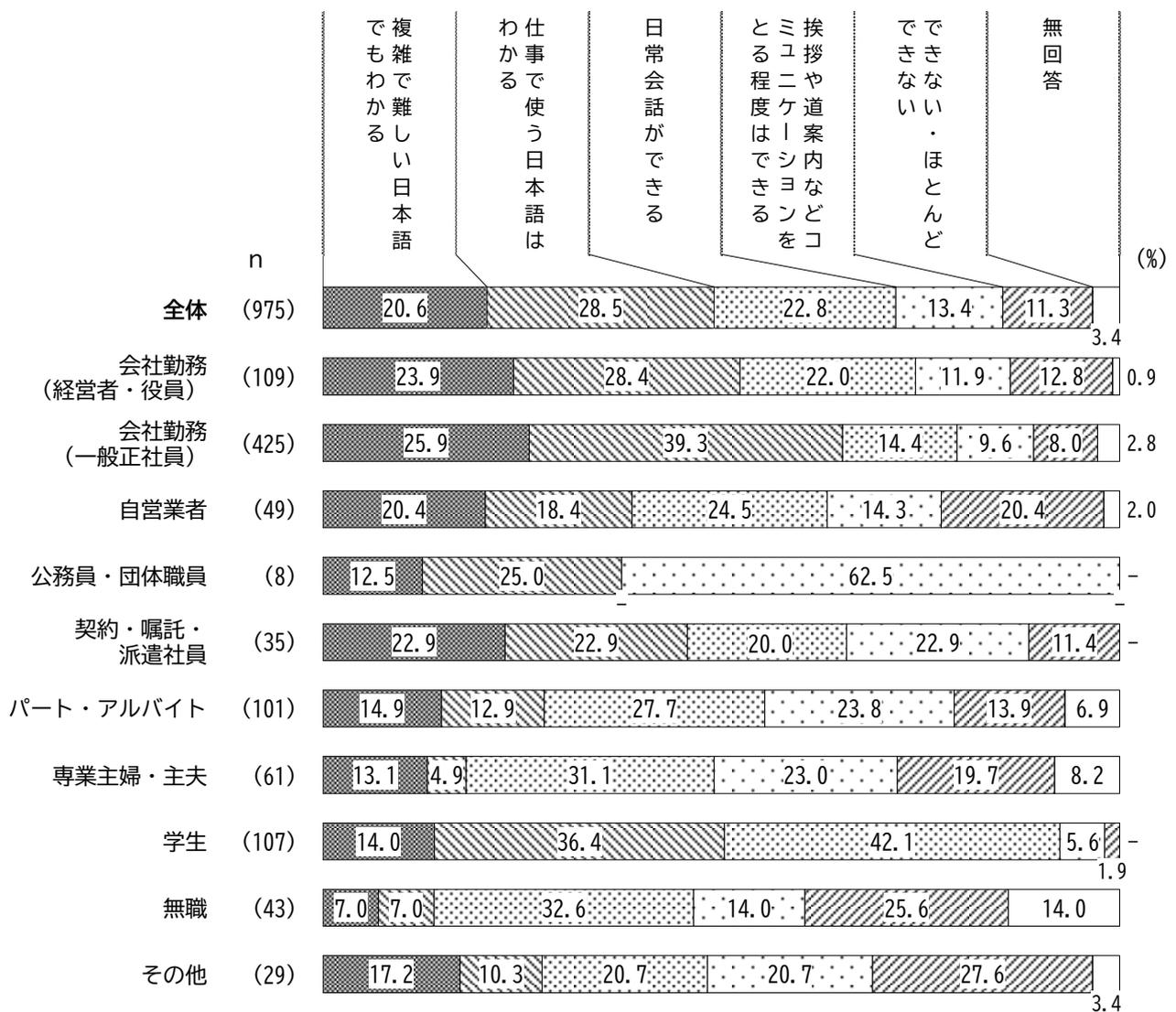
図表 日本語の習得度【書く】（在留資格別）



【D. 書く（職業別）】

「仕事で使う日本語はわかる」レベル以上の割合が、「会社勤務（一般正社員）」では60%台半ばであるのに対し、「自営業者」で30%台半ば、「パート・アルバイト」で20%台半ばにとどまっており、日本語の習得状況が雇用形態に関係している可能性も考えられる。また、「専業主婦・主夫」で「日常会話ができる」レベルに満たない割合が40%を超えており、他の職業と比較して高くなっている。

図表 日本語の習得度【書く】（職業別）

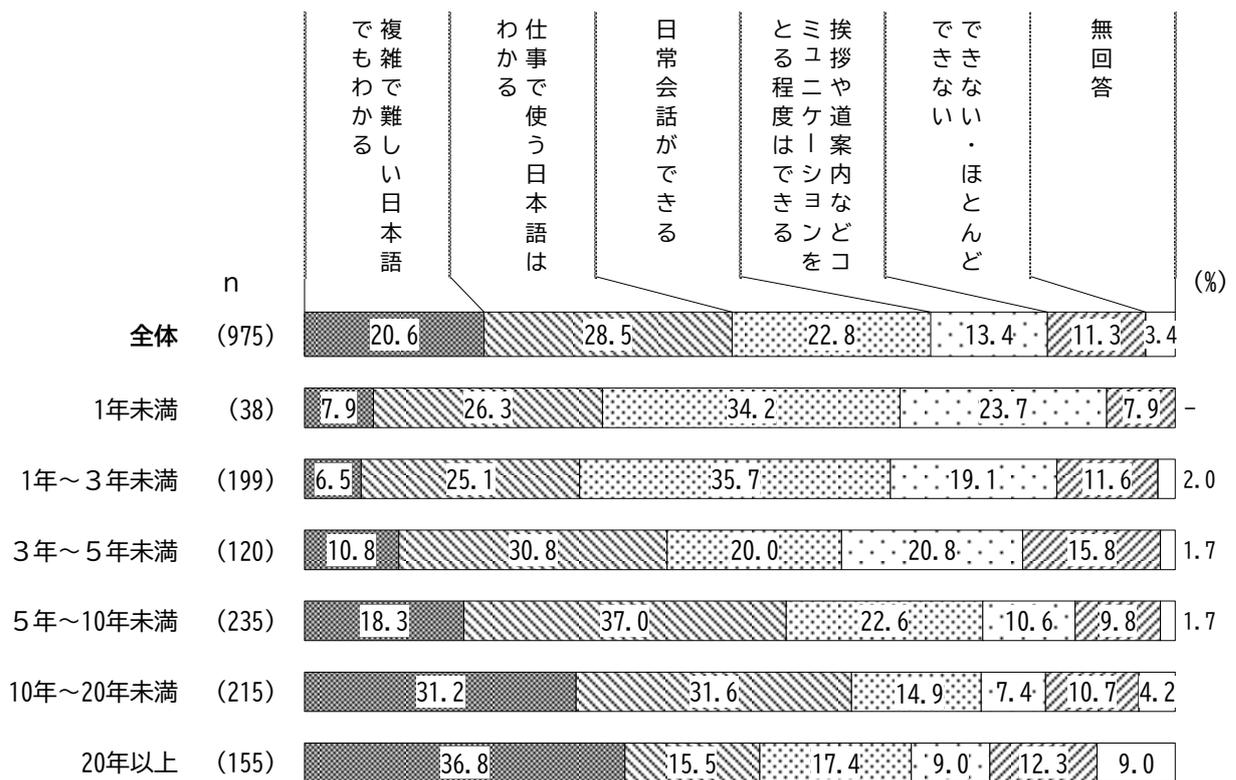


【D. 書く（日本居住年数別）】

「5年～10年未満」「10年～20年未満」で「日常会話ができる」レベル以上が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

居住年数が経つにつれて、「仕事で使う日本語はわかる」レベル以上の割合が高くなる傾向がみられ、「10年～20年未満」で62.8%で最も高くなっている。

図表 日本語の習得度【書く】（日本居住年数別）

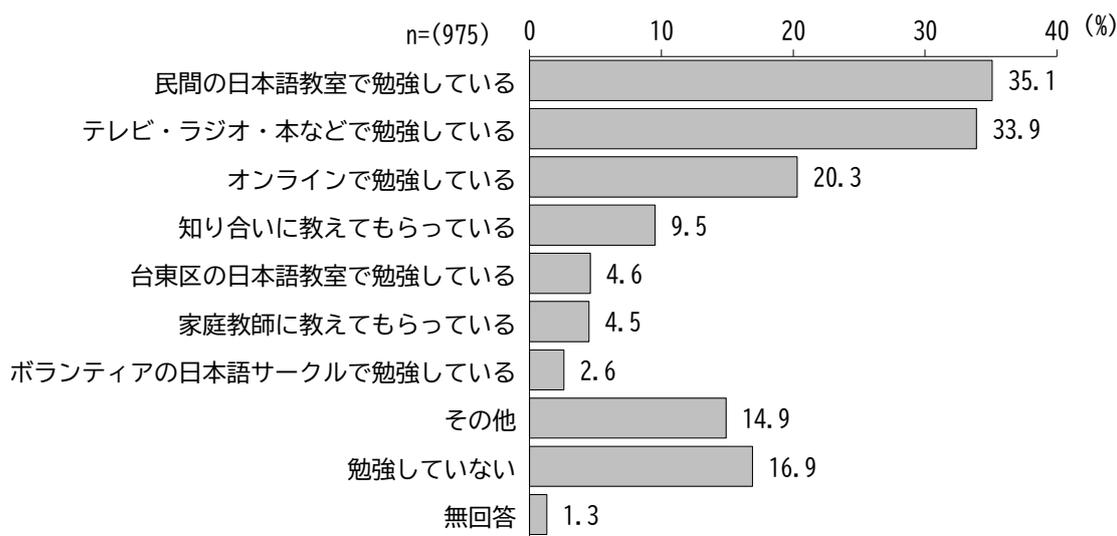


### (3) 日本語の学び方

問17 日本語をどうやって学んでいますか。(当てはまるもの全てに○)

「民間の日本語教室で勉強している」(35.1%)が最も高く、次いで、「テレビ・ラジオ・本などで勉強している」(33.9%)となっている。

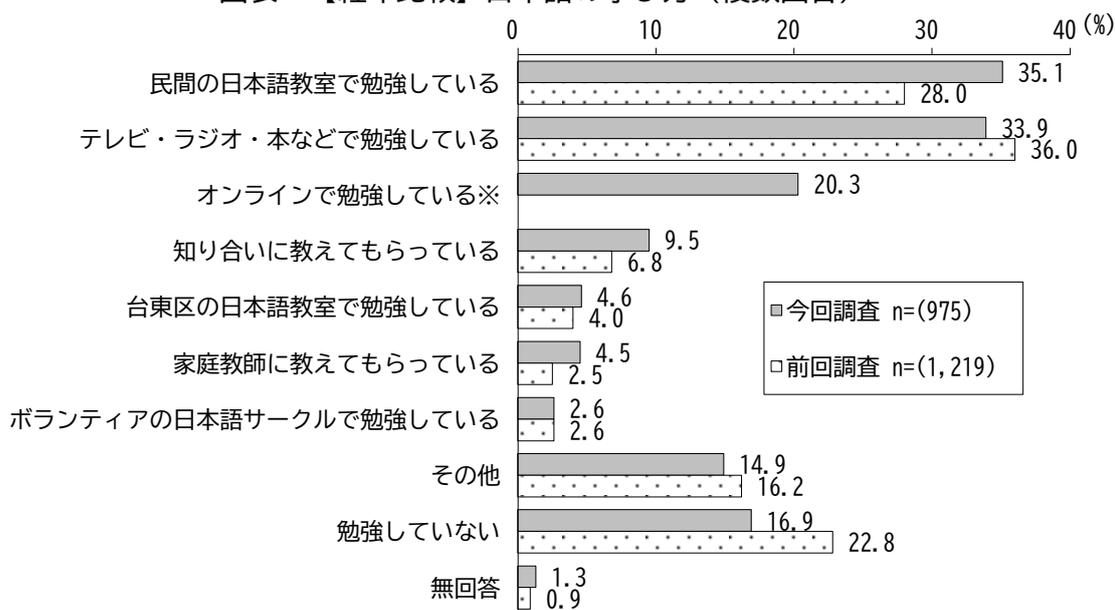
図表 日本語の学び方 (複数回答)



#### 【経年比較】

前回との比較では、「民間の日本語教室で勉強している」が7.1ポイント増加している。一方、「勉強していない」が5.9ポイント減少している。

図表 【経年比較】日本語の学び方 (複数回答)



※今回調査より、選択肢「オンラインで勉強している」が追加された。

【日本居住年数別】

居住年数20年未満で「民間の日本語教室で勉強している」が30%台となっている。また、居住年数が浅い「1年～3年未満」「3年～5年未満」で、「オンラインで勉強している」が高くなっている。

「1年未満」で「テレビ・ラジオ・本などで勉強している」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。居住年数が経つにつれて「勉強していない」が高くなる傾向がみられる。

図表 日本語の学び方（日本居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	民間の日本語 教室で勉強 している	テレビ・ラジオ・ 本などで勉強 している	オンラインで勉 強している	知り合いに教 えてもらって いる	台東区の日本 語教室で勉強 している	家庭教師に教 えてもらって いる	ボランティアの 日本語サーク ルで勉強して いる	その他	勉強してい ない	無回答
全体	975 100.0%	342 35.1%	331 33.9%	198 20.3%	93 9.5%	45 4.6%	44 4.5%	25 2.6%	145 14.9%	165 16.9%	13 1.3%
1年未満	38 100.0%	14 36.8%	19 50.0%	9 23.7%	3 7.9%	6 15.8%	3 7.9%	2 5.3%	6 15.8%	3 7.9%	- -
1年～3年未満	199 100.0%	78 39.2%	76 38.2%	67 33.7%	15 7.5%	16 8.0%	14 7.0%	5 2.5%	18 9.0%	19 9.5%	1 0.5%
3年～5年未満	120 100.0%	45 37.5%	32 26.7%	39 32.5%	16 13.3%	8 6.7%	12 10.0%	6 5.0%	15 12.5%	20 16.7%	1 0.8%
5年～10年未満	235 100.0%	77 32.8%	91 38.7%	44 18.7%	27 11.5%	6 2.6%	10 4.3%	6 2.6%	34 14.5%	39 16.6%	1 0.4%
10年～20年未満	215 100.0%	82 38.1%	60 27.9%	33 15.3%	22 10.2%	5 2.3%	5 2.3%	5 2.3%	36 16.7%	44 20.5%	3 1.4%
20年以上	155 100.0%	41 26.5%	50 32.3%	6 3.9%	8 5.2%	4 2.6%	- -	1 0.6%	34 21.9%	38 24.5%	5 3.2%

【国籍別】

「中国」「台湾」で「民間の日本語教室で勉強している」、「フィリピン」で「テレビ・ラジオ・本などで勉強している」及び「知り合いに教えてもらっている」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、「アメリカ」で「オンラインで勉強している」が30%台半ばと高い。

「勉強していない」と回答した層には、すでに日本語の習得度が高い国籍が多い傾向がみられる。

図表 日本語の学び方（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	民間の日本語 教室で勉強 している	テレビ・ラジオ・ 本などで勉強 している	オンラインで勉 強している	知り合いに教 えてもらって いる	台東区の日本 語教室で勉強 している	家庭教師に教 えてもらって いる	ボランティアの 日本語サーク ルで勉強して いる	その他	勉強してい ない	無回答
全体	975 100.0%	342 35.1%	331 33.9%	198 20.3%	93 9.5%	45 4.6%	44 4.5%	25 2.6%	145 14.9%	165 16.9%	13 1.3%
中国	472 100.0%	213 45.1%	166 35.2%	102 21.6%	35 7.4%	25 5.3%	11 2.3%	13 2.8%	63 13.3%	47 10.0%	5 1.1%
韓国	92 100.0%	14 15.2%	27 29.3%	2 2.2%	2 2.2%	1 1.1%	- -	1 1.1%	13 14.1%	41 44.6%	3 3.3%
ベトナム	41 100.0%	12 29.3%	11 26.8%	6 14.6%	7 17.1%	- -	- -	- -	2 4.9%	9 22.0%	- -
フィリピン	59 100.0%	5 8.5%	36 61.0%	14 23.7%	18 30.5%	3 5.1%	5 8.5%	2 3.4%	12 20.3%	7 11.9%	1 1.7%
台湾	49 100.0%	21 42.9%	12 24.5%	8 16.3%	3 6.1%	1 2.0%	- -	2 4.1%	11 22.4%	10 20.4%	- -
アメリカ	35 100.0%	3 8.6%	13 37.1%	12 34.3%	3 8.6%	2 5.7%	- -	1 2.9%	9 25.7%	7 20.0%	2 5.7%
その他	224 100.0%	72 32.1%	64 28.6%	52 23.2%	24 10.7%	13 5.8%	27 12.1%	6 2.7%	35 15.6%	44 19.6%	2 0.9%

【日本語習得度（聞く）別】

「仕事で使う日本語はわかる」「日常会話ができる」と回答した人で「民間の日本語教室で勉強している」が40%台、「日常会話ができる」「挨拶や道案内などコミュニケーションをとる程度はできる」と回答した人で「オンラインで勉強している」の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。このほか、「仕事で使う日本語はわかる」と回答した人で「テレビ・ラジオ・本などで勉強している」、「挨拶や道案内などコミュニケーションをとる程度はできる」と回答した人「台東区の日本語教室で勉強している」「家庭教師に教えてもらっている」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。一方、習得度が高いほど「勉強していない」の割合がおおむね高い傾向がみられ、一定の習得度を持つ層では日本語学習の必要性を感じていない層が一定数いると考えられる。

図表 日本語の学び方（日本語習得度（聞く）別）

【聞く】

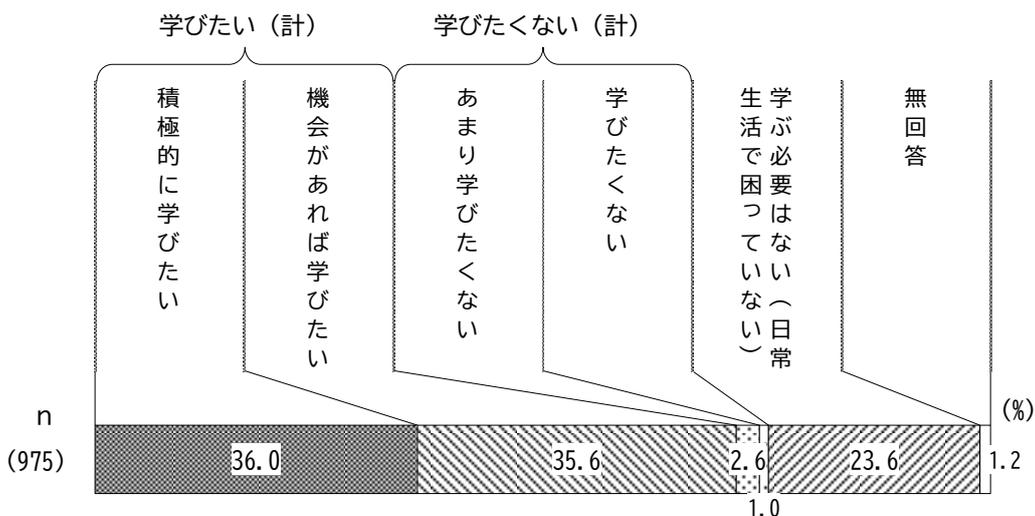
上段:人数 下段:%	調査数	民間の日本語 教室で勉強し ている	テレビ・ラジオ・ 本などで勉強 している	オンラインで勉 強している	知り合いに教 えてもらって いる	台東区の日本 語教室で勉強 している	家庭教師に教 えてもらって いる	ボランティアの 日本語サーク ルで勉強して いる	その他	勉強してい ない	無回答
全体	975 100.0%	342 35.1%	331 33.9%	198 20.3%	93 9.5%	45 4.6%	44 4.5%	25 2.6%	145 14.9%	165 16.9%	13 1.3%
複雑で難しい 日本語でもわかる	255 100.0%	87 34.1%	72 28.2%	23 9.0%	14 5.5%	- -	4 1.6%	2 0.8%	74 29.0%	60 23.5%	5 2.0%
仕事で使う日本語 はわかる	318 100.0%	136 42.8%	126 39.6%	56 17.6%	28 8.8%	9 2.8%	11 3.5%	7 2.2%	37 11.6%	41 12.9%	4 1.3%
日常会話ができる	234 100.0%	96 41.0%	83 35.5%	73 31.2%	30 12.8%	22 9.4%	17 7.3%	10 4.3%	17 7.3%	25 10.7%	- -
挨拶や道案内などコ ミュニケーションをと る程度はできる	114 100.0%	17 14.9%	33 28.9%	38 33.3%	16 14.0%	12 10.5%	11 9.6%	5 4.4%	14 12.3%	18 15.8%	2 1.8%
できない・ ほとんどできない	30 100.0%	2 6.7%	7 23.3%	6 20.0%	2 6.7%	- -	1 3.3%	1 3.3%	- -	16 53.3%	1 3.3%

(4) 日本語の学習意欲

問18 あなたは今後、日本語を学びたいと思いますか。(ひとつだけ○)

「積極的に学びたい」(36.0%)が最も高く、次いで、「機会があれば学びたい」(35.6%)となっている。「学びたい(計)」は71.6%を占めており、「学ぶ必要はない(日常生活で困っていない)」は23.6%となっている。

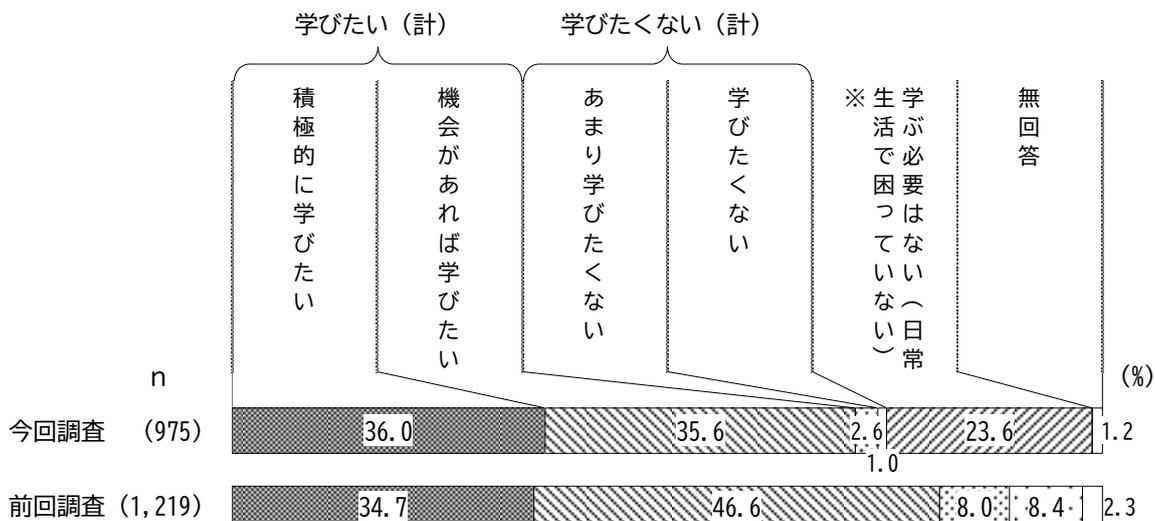
図表 日本語の学習意欲 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較は、選択肢が一部異なるため参考程度にとどめる。

図表 【経年比較】日本語の学習意欲 (単一回答)



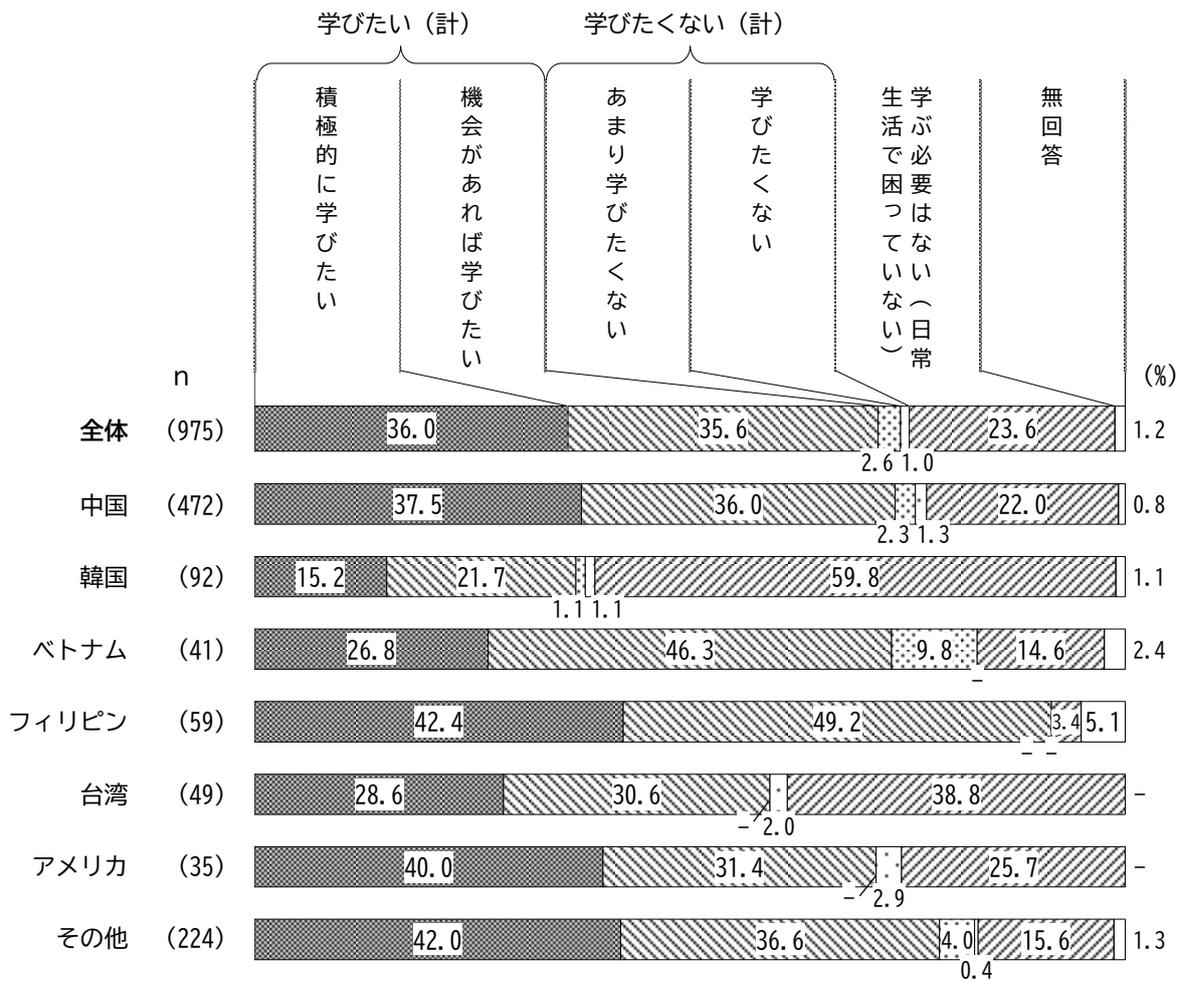
※今回調査より、選択肢「学ぶ必要はない(日常生活で困っていない)」が追加された。

【国籍別】

「ベトナム」「フィリピン」で「機会があれば学びたい」が全体平均と比較して5ポイント以上それぞれ高い。

「学びたい（計）」は「フィリピン」で90%を超えており、高くなっている。

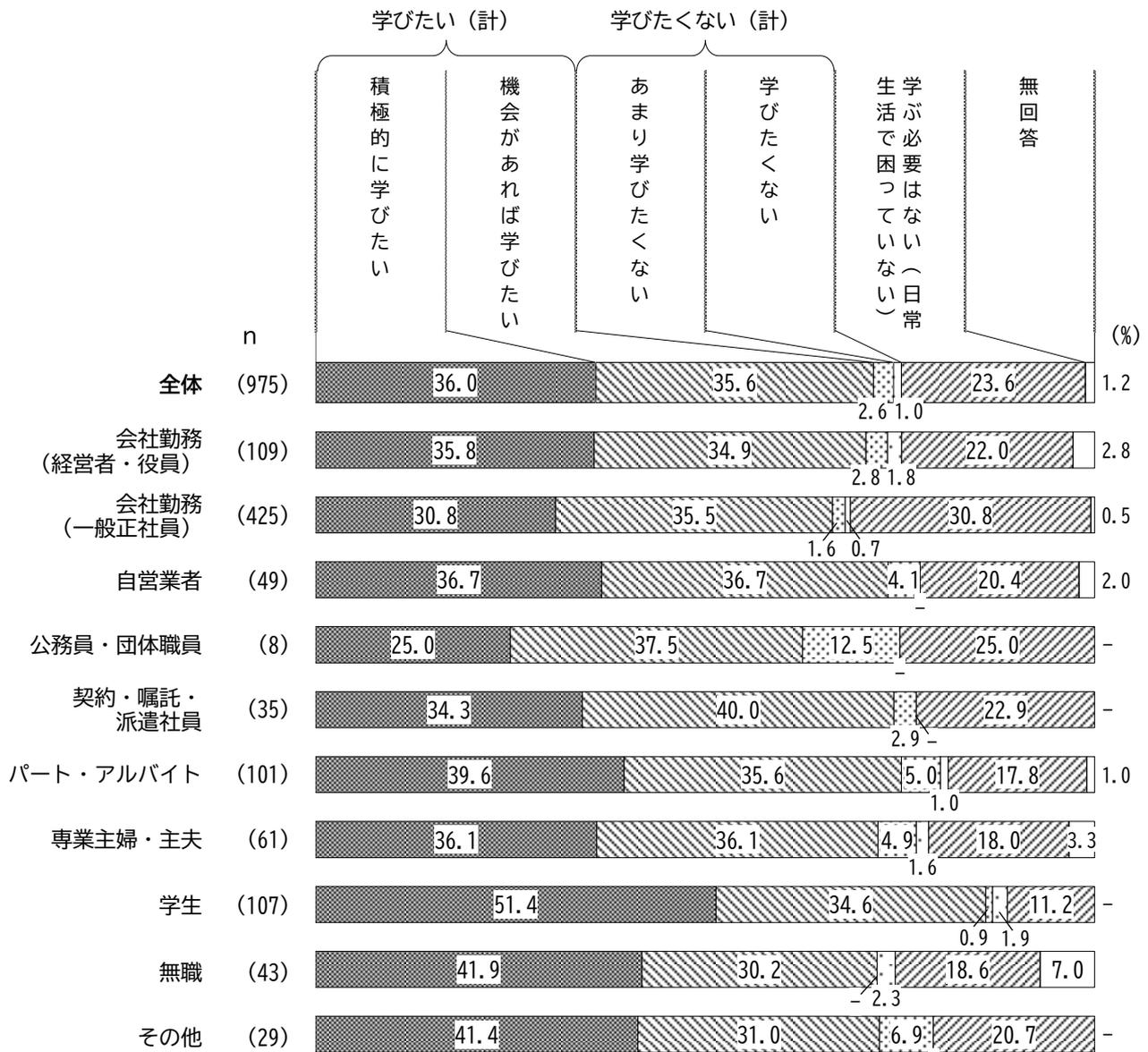
図表 日本語の学習意欲（国籍別）



【職業別】

「学生」で「積極的に学びたい」、「学びたい（計）」との割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

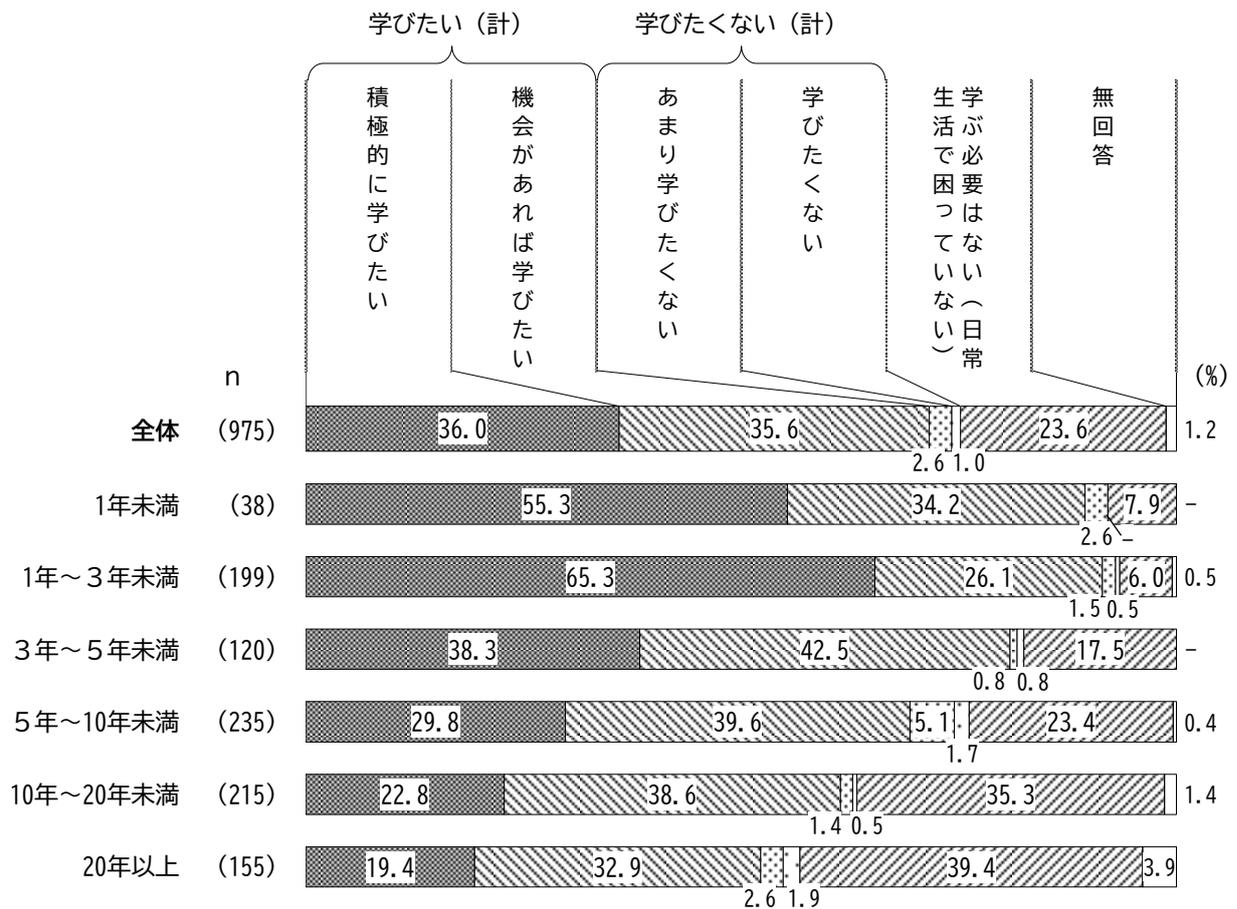
図表 日本語の学習意欲（職業別）



【日本居住年数別】

「1年未満」「1年～3年未満」で「積極的に学びたい」「学びたい（計）」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。一方、「10年～20年未満」「20年以上」で「学ぶ必要はない（日常生活で困っていない）」が高い。

図表 日本語の学習意欲（日本居住年数別）

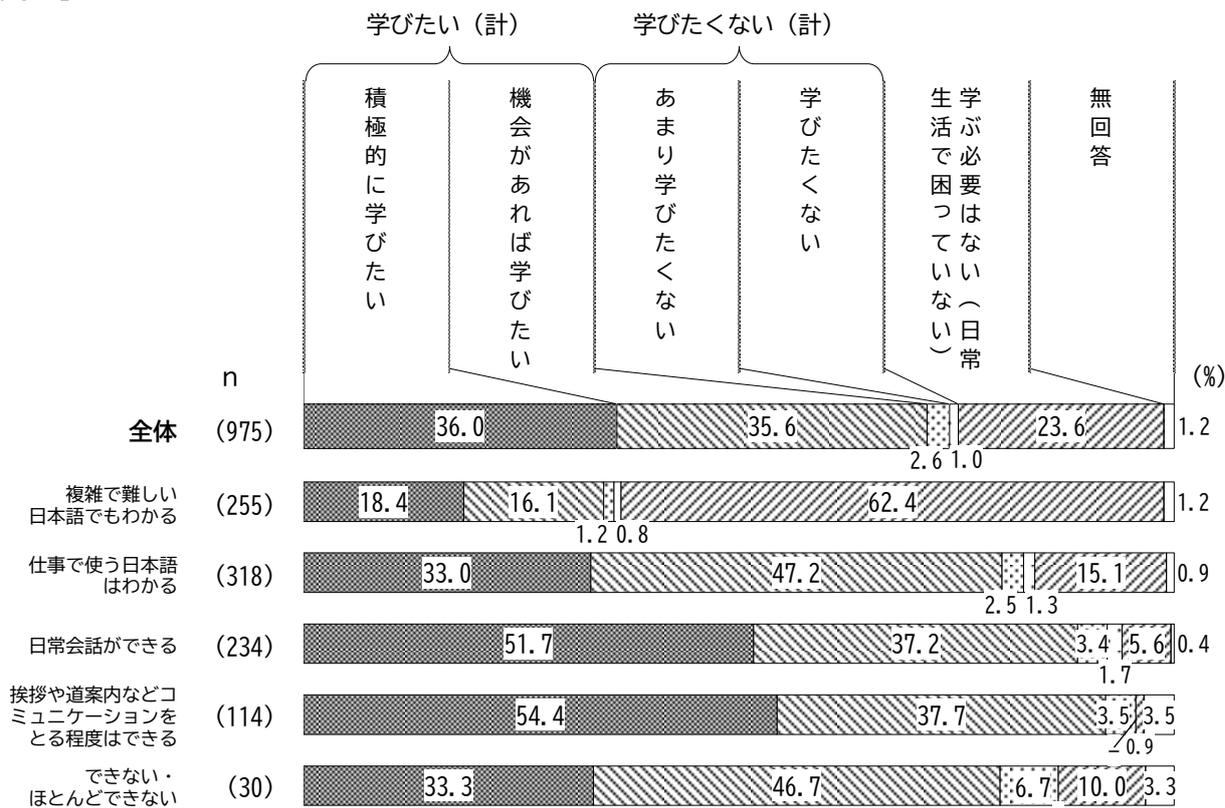


【日本語習得度別】

「積極的に学びたい」「機会があれば学びたい」を合計した割合は、「できない・ほとんどできない」を除いて、「聞く」の習得度が低いほど割合が高く、「学ぶ必要はない（日常生活で困っていない）」は、習得度が高いほど割合が高くなっている。一定の習得度を持つ層で学習ニーズが弱まっていることが考えられる。

図表 日本語の学習意欲（日本語習得度別）

【聞く】

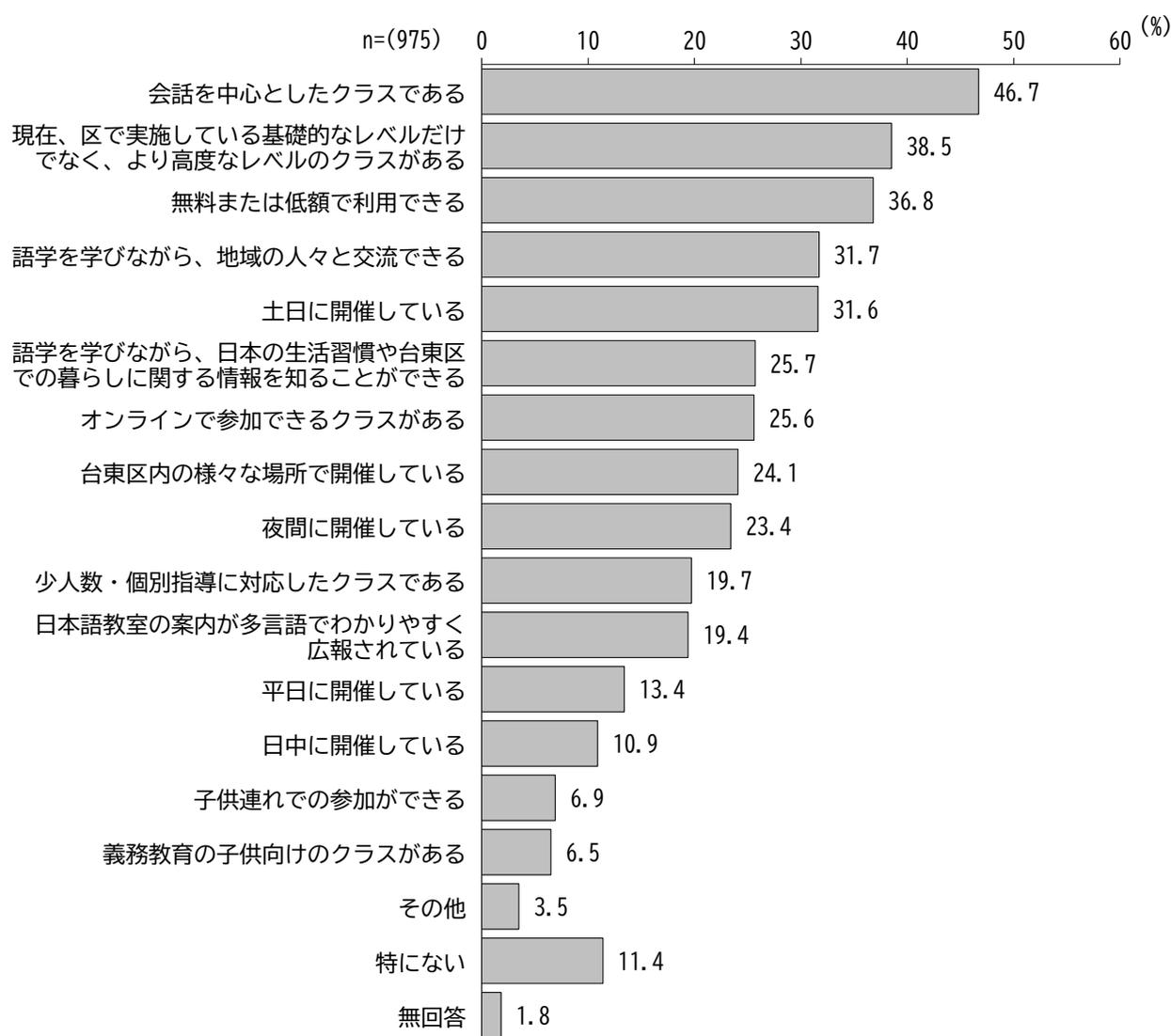


## (5) 日本語教室がより利用しやすくなるために重要なこと

問19 台東区では「外国人のための日本語教室」「子供日本語教室」を開催しています。  
日本語教室の開催方法などで、より利用しやすくなるためには何が重要だと思いますか。  
(当てはまるもの全てに○)

「会話を中心としたクラスである」(46.7%)が最も高く、次いで、「現在、区で実施している基礎的なレベルだけでなく、より高度なレベルのクラスがある」(38.5%)、「無料または低額で利用できる」(36.8%)、「語学を学びながら、地域の人々と交流できる」(31.7%)、「土日に開催している」(31.6%)となっている。

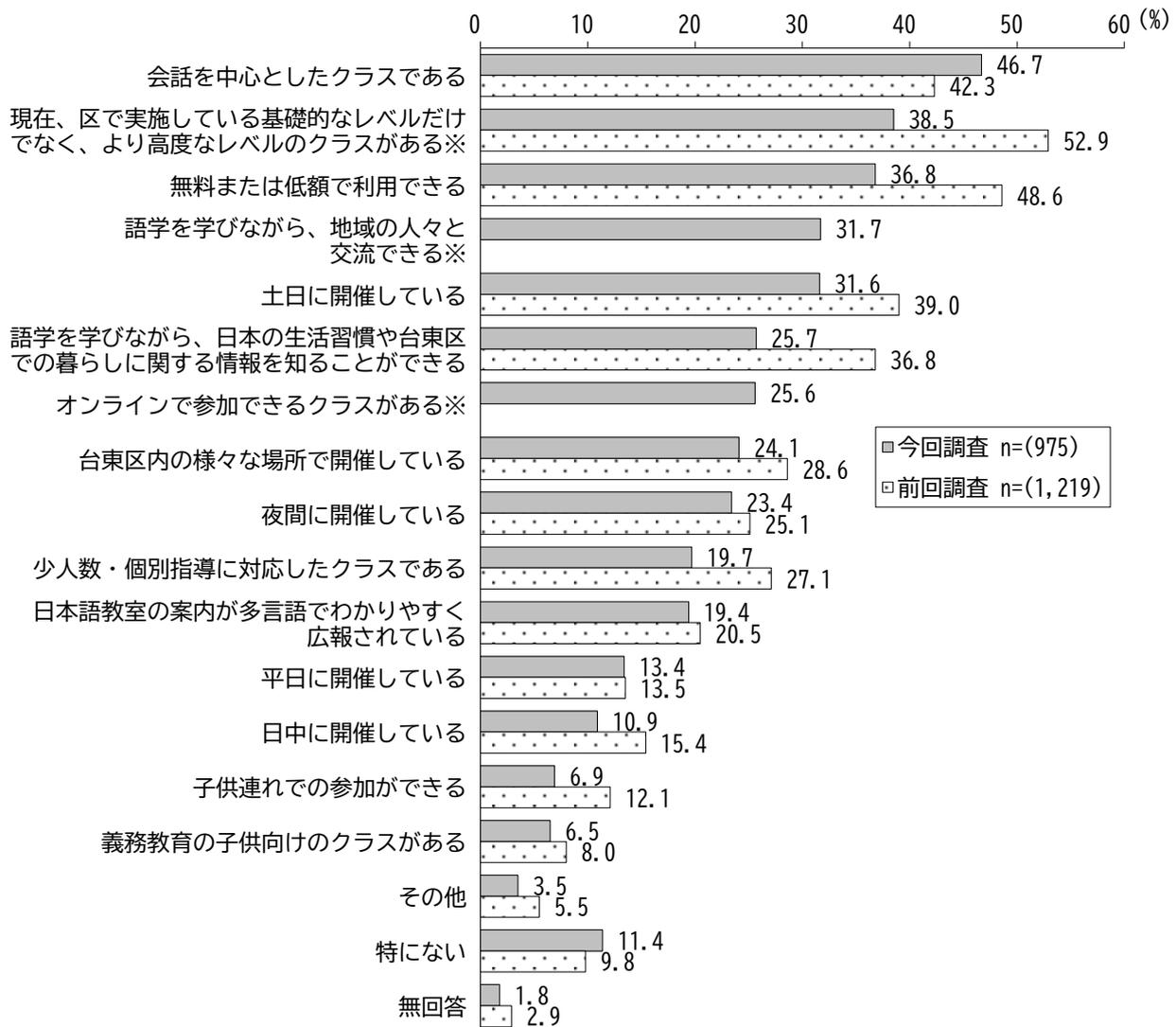
図表 日本語教室がより利用しやすくなるために重要なこと（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「無料または定額で利用できる」が11.8ポイント、「語学を学びながら、日本の生活習慣や台東区での暮らしに関する情報を知ることができる」が11.1ポイント、「土日に開催している」と「少人数・個別指導に対応したクラスである」がそれぞれ7.4ポイント、「子供連れでの参加ができる」が5.2ポイント減少している。一方、「会話を中心としたクラスである」はやや増加している。

図表 【経年比較】日本語教室がより利用しやすくなるために重要なこと（複数回答）



※前回調査の選択肢「初級から上級までの幅広いレベルのクラスがある」が、今回調査より「現在、区で実施している基礎的なレベルだけでなく、より高度なレベルのクラスがある」に変更。また、今回調査より、選択肢「語学を学びながら、地域の人々と交流ができる」「オンラインで参加できるクラスがある」が追加された。

【在留資格別】

「留学」で「会話を中心としたクラスである」「語学を学びながら、地域の人々と交流できる」、「その他」で「無料または低額で利用できる」「語学を学びながら、日本の生活習慣や台東区での暮らしに関する情報を知ることができる」「少人数・個別指導に対応したクラスである」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 日本語教室がより利用しやすくなるために重要なこと（在留資格別）

上段:人数 下段:%	調査数	会話を中心としたクラスである	現在、区で実施している基礎的なレベルだけでなく、より高度なレベルのクラスがある	無料または低額で利用できる	語学を学びながら、地域の人々と交流できる	土日に開催している	語学を学びながら、日本の生活習慣や台東区での暮らしに関する情報を知ることができる	オンラインで参加できるクラスがある	台東区内の様々な場所で開催している	夜間に開催している
全体	975 100.0%	455 46.7%	375 38.5%	359 36.8%	309 31.7%	308 31.6%	251 25.7%	250 25.6%	235 24.1%	228 23.4%
身分・地位に基づく在留資格	390 100.0%	147 37.7%	133 34.1%	129 33.1%	106 27.2%	111 28.5%	88 22.6%	101 25.9%	82 21.0%	71 18.2%
専門的・技術的分野の在留資格	395 100.0%	191 48.4%	164 41.5%	142 35.9%	129 32.7%	150 38.0%	104 26.3%	101 25.6%	97 24.6%	112 28.4%
留学	116 100.0%	75 64.7%	50 43.1%	49 42.2%	51 44.0%	27 23.3%	30 25.9%	32 27.6%	33 28.4%	31 26.7%
その他	69 100.0%	39 56.5%	27 39.1%	35 50.7%	21 30.4%	19 27.5%	27 39.1%	16 23.2%	23 33.3%	13 18.8%

上段:人数 下段:%	調査数	少人数・個別指導に対応したクラスである	日本語教室の案内が多言語でわかりやすく広報されている	平日に開催している	日中に開催している	子供連れでの参加ができる	義務教育の子供向けのクラスがある	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	192 19.7%	189 19.4%	131 13.4%	106 10.9%	67 6.9%	63 6.5%	34 3.5%	111 11.4%	18 1.8%
身分・地位に基づく在留資格	390 100.0%	62 15.9%	67 17.2%	48 12.3%	43 11.0%	33 8.5%	28 7.2%	13 3.3%	58 14.9%	13 3.3%
専門的・技術的分野の在留資格	395 100.0%	79 20.0%	79 20.0%	46 11.6%	33 8.4%	20 5.1%	16 4.1%	16 4.1%	42 10.6%	3 0.8%
留学	116 100.0%	25 21.6%	23 19.8%	20 17.2%	15 12.9%	3 2.6%	7 6.0%	3 2.6%	8 6.9%	- -
その他	69 100.0%	25 36.2%	19 27.5%	17 24.6%	15 21.7%	10 14.5%	12 17.4%	2 2.9%	3 4.3%	1 1.4%

【職業別】

「会社勤務（一般正社員）」で「土日に開催している」、「契約・嘱託・派遣社員」「学生」で「現在、区で実施している基礎的なレベルだけでなく、より高度なレベルのクラスがある」、「専業主婦・主夫」で「無料または低額で利用できる」「少人数・個別指導に対応したクラスである」「平日に開催している」が、「学生」で「会話を中心としたクラスである」「語学を学びながら、地域の人々と交流できる」が、「無職」で「日中に開催している」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 日本語教室がより利用しやすくなるために重要なこと（職業別）

上段：人数 下段：%	調査数	会話を中心としたクラスである	現在、区で実施している基礎的なレベルだけでなく、より高度なレベルのクラスがある	無料または低額で利用できる	語学を学びながら、地域の人々と交流できる	土日に開催している	語学を学びながら、日本の生活習慣や台東区での暮らしに関する情報を知ることができる	オンラインで参加できるクラスがある	台東区内の様々な場所で開催している	夜間に開催している
全体	975 100.0%	455 46.7%	375 38.5%	359 36.8%	309 31.7%	308 31.6%	251 25.7%	250 25.6%	235 24.1%	228 23.4%
会社勤務 (経営者・役員)	109 100.0%	50 45.9%	41 37.6%	37 33.9%	35 32.1%	36 33.0%	26 23.9%	22 20.2%	25 22.9%	32 29.4%
会社勤務 (一般正社員)	425 100.0%	189 44.5%	171 40.2%	143 33.6%	135 31.8%	169 39.8%	104 24.5%	124 29.2%	97 22.8%	116 27.3%
自営業者	49 100.0%	17 34.7%	15 30.6%	12 24.5%	15 30.6%	11 22.4%	12 24.5%	13 26.5%	14 28.6%	4 8.2%
公務員・団体職員	8 100.0%	6 75.0%	3 37.5%	3 37.5%	4 50.0%	3 37.5%	2 25.0%	4 50.0%	2 25.0%	3 37.5%
契約・嘱託・ 派遣社員	35 100.0%	15 42.9%	16 45.7%	10 28.6%	12 34.3%	12 34.3%	8 22.9%	6 17.1%	7 20.0%	3 8.6%
パート・アルバイト	101 100.0%	45 44.6%	32 31.7%	41 40.6%	26 25.7%	18 17.8%	25 24.8%	22 21.8%	21 20.8%	13 12.9%
専業主婦・主夫	61 100.0%	30 49.2%	19 31.1%	30 49.2%	12 19.7%	11 18.0%	18 29.5%	10 16.4%	15 24.6%	6 9.8%
学生	107 100.0%	67 62.6%	47 43.9%	50 46.7%	48 44.9%	27 25.2%	31 29.0%	30 28.0%	34 31.8%	29 27.1%
無職	43 100.0%	20 46.5%	13 30.2%	13 30.2%	11 25.6%	9 20.9%	11 25.6%	7 16.3%	12 27.9%	8 18.6%
その他	29 100.0%	13 44.8%	13 44.8%	17 58.6%	9 31.0%	8 27.6%	13 44.8%	9 31.0%	6 20.7%	12 41.4%

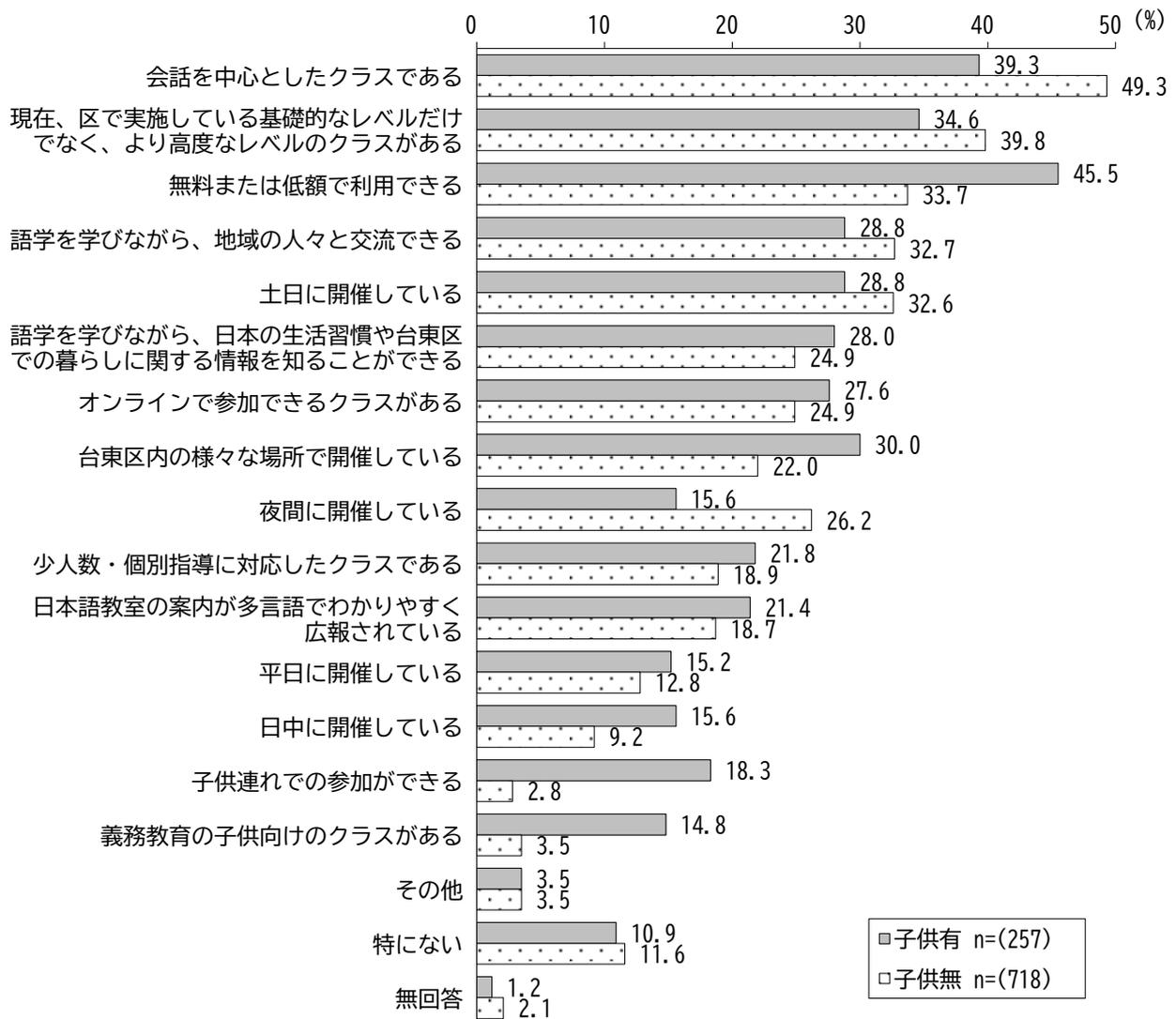
上段：人数 下段：%	調査数	少人数・個別指導に対応したクラスである	日本語教室の案内が多言語でわかりやすく広報されている	平日に開催している	日中に開催している	子供連れでの参加ができる	義務教育の子供向けのクラスがある	その他	特になし	無回答
全体	975 100.0%	192 19.7%	189 19.4%	131 13.4%	106 10.9%	67 6.9%	63 6.5%	34 3.5%	111 11.4%	18 1.8%
会社勤務 (経営者・役員)	109 100.0%	22 20.2%	22 20.2%	13 11.9%	9 8.3%	9 8.3%	9 8.3%	4 3.7%	8 7.3%	3 2.8%
会社勤務 (一般正社員)	425 100.0%	79 18.6%	77 18.1%	47 11.1%	36 8.5%	27 6.4%	21 4.9%	15 3.5%	53 12.5%	5 1.2%
自営業者	49 100.0%	9 18.4%	12 24.5%	7 14.3%	8 16.3%	3 6.1%	3 6.1%	6 12.2%	9 18.4%	1 2.0%
公務員・団体職員	8 100.0%	2 25.0%	1 12.5%	2 25.0%	-	1 12.5%	1 12.5%	-	-	-
契約・嘱託・ 派遣社員	35 100.0%	6 17.1%	8 22.9%	3 8.6%	2 5.7%	1 2.9%	-	1 2.9%	8 22.9%	-
パート・アルバイト	101 100.0%	19 18.8%	15 14.9%	16 15.8%	10 9.9%	8 7.9%	9 8.9%	3 3.0%	9 8.9%	3 3.0%
専業主婦・主夫	61 100.0%	18 29.5%	12 19.7%	15 24.6%	12 19.7%	8 13.1%	6 9.8%	-	8 13.1%	1 1.6%
学生	107 100.0%	24 22.4%	23 21.5%	18 16.8%	15 14.0%	3 2.8%	8 7.5%	3 2.8%	6 5.6%	-
無職	43 100.0%	8 18.6%	7 16.3%	7 16.3%	9 20.9%	2 4.7%	2 4.7%	2 4.7%	3 7.0%	5 11.6%
その他	29 100.0%	4 13.8%	11 37.9%	1 3.4%	4 13.8%	3 10.3%	3 10.3%	-	7 24.1%	-

【子供の有無別】

「子供有」で「子供連れでの参加ができる」「義務教育の子供向けのクラスがある」「無料または低額で利用できる」「台東区内の様々な場所で開催している」「日中に開催している」が「子供無」と比較して高い。

一方、「子供無」で「会話を中心としたクラスである」「夜間に開催している」「現在、区で実施している基礎的なレベルだけでなく、より高度なレベルのクラスがある」が「子供有」と比較して高い。

図表 日本語教室がより利用しやすくなるために重要なこと（子供の有無別）



【国籍別】

「会話を中心としたクラスである」は「中国」「ベトナム」「台湾」「アメリカ」などで40%以上となっている一方で、「フィリピン」で30%を超え、「韓国」で20%台半ばとなっている。

「フィリピン」では「現在、区で実施している基礎的なレベルだけでなく、より高度なレベルのクラスがある」「無料または低額で利用できる」「土日に開催している」など、全体平均と比較して5ポイント以上高い項目が多くなっている。

図表 日本語教室がより利用しやすくなるために重要なこと（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	会話を中心としたクラスである	現在、区で実施している基礎的なレベルだけでなく、より高度なレベルのクラスがある	無料または低額で利用できる	語学を学びながら、地域の人々と交流できる	土日に開催している	語学を学びながら、日本の生活習慣や台東区での暮らしに関する情報を知ることができる	オンラインで参加できるクラスがある	台東区内の様々な場所で開催している	夜間に開催している
全体	975 100.0%	455 46.7%	375 38.5%	359 36.8%	309 31.7%	308 31.6%	251 25.7%	250 25.6%	235 24.1%	228 23.4%
中国	472 100.0%	255 54.0%	198 41.9%	154 32.6%	160 33.9%	139 29.4%	143 30.3%	122 25.8%	108 22.9%	106 22.5%
韓国	92 100.0%	25 27.2%	19 20.7%	21 22.8%	23 25.0%	18 19.6%	15 16.3%	19 20.7%	17 18.5%	15 16.3%
ベトナム	41 100.0%	20 48.8%	9 22.0%	21 51.2%	10 24.4%	11 26.8%	8 19.5%	7 17.1%	9 22.0%	2 4.9%
フィリピン	59 100.0%	19 32.2%	31 52.5%	40 67.8%	23 39.0%	33 55.9%	27 45.8%	20 33.9%	20 33.9%	20 33.9%
台湾	49 100.0%	22 44.9%	18 36.7%	12 24.5%	17 34.7%	18 36.7%	16 32.7%	17 34.7%	7 14.3%	15 30.6%
アメリカ	35 100.0%	14 40.0%	18 51.4%	11 31.4%	12 34.3%	10 28.6%	7 20.0%	11 31.4%	12 34.3%	12 34.3%
その他	224 100.0%	97 43.3%	81 36.2%	98 43.8%	62 27.7%	78 34.8%	34 15.2%	54 24.1%	62 27.7%	57 25.4%

上段:人数 下段:%	調査数	少人数・個別指導に対応したクラスである	日本語教室の案内が多言語でわかりやすく広報されている	平日に開催している	日中に開催している	子供連れでの参加ができる	義務教育の子供向けのクラスがある	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	192 19.7%	189 19.4%	131 13.4%	106 10.9%	67 6.9%	63 6.5%	34 3.5%	111 11.4%	18 1.8%
中国	472 100.0%	100 21.2%	77 16.3%	62 13.1%	50 10.6%	31 6.6%	33 7.0%	12 2.5%	46 9.7%	7 1.5%
韓国	92 100.0%	8 8.7%	19 20.7%	3 3.3%	3 3.3%	11 12.0%	4 4.3%	2 2.2%	20 21.7%	4 4.3%
ベトナム	41 100.0%	3 7.3%	10 24.4%	5 12.2%	4 9.8%	4 9.8%	7 17.1%	3 7.3%	2 4.9%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	10 16.9%	27 45.8%	11 18.6%	8 13.6%	6 10.2%	10 16.9%	3 5.1%	1 1.7%	4 6.8%
台湾	49 100.0%	11 22.4%	6 12.2%	9 18.4%	6 12.2%	1 2.0%	- -	1 2.0%	6 12.2%	- -
アメリカ	35 100.0%	10 28.6%	8 22.9%	10 28.6%	9 25.7%	3 8.6%	2 5.7%	2 5.7%	7 20.0%	- -
その他	224 100.0%	50 22.3%	41 18.3%	31 13.8%	26 11.6%	11 4.9%	7 3.1%	11 4.9%	29 12.9%	2 0.9%

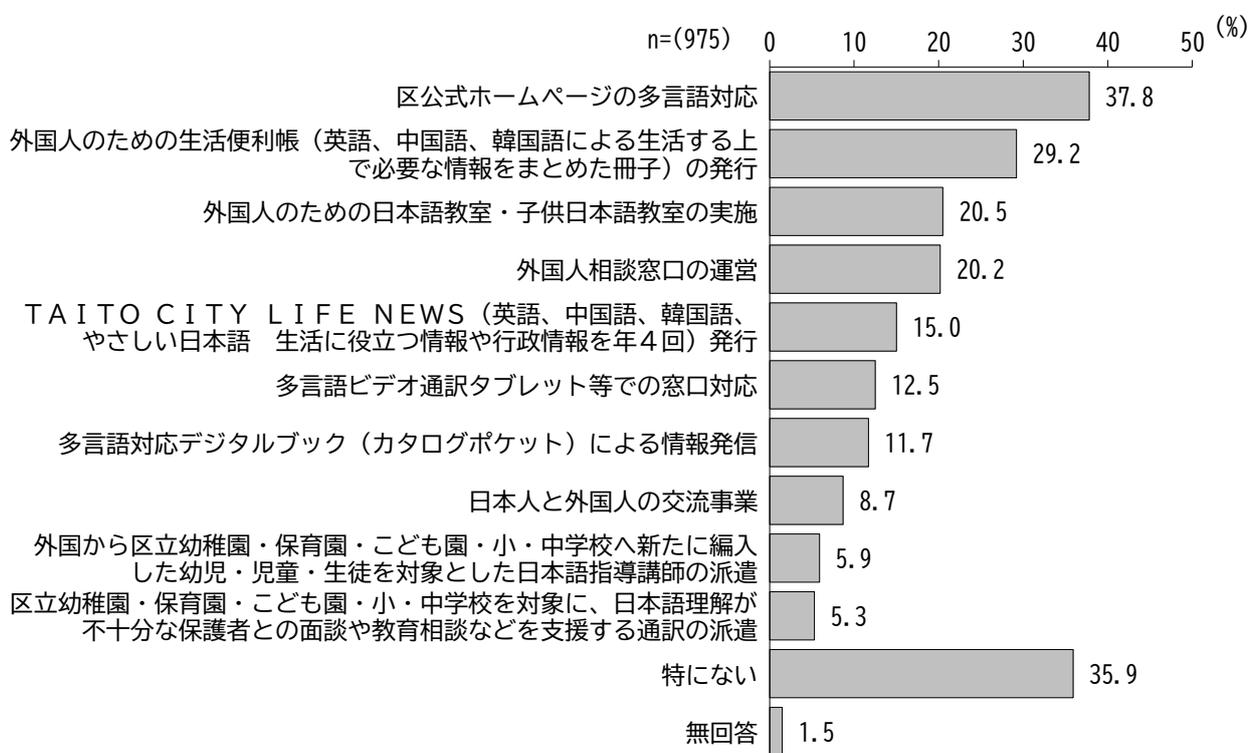
## 3. 台東区の実施について

## (1) 多文化共生に関するサービスや取組の認知度

問20 台東区で実施している外国人を対象としたサービスや取組を知っていますか。  
(当てはまるもの全てに○)

「区公式ホームページの多言語対応」(37.8%)、次いで、「外国人のための生活便利帳(英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子)の発行」(29.2%)、「外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施」(20.5%)、「外国人相談窓口の運営」(20.2%)となっている。なお、「特にない」は35.9%となっている。

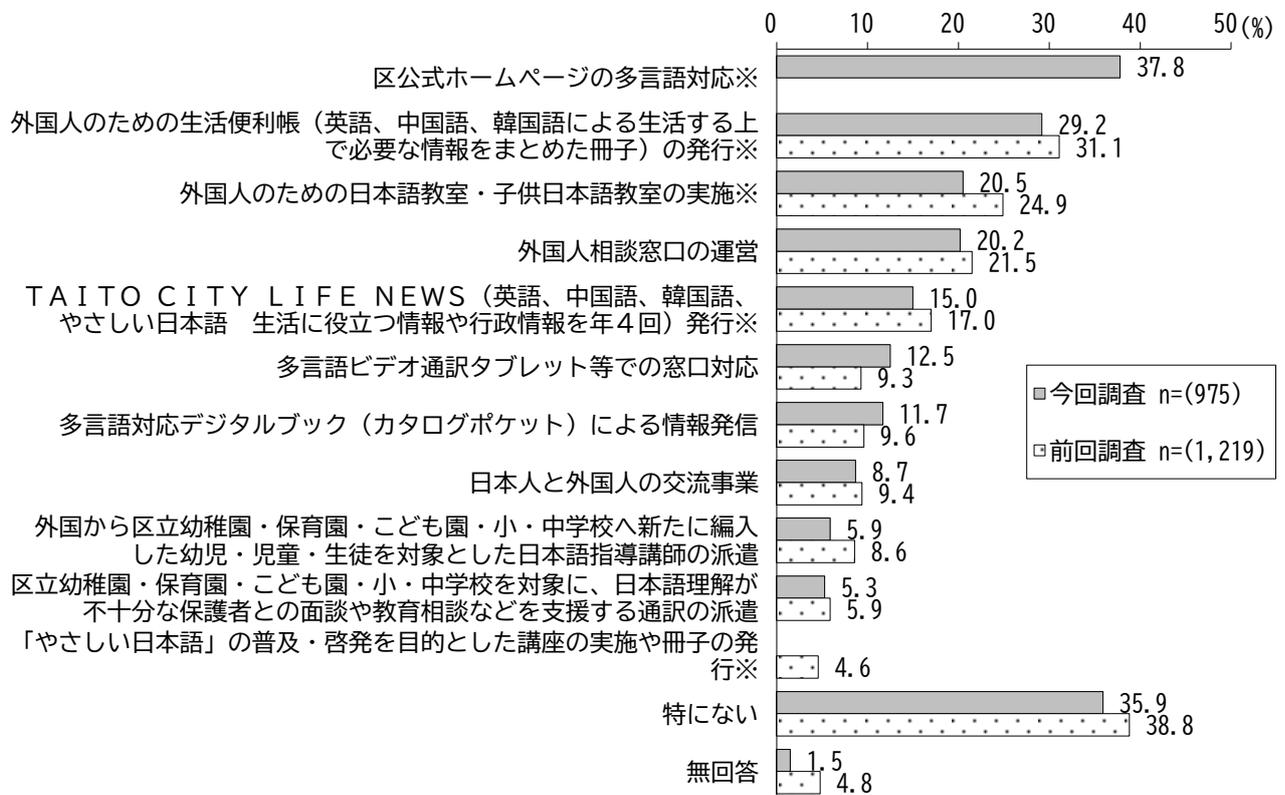
図表 多文化共生に関するサービスや取組の認知度(複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、「多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応」がやや増加している。

図表 【経年比較】多文化共生に関するサービスや取組の認知度（複数回答）



※今回調査より、選択肢「区公式のホームページの多言語対応」が追加された。

※今回調査の選択肢「外国人のための生活便利帳（英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子）の発行」は前回調査では「生活する上で必要な情報を多言語でまとめた「生活便利帳」の発行」、「TAITO CITY LIFE NEWS（英語、中国語、韓国語、やさしい日本語 生活に役立つ情報や行政情報を年4回）発行」は「生活に役立つ情報や行政情報を英語、中国語、韓国語、やさしい日本語で年4回発行する「多言語情報紙」の発行」、「外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施」は「外国人のための日本語教室の実施」であった。

※今回調査より、選択肢「「やさしい日本語」の普及・啓発を目的とした講座の実施や冊子の発行」が削除された。

【日本人との交流機会の頻度別】

日本人との交流機会が多いほど、「外国人のための生活便利帳（英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子）の発行」「多言語対応デジタルブック（カタログポケット）による情報発信」の割合が高くなる傾向がみられる。交流機会が「全くない」で知っているサービスや取組が「特にない」が45.1%となっており、全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 多文化共生に関するサービスや取組の認知度（日本人との交流機会の頻度別）

上段:人数 下段:%	調査数	区公式ホームページの多言語対応	外国人のための生活便利帳(英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子)の発行	外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施	外国人相談窓口の運営	TAITO CITY LIFE NEWS(英語、中国語、韓国語、やさしい日本語 生活に役立つ情報や行政情報を年4回)発行	多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応
全体	975 100.0%	369 37.8%	285 29.2%	200 20.5%	197 20.2%	146 15.0%	122 12.5%
たくさんある	170 100.0%	65 38.2%	44 25.9%	29 17.1%	31 18.2%	29 17.1%	16 9.4%
少しある	326 100.0%	136 41.7%	112 34.4%	90 27.6%	82 25.2%	62 19.0%	47 14.4%
あまりない	299 100.0%	108 36.1%	90 30.1%	54 18.1%	53 17.7%	36 12.0%	41 13.7%
全くない	102 100.0%	36 35.3%	22 21.6%	16 15.7%	17 16.7%	7 6.9%	7 6.9%
わからない	37 100.0%	14 37.8%	6 16.2%	5 13.5%	5 13.5%	3 8.1%	6 16.2%

上段:人数 下段:%	調査数	多言語対応デジタルブック(カタログポケット)による情報発信	日本人と外国人の交流事業	外国から区立幼稚園・保育園・こども園・小・中学校へ新たに編入した幼児・児童・生徒を対象とした日本語指導講師の派遣	区立幼稚園・保育園・こども園・小・中学校を対象に、日本語理解が不十分な保護者との面談や教育相談などを支援する通訳の派遣	特にない	無回答
全体	975 100.0%	114 11.7%	85 8.7%	58 5.9%	52 5.3%	350 35.9%	15 1.5%
たくさんある	170 100.0%	30 17.6%	14 8.2%	20 11.8%	19 11.2%	64 37.6%	3 1.8%
少しある	326 100.0%	39 12.0%	36 11.0%	22 6.7%	19 5.8%	91 27.9%	5 1.5%
あまりない	299 100.0%	27 9.0%	21 7.0%	13 4.3%	10 3.3%	117 39.1%	2 0.7%
全くない	102 100.0%	8 7.8%	5 4.9%	1 1.0%	-	46 45.1%	1 1.0%
わからない	37 100.0%	4 10.8%	2 5.4%	-	-	13 35.1%	1 2.7%

(2) 台東区の施策に対する満足度と必要度

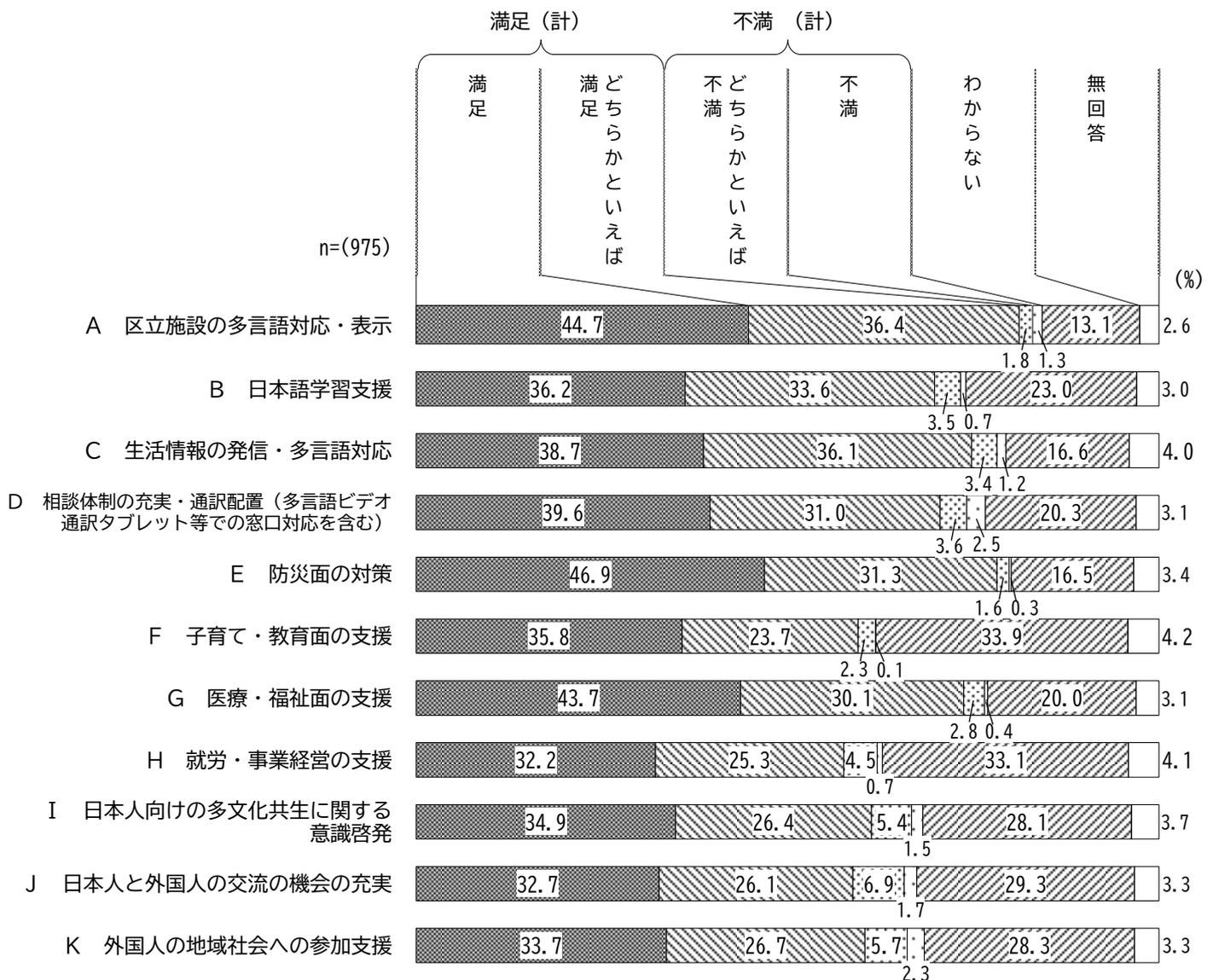
問21 台東区の実施策に対して満足していますか。また、その実施策はあなたにとってどのくらい必要ですか。(それぞれひとつに○)

【① 台東区の実施策に対する満足度】

「満足」「どちらかといえば満足」の合計「満足(計)」の割合が最も高い項目は、「A 区立施設の多言語対応・表示」(81.1%)となっている。次いで、「E 防災面の対策」(78.2%)、「C 生活情報の発信・多言語対応」(74.8%)、「G 医療・福祉面の支援」(73.8%)と続いている。

一方、「不満」「どちらかといえば不満」の合計「不満(計)」が最も高い項目は、「J 日本人と外国人の交流の機会の充実」(8.6%)となっている。次いで、「K 外国人の地域社会への参加支援」(8.0%)、「I 日本人向けの多文化共生に関する意識啓発」(6.9%)、「D 相談体制の充実・通訳配置(多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応を含む)」(6.1%)と続いている。

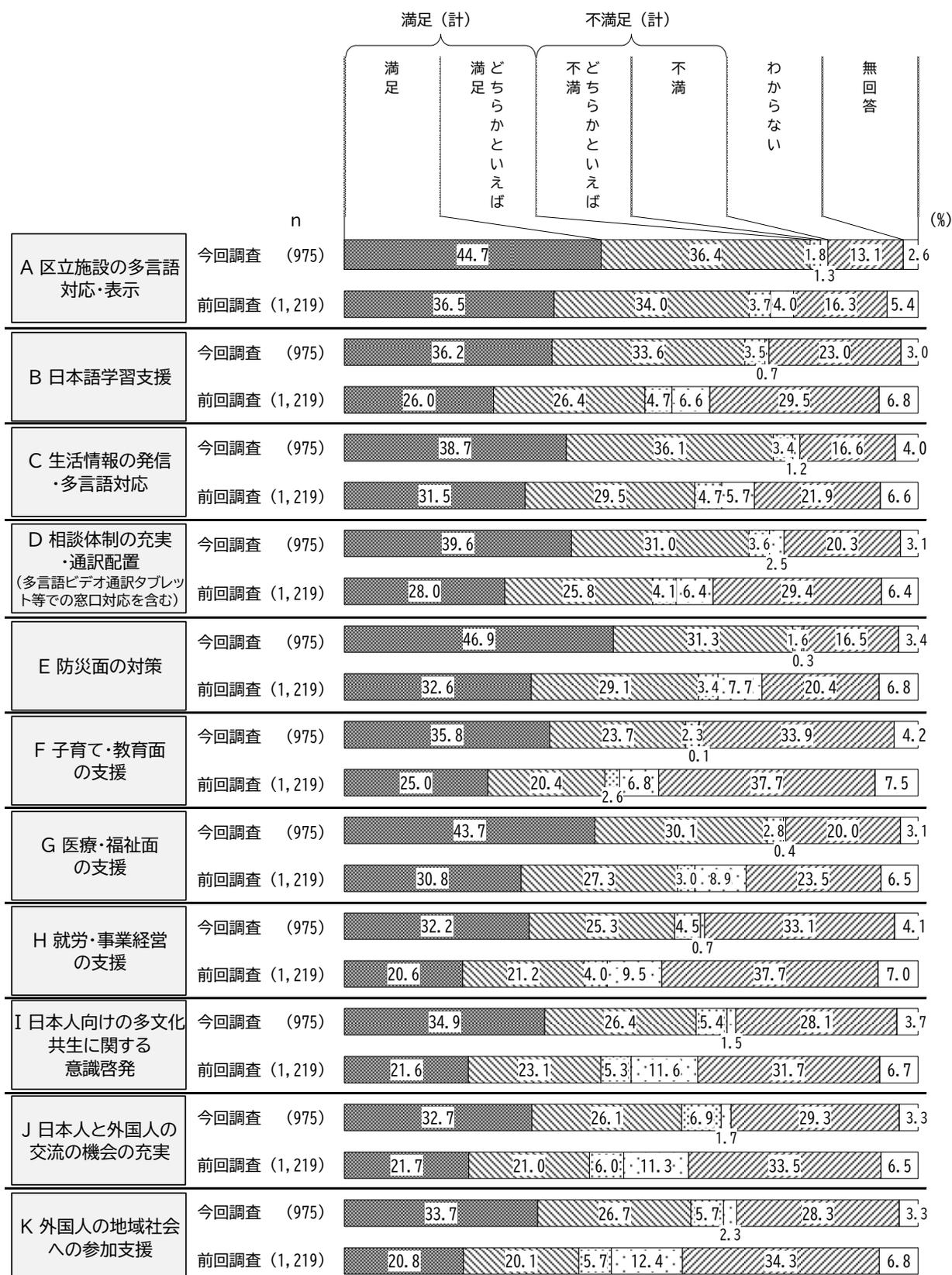
図表 台東区の実施策に対する満足度(単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、全項目で「満足（計）」が10ポイント以上増加しており、特に「K 外国人の地域社会への参加支援」が19.5ポイント、「B 日本語学習支援」が17.4ポイント増加している。

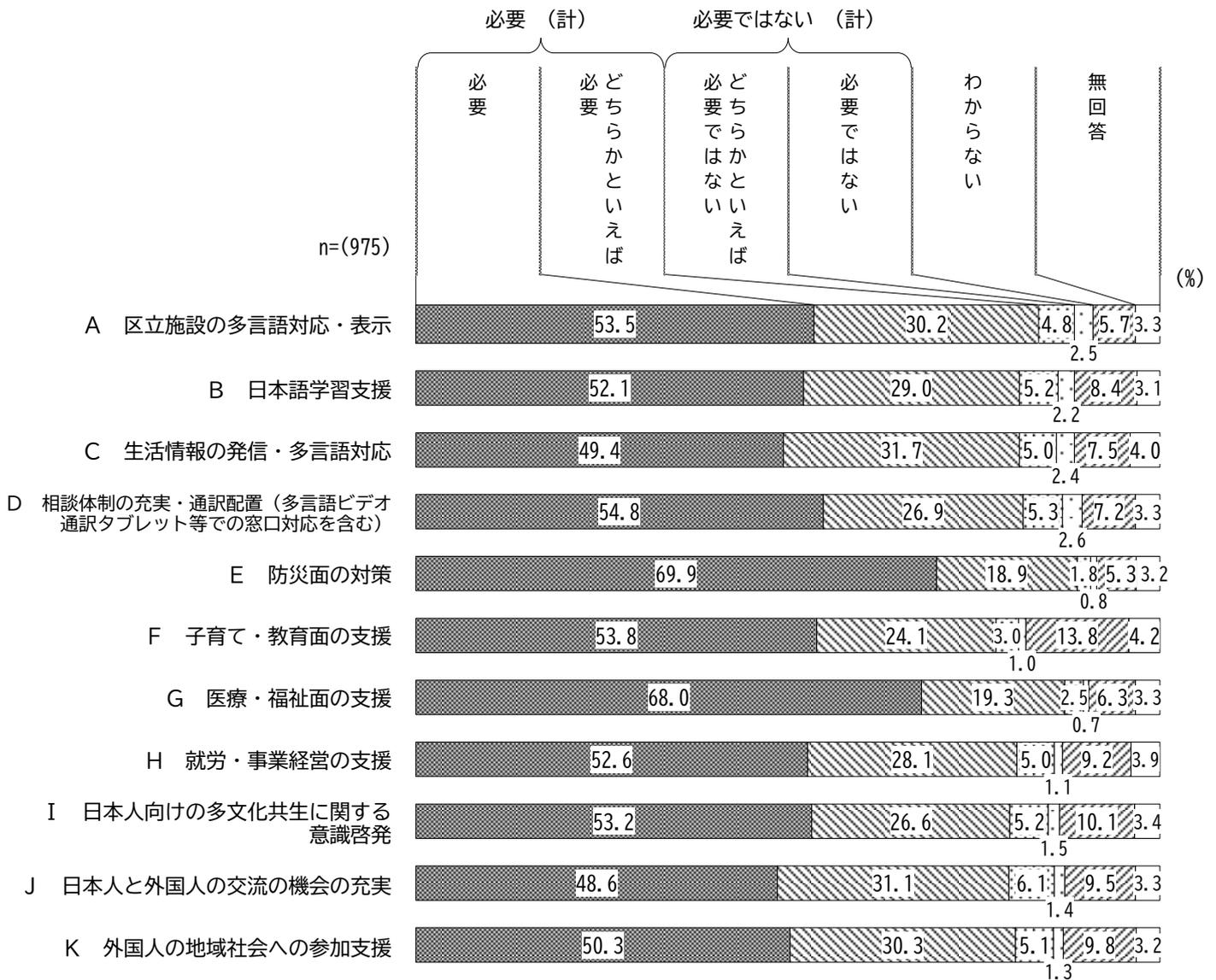
図表 【経年比較】台東区の施策に対する満足度（単一回答）



【②台東区の施策に対する必要度】

「必要」「どちらかといえば必要」の合計「必要（計）」の割合が最も高い項目は、「E 防災面の対策」（88.8%）となっている。次いで、「G 医療・福祉面の支援」（87.3%）、「A 区立施設の多言語対応・表示」（83.7%）、「D 相談体制の充実・通訳配置（多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応を含む）」（81.7%）と続いており、全項目において、「必要」「どちらかといえば必要」の合計の割合が70%以上となっている。

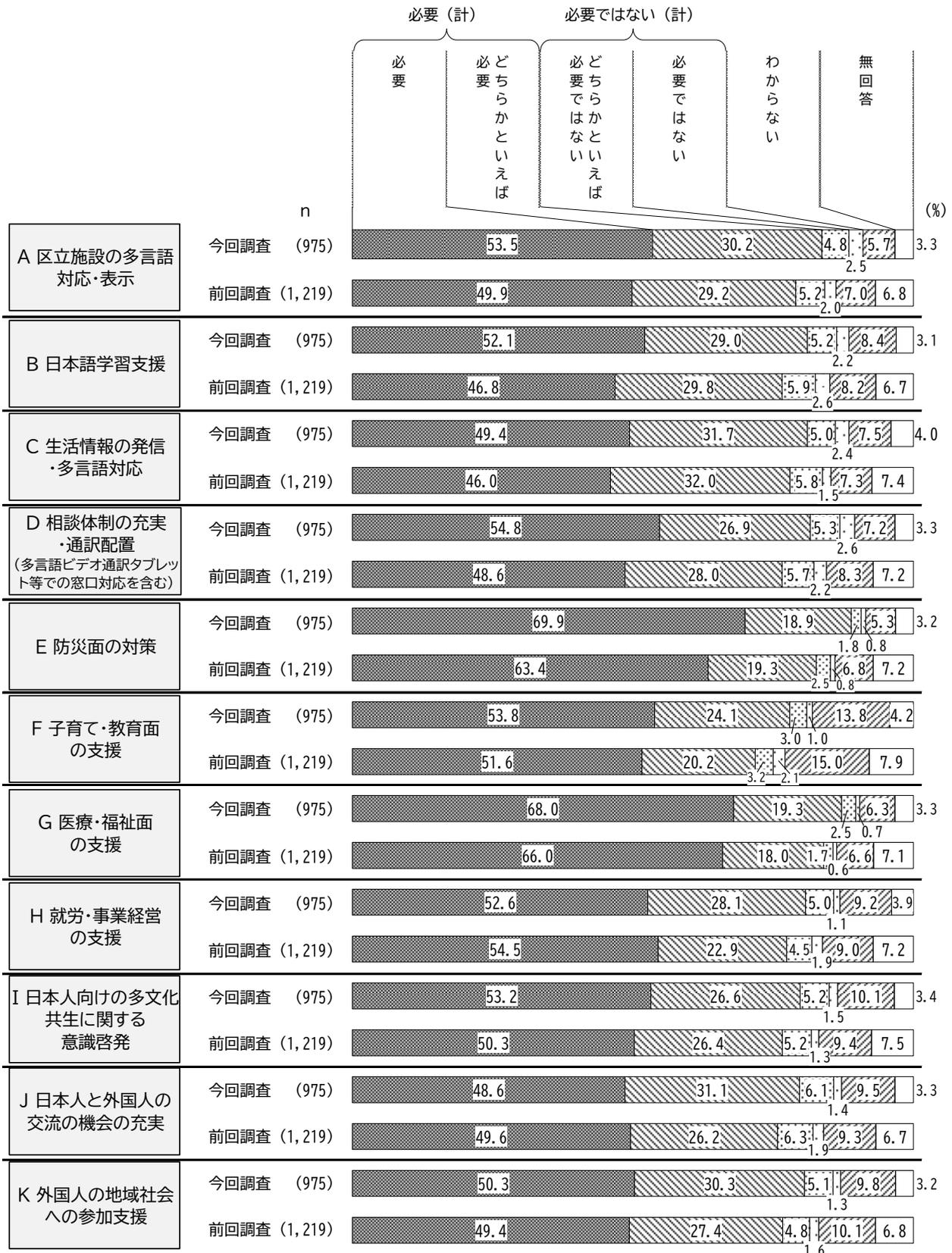
図表 台東区の施策に対する必要度（単一回答）



【経年比較】

前回との比較では、全項目で「必要（計）」が増加しており、特に「E 防災面の対策」及び「F 子育て・教育面の支援」がいずれも6.1ポイント増加している。

図表 【経年比較】台東区の施策に対する必要度（単一回答）

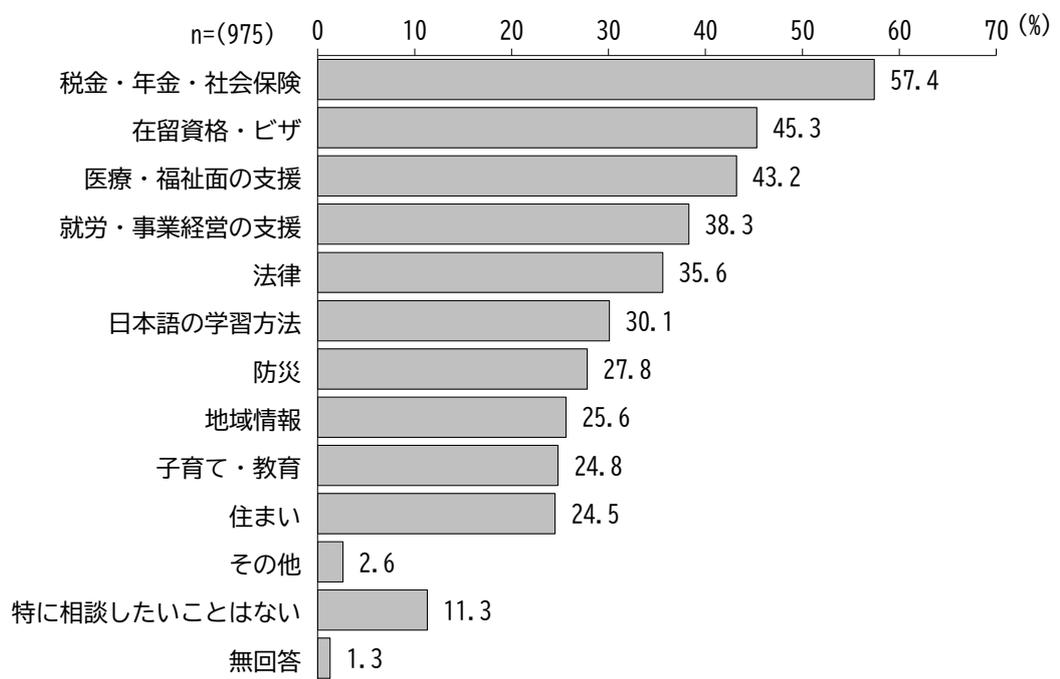


(3) 多言語による一元的な外国人相談窓口開設後に相談したいこと

問22 令和8（2026）年11月の生涯学習センター改修工事後のリニューアルオープンに合わせて、多言語による一元的な外国人相談窓口を開設する予定です。  
開設後、どんなことが相談したいですか。（当てはまるもの全てに○）

「税金・年金・社会保険」（57.4%）、次いで、「在留資格・ビザ」（45.3%）、「医療・福祉面の支援」（43.2%）、「就労・事業経営の支援」（38.3%）、「法律」（35.6%）となっている。なお、「特に相談したいことはない」は11.3%となっている。

図表 多言語による一元的な外国人窓口開設後に相談したいこと（複数回答）



【台東区居住年数別】

「1年未満」で「医療・福祉面の支援」「日本語の学習方法」「住まい」が、「5年～10年未満」「10年～20年未満」で「子育て・教育」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

居住年数が浅い「1年未満」「1年～3年未満」で、「在留資格・ビザ」が高くなっている。居住年数が経つにつれて「特に相談したいことはない」が高くなる傾向がみられる。

居住年数20年未満では「税金・年金・社会保険」が50%～60%台、「就労・事業経営の支援」が30%～40%台となっている。

図表 多言語による一元的な外国人窓口開設後に相談したいこと（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金・年金・社会保険	在留資格・ビザ	医療・福祉面の支援	就労・事業経営の支援	法律	日本語の学習方法	防災
全体	975 100.0%	560 57.4%	442 45.3%	421 43.2%	373 38.3%	347 35.6%	293 30.1%	271 27.8%
1年未満	89 100.0%	53 59.6%	56 62.9%	45 50.6%	38 42.7%	32 36.0%	35 39.3%	29 32.6%
1年～3年未満	354 100.0%	218 61.6%	203 57.3%	151 42.7%	145 41.0%	127 35.9%	120 33.9%	103 29.1%
3年～5年未満	169 100.0%	101 59.8%	68 40.2%	75 44.4%	69 40.8%	63 37.3%	56 33.1%	55 32.5%
5年～10年未満	189 100.0%	106 56.1%	76 40.2%	74 39.2%	74 39.2%	69 36.5%	50 26.5%	51 27.0%
10年～20年未満	110 100.0%	61 55.5%	27 24.5%	50 45.5%	38 34.5%	38 34.5%	22 20.0%	21 19.1%
20年以上	59 100.0%	21 35.6%	9 15.3%	25 42.4%	9 15.3%	18 30.5%	8 13.6%	12 20.3%

上段:人数 下段:%	調査数	地域情報	子育て・教育	住まい	その他	特に相談したいことはない	無回答
全体	975 100.0%	250 25.6%	242 24.8%	239 24.5%	25 2.6%	110 11.3%	13 1.3%
1年未満	89 100.0%	25 28.1%	24 27.0%	32 36.0%	2 2.2%	5 5.6%	- -
1年～3年未満	354 100.0%	99 28.0%	76 21.5%	97 27.4%	9 2.5%	23 6.5%	1 0.3%
3年～5年未満	169 100.0%	47 27.8%	42 24.9%	38 22.5%	3 1.8%	22 13.0%	2 1.2%
5年～10年未満	189 100.0%	45 23.8%	60 31.7%	41 21.7%	8 4.2%	24 12.7%	2 1.1%
10年～20年未満	110 100.0%	23 20.9%	33 30.0%	24 21.8%	3 2.7%	21 19.1%	4 3.6%
20年以上	59 100.0%	11 18.6%	6 10.2%	7 11.9%	- -	15 25.4%	4 6.8%

### 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細

#### 【居住地域別】

「税金・年金・社会保険」は「浅草寿地区」で72.1%、「雷門地区」「馬道地区」で60%台である一方で、「上野地区」で48.6%となっている。「在留資格・ビザ」は「雷門地区」で60%、「浅草寿地区」で50%を超える一方で、「馬道地区」「清川地区」で30%台となっている。

このほか、「雷門地区」で「医療・福祉面の支援」「法律」、「浅草橋地区」で「就労・事業経営の支援」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 多言語による一元的な外国人窓口開設後に相談したいこと（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金・年金・社会保険	在留資格・ビザ	医療・福祉面の支援	就労・事業経営の支援	法律	日本語の学習方法	防災
全体	975 100.0%	560 57.4%	442 45.3%	421 43.2%	373 38.3%	347 35.6%	293 30.1%	271 27.8%
竹町地区	40 100.0%	22 55.0%	17 42.5%	15 37.5%	12 30.0%	14 35.0%	9 22.5%	10 25.0%
東上野地区	133 100.0%	77 57.9%	64 48.1%	62 46.6%	57 42.9%	45 33.8%	42 31.6%	34 25.6%
上野地区	105 100.0%	51 48.6%	48 45.7%	43 41.0%	34 32.4%	35 33.3%	35 33.3%	21 20.0%
入谷地区	211 100.0%	116 55.0%	95 45.0%	85 40.3%	83 39.3%	75 35.5%	55 26.1%	68 32.2%
金杉地区	46 100.0%	23 50.0%	21 45.7%	19 41.3%	19 41.3%	15 32.6%	16 34.8%	12 26.1%
谷中地区	21 100.0%	6 28.6%	4 19.0%	4 19.0%	7 33.3%	9 42.9%	6 28.6%	2 9.5%
浅草橋地区	128 100.0%	75 58.6%	56 43.8%	57 44.5%	57 44.5%	36 28.1%	41 32.0%	35 27.3%
浅草寿地区	104 100.0%	75 72.1%	54 51.9%	47 45.2%	45 43.3%	42 40.4%	35 33.7%	30 28.8%
雷門地区	53 100.0%	36 67.9%	33 62.3%	30 56.6%	16 30.2%	24 45.3%	18 34.0%	13 24.5%
馬道地区	53 100.0%	34 64.2%	17 32.1%	22 41.5%	12 22.6%	19 35.8%	10 18.9%	15 28.3%
清川地区	67 100.0%	39 58.2%	26 38.8%	31 46.3%	25 37.3%	28 41.8%	21 31.3%	25 37.3%

上段:人数 下段:%	調査数	地域情報	子育て・教育	住まい	その他	特に相談したいことはない	無回答
全体	975 100.0%	250 25.6%	242 24.8%	239 24.5%	25 2.6%	110 11.3%	13 1.3%
竹町地区	40 100.0%	17 42.5%	8 20.0%	6 15.0%	-	6 15.0%	2 5.0%
東上野地区	133 100.0%	37 27.8%	31 23.3%	35 26.3%	5 3.8%	21 15.8%	1 0.8%
上野地区	105 100.0%	20 19.0%	24 22.9%	25 23.8%	3 2.9%	6 5.7%	1 1.0%
入谷地区	211 100.0%	56 26.5%	53 25.1%	57 27.0%	5 2.4%	20 9.5%	3 1.4%
金杉地区	46 100.0%	9 19.6%	16 34.8%	5 10.9%	2 4.3%	8 17.4%	3 6.5%
谷中地区	21 100.0%	4 19.0%	6 28.6%	4 19.0%	1 4.8%	7 33.3%	-
浅草橋地区	128 100.0%	21 16.4%	31 24.2%	32 25.0%	2 1.6%	12 9.4%	-
浅草寿地区	104 100.0%	33 31.7%	28 26.9%	27 26.0%	4 3.8%	8 7.7%	1 1.0%
雷門地区	53 100.0%	16 30.2%	12 22.6%	13 24.5%	1 1.9%	5 9.4%	-
馬道地区	53 100.0%	17 32.1%	10 18.9%	12 22.6%	2 3.8%	9 17.0%	1 1.9%
清川地区	67 100.0%	15 22.4%	17 25.4%	17 25.4%	-	7 10.4%	1 1.5%

【国籍別】

「税金・年金・社会保険」は「ベトナム」「その他」で60%台となっている一方で、「韓国」「アメリカ」で40%台となっている。このほか、「ベトナム」では「在留資格・ビザ」、「その他」では「在留資格・ビザ」「法律」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

「フィリピン」では「医療・福祉面の支援」「日本語の学習方法」「防災」、「ベトナム」では「子育て・教育」「住まい」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高くなっている。

図表 多言語による一元的な外国人窓口開設後に相談したいこと（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金・年金・社会保険	在留資格・ビザ	医療・福祉面の支援	就労・事業経営の支援	法律	日本語の学習方法	防災
全体	975 100.0%	560 57.4%	442 45.3%	421 43.2%	373 38.3%	347 35.6%	293 30.1%	271 27.8%
中国	472 100.0%	274 58.1%	215 45.6%	234 49.6%	200 42.4%	168 35.6%	148 31.4%	131 27.8%
韓国	92 100.0%	41 44.6%	25 27.2%	26 28.3%	20 21.7%	23 25.0%	11 12.0%	10 10.9%
ベトナム	41 100.0%	25 61.0%	22 53.7%	17 41.5%	16 39.0%	14 34.1%	12 29.3%	8 19.5%
フィリピン	59 100.0%	32 54.2%	25 42.4%	33 55.9%	25 42.4%	19 32.2%	31 52.5%	27 45.8%
台湾	49 100.0%	27 55.1%	19 38.8%	13 26.5%	15 30.6%	9 18.4%	7 14.3%	8 16.3%
アメリカ	35 100.0%	17 48.6%	16 45.7%	9 25.7%	8 22.9%	10 28.6%	14 40.0%	13 37.1%
その他	224 100.0%	143 63.8%	119 53.1%	87 38.8%	86 38.4%	103 46.0%	68 30.4%	73 32.6%

上段:人数 下段:%	調査数	地域情報	子育て・教育	住まい	その他	特に相談したいことはない	無回答
全体	975 100.0%	250 25.6%	242 24.8%	239 24.5%	25 2.6%	110 11.3%	13 1.3%
中国	472 100.0%	126 26.7%	128 27.1%	99 21.0%	9 1.9%	39 8.3%	4 0.8%
韓国	92 100.0%	15 16.3%	17 18.5%	15 16.3%	2 2.2%	28 30.4%	3 3.3%
ベトナム	41 100.0%	7 17.1%	14 34.1%	21 51.2%	1 2.4%	3 7.3%	- -
フィリピン	59 100.0%	18 30.5%	15 25.4%	17 28.8%	- -	3 5.1%	2 3.4%
台湾	49 100.0%	7 14.3%	7 14.3%	9 18.4%	1 2.0%	10 20.4%	- -
アメリカ	35 100.0%	14 40.0%	10 28.6%	6 17.1%	2 5.7%	7 20.0%	1 2.9%
その他	224 100.0%	62 27.7%	51 22.8%	71 31.7%	9 4.0%	20 8.9%	3 1.3%

## 4. 日頃の暮らしについて

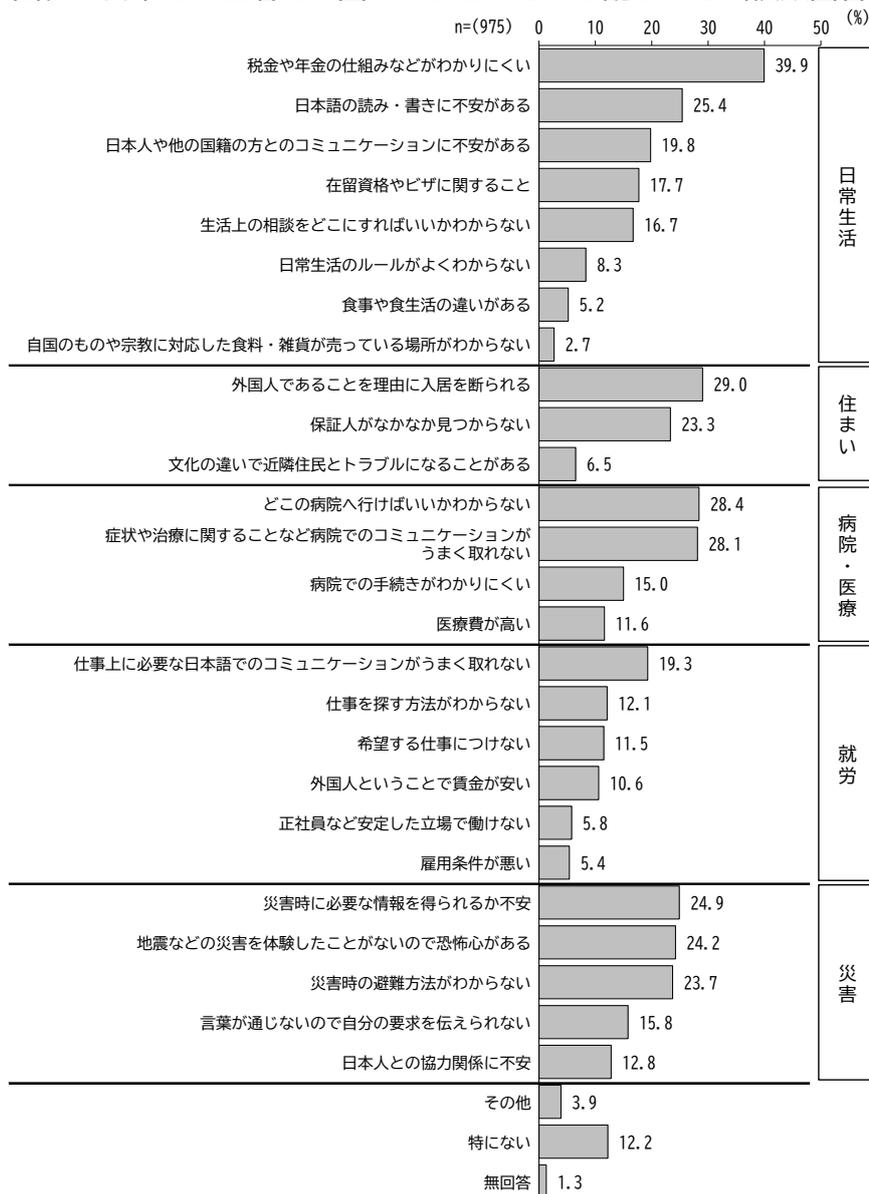
### (1) 日本での生活で、困っていることや心配なこと

問23 あなたは、日本での生活で、困っていることや心配なことはありますか。  
(当てはまるもの全てに○)

全体では、「税金や年金の仕組みなどがわかりにくい」(39.9%)が最も高く、次いで、「外国人であることを理由に入居を断られる」(29.0%)、「どこの病院へ行けばいいかわからない」(28.4%)、「症状や治療に関することなど病院でのコミュニケーションがうまく取れない」(28.1%)などと続いている。

その他に、日常生活で「日本語の読み・書きに不安がある」(25.4%)、住まいで「保証人がなかなか見つからない」(23.3%)、災害で「災害時に必要な情報を得られるか不安」(24.9%)、「地震などの災害を体験したことがないので恐怖心がある」(24.2%)、「災害時の避難方法がわからない」(23.7%)がいずれも20%台となっている。

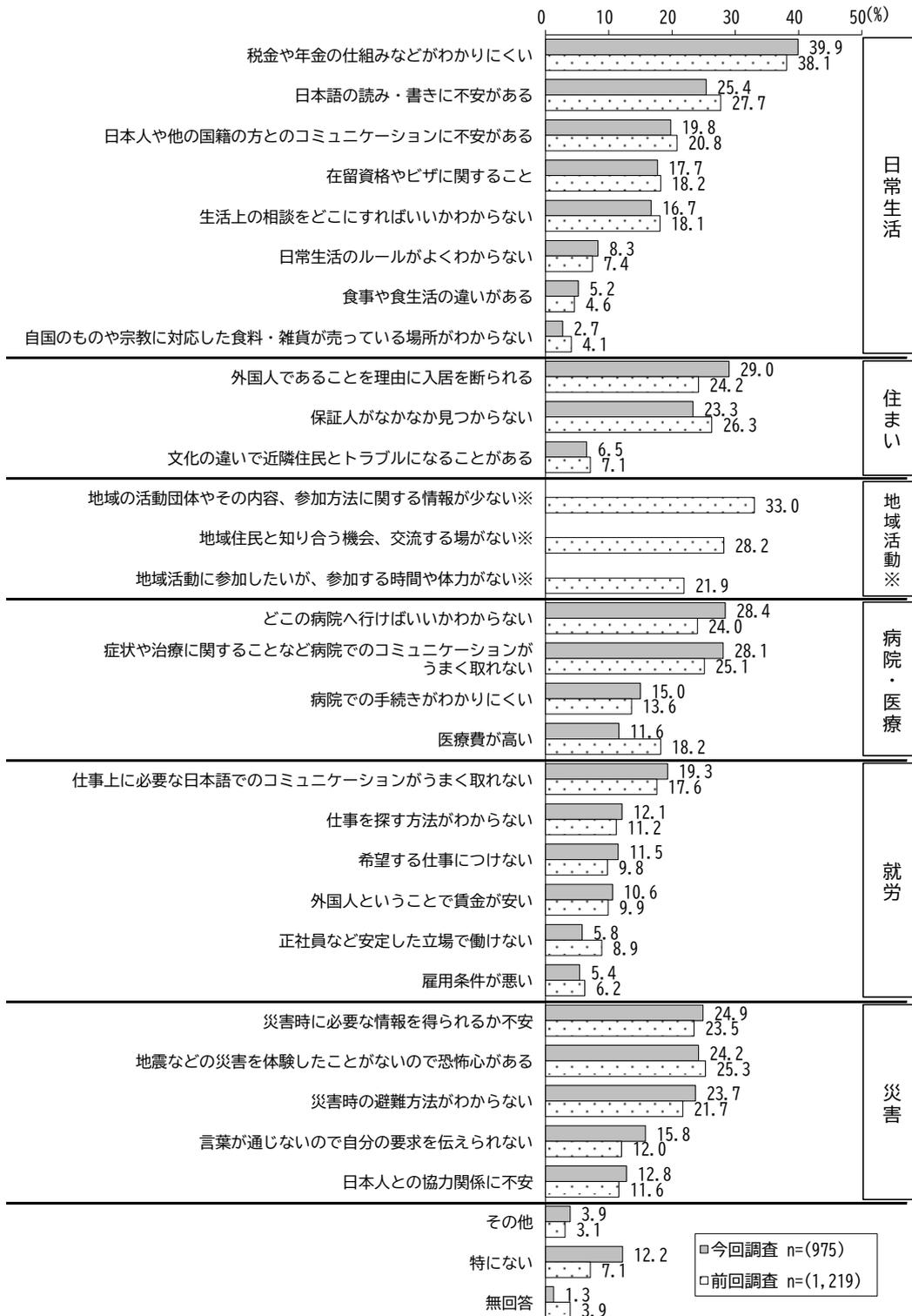
図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「医療費が高い」が6.6ポイント減少している。一方、「特にない」が5.1ポイント増加している。また、【病院・医療】【就労】【災害】の分野では前回から増加傾向にある項目が多くなっている。

図表 【経年比較】日本での生活で、困っていることや心配なこと（複数回答）



※今回調査より、地域活動の3つの選択肢は削除された。

【日常生活（年齢別）】

「18～29歳」では、他の年代と比較して、「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」、「日常生活のルールがよくわからない」などの心配ごとを挙げている人の割合が高い。また、「50～59歳」で「生活上の相談をどこにすればいいかわからない」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。年代が高くなるにつれ、多くの項目の回答割合が低くなる傾向がみられるのに対し、「日本語の読み・書きに不安がある」は、回答数の少ない「70歳以上」を除いて、いずれの年代でも20%以上の回答割合となっていることから、居住年数や年代に関係なく一定の日本語学習のニーズがあるといえる。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【日常生活】（年齢別）

	調査数	税金や年金の仕組みなどがわかりにくい	日本語の読み・書きに不安がある	日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある	在留資格やビザに関すること	生活上の相談をどこにすればいいかわからない	日常生活のルールがよくわからない	食事や食生活の違いがある	自国のものや宗教に対応した食料・雑貨が売っている場所がわからない	上段:人数	下段:%
全体	975	389	248	193	173	163	81	51	26	100.0%	
		39.9%	25.4%	19.8%	17.7%	16.7%	8.3%	5.2%	2.7%		
18～29歳	233	104	55	71	48	44	30	15	7	100.0%	
		44.6%	23.6%	30.5%	20.6%	18.9%	12.9%	6.4%	3.0%		
30～39歳	385	168	88	77	72	56	27	16	13	100.0%	
		43.6%	22.9%	20.0%	18.7%	14.5%	7.0%	4.2%	3.4%		
40～49歳	185	70	51	25	30	29	11	10	3	100.0%	
		37.8%	27.6%	13.5%	16.2%	15.7%	5.9%	5.4%	1.6%		
50～59歳	103	38	39	14	17	24	10	6	2	100.0%	
		36.9%	37.9%	13.6%	16.5%	23.3%	9.7%	5.8%	1.9%		
60～69歳	47	5	11	2	3	6	2	3	1	100.0%	
		10.6%	23.4%	4.3%	6.4%	12.8%	4.3%	6.4%	2.1%		
70歳以上	19	3	3	2	2	4	1	-	-	100.0%	
		15.8%	15.8%	10.5%	10.5%	21.1%	5.3%	-	-		

## 【日常生活（国籍別）】

「日本語の読み・書きに不安がある」が、「フィリピン」では62.7%と回答割合が高い。「フィリピン」では「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」も高く、日本語の読み・書きができないことが、日本人とのコミュニケーションなどの心配ごとにつながっていることがうかがえる。

また、「ベトナム」で「税金や年金の仕組みなどがわかりにくい」「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」「在留資格やビザに関すること」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【日常生活】（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金や年金の 仕組みなどが わかりにくい	日本語の読み・ 書きに不安が ある	日本人や他の 国籍の方との コミュニケーションに不安が ある	在留資格やビ ザに関すること	生活上の相談 をどこにすれば いいかわから ない	日常生活の ルールがよくわ からない	食事や食生活 の違いがある	自国のものや 宗教に対応し た食料・雑貨が 売っている場 所がわからない
全体	975 100.0%	389 39.9%	248 25.4%	193 19.8%	173 17.7%	163 16.7%	81 8.3%	51 5.2%	26 2.7%
中国	472 100.0%	181 38.3%	96 20.3%	105 22.2%	94 19.9%	84 17.8%	61 12.9%	24 5.1%	10 2.1%
韓国	92 100.0%	33 35.9%	5 5.4%	4 4.3%	11 12.0%	17 18.5%	4 4.3%	2 2.2%	1 1.1%
ベトナム	41 100.0%	21 51.2%	11 26.8%	12 29.3%	10 24.4%	6 14.6%	2 4.9%	1 2.4%	2 4.9%
フィリピン	59 100.0%	19 32.2%	37 62.7%	19 32.2%	3 5.1%	6 10.2%	2 3.4%	8 13.6%	- -
台湾	49 100.0%	21 42.9%	6 12.2%	7 14.3%	8 16.3%	8 16.3%	2 4.1%	1 2.0%	- -
アメリカ	35 100.0%	14 40.0%	10 28.6%	6 17.1%	6 17.1%	6 17.1%	1 2.9%	1 2.9%	2 5.7%
その他	224 100.0%	99 44.2%	82 36.6%	38 17.0%	40 17.9%	36 16.1%	9 4.0%	13 5.8%	11 4.9%

【日常生活（日本居住年数別）】

居住年数が経つにつれて、「在留資格やビザに関すること」「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」が低くなっている。一方で、「日本語の読み・書きに不安がある」は、5年未満では30～40%台、5年～20年未満では20.0%、「20年以上」も10%台半ばを占めており、居住年数が長くても日本語の読み・書きへの不安はそれほど低減していないことがわかる。また、「税金や年金の仕組みなどがわかりにくい」も、「1年未満」の半数、他の居住年数においてもいずれも30%以上となっており、居住年数が長くても困っている人が一定の割合いることがわかる。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【日常生活】（日本居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金や年金の 仕組みなどが わかりにくい	日本語の読み・ 書きに不安が ある	日本人や他の 国籍の方との コミュニケーションに不安が ある	在留資格やビ ザに関すること	生活上の相談 をどこにすれば いいかわから ない	日常生活の ルールがよくわ からない	食事や食生活 の違いがある	自国のものや 宗教に対応し た食料・雑貨が 売っている場 所がわからな い
全体	975 100.0%	389 39.9%	248 25.4%	193 19.8%	173 17.7%	163 16.7%	81 8.3%	51 5.2%	26 2.7%
1年未満	38 100.0%	19 50.0%	16 42.1%	17 44.7%	16 42.1%	9 23.7%	8 21.1%	6 15.8%	3 7.9%
1年～3年未満	199 100.0%	62 31.2%	72 36.2%	76 38.2%	51 25.6%	34 17.1%	37 18.6%	18 9.0%	11 5.5%
3年～5年未満	120 100.0%	48 40.0%	40 33.3%	32 26.7%	25 20.8%	24 20.0%	9 7.5%	6 5.0%	3 2.5%
5年～10年未満	235 100.0%	115 48.9%	47 20.0%	40 17.0%	48 20.4%	32 13.6%	18 7.7%	11 4.7%	5 2.1%
10年～20年未満	215 100.0%	93 43.3%	43 20.0%	21 9.8%	20 9.3%	41 19.1%	7 3.3%	4 1.9%	2 0.9%
20年以上	155 100.0%	49 31.6%	28 18.1%	7 4.5%	11 7.1%	21 13.5%	2 1.3%	4 2.6%	2 1.3%

【日常生活（居住地域別）】

「税金や年金の仕組みなどがわかりにくい」は「浅草寿地区」で50%を超えている。

「金杉地区」で「日本語の読み・書きに不安がある」、「浅草橋地区」で「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」、「上野地区」で「在留資格やビザに関すること」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【日常生活】（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金や年金の仕組みなどがわかりにくい	日本語の読み・書きに不安がある	日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある	在留資格やビザに関すること	生活上の相談をどこにすればいいかわからない	日常生活のルールがよくわからない	食事や食生活の違いがある	自国のものや宗教に対応した食料・雑貨が売っている場所がわからない
全体	975 100.0%	389 39.9%	248 25.4%	193 19.8%	173 17.7%	163 16.7%	81 8.3%	51 5.2%	26 2.7%
竹町地区	40 100.0%	15 37.5%	8 20.0%	5 12.5%	7 17.5%	5 12.5%	4 10.0%	- -	- -
東上野地区	133 100.0%	47 35.3%	33 24.8%	31 23.3%	23 17.3%	26 19.5%	10 7.5%	9 6.8%	2 1.5%
上野地区	105 100.0%	41 39.0%	27 25.7%	20 19.0%	25 23.8%	20 19.0%	10 9.5%	4 3.8%	5 4.8%
入谷地区	211 100.0%	84 39.8%	52 24.6%	38 18.0%	35 16.6%	35 16.6%	19 9.0%	7 3.3%	7 3.3%
金杉地区	46 100.0%	18 39.1%	14 30.4%	9 19.6%	10 21.7%	9 19.6%	3 6.5%	2 4.3%	2 4.3%
谷中地区	21 100.0%	4 19.0%	6 28.6%	2 9.5%	2 9.5%	4 19.0%	1 4.8%	1 4.8%	- -
浅草橋地区	128 100.0%	53 41.4%	37 28.9%	34 26.6%	23 18.0%	21 16.4%	15 11.7%	15 11.7%	5 3.9%
浅草寿地区	104 100.0%	56 53.8%	26 25.0%	22 21.2%	18 17.3%	16 15.4%	6 5.8%	4 3.8%	- -
雷門地区	53 100.0%	21 39.6%	11 20.8%	10 18.9%	10 18.9%	10 18.9%	3 5.7%	3 5.7%	1 1.9%
馬道地区	53 100.0%	17 32.1%	15 28.3%	7 13.2%	7 13.2%	6 11.3%	4 7.5%	1 1.9%	1 1.9%
清川地区	67 100.0%	29 43.3%	15 22.4%	11 16.4%	10 14.9%	9 13.4%	5 7.5%	4 6.0%	3 4.5%

【住まい（台東区居住年数別）】

「1年未満」で「外国人であることを理由に入居を断られる」「保証人がなかなか見つからない」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。一方、「10年～20年未満」では「外国人であることを理由に入居を断られる」、10年以上では「保証人がなかなか見つからない」は10%台と全体平均と比較して5ポイント以上低くなっている。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【住まい】（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国人であることを理由に入居を断られる	保証人がなかなか見つからない	文化の違いで近隣住民とトラブルになることがある
全体	975 100.0%	283 29.0%	227 23.3%	63 6.5%
1年未満	89 100.0%	32 36.0%	30 33.7%	6 6.7%
1年～3年未満	354 100.0%	125 35.3%	88 24.9%	20 5.6%
3年～5年未満	169 100.0%	46 27.2%	40 23.7%	14 8.3%
5年～10年未満	189 100.0%	49 25.9%	43 22.8%	13 6.9%
10年～20年未満	110 100.0%	17 15.5%	18 16.4%	9 8.2%
20年以上	59 100.0%	13 22.0%	8 13.6%	1 1.7%

【病院・医療（台東区居住年数別）】

「1年未満」「1年～3年未満」の居住年数が浅い層で、「どこの病院へ行けばいいかわからない」が30%台と高くなり、居住年数が経つにつれ、その割合が低下しているが、居住年数が3年以上20年未満では「症状や治療に関することなど病院でのコミュニケーションがうまく取れない」も20%台となっている。台東区での居住年数が3年以上となり、病院に行ったり病院で手続きしたりすることは問題ない場合でも、「症状や治療に関することなど病院でのコミュニケーションがうまく取れない」という人が一定の割合いることがうかがえる。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【病院・医療】（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	どこの病院へ行けばいいかわからない	症状や治療に関することなど病院でのコミュニケーションがうまく取れない	病院での手続きがわかりにくい	医療費が高い
全体	975 100.0%	277 28.4%	274 28.1%	146 15.0%	113 11.6%
1年未満	89 100.0%	35 39.3%	33 37.1%	20 22.5%	10 11.2%
1年～3年未満	354 100.0%	134 37.9%	117 33.1%	64 18.1%	42 11.9%
3年～5年未満	169 100.0%	42 24.9%	49 29.0%	21 12.4%	21 12.4%
5年～10年未満	189 100.0%	39 20.6%	44 23.3%	24 12.7%	18 9.5%
10年～20年未満	110 100.0%	19 17.3%	24 21.8%	15 13.6%	12 10.9%
20年以上	59 100.0%	7 11.9%	6 10.2%	1 1.7%	10 16.9%

## 【病院・医療（居住地域別）】

「どこの病院へ行けばいいかわからない」は「東上野地区」「浅草橋地区」「浅草寿地区」で30%台である一方で、「竹町地区」で2.5%となっている。

「東上野地区」で「症状や治療に関する事など病院でのコミュニケーションがうまく取れない」が、「雷門地区」で「病院での手続きがわかりにくい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【病院・医療】（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	どこの病院へ行けばいいかわからない	症状や治療に関する事など病院でのコミュニケーションがうまく取れない	病院での手続きがわかりにくい	医療費が高い
全体	975 100.0%	277 28.4%	274 28.1%	146 15.0%	113 11.6%
竹町地区	40 100.0%	1 2.5%	8 20.0%	2 5.0%	4 10.0%
東上野地区	133 100.0%	42 31.6%	52 39.1%	22 16.5%	13 9.8%
上野地区	105 100.0%	28 26.7%	24 22.9%	15 14.3%	15 14.3%
入谷地区	211 100.0%	61 28.9%	58 27.5%	22 10.4%	25 11.8%
金杉地区	46 100.0%	9 19.6%	12 26.1%	8 17.4%	7 15.2%
谷中地区	21 100.0%	4 19.0%	5 23.8%	4 19.0%	3 14.3%
浅草橋地区	128 100.0%	44 34.4%	36 28.1%	26 20.3%	16 12.5%
浅草寿地区	104 100.0%	34 32.7%	27 26.0%	16 15.4%	7 6.7%
雷門地区	53 100.0%	14 26.4%	17 32.1%	12 22.6%	8 15.1%
馬道地区	53 100.0%	14 26.4%	11 20.8%	5 9.4%	5 9.4%
清川地区	67 100.0%	20 29.9%	18 26.9%	8 11.9%	8 11.9%

【就労（在留資格別）】

「留学」で「仕事上に必要な日本語でのコミュニケーションがうまく取れない」「仕事を探す方法がわからない」「希望する仕事につけない」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【就労】（在留資格別）

上段:人数 下段:%	調査数	仕事上に必要な日本語でのコミュニケーションがうまく取れない	仕事を探す方法がわからない	希望する仕事につけない	外国人ということで賃金が安い	正社員など安定した立場で働けない	雇用条件が悪い
全体	975 100.0%	188 19.3%	118 12.1%	112 11.5%	103 10.6%	57 5.8%	53 5.4%
身分・地位に基づく在留資格	390 100.0%	41 10.5%	29 7.4%	34 8.7%	30 7.7%	20 5.1%	16 4.1%
専門的・技術的分野の在留資格	395 100.0%	78 19.7%	35 8.9%	38 9.6%	49 12.4%	13 3.3%	22 5.6%
留学	116 100.0%	41 35.3%	41 35.3%	24 20.7%	16 13.8%	14 12.1%	9 7.8%
その他	69 100.0%	26 37.7%	13 18.8%	13 18.8%	7 10.1%	10 14.5%	5 7.2%

【就労（職業別）】

「学生」で「仕事上に必要な日本語でのコミュニケーションがうまく取れない」「仕事を探す方法がわからない」「希望する仕事につけない」が、「契約・嘱託・派遣社員」で「仕事上に必要な日本語でのコミュニケーションがうまく取れない」「希望する仕事につけない」「外国人ということで賃金が安い」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【就労】（職業別）

上段:人数 下段:%	調査数	仕事上に必要な日本語でのコミュニケーションがうまく取れない	仕事を探す方法がわからない	希望する仕事につけない	外国人ということで賃金が安い	正社員など安定した立場で働けない	雇用条件が悪い
全体	975 100.0%	188 19.3%	118 12.1%	112 11.5%	103 10.6%	57 5.8%	53 5.4%
会社勤務 (経営者・役員)	109 100.0%	22 20.2%	9 8.3%	7 6.4%	11 10.1%	5 4.6%	9 8.3%
会社勤務 (一般正社員)	425 100.0%	52 12.2%	28 6.6%	33 7.8%	38 8.9%	10 2.4%	15 3.5%
自営業者	49 100.0%	8 16.3%	3 6.1%	6 12.2%	3 6.1%	5 10.2%	3 6.1%
公務員・団体職員	8 100.0%	- -	1 12.5%	1 12.5%	- -	- -	1 12.5%
契約・嘱託・ 派遣社員	35 100.0%	10 28.6%	4 11.4%	10 28.6%	8 22.9%	4 11.4%	3 8.6%
パート・アルバイト	101 100.0%	16 15.8%	16 15.8%	12 11.9%	9 8.9%	8 7.9%	4 4.0%
専業主婦・主夫	61 100.0%	15 24.6%	10 16.4%	8 13.1%	8 13.1%	6 9.8%	3 4.9%
学生	107 100.0%	41 38.3%	36 33.6%	23 21.5%	14 13.1%	15 14.0%	8 7.5%
無職	43 100.0%	11 25.6%	9 20.9%	5 11.6%	2 4.7%	4 9.3%	- -
その他	29 100.0%	11 37.9%	1 3.4%	6 20.7%	8 27.6%	- -	7 24.1%

【災害（国籍別）】

「ベトナム」で「地震などの災害を体験したことがないので恐怖心がある」「災害時の避難方法がわからない」、「フィリピン」で「言葉が通じないので自分の要求を伝えられない」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【災害】（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	災害時に必要な情報を得られるか不安	地震などの災害を体験したことがないので恐怖心がある	災害時の避難方法がわからない	言葉が通じないので自分の要求を伝えられない	日本人との協力関係に不安
全体	975 100.0%	243 24.9%	236 24.2%	231 23.7%	154 15.8%	125 12.8%
中国	472 100.0%	123 26.1%	129 27.3%	109 23.1%	81 17.2%	70 14.8%
韓国	92 100.0%	14 15.2%	14 15.2%	19 20.7%	3 3.3%	10 10.9%
ベトナム	41 100.0%	12 29.3%	19 46.3%	15 36.6%	9 22.0%	2 4.9%
フィリピン	59 100.0%	16 27.1%	11 18.6%	10 16.9%	16 27.1%	9 15.3%
台湾	49 100.0%	9 18.4%	6 12.2%	13 26.5%	9 18.4%	8 16.3%
アメリカ	35 100.0%	6 17.1%	4 11.4%	7 20.0%	5 14.3%	- -
その他	224 100.0%	61 27.2%	52 23.2%	58 25.9%	30 13.4%	24 10.7%

【災害（台東区居住年数別）】

台東区での居住年数が「1年未満」ではほとんどの項目が全体平均と比較して5ポイント以上高くなり、10年以上では低い傾向になっている。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【災害】（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	災害時に必要な情報を得られるか不安	地震などの災害を体験したことがないので恐怖心がある	災害時の避難方法がわからない	言葉が通じないので自分の要求を伝えられない	日本人との協力関係に不安
全体	975 100.0%	243 24.9%	236 24.2%	231 23.7%	154 15.8%	125 12.8%
1年未満	89 100.0%	28 31.5%	29 32.6%	29 32.6%	20 22.5%	11 12.4%
1年～3年未満	354 100.0%	96 27.1%	105 29.7%	105 29.7%	67 18.9%	52 14.7%
3年～5年未満	169 100.0%	42 24.9%	42 24.9%	36 21.3%	29 17.2%	27 16.0%
5年～10年未満	189 100.0%	47 24.9%	35 18.5%	36 19.0%	23 12.2%	22 11.6%
10年～20年未満	110 100.0%	19 17.3%	15 13.6%	16 14.5%	11 10.0%	12 10.9%
20年以上	59 100.0%	10 16.9%	9 15.3%	8 13.6%	3 5.1%	1 1.7%

【災害（居住地域別）】

「災害時に必要な情報を得られるか不安」は「雷門地区」で30%を超えている。

「馬道地区」で「地震などの災害を体験したことがないので恐怖心がある」、「入谷地区」で「災害時の避難方法がわからない」、「浅草寿地区」で「言葉が通じないので自分の要求を伝えられない」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【災害】（居住地域別）

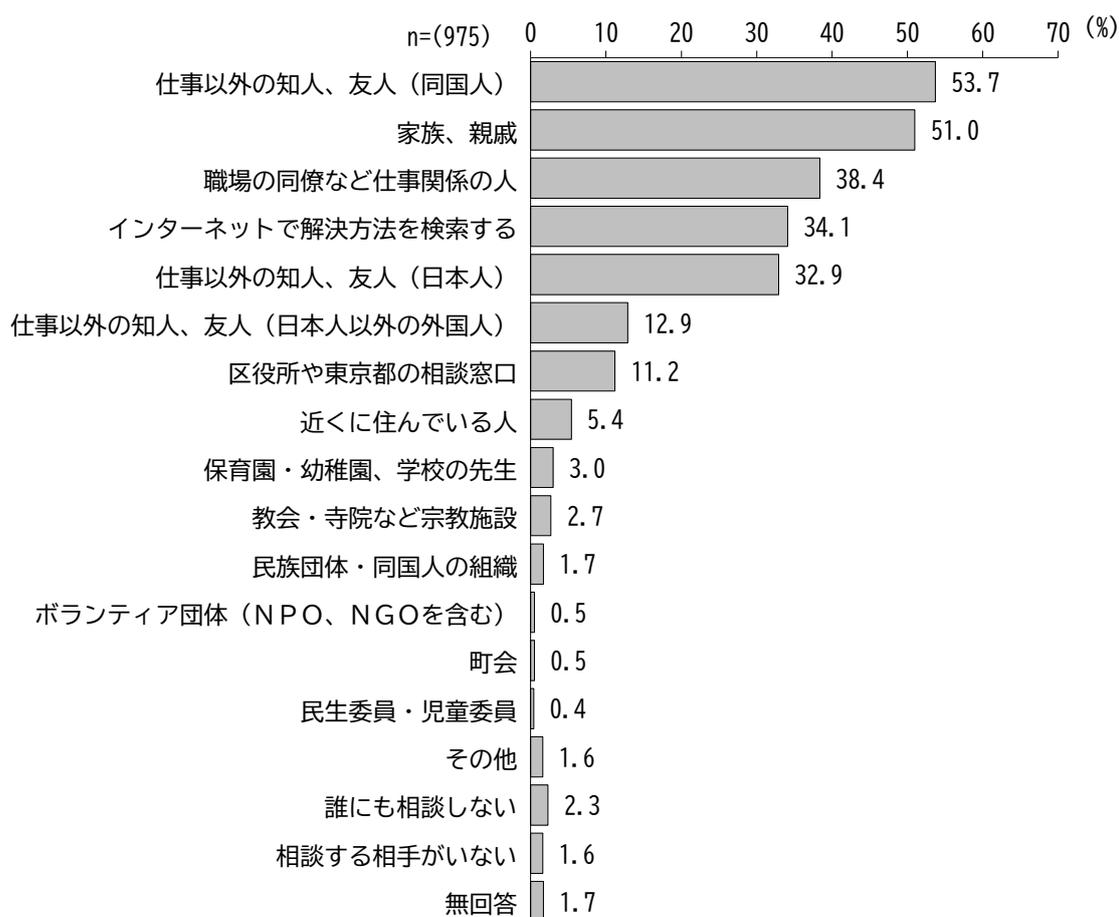
上段:人数 下段:%	調査数	災害時に必要な情報を得られるか不安	地震などの災害を体験したことがないので恐怖心がある	災害時の避難方法がわからない	言葉が通じないので自分の要求を伝えられない	日本人との協力関係に不安
全体	975 100.0%	243 24.9%	236 24.2%	231 23.7%	154 15.8%	125 12.8%
竹町地区	40 100.0%	10 25.0%	7 17.5%	5 12.5%	3 7.5%	3 7.5%
東上野地区	133 100.0%	31 23.3%	37 27.8%	30 22.6%	26 19.5%	19 14.3%
上野地区	105 100.0%	21 20.0%	27 25.7%	23 21.9%	13 12.4%	10 9.5%
入谷地区	211 100.0%	52 24.6%	53 25.1%	61 28.9%	32 15.2%	26 12.3%
金杉地区	46 100.0%	12 26.1%	9 19.6%	7 15.2%	5 10.9%	3 6.5%
谷中地区	21 100.0%	2 9.5%	2 9.5%	7 33.3%	2 9.5%	2 9.5%
浅草橋地区	128 100.0%	34 26.6%	23 18.0%	32 25.0%	26 20.3%	22 17.2%
浅草寿地区	104 100.0%	29 27.9%	26 25.0%	22 21.2%	22 21.2%	16 15.4%
雷門地区	53 100.0%	17 32.1%	14 26.4%	10 18.9%	5 9.4%	9 17.0%
馬道地区	53 100.0%	10 18.9%	16 30.2%	13 24.5%	3 5.7%	6 11.3%
清川地区	67 100.0%	19 28.4%	16 23.9%	17 25.4%	12 17.9%	7 10.4%

## (2) 生活で困ったときの相談先

問24 生活で困ったときの相談先はどこですか。(当てはまるもの全てに○)

「仕事以外の知人、友人（同国人）」（53.7%）が最も高く、「家族、親戚」（51.0%）も半数以上が挙げている。次いで、「職場の同僚など仕事関係の人」（38.4%）、「インターネットで解決方法を検索する」（34.1%）、「仕事以外の知人、友人（日本人）」（32.9%）となっている。

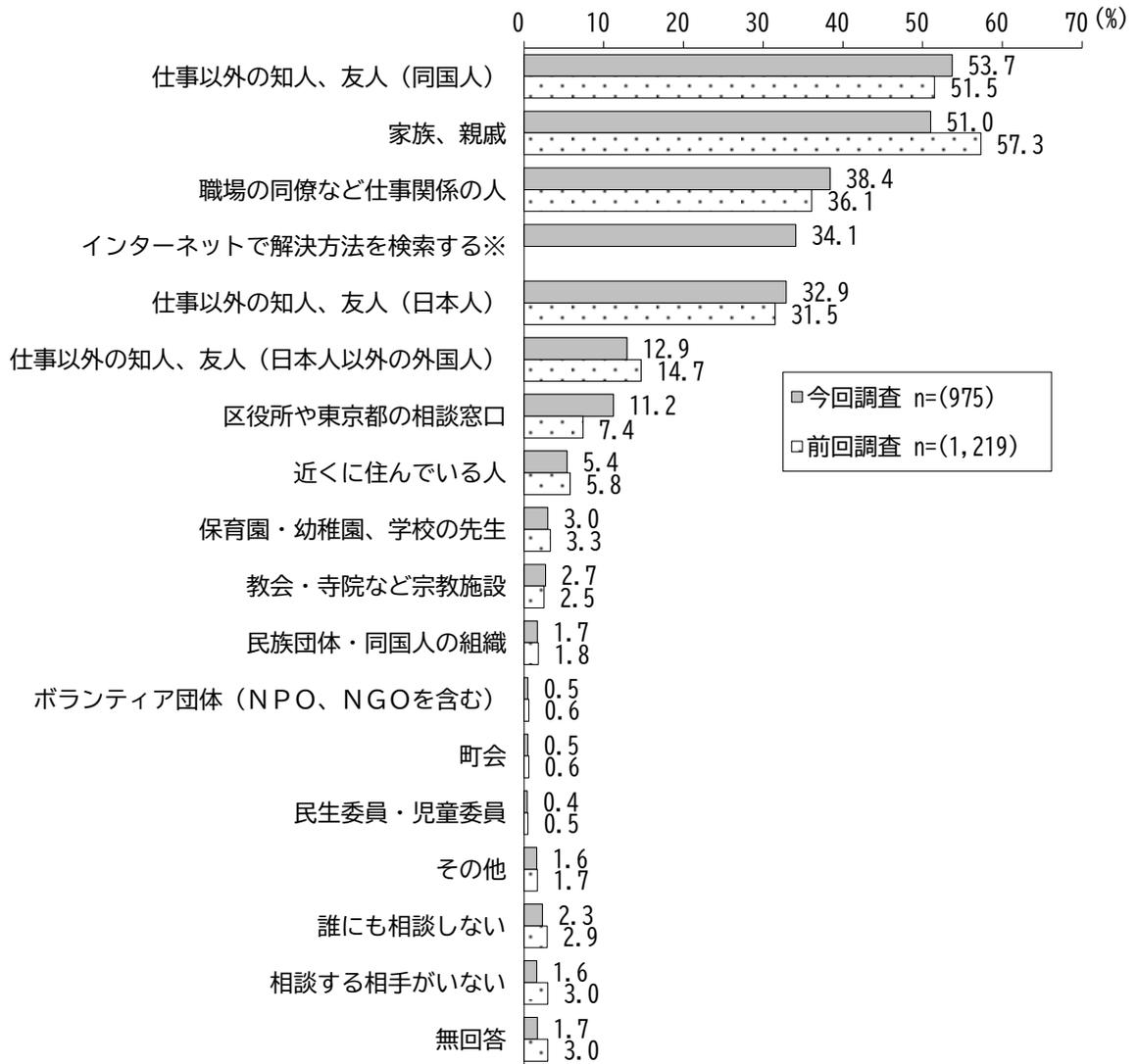
図表 生活で困ったときの相談先（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「家族、親戚」が6.3ポイント減少し、「区役所や東京都の相談窓口」がやや増加している。また、前回1位の「家族、親戚」と前回2位の「仕事以外の知人、友人（同国人）」の順位が入れ替わっている。

図表 【経年比較】生活で困ったときの相談先（複数回答）



※今回調査より、選択肢「インターネットで解決方法を検索する」が追加された。

【台東区居住年数別】

5年未満で「仕事以外の知人、友人（同国人）」が、「5年～10年未満」「10年～20年未満」で「家族、親戚」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。また、「3年～5年未満」では「職場の同僚など仕事関係の人」が、「1年未満」では「インターネットで解決方法を検索する」が、「20年以上」では「仕事以外の知人、友人（日本人）」も全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 生活で困ったときの相談先（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	仕事以外の知人、友人(同国人)	家族、親戚	職場の同僚など仕事関係の人	インターネットで解決方法を検索する	仕事以外の知人、友人(日本人)	仕事以外の知人、友人(日本人以外の外国人)	区役所や東京都の相談窓口	近くに住んでいる人	保育園・幼稚園、学校の先生
全体	975 100.0%	524 53.7%	497 51.0%	374 38.4%	332 34.1%	321 32.9%	126 12.9%	109 11.2%	53 5.4%	29 3.0%
1年未満	89 100.0%	55 61.8%	44 49.4%	38 42.7%	35 39.3%	29 32.6%	12 13.5%	5 5.6%	3 3.4%	4 4.5%
1年～3年未満	354 100.0%	210 59.3%	159 44.9%	140 39.5%	125 35.3%	102 28.8%	51 14.4%	38 10.7%	22 6.2%	13 3.7%
3年～5年未満	169 100.0%	106 62.7%	90 53.3%	75 44.4%	58 34.3%	57 33.7%	24 14.2%	16 9.5%	11 6.5%	3 1.8%
5年～10年未満	189 100.0%	89 47.1%	107 56.6%	72 38.1%	71 37.6%	67 35.4%	24 12.7%	23 12.2%	6 3.2%	4 2.1%
10年～20年未満	110 100.0%	42 38.2%	66 60.0%	35 31.8%	35 31.8%	41 37.3%	12 10.9%	19 17.3%	6 5.5%	3 2.7%
20年以上	59 100.0%	22 37.3%	29 49.2%	12 20.3%	8 13.6%	24 40.7%	3 5.1%	8 13.6%	4 6.8%	2 3.4%

上段:人数 下段:%	調査数	教会・寺院など宗教施設	民族団体・同国人の組織	ボランティア団体(NPO、NGOを含む)	町会	民生委員・児童委員	その他	誰にも相談しない	相談する相手がいない	無回答
全体	975 100.0%	26 2.7%	17 1.7%	5 0.5%	5 0.5%	4 0.4%	16 1.6%	22 2.3%	16 1.6%	17 1.7%
1年未満	89 100.0%	- -	3 3.4%	3 3.4%	- -	1 1.1%	- -	- -	2 2.2%	2 2.2%
1年～3年未満	354 100.0%	7 2.0%	8 2.3%	1 0.3%	2 0.6%	- -	7 2.0%	3 0.8%	6 1.7%	4 1.1%
3年～5年未満	169 100.0%	9 5.3%	1 0.6%	1 0.6%	- -	- -	3 1.8%	4 2.4%	4 2.4%	- -
5年～10年未満	189 100.0%	6 3.2%	2 1.1%	- -	1 0.5%	- -	3 1.6%	7 3.7%	1 0.5%	2 1.1%
10年～20年未満	110 100.0%	4 3.6%	1 0.9%	- -	1 0.9%	2 1.8%	2 1.8%	5 4.5%	2 1.8%	5 4.5%
20年以上	59 100.0%	- -	2 3.4%	- -	1 1.7%	1 1.7%	1 1.7%	3 5.1%	1 1.7%	4 6.8%

### 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細

#### 【居住地域別】

「竹町地区」で「家族、親戚」、「竹町地区」「東上野地区」「金杉地区」「浅草寿地区」で「インターネットで解決方法を検索する」の割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 生活で困ったときの相談先（居住地域別）

上段：人数 下段：%	調査数	仕事以外の知人、友人(同国人)	家族、親戚	職場の同僚など仕事関係の人	インターネットで解決方法を検索する	仕事以外の知人、友人(日本人)	仕事以外の知人、友人(日本人以外の外国人)	区役所や東京都の相談窓口	近くに住んでいる人	保育園・幼稚園、学校の先生
全体	975 100.0%	524 53.7%	497 51.0%	374 38.4%	332 34.1%	321 32.9%	126 12.9%	109 11.2%	53 5.4%	29 3.0%
竹町地区	40 100.0%	22 55.0%	23 57.5%	13 32.5%	17 42.5%	11 27.5%	5 12.5%	6 15.0%	3 7.5%	- -
東上野地区	133 100.0%	77 57.9%	66 49.6%	54 40.6%	55 41.4%	34 25.6%	19 14.3%	11 8.3%	5 3.8%	4 3.0%
上野地区	105 100.0%	51 48.6%	53 50.5%	28 26.7%	30 28.6%	31 29.5%	6 5.7%	14 13.3%	9 8.6%	3 2.9%
入谷地区	211 100.0%	122 57.8%	107 50.7%	87 41.2%	64 30.3%	62 29.4%	29 13.7%	24 11.4%	11 5.2%	7 3.3%
金杉地区	46 100.0%	26 56.5%	25 54.3%	13 28.3%	24 52.2%	16 34.8%	8 17.4%	8 17.4%	2 4.3%	2 4.3%
谷中地区	21 100.0%	10 47.6%	13 61.9%	11 52.4%	2 9.5%	8 38.1%	4 19.0%	5 23.8%	4 19.0%	- -
浅草橋地区	128 100.0%	71 55.5%	62 48.4%	53 41.4%	35 27.3%	51 39.8%	14 10.9%	10 7.8%	5 3.9%	6 4.7%
浅草寿地区	104 100.0%	58 55.8%	54 51.9%	45 43.3%	42 40.4%	42 40.4%	18 17.3%	10 9.6%	10 9.6%	2 1.9%
雷門地区	53 100.0%	22 41.5%	25 47.2%	20 37.7%	17 32.1%	15 28.3%	6 11.3%	3 5.7%	1 1.9%	- -
馬道地区	53 100.0%	30 56.6%	27 50.9%	21 39.6%	16 30.2%	22 41.5%	4 7.5%	5 9.4%	2 3.8%	2 3.8%
清川地区	67 100.0%	31 46.3%	34 50.7%	24 35.8%	23 34.3%	25 37.3%	11 16.4%	10 14.9%	1 1.5%	3 4.5%

上段：人数 下段：%	調査数	教会・寺院など宗教施設	民族団体・同国人の組織	ボランティア団体(NPO、NGOを含む)	町会	民生委員・児童委員	その他	誰にも相談しない	相談する相手がいない	無回答
全体	975 100.0%	26 2.7%	17 1.7%	5 0.5%	5 0.5%	4 0.4%	16 1.6%	22 2.3%	16 1.6%	17 1.7%
竹町地区	40 100.0%	- -	1 2.5%	- -	- -	- -	1 2.5%	- -	- -	1 2.5%
東上野地区	133 100.0%	2 1.5%	1 0.8%	- -	- -	- -	2 1.5%	5 3.8%	- -	3 2.3%
上野地区	105 100.0%	2 1.9%	4 3.8%	- -	- -	- -	3 2.9%	2 1.9%	3 2.9%	3 2.9%
入谷地区	211 100.0%	7 3.3%	2 0.9%	1 0.5%	2 0.9%	1 0.5%	2 0.9%	7 3.3%	4 1.9%	3 1.4%
金杉地区	46 100.0%	2 4.3%	1 2.2%	- -	1 2.2%	1 2.2%	- -	1 2.2%	- -	1 2.2%
谷中地区	21 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	1 4.8%	- -	- -	- -
浅草橋地区	128 100.0%	11 8.6%	3 2.3%	2 1.6%	- -	1 0.8%	2 1.6%	1 0.8%	2 1.6%	3 2.3%
浅草寿地区	104 100.0%	1 1.0%	3 2.9%	1 1.0%	1 1.0%	- -	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%
雷門地区	53 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	2 3.8%	- -	3 5.7%	2 3.8%
馬道地区	53 100.0%	- -	- -	- -	- -	1 1.9%	- -	3 5.7%	1 1.9%	- -
清川地区	67 100.0%	- -	1 1.5%	1 1.5%	1 1.5%	- -	2 3.0%	2 3.0%	1 1.5%	- -

【年齢別】

年齢が若いほど、「仕事以外の知人、友人（同国人）」の割合が高く、39歳以下で60%台となっている。40歳以上では「家族、親戚」の割合が最も高い。このほか、「30～39歳」では「職場の同僚など仕事関係の人」「インターネットで解決方法を検索する」「仕事以外の知人、友人（日本人）」も高くなっている。

図表 生活で困ったときの相談先（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	仕事以外の知人、友人(同国人)	家族、親戚	職場の同僚など仕事関係の人	インターネットで解決方法を検索する	仕事以外の知人、友人(日本人)	仕事以外の知人、友人(日本人以外の外国人)	区役所や東京都の相談窓口	近くに住んでいる人	保育園・幼稚園、学校の先生
全体	975 100.0%	524 53.7%	497 51.0%	374 38.4%	332 34.1%	321 32.9%	126 12.9%	109 11.2%	53 5.4%	29 3.0%
18～29歳	233 100.0%	148 63.5%	111 47.6%	80 34.3%	87 37.3%	64 27.5%	36 15.5%	17 7.3%	11 4.7%	10 4.3%
30～39歳	385 100.0%	234 60.8%	209 54.3%	180 46.8%	152 39.5%	146 37.9%	62 16.1%	39 10.1%	18 4.7%	12 3.1%
40～49歳	185 100.0%	85 45.9%	90 48.6%	72 38.9%	62 33.5%	53 28.6%	15 8.1%	30 16.2%	16 8.6%	6 3.2%
50～59歳	103 100.0%	36 35.0%	52 50.5%	31 30.1%	22 21.4%	39 37.9%	13 12.6%	14 13.6%	7 6.8%	1 1.0%
60～69歳	47 100.0%	16 34.0%	26 55.3%	6 12.8%	7 14.9%	12 25.5%	-	5 10.6%	1 2.1%	-
70歳以上	19 100.0%	4 21.1%	7 36.8%	3 15.8%	1 5.3%	5 26.3%	-	3 15.8%	-	-

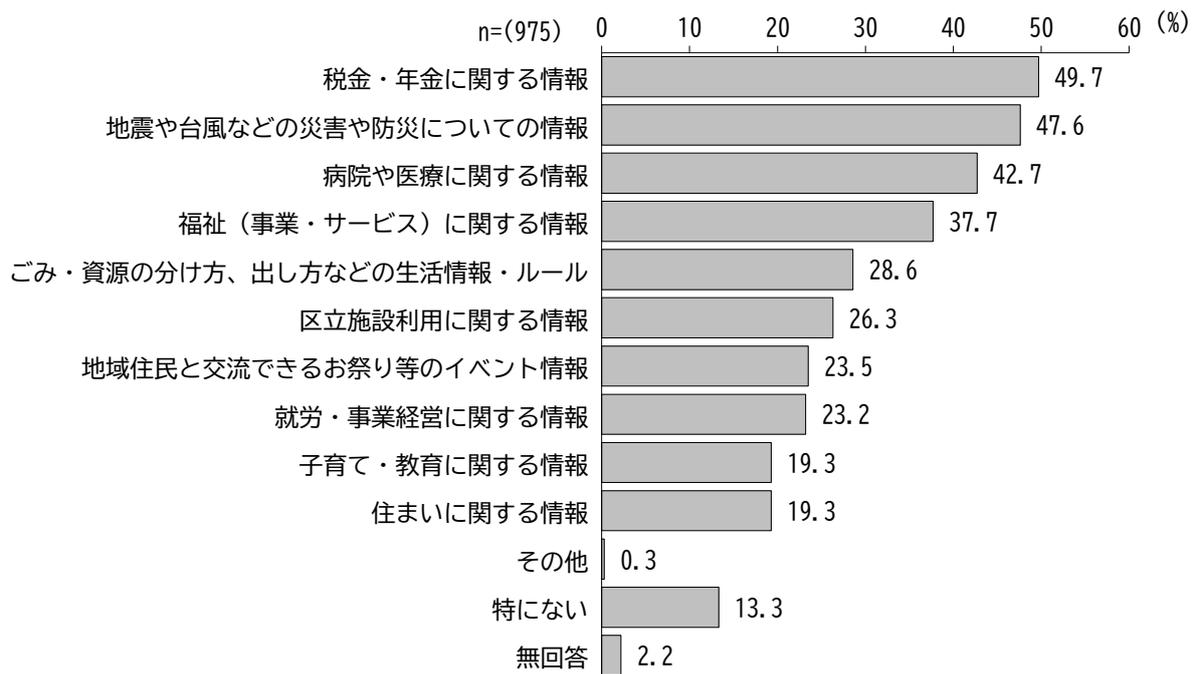
上段:人数 下段:%	調査数	教会・寺院など宗教施設	民族団体・同国人の組織	ボランティア団体(NPO、NGOを含む)	町会	民生委員・児童委員	その他	誰にも相談しない	相談する相手がいない	無回答
全体	975 100.0%	26 2.7%	17 1.7%	5 0.5%	5 0.5%	4 0.4%	16 1.6%	22 2.3%	16 1.6%	17 1.7%
18～29歳	233 100.0%	6 2.6%	5 2.1%	2 0.9%	1 0.4%	1 0.4%	4 1.7%	1 0.4%	6 2.6%	4 1.7%
30～39歳	385 100.0%	12 3.1%	5 1.3%	1 0.3%	2 0.5%	-	7 1.8%	8 2.1%	4 1.0%	1 0.3%
40～49歳	185 100.0%	4 2.2%	3 1.6%	1 0.5%	1 0.5%	1 0.5%	1 0.5%	6 3.2%	2 1.1%	2 1.1%
50～59歳	103 100.0%	2 1.9%	3 2.9%	1 1.0%	-	1 1.0%	2 1.9%	4 3.9%	3 2.9%	3 2.9%
60～69歳	47 100.0%	1 2.1%	1 2.1%	-	-	1 2.1%	1 2.1%	2 4.3%	-	3 6.4%
70歳以上	19 100.0%	-	-	-	1 5.3%	-	1 5.3%	1 5.3%	-	4 21.1%

(3) 生活していく上で必要な情報

問25 生活していく上で必要な情報は何か。(当てはまるもの全てに○)

「税金・年金に関する情報」(49.7%)が最も高く、次いで、「地震や台風などの災害や防災についての情報」(47.6%)、「病院や医療に関する情報」(42.7%)、「福祉(事業・サービス)に関する情報」(37.7%)となっている。

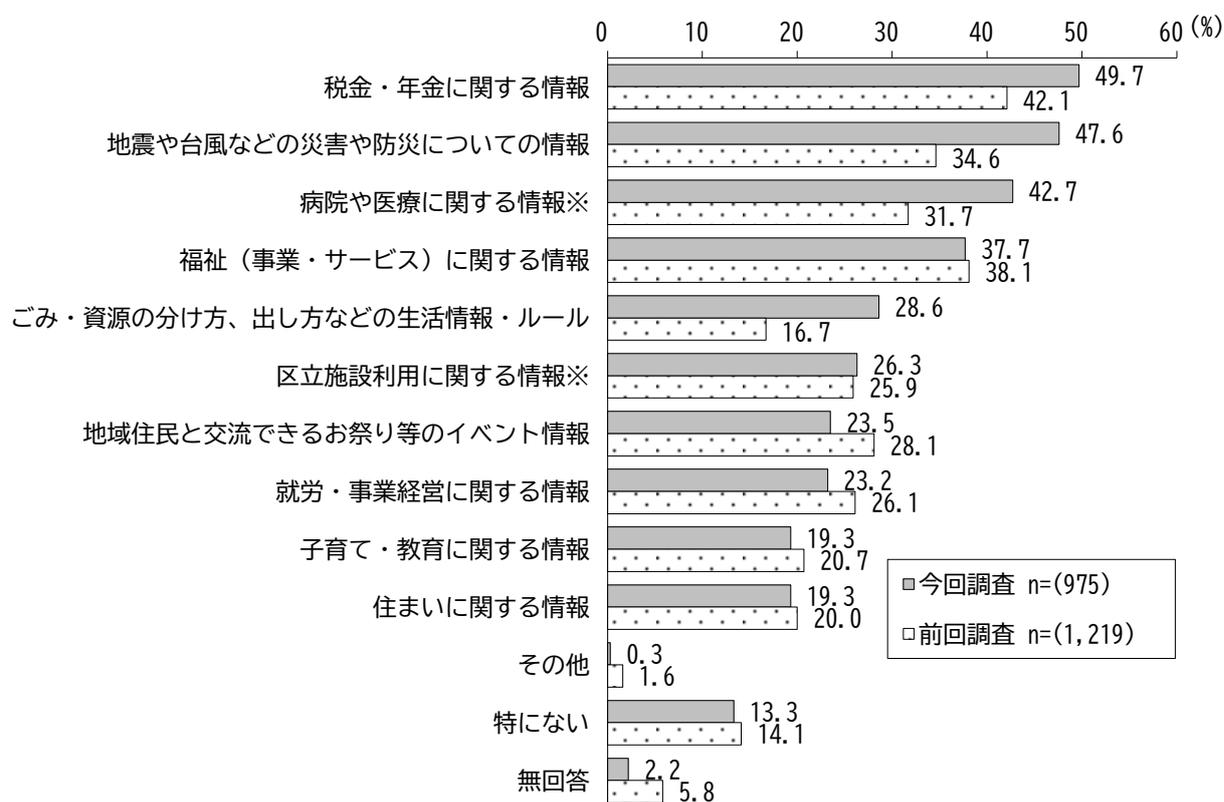
図表 生活していく上で必要な情報(複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、「ごみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール」「地震や台風などの災害や防災についての情報」「病院や医療に関する情報」がいずれも10ポイント以上、「税金・年金に関する情報」が7.6ポイント増加している。

図表 【経年比較】生活していく上で必要な情報（複数回答）



※今回調査の選択肢「病院や医療に関する情報」は前回調査では「病院や医療、感染症に関する情報」、「区立施設利用に関する情報」は「区立施設利用に関する案内」であった。

【年齢別】

「50～59歳」では「税金・年金に関する情報」「病院や医療に関する情報」「福祉（事業・サービス）に関する情報」「ごみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール」が全体平均と比較して5ポイント以上高く、また、「18～29歳」で「地震や台風などの災害や防災についての情報」、「30～39歳」で「子育て・教育に関する情報」が高い。一方、60歳以上では各種情報のニーズが低くなっている。

図表 生活していく上で必要な情報（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金・年金に関する情報	地震や台風などの災害や防災についての情報	病院や医療に関する情報	福祉(事業・サービス)に関する情報	ごみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール	区立施設利用に関する情報	地域住民と交流できるお祭り等のイベント情報
全体	975 100.0%	485 49.7%	464 47.6%	416 42.7%	368 37.7%	279 28.6%	256 26.3%	229 23.5%
18～29歳	233 100.0%	118 50.6%	131 56.2%	107 45.9%	88 37.8%	75 32.2%	61 26.2%	61 26.2%
30～39歳	385 100.0%	209 54.3%	190 49.4%	168 43.6%	142 36.9%	114 29.6%	113 29.4%	109 28.3%
40～49歳	185 100.0%	85 45.9%	79 42.7%	72 38.9%	66 35.7%	46 24.9%	50 27.0%	36 19.5%
50～59歳	103 100.0%	58 56.3%	51 49.5%	54 52.4%	57 55.3%	36 35.0%	21 20.4%	17 16.5%
60～69歳	47 100.0%	12 25.5%	10 21.3%	9 19.1%	12 25.5%	6 12.8%	7 14.9%	4 8.5%
70歳以上	19 100.0%	1 5.3%	2 10.5%	6 31.6%	3 15.8%	2 10.5%	3 15.8%	1 5.3%

上段:人数 下段:%	調査数	就労・事業経営に関する情報	子育て・教育に関する情報	住まいに関する情報	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	226 23.2%	188 19.3%	188 19.3%	3 0.3%	130 13.3%	21 2.2%
18～29歳	233 100.0%	60 25.8%	30 12.9%	49 21.0%	1 0.4%	27 11.6%	1 0.4%
30～39歳	385 100.0%	96 24.9%	103 26.8%	87 22.6%	2 0.5%	44 11.4%	4 1.0%
40～49歳	185 100.0%	43 23.2%	38 20.5%	31 16.8%	-	26 14.1%	4 2.2%
50～59歳	103 100.0%	24 23.3%	17 16.5%	17 16.5%	-	13 12.6%	5 4.9%
60～69歳	47 100.0%	1 2.1%	-	1 2.1%	-	15 31.9%	3 6.4%
70歳以上	19 100.0%	-	-	2 10.5%	-	5 26.3%	4 21.1%

【台東区居住年数別】

「1年未満」では、多くの項目が全体平均と比較して5ポイント以上高く、特に「ごみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール」「就労・事業経営に関する情報」が高い。「ごみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール」「地域住民と交流できるお祭り等のイベント情報」は居住年数が経つにつれて、割合が低下する傾向にある。

図表 生活していく上で必要な情報（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金・年金に関する情報	地震や台風などの災害や防災に関する情報	病院や医療に関する情報	福祉(事業・サービス)に関する情報	ごみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール	区立施設利用に関する情報	地域住民と交流できるお祭り等のイベント情報
全体	975 100.0%	485 49.7%	464 47.6%	416 42.7%	368 37.7%	279 28.6%	256 26.3%	229 23.5%
1年未満	89 100.0%	50 56.2%	48 53.9%	45 50.6%	37 41.6%	37 41.6%	28 31.5%	27 30.3%
1年～3年未満	354 100.0%	179 50.6%	194 54.8%	167 47.2%	146 41.2%	131 37.0%	102 28.8%	100 28.2%
3年～5年未満	169 100.0%	85 50.3%	77 45.6%	71 42.0%	60 35.5%	40 23.7%	51 30.2%	46 27.2%
5年～10年未満	189 100.0%	98 51.9%	92 48.7%	70 37.0%	62 32.8%	46 24.3%	47 24.9%	37 19.6%
10年～20年未満	110 100.0%	50 45.5%	36 32.7%	44 40.0%	47 42.7%	20 18.2%	21 19.1%	13 11.8%
20年以上	59 100.0%	23 39.0%	15 25.4%	17 28.8%	16 27.1%	4 6.8%	7 11.9%	6 10.2%

上段:人数 下段:%	調査数	就労・事業経営に関する情報	子育て・教育に関する情報	住まいに関する情報	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	226 23.2%	188 19.3%	188 19.3%	3 0.3%	130 13.3%	21 2.2%
1年未満	89 100.0%	32 36.0%	21 23.6%	20 22.5%	-	9 10.1%	2 2.2%
1年～3年未満	354 100.0%	95 26.8%	54 15.3%	79 22.3%	1 0.3%	40 11.3%	1 0.3%
3年～5年未満	169 100.0%	27 16.0%	34 20.1%	28 16.6%	1 0.6%	20 11.8%	1 0.6%
5年～10年未満	189 100.0%	39 20.6%	47 24.9%	32 16.9%	1 0.5%	18 9.5%	4 2.1%
10年～20年未満	110 100.0%	28 25.5%	27 24.5%	22 20.0%	-	28 25.5%	7 6.4%
20年以上	59 100.0%	4 6.8%	5 8.5%	7 11.9%	-	15 25.4%	6 10.2%

### 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細

#### 【居住地域別】

「竹町地区」「馬道地区」で「区立施設利用に関する情報」、「金杉地区」で「地震や台風などの災害や防災についての情報」「病院や医療に関する情報」「福祉（事業・サービス）に関する情報」「ごみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール」、「浅草寿地区」で「税金・年金に関する情報」の割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 生活していく上で必要な情報（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金・年金に関する情報	地震や台風などの災害や防災についての情報	病院や医療に関する情報	福祉(事業・サービス)に関する情報	ごみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール	区立施設利用に関する情報	地域住民と交流できるお祭り等のイベント情報
全体	975 100.0%	485 49.7%	464 47.6%	416 42.7%	368 37.7%	279 28.6%	256 26.3%	229 23.5%
竹町地区	40 100.0%	18 45.0%	14 35.0%	14 35.0%	11 27.5%	10 25.0%	14 35.0%	9 22.5%
東上野地区	133 100.0%	65 48.9%	60 45.1%	60 45.1%	49 36.8%	36 27.1%	39 29.3%	30 22.6%
上野地区	105 100.0%	50 47.6%	46 43.8%	45 42.9%	39 37.1%	29 27.6%	19 18.1%	17 16.2%
入谷地区	211 100.0%	92 43.6%	111 52.6%	87 41.2%	86 40.8%	52 24.6%	49 23.2%	48 22.7%
金杉地区	46 100.0%	23 50.0%	26 56.5%	24 52.2%	21 45.7%	18 39.1%	13 28.3%	12 26.1%
谷中地区	21 100.0%	8 38.1%	7 33.3%	8 38.1%	5 23.8%	6 28.6%	6 28.6%	4 19.0%
浅草橋地区	128 100.0%	61 47.7%	58 45.3%	53 41.4%	48 37.5%	34 26.6%	31 24.2%	39 30.5%
浅草寿地区	104 100.0%	70 67.3%	50 48.1%	45 43.3%	39 37.5%	36 34.6%	31 29.8%	27 26.0%
雷門地区	53 100.0%	30 56.6%	28 52.8%	23 43.4%	19 35.8%	18 34.0%	12 22.6%	11 20.8%
馬道地区	53 100.0%	29 54.7%	24 45.3%	19 35.8%	16 30.2%	15 28.3%	18 34.0%	12 22.6%
清川地区	67 100.0%	34 50.7%	33 49.3%	32 47.8%	30 44.8%	21 31.3%	22 32.8%	15 22.4%

上段:人数 下段:%	調査数	就労・事業経営に関する情報	子育て・教育に関する情報	住まいに関する情報	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	226 23.2%	188 19.3%	188 19.3%	3 0.3%	130 13.3%	21 2.2%
竹町地区	40 100.0%	7 17.5%	8 20.0%	7 17.5%	-	5 12.5%	2 5.0%
東上野地区	133 100.0%	34 25.6%	22 16.5%	29 21.8%	-	20 15.0%	2 1.5%
上野地区	105 100.0%	19 18.1%	21 20.0%	15 14.3%	1 1.0%	12 11.4%	1 1.0%
入谷地区	211 100.0%	53 25.1%	39 18.5%	34 16.1%	2 0.9%	36 17.1%	4 1.9%
金杉地区	46 100.0%	10 21.7%	13 28.3%	10 21.7%	-	7 15.2%	4 8.7%
谷中地区	21 100.0%	4 19.0%	6 28.6%	6 28.6%	-	2 9.5%	-
浅草橋地区	128 100.0%	27 21.1%	23 18.0%	19 14.8%	-	13 10.2%	3 2.3%
浅草寿地区	104 100.0%	30 28.8%	22 21.2%	30 28.8%	-	11 10.6%	1 1.0%
雷門地区	53 100.0%	15 28.3%	6 11.3%	10 18.9%	-	7 13.2%	2 3.8%
馬道地区	53 100.0%	7 13.2%	10 18.9%	12 22.6%	-	7 13.2%	1 1.9%
清川地区	67 100.0%	15 22.4%	15 22.4%	11 16.4%	-	8 11.9%	1 1.5%

(4) 行政サービスや区からのお知らせ等の入手手段及び今後希望する手段

問26 あなたは、行政サービスや区からのお知らせ・ごみの出し方などの生活のルールをどのような手段で知りますか（A）。また、どのような手段を希望しますか（B）。  
（当てはまるもの全てに○）

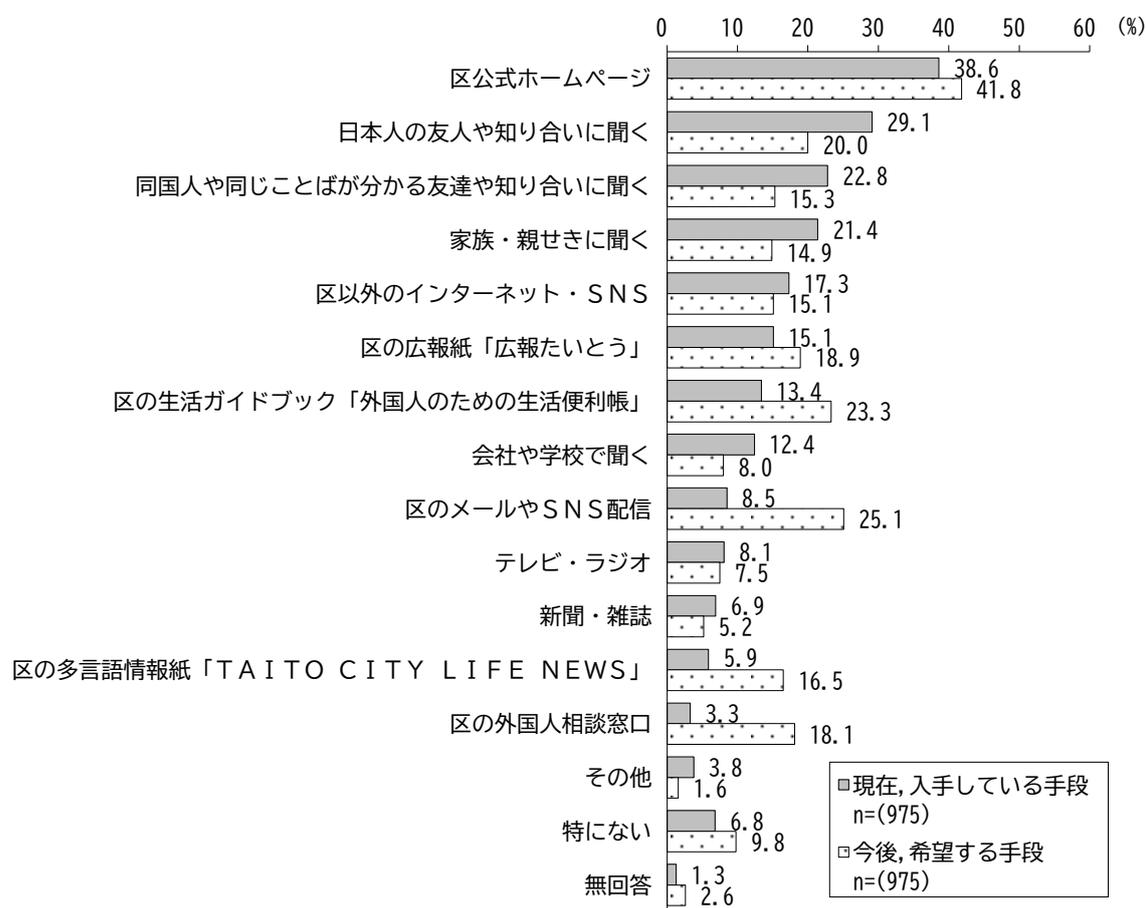
【A 現在、入手している手段／B 今後、希望する手段】

現在、入手している手段は、「区公式ホームページ」（38.6%）が最も高く、次いで、「日本人の友人や知り合いに聞く」（29.1%）、「同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く」（22.8%）、「家族・親せきに聞く」（21.4%）、「区以外のインターネット・SNS」（17.3%）となっている。

今後、希望する手段は、「区公式ホームページ」（41.8%）が最も高く、次いで、「区のメールやSNS配信」（25.1%）、「区の生活ガイドブック『外国人のための生活便利帳』（23.3%）、「日本人の友人や知り合いに聞く」（20.0%）、「区の広報紙『広報たいとう』（18.9%）、「区の外国人相談窓口」（18.1%）となっている。

今後、希望する手段が現在、入手している手段を5ポイント以上上回っている項目は、「区のメールやSNS配信」「区の外国人相談窓口」「区が多言語情報紙『TAITO CITY LIFE NEWS』」「区の生活ガイドブック『外国人のための生活便利帳』」となっており、これらにニーズがあることがうかがえる。

図表 行政サービスや区からのお知らせ等の入手手段及び今後希望する手段  
【現在、入手している手段／今後、希望する手段】（複数回答）



【A 現在、入手している手段】

【国籍別】

「区公式ホームページ」は「台湾」「アメリカ」で半数以上となっている一方で、「ベトナム」「フィリピン」で10%台となっている。

「フィリピン」では「日本人の友人や知り合いに聞く」「同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く」「家族・親せきに聞く」「テレビ・ラジオ」、 「ベトナム」では「日本人の友人や知り合いに聞く」「区以外のインターネット・SNS」「会社や学校で聞く」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高くなっている。

図表 行政サービスや区からのお知らせ等の入手手段及び今後希望する手段  
【現在、入手している手段】（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	区公式ホームページ	日本人の友人や知り合いに聞く	同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く	家族・親せきに聞く	区以外のインターネット・SNS	区の広報紙「広報たいどう」	区の生活ガイドブック「外国人のための生活便利帳」	会社や学校で聞く
全体	975 100.0%	376 38.6%	284 29.1%	222 22.8%	209 21.4%	169 17.3%	147 15.1%	131 13.4%	121 12.4%
中国	472 100.0%	206 43.6%	115 24.4%	112 23.7%	86 18.2%	76 16.1%	80 16.9%	74 15.7%	53 11.2%
韓国	92 100.0%	32 34.8%	20 21.7%	8 8.7%	17 18.5%	14 15.2%	26 28.3%	8 8.7%	7 7.6%
ベトナム	41 100.0%	6 14.6%	17 41.5%	10 24.4%	9 22.0%	12 29.3%	2 4.9%	5 12.2%	8 19.5%
フィリピン	59 100.0%	9 15.3%	31 52.5%	24 40.7%	22 37.3%	13 22.0%	8 13.6%	7 11.9%	10 16.9%
台湾	49 100.0%	26 53.1%	12 24.5%	11 22.4%	6 12.2%	11 22.4%	7 14.3%	3 6.1%	4 8.2%
アメリカ	35 100.0%	21 60.0%	11 31.4%	8 22.9%	11 31.4%	11 31.4%	4 11.4%	4 11.4%	3 8.6%
その他	224 100.0%	75 33.5%	77 34.4%	49 21.9%	57 25.4%	31 13.8%	20 8.9%	30 13.4%	36 16.1%

上段:人数 下段:%	調査数	区のメールやSNS配信	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	区の多言語情報紙「TAITO CITY LIFE NEWS」	区の外国人相談窓口	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	83 8.5%	79 8.1%	67 6.9%	58 5.9%	32 3.3%	37 3.8%	66 6.8%	13 1.3%
中国	472 100.0%	55 11.7%	39 8.3%	40 8.5%	20 4.2%	18 3.8%	17 3.6%	21 4.4%	1 0.2%
韓国	92 100.0%	6 6.5%	7 7.6%	2 2.2%	5 5.4%	1 1.1%	2 2.2%	12 13.0%	2 2.2%
ベトナム	41 100.0%	- -	1 2.4%	4 9.8%	4 9.8%	- -	1 2.4%	2 4.9%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	8 13.6%	17 28.8%	3 5.1%	7 11.9%	6 10.2%	1 1.7%	3 5.1%	3 5.1%
台湾	49 100.0%	3 6.1%	3 6.1%	3 6.1%	- -	- -	3 6.1%	4 8.2%	- -
アメリカ	35 100.0%	2 5.7%	2 5.7%	3 8.6%	1 2.9%	- -	3 8.6%	2 5.7%	- -
その他	224 100.0%	9 4.0%	9 4.0%	11 4.9%	20 8.9%	7 3.1%	10 4.5%	21 9.4%	6 2.7%

【年齢別】

「30～39歳」で「区公式ホームページ」、「50～59歳」で「日本人の友人や知り合いに聞く」、「18～29歳」で「同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、「家族・親せきに聞く」は年代が高いほど割合が高く、「区以外のインターネット・SNS」「会社や学校で聞く」は年代が若いほど割合が高い。

図表 行政サービスや区からのお知らせ等の入手手段及び今後希望する手段  
【現在、入手している手段】（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	区公式ホームページ	日本人の友人や知り合いに聞く	同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く	家族・親せきに聞く	区以外のインターネット・SNS	区の広報紙「広報たいとう」	区の生活ガイドブック「外国人のための生活便利帳」	会社や学校で聞く
全体	975 100.0%	376 38.6%	284 29.1%	222 22.8%	209 21.4%	169 17.3%	147 15.1%	131 13.4%	121 12.4%
18～29歳	233 100.0%	89 38.2%	69 29.6%	72 30.9%	40 17.2%	52 22.3%	20 8.6%	27 11.6%	45 19.3%
30～39歳	385 100.0%	173 44.9%	107 27.8%	85 22.1%	74 19.2%	83 21.6%	49 12.7%	46 11.9%	49 12.7%
40～49歳	185 100.0%	74 40.0%	59 31.9%	35 18.9%	45 24.3%	20 10.8%	40 21.6%	33 17.8%	19 10.3%
50～59歳	103 100.0%	29 28.2%	38 36.9%	21 20.4%	29 28.2%	11 10.7%	21 20.4%	19 18.4%	7 6.8%
60～69歳	47 100.0%	9 19.1%	6 12.8%	7 14.9%	17 36.2%	1 2.1%	10 21.3%	4 8.5%	1 2.1%
70歳以上	19 100.0%	1 5.3%	4 21.1%	2 10.5%	3 15.8%	1 5.3%	7 36.8%	2 10.5%	- -

上段:人数 下段:%	調査数	区のメールやSNS配信	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	区の多言語情報紙「TAITO CITY LIFE NEWS」	区の外国人相談窓口	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	83 8.5%	79 8.1%	67 6.9%	58 5.9%	32 3.3%	37 3.8%	66 6.8%	13 1.3%
18～29歳	233 100.0%	24 10.3%	11 4.7%	19 8.2%	12 5.2%	4 1.7%	9 3.9%	15 6.4%	- -
30～39歳	385 100.0%	38 9.9%	27 7.0%	21 5.5%	17 4.4%	11 2.9%	20 5.2%	24 6.2%	3 0.8%
40～49歳	185 100.0%	11 5.9%	16 8.6%	15 8.1%	19 10.3%	12 6.5%	5 2.7%	13 7.0%	1 0.5%
50～59歳	103 100.0%	7 6.8%	12 11.7%	4 3.9%	7 6.8%	4 3.9%	3 2.9%	6 5.8%	4 3.9%
60～69歳	47 100.0%	1 2.1%	7 14.9%	1 2.1%	1 2.1%	- -	- -	5 10.6%	2 4.3%
70歳以上	19 100.0%	2 10.5%	5 26.3%	6 31.6%	1 5.3%	1 5.3%	- -	2 10.5%	3 15.8%

【居住地域別】

「浅草橋地区」で「日本人の友人や知り合いに聞く」、「竹町地区」「浅草寿地区」「清川地区」で「区公式ホームページ」、「東上野地区」「清川地区」で「同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く」の割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 行政サービスや区からのお知らせ等の入手手段及び今後希望する手段  
【現在、入手している手段】（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	区公式ホームページ	日本人の友人や知り合いに聞く	同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く	家族・親せきに聞く	区以外のインターネット・SNS	区の広報紙「広報たいとう」	区の生活ガイドブック「外国人のための生活便利帳」	会社や学校で聞く
全体	975 100.0%	376 38.6%	284 29.1%	222 22.8%	209 21.4%	169 17.3%	147 15.1%	131 13.4%	121 12.4%
竹町地区	40 100.0%	18 45.0%	8 20.0%	6 15.0%	10 25.0%	7 17.5%	3 7.5%	7 17.5%	2 5.0%
東上野地区	133 100.0%	51 38.3%	41 30.8%	38 28.6%	26 19.5%	32 24.1%	17 12.8%	17 12.8%	25 18.8%
上野地区	105 100.0%	29 27.6%	31 29.5%	20 19.0%	28 26.7%	13 12.4%	12 11.4%	13 12.4%	10 9.5%
入谷地区	211 100.0%	82 38.9%	59 28.0%	52 24.6%	36 17.1%	30 14.2%	28 13.3%	27 12.8%	29 13.7%
金杉地区	46 100.0%	18 39.1%	10 21.7%	8 17.4%	13 28.3%	9 19.6%	11 23.9%	10 21.7%	3 6.5%
谷中地区	21 100.0%	9 42.9%	7 33.3%	4 19.0%	7 33.3%	2 9.5%	3 14.3%	2 9.5%	4 19.0%
浅草橋地区	128 100.0%	45 35.2%	49 38.3%	32 25.0%	27 21.1%	23 18.0%	13 10.2%	15 11.7%	12 9.4%
浅草寿地区	104 100.0%	52 50.0%	29 27.9%	23 22.1%	21 20.2%	22 21.2%	21 20.2%	17 16.3%	14 13.5%
雷門地区	53 100.0%	18 34.0%	13 24.5%	8 15.1%	12 22.6%	10 18.9%	8 15.1%	7 13.2%	3 5.7%
馬道地区	53 100.0%	21 39.6%	13 24.5%	7 13.2%	9 17.0%	9 17.0%	13 24.5%	7 13.2%	7 13.2%
清川地区	67 100.0%	30 44.8%	18 26.9%	19 28.4%	15 22.4%	8 11.9%	15 22.4%	6 9.0%	8 11.9%

上段:人数 下段:%	調査数	区のメールやSNS配信	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	区の多言語情報紙「TAITO CITY LIFE NEWS」	区の外国人相談窓口	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	83 8.5%	79 8.1%	67 6.9%	58 5.9%	32 3.3%	37 3.8%	66 6.8%	13 1.3%
竹町地区	40 100.0%	1 2.5%	4 10.0%	3 7.5%	1 2.5%	1 2.5%	2 5.0%	1 2.5%	1 2.5%
東上野地区	133 100.0%	16 12.0%	10 7.5%	8 6.0%	10 7.5%	6 4.5%	3 2.3%	8 6.0%	1 0.8%
上野地区	105 100.0%	9 8.6%	10 9.5%	10 9.5%	7 6.7%	4 3.8%	3 2.9%	9 8.6%	1 1.0%
入谷地区	211 100.0%	15 7.1%	7 3.3%	10 4.7%	10 4.7%	6 2.8%	8 3.8%	19 9.0%	-
金杉地区	46 100.0%	6 13.0%	2 4.3%	3 6.5%	3 6.5%	2 4.3%	-	2 4.3%	1 2.2%
谷中地区	21 100.0%	1 4.8%	-	2 9.5%	1 4.8%	-	1 4.8%	1 4.8%	-
浅草橋地区	128 100.0%	8 6.3%	17 13.3%	8 6.3%	5 3.9%	4 3.1%	8 6.3%	8 6.3%	2 1.6%
浅草寿地区	104 100.0%	8 7.7%	10 9.6%	5 4.8%	6 5.8%	3 2.9%	9 8.7%	7 6.7%	1 1.0%
雷門地区	53 100.0%	5 9.4%	1 1.9%	4 7.5%	3 5.7%	2 3.8%	-	3 5.7%	2 3.8%
馬道地区	53 100.0%	5 9.4%	9 17.0%	6 11.3%	4 7.5%	1 1.9%	2 3.8%	4 7.5%	2 3.8%
清川地区	67 100.0%	7 10.4%	8 11.9%	7 10.4%	5 7.5%	2 3.0%	1 1.5%	3 4.5%	2 3.0%

【B 今後、希望する手段】

【国籍別】

「区公式ホームページ」は「アメリカ」で70%を超えている一方で、「ベトナム」「フィリピン」で20%台となっている。

「フィリピン」では「区の生活ガイドブック『外国人のための生活便利帳』『日本人の友人や知り合いに聞く』『区の多言語情報紙『TAITO CITY LIFE NEWS』『同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く』『家族・親せきに聞く』『テレビ・ラジオ』が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高くなっている。

図表 行政サービスや区からのお知らせ等の入手手段及び今後希望する手段  
【今後、希望する手段】(国籍別)

上段:人数 下段:%	調査数	区公式ホームページ	区のメールやSNS配信	区の生活ガイドブック「外国人のための生活便利帳」	日本人の友人や知り合いに聞く	区の広報紙「広報たいとう」	区の外国人相談窓口	区の多言語情報紙「TAITO CITY LIFE NEWS」	同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く
全体	975 100.0%	408 41.8%	245 25.1%	227 23.3%	195 20.0%	184 18.9%	176 18.1%	161 16.5%	149 15.3%
中国	472 100.0%	204 43.2%	138 29.2%	111 23.5%	77 16.3%	92 19.5%	101 21.4%	69 14.6%	58 12.3%
韓国	92 100.0%	29 31.5%	14 15.2%	12 13.0%	17 18.5%	20 21.7%	8 8.7%	6 6.5%	11 12.0%
ベトナム	41 100.0%	10 24.4%	6 14.6%	8 19.5%	7 17.1%	3 7.3%	7 17.1%	6 14.6%	5 12.2%
フィリピン	59 100.0%	17 28.8%	15 25.4%	21 35.6%	28 47.5%	11 18.6%	13 22.0%	15 25.4%	24 40.7%
台湾	49 100.0%	23 46.9%	7 14.3%	10 20.4%	9 18.4%	5 10.2%	8 16.3%	7 14.3%	5 10.2%
アメリカ	35 100.0%	25 71.4%	9 25.7%	7 20.0%	9 25.7%	4 11.4%	6 17.1%	8 22.9%	4 11.4%
その他	224 100.0%	99 44.2%	55 24.6%	57 25.4%	48 21.4%	48 21.4%	32 14.3%	49 21.9%	42 18.8%

上段:人数 下段:%	調査数	区以外のインターネット・SNS	家族・親せきに聞く	会社や学校で聞く	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	147 15.1%	145 14.9%	78 8.0%	73 7.5%	51 5.2%	16 1.6%	96 9.8%	25 2.6%
中国	472 100.0%	79 16.7%	46 9.7%	34 7.2%	32 6.8%	28 5.9%	6 1.3%	45 9.5%	9 1.9%
韓国	92 100.0%	10 10.9%	17 18.5%	4 4.3%	7 7.6%	4 4.3%	1 1.1%	12 13.0%	5 5.4%
ベトナム	41 100.0%	4 9.8%	4 9.8%	3 7.3%	2 4.9%	1 2.4%	-	5 12.2%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	12 20.3%	20 33.9%	6 10.2%	17 28.8%	6 10.2%	-	2 3.4%	3 5.1%
台湾	49 100.0%	7 14.3%	4 8.2%	1 2.0%	1 2.0%	1 2.0%	-	8 16.3%	2 4.1%
アメリカ	35 100.0%	7 20.0%	10 28.6%	3 8.6%	1 2.9%	1 2.9%	3 8.6%	2 5.7%	-
その他	224 100.0%	27 12.1%	43 19.2%	27 12.1%	11 4.9%	9 4.0%	6 2.7%	22 9.8%	5 2.2%

### 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細

#### 【年齢別】

49歳以下で「区公式ホームページ」が40%台となっている。また、「18～29歳」で「区のメールやSNS配信」、「40～49歳」で「区的生活ガイドブック『外国人のための生活便利帳』『区が多言語情報紙『TAITO CITY LIFE NEWS』『区の広報紙『広報たいとう』」、「50～59歳」で「同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 行政サービスや区からのお知らせ等の入手手段及び今後希望する手段  
【今後、希望する手段】（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	区公式ホームページ	区のメールやSNS配信	区的生活ガイドブック「外国人のための生活便利帳」	日本人の友人や知り合いに聞く	区の広報紙「広報たいとう」	区の外国人相談窓口	区が多言語情報紙「TAITO CITY LIFE NEWS」	同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く
全体	975 100.0%	408 41.8%	245 25.1%	227 23.3%	195 20.0%	184 18.9%	176 18.1%	161 16.5%	149 15.3%
18～29歳	233 100.0%	96 41.2%	70 30.0%	45 19.3%	42 18.0%	29 12.4%	38 16.3%	28 12.0%	38 16.3%
30～39歳	385 100.0%	179 46.5%	108 28.1%	91 23.6%	75 19.5%	73 19.0%	71 18.4%	68 17.7%	56 14.5%
40～49歳	185 100.0%	86 46.5%	38 20.5%	59 31.9%	39 21.1%	45 24.3%	37 20.0%	43 23.2%	22 11.9%
50～59歳	103 100.0%	34 33.0%	23 22.3%	24 23.3%	25 24.3%	23 22.3%	20 19.4%	15 14.6%	23 22.3%
60～69歳	47 100.0%	10 21.3%	1 2.1%	4 8.5%	9 19.1%	5 10.6%	5 10.6%	2 4.3%	5 10.6%
70歳以上	19 100.0%	2 10.5%	4 21.1%	3 15.8%	5 26.3%	8 42.1%	4 21.1%	4 21.1%	5 26.3%

上段:人数 下段:%	調査数	区以外のインターネット・SNS	家族・親せきに聞く	会社や学校で聞く	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	147 15.1%	145 14.9%	78 8.0%	73 7.5%	51 5.2%	16 1.6%	96 9.8%	25 2.6%
18～29歳	233 100.0%	39 16.7%	18 7.7%	19 8.2%	10 4.3%	10 4.3%	3 1.3%	34 14.6%	5 2.1%
30～39歳	385 100.0%	68 17.7%	47 12.2%	34 8.8%	28 7.3%	17 4.4%	8 2.1%	36 9.4%	6 1.6%
40～49歳	185 100.0%	26 14.1%	23 12.4%	18 9.7%	14 7.6%	10 5.4%	1 0.5%	12 6.5%	5 2.7%
50～59歳	103 100.0%	11 10.7%	30 29.1%	7 6.8%	12 11.7%	6 5.8%	4 3.9%	7 6.8%	4 3.9%
60～69歳	47 100.0%	- -	19 40.4%	- -	4 8.5%	2 4.3%	- -	5 10.6%	4 8.5%
70歳以上	19 100.0%	2 10.5%	7 36.8%	- -	3 15.8%	5 26.3%	- -	2 10.5%	1 5.3%

【居住地域別】

「浅草寿地区」で「区公式ホームページ」「日本人の友人や知り合いに聞く」「区の広報紙『広報たいとう』」、「東上野地区」で「区の外国人相談窓口」「区の多言語情報紙『TAITO CITY LIFE NEWS』」の割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 行政サービスや区からのお知らせ等の入手手段及び今後希望する手段  
【今後、希望する手段】（居住地域別）

上段：人数 下段：%	調査数	区公式ホームページ	区のメールやSNS配信	区の生活ガイドブック「外国人のための生活便利帳」	日本人の友人や知り合いに聞く	区の広報紙「広報たいとう」	区の外国人相談窓口	区の多言語情報紙「TAITO CITY LIFE NEWS」	同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く
全体	975 100.0%	408 41.8%	245 25.1%	227 23.3%	195 20.0%	184 18.9%	176 18.1%	161 16.5%	149 15.3%
竹町地区	40 100.0%	19 47.5%	7 17.5%	6 15.0%	5 12.5%	9 22.5%	4 10.0%	4 10.0%	3 7.5%
東上野地区	133 100.0%	56 42.1%	38 28.6%	35 26.3%	22 16.5%	31 23.3%	34 25.6%	31 23.3%	19 14.3%
上野地区	105 100.0%	30 28.6%	19 18.1%	25 23.8%	22 21.0%	16 15.2%	22 21.0%	16 15.2%	16 15.2%
入谷地区	211 100.0%	99 46.9%	49 23.2%	45 21.3%	31 14.7%	32 15.2%	29 13.7%	30 14.2%	30 14.2%
金杉地区	46 100.0%	17 37.0%	11 23.9%	12 26.1%	11 23.9%	9 19.6%	8 17.4%	5 10.9%	9 19.6%
谷中地区	21 100.0%	9 42.9%	7 33.3%	6 28.6%	2 9.5%	4 19.0%	3 14.3%	6 28.6%	4 19.0%
浅草橋地区	128 100.0%	51 39.8%	32 25.0%	26 20.3%	33 25.8%	20 15.6%	18 14.1%	19 14.8%	24 18.8%
浅草寿地区	104 100.0%	55 52.9%	31 29.8%	30 28.8%	28 26.9%	27 26.0%	23 22.1%	19 18.3%	16 15.4%
雷門地区	53 100.0%	20 37.7%	15 28.3%	11 20.8%	9 17.0%	9 17.0%	11 20.8%	9 17.0%	4 7.5%
馬道地区	53 100.0%	19 35.8%	14 26.4%	8 15.1%	11 20.8%	8 15.1%	6 11.3%	7 13.2%	4 7.5%
清川地区	67 100.0%	27 40.3%	17 25.4%	18 26.9%	15 22.4%	15 22.4%	15 22.4%	11 16.4%	15 22.4%

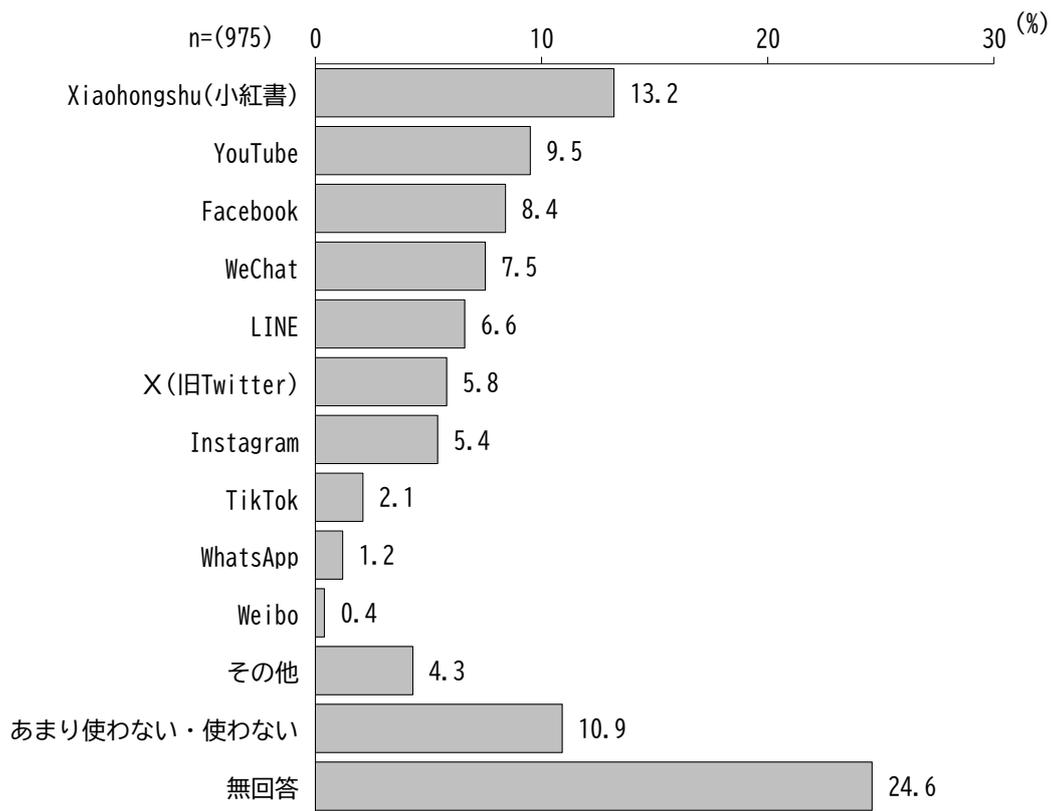
上段：人数 下段：%	調査数	区以外のインターネット・SNS	家族・親せきに聞く	会社や学校で聞く	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	147 15.1%	145 14.9%	78 8.0%	73 7.5%	51 5.2%	16 1.6%	96 9.8%	25 2.6%
竹町地区	40 100.0%	6 15.0%	7 17.5%	- -	2 5.0%	2 5.0%	1 2.5%	4 10.0%	1 2.5%
東上野地区	133 100.0%	18 13.5%	19 14.3%	12 9.0%	8 6.0%	8 6.0%	- -	16 12.0%	3 2.3%
上野地区	105 100.0%	13 12.4%	19 18.1%	9 8.6%	8 7.6%	5 4.8%	1 1.0%	11 10.5%	1 1.0%
入谷地区	211 100.0%	32 15.2%	21 10.0%	22 10.4%	10 4.7%	10 4.7%	4 1.9%	23 10.9%	3 1.4%
金杉地区	46 100.0%	8 17.4%	8 17.4%	3 6.5%	5 10.9%	2 4.3%	- -	4 8.7%	2 4.3%
谷中地区	21 100.0%	3 14.3%	6 28.6%	2 9.5%	1 4.8%	1 4.8%	1 4.8%	1 4.8%	- -
浅草橋地区	128 100.0%	24 18.8%	21 16.4%	5 3.9%	18 14.1%	9 7.0%	3 2.3%	9 7.0%	6 4.7%
浅草寿地区	104 100.0%	15 14.4%	15 14.4%	7 6.7%	9 8.7%	4 3.8%	2 1.9%	7 6.7%	3 2.9%
雷門地区	53 100.0%	10 18.9%	5 9.4%	5 9.4%	1 1.9%	3 5.7%	2 3.8%	8 15.1%	2 3.8%
馬道地区	53 100.0%	5 9.4%	8 15.1%	4 7.5%	5 9.4%	2 3.8%	1 1.9%	4 7.5%	3 5.7%
清川地区	67 100.0%	9 13.4%	13 19.4%	7 10.4%	4 6.0%	4 6.0%	1 1.5%	9 13.4%	1 1.5%

(5) 生活していく上で必要な情報を得るときに最も利用するSNS

問27 あなたが生活していく上で必要な情報を得るときに、最も利用するSNSはどれですか。(ひとつだけ○)

「Xiaohongshu (小紅書)」(13.2%)、次いで、「YouTube」(9.5%)、「Facebook」(8.4%)、「WeChat」(7.5%)となっている。なお、「あまり使わない・使わない」は10.9%となっている。

図表 生活していく上で必要な情報を得るときに最も利用するSNS (単一回答)



【年齢別】

年代が若いほど「Xiaohongshu（小紅書）」の割合が高く、特に「18～29歳」で全体平均と比較して5ポイント以上高い。

回答数の少ない「70歳以上」を除いて、年代が高くなるにつれて「YouTube」が高くなり、「60～69歳」では20%を超えている。また、「60～69歳」では「あまり使わない・使わない」も19.1%となっている。

図表 生活していく上で必要な情報を得るときに最も利用するSNS（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	Xiaohongshu (小紅書)	YouTube	Facebook	WeChat	LINE	X(旧Twitter)	Instagram
全体	975 100.0%	129 13.2%	93 9.5%	82 8.4%	73 7.5%	64 6.6%	57 5.8%	53 5.4%
18～29歳	233 100.0%	53 22.7%	16 6.9%	19 8.2%	23 9.9%	15 6.4%	23 9.9%	14 6.0%
30～39歳	385 100.0%	52 13.5%	32 8.3%	27 7.0%	16 4.2%	24 6.2%	25 6.5%	28 7.3%
40～49歳	185 100.0%	19 10.3%	21 11.4%	20 10.8%	17 9.2%	12 6.5%	7 3.8%	8 4.3%
50～59歳	103 100.0%	4 3.9%	13 12.6%	11 10.7%	11 10.7%	6 5.8%	2 1.9%	3 2.9%
60～69歳	47 100.0%	1 2.1%	10 21.3%	4 8.5%	5 10.6%	6 12.8%	- -	- -
70歳以上	19 100.0%	- -	1 5.3%	1 5.3%	1 5.3%	1 5.3%	- -	- -

上段:人数 下段:%	調査数	TikTok	WhatsApp	Weibo	その他	あまり使わない・ 使わない	無回答
全体	975 100.0%	20 2.1%	12 1.2%	4 0.4%	42 4.3%	106 10.9%	240 24.6%
18～29歳	233 100.0%	10 4.3%	3 1.3%	1 0.4%	5 2.1%	12 5.2%	39 16.7%
30～39歳	385 100.0%	6 1.6%	4 1.0%	2 0.5%	24 6.2%	43 11.2%	102 26.5%
40～49歳	185 100.0%	3 1.6%	4 2.2%	1 0.5%	6 3.2%	21 11.4%	46 24.9%
50～59歳	103 100.0%	1 1.0%	1 1.0%	- -	6 5.8%	12 11.7%	33 32.0%
60～69歳	47 100.0%	- -	- -	- -	- -	9 19.1%	12 25.5%
70歳以上	19 100.0%	- -	- -	- -	- -	9 47.4%	6 31.6%

【国籍別】

「中国」では「Xiaohongshu（小紅書）」、「韓国」「アメリカ」では「YouTube」、「ベトナム」「フィリピン」では「Facebook」、「台湾」では「LINE」「Instagram」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高くなっている。「アメリカ」では「あまり使わない・使わない」が他の国籍と比較して高い。

また、「Xiaohongshu（小紅書）」は、「中国」「台湾」のみで回答されている。

図表 生活していく上で必要な情報を得るときに最も利用するSNS（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	Xiaohongshu (小紅書)	YouTube	Facebook	WeChat	LINE	X(旧Twitter)	Instagram
全体	975 100.0%	129 13.2%	93 9.5%	82 8.4%	73 7.5%	64 6.6%	57 5.8%	53 5.4%
中国	472 100.0%	126 26.7%	25 5.3%	3 0.6%	72 15.3%	13 2.8%	30 6.4%	15 3.2%
韓国	92 100.0%	- -	27 29.3%	1 1.1%	- -	13 14.1%	8 8.7%	8 8.7%
ベトナム	41 100.0%	- -	4 9.8%	13 31.7%	- -	4 9.8%	1 2.4%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	- -	8 13.6%	22 37.3%	- -	1 1.7%	- -	2 3.4%
台湾	49 100.0%	3 6.1%	2 4.1%	2 4.1%	- -	9 18.4%	5 10.2%	11 22.4%
アメリカ	35 100.0%	- -	9 25.7%	2 5.7%	- -	3 8.6%	- -	3 8.6%
その他	224 100.0%	- -	18 8.0%	39 17.4%	1 0.4%	21 9.4%	13 5.8%	13 5.8%

上段:人数 下段:%	調査数	TikTok	WhatsApp	Weibo	その他	あまり使わない・ 使わない	無回答
全体	975 100.0%	20 2.1%	12 1.2%	4 0.4%	42 4.3%	106 10.9%	240 24.6%
中国	472 100.0%	8 1.7%	1 0.2%	4 0.8%	17 3.6%	38 8.1%	120 25.4%
韓国	92 100.0%	- -	- -	- -	6 6.5%	17 18.5%	12 13.0%
ベトナム	41 100.0%	4 9.8%	- -	- -	- -	1 2.4%	13 31.7%
フィリピン	59 100.0%	3 5.1%	- -	- -	1 1.7%	2 3.4%	20 33.9%
台湾	49 100.0%	- -	- -	- -	2 4.1%	5 10.2%	10 20.4%
アメリカ	35 100.0%	1 2.9%	- -	- -	1 2.9%	13 37.1%	3 8.6%
その他	224 100.0%	4 1.8%	11 4.9%	- -	14 6.3%	30 13.4%	60 26.8%

【最も得意な言語別】

「中国語」では「Xiaohongshu (小紅書)」、「韓国語・朝鮮語」「英語」では「YouTube」、「ベトナム語」「タガログ語」では「Facebook」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高くなっている。また、「日本語」「英語」では「あまり使わない・使わない」が他の言語と比較して高い。

図表 生活していく上で必要な情報を得るときに最も利用するSNS（最も得意な言語別）

上段:人数 下段:%	調査数	Xiaohongshu (小紅書)	YouTube	Facebook	WeChat	LINE	X(旧Twitter)	Instagram
全体	975 100.0%	129 13.2%	93 9.5%	82 8.4%	73 7.5%	64 6.6%	57 5.8%	53 5.4%
日本語	89 100.0%	5 5.6%	8 9.0%	5 5.6%	3 3.4%	11 12.4%	10 11.2%	10 11.2%
中国語	467 100.0%	121 25.9%	23 4.9%	6 1.3%	67 14.3%	19 4.1%	25 5.4%	25 5.4%
韓国語・朝鮮語	62 100.0%	- -	22 35.5%	1 1.6%	- -	8 12.9%	5 8.1%	3 4.8%
英語	89 100.0%	- -	19 21.3%	5 5.6%	- -	10 11.2%	6 6.7%	7 7.9%
ベトナム語	35 100.0%	- -	4 11.4%	11 31.4%	- -	4 11.4%	1 2.9%	1 2.9%
タガログ語	34 100.0%	- -	5 14.7%	13 38.2%	- -	- -	- -	- -
その他	139 100.0%	1 0.7%	10 7.2%	30 21.6%	1 0.7%	11 7.9%	10 7.2%	7 5.0%

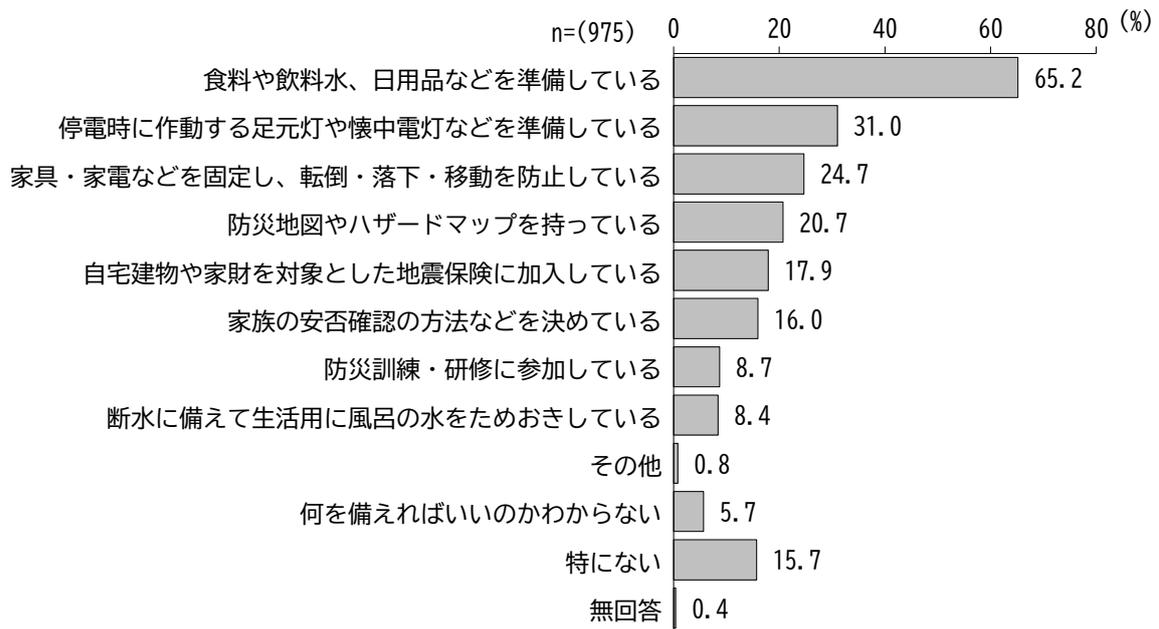
上段:人数 下段:%	調査数	TikTok	WhatsApp	Weibo	その他	あまり使わない・ 使わない	無回答
全体	975 100.0%	20 2.1%	12 1.2%	4 0.4%	42 4.3%	106 10.9%	240 24.6%
日本語	89 100.0%	4 4.5%	- -	- -	1 1.1%	17 19.1%	15 16.9%
中国語	467 100.0%	7 1.5%	1 0.2%	4 0.9%	19 4.1%	35 7.5%	115 24.6%
韓国語・朝鮮語	62 100.0%	- -	- -	- -	6 9.7%	7 11.3%	10 16.1%
英語	89 100.0%	1 1.1%	3 3.4%	- -	3 3.4%	20 22.5%	15 16.9%
ベトナム語	35 100.0%	3 8.6%	- -	- -	- -	1 2.9%	10 28.6%
タガログ語	34 100.0%	3 8.8%	- -	- -	- -	1 2.9%	12 35.3%
その他	139 100.0%	2 1.4%	8 5.8%	- -	11 7.9%	15 10.8%	33 23.7%

(6) 地震などの災害時の備え

問28 地震などの災害の時に備えていることはありますか。(当てはまるもの全てに○)

「食料や飲料水、日用品などを準備している」(65.2%)が最も高く、次いで、「停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している」(31.0%)、「家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している」(24.7%)、「防災地図やハザードマップを持っている」(20.7%)となっている。一方、「何を備えればいいのかわからない」は5.7%、「特にない」は15.7%となっている。

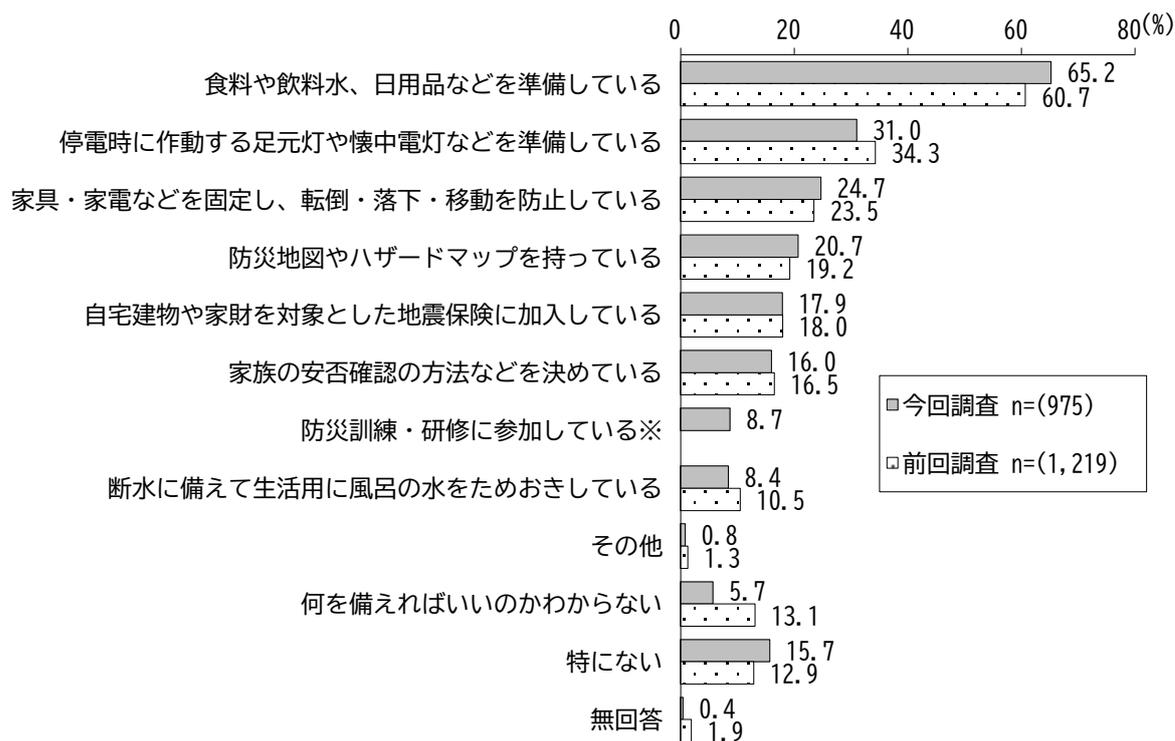
図表 地震などの災害時の備え（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「何を備えればいいのかわからない」が7.4ポイント減少している。このほかで特に大きな違いはみられないが、「食料や飲料水、日用品などを準備している」「家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している」「防災地図やハザードマップを持っている」は増加傾向にあり、また問21（台東区の施策に対する必要度）では「防災面の対策」が前回から増加していることから、外国人区民の防災への意識は高まっていることがうかがえる。

図表 【経年比較】地震などの災害時の備え（複数回答）



※今回調査より、選択肢「防災訓練・研修に参加している」が追加された。

【居住地域別】

「金杉地区」で「家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している」「自宅建物や家財を対象とした地震保険に加入している」、「清川地区」で「停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している」、「浅草寿地区」で「防災地図やハザードマップを持っている」の割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 地震などの災害時の備え（居住地域別）

	調査数	食料や飲料水、日用品などを準備している	停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している	家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している	防災地図やハザードマップを持っている	自宅建物や家財を対象とした地震保険に加入している	家族の安否確認の方法などを決めている	上段:人数	下段:%
全体	975	636	302	241	202	175	156	100.0%	16.0%
竹町地区	40	26	14	10	8	11	6	100.0%	15.0%
東上野地区	133	79	34	25	25	14	16	100.0%	12.0%
上野地区	105	72	38	30	15	14	20	100.0%	19.0%
入谷地区	211	135	53	49	47	37	35	100.0%	16.6%
金杉地区	46	32	17	17	7	14	8	100.0%	17.4%
谷中地区	21	14	8	7	7	3	6	100.0%	28.6%
浅草橋地区	128	81	45	24	32	19	20	100.0%	15.6%
浅草寿地区	104	72	28	26	28	19	18	100.0%	17.3%
雷門地区	53	35	15	18	9	10	2	100.0%	3.8%
馬道地区	53	34	17	9	11	13	8	100.0%	15.1%
清川地区	67	47	28	21	11	19	14	100.0%	20.9%

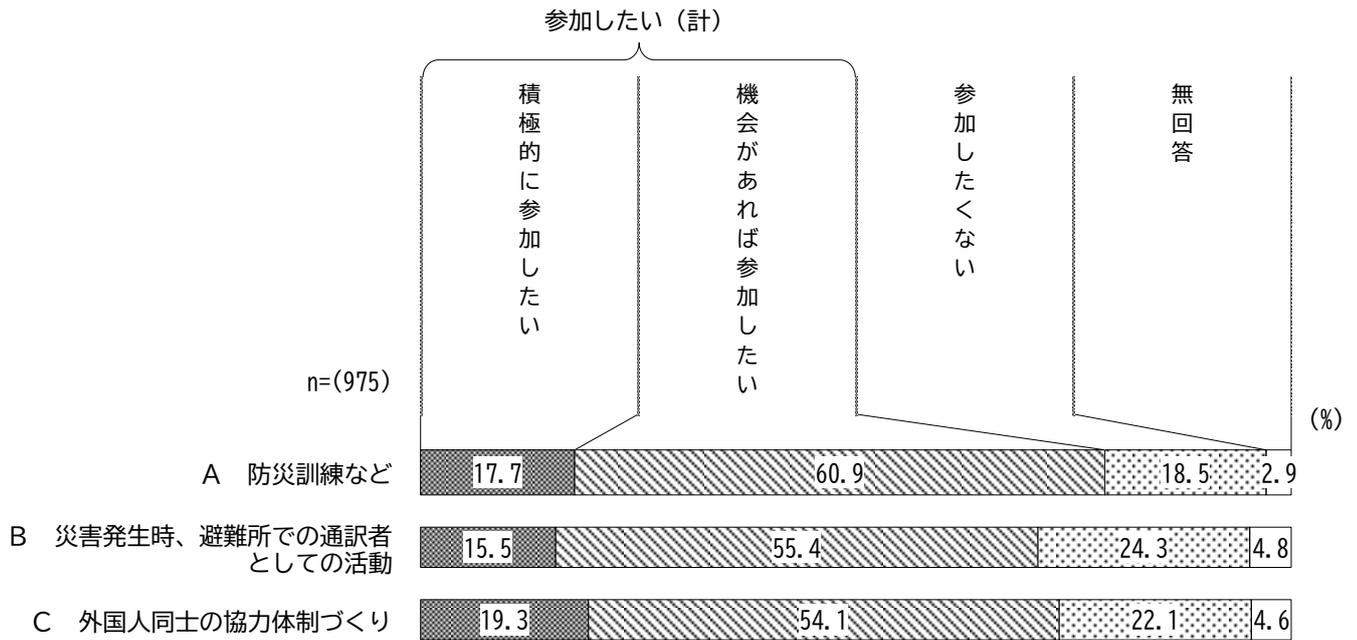
	調査数	防災訓練・研修に参加している	断水に備えて生活用に風呂の水をためおきしている	その他	何を備えればいいのかわからない	特になし	無回答	上段:人数	下段:%
全体	975	85	82	8	56	153	4	100.0%	0.4%
竹町地区	40	3	5	-	3	9	1	100.0%	2.5%
東上野地区	133	7	7	1	11	26	-	100.0%	-
上野地区	105	11	9	-	5	13	1	100.0%	1.0%
入谷地区	211	16	12	-	13	31	-	100.0%	-
金杉地区	46	4	4	1	3	3	1	100.0%	2.2%
谷中地区	21	1	1	-	1	3	-	100.0%	-
浅草橋地区	128	17	16	1	11	23	-	100.0%	-
浅草寿地区	104	10	11	3	6	15	1	100.0%	1.0%
雷門地区	53	9	4	-	2	10	-	100.0%	-
馬道地区	53	2	2	-	-	10	-	100.0%	-
清川地区	67	4	9	2	-	8	-	100.0%	-

(7) 災害に関する活動への参加意向

問29 災害に関する活動へ参加したいと思いますか。(それぞれひとつに○)

全ての項目で「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」の合計「参加したい(計)」は70%台となっており、高い参加意向を示している。

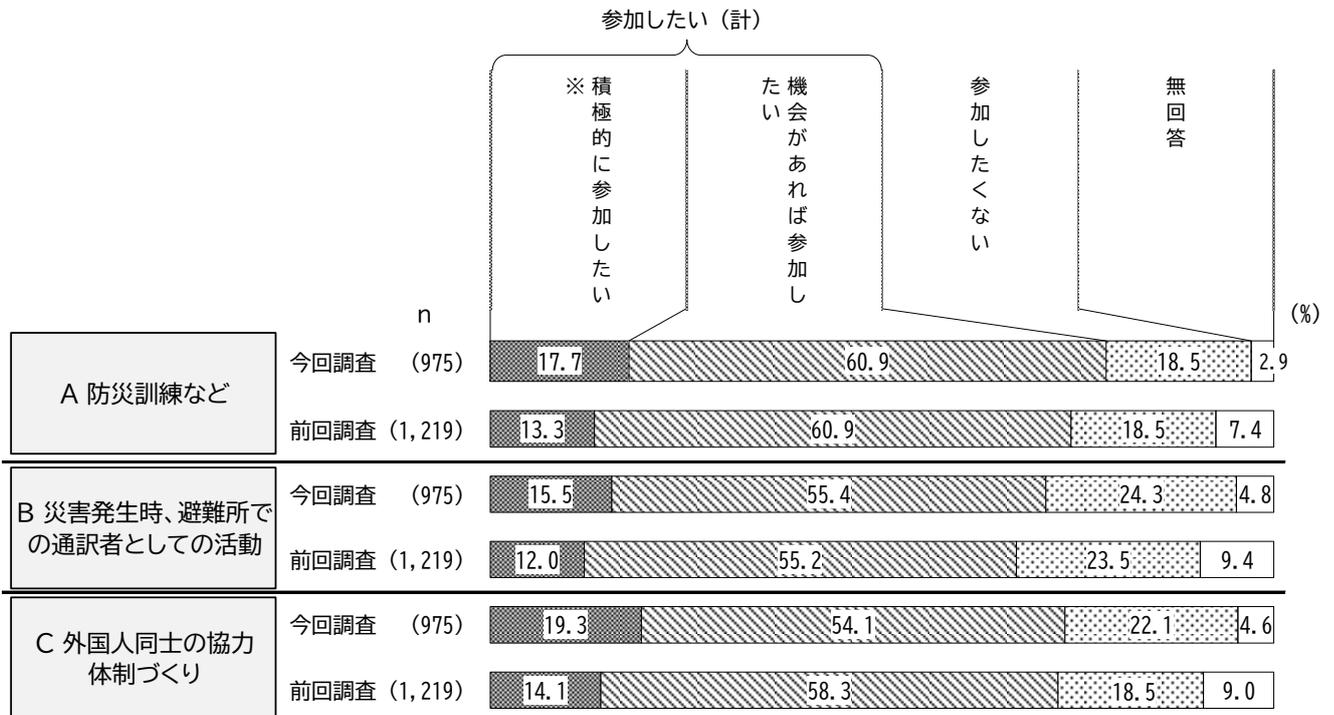
図表 災害に関する活動への参加意向(単一回答)



【経年比較】

前回との比較は、選択肢が一部異なるため参考程度にとどめるが、「A 防災訓練など」「B 災害発生時、避難所での通訳者としての活動」で「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」の合計「参加したい（計）」はやや増加している。

図表 【経年比較】災害に関する活動への参加意向（単一回答）



※今回調査の選択肢「積極的に参加したい」は、前回調査では「おおいに参加したい」であった。

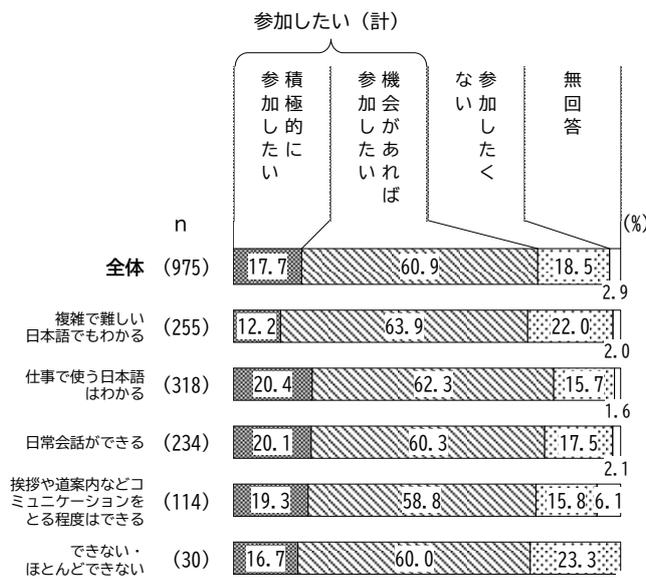
【A. 防災訓練など（日本語習得度別）】

「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合計した割合は、「聞く」「話す」「読む」が「仕事で使う日本語はわかる」と回答した人で、「書く」が「日常会話ができる」と回答した人で最も高くなっている。

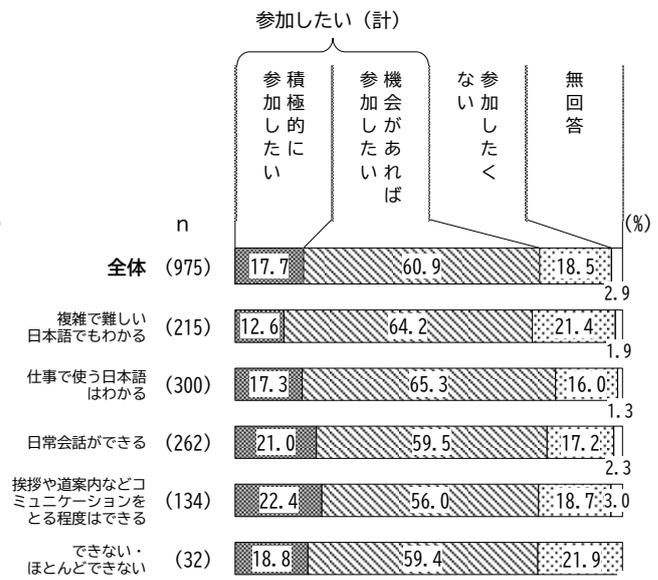
一方、「聞く」「話す」「読む」「書く」が「複雑で難しい日本語でもわかる」「できない・ほとんどできない」と回答した人では、「参加したくない」が20%台とやや高くなっている。

図表 災害に関する活動への参加意向【A. 防災訓練など】（日本語習得度別）

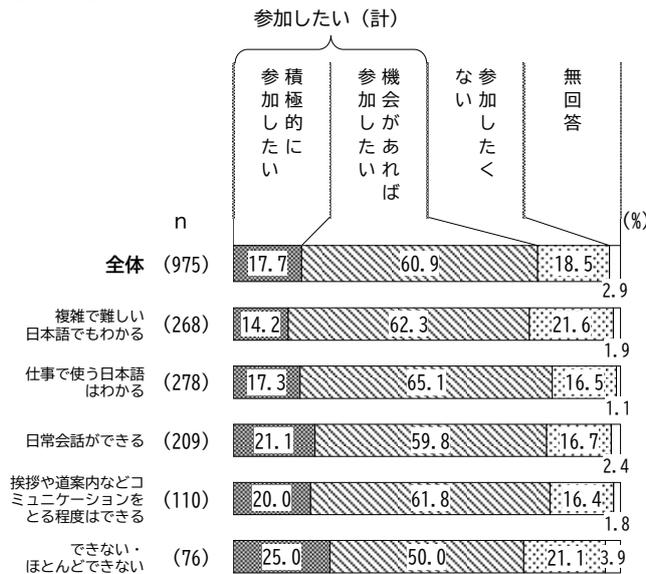
【聞く】



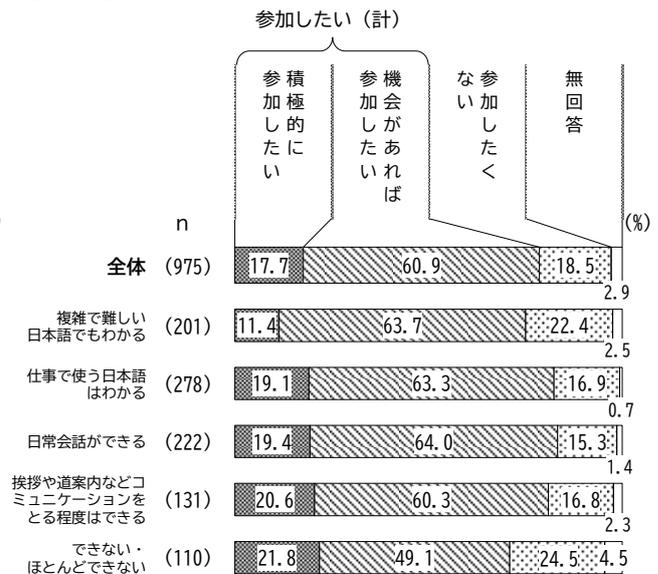
【話す】



【読む】



【書く】

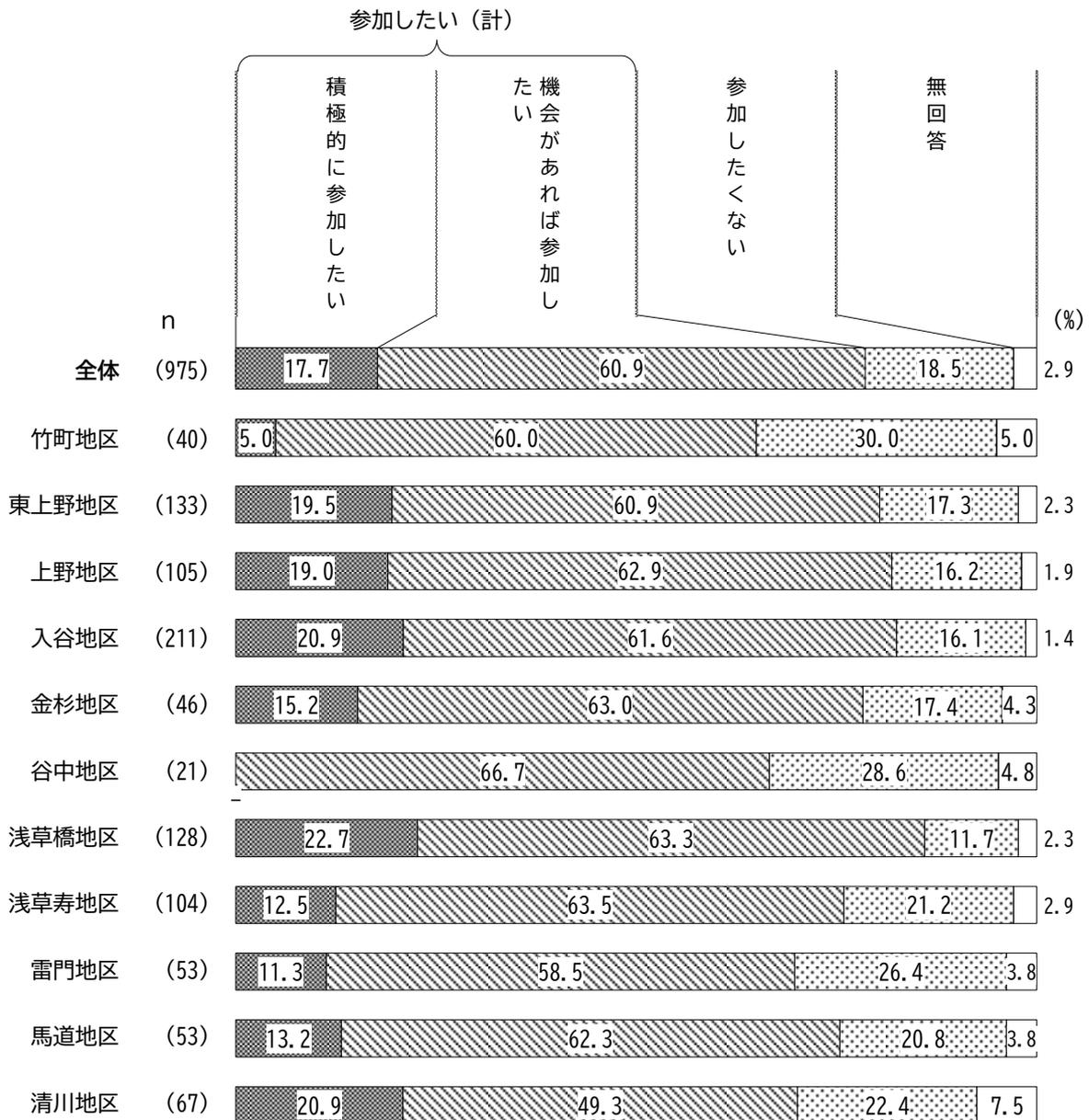


【A. 防災訓練など（居住地域別）】

「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合計した割合は、「浅草橋地区」「入谷地区」「上野地区」「東上野地区」で80%台となっている。

一方、「参加したくない」は「竹町地区」で30%と全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 災害に関する活動への参加意向【A. 防災訓練など】（居住地域別）



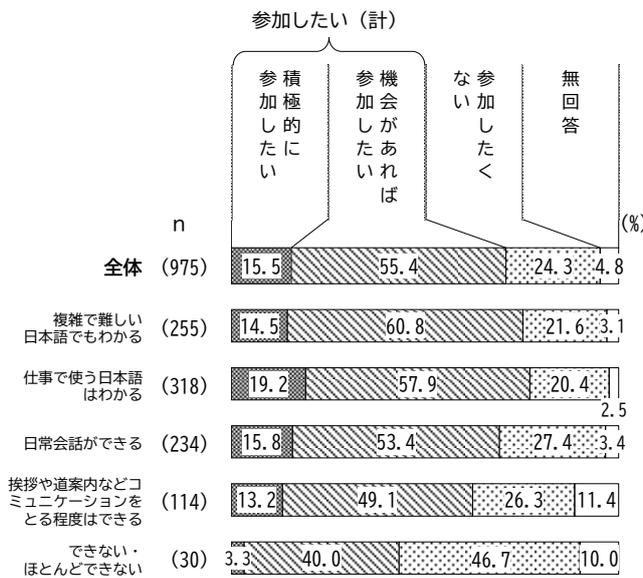
【B. 災害発生時、避難所での通訳者としての活動（日本語習得度別）】

「聞く」「話す」「読む」「書く」いずれも「仕事で使う日本語はわかる」と回答した人で、「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合計した割合が最も高くなっている。

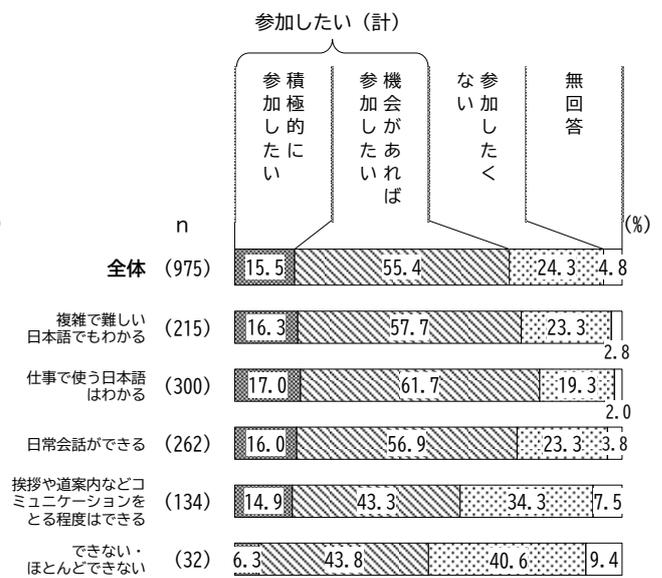
一方、「聞く」「話す」の「できない・ほとんどできない」と回答した人で、「参加したくない」が40%台とそれぞれ高い。

図表 災害に関する活動への参加意向【B. 災害発生時、避難所での通訳者としての活動】  
(日本語習得度別)

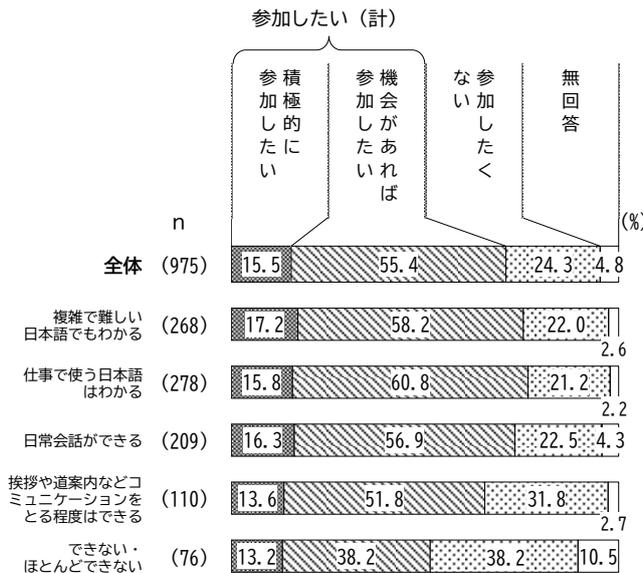
【聞く】



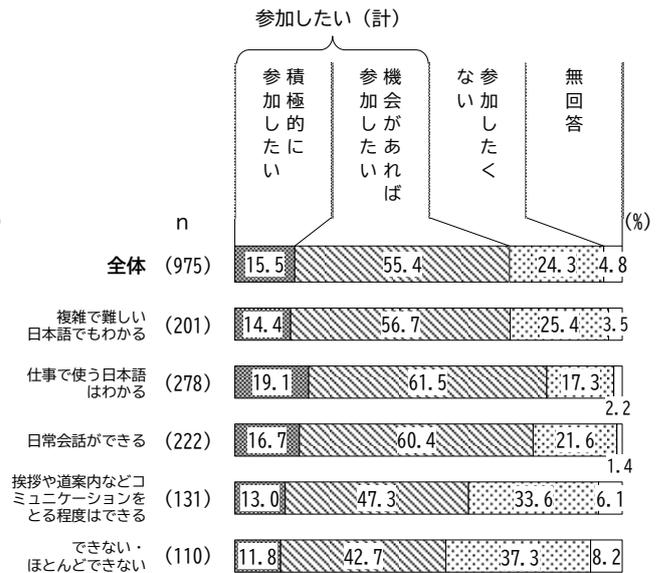
【話す】



【読む】



【書く】

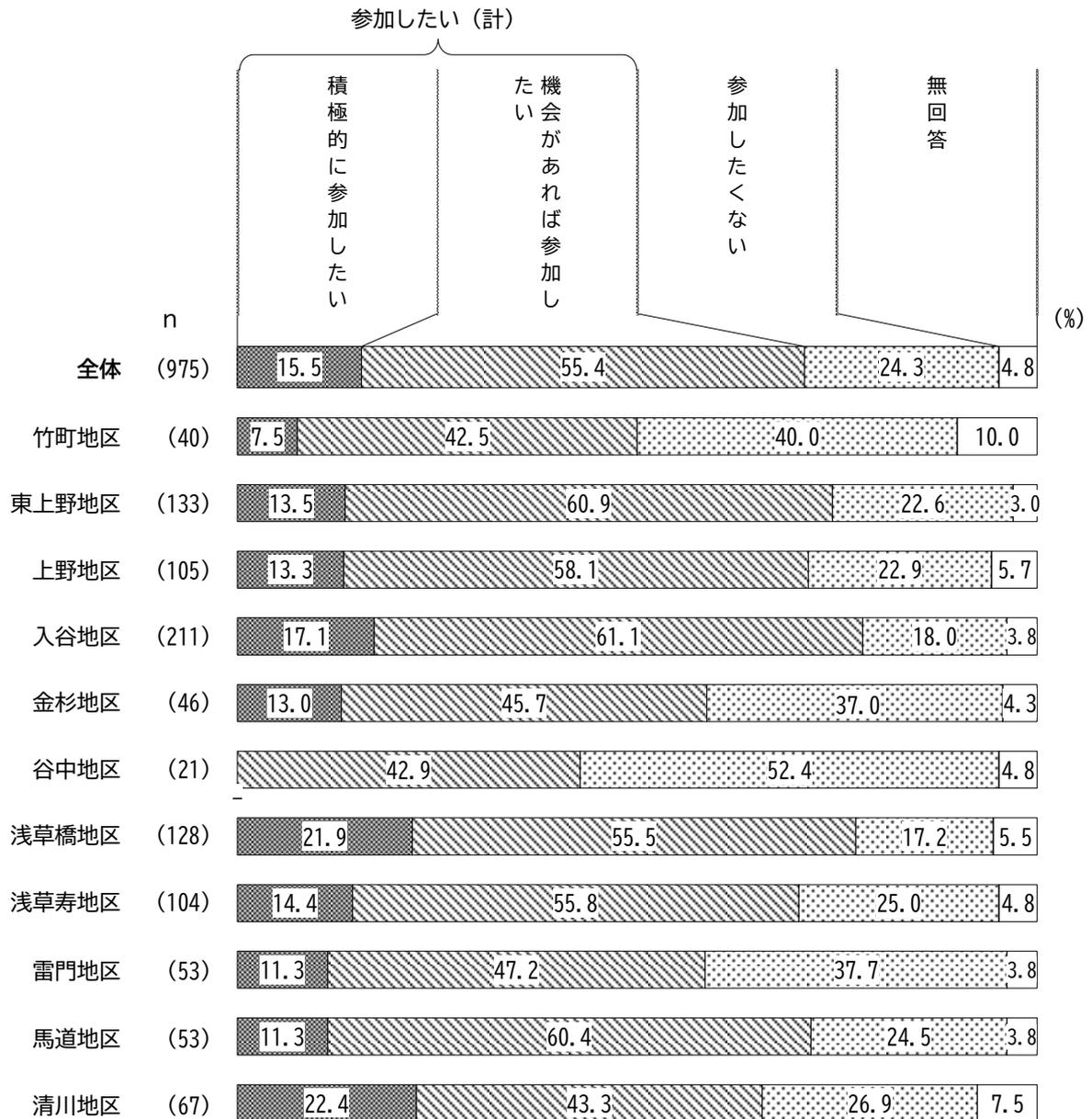


【B. 災害発生時、避難所での通訳者としての活動（居住地域別）】

「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合計した割合は、「入谷地区」「浅草橋地区」で70%台となっている。

一方、「参加したくない」は「竹町地区」で40.0%と全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 災害に関する活動への参加意向【B. 災害発生時、避難所での通訳者としての活動】  
（居住地域別）



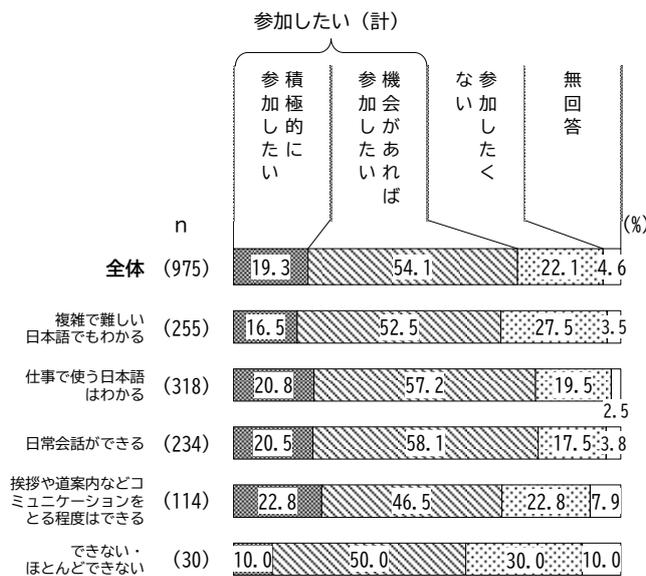
【C. 外国人同士の協力体制づくり（日本語習得度別）】

「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合計した割合は、「聞く」「話す」「書く」が「日常会話ができる」と回答した人で、「読む」が「仕事で使う日本語はわかる」と回答した人で最も高くなっている。

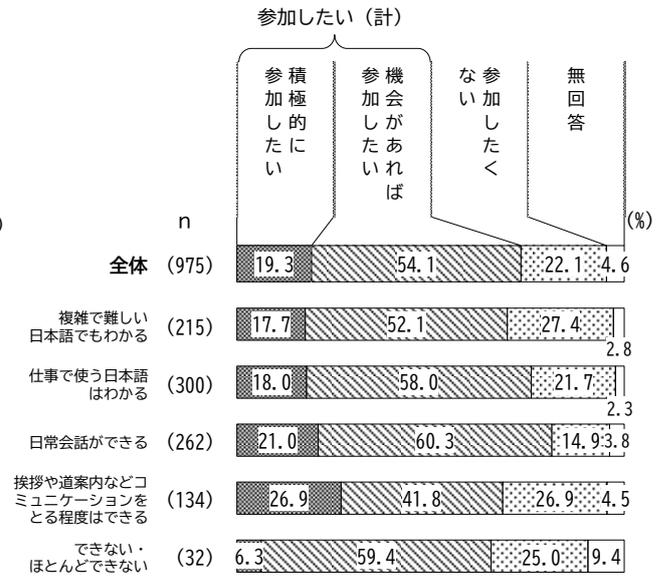
一方、「聞く」が「できない・ほとんどできない」と回答した人では、「参加したくない」が30.0%と高くなっている。

図表 災害に関する活動への参加意向【C. 外国人同士の協力体制づくり】（日本語習得度別）

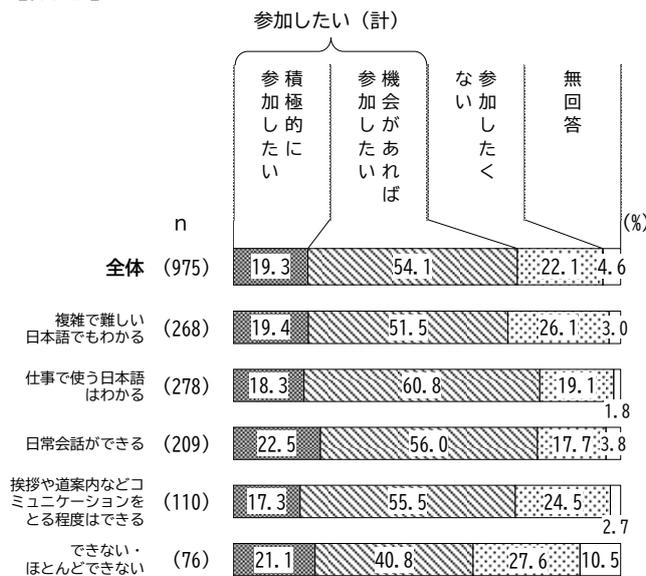
【聞く】



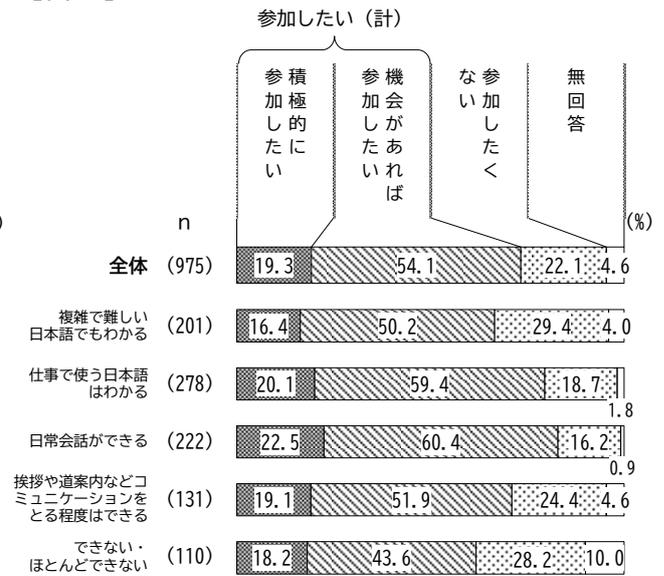
【話す】



【読む】



【書く】

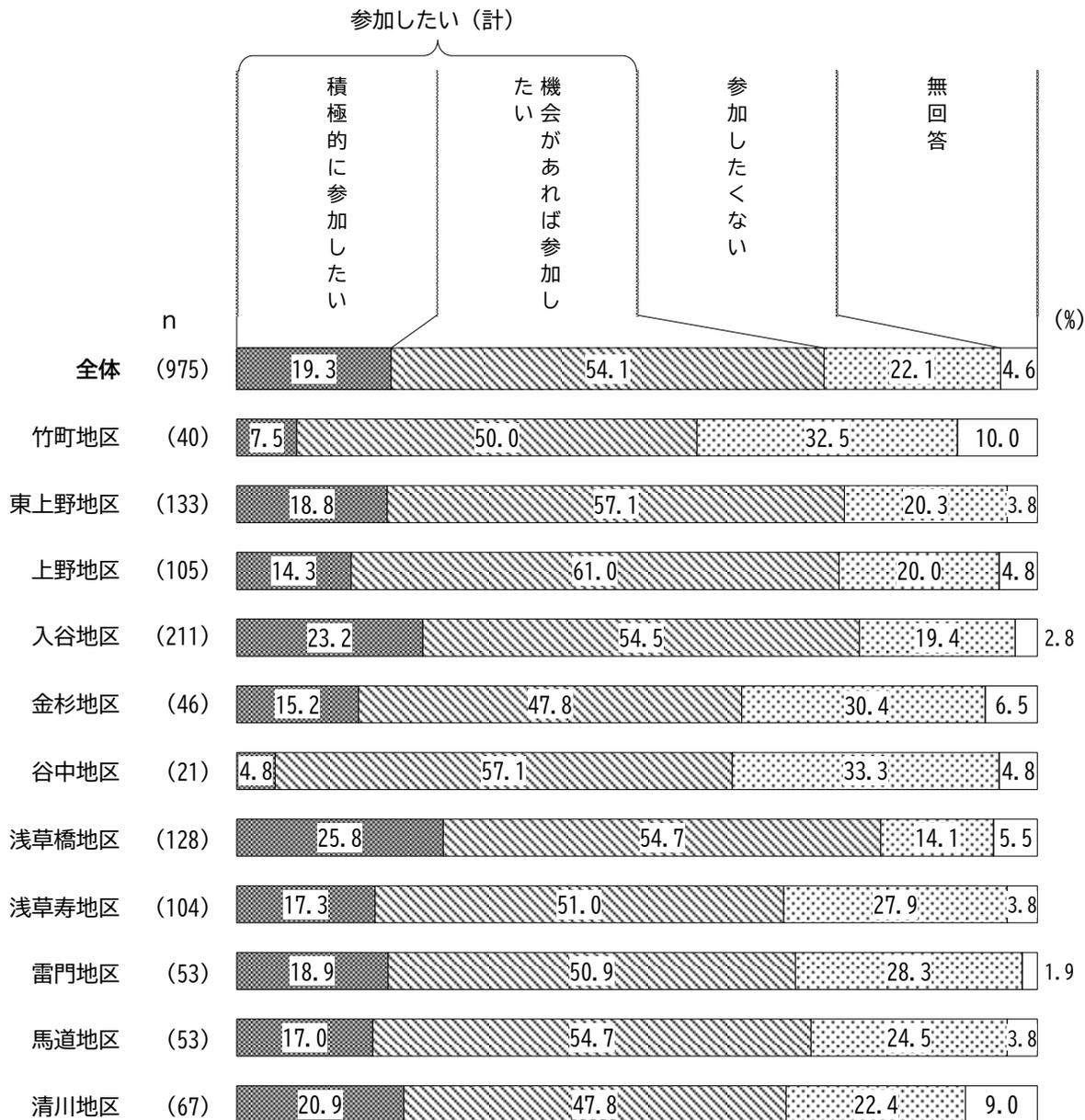


【C. 外国人同士の協力体制づくり（居住地域別）】

「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合計した割合は、「浅草橋地区」「入谷地区」で80%前後となっている。

一方、「参加したくない」は「竹町地区」「金杉地区」で30%台と全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 災害に関する活動への参加意向【C. 外国人同士の協力体制づくり】（居住地域別）



## (8) 日本での妊娠や出産、育児で困ったこと

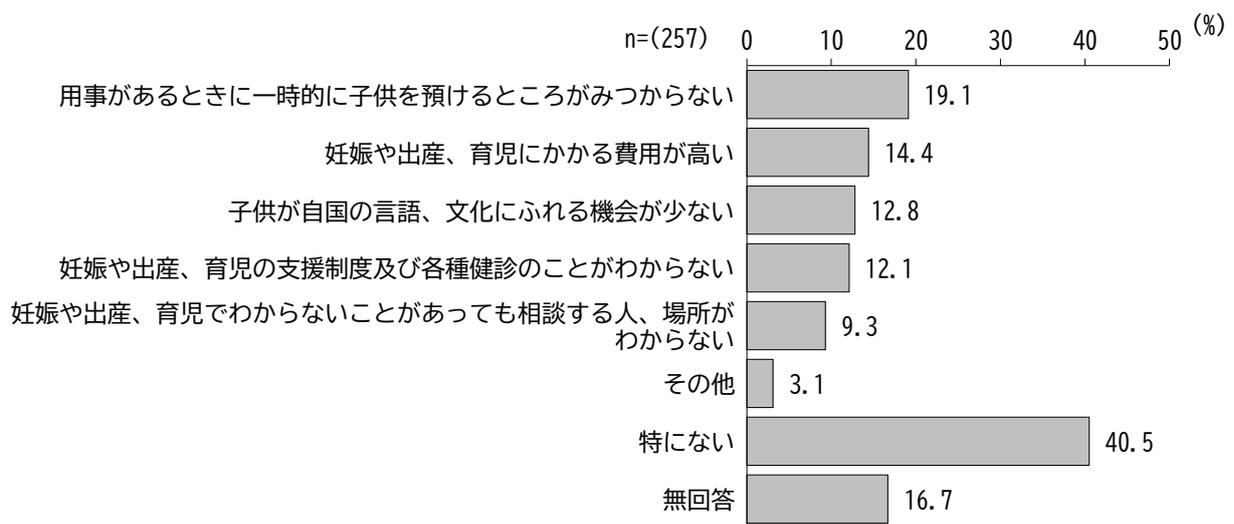
問30 【お子さんがいる方のみご回答ください。】

日本での妊娠や出産、育児のことで困ったことはありますか。

(当てはまるもの全てに○)

「特にない」が40.5%で最も高いが、具体的な選択肢の中では「用事があるときに一時的に子供を預けるところがみつからない」(19.1%)が最も高く、次いで、「妊娠や出産、育児にかかる費用が高い」(14.4%)、「子供が自国の言語、文化にふれる機会が少ない」(12.8%)となっている。

図表 日本での妊娠や出産、育児で困ったこと（複数回答）



※調査票問8の選択肢のうち、「子供」の回答者を母数として集計している。

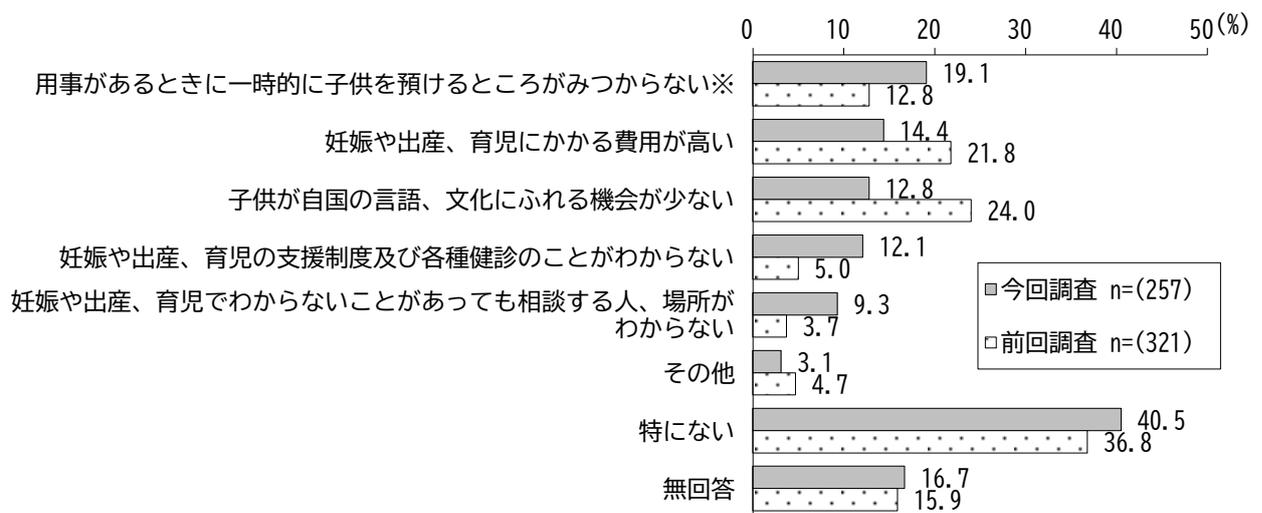
【経年比較】

前回との比較では、「妊娠や出産、育児の支援制度及び各種健診のことがわからない」「妊娠や出産、育児でわからないことがあっても相談する人、場所がわからない」「用事があるときに一時的に子供を預けるところがみつからない」がいずれも5ポイント以上増加している。

一方、「子供が自国の言語、文化にふれる機会が少ない」が11.2ポイント、「妊娠や出産、育児にかかる費用が高い」が7.4ポイント減少している。

「特にない」を除いて、前回1位の「子供が自国の言語、文化にふれる機会が少ない」は今回3位となっている。

図表 【経年比較】日本での妊娠や出産、育児で困ったこと（複数回答）



※今回調査の選択肢「用事があるときに一時的に子供を預けるところがみつからない」は、前回調査では「子供を預けるところがみつからない」であった。

## 【居住地域別】

「上野地区」で「妊娠や出産、育児にかかる費用が高い」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、回答者数が少ないため参考程度にとどめるが、「浅草橋地区」「清川地区」で「用事があるときに一時的に子供を預けるところがみつからない」、「浅草橋地区」「浅草寿地区」で「妊娠や出産、育児の支援制度及び各種健診のことがわからない」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 日本での妊娠や出産、育児で困ったこと（居住地域別）

	調査数	用事があるときに一時的に子供を預けるところがみつからない	妊娠や出産、育児にかかる費用が高い	子供が自国の言語、文化にふれる機会が少ない	妊娠や出産、育児の支援制度及び各種健診のことがわからない	妊娠や出産、育児でわからないことがあっても相談する人、場所がわからない	その他	特になし	無回答
上段:人数 下段:%									
全体	257 100.0%	49 19.1%	37 14.4%	33 12.8%	31 12.1%	24 9.3%	8 3.1%	104 40.5%	43 16.7%
竹町地区	15 100.0%	1 6.7%	- -	2 13.3%	- -	- -	- -	10 66.7%	2 13.3%
東上野地区	28 100.0%	3 10.7%	3 10.7%	3 10.7%	4 14.3%	4 14.3%	- -	13 46.4%	6 21.4%
上野地区	35 100.0%	6 17.1%	10 28.6%	7 20.0%	3 8.6%	4 11.4%	1 2.9%	10 28.6%	5 14.3%
入谷地区	58 100.0%	13 22.4%	7 12.1%	7 12.1%	6 10.3%	4 6.9%	1 1.7%	25 43.1%	10 17.2%
金杉地区	9 100.0%	2 22.2%	1 11.1%	3 33.3%	- -	- -	1 11.1%	4 44.4%	1 11.1%
谷中地区	8 100.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	5 62.5%	1 12.5%
浅草橋地区	29 100.0%	9 31.0%	3 10.3%	3 10.3%	8 27.6%	4 13.8%	1 3.4%	7 24.1%	5 17.2%
浅草寿地区	28 100.0%	4 14.3%	3 10.7%	3 10.7%	7 25.0%	3 10.7%	2 7.1%	10 35.7%	5 17.9%
雷門地区	8 100.0%	1 12.5%	- -	- -	1 12.5%	- -	- -	4 50.0%	2 25.0%
馬道地区	12 100.0%	2 16.7%	4 33.3%	3 25.0%	- -	- -	- -	3 25.0%	2 16.7%
清川地区	23 100.0%	7 30.4%	5 21.7%	1 4.3%	1 4.3%	4 17.4%	- -	10 43.5%	4 17.4%

(9) 幼稚園・保育園、学校で困ったこと

問31 【お子さんがいる方のみご回答ください。】

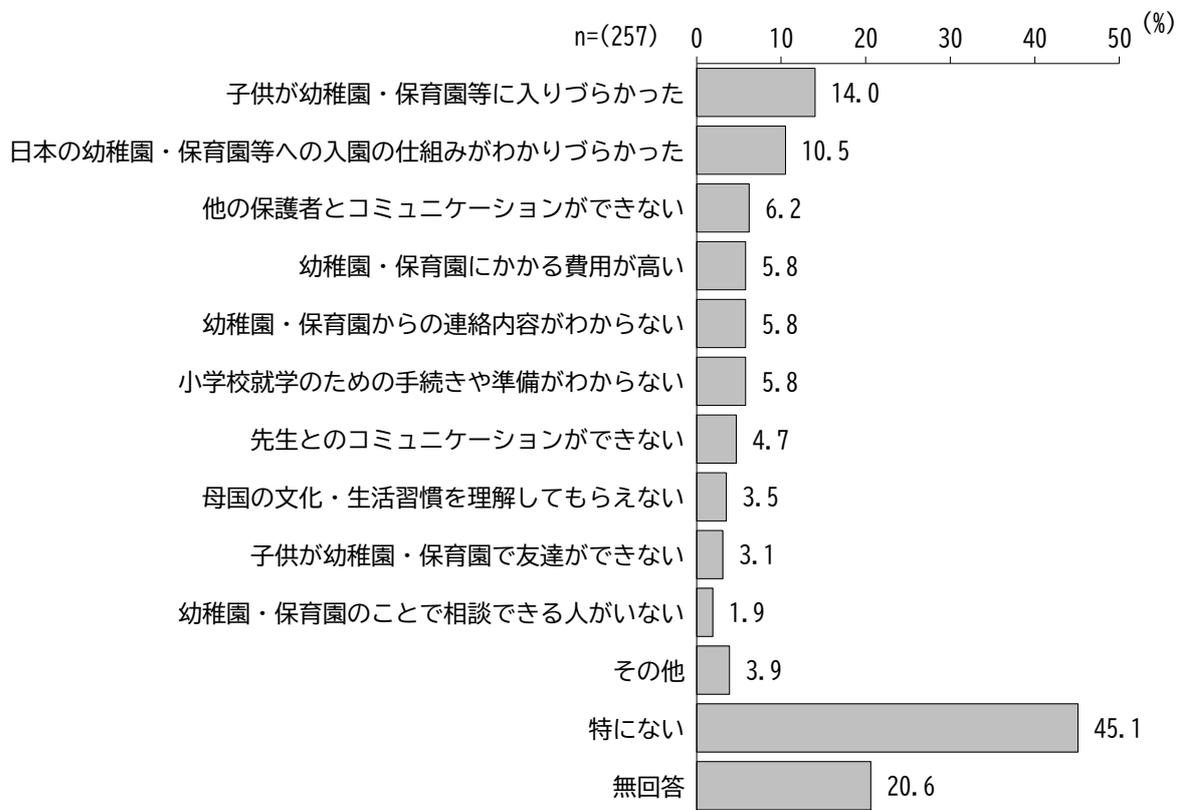
子供または回答者が幼稚園・保育園、学校で困ったことはありますか。

(それぞれ当てはまるもの全てに○)

【① お子さんが幼稚園・保育園等に通っている方、または通われていた方】

「特にない」が45.1%で最も高いが、具体的な選択肢の中では「子供が幼稚園・保育園等に入りづらかった」(14.0%)が最も高く、次いで、「日本の幼稚園・保育園等への入園の仕組みがわかりづらかった」(10.5%)となっている。

図表 幼稚園・保育園で困ったこと（複数回答）

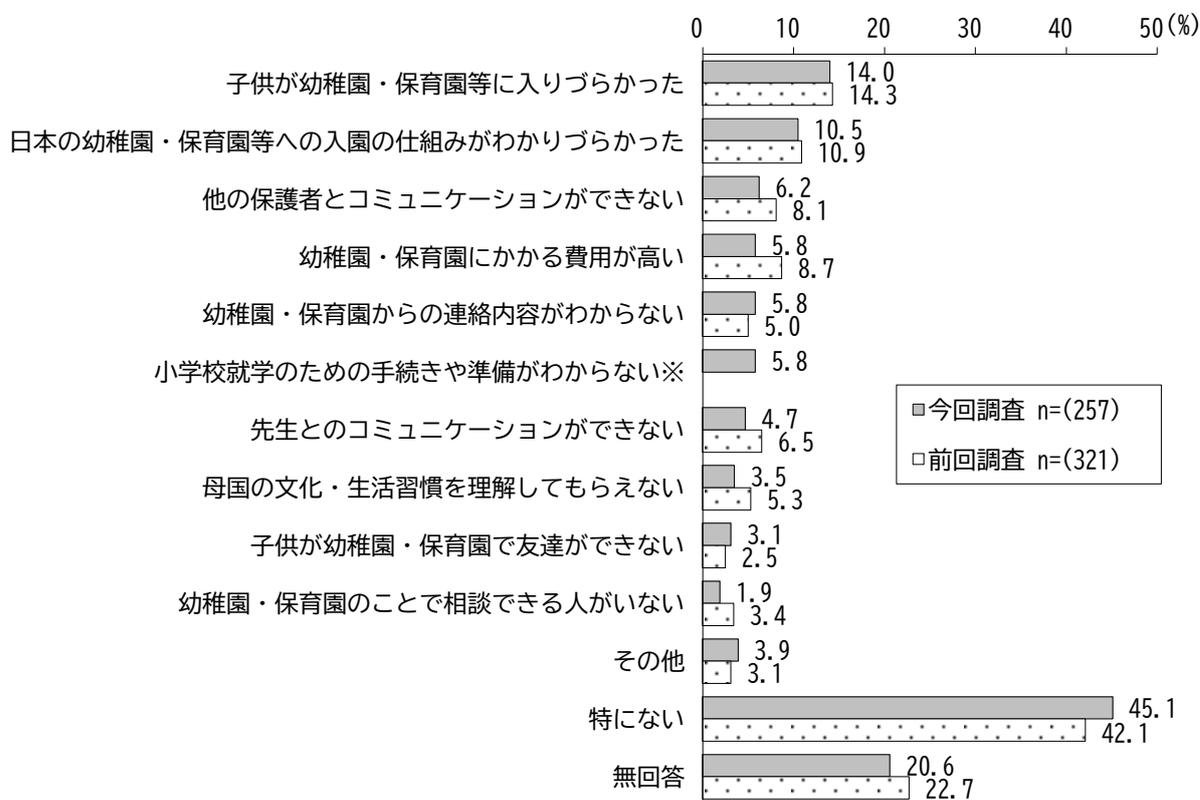


※調査票問8の選択肢のうち、「子供」の回答者を母数として集計している。

【経年比較】

前回との比較では、大きな違いはみられないが、前回調査から減少傾向にある項目が多くなっている。

図表 【経年比較】幼稚園・保育園で困ったこと（複数回答）

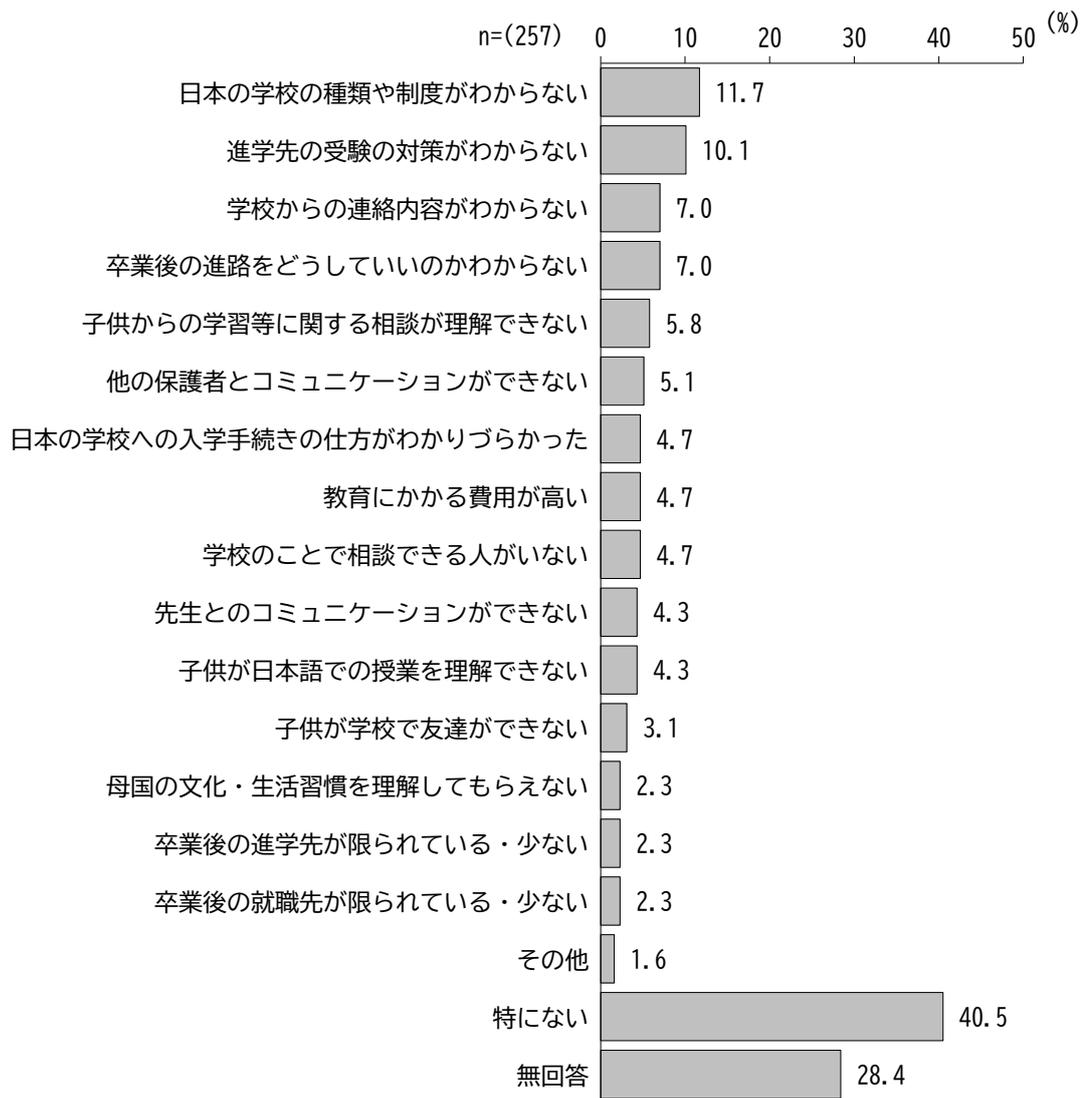


※今回調査より、選択肢「小学校就学のための手続きや準備がわからない」が追加された。

【② お子さんが学校に通っている方、または通われていた方】

「特にない」が40.5%で最も高いが、具体的な選択肢の中では「日本の学校の種類や制度がわからない」(11.7%)が最も高く、次いで、「進学先の受験の対策がわからない」(10.1%)、「学校からの連絡内容がわからない」「卒業後の進路をどうしていいのかわからない」(ともに7.0%)となっている。

図表 学校で困ったこと (複数回答)

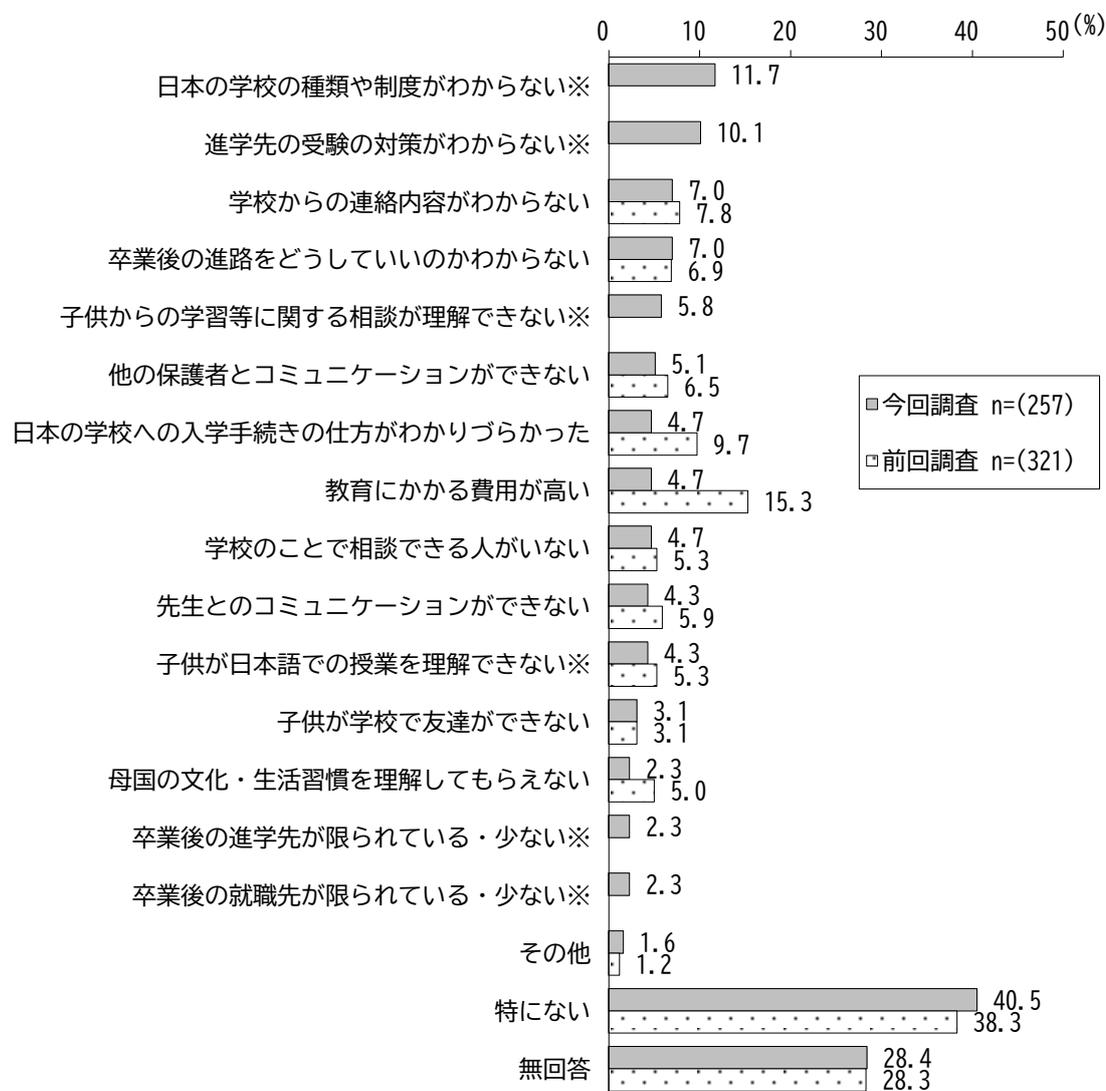


※調査票問8の選択肢のうち、「子供」の回答者を母数として集計している。

【経年比較】

前回との比較では、前回調査から割合が減少している項目が多く、特に「教育にかかる費用が高い」が10.6ポイント、「日本の学校への入学手続きの仕方がわかりづらかった」が5.0ポイント減少している。

図表 【経年比較】学校で困ったこと（複数回答）



※今回調査より、選択肢「日本の学校の種類や制度がわからない」「子供からの学習等に関する相談が理解できない」「卒業後の進学先が限られている・少ない」「卒業後の就職先が限られている・少ない」「進学先の受験の対策がわからない」が追加された。

※今回調査の選択肢「子供が日本語での授業を理解できない」は、前回調査では「日本語での授業を理解できない」であった。

(10) 現在、特に困っていること（自由記述）

問32 現在、特に困っていることがあればお書きください。

特に困っていることに対する自由記述に212名（回答者に占める割合で21.7%）の回答があった。問23「あなたは、日本での生活で、困っていることや心配なこと」の選択肢等に合わせて記述内容を整理し、主な内容について掲載する（意見がないまたはわからないと記述された意見87名を除く）。

①日常生活・言葉について（64件）

<日本語の読み書き、コミュニケーション>

- ・日本語の習得が困難で、日本人とコミュニケーションをとる機会や場所が不足している。（中国・20～29歳）
- ・日本人の友達を作りたいけど日本語能力まだ下手で、ずっと自信が持てない。特に聞くこと、いつも聞きとれない。（中国・20～29歳）
- ・台東区で日本語、中国語、英語を無料で学べるクラスがあれば、ぜひ教えて欲しい。（ベトナム・20～29歳）
- ・参加しやすい日本語を勉強するリソースがもっと欲しい。（台湾・30～39歳）
- ・友人と起業したところなので、自治体との連絡や仕事上のやり取りが満足にできるくらいに日本語がうまくなりたい。（アメリカ・30～39歳）
- ・台東区が提供する無料日本語講座にぜひ参加したいが、開始時間が午前9時ではどうしてもその時間には間に合わない。午後の開講を希望。日常生活で十分な日本語レベルと、仕事に必要な日本語レベルには大きな隔たりがある。英語が使える仕事を探したいが、企業は最低でも日本語能力試験N2レベルを求めている。現在専業主婦のため、高額なN2対策講座を受講する余裕がない。特に収入のない人々のために、このギャップを埋める上級者向け日本語講座を台東区に増設してほしい。（この文章には翻訳ソフトを使用。私の日本語レベルはもっともっと下）（その他・40～49歳）
- ・漢字を上手に書く事。日本語をもっと勉強したい。（フィリピン・50～59歳）

<税金や保険料、各種手続き等>

- ・税金と年金についていろいろなことを知りたい。年金納付免除ができるかどうかちょっと心配。（中国・20～29歳）
- ・学費と生活費がギリギリで、学生でも健康保険が高すぎて払うのに困っている。（ミャンマー・20～29歳）
- ・年金や税金のことを自分の国の言葉で読みたい。（中国・30～39歳）
- ・扶養家族やふるさと納税などの手続きをどうするのか分からない。説明会などがあればよい。（中国・30～39歳）
- ・税金・年金の支払いが困難。（フィリピン・30～39歳）
- ・銀行の口座を開設する際の要件が非常に厳格。（韓国・40～49歳）

- ・年金制度がよく分からない。(インド・60～69歳)

#### <日本人とのかかわりに関すること>

- ・周囲の日本人から、ヒジャブを付けていると好奇の目で見られて不安を感じる。自分を見た日本人が逃げていく気がする。(その他・30～39歳)
- ・普通に仕事して暮しているが、SNSで外国人、特に外国人の政治活動についての発言が多くて困っている。固定観念や偏見などの話が多くなってきて、知らない人に悪意を感じられたことがある。もちろん、マナーがよくない人が日本にいることが事実としても、「国籍」だけで判断されて差別された体験があるので困る。(中国・30～39歳)
- ・文化の違いに疲れてしまうことがある。常に「日本人らしくあれ」というプレッシャーを感じる。(アメリカ・30～39歳)

#### <物価>

- ・食料品や日用品も値上がりし、毎月お金が残らないので、働くのが楽しくなくなってしまった。(ミャンマー・30～39歳)
- ・収入よりも出費が多いので貯蓄が難しい。(ネパール・30～39歳)
- ・困っていることは物価があがること。いつまでもあがるのは不安。(台湾・50～59歳)

#### <その他>

- ・区からの大切なお知らせや生活に必要な情報は届いているかどうか不安。(中国・30～39歳)

### ②住まい・住環境について (12件)

#### <家賃、住宅購入>

- ・家賃が高すぎる。(中国・30～39歳)
- ・外国人が家を買うために、住宅ローンを組むこと。(台湾・30～39歳)
- ・観光客向けの貸し物件として不動産が購入されており、個人が中古・新築に関わらず戸建てを買うのはほとんど不可能。(その他・30～39歳)

#### <清掃、街の緑化>

- ・御徒町駅から湯島に行く間の道が、ごみで汚れていてカラスが多く通勤の時は怖い。お店にルール通りにごみ出しするように指導いただきたい。(中国・30～39歳)
- ・街に緑が少ない、特に道沿いに緑がほとんど見られない。(中国・30～39歳)
- ・ごみ処理。(中国・40～49歳)
- ・大きな家具や電化製品を捨てるために予約しても回収日がかかなり先になる。簡単に気軽に申し込めて早く取りに来て欲しい。また、受付しない電化製品でも他の処理方法を選択肢として案内して欲しい。(タイ・40～49歳)

#### <近隣の迷惑行為、マナー>

- ・外国人に対して、日本語と同時に日本の風習や生活に関わる法律(社会保険法、税法、一般

的な刑法)、社会の仕組み(健康保険制度等)を教えて、日本人はどう言うことを嫌うか等、日本人の性質を教えてほしい。私は長く日本にいるが、新しく来日した外国人が非常識なことをなるべくしてほしくない。我々が培った信用を覆すようなことになる。(韓国・50～59歳)

- ・マナーが悪い中国人が多くていやです。他の国の人のマナーが悪いので困っています。(その他・50～59歳)

#### <利便性>

- ・台東区はまだ現金しか使えない店が多くて、電子マネーやクレジットカードが全く使えないのでとても不便。(中国・30～39歳)
- ・バスの本数が少なくなっている。めぐりんバスと都営バスの運行間隔をバランスよくしてもらいたい。めぐりんバスと都営バスのダイヤが4～5分差ではあまり意味がないと思います。(タイ・40～49歳)

### ③病院・医療について (12件)

#### <医療機関での言語の障壁>

- ・医師の診察を受ける時に言語の壁を感じる。ほとんどの場合、オンラインの外国人向けのページで英語が話せる医師を探すようにしているが、遠方だったり混んでいたりして予約が取れない。(その他・30～39歳)
- ・言葉が通じないため、病院に行くのが難しい。(中国・40～49歳)

#### <緊急時の医療支援や、病院の情報等>

- ・夜に急病になったら、台東区でどの病院に行けばいいかわからなくて心配。夜は病院が閉まっていることが多い。また、救急車を呼ぶとお金を払わないといけないのかも心配。(その他・20～29歳)
- ・病院へ行くときどこへ行けば良いかわからない。また、どのくらい治療費としてお金が必要かわからない。(その他・30～39歳)

#### <その他>

- ・高齢になってきた自分のことが心配。(フィリピン・40～49歳)

### ④就労について (10件)

#### <就労環境>

- ・私は日本の企業で派遣エンジニアとして働いているが、派遣会社が利益を増やすために、給料が低く抑えられていて、自分の仕事が過小評価されていると感じている。(ネパール・20～29歳)

#### <就職・転職活動>

- ・大学卒業後の就職について心配している。学校でも就職に関して支援してくれるが、行政

のレベルでサポートしてくれるとなお良い。(中国・20～29歳)

- ・日本語はある程度できるが、自分に合った仕事が見つからない。外国人はどうやって仕事を探せばよいのか。英語と中国語を必要とされている仕事があるのか、よく分からない。(中国・30～39歳)
- ・転職したいが、なかなか決まらない。(中国・40～49歳)

#### ⑤災害について（1件）

- ・災害時に日本語で流れる行政の放送が理解できないのではないかと心配。そして、その指示に従う方法や、いつ家を出るべきかなどについても不安。(その他・30～39歳)

#### ⑥保育・教育、子供のことについて（17件）

##### <学校や受験・進路先について>

- ・息子が日本で暮らして3年になり、現在中学2年生。学校の授業が全て日本語で行われているため、まだ全てを理解するのは難しいようである。息子が勉強についていけるよう、塾か家庭教師を探そうと考えている。高校進学についても心配。息子に選択肢があることを願っている。何かお勧めがあれば、ぜひ教えて欲しい。(フィリピン・30～39歳)
- ・子供は日本語ができない。すごく不安。(中国・50～59歳)

##### <子育て費用、学費>

- ・子供を育てるお金が足りない。(ベトナム・30～39歳)
- ・子供の学費の問題に困っている。(韓国・50～59歳)

##### <幼稚園・保育園の確保、預け先>

- ・幼稚園の申し込み時期や、自宅近くの幼稚園に入園するための条件について、具体的に知りたい。(中国・30～39歳)
- ・たまに仕事の都合で子どもの保育園への送迎ができない。また、子どもの体調が急に悪くなり、仕事に行かなければならない時に子どもを預ける先が分からない。(中国・40～49歳)
- ・日本の職場環境（米国や韓国も同様）では、親は長時間労働と通勤に追われ、子育てに十分な時間を割くことが困難。子供を良き人間・市民に育てるための時間を確保できず、愛情を注ぎながら適切に世話をするスケジュールを組むのは至難の業。これは台東区に限らず、世界中の都市に共通する課題。台東区は、保育園・保育所・幼稚園に勤労家庭を支援する技術やツールを提供することで、勤労家庭を支える模範となれると思う。一方で、なぜ最寄りの保育園や幼稚園に子供を通わせられないのか、理解できない。現在通っている保育園まで25分かかるが、自宅から徒歩3分のところに「ことぶきこども園」がある。こちらを利用すれば大幅な時間短縮が可能。現行のポイント制には賛同できない。保育所・幼稚園への距離（近接性）こそが、入園枠を割り当てる際の主要な要素であるべきだと考える。(アメリカ・50～59歳)

<妊娠・出産について>

- ・どここの病院で出産すればいいか困っている。(ベトナム・20～29歳)
- ・妊活していて、なかなかできなくて心配。子供ができたら自分が働けなくなり、生活費が足りるかどうか。(中国・40～49歳)

⑦その他（9件）

※掲載した意見は、母国語で書かれた場合は翻訳を介している。また、文意が通じやすくするためや特定の国籍や集団等に対する意見については偏見や差別、誤解を招かないようにするため一部を他の言葉に置き換えているが、基本的に記載された意見をそのまま掲載したもので、区の見解を示したものではない。

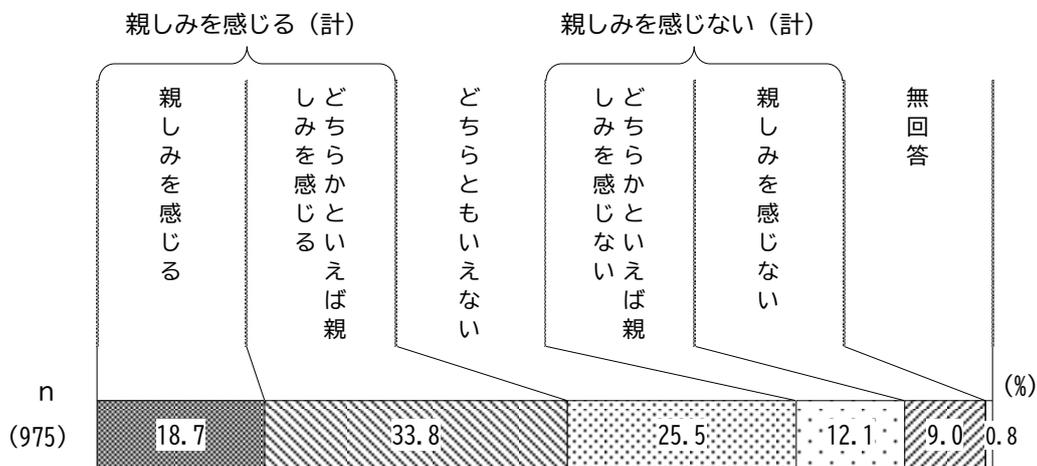
## 5. 地域の日本人とのかかわりについて

### (1) 地域の日本人に対する親しみ度合い

問33 あなたは、地域に暮らす日本人にどれくらい親しみを感じますか。(ひとつだけ○)

「どちらかといえば親しみを感じる」(33.8%)が最も高く、次いで、「どちらともいえない」(25.5%)となっている。「親しみを感じる」と「どちらかといえば親しみを感じる」の合計「親しみを感じる(計)」の割合は52.5%、「どちらかといえば親しみを感じない」「親しみを感じない」の合計「親しみを感じない(計)」の割合は21.1%である。

図表 地域の日本人に対する親しみ度合い(単一回答)

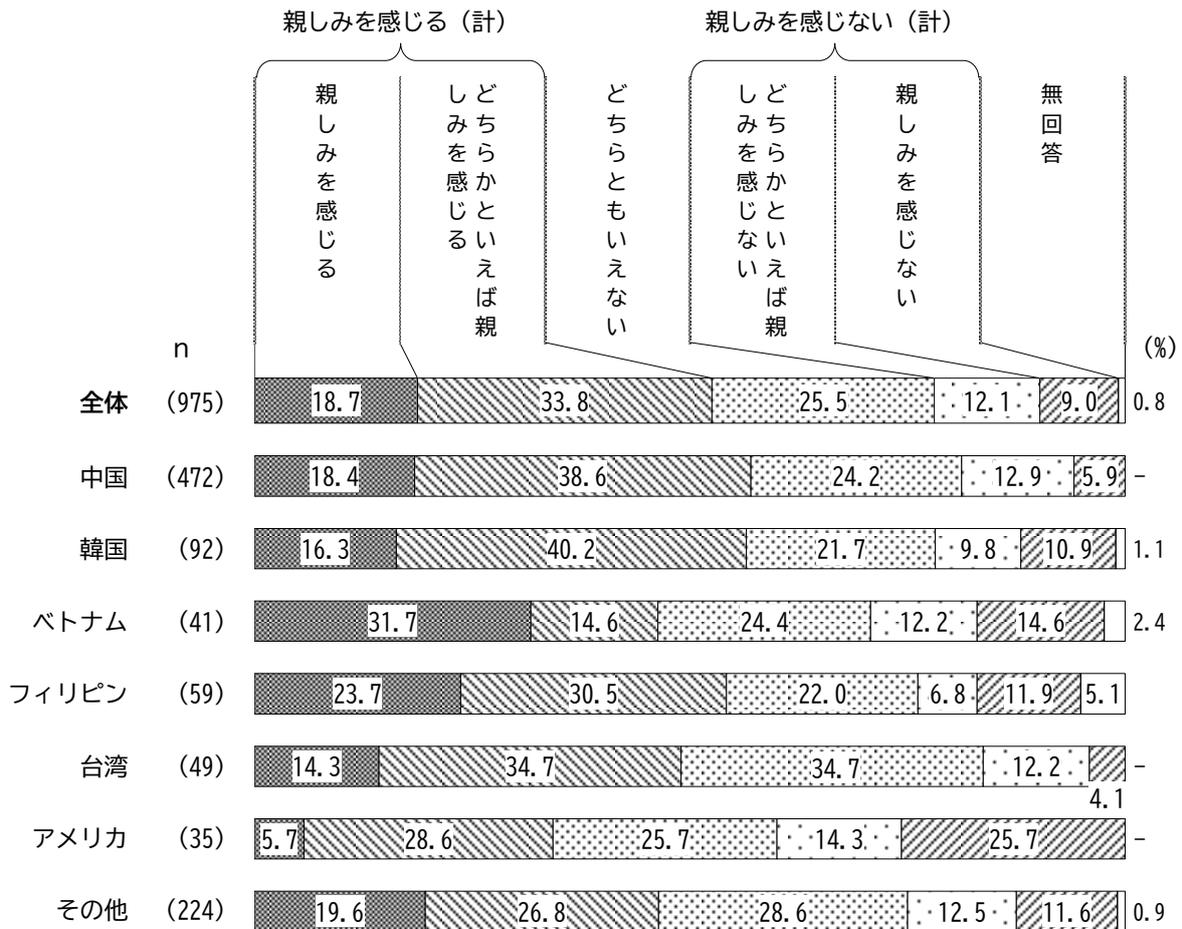


【国籍別】

「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」の合計の割合をみると、「中国」「韓国」「フィリピン」で半数以上となっている。

一方で、「アメリカ」は「どちらかといえば親しみを感じない」「親しみを感じない」の合計の割合が40.0%で、「親しみを感じる（計）」を上回っている。

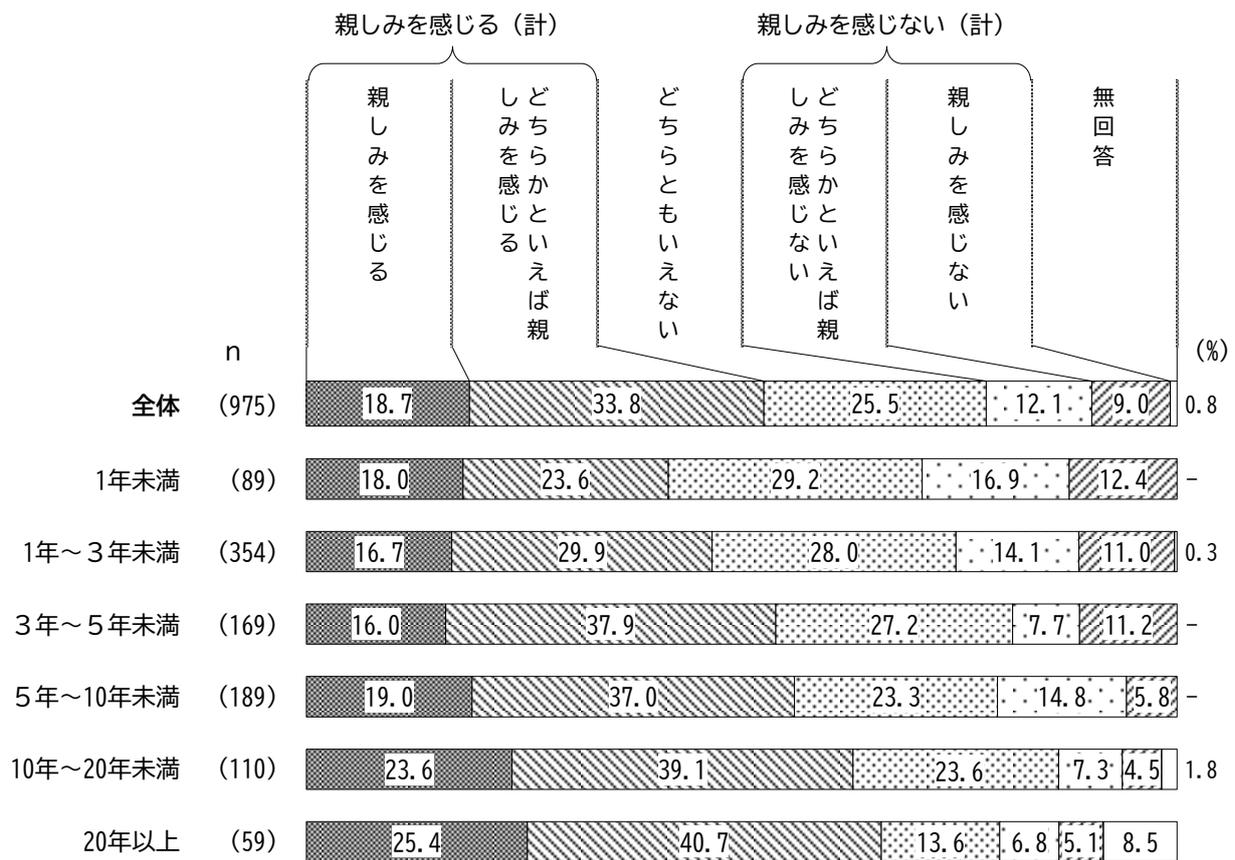
図表 地域の日本人に対する親しみ度合い（国籍別）



【台東区居住年数別】

「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」の合計の割合は台東区居住年数が長いほど割合が高く、3年以上の居住者においていずれも半数以上となっており、特に20年以上で66.1%となっている。

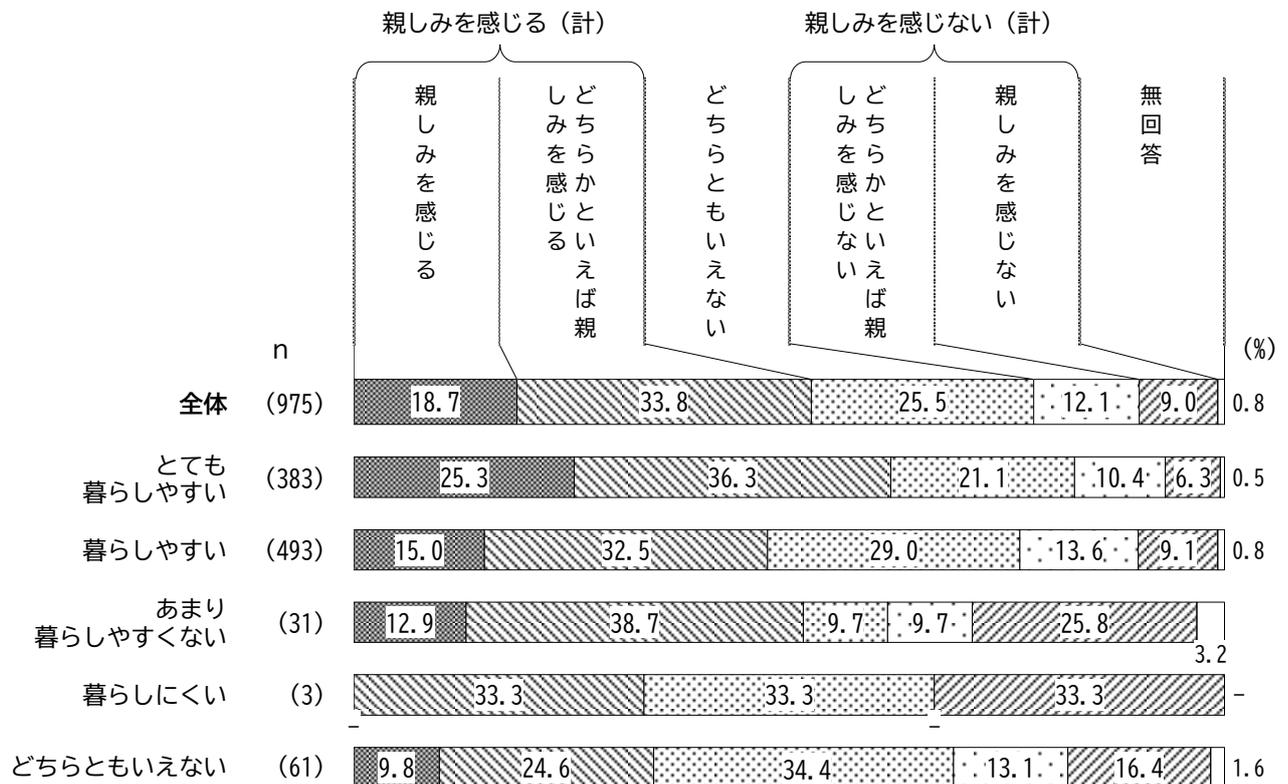
図表 地域の日本人に対する親しみ度合い（台東区居住年数別）



【台東区の暮らしやすさ別】

「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」の合計の割合をみると、台東区が「とても暮らしやすい」で60%を超え、「あまり暮らしやすくない」で50%を超えている。

図表 地域の日本人に対する親しみ度合い（台東区の暮らしやすさ別）

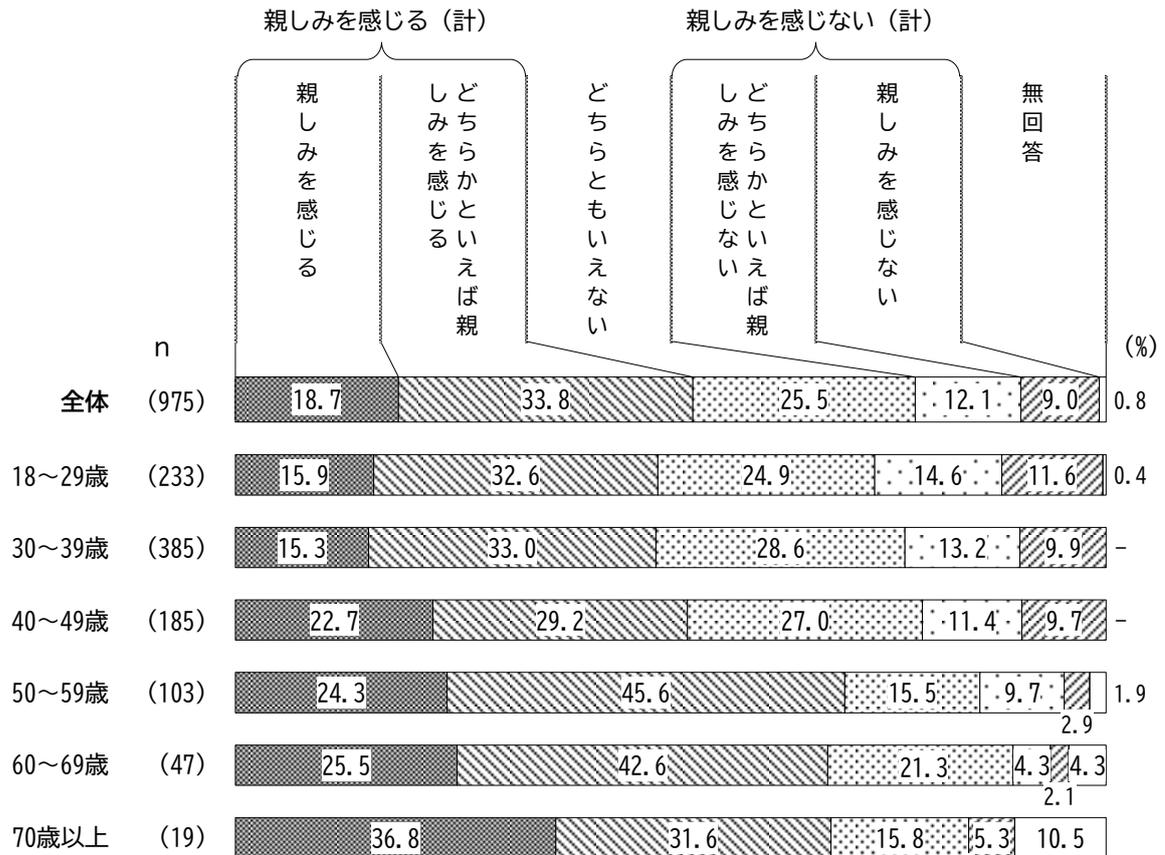


【年齢別】

「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」の合計の割合をみると、40歳以上の年代においていずれも半数以上となっており、特に50～59歳で約70%となっている。

一方、年代が若いほど「どちらかといえば親しみを感じない」「親しみを感じない」の合計の割合が高い。

図表 地域の日本人に対する親しみ度合い（年齢別）

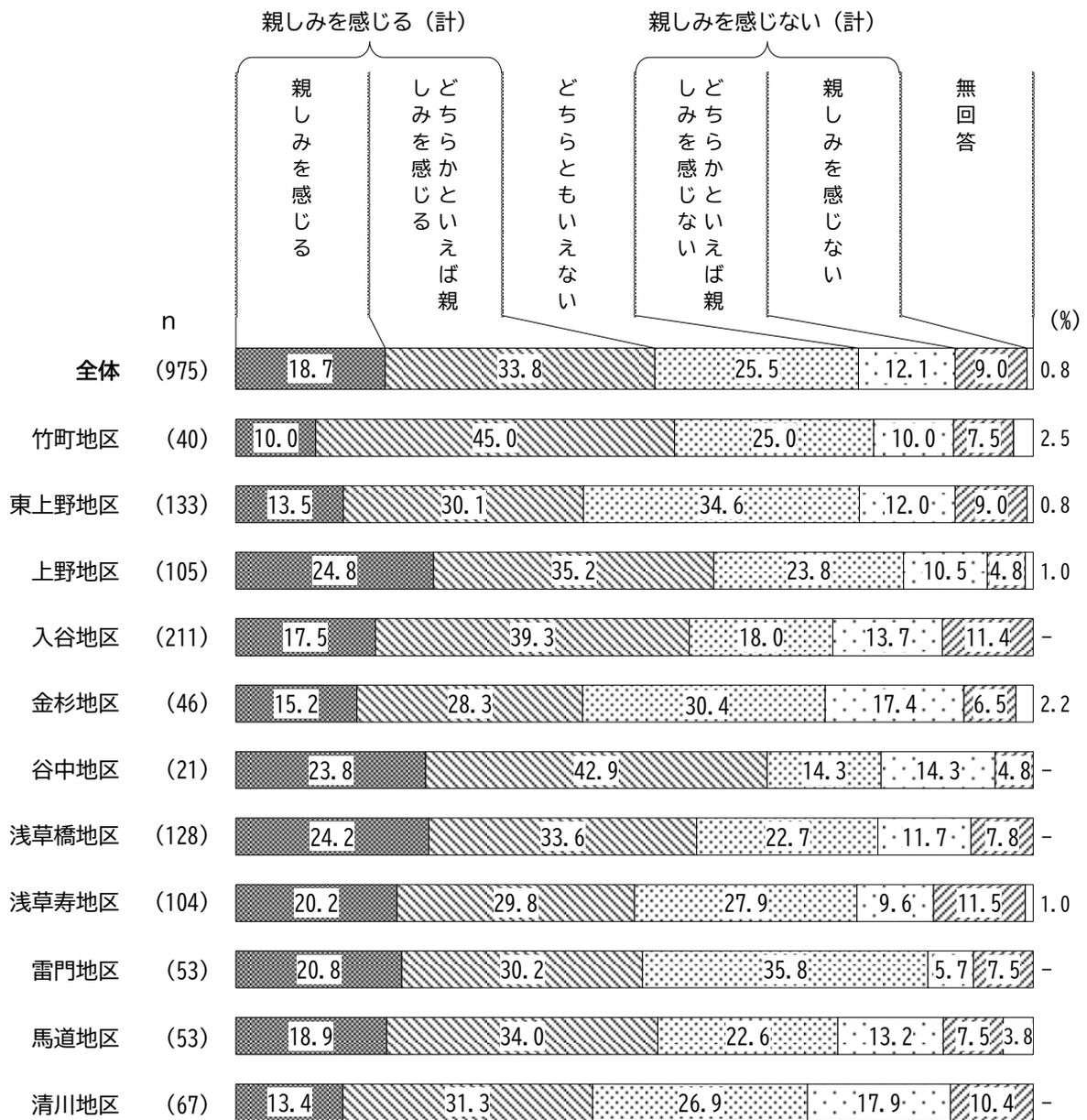


【居住地域別】

「親しみを感ずる」「どちらかといえば親しみを感ずる」の合計の割合をみると、「上野地区」で60.0%となっている。

一方で、「東上野地区」「金杉地区」「清川地区」は40%台でやや低い傾向がみられる。

図表 地域の日本人に対する親しみ度合い（居住地域別）

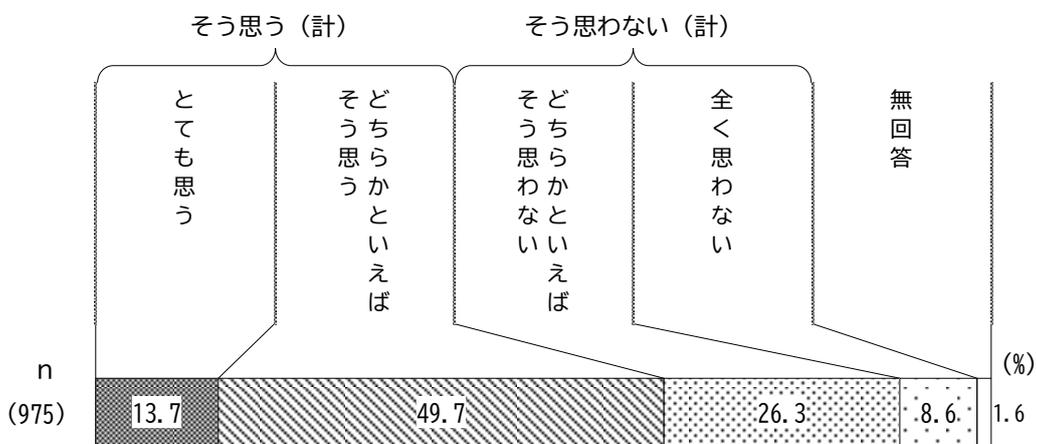


(2) 地域の中での外国人と日本人のかかわり

問34 台東区では地域の中で外国人と日本人が互いにコミュニケーションがとれていると思いますか。(ひとつだけ○)

「とても思う」(13.7%)と「どちらかといえばそう思う」(49.7%)を合わせると60%超が「地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれている」と回答している。一方で、「どちらかといえばそう思わない」(26.3%)と「全く思わない」(8.6%)を合わせると30%台半ばとなっている。

図表 地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか(単一回答)

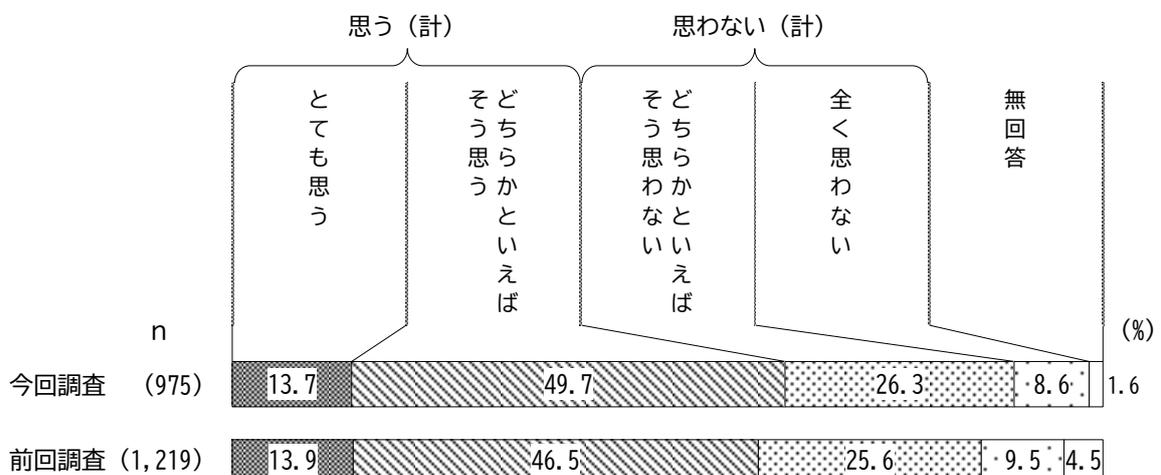


【経年比較】

前回との比較では、大きな違いはみられない。

図表 【経年比較】 地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか

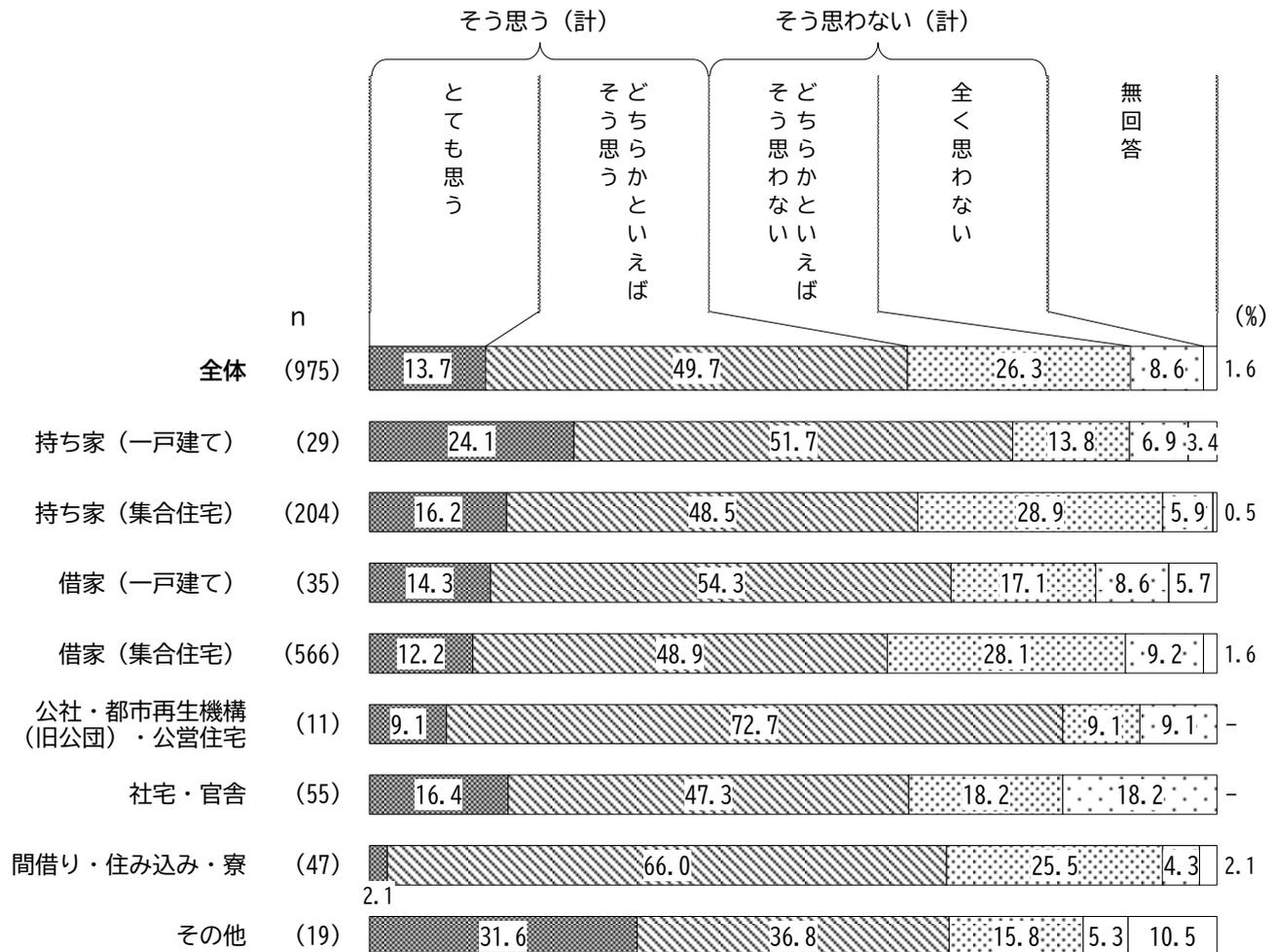
(単一回答)



【居住形態別】

回答数の少ない「公社・都市再生機構（旧公団）・公営住宅」「その他」を除いて、「持ち家（一戸建て）」で「とても思う」が最も高く、「とても思う」「どちらかと言えば思う」を合計した割合も「持ち家（一戸建て）」が最も高くなっている。それ以外の居住形態では、全体平均と比較して大きな差異はみられない。

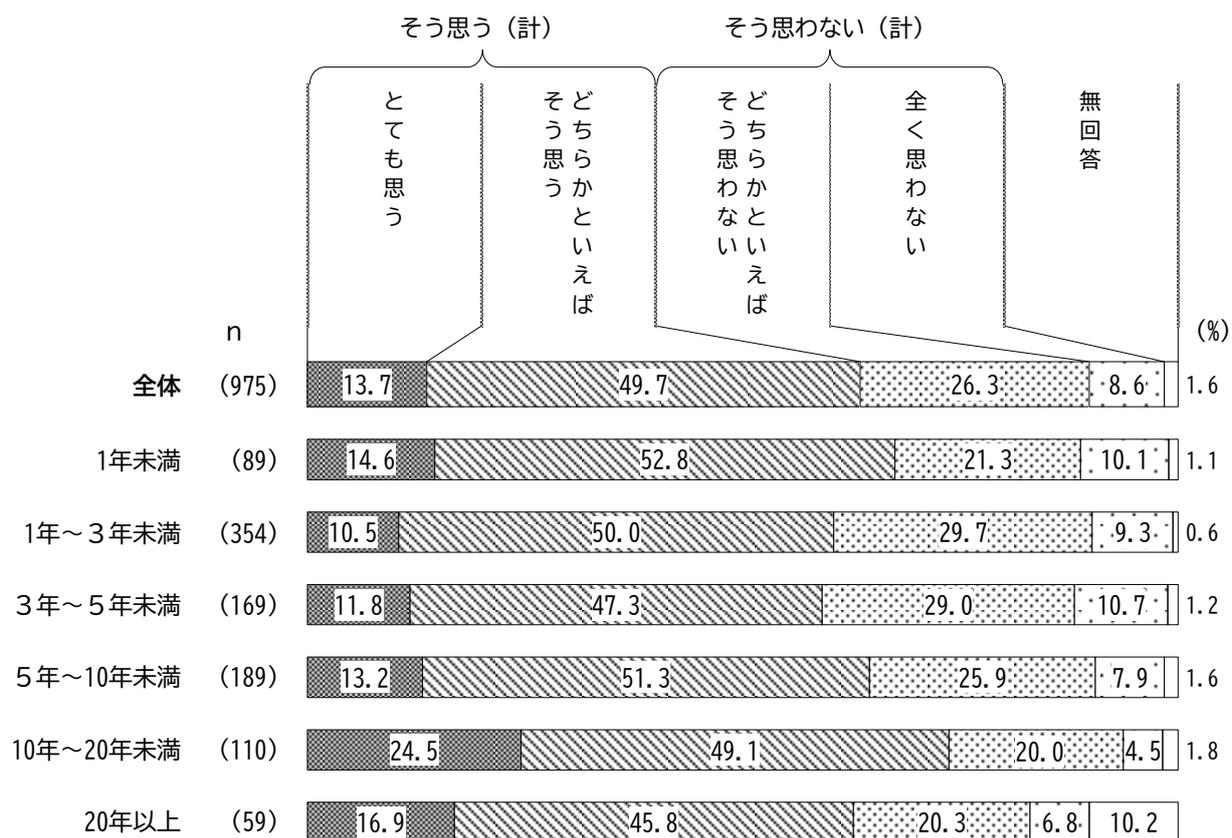
図表 地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか（居住形態別）



【台東区居住年数別】

「10年～20年未満」で「とても思う」が最も高く、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合計した割合も「10年～20年未満」が最も高くなっている。それ以外の居住年数では、全体平均と比較して大きな差異はみられない。

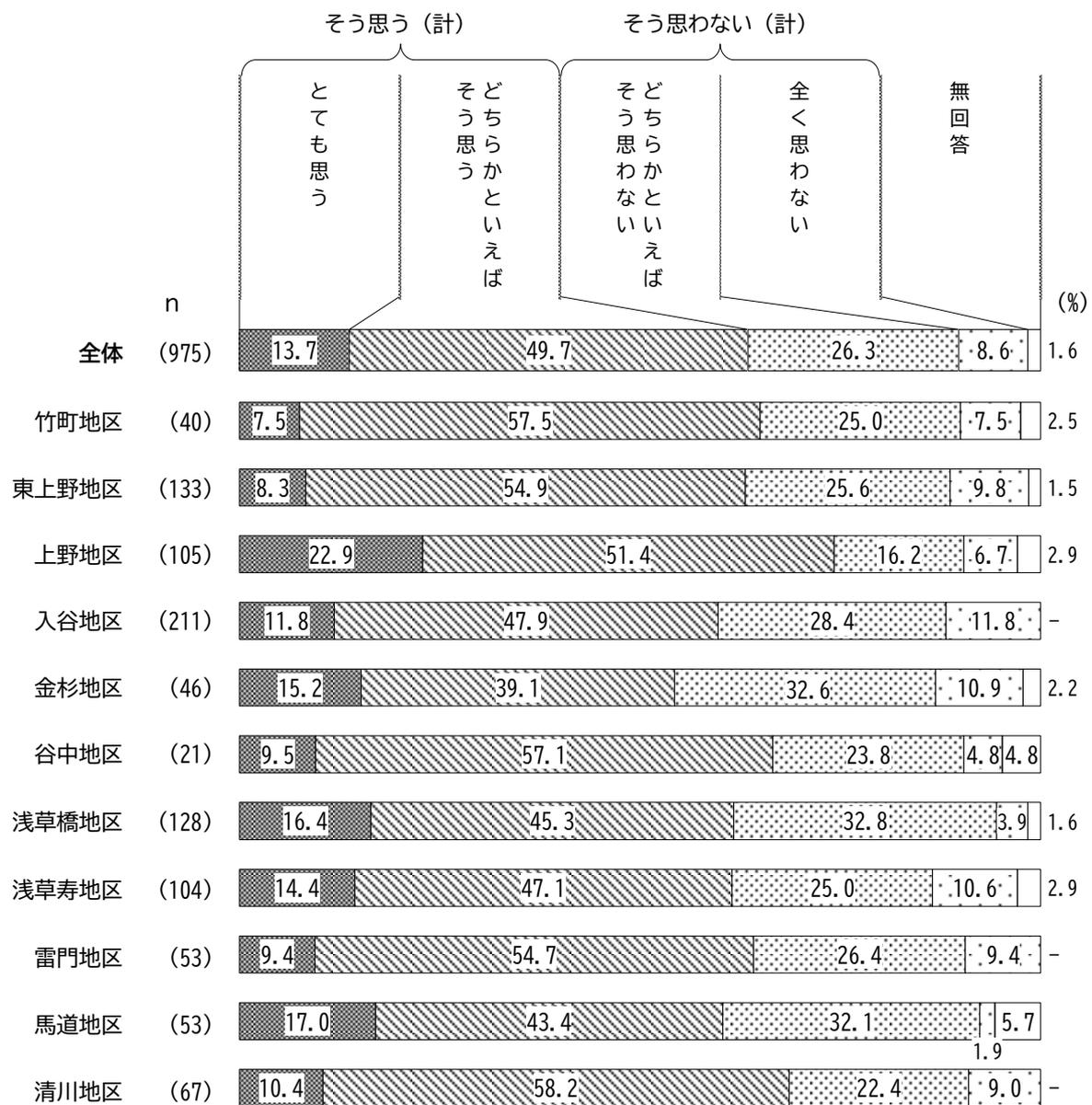
図表 地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか（台東区居住年数別）



【居住地域別】

「上野地区」で「とても思う」が最も高く、「とても思う」「どちらかと言えば思う」を合計した割合も「上野地区」が最も高くなっている。「入谷地区」「金杉地区」では50%台と、他の地域と比較してやや低くなっている。

図表 地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか（居住地域別）

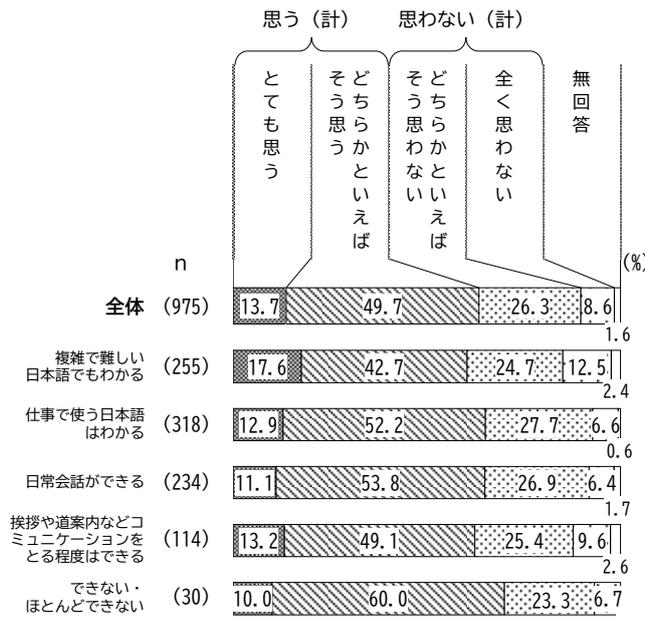


【日本語習得度別】

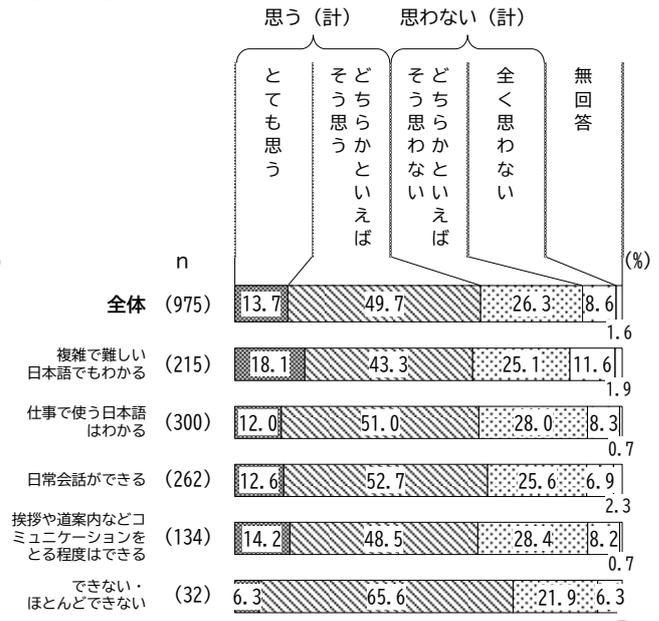
「聞く」「話す」「読む」「書く」のいずれについても、「複雑で難しい日本語でもわかる」で「とても思う」の割合がやや高くなっている。「とても思う」「どちらかといえば思う」を合計した割合は、「聞く」「話す」「読む」を「できない・ほとんどできない」と回答した人で最も高くなっている。

図表 地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか（日本語習得度別）

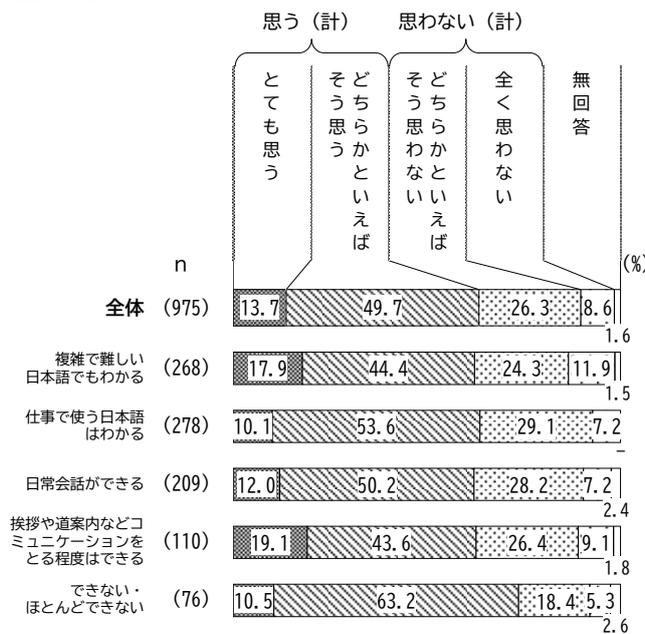
【聞く】



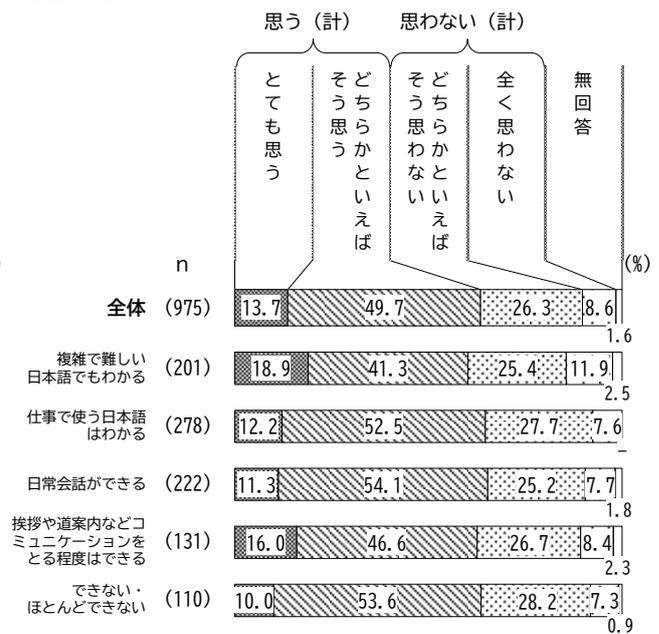
【話す】



【読む】



【書く】

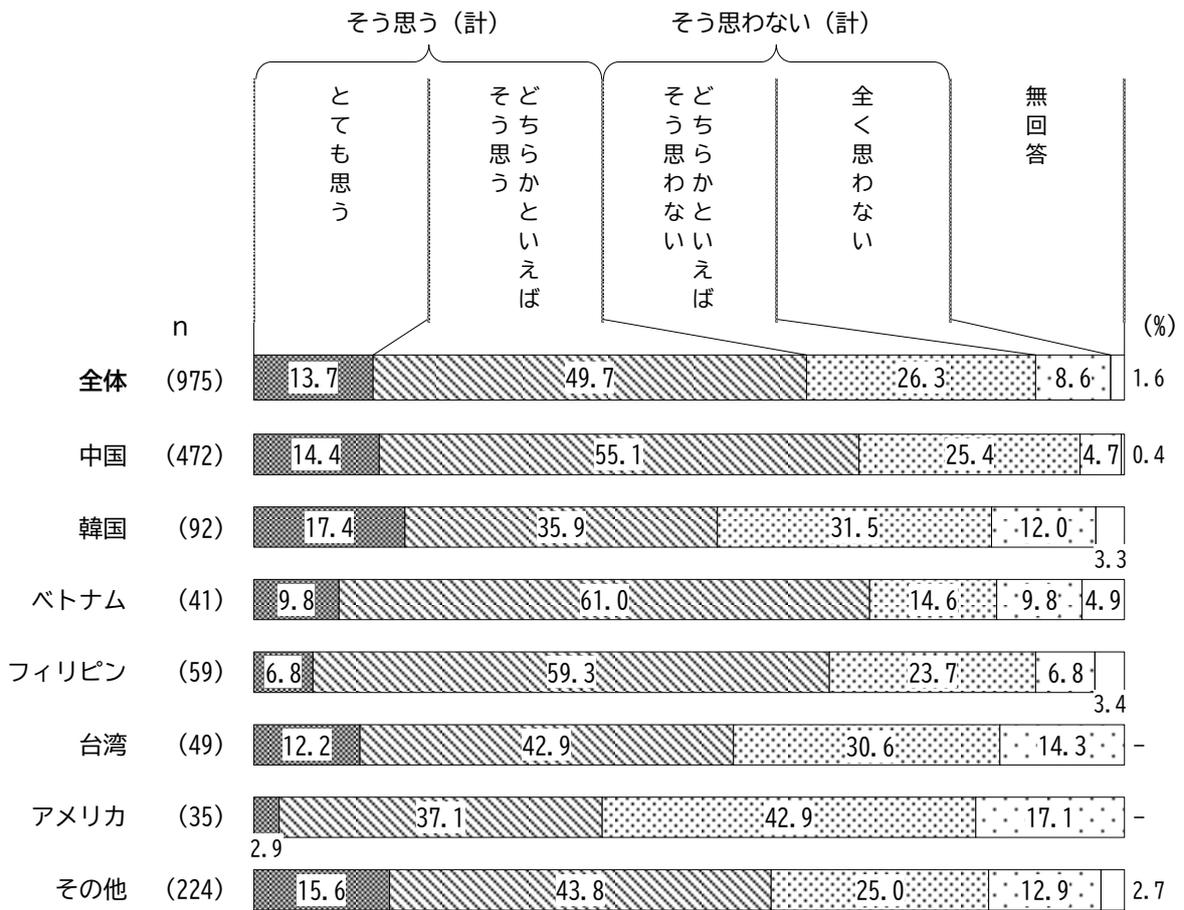


【国籍別】

「とても思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計の割合をみると、「ベトナム」で約70%となっている。

一方で、「アメリカ」は40.0%、「韓国」「台湾」で50%台とやや低い傾向がみられる。

図表 地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか（国籍別）

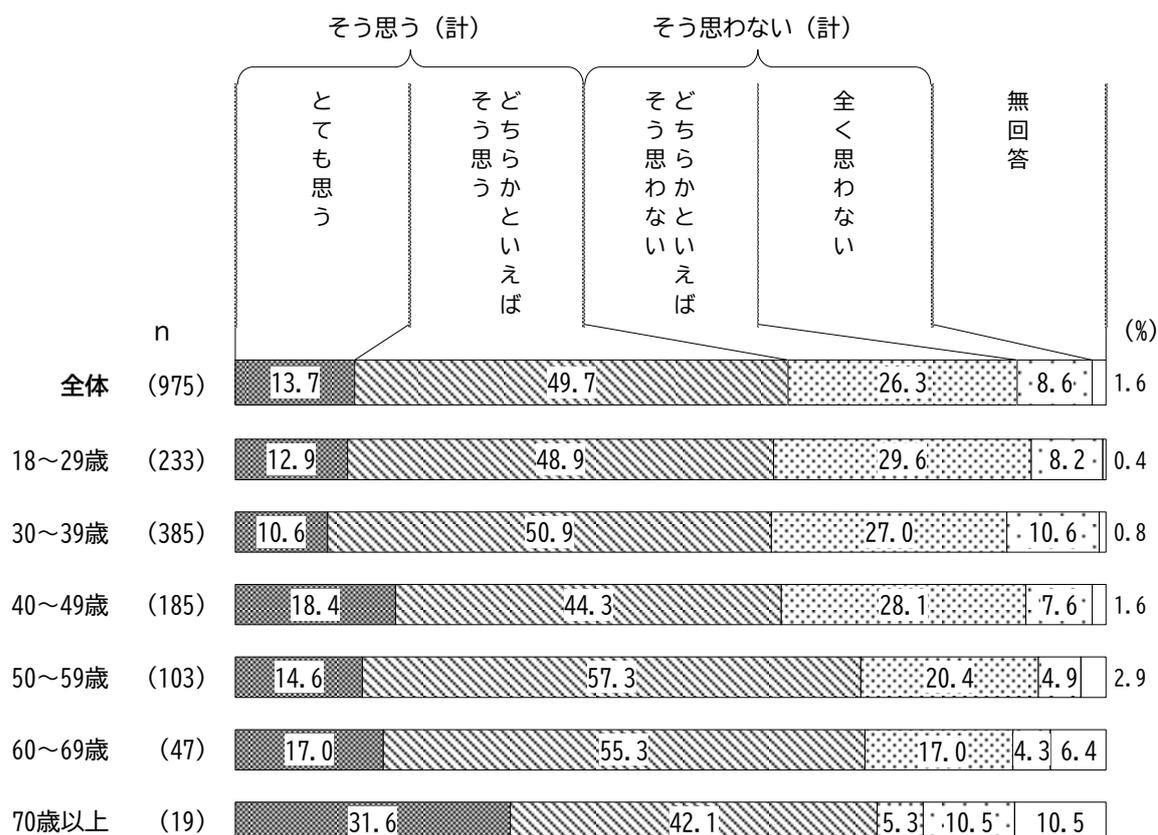


【年齢別】

「とても思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計の割合をみると、50歳以上の年代においていずれも70%台となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の合計の割合は、年代が若いほど割合が高い。

図表 地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか（年齢別）

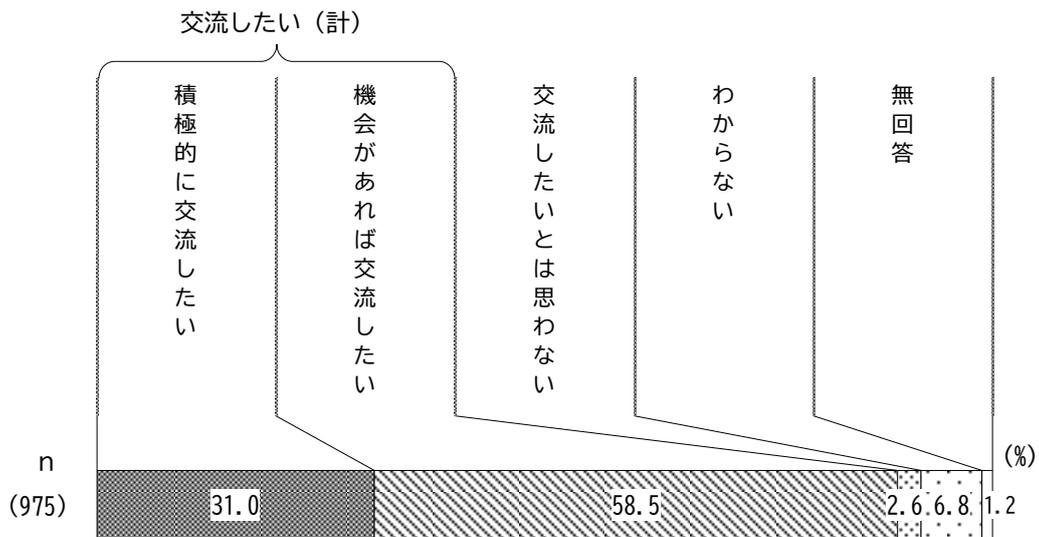


(3) 日本人との交流意向

問35 あなたはこれから、日本人ともっと交流したいですか。(ひとつだけ○)

「機会があれば交流したい」(58.5%)が最も高く、次いで、「積極的に交流したい」(31.0%)となっている。「積極的に交流したい」と「機会があれば交流したい」を合わせた「交流したい(計)」の割合は89.5%である。

図表 日本人との交流意向 (単一回答)

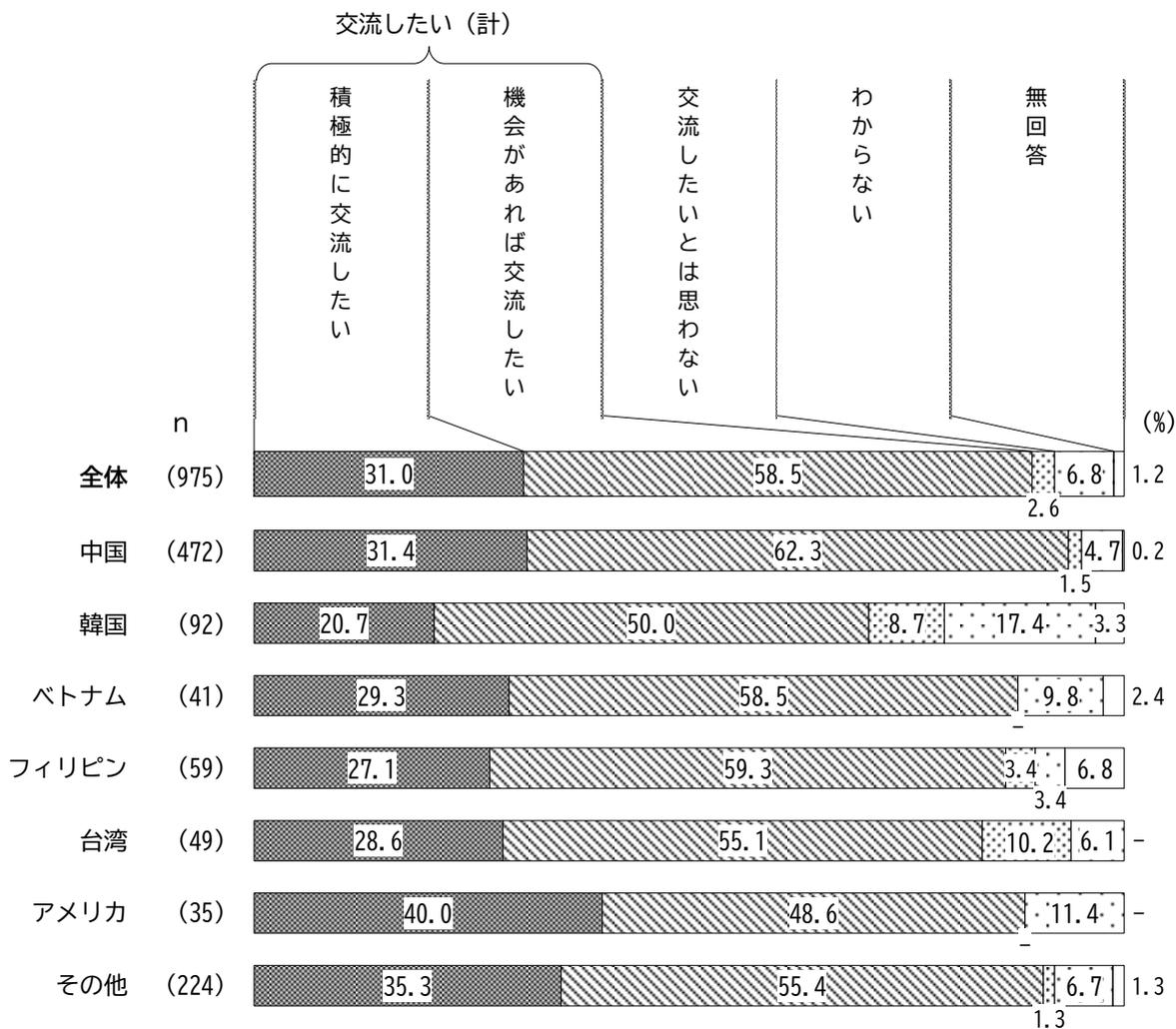


【国籍別】

「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合をみると、「中国」「その他」で90%台となっている。

一方で、「韓国」で約70%とやや低い傾向がみられる。

図表 日本人との交流意向（国籍別）

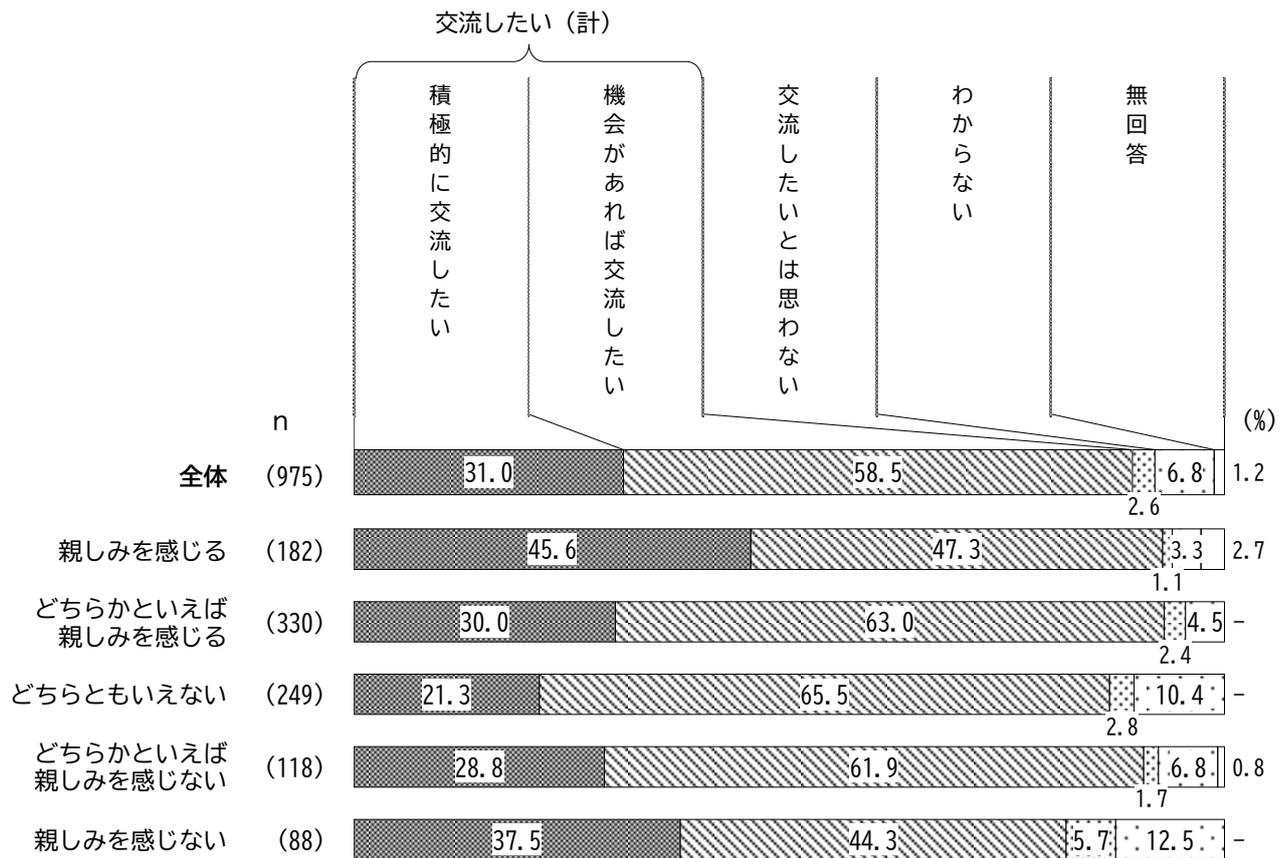


【日本人への親しみ度合い別】

「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合をみると、日本人に「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じない」で90%台となっている。

一方で、「親しみを感じない」で81.8%とやや低い傾向がみられる。

図表 日本人との交流意向（日本人への親しみ度合い別）

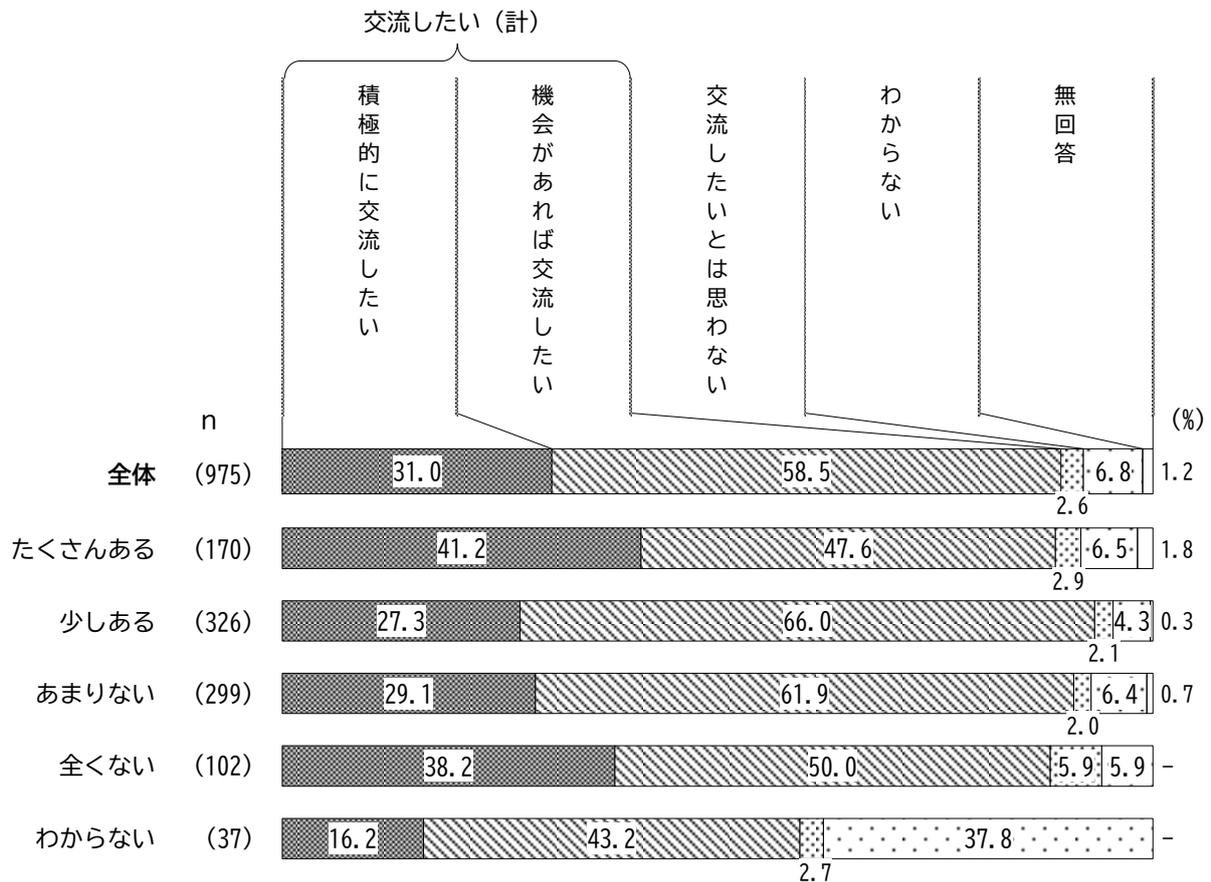


【日本人との交流機会の頻度別】

「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合をみると、日本人と交流が「少しある」「あまりない」で90%台となっている。

一方で、「わからない」で約60%と低い傾向がみられる。

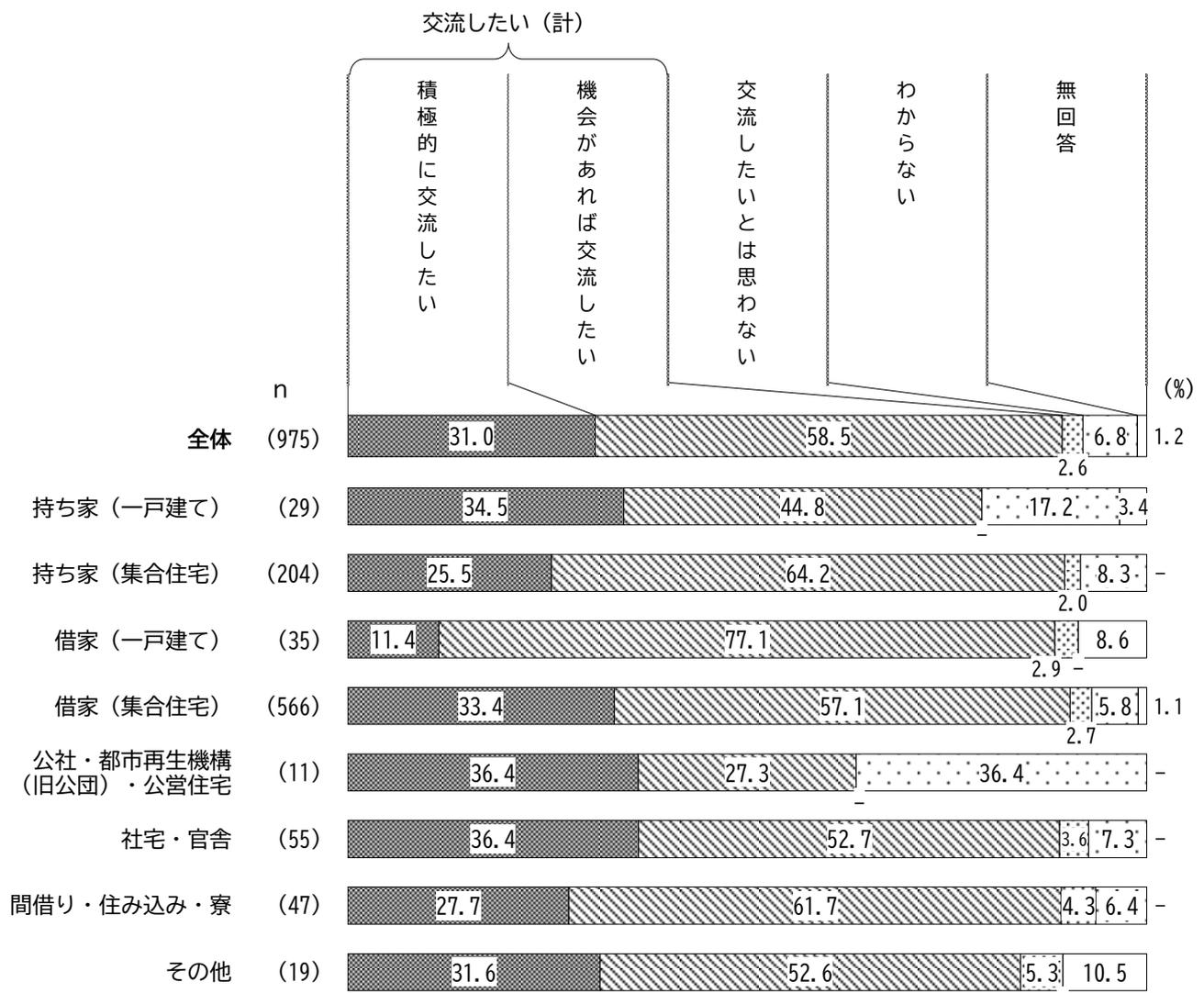
図表 日本人との交流意向（日本人との交流機会の頻度別）



【居住形態別】

「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合をみると、回答数の少ない「公社・都市再生機構（旧公団）・公営住宅」「その他」を除いて、「持ち家（一戸建て）」でやや低くなっている。それ以外の居住形態では、全体平均と比較して大きな差異はみられない。

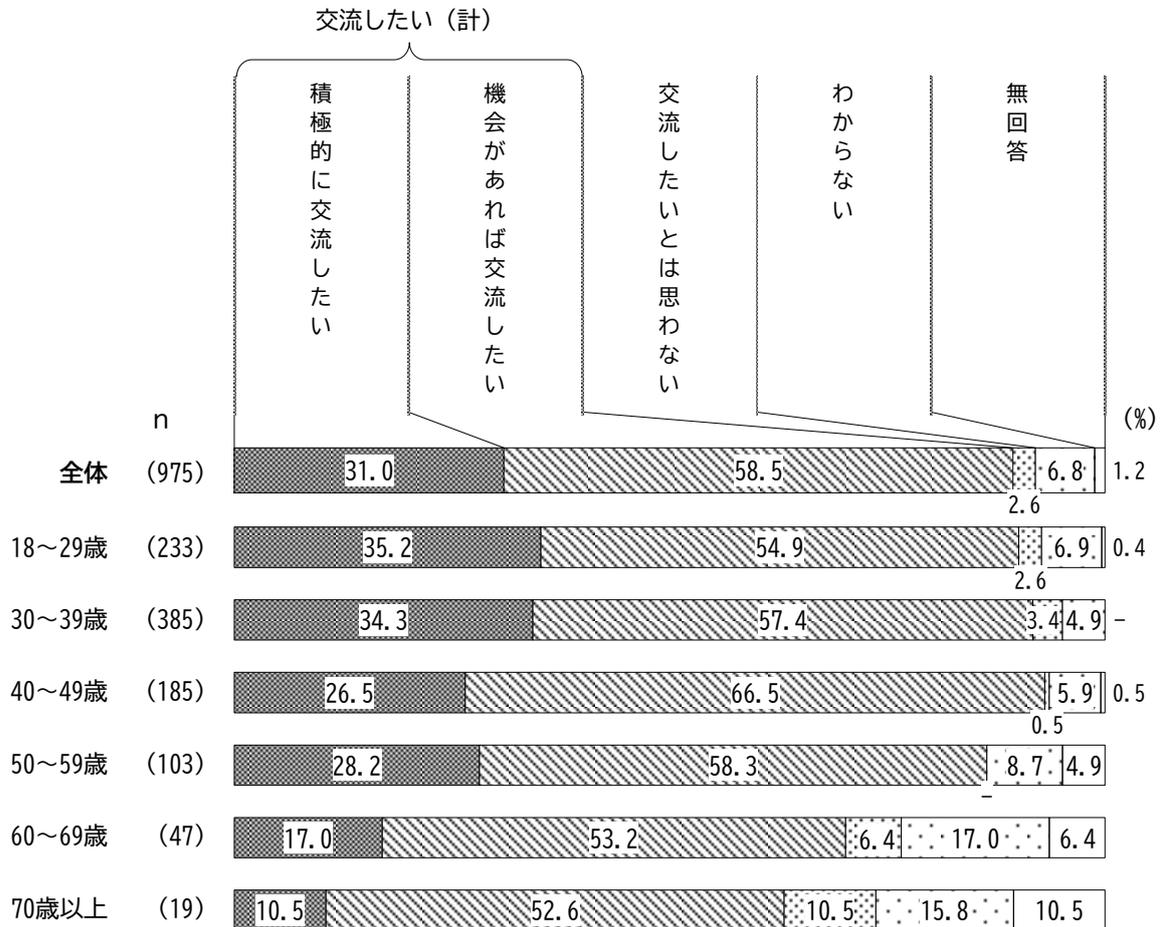
図表 日本人との交流意向（居住形態別）



【年齢別】

「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合をみると、49歳以下で90%台となっている。一方で、「60～69歳」は約70%で低い傾向がみられる。

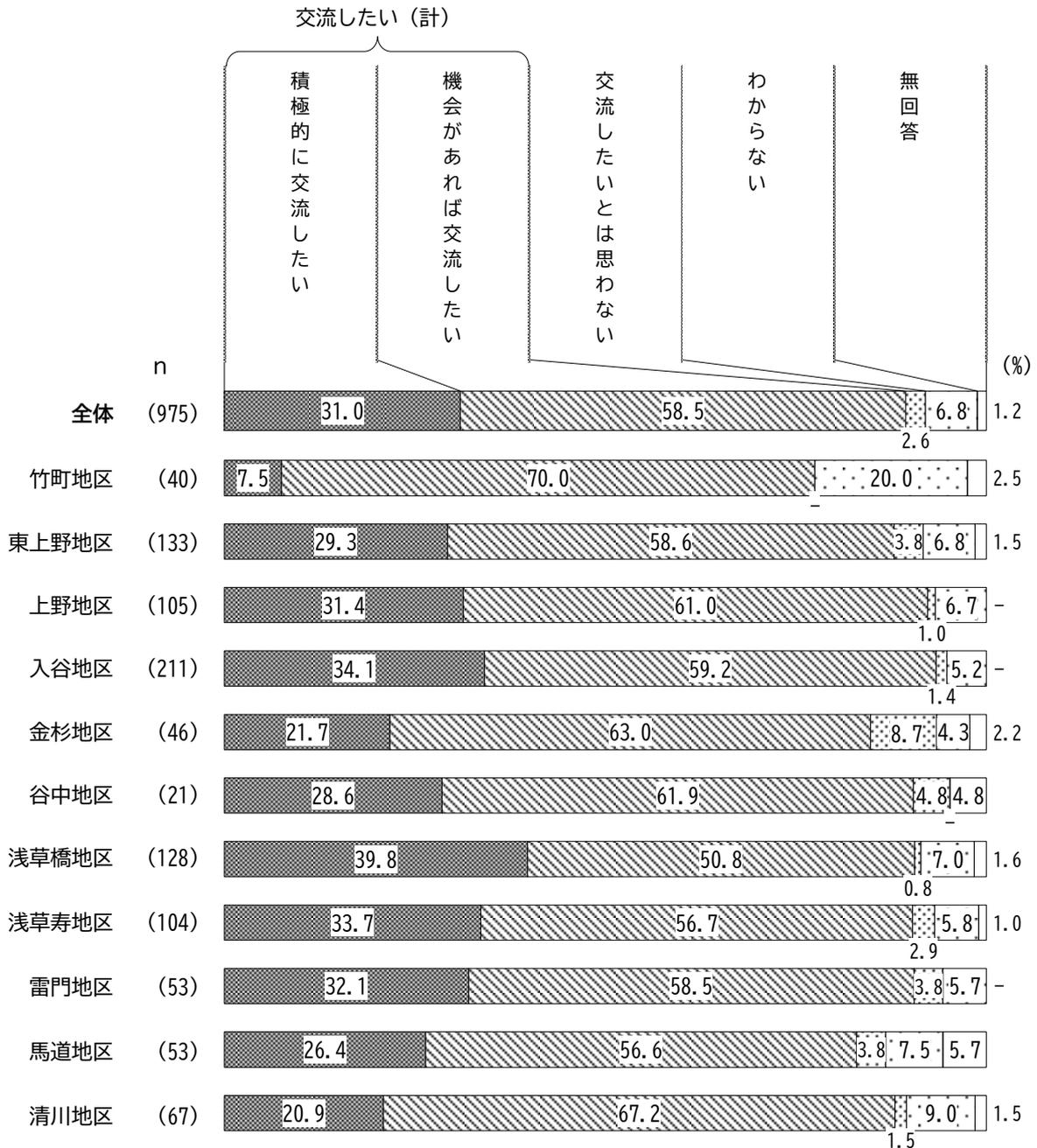
図表 日本人との交流意向（年齢別）



【居住地域別】

「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合をみると、「竹町地区」で70%台半ばと低い傾向がみられる。それ以外の居住地域では、全体平均と比較して大きな差異はみられない。

図表 日本人との交流意向（居住地域別）

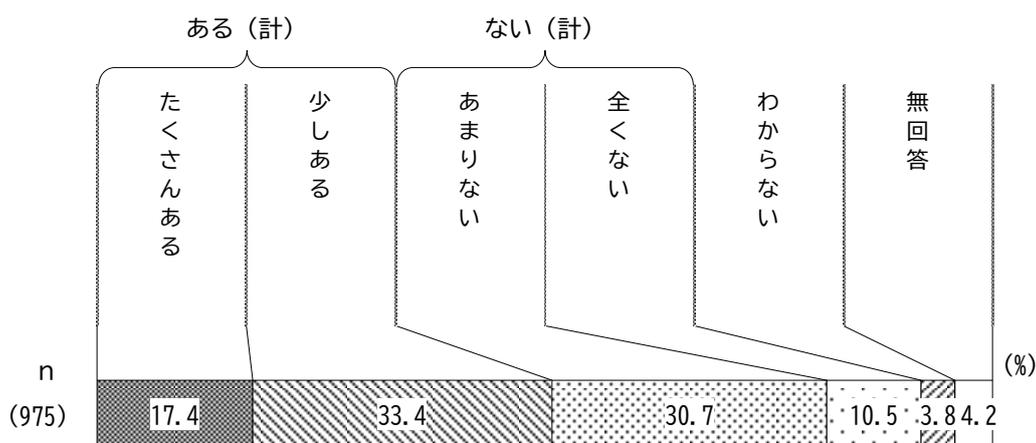


(4) 地域に暮らす日本人と交流する機会

問36 地域に暮らす日本人と交流する機会がありますか。(ひとつだけ○)

「少しある」(33.4%)が最も高く、次いで、「あまりない」(30.7%)となっている。「たくさんある」(17.4%)と「少しある」を合わせた「ある(計)」の割合が50.8%である。一方で、「全くない」(10.5%)と「あまりない」を合わせた「ない(計)」の割合は41.2%である。

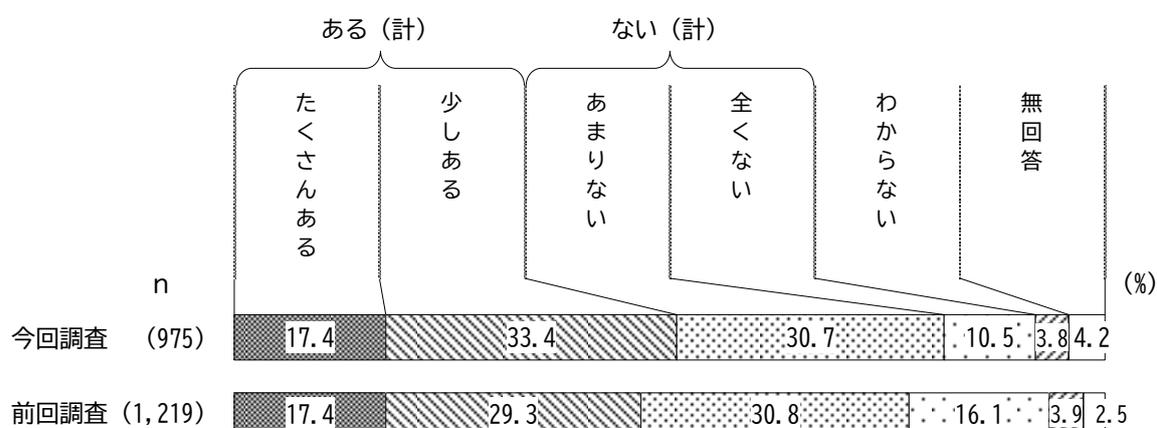
図表 地域に暮らす日本人と交流する機会 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「ない(計)」が5.7ポイント減少している。一方、「ある(計)」はやや増加している。

図表 【経年比較】 地域に暮らす日本人と交流する機会 (単一回答)

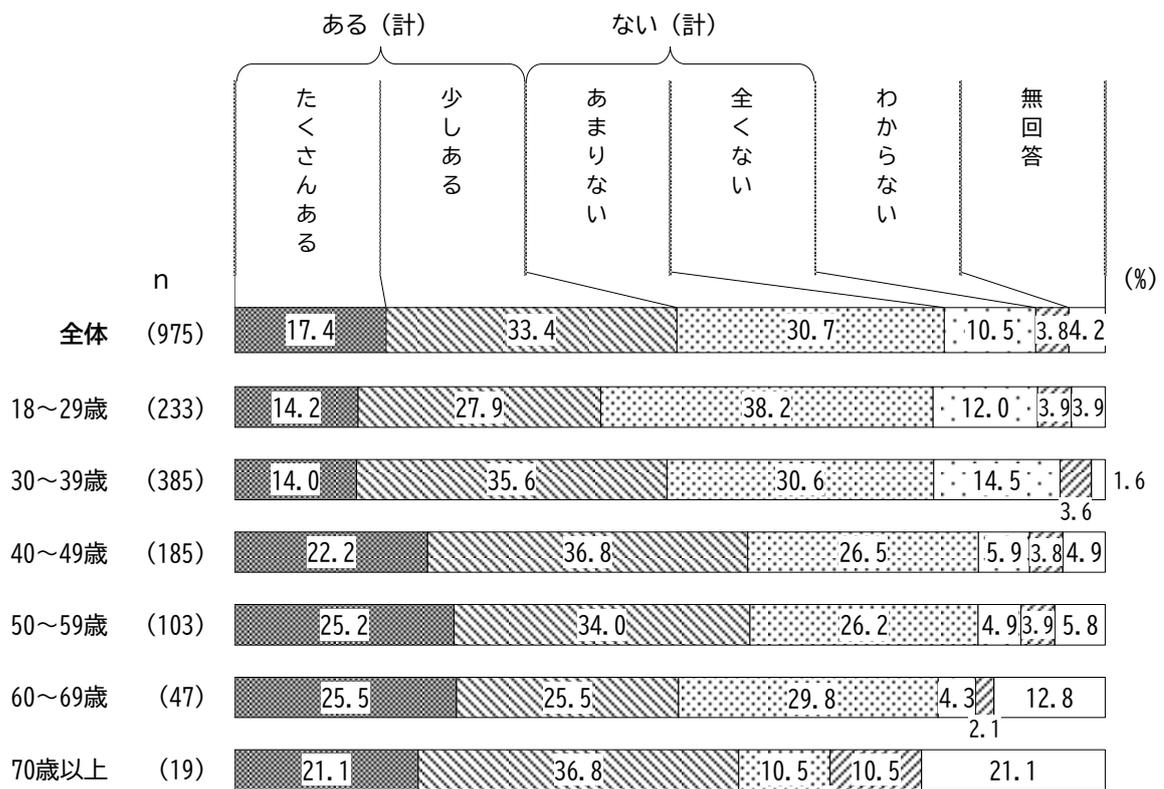


【年齢別】

「40～49歳」「50～59歳」で「たくさんある」「少しある」の合計が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

「18～29歳」では「全くない」「あまりない」の合計が50.2%と、「ある（計）」を上回っている。

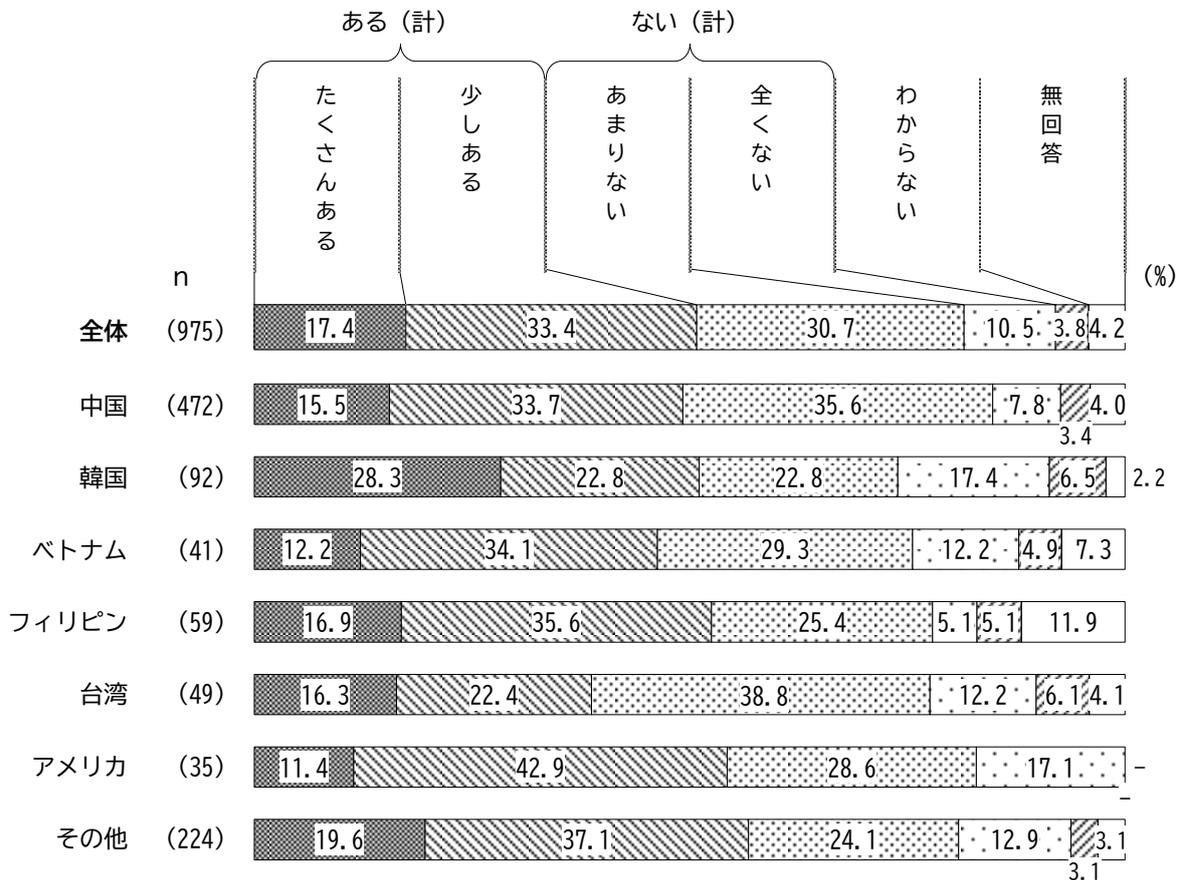
図表 地域に暮らす日本人と交流する機会（年齢別）



【国籍別】

「たくさんある」「少しある」の合計した割合は「その他」で、「あまりない」「全くない」の合計した割合は「台湾」で全体平均と比較して5ポイント以上高い。

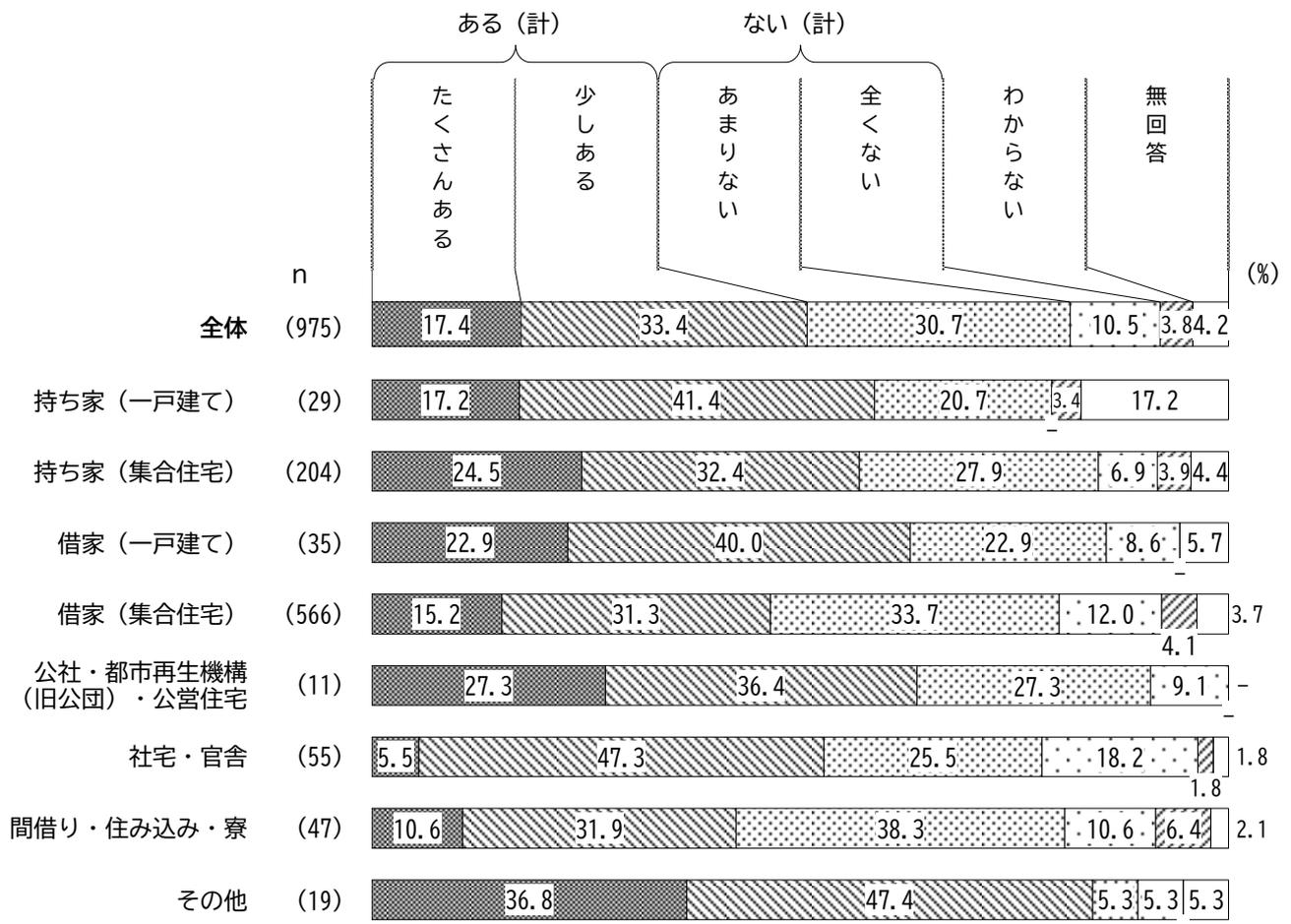
図表 地域に暮らす日本人と交流する機会（国籍別）



【居住形態別】

回収数の少ない「公社・都市再生機構（旧公団）・公営住宅」「その他」を除いて、「たくさんある」「少しある」の合計の割合は、「借家（一戸建て）」で62.9%と高くなっている。

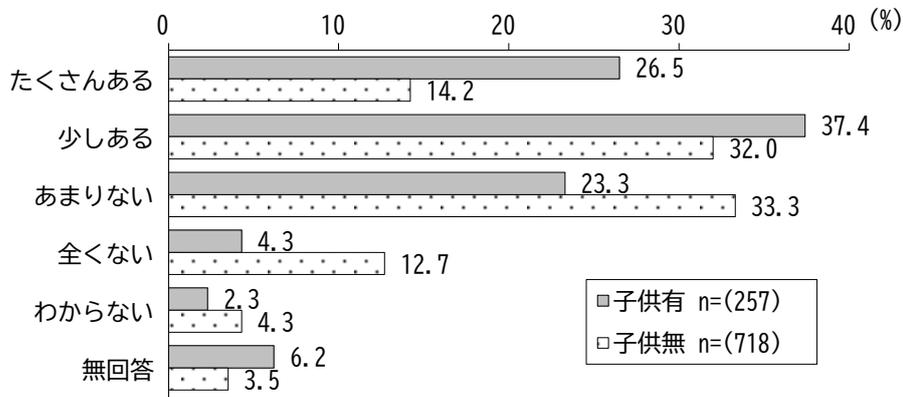
図表 地域に暮らす日本人と交流する機会（居住形態別）



【子供の有無別】

「たくさんある」「少しある」の合計の割合が、「子供有」では60%を超えており、「子供無」と比べて10ポイント以上高くなっている。

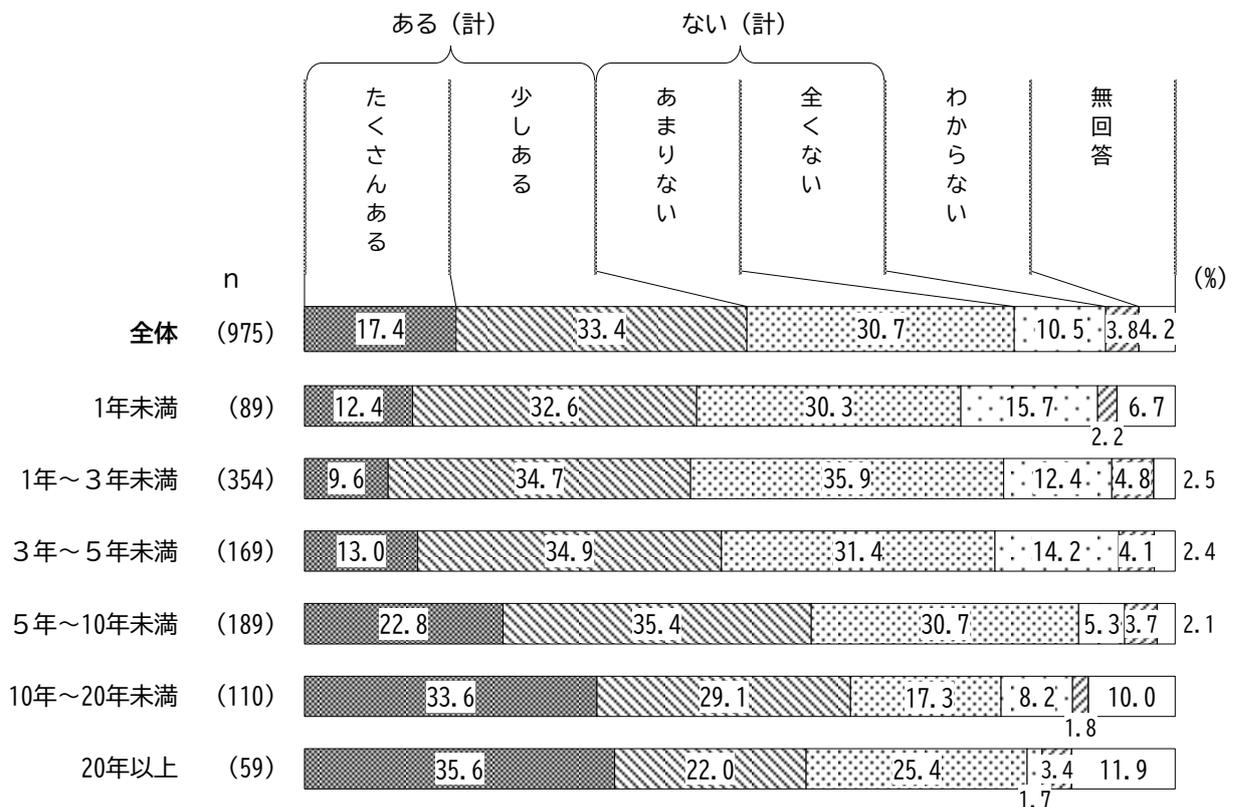
図表 地域に暮らす日本人と交流する機会（子供の有無別）



【台東区居住年数別】

「5年～10年未満」「10年～20年未満」「20年以上」で「たくさんある」「少しある」の合計の割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。「たくさんある」は居住年数が経つにつれて、割合が高くなる傾向にある。

図表 地域に暮らす日本人と交流する機会（台東区居住年数別）

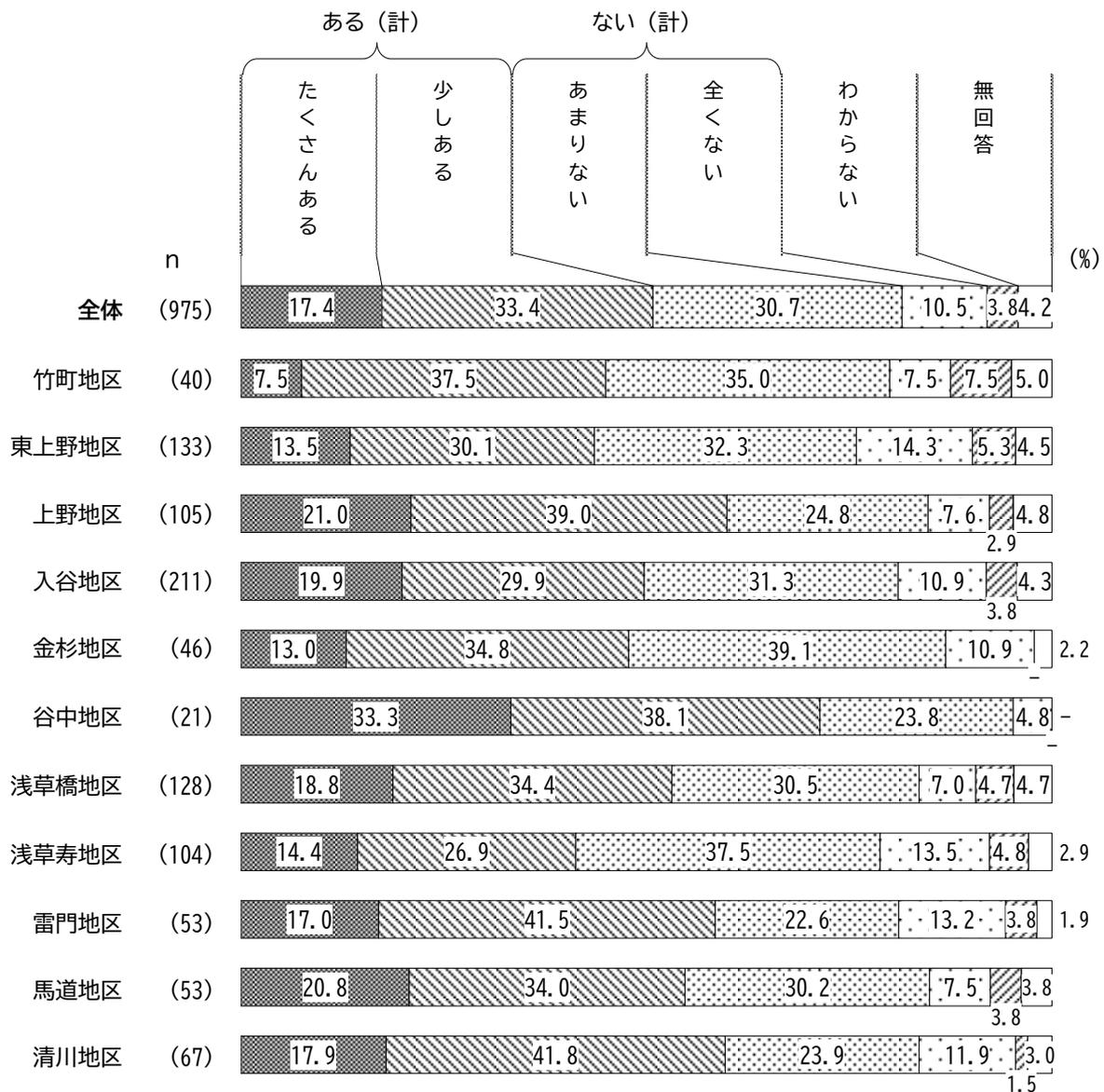


【居住地域別】

「たくさんある」「少しある」の合計の割合が、「上野地区」で60.0%と最も高く、次いで、「清川地区」で59.7%と全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

一方、「東上野地区」「金杉地区」「浅草寿地区」では「あまりない」「全くない」の合計の割合が、「ある（計）」を上回っている。

図表 地域に暮らす日本人と交流する機会（居住地域別）



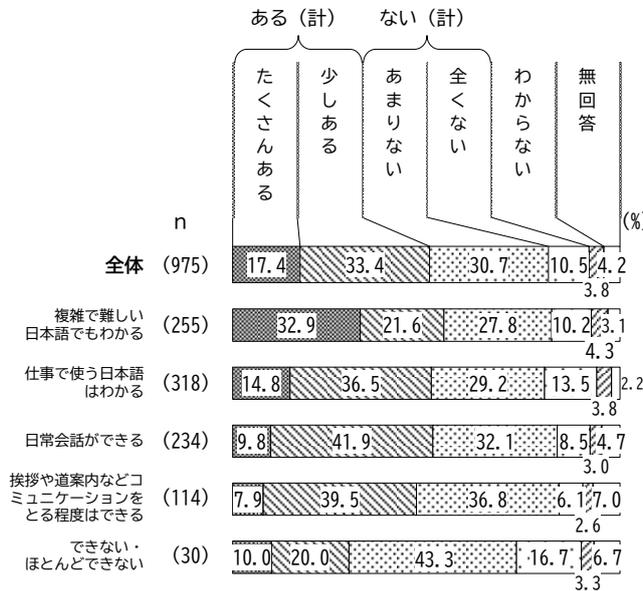
【日本語習得度別】

「聞く」「話す」で「複雑で難しい日本語でもわかる」と回答した人は、「たくさんある」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。また、「聞く」「話す」で「できない・ほとんどできない」と回答した人は、「全くない」「あまりない」の合計が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高くなっており、「聞く」「話す」の習得度が高いほど交流する機会が増える傾向にある。

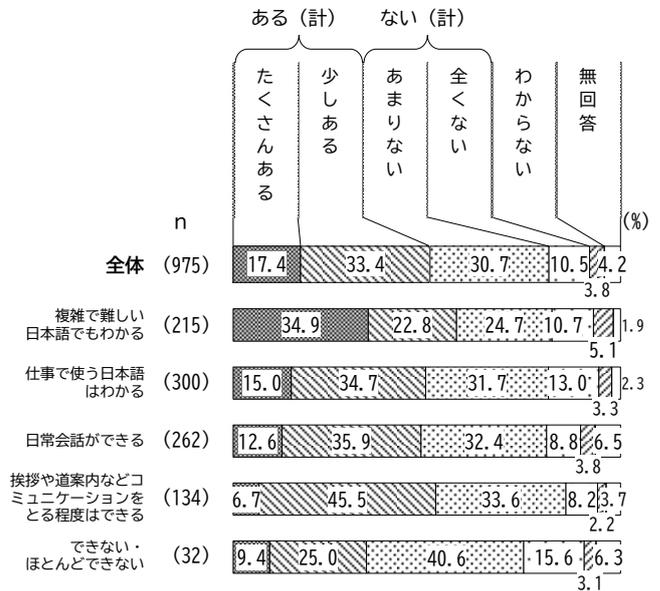
一方、「読む」「書く」が「できない・ほとんどできない」では、「たくさんある」「少しある」を合計した割合はやや低い傾向にあるものの、日本語習得度別で大きな差異はみられない。

図表 地域に暮らす日本人と交流する機会（日本語習得度別）

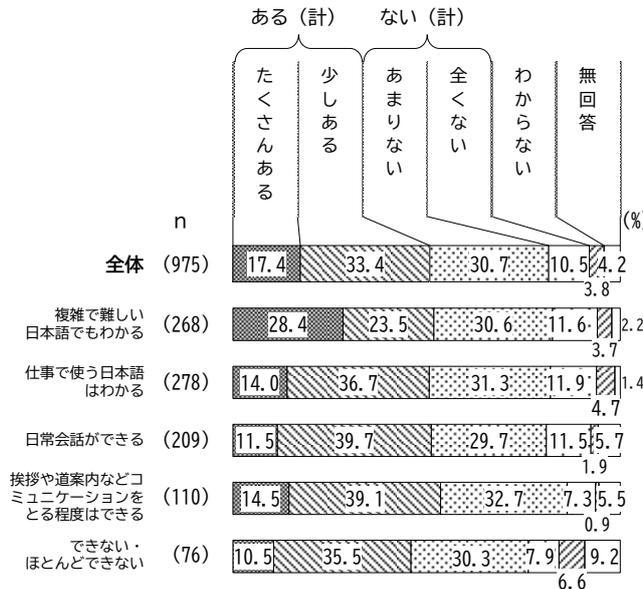
【聞く】



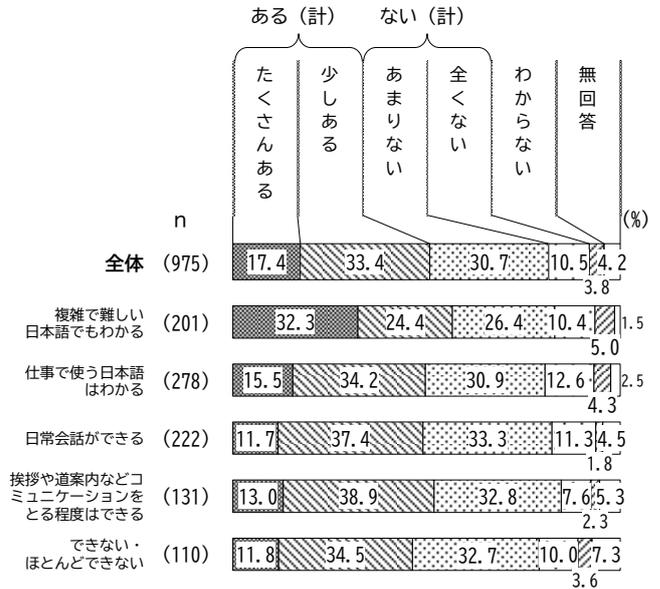
【話す】



【読む】



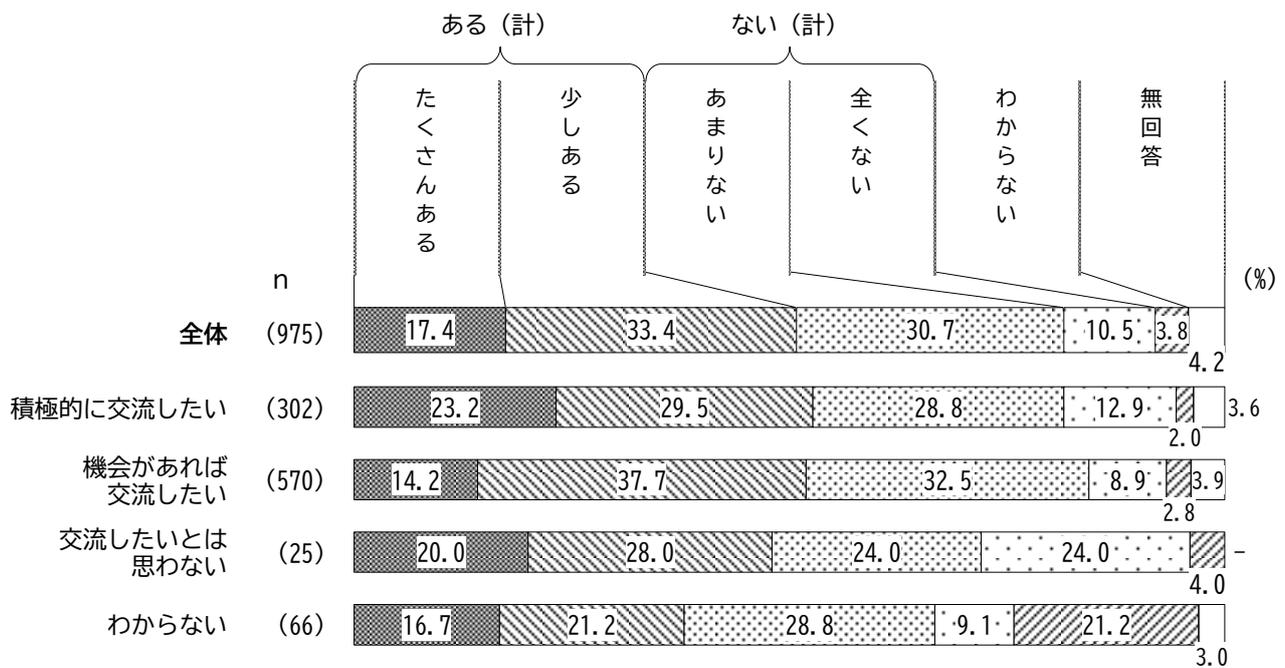
【書く】



【日本人との交流意向別】

日本人と交流意向が高いほど、地域の日本人と交流する機会がある割合が高い傾向にある。また、回答数が少ないため参考程度に留めるが、日本人と「交流したいとは思わない」で日本人との交流意向は「全くない」が高くなっている。

図表 地域に暮らす日本人と交流する機会（日本人との交流意向別）

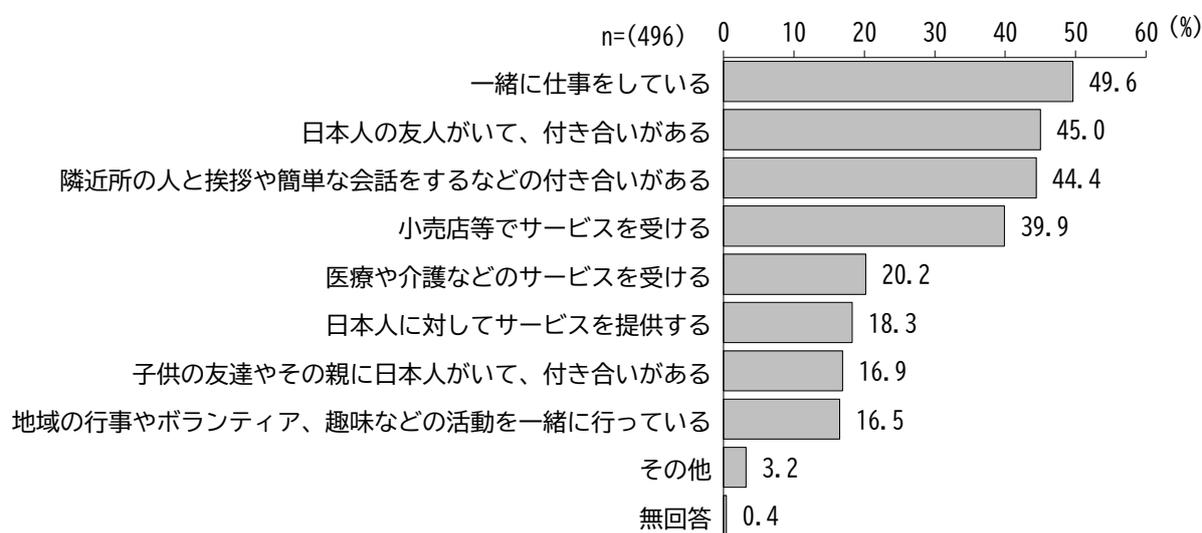


## (5) 地域内で日本人とかかわる場面

問36-2 【問36で「1 たくさんある」「2 少しある」と回答した方にお聞きします。】  
 あなたが地域内で日本人と関わるのはどのような場面ですか。  
 (当てはまるもの全てに○)

地域に暮らす日本人との交流の機会が、「たくさんある」「少しある」と回答した人に、地域内で日本人とかかわる場面について聞いたところ、「一緒に仕事をしている」(49.6%)が最も高く、次いで、「日本人の友人がいて、付き合いがある」(45.0%)、「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」(44.4%)、「小売店等でサービスを受ける」(39.9%)となっている。

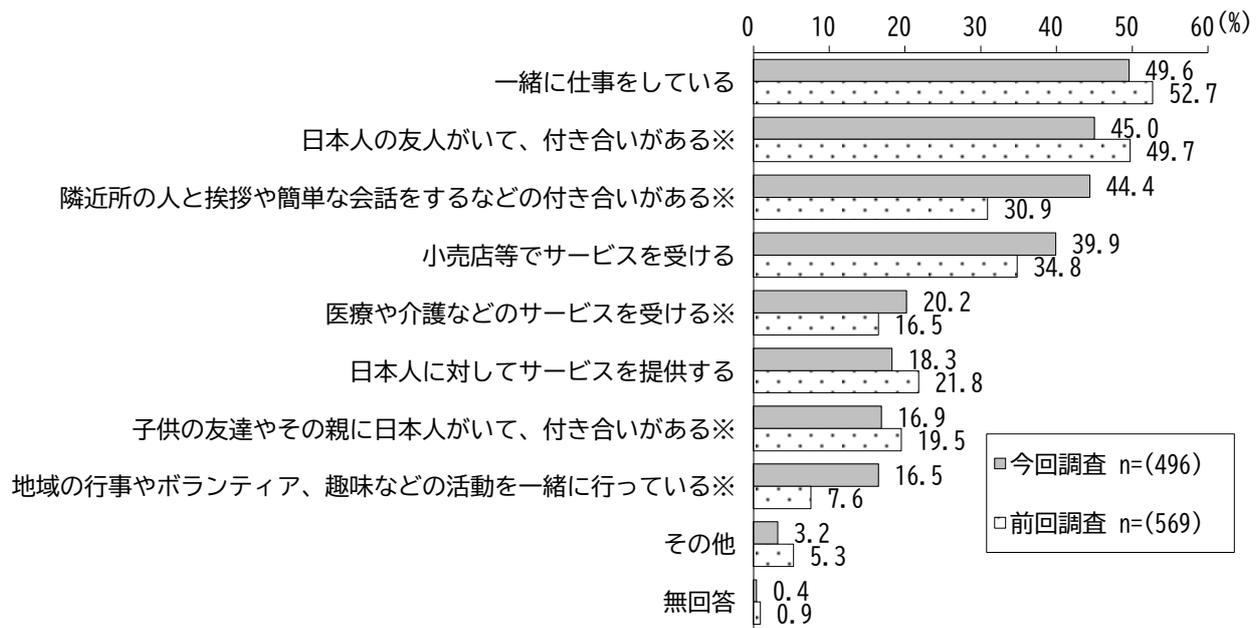
図表 地域内で日本人とかかわる場面 (複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」が13.5ポイント増加している。また、「地域の行事やボランティア、趣味などの活動を一緒に行っている」「小売店等でサービスを受ける」がいずれも5ポイント以上増加している。一方、「日本人の友人がいて、付き合いがある」「日本人に対してサービスを提供する」「一緒に仕事をしている」はやや減少している。

図表 【経年比較】地域内で日本人とかかわる場面（複数回答）



※今回調査の選択肢「日本人の友人がいて、付き合いがある」は前回調査では「日本人の友人がおり、付き合いがある」、「子供の友達やその親に日本人がいて、付き合いがある」は「子供の友達やその親に日本人がおり、付き合いがある」、「地域の行事やボランティア、趣味などの活動を一緒に行っている」は「地域活動で一緒に活動している」、「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」は「隣近所の付き合いがある」、「医療や介護などのサービスを受ける」は「医療や介護現場でサービスを受ける」であった。

【居住形態別】

回答者数が少ないため参考程度にとどめるが、「社宅・官舎」では「一緒に仕事をしている」「医療や介護などのサービスを受ける」が他の居住形態と比較して高い。

図表 地域内で日本人とかかわる場面（居住形態別）

上段：人数 下段：%	調査数	一緒に仕事をしている	日本人の友人 がいて、付き合 いがある	隣近所の人と 挨拶や簡単な 会話をするな どの付き合い がある	小売店等で サービスを受 ける	医療や介護な どのサービス を受ける	日本人に対 してサービス を提供する	子供の友達や その親に日本 人がいて、付き 合ひがある	地域の行事や ボランティア、 趣味などの活 動と一緒に 行っている	その他	無回答
全体	496 100.0%	246 49.6%	223 45.0%	220 44.4%	198 39.9%	100 20.2%	91 18.3%	84 16.9%	82 16.5%	16 3.2%	2 0.4%
持ち家(一戸建て)	17 100.0%	9 52.9%	13 76.5%	12 70.6%	3 17.6%	3 17.6%	3 17.6%	7 41.2%	7 41.2%	1 5.9%	-
持ち家(集合住宅)	116 100.0%	58 50.0%	47 40.5%	58 50.0%	48 41.4%	28 24.1%	31 26.7%	25 21.6%	12 10.3%	1 0.9%	2 1.7%
借家(一戸建て)	22 100.0%	14 63.6%	14 63.6%	13 59.1%	10 45.5%	4 18.2%	3 13.6%	8 36.4%	5 22.7%	2 9.1%	-
借家(集合住宅)	263 100.0%	131 49.8%	122 46.4%	100 38.0%	110 41.8%	55 20.9%	47 17.9%	39 14.8%	45 17.1%	6 2.3%	-
公社・都市再生機構 (旧公団)・公営住宅	7 100.0%	2 28.6%	2 28.6%	5 71.4%	1 14.3%	-	1 14.3%	1 14.3%	-	-	-
社宅・官舎	29 100.0%	19 65.5%	9 31.0%	14 48.3%	11 37.9%	9 31.0%	1 3.4%	3 10.3%	5 17.2%	-	-
間借り・住み込み・ 寮	20 100.0%	8 40.0%	5 25.0%	8 40.0%	9 45.0%	-	4 20.0%	-	3 15.0%	3 15.0%	-
その他	16 100.0%	4 25.0%	7 43.8%	9 56.3%	6 37.5%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	4 25.0%	3 18.8%	-

【日本人への親しみ度合い別】

日本人に「親しみを感じる」では「日本人の友人がいて、付き合いがある」「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。日本人に「どちらかといえば親しみを感じない」では「一緒に仕事をしている」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域内で日本人とかかわる場面（日本人への親しみ度合い別）

上段：人数 下段：%	調査数	一緒に仕事をしている	日本人の友人 がいて、付き合 いがある	隣近所の人と 挨拶や簡単な 会話をするな どの付き合い がある	小売店等で サービスを受 ける	医療や介護な どのサービス を受ける	日本人に対 してサービス を提供する	子供の友達や その親に日本 人がいて、付き 合ひがある	地域の行事や ボランティア、 趣味などの活 動と一緒に 行っている	その他	無回答
全体	496 100.0%	246 49.6%	223 45.0%	220 44.4%	198 39.9%	100 20.2%	91 18.3%	84 16.9%	82 16.5%	16 3.2%	2 0.4%
親しみを感じる	142 100.0%	71 50.0%	73 51.4%	76 53.5%	48 33.8%	26 18.3%	29 20.4%	26 18.3%	22 15.5%	6 4.2%	1 0.7%
どちらかといえば 親しみを感じる	201 100.0%	100 49.8%	84 41.8%	94 46.8%	87 43.3%	42 20.9%	37 18.4%	43 21.4%	35 17.4%	5 2.5%	1 0.5%
どちらともいえない	89 100.0%	43 48.3%	40 44.9%	33 37.1%	41 46.1%	16 18.0%	13 14.6%	8 9.0%	16 18.0%	1 1.1%	-
どちらかといえば 親しみを感じない	43 100.0%	24 55.8%	19 44.2%	10 23.3%	11 25.6%	9 20.9%	7 16.3%	4 9.3%	5 11.6%	3 7.0%	-
親しみを感じない	19 100.0%	7 36.8%	6 31.6%	6 31.6%	11 57.9%	7 36.8%	5 26.3%	3 15.8%	3 15.8%	1 5.3%	-

【日本人との交流意向別】

日本人と「積極的に交流したい」で「一緒に仕事をしている」「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」が高くなっている。

図表 地域内で日本人とかかわる場面（日本人との交流意向別）

上段:人数 下段:%	調査数	一緒に仕事をしている	日本人の友人がいて、付き合いがある	隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある	小売店等でサービスを受ける	医療や介護などのサービスを受ける	日本人に対してサービスを提供する	子供の友達やその親に日本人がいて、付き合いがある	地域の行事やボランティア、趣味などの活動と一緒にやっている	その他	無回答
全体	496 100.0%	246 49.6%	223 45.0%	220 44.4%	198 39.9%	100 20.2%	91 18.3%	84 16.9%	82 16.5%	16 3.2%	2 0.4%
積極的に交流したい	159 100.0%	90 56.6%	78 49.1%	82 51.6%	59 37.1%	33 20.8%	32 20.1%	26 16.4%	35 22.0%	3 1.9%	- -
機会があれば交流したい	296 100.0%	140 47.3%	127 42.9%	119 40.2%	125 42.2%	62 20.9%	52 17.6%	50 16.9%	45 15.2%	11 3.7%	2 0.7%
交流したいとは思わない	12 100.0%	5 41.7%	6 50.0%	5 41.7%	7 58.3%	1 8.3%	3 25.0%	2 16.7%	- -	- -	- -
わからない	25 100.0%	9 36.0%	8 32.0%	11 44.0%	7 28.0%	4 16.0%	4 16.0%	4 16.0%	- -	2 8.0%	- -

【年齢別】

「30～39歳」では「小売店等でサービスを受ける」、「40～49歳」「50～59歳」では「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」「子供の友達やその親に日本人がいて、付き合いがある」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域内で日本人とかかわる場面（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	一緒に仕事をしている	日本人の友人がいて、付き合いがある	隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある	小売店等でサービスを受ける	医療や介護などのサービスを受ける	日本人に対してサービスを提供する	子供の友達やその親に日本人がいて、付き合いがある	地域の行事やボランティア、趣味などの活動と一緒にやっている	その他	無回答
全体	496 100.0%	246 49.6%	223 45.0%	220 44.4%	198 39.9%	100 20.2%	91 18.3%	84 16.9%	82 16.5%	16 3.2%	2 0.4%
18～29歳	98 100.0%	52 53.1%	37 37.8%	32 32.7%	37 37.8%	10 10.2%	12 12.2%	4 4.1%	11 11.2%	4 4.1%	1 1.0%
30～39歳	191 100.0%	96 50.3%	90 47.1%	71 37.2%	88 46.1%	37 19.4%	29 15.2%	28 14.7%	37 19.4%	6 3.1%	- -
40～49歳	109 100.0%	50 45.9%	42 38.5%	60 55.0%	42 38.5%	25 22.9%	24 22.0%	29 26.6%	16 14.7%	1 0.9%	- -
50～59歳	61 100.0%	33 54.1%	32 52.5%	35 57.4%	19 31.1%	18 29.5%	17 27.9%	19 31.1%	13 21.3%	4 6.6%	1 1.6%
60～69歳	24 100.0%	10 41.7%	12 50.0%	13 54.2%	9 37.5%	4 16.7%	6 25.0%	2 8.3%	2 8.3%	- -	- -
70歳以上	11 100.0%	4 36.4%	8 72.7%	8 72.7%	3 27.3%	5 45.5%	3 27.3%	2 18.2%	2 18.2%	1 9.1%	- -

【居住地域別】

「東上野地区」では「一緒に仕事をしている」、「浅草寿地区」では「日本人の友人がいて、付き合いがある」「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」が他の居住地域と比較して高い。

図表 地域内で日本人とかかわる場面（居住地域別）

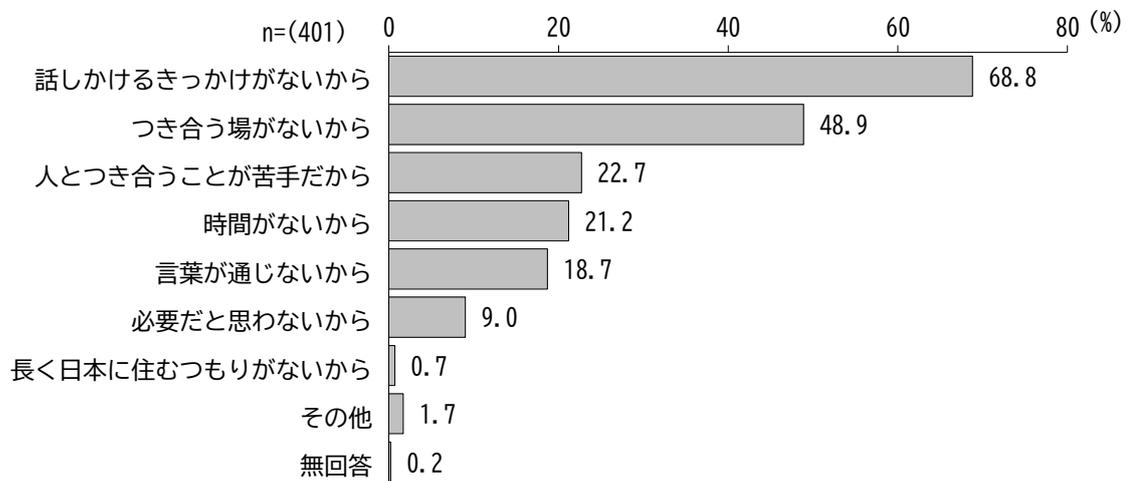
上段:人数 下段:%	調査数	一緒に仕事をしている	日本人の友人がいて、付き合いがある	隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある	小売店等でサービスを受ける	医療や介護などのサービスを受ける	日本人に対してサービスを提供する	子供の友達やその親に日本人がいて、付き合いがある	地域の行事やボランティア、趣味などの活動と一緒にやっている	その他	無回答
全体	496 100.0%	246 49.6%	223 45.0%	220 44.4%	198 39.9%	100 20.2%	91 18.3%	84 16.9%	82 16.5%	16 3.2%	2 0.4%
竹町地区	18 100.0%	7 38.9%	6 33.3%	9 50.0%	5 27.8%	3 16.7%	1 5.6%	5 27.8%	3 16.7%	- -	- -
東上野地区	58 100.0%	35 60.3%	26 44.8%	20 34.5%	20 34.5%	8 13.8%	9 15.5%	8 13.8%	8 13.8%	2 3.4%	- -
上野地区	63 100.0%	30 47.6%	25 39.7%	24 38.1%	22 34.9%	8 12.7%	14 22.2%	10 15.9%	7 11.1%	1 1.6%	- -
入谷地区	105 100.0%	54 51.4%	43 41.0%	33 31.4%	41 39.0%	21 20.0%	26 24.8%	16 15.2%	18 17.1%	2 1.9%	- -
金杉地区	22 100.0%	8 36.4%	10 45.5%	13 59.1%	12 54.5%	7 31.8%	5 22.7%	3 13.6%	3 13.6%	- -	- -
谷中地区	15 100.0%	9 60.0%	7 46.7%	11 73.3%	9 60.0%	2 13.3%	4 26.7%	6 40.0%	5 33.3%	2 13.3%	- -
浅草橋地区	68 100.0%	37 54.4%	32 47.1%	33 48.5%	27 39.7%	18 26.5%	6 8.8%	10 14.7%	17 25.0%	1 1.5%	- -
浅草寿地区	43 100.0%	20 46.5%	24 55.8%	26 60.5%	21 48.8%	12 27.9%	8 18.6%	10 23.3%	8 18.6%	1 2.3%	- -
雷門地区	31 100.0%	13 41.9%	14 45.2%	11 35.5%	11 35.5%	4 12.9%	2 6.5%	3 9.7%	2 6.5%	1 3.2%	1 3.2%
馬道地区	29 100.0%	14 48.3%	19 65.5%	20 69.0%	13 44.8%	7 24.1%	7 24.1%	7 24.1%	5 17.2%	3 10.3%	- -
清川地区	40 100.0%	17 42.5%	16 40.0%	19 47.5%	17 42.5%	10 25.0%	8 20.0%	6 15.0%	6 15.0%	2 5.0%	1 2.5%

(6) 地域内で日本人と交流する機会がない理由

問36-3 【問36で「3 あまりない」「4 全くない」と回答した方にお聞きします。】  
 あなたが地域内で日本人と交流する機会がないのはなぜですか。  
 (当てはまるもの全てに○)

地域に暮らす日本人との交流の機会が、「あまりない」「全くない」と回答した人に、地域内で日本人と交流する機会がない理由について聞いたところ、「話しかけるきっかけがないから」(68.8%)が最も高く、次いで、「つき合う場がないから」(48.9%)、「人とつき合うことが苦手だから」(22.7%)、「時間がないから」(21.2%)となっている。

図表 地域内で日本人と交流する機会がない理由 (複数回答)



【年齢別】

「18～29歳」で「時間がないから」、「30～39歳」で「話しかけるきっかけがないから」、「50～59歳」で「言葉が通じないから」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域内で日本人と交流する機会がない理由（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	話しかけるきっかけがないから	つき合う場がないから	人とつき合うことが苦手だから	時間がないから	言葉が通じないから	必要だと思わないから	長く日本に住むつもりがないから	その他	無回答
全体	401 100.0%	276 68.8%	196 48.9%	91 22.7%	85 21.2%	75 18.7%	36 9.0%	3 0.7%	7 1.7%	1 0.2%
18～29歳	117 100.0%	80 68.4%	63 53.8%	31 26.5%	33 28.2%	17 14.5%	12 10.3%	- -	2 1.7%	- -
30～39歳	174 100.0%	129 74.1%	91 52.3%	43 24.7%	32 18.4%	33 19.0%	16 9.2%	2 1.1%	3 1.7%	1 0.6%
40～49歳	60 100.0%	39 65.0%	28 46.7%	8 13.3%	13 21.7%	11 18.3%	5 8.3%	- -	1 1.7%	- -
50～59歳	32 100.0%	17 53.1%	10 31.3%	6 18.8%	6 18.8%	8 25.0%	1 3.1%	- -	1 3.1%	- -
60～69歳	16 100.0%	10 62.5%	4 25.0%	2 12.5%	1 6.3%	4 25.0%	2 12.5%	1 6.3%	- -	- -
70歳以上	2 100.0%	1 50.0%	- -	1 50.0%	- -	2 100.0%	- -	- -	- -	- -

【居住地域別】

「浅草寿地区」では「時間がないから」が他の居住地域と比較して高い。

図表 地域内で日本人と交流する機会がない理由（居住地域別）

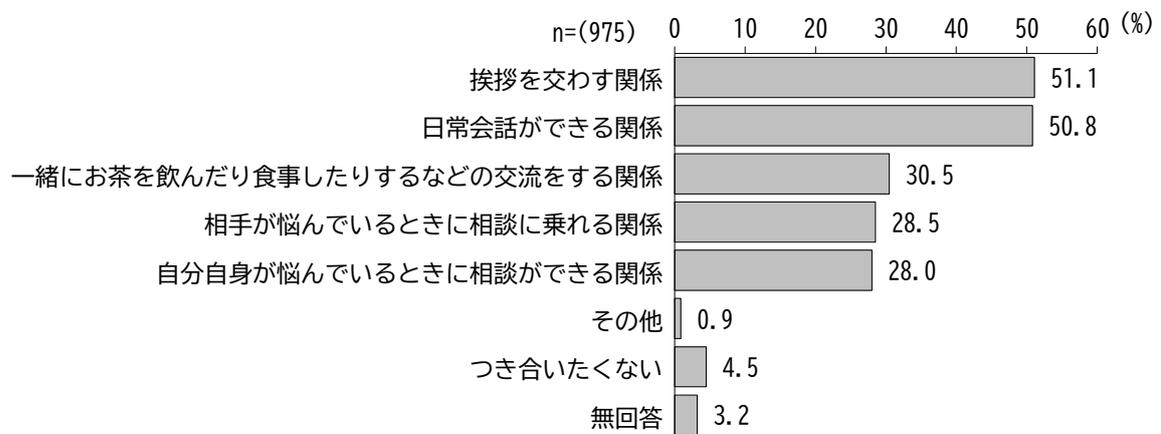
上段:人数 下段:%	調査数	話しかけるきっかけがないから	つき合う場がないから	人とつき合うことが苦手だから	時間がないから	言葉が通じないから	必要だと思わないから	長く日本に住むつもりがないから	その他	無回答
全体	401 100.0%	276 68.8%	196 48.9%	91 22.7%	85 21.2%	75 18.7%	36 9.0%	3 0.7%	7 1.7%	1 0.2%
竹町地区	17 100.0%	13 76.5%	9 52.9%	2 11.8%	2 11.8%	3 17.6%	- -	- -	1 5.9%	- -
東上野地区	62 100.0%	46 74.2%	30 48.4%	17 27.4%	13 21.0%	12 19.4%	3 4.8%	- -	- -	- -
上野地区	34 100.0%	23 67.6%	11 32.4%	9 26.5%	8 23.5%	8 23.5%	4 11.8%	- -	2 5.9%	- -
入谷地区	89 100.0%	62 69.7%	39 43.8%	17 19.1%	24 27.0%	14 15.7%	8 9.0%	1 1.1%	1 1.1%	1 1.1%
金杉地区	23 100.0%	11 47.8%	11 47.8%	7 30.4%	2 8.7%	6 26.1%	4 17.4%	- -	1 4.3%	- -
谷中地区	6 100.0%	5 83.3%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	- -	- -	- -
浅草橋地区	48 100.0%	31 64.6%	26 54.2%	9 18.8%	9 18.8%	6 12.5%	5 10.4%	- -	- -	- -
浅草寿地区	53 100.0%	37 69.8%	27 50.9%	9 17.0%	17 32.1%	12 22.6%	4 7.5%	1 1.9%	1 1.9%	- -
雷門地区	19 100.0%	13 68.4%	10 52.6%	5 26.3%	1 5.3%	5 26.3%	- -	- -	1 5.3%	- -
馬道地区	20 100.0%	15 75.0%	12 60.0%	6 30.0%	2 10.0%	3 15.0%	4 20.0%	1 5.0%	- -	- -
清川地区	24 100.0%	15 62.5%	14 58.3%	7 29.2%	4 16.7%	3 12.5%	1 4.2%	- -	- -	- -

(7) 地域の日本人とどのようなつき合いをしていきたいか

問37 地域に暮らす日本人とどのようなつき合いをしていきたいですか。  
(当てはまるもの全てに○)

「挨拶を交わす関係」(51.1%)が最も高く、「日常会話ができる関係」(50.8%)も半数以上が挙げている。次いで、「一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係」(30.5%)、「相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係」(28.5%)、「自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係」(28.0%)となっている。

図表 地域の日本人とどのようなつき合いをしていきたいか (複数回答)



【国籍別】

「一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係」は「アメリカ」で45.7%である一方で、「ベトナム」で17.1%となっている。

「アメリカ」「その他」では「日常会話ができる関係」「相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係」、「フィリピン」「その他」では「自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高くなっている。

図表 地域の日本人とどのようなつき合いをしていきたいか（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす 関係	日常会話がで きる関係	一緒にお茶を 飲んだり食事し たりするなどの 交流をする関係	相手が悩んで いるときに相 談に乗れる関 係	自分自身が悩 んでいるときに 相談ができる 関係	その他	つき合いたくな い	無回答
全体	975 100.0%	498 51.1%	495 50.8%	297 30.5%	278 28.5%	273 28.0%	9 0.9%	44 4.5%	31 3.2%
中国	472 100.0%	245 51.9%	233 49.4%	129 27.3%	102 21.6%	101 21.4%	6 1.3%	22 4.7%	7 1.5%
韓国	92 100.0%	41 44.6%	35 38.0%	24 26.1%	21 22.8%	20 21.7%	1 1.1%	8 8.7%	6 6.5%
ベトナム	41 100.0%	20 48.8%	18 43.9%	7 17.1%	8 19.5%	13 31.7%	- -	2 4.9%	2 4.9%
フィリピン	59 100.0%	27 45.8%	33 55.9%	16 27.1%	18 30.5%	24 40.7%	1 1.7%	1 1.7%	8 13.6%
台湾	49 100.0%	25 51.0%	23 46.9%	16 32.7%	8 16.3%	9 18.4%	- -	6 12.2%	1 2.0%
アメリカ	35 100.0%	13 37.1%	20 57.1%	16 45.7%	17 48.6%	12 34.3%	1 2.9%	1 2.9%	- -
その他	224 100.0%	126 56.3%	132 58.9%	88 39.3%	102 45.5%	94 42.0%	- -	4 1.8%	6 2.7%

【台東区居住年数別】

「1年未満」では、「つき合いたくない」を除くいずれの項目も全体平均と比較して5ポイント以上高く、特に「日常会話ができる関係」が60%台半ばとなっている。また、台東区居住年数が短いほど、「一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係」の割合が高い傾向にある。

図表 地域の日本人とどのようなつき合いをしていきたいか（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす 関係	日常会話がで きる関係	一緒にお茶を 飲んだり食事し たりするなどの 交流をする関係	相手が悩んで いるときに相 談に乗れる関係	自分自身が悩 んでいるときに 相談ができる 関係	その他	つき合いたくない	無回答
全体	975 100.0%	498 51.1%	495 50.8%	297 30.5%	278 28.5%	273 28.0%	9 0.9%	44 4.5%	31 3.2%
1年未満	89 100.0%	50 56.2%	60 67.4%	39 43.8%	34 38.2%	38 42.7%	- -	3 3.4%	- -
1年～3年未満	354 100.0%	176 49.7%	182 51.4%	120 33.9%	108 30.5%	98 27.7%	5 1.4%	14 4.0%	9 2.5%
3年～5年未満	169 100.0%	86 50.9%	80 47.3%	48 28.4%	37 21.9%	32 18.9%	- -	10 5.9%	4 2.4%
5年～10年未満	189 100.0%	97 51.3%	98 51.9%	51 27.0%	58 30.7%	58 30.7%	2 1.1%	5 2.6%	5 2.6%
10年～20年未満	110 100.0%	59 53.6%	48 43.6%	25 22.7%	24 21.8%	29 26.4%	1 0.9%	10 9.1%	5 4.5%
20年以上	59 100.0%	27 45.8%	24 40.7%	14 23.7%	17 28.8%	18 30.5%	1 1.7%	2 3.4%	8 13.6%

【台東区の暮らしやすさ別】

台東区は「あまり暮らしやすくない」で「自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。また、暮らしやすくないと感じる人ほど、「一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係」の割合が高い傾向にある。

図表 地域の日本人とどのようなつき合いをしていきたいか（台東区の暮らしやすさ別）

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす 関係	日常会話がで きる関係	一緒にお茶を 飲んだり食事し たりするなどの 交流をする関係	相手が悩んで いるときに相 談に乗れる関係	自分自身が悩 んでいるときに 相談ができる 関係	その他	つき合いたくない	無回答
全体	975 100.0%	498 51.1%	495 50.8%	297 30.5%	278 28.5%	273 28.0%	9 0.9%	44 4.5%	31 3.2%
とても 暮らしやすい	383 100.0%	194 50.7%	192 50.1%	113 29.5%	111 29.0%	111 29.0%	4 1.0%	17 4.4%	10 2.6%
暮らしやすい	493 100.0%	260 52.7%	258 52.3%	153 31.0%	136 27.6%	138 28.0%	4 0.8%	20 4.1%	16 3.2%
あまり 暮らしやすくない	31 100.0%	16 51.6%	16 51.6%	12 38.7%	11 35.5%	12 38.7%	- -	2 6.5%	1 3.2%
暮らしにくい	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	- -	- -	- -
どちらとも いえない	61 100.0%	26 42.6%	26 42.6%	17 27.9%	18 29.5%	11 18.0%	1 1.6%	5 8.2%	4 6.6%

【日本人との交流意向別】

「挨拶を交わす関係」以外の項目は日本人と「積極的に交流したい」で全体平均と比較して5ポイント以上高く、特に「日常会話ができる関係」が60%台半ばとなっている。

図表 地域の日本人とどのようなつき合いをしていきたいか（日本人との交流意向別）

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす 関係	日常会話がで きる関係	一緒にお茶を 飲んだり食事し たりするなどの 交流をする関 係	相手が悩んで いるときに相 談に乗れる関 係	自分自身が悩 んでいるときに 相談ができる 関係	その他	つき合いたくな い	無回答
全体	975 100.0%	498 51.1%	495 50.8%	297 30.5%	278 28.5%	273 28.0%	9 0.9%	44 4.5%	31 3.2%
積極的に交流したい	302 100.0%	153 50.7%	200 66.2%	160 53.0%	144 47.7%	131 43.4%	4 1.3%	3 1.0%	2 0.7%
機会があれば 交流したい	570 100.0%	301 52.8%	282 49.5%	125 21.9%	117 20.5%	125 21.9%	4 0.7%	18 3.2%	19 3.3%
交流したいとは思 わない	25 100.0%	13 52.0%	3 12.0%	1 4.0%	- -	3 12.0%	- -	7 28.0%	1 4.0%
わからない	66 100.0%	29 43.9%	8 12.1%	9 13.6%	14 21.2%	10 15.2%	1 1.5%	15 22.7%	2 3.0%

【年齢別】

「60～69歳」の年齢層で「挨拶を交わす関係」以外の割合が全体平均と比較して5ポイント以上低い。その他、大きな差異はみられない。

図表 地域の日本人とどのようなつき合いをしていきたいか（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす 関係	日常会話がで きる関係	一緒にお茶を 飲んだり食事し たりするなどの 交流をする関 係	相手が悩んで いるときに相 談に乗れる関 係	自分自身が悩 んでいるときに 相談ができる 関係	その他	つき合いたくな い	無回答
全体	975 100.0%	498 51.1%	495 50.8%	297 30.5%	278 28.5%	273 28.0%	9 0.9%	44 4.5%	31 3.2%
18～29歳	233 100.0%	113 48.5%	118 50.6%	75 32.2%	65 27.9%	69 29.6%	3 1.3%	15 6.4%	2 0.9%
30～39歳	385 100.0%	206 53.5%	211 54.8%	127 33.0%	119 30.9%	107 27.8%	2 0.5%	15 3.9%	4 1.0%
40～49歳	185 100.0%	96 51.9%	91 49.2%	56 30.3%	52 28.1%	53 28.6%	2 1.1%	7 3.8%	7 3.8%
50～59歳	103 100.0%	50 48.5%	54 52.4%	29 28.2%	28 27.2%	32 31.1%	2 1.9%	3 2.9%	8 7.8%
60～69歳	47 100.0%	23 48.9%	13 27.7%	7 14.9%	10 21.3%	10 21.3%	- -	3 6.4%	4 8.5%
70歳以上	19 100.0%	9 47.4%	7 36.8%	2 10.5%	2 10.5%	2 10.5%	- -	1 5.3%	5 26.3%

【居住地域別】

「浅草寿地区」で「挨拶を交わす関係」、「雷門地区」で「日常会話ができる関係」「自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係」、「金杉地区」で「一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係」、「浅草橋地区」で「一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係」「相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係」の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域の日本人とどのようなつき合いをしていきたいか（居住地域別）

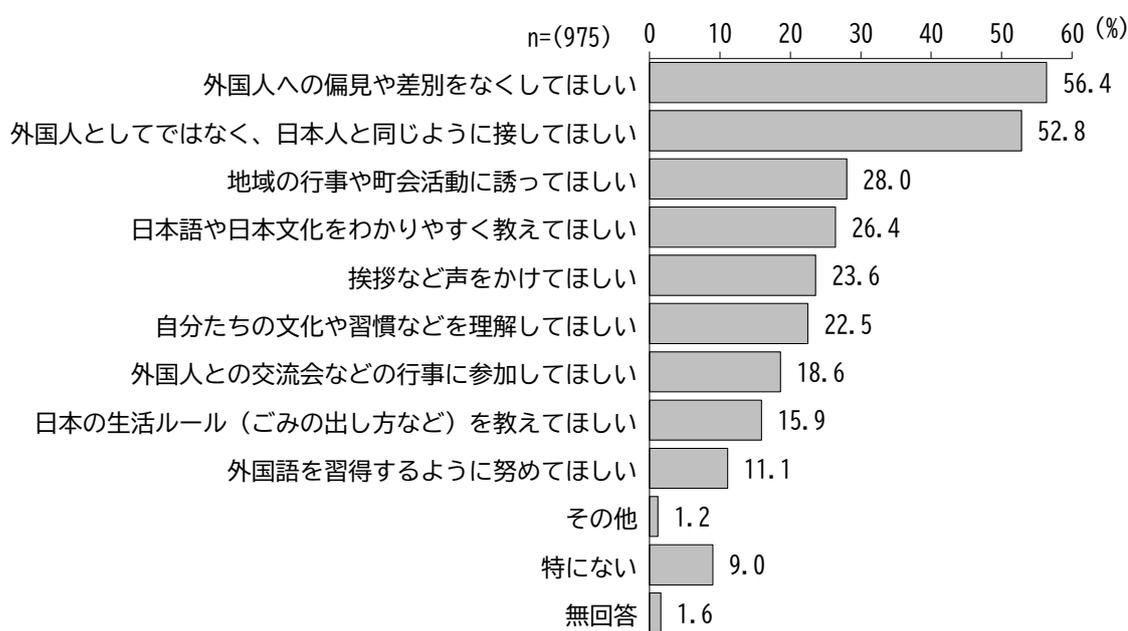
上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす 関係	日常会話がで きる関係	一緒にお茶を 飲んだり食事し たりするなどの 交流をする関係	相手が悩んで いるときに相談 に乗れる関係	自分自身が悩 んでいるときに 相談ができる 関係	その他	つき合いたくな い	無回答
全体	975 100.0%	498 51.1%	495 50.8%	297 30.5%	278 28.5%	273 28.0%	9 0.9%	44 4.5%	31 3.2%
竹町地区	40 100.0%	18 45.0%	23 57.5%	12 30.0%	11 27.5%	9 22.5%	-	1 2.5%	1 2.5%
東上野地区	133 100.0%	69 51.9%	64 48.1%	36 27.1%	32 24.1%	35 26.3%	1 0.8%	6 4.5%	6 4.5%
上野地区	105 100.0%	51 48.6%	53 50.5%	27 25.7%	29 27.6%	31 29.5%	-	3 2.9%	5 4.8%
入谷地区	211 100.0%	102 48.3%	106 50.2%	60 28.4%	56 26.5%	51 24.2%	3 1.4%	10 4.7%	5 2.4%
金杉地区	46 100.0%	23 50.0%	20 43.5%	18 39.1%	15 32.6%	13 28.3%	2 4.3%	4 8.7%	2 4.3%
谷中地区	21 100.0%	14 66.7%	12 57.1%	8 38.1%	6 28.6%	8 38.1%	-	1 4.8%	-
浅草橋地区	128 100.0%	65 50.8%	65 50.8%	48 37.5%	44 34.4%	42 32.8%	2 1.6%	7 5.5%	3 2.3%
浅草寿地区	104 100.0%	61 58.7%	52 50.0%	34 32.7%	33 31.7%	28 26.9%	-	4 3.8%	2 1.9%
雷門地区	53 100.0%	28 52.8%	32 60.4%	15 28.3%	16 30.2%	18 34.0%	-	1 1.9%	1 1.9%
馬道地区	53 100.0%	22 41.5%	27 50.9%	17 32.1%	14 26.4%	17 32.1%	1 1.9%	5 9.4%	3 5.7%
清川地区	67 100.0%	36 53.7%	32 47.8%	16 23.9%	16 23.9%	16 23.9%	-	2 3.0%	3 4.5%

## (8) 住民相互の理解のために日本人に求めること

問38 住民相互の理解を深めるために、日本人に求めることは何ですか。  
(当てはまるもの全てに○)

「外国人への偏見や差別をなくしてほしい」(56.4%)が最も高く、「外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい」(52.8%)も半数以上が挙げている。次いで、「地域の行事や町会活動に誘ってほしい」(28.0%)、「日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい」(26.4%)となっている。

図表 住民相互の理解のために日本人に求めること（複数回答）



【国籍別】

「ベトナム」では、「外国人への偏見や差別をなくしてほしい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

また、「アメリカ」では「外国人としてでなく、日本人と同じように接してほしい」「地域の行事や町会活動に誘ってほしい」が全体平均と比較して5ポイント以上高く、「フィリピン」では「日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい」「外国人との交流会などの行事に参加してほしい」が高くなっている。

図表 住民相互の理解のために日本人に求めること（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国人への偏見や差別をなくしてほしい	外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい	地域の行事や町会活動に誘ってほしい	日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい	挨拶など声をかけてほしい	自分たちの文化や習慣などを理解してほしい
全体	975 100.0%	550 56.4%	515 52.8%	273 28.0%	257 26.4%	230 23.6%	219 22.5%
中国	472 100.0%	274 58.1%	276 58.5%	115 24.4%	117 24.8%	74 15.7%	106 22.5%
韓国	92 100.0%	48 52.2%	31 33.7%	22 23.9%	13 14.1%	16 17.4%	14 15.2%
ベトナム	41 100.0%	27 65.9%	19 46.3%	6 14.6%	14 34.1%	8 19.5%	12 29.3%
フィリピン	59 100.0%	34 57.6%	35 59.3%	10 16.9%	29 49.2%	16 27.1%	19 32.2%
台湾	49 100.0%	26 53.1%	23 46.9%	15 30.6%	11 22.4%	17 34.7%	12 24.5%
アメリカ	35 100.0%	17 48.6%	21 60.0%	15 42.9%	6 17.1%	12 34.3%	6 17.1%
その他	224 100.0%	122 54.5%	109 48.7%	90 40.2%	66 29.5%	87 38.8%	49 21.9%

上段:人数 下段:%	調査数	外国人との交流会などの行事に参加してほしい	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてください	外国語を習得するように努めてほしい	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	181 18.6%	155 15.9%	108 11.1%	12 1.2%	88 9.0%	16 1.6%
中国	472 100.0%	78 16.5%	79 16.7%	43 9.1%	5 1.1%	42 8.9%	3 0.6%
韓国	92 100.0%	11 12.0%	9 9.8%	5 5.4%	1 1.1%	14 15.2%	4 4.3%
ベトナム	41 100.0%	5 12.2%	10 24.4%	5 12.2%	-	2 4.9%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	19 32.2%	12 20.3%	6 10.2%	1 1.7%	5 8.5%	5 8.5%
台湾	49 100.0%	4 8.2%	5 10.2%	6 12.2%	-	4 8.2%	-
アメリカ	35 100.0%	10 28.6%	2 5.7%	6 17.1%	2 5.7%	5 14.3%	-
その他	224 100.0%	52 23.2%	38 17.0%	37 16.5%	3 1.3%	16 7.1%	2 0.9%

【台東区居住年数別】

台東区での居住年数に関わらず、「外国人への偏見や差別をなくしてほしい」「外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい」が高く、「20年以上」で30%台であるのを除き、いずれも40%台以上となっている。

一方で、居住年数が浅いほど、「地域の行事や町会活動に誘ってほしい」「日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい」「挨拶など声をかけてほしい」がやや高い傾向がみられる。

図表 住民相互の理解のために日本人に求めること（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国人への偏見や差別をなくしてほしい	外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい	地域の行事や町会活動に誘ってほしい	日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい	挨拶など声をかけてほしい	自分たちの文化や習慣などを理解してほしい
全体	975 100.0%	550 56.4%	515 52.8%	273 28.0%	257 26.4%	230 23.6%	219 22.5%
1年未満	89 100.0%	58 65.2%	44 49.4%	30 33.7%	35 39.3%	32 36.0%	24 27.0%
1年～3年未満	354 100.0%	214 60.5%	205 57.9%	112 31.6%	109 30.8%	86 24.3%	76 21.5%
3年～5年未満	169 100.0%	95 56.2%	85 50.3%	46 27.2%	43 25.4%	43 25.4%	38 22.5%
5年～10年未満	189 100.0%	105 55.6%	108 57.1%	54 28.6%	35 18.5%	39 20.6%	46 24.3%
10年～20年未満	110 100.0%	54 49.1%	48 43.6%	21 19.1%	26 23.6%	21 19.1%	25 22.7%
20年以上	59 100.0%	22 37.3%	21 35.6%	10 16.9%	9 15.3%	9 15.3%	10 16.9%

上段:人数 下段:%	調査数	外国人との交流会などの行事に参加してほしい	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてください	外国語を習得するように努めてほしい	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	181 18.6%	155 15.9%	108 11.1%	12 1.2%	88 9.0%	16 1.6%
1年未満	89 100.0%	24 27.0%	19 21.3%	18 20.2%	- -	9 10.1%	- -
1年～3年未満	354 100.0%	70 19.8%	64 18.1%	41 11.6%	2 0.6%	18 5.1%	3 0.8%
3年～5年未満	169 100.0%	39 23.1%	26 15.4%	16 9.5%	2 1.2%	15 8.9%	2 1.2%
5年～10年未満	189 100.0%	29 15.3%	28 14.8%	19 10.1%	4 2.1%	19 10.1%	2 1.1%
10年～20年未満	110 100.0%	13 11.8%	15 13.6%	11 10.0%	2 1.8%	18 16.4%	2 1.8%
20年以上	59 100.0%	6 10.2%	3 5.1%	3 5.1%	2 3.4%	9 15.3%	7 11.9%

【年齢別】

年齢層に関わらず、「外国人への偏見や差別をなくしてほしい」「外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい」が他の項目と比較して高く、「60～69歳」で「外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい」が20%台半ばであるのを除き、いずれも40%台以上となっている。また、年齢が若いほど割合がやや高い傾向がみられる。

図表 住民相互の理解のために日本人に求めること（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国人への偏見や差別をなくしてほしい	外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい	地域の行事や町会活動に誘ってほしい	日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい	挨拶など声をかけてほしい	自分たちの文化や習慣などを理解してほしい
全体	975 100.0%	550 56.4%	515 52.8%	273 28.0%	257 26.4%	230 23.6%	219 22.5%
18～29歳	233 100.0%	142 60.9%	135 57.9%	61 26.2%	69 29.6%	56 24.0%	50 21.5%
30～39歳	385 100.0%	224 58.2%	210 54.5%	120 31.2%	95 24.7%	90 23.4%	86 22.3%
40～49歳	185 100.0%	97 52.4%	101 54.6%	55 29.7%	52 28.1%	42 22.7%	45 24.3%
50～59歳	103 100.0%	54 52.4%	49 47.6%	30 29.1%	34 33.0%	31 30.1%	28 27.2%
60～69歳	47 100.0%	20 42.6%	13 27.7%	6 12.8%	5 10.6%	8 17.0%	5 10.6%
70歳以上	19 100.0%	11 57.9%	6 31.6%	1 5.3%	1 5.3%	3 15.8%	4 21.1%

上段:人数 下段:%	調査数	外国人との交流会などの行事に参加してほしい	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてください	外国語を習得するように努めてほしい	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	181 18.6%	155 15.9%	108 11.1%	12 1.2%	88 9.0%	16 1.6%
18～29歳	233 100.0%	46 19.7%	38 16.3%	26 11.2%	1 0.4%	17 7.3%	1 0.4%
30～39歳	385 100.0%	79 20.5%	61 15.8%	48 12.5%	6 1.6%	35 9.1%	3 0.8%
40～49歳	185 100.0%	29 15.7%	30 16.2%	22 11.9%	3 1.6%	17 9.2%	1 0.5%
50～59歳	103 100.0%	24 23.3%	21 20.4%	12 11.7%	2 1.9%	9 8.7%	2 1.9%
60～69歳	47 100.0%	1 2.1%	5 10.6%	- -	- -	9 19.1%	4 8.5%
70歳以上	19 100.0%	- -	- -	- -	- -	1 5.3%	4 21.1%

【居住地域別】

地域に関わらず、「外国人への偏見や差別をなくしてほしい」「外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい」が他の項目と比較して高く、「雷門地区」で「外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい」が約40%であるのを除き、いずれも40%台以上となっている。

また、「金杉地区」では「地域の行事や町会活動に誘ってほしい」「日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 住民相互の理解のために日本人に求めること（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国人への偏見や差別をなくしてほしい	外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい	地域の行事や町会活動に誘ってほしい	日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい	挨拶など声をかけてほしい	自分たちの文化や習慣などを理解してほしい
全体	975 100.0%	550 56.4%	515 52.8%	273 28.0%	257 26.4%	230 23.6%	219 22.5%
竹町地区	40 100.0%	22 55.0%	21 52.5%	11 27.5%	5 12.5%	3 7.5%	7 17.5%
東上野地区	133 100.0%	82 61.7%	69 51.9%	35 26.3%	34 25.6%	26 19.5%	30 22.6%
上野地区	105 100.0%	55 52.4%	58 55.2%	23 21.9%	33 31.4%	26 24.8%	31 29.5%
入谷地区	211 100.0%	125 59.2%	107 50.7%	65 30.8%	54 25.6%	45 21.3%	48 22.7%
金杉地区	46 100.0%	22 47.8%	22 47.8%	18 39.1%	18 39.1%	14 30.4%	8 17.4%
谷中地区	21 100.0%	15 71.4%	11 52.4%	6 28.6%	4 19.0%	7 33.3%	4 19.0%
浅草橋地区	128 100.0%	74 57.8%	68 53.1%	33 25.8%	36 28.1%	31 24.2%	30 23.4%
浅草寿地区	104 100.0%	54 51.9%	58 55.8%	36 34.6%	30 28.8%	35 33.7%	24 23.1%
雷門地区	53 100.0%	29 54.7%	21 39.6%	14 26.4%	11 20.8%	9 17.0%	10 18.9%
馬道地区	53 100.0%	26 49.1%	31 58.5%	15 28.3%	8 15.1%	16 30.2%	10 18.9%
清川地区	67 100.0%	39 58.2%	41 61.2%	15 22.4%	22 32.8%	15 22.4%	15 22.4%

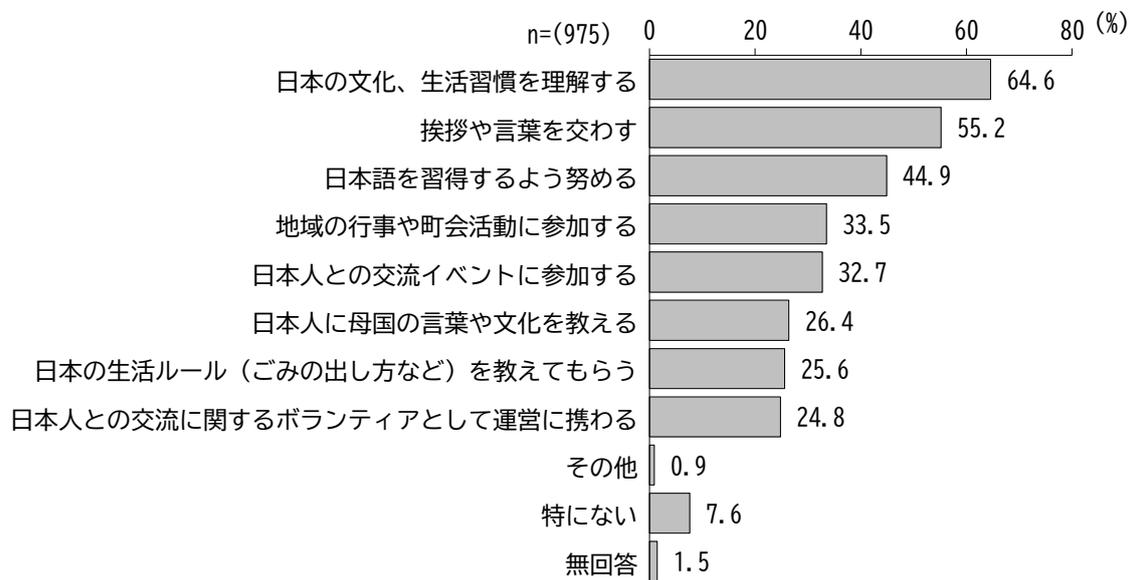
上段:人数 下段:%	調査数	外国人との交流会などの行事に参加してほしい	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてください	外国語を習得するように努めてほしい	その他	特にな	無回答
全体	975 100.0%	181 18.6%	155 15.9%	108 11.1%	12 1.2%	88 9.0%	16 1.6%
竹町地区	40 100.0%	6 15.0%	5 12.5%	3 7.5%	2 5.0%	6 15.0%	1 2.5%
東上野地区	133 100.0%	23 17.3%	23 17.3%	14 10.5%	-	9 6.8%	3 2.3%
上野地区	105 100.0%	22 21.0%	20 19.0%	13 12.4%	1 1.0%	8 7.6%	2 1.9%
入谷地区	211 100.0%	37 17.5%	21 10.0%	23 10.9%	4 1.9%	18 8.5%	1 0.5%
金杉地区	46 100.0%	10 21.7%	11 23.9%	5 10.9%	2 4.3%	4 8.7%	1 2.2%
谷中地区	21 100.0%	4 19.0%	4 19.0%	2 9.5%	-	2 9.5%	-
浅草橋地区	128 100.0%	34 26.6%	23 18.0%	17 13.3%	1 0.8%	8 6.3%	2 1.6%
浅草寿地区	104 100.0%	17 16.3%	21 20.2%	13 12.5%	1 1.0%	8 7.7%	2 1.9%
雷門地区	53 100.0%	7 13.2%	8 15.1%	6 11.3%	-	7 13.2%	-
馬道地区	53 100.0%	10 18.9%	6 11.3%	4 7.5%	-	6 11.3%	3 5.7%
清川地区	67 100.0%	10 14.9%	11 16.4%	6 9.0%	1 1.5%	9 13.4%	1 1.5%

(9) 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、自身が行おうと思うこと

問39 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるため、あなたが行おうと思うことは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

「日本の文化、生活習慣を理解する」(64.6%)が最も高く、「挨拶や言葉を交わす」(55.2%)も半数以上が挙げている。次いで、「日本語を習得するよう努める」(44.9%)、「地域の行事や町会活動に参加する」(33.5%)、「日本人との交流イベントに参加する」(32.7%)となっている。

図表 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、自身が行おうと思うこと(複数回答)



【国籍別】

「ベトナム」「フィリピン」では、「日本の文化、生活習慣を理解する」、「フィリピン」では「日本語を習得するよう努める」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

また、「アメリカ」「その他」では「挨拶や言葉を交わす」が全体平均と比較して5ポイント以上高く、「アメリカ」では「地域の行事や町会活動に参加する」「日本人との交流イベントに参加する」「日本人に母国の言葉や文化を教える」「日本人との交流に関するボランティアとして運営に携わる」も高くなっている。

図表 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、自身が行おうと思うこと（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本の文化、生活習慣を理解する	挨拶や言葉を交わす	日本語を習得するよう努める	地域の行事や町会活動に参加する	日本人との交流イベントに参加する	日本人に母国の言葉や文化を教える
全体	975 100.0%	630 64.6%	538 55.2%	438 44.9%	327 33.5%	319 32.7%	257 26.4%
中国	472 100.0%	308 65.3%	245 51.9%	218 46.2%	148 31.4%	162 34.3%	118 25.0%
韓国	92 100.0%	45 48.9%	42 45.7%	21 22.8%	22 23.9%	20 21.7%	17 18.5%
ベトナム	41 100.0%	33 80.5%	23 56.1%	17 41.5%	9 22.0%	11 26.8%	12 29.3%
フィリピン	59 100.0%	44 74.6%	25 42.4%	36 61.0%	15 25.4%	16 27.1%	10 16.9%
台湾	49 100.0%	28 57.1%	27 55.1%	14 28.6%	12 24.5%	10 20.4%	12 24.5%
アメリカ	35 100.0%	25 71.4%	25 71.4%	18 51.4%	24 68.6%	17 48.6%	14 40.0%
その他	224 100.0%	144 64.3%	151 67.4%	114 50.9%	96 42.9%	81 36.2%	73 32.6%

上段:人数 下段:%	調査数	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてもらう	日本人との交流に関するボランティアとして運営に携わる	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	250 25.6%	242 24.8%	9 0.9%	74 7.6%	15 1.5%
中国	472 100.0%	145 30.7%	121 25.6%	4 0.8%	29 6.1%	4 0.8%
韓国	92 100.0%	16 17.4%	12 13.0%	1 1.1%	16 17.4%	4 4.3%
ベトナム	41 100.0%	7 17.1%	5 12.2%	-	2 4.9%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	17 28.8%	14 23.7%	-	2 3.4%	2 3.4%
台湾	49 100.0%	10 20.4%	8 16.3%	-	8 16.3%	-
アメリカ	35 100.0%	9 25.7%	15 42.9%	1 2.9%	3 8.6%	-
その他	224 100.0%	45 20.1%	64 28.6%	3 1.3%	14 6.3%	4 1.8%

【台東区居住年数別】

台東区での居住年数に関わらず、「日本の文化、生活習慣を理解する」「挨拶や言葉を交わす」が高く、いずれも50%以上となっている。

一方で、居住年数が浅いほど、「日本語を習得するよう努める」「地域の行事や町会活動に参加する」「日本人に母国の言葉や文化を教える」がやや高い傾向がみられる。

図表 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、自身が行おうと思うこと（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本の文化、生活習慣を理解する	挨拶や言葉を交わす	日本語を習得するよう努める	地域の行事や町会活動に参加する	日本人との交流イベントに参加する	日本人に母国の言葉や文化を教える
全体	975 100.0%	630 64.6%	538 55.2%	438 44.9%	327 33.5%	319 32.7%	257 26.4%
1年未満	89 100.0%	64 71.9%	50 56.2%	48 53.9%	35 39.3%	33 37.1%	31 34.8%
1年～3年未満	354 100.0%	249 70.3%	201 56.8%	190 53.7%	129 36.4%	134 37.9%	101 28.5%
3年～5年未満	169 100.0%	111 65.7%	92 54.4%	76 45.0%	57 33.7%	64 37.9%	46 27.2%
5年～10年未満	189 100.0%	103 54.5%	99 52.4%	72 38.1%	61 32.3%	50 26.5%	43 22.8%
10年～20年未満	110 100.0%	69 62.7%	62 56.4%	34 30.9%	30 27.3%	28 25.5%	22 20.0%
20年以上	59 100.0%	30 50.8%	32 54.2%	18 30.5%	15 25.4%	9 15.3%	14 23.7%

上段:人数 下段:%	調査数	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてもらう	日本人との交流に関するボランティアとして運営に携わる	その他	特になし	無回答
全体	975 100.0%	250 25.6%	242 24.8%	9 0.9%	74 7.6%	15 1.5%
1年未満	89 100.0%	29 32.6%	25 28.1%	-	6 6.7%	1 1.1%
1年～3年未満	354 100.0%	106 29.9%	92 26.0%	-	18 5.1%	3 0.8%
3年～5年未満	169 100.0%	42 24.9%	44 26.0%	1 0.6%	12 7.1%	3 1.8%
5年～10年未満	189 100.0%	29 15.3%	45 23.8%	4 2.1%	17 9.0%	2 1.1%
10年～20年未満	110 100.0%	33 30.0%	27 24.5%	4 3.6%	14 12.7%	2 1.8%
20年以上	59 100.0%	11 18.6%	9 15.3%	-	7 11.9%	4 6.8%

【居住地域別】

地域に関わらず、「日本の文化、生活習慣を理解する」「挨拶や言葉を交わす」が高く、いずれも50%以上となっている。

また、「金杉地区」「浅草寿地区」では「日本語を習得するよう努める」、「竹町地区」では「日本人との交流イベントに参加する」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、自身が行おうと思うこと（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本の文化、生活習慣を理解する	挨拶や言葉を交わす	日本語を習得するよう努める	地域の行事や町会活動に参加する	日本人との交流イベントに参加する	日本人に母国の言葉や文化を教える
全体	975 100.0%	630 64.6%	538 55.2%	438 44.9%	327 33.5%	319 32.7%	257 26.4%
竹町地区	40 100.0%	21 52.5%	22 55.0%	18 45.0%	13 32.5%	16 40.0%	7 17.5%
東上野地区	133 100.0%	89 66.9%	68 51.1%	61 45.9%	50 37.6%	42 31.6%	33 24.8%
上野地区	105 100.0%	72 68.6%	61 58.1%	41 39.0%	27 25.7%	23 21.9%	20 19.0%
入谷地区	211 100.0%	144 68.2%	111 52.6%	91 43.1%	66 31.3%	74 35.1%	62 29.4%
金杉地区	46 100.0%	28 60.9%	28 60.9%	25 54.3%	14 30.4%	13 28.3%	11 23.9%
谷中地区	21 100.0%	11 52.4%	13 61.9%	9 42.9%	7 33.3%	6 28.6%	5 23.8%
浅草橋地区	128 100.0%	86 67.2%	68 53.1%	53 41.4%	46 35.9%	48 37.5%	36 28.1%
浅草寿地区	104 100.0%	67 64.4%	64 61.5%	53 51.0%	39 37.5%	40 38.5%	35 33.7%
雷門地区	53 100.0%	28 52.8%	28 52.8%	23 43.4%	17 32.1%	14 26.4%	10 18.9%
馬道地区	53 100.0%	34 64.2%	30 56.6%	24 45.3%	18 34.0%	18 34.0%	12 22.6%
清川地区	67 100.0%	41 61.2%	36 53.7%	33 49.3%	24 35.8%	20 29.9%	22 32.8%

上段:人数 下段:%	調査数	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてもらう	日本人との交流に関するボランティアとして運営に携わる	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	250 25.6%	242 24.8%	9 0.9%	74 7.6%	15 1.5%
竹町地区	40 100.0%	12 30.0%	8 20.0%	2 5.0%	4 10.0%	1 2.5%
東上野地区	133 100.0%	24 18.0%	30 22.6%	1 0.8%	9 6.8%	3 2.3%
上野地区	105 100.0%	28 26.7%	18 17.1%	-	8 7.6%	2 1.9%
入谷地区	211 100.0%	54 25.6%	57 27.0%	5 2.4%	13 6.2%	2 0.9%
金杉地区	46 100.0%	15 32.6%	12 26.1%	-	5 10.9%	1 2.2%
谷中地区	21 100.0%	6 28.6%	4 19.0%	-	3 14.3%	-
浅草橋地区	128 100.0%	36 28.1%	40 31.3%	-	7 5.5%	2 1.6%
浅草寿地区	104 100.0%	28 26.9%	31 29.8%	-	10 9.6%	1 1.0%
雷門地区	53 100.0%	15 28.3%	11 20.8%	-	5 9.4%	2 3.8%
馬道地区	53 100.0%	10 18.9%	12 22.6%	-	1 1.9%	1 1.9%
清川地区	67 100.0%	17 25.4%	15 22.4%	1 1.5%	8 11.9%	-

【年齢別】

「18～29歳」で「日本の文化、生活習慣を理解する」が70.8%、30～59歳で「日本の文化、生活習慣を理解する」が60%台、「挨拶や言葉を交わす」が50%台と高くなっている。

図表 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、自身が行おうと思うこと（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本の文化、生活習慣を理解する	挨拶や言葉を交わす	日本語を習得するよう努める	地域の行事や町会活動に参加する	日本人との交流イベントに参加する	日本人に母国の言葉や文化を教える
全体	975 100.0%	630 64.6%	538 55.2%	438 44.9%	327 33.5%	319 32.7%	257 26.4%
18～29歳	233 100.0%	165 70.8%	111 47.6%	107 45.9%	75 32.2%	76 32.6%	62 26.6%
30～39歳	385 100.0%	251 65.2%	223 57.9%	183 47.5%	137 35.6%	142 36.9%	110 28.6%
40～49歳	185 100.0%	113 61.1%	109 58.9%	87 47.0%	71 38.4%	62 33.5%	51 27.6%
50～59歳	103 100.0%	70 68.0%	60 58.3%	46 44.7%	34 33.0%	30 29.1%	27 26.2%
60～69歳	47 100.0%	21 44.7%	22 46.8%	11 23.4%	6 12.8%	6 12.8%	5 10.6%
70歳以上	19 100.0%	7 36.8%	13 68.4%	4 21.1%	3 15.8%	1 5.3%	1 5.3%

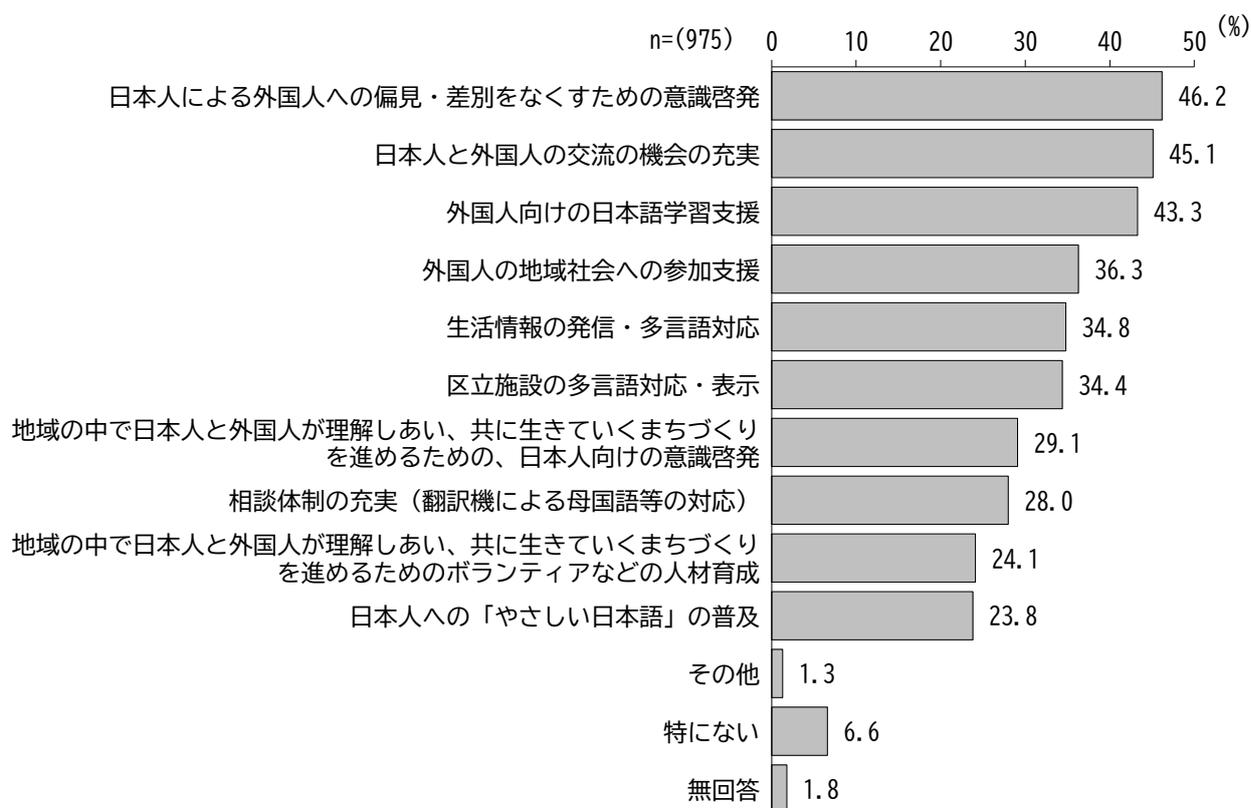
上段:人数 下段:%	調査数	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてもらう	日本人との交流に関するボランティアとして運営に携わる	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	250 25.6%	242 24.8%	9 0.9%	74 7.6%	15 1.5%
18～29歳	233 100.0%	58 24.9%	57 24.5%	-	15 6.4%	2 0.9%
30～39歳	385 100.0%	98 25.5%	97 25.2%	4 1.0%	33 8.6%	2 0.5%
40～49歳	185 100.0%	46 24.9%	51 27.6%	1 0.5%	11 5.9%	2 1.1%
50～59歳	103 100.0%	33 32.0%	26 25.2%	4 3.9%	6 5.8%	3 2.9%
60～69歳	47 100.0%	11 23.4%	8 17.0%	-	5 10.6%	4 8.5%
70歳以上	19 100.0%	3 15.8%	-	-	4 21.1%	2 10.5%

## (10) 台東区が力を入れるべきだと思うこと

問40 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、台東区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

「日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」(46.2%)が最も高く、次いで、「日本人と外国人の交流の機会の充実」(45.1%)、「外国人向けの日本語学習支援」(43.3%)、「外国人の地域社会への参加支援」(36.3%)となっている。

図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと(複数回答)



【国籍別】

「アメリカ」では、「日本人と外国人の交流の機会の充実」「外国人の地域社会への参加支援」「地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるための、日本人向けの意識啓発」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

また、「ベトナム」「フィリピン」「その他」では「外国人向けの日本語学習支援」が全体平均と比較して5ポイント以上高く、「フィリピン」では「生活情報の発信・多言語対応」「区立施設の多言語対応・表示」「日本人への『やさしい日本語』の普及」も高くなっている。

図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発	日本人と外国人の交流の機会の充実	外国人向けの日本語学習支援	外国人の地域社会への参加支援	生活情報の発信・多言語対応	区立施設の多言語対応・表示	地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるための、日本人向けの意識啓発
全体	975 100.0%	450 46.2%	440 45.1%	422 43.3%	354 36.3%	339 34.8%	335 34.4%	284 29.1%
中国	472 100.0%	220 46.6%	228 48.3%	189 40.0%	173 36.7%	163 34.5%	151 32.0%	128 27.1%
韓国	92 100.0%	42 45.7%	35 38.0%	19 20.7%	36 39.1%	19 20.7%	18 19.6%	25 27.2%
ベトナム	41 100.0%	19 46.3%	11 26.8%	23 56.1%	11 26.8%	18 43.9%	20 48.8%	10 24.4%
フィリピン	59 100.0%	27 45.8%	24 40.7%	34 57.6%	21 35.6%	28 47.5%	34 57.6%	22 37.3%
台湾	49 100.0%	21 42.9%	18 36.7%	14 28.6%	17 34.7%	12 24.5%	5 10.2%	12 24.5%
アメリカ	35 100.0%	15 42.9%	20 57.1%	17 48.6%	15 42.9%	14 40.0%	11 31.4%	16 45.7%
その他	224 100.0%	104 46.4%	104 46.4%	124 55.4%	80 35.7%	84 37.5%	94 42.0%	71 31.7%

上段:人数 下段:%	調査数	相談体制の充実(翻訳機による母国語等の対応)	地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるためのボランティアなどの人材育成	日本人への「やさしい日本語」の普及	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	273 28.0%	235 24.1%	232 23.8%	13 1.3%	64 6.6%	18 1.8%
中国	472 100.0%	127 26.9%	126 26.7%	95 20.1%	3 0.6%	28 5.9%	5 1.1%
韓国	92 100.0%	16 17.4%	14 15.2%	9 9.8%	2 2.2%	9 9.8%	5 5.4%
ベトナム	41 100.0%	16 39.0%	8 19.5%	7 17.1%	-	2 4.9%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	20 33.9%	16 27.1%	29 49.2%	-	1 1.7%	3 5.1%
台湾	49 100.0%	12 24.5%	6 12.2%	7 14.3%	-	8 16.3%	-
アメリカ	35 100.0%	10 28.6%	9 25.7%	5 14.3%	2 5.7%	3 8.6%	-
その他	224 100.0%	72 32.1%	56 25.0%	78 34.8%	6 2.7%	13 5.8%	4 1.8%

【台東区居住年数別】

「日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」「日本人と外国人の交流の機会の充実」は居住年数が浅いほど、割合が高い傾向にある。

図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発	日本人と外国人の交流の機会の充実	外国人向けの日本語学習支援	外国人の地域社会への参加支援	生活情報の発信・多言語対応	区立施設の多言語対応・表示	地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるための、日本人向けの意識啓発
全体	975 100.0%	450 46.2%	440 45.1%	422 43.3%	354 36.3%	339 34.8%	335 34.4%	284 29.1%
1年未満	89 100.0%	47 52.8%	46 51.7%	46 51.7%	30 33.7%	38 42.7%	39 43.8%	21 23.6%
1年～3年未満	354 100.0%	174 49.2%	180 50.8%	173 48.9%	137 38.7%	140 39.5%	123 34.7%	112 31.6%
3年～5年未満	169 100.0%	84 49.7%	78 46.2%	64 37.9%	60 35.5%	58 34.3%	57 33.7%	55 32.5%
5年～10年未満	189 100.0%	82 43.4%	84 44.4%	76 40.2%	72 38.1%	48 25.4%	56 29.6%	56 29.6%
10年～20年未満	110 100.0%	46 41.8%	37 33.6%	46 41.8%	36 32.7%	36 32.7%	39 35.5%	25 22.7%
20年以上	59 100.0%	17 28.8%	15 25.4%	15 25.4%	17 28.8%	19 32.2%	20 33.9%	14 23.7%

上段:人数 下段:%	調査数	相談体制の充実(翻訳機による母国語等の対応)	地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるためのボランティアなどの人材育成	日本人への「やさしい日本語」の普及	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	273 28.0%	235 24.1%	232 23.8%	13 1.3%	64 6.6%	18 1.8%
1年未満	89 100.0%	25 28.1%	22 24.7%	28 31.5%	1 1.1%	5 5.6%	1 1.1%
1年～3年未満	354 100.0%	99 28.0%	95 26.8%	93 26.3%	2 0.6%	17 4.8%	4 1.1%
3年～5年未満	169 100.0%	41 24.3%	38 22.5%	38 22.5%	1 0.6%	11 6.5%	4 2.4%
5年～10年未満	189 100.0%	58 30.7%	42 22.2%	32 16.9%	5 2.6%	14 7.4%	2 1.1%
10年～20年未満	110 100.0%	36 32.7%	26 23.6%	29 26.4%	2 1.8%	10 9.1%	1 0.9%
20年以上	59 100.0%	14 23.7%	12 20.3%	12 20.3%	2 3.4%	7 11.9%	6 10.2%

【台東区の暮らしやすさ別】

台東区が暮らしやすいと感じる人（「とても暮らしやすい」「暮らしやすい」の合計）は、「あまり暮らしやすくない」人と比較すると、「日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」「日本人と外国人の交流の機会の充実」「外国人への日本語学習支援」「外国人の地域社会への参加支援」「生活情報の発信・多言語対応」「区立施設の多言語対応・表示」の割合が高い。

図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと（台東区の暮らしやすさ別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発	日本人と外国人の交流の機会の充実	外国人向けの日本語学習支援	外国人の地域社会への参加支援	生活情報の発信・多言語対応	区立施設の多言語対応・表示	地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるための、日本人向けの意識啓発
全体	975 100.0%	450 46.2%	440 45.1%	422 43.3%	354 36.3%	339 34.8%	335 34.4%	284 29.1%
とても暮らしやすい	383 100.0%	166 43.3%	173 45.2%	157 41.0%	143 37.3%	125 32.6%	125 32.6%	112 29.2%
暮らしやすい	493 100.0%	234 47.5%	234 47.5%	226 45.8%	178 36.1%	183 37.1%	178 36.1%	142 28.8%
あまり暮らしやすくない	31 100.0%	9 29.0%	9 29.0%	13 41.9%	7 22.6%	8 25.8%	12 38.7%	8 25.8%
暮らしにくい	3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	- -	- -	- -	- -	1 33.3%
どちらともいえない	61 100.0%	37 60.7%	20 32.8%	24 39.3%	23 37.7%	21 34.4%	17 27.9%	19 31.1%

上段:人数 下段:%	調査数	相談体制の充実(翻訳機による母国語等の対応)	地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるためのボランティアなどの人材育成	日本人への「やさしい日本語」の普及	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	273 28.0%	235 24.1%	232 23.8%	13 1.3%	64 6.6%	18 1.8%
とても暮らしやすい	383 100.0%	115 30.0%	93 24.3%	95 24.8%	4 1.0%	27 7.0%	6 1.6%
暮らしやすい	493 100.0%	135 27.4%	119 24.1%	112 22.7%	6 1.2%	30 6.1%	10 2.0%
あまり暮らしやすくない	31 100.0%	6 19.4%	5 16.1%	9 29.0%	2 6.5%	- -	1 3.2%
暮らしにくい	3 100.0%	- -	1 33.3%	- -	- -	- -	- -
どちらともいえない	61 100.0%	16 26.2%	15 24.6%	14 23.0%	1 1.6%	7 11.5%	1 1.6%

【年齢別】

年齢が若いほど「日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」の割合が高い。また、「40～49歳」で「外国人の地域社会への参加支援」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発	日本人と外国人の交流の機会の充実	外国人向けの日本語学習支援	外国人の地域社会への参加支援	生活情報の発信・多言語対応	区立施設の多言語対応・表示	地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるための、日本人向けの意識啓発
全体	975 100.0%	450 46.2%	440 45.1%	422 43.3%	354 36.3%	339 34.8%	335 34.4%	284 29.1%
18～29歳	233 100.0%	114 48.9%	113 48.5%	93 39.9%	69 29.6%	90 38.6%	81 34.8%	64 27.5%
30～39歳	385 100.0%	185 48.1%	183 47.5%	176 45.7%	150 39.0%	129 33.5%	133 34.5%	133 34.5%
40～49歳	185 100.0%	83 44.9%	84 45.4%	91 49.2%	81 43.8%	61 33.0%	68 36.8%	49 26.5%
50～59歳	103 100.0%	44 42.7%	48 46.6%	45 43.7%	37 35.9%	40 38.8%	37 35.9%	25 24.3%
60～69歳	47 100.0%	17 36.2%	9 19.1%	12 25.5%	11 23.4%	12 25.5%	11 23.4%	9 19.1%
70歳以上	19 100.0%	5 26.3%	3 15.8%	3 15.8%	5 26.3%	6 31.6%	3 15.8%	4 21.1%

上段:人数 下段:%	調査数	相談体制の充実(翻訳機による母国語等の対応)	地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるためのボランティアなどの人材育成	日本人への「やさしい日本語」の普及	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	273 28.0%	235 24.1%	232 23.8%	13 1.3%	64 6.6%	18 1.8%
18～29歳	233 100.0%	62 26.6%	56 24.0%	53 22.7%	1 0.4%	16 6.9%	1 0.4%
30～39歳	385 100.0%	112 29.1%	92 23.9%	97 25.2%	7 1.8%	26 6.8%	2 0.5%
40～49歳	185 100.0%	54 29.2%	55 29.7%	51 27.6%	3 1.6%	10 5.4%	3 1.6%
50～59歳	103 100.0%	34 33.0%	24 23.3%	19 18.4%	2 1.9%	6 5.8%	3 2.9%
60～69歳	47 100.0%	10 21.3%	5 10.6%	8 17.0%	-	4 8.5%	4 8.5%
70歳以上	19 100.0%	1 5.3%	3 15.8%	2 10.5%	-	2 10.5%	5 26.3%

## 6. 地域での活動について

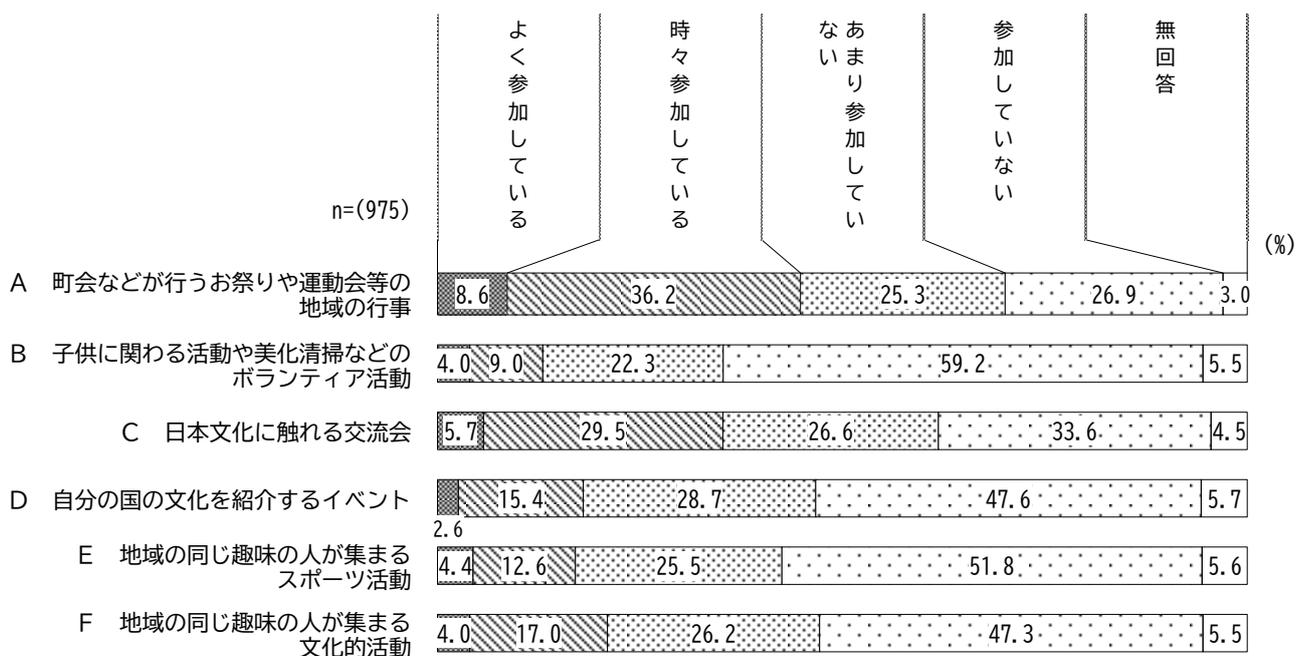
### (1) 地域活動の参加状況

問41 地域の活動に参加していますか。(それぞれひとつに○)

「よく参加している」「時々参加している」の合計の割合は、「A 町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」(44.8%)、「C 日本文化に触れる交流会」(35.2%)、「F 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」(21.0%)の順に高い。

一方、「参加していない」「あまり参加していない」の合計では、「B 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動」(81.5%)が80%を超え、「E 地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動」(77.3%)、「D 自分の国の文化を紹介するイベント」(76.3%)、「F 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」(73.5%)がいずれも70%以上となっている。

図表 地域活動の参加状況 (単一回答)



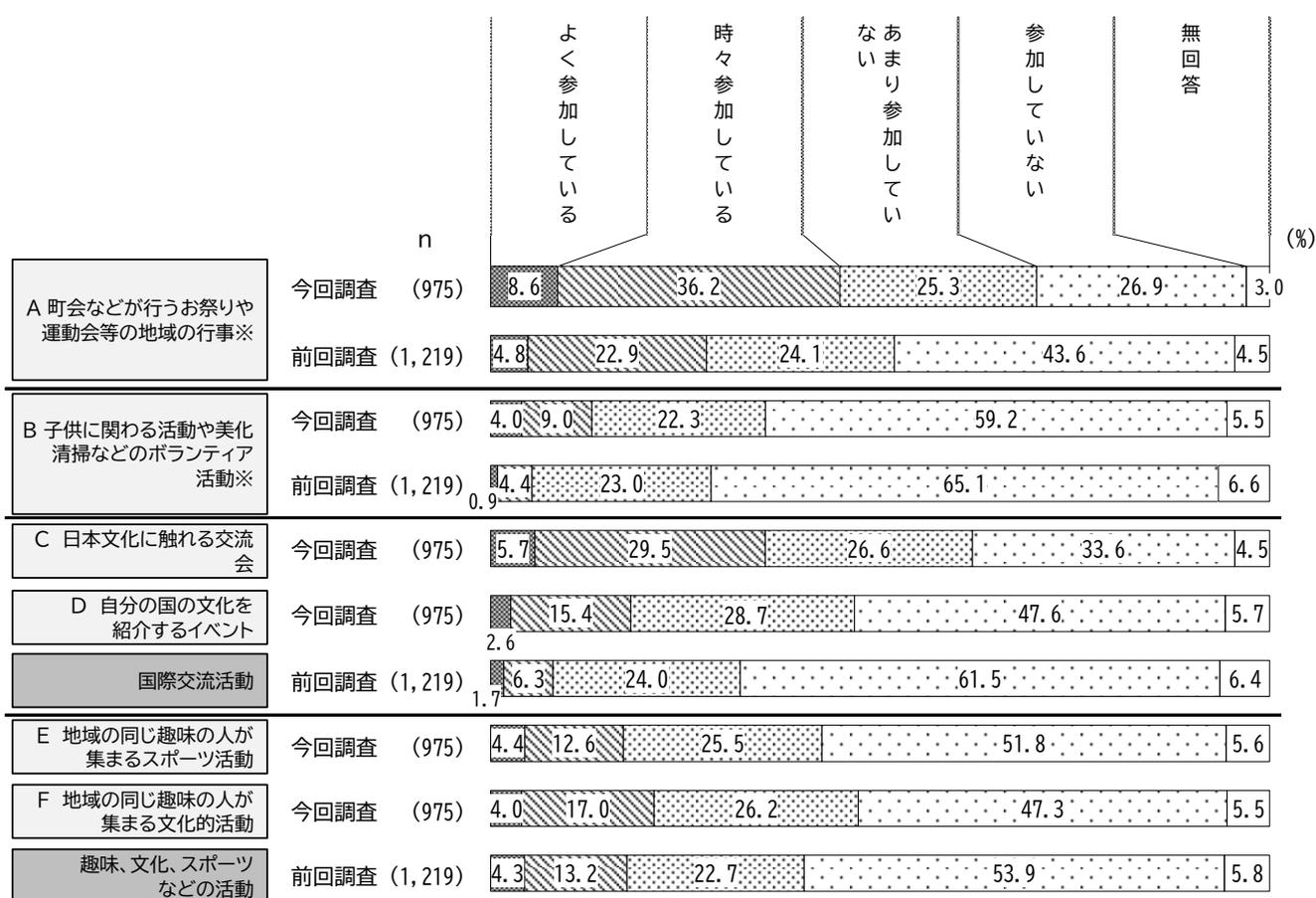
【経年比較】

前回との比較では、「A 町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」で「時々参加している」が13.3ポイント増加し、「よく参加している」「時々参加している」の合計が17.1ポイント増加している。また、「B 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動」で「よく参加している」「時々参加している」の合計が7.7ポイント増加している。

また、前回とは項目名が異なるため参考程度にとどめるが、「C 日本文化に触れる交流会」「D 自分の国の文化を紹介するイベント」は前回の「国際交流活動」と比較すると、「よく参加している」「時々参加している」の合計が増加している。

「E 地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動」「F 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」は前回の「趣味、文化、スポーツなどの活動」と比較すると、「F 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」のみ「よく参加している」「時々参加している」の合計がやや増加している傾向がみられる。

図表 【経年比較】 地域活動の参加状況（単一回答）



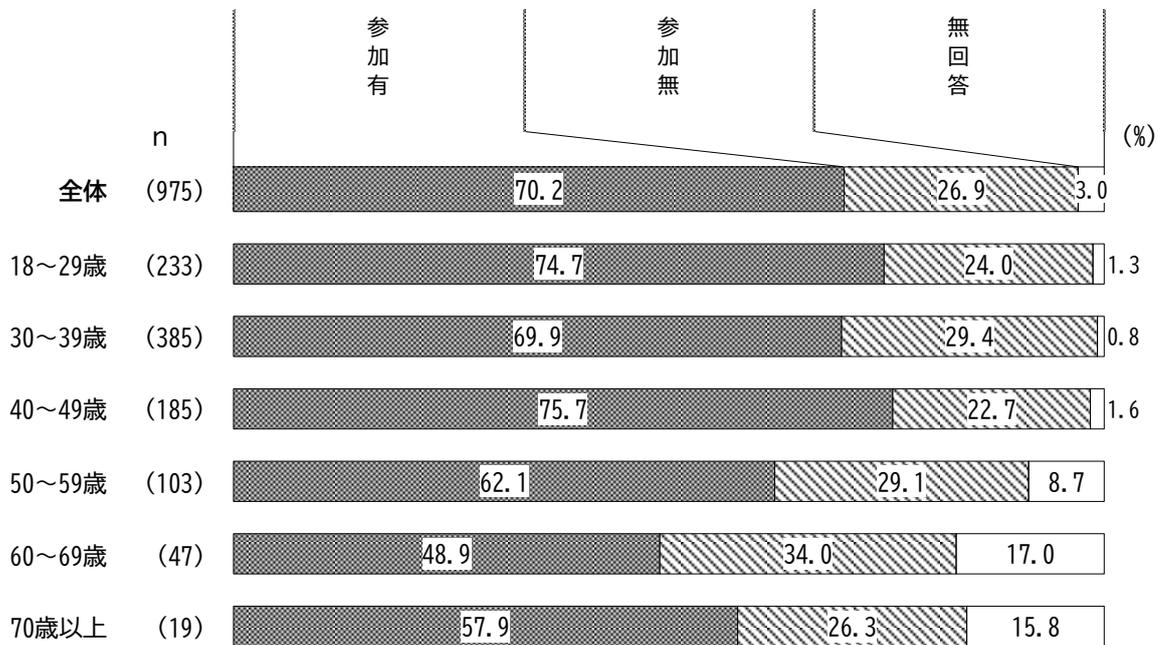
※前回調査の設問では「A. 町会等の地域の行事（お祭り等）」「B. 地域のボランティア活動」となっていた。

【A. 町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事】

【年齢別】

「参加有」は「18～29歳」「40～49歳」で70%台、「30～39歳」「50～59歳」で60%台、「60～69歳」で40%台となっている。

図表 地域活動の参加状況  
【A. 町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事】（年齢別）

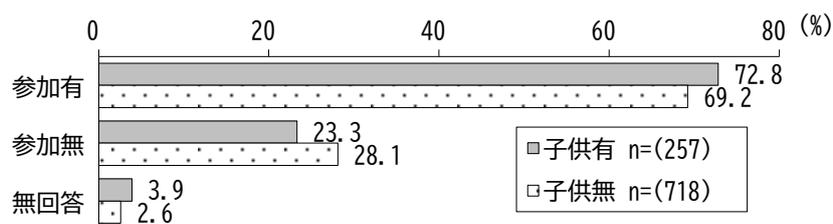


※「参加有」は「よく参加している」「時々参加している」「あまり参加していない」の計、「参加無」は「参加していない」の計として集計している（以下同様）

【子供の有無別】

特に大きな差異はみられない。

図表 地域活動の参加状況  
【A. 町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事】（子供の有無別）



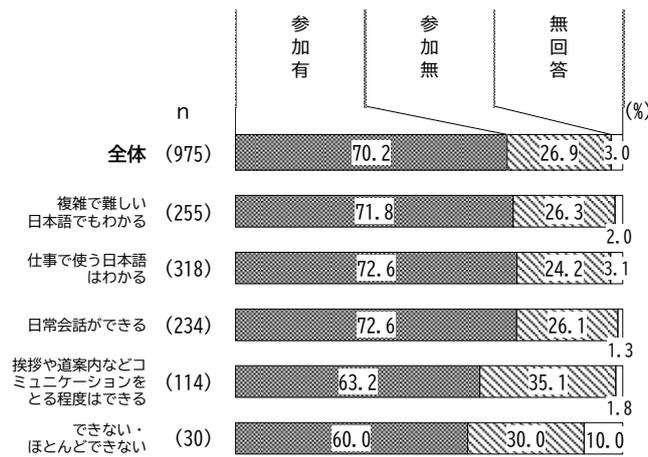
【日本語習得度別】

「聞く」「話す」「読む」「書く」いずれについても「できない・ほとんどできない」で、「参加有」が60%台と全体平均と比較して5ポイント以上低い。

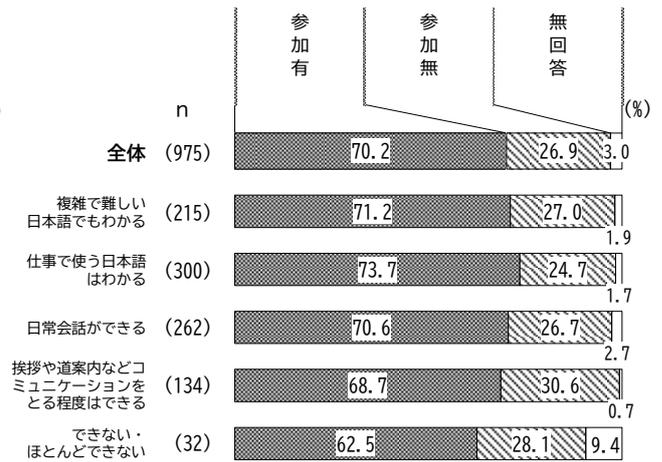
図表 地域活動の参加状況

【A. 町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事】（日本語習得度別）

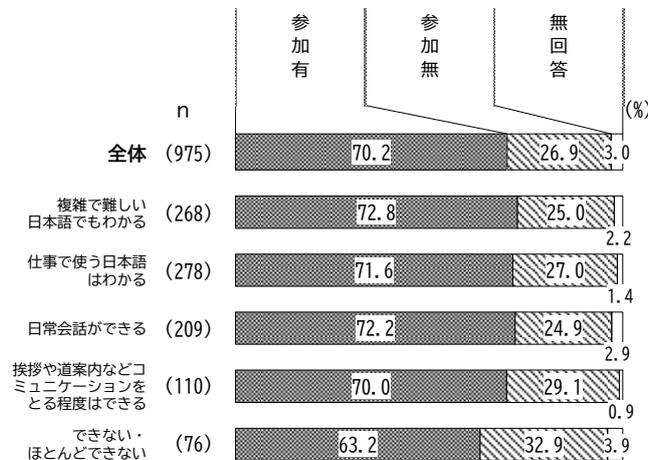
【聞く】



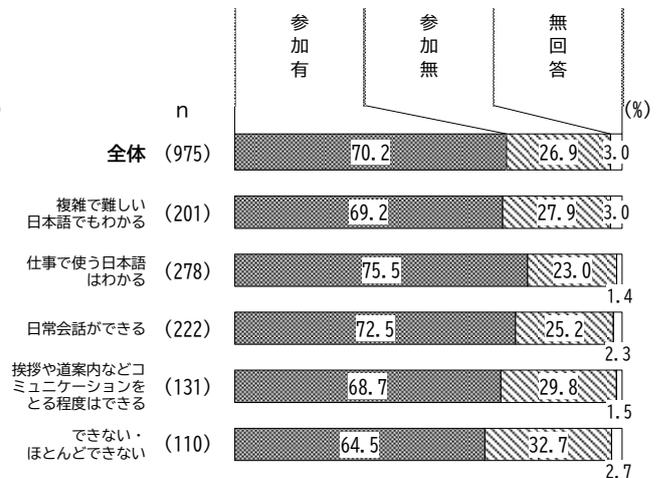
【話す】



【読む】



【書く】

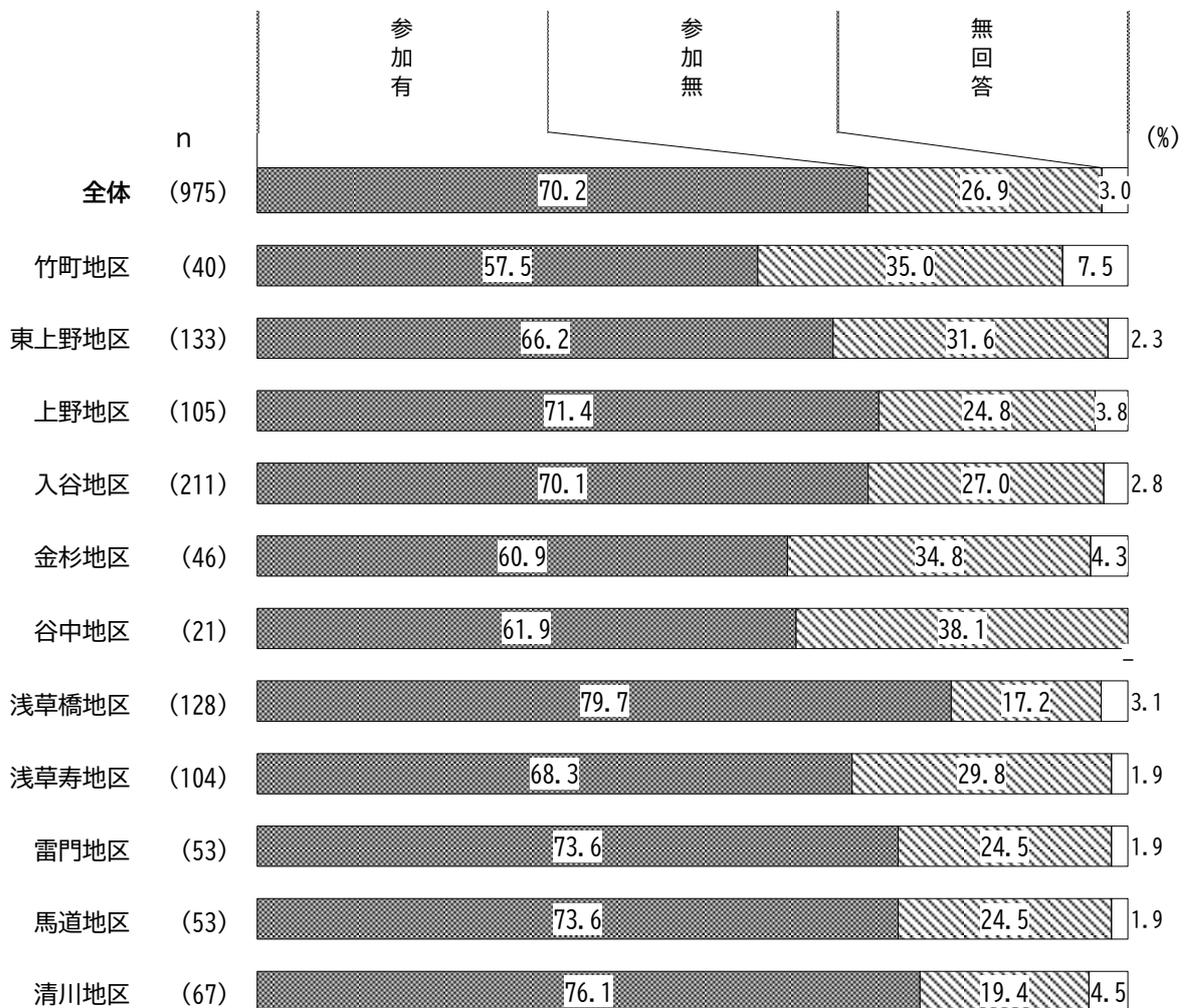


【居住地域別】

「参加有」は「浅草橋地区」で約80%となっている一方で、「竹町地区」で57.5%と低い。

図表 地域活動の参加状況

【A. 町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事】(居住地域別)



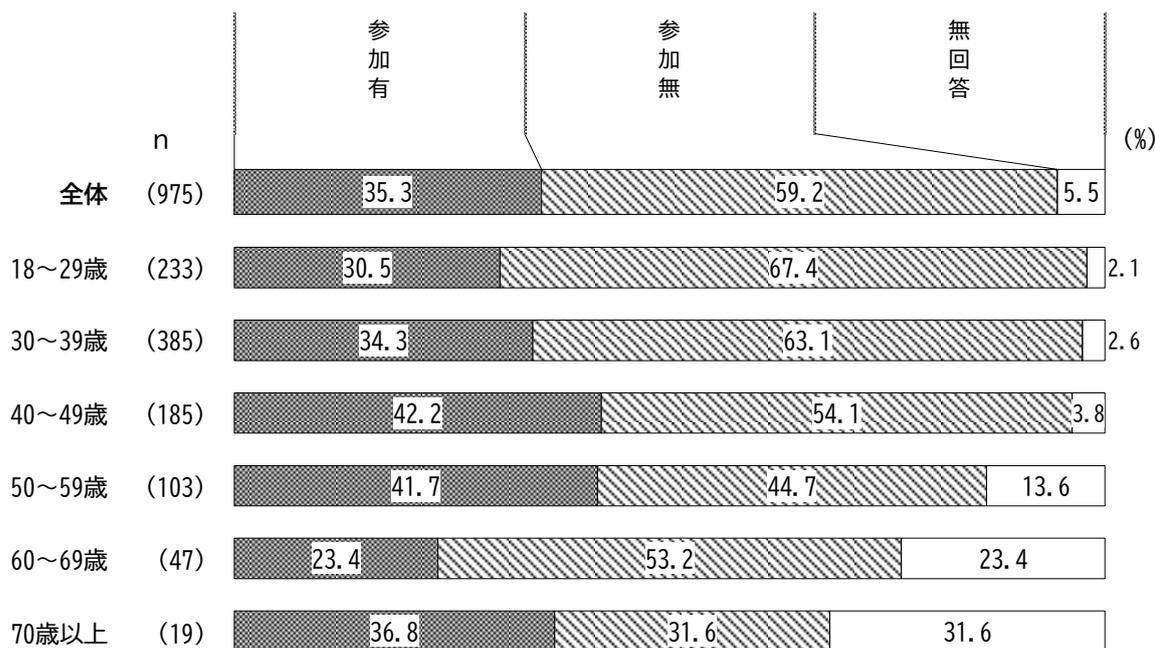
【B. 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動】

【年齢別】

「参加有」は「40～49歳」「50～59歳」で40%台、「18～29歳」「30～39歳」で30%台、「60～69歳」で20%を超えている。

図表 地域活動の参加状況

【B. 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動】（年齢別）

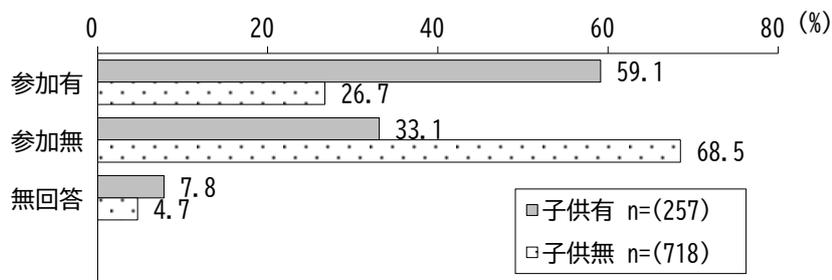


【子供の有無別】

「子供有」は「参加有」が59.1%で、「子供無」と比べて30ポイント以上高くなっている。

図表 地域活動の参加状況

【B. 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動】（子供の有無別）

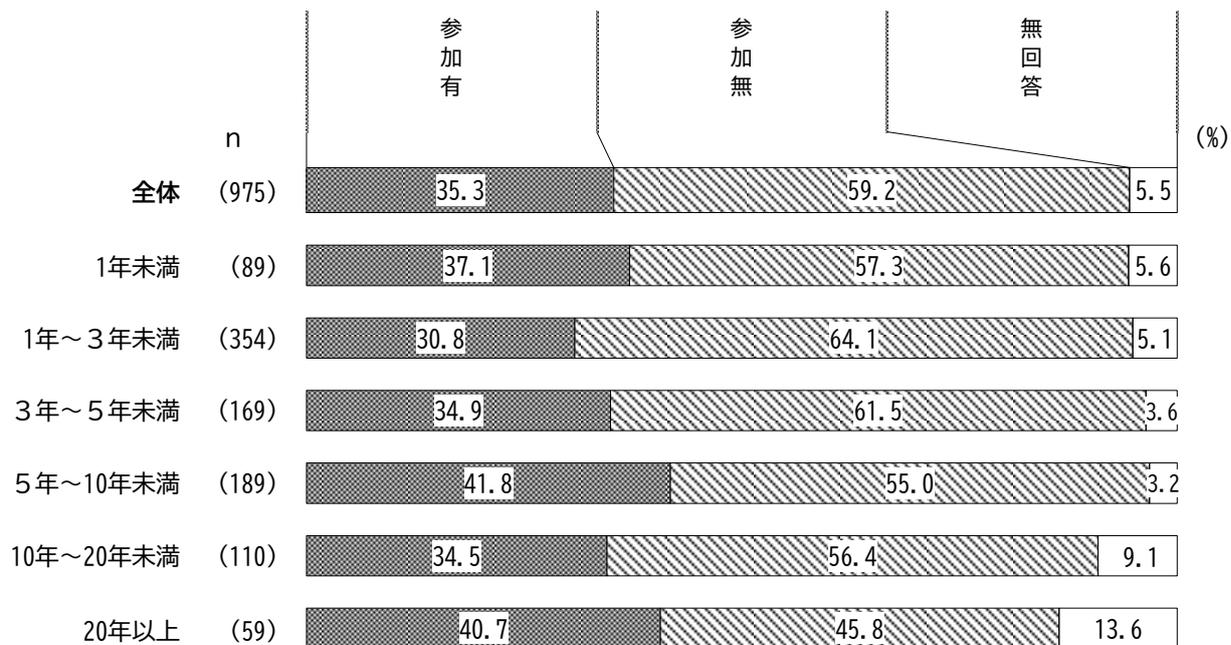


【台東区居住年数別】

すべての居住年数で「参加無」が「参加有」を上回っており、特に「1年～3年未満」「3年～5年未満」で「参加無」が60%台と高くなっている。

図表 地域活動の参加状況

【B. 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動】（台東区居住年数別）



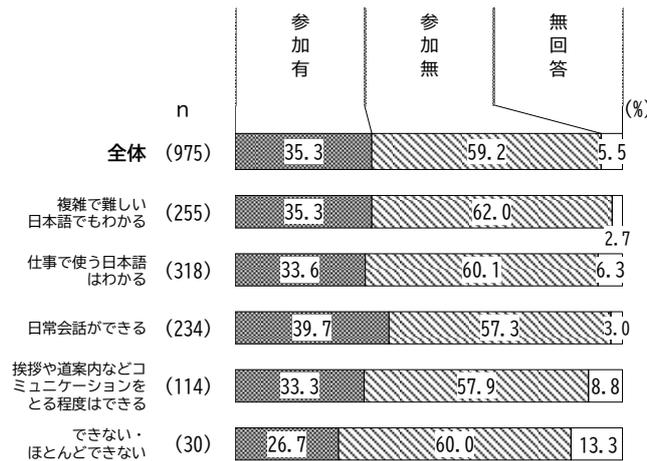
【日本語習得度別】

「聞く」が「できない・ほとんどできない」で、「参加有」が20%台半ばと低い。

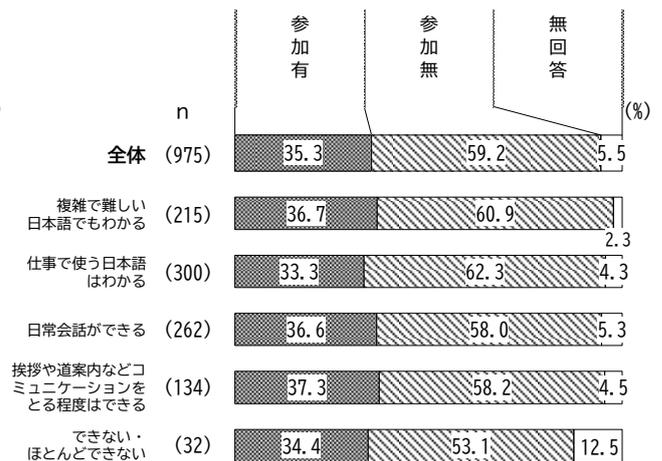
一方、「話す」「読む」「書く」では、日本語習得度別の参加状況にほとんど差異はみられない。

図表 地域活動の参加状況【B. 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動】  
(日本語習得度別)

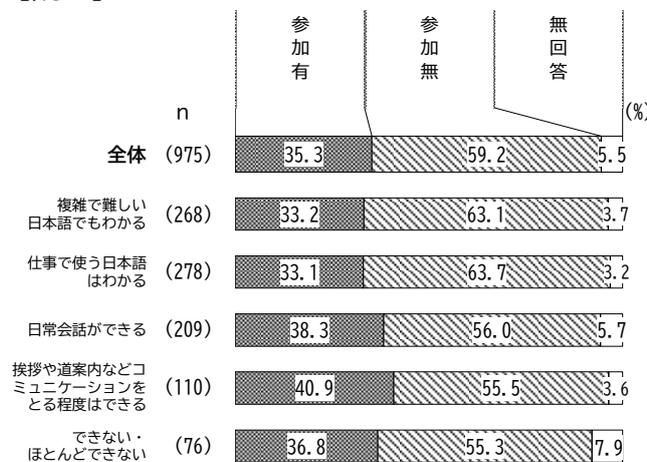
【聞く】



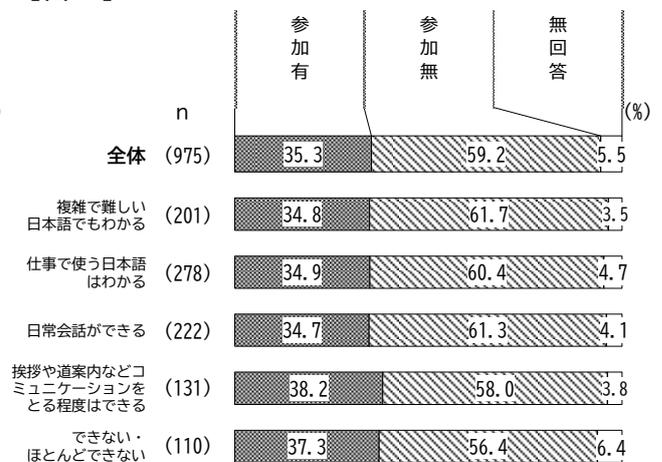
【話す】



【読む】



【書く】

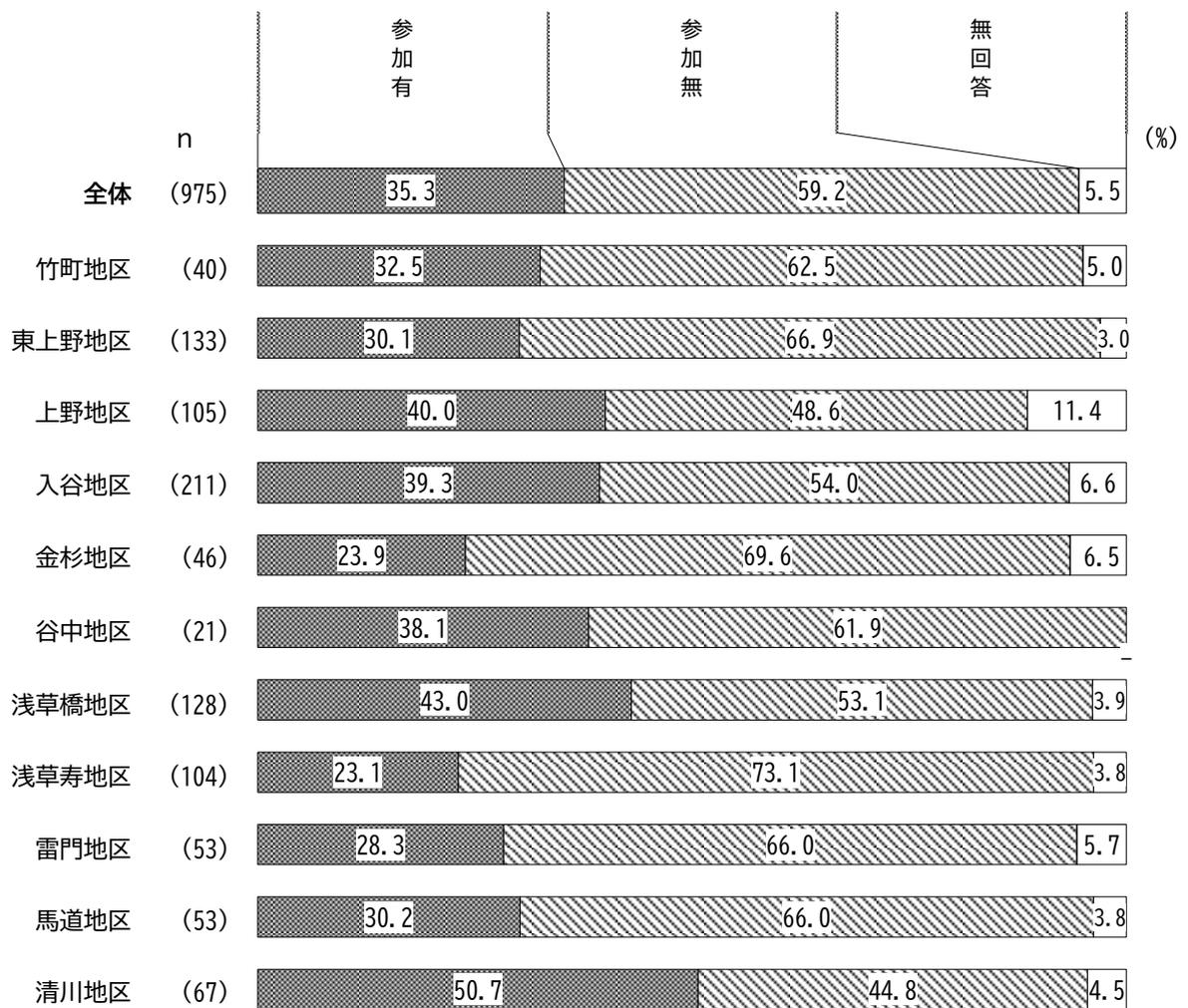


【居住地域別】

「参加有」は「清川地区」で約50%となっている一方で、「金杉地区」「浅草寿地区」「雷門地区」で20%台と低い。

図表 地域活動の参加状況

【B. 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動】（居住地域別）

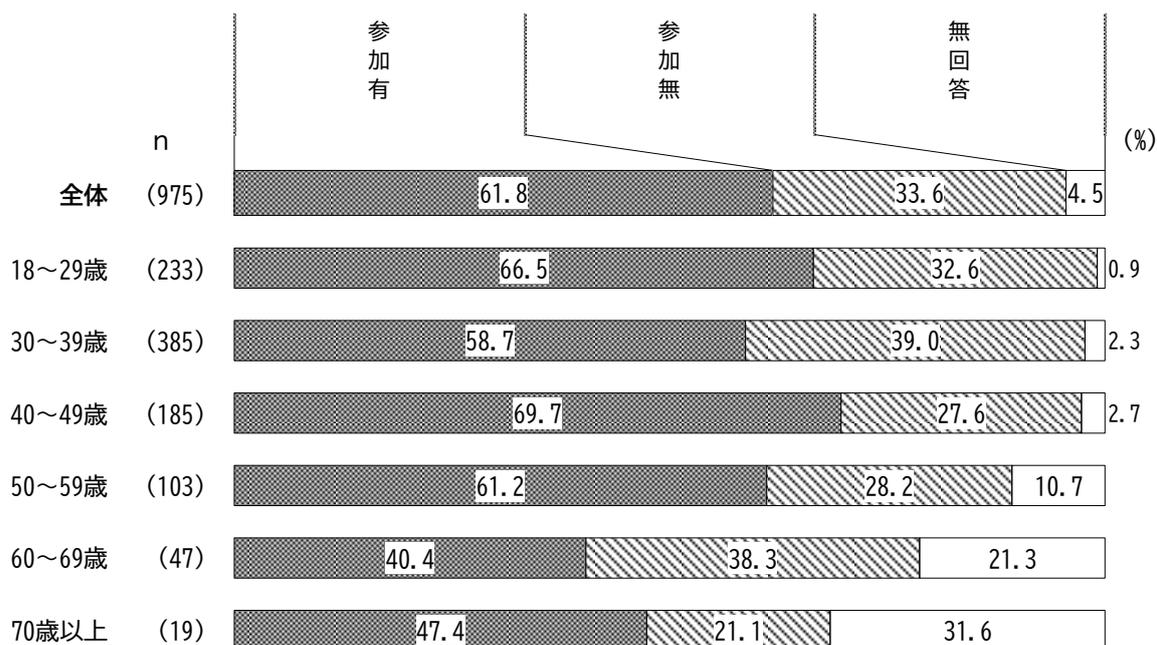


【C. 日本文化に触れる交流会】

【年齢別】

「参加有」は「18～29歳」「40～49歳」「50～59歳」で60%台であるものの、「60～69歳」では40.4%と低くなっている。

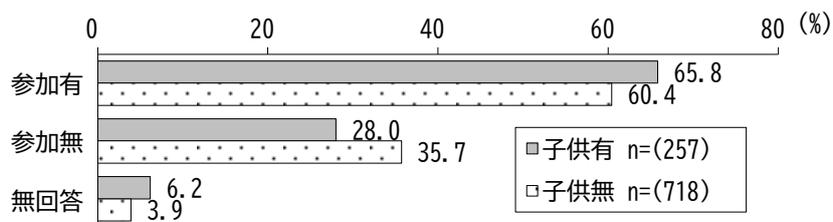
図表 地域活動の参加状況  
【C. 日本文化に触れる交流会】（年齢別）



【子供の有無別】

「子供有」「子供無」とともに60%台が「参加有」と回答しているが、「子供有」ではやや高くなっている。

図表 地域活動の参加状況  
【C. 日本文化に触れる交流会】（子供の有無別）

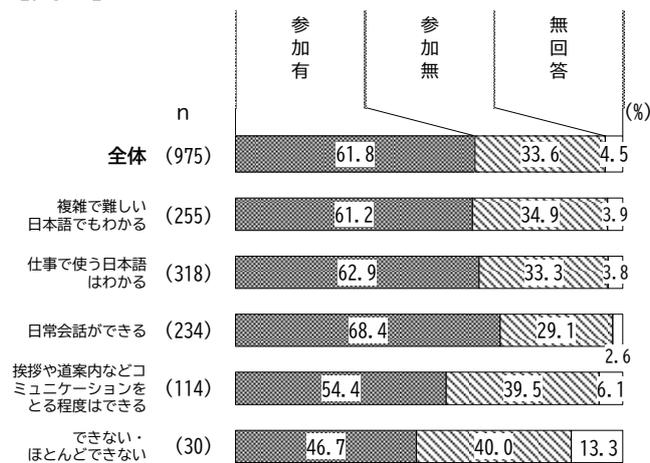


【日本語習得度別】

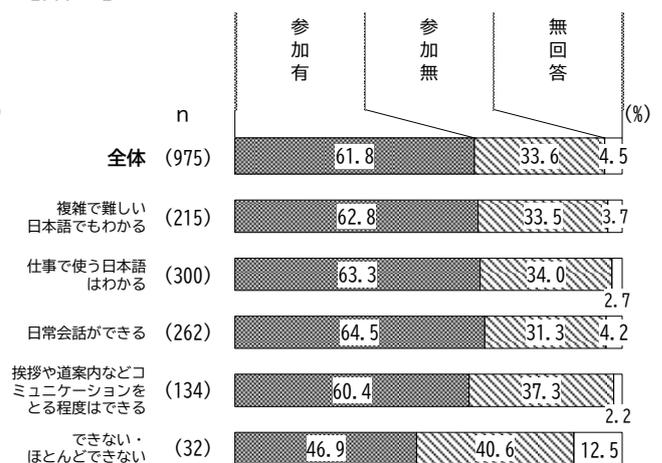
「聞く」「話す」が「できない・ほとんどできない」で「参加有」が40%台、「読む」「書く」が「できない・ほとんどできない」で「参加有」が50%台と、全体平均と比較して5ポイント以上低い。

図表 地域活動の参加状況  
【C. 日本文化に触れる交流会】(日本語習得度別)

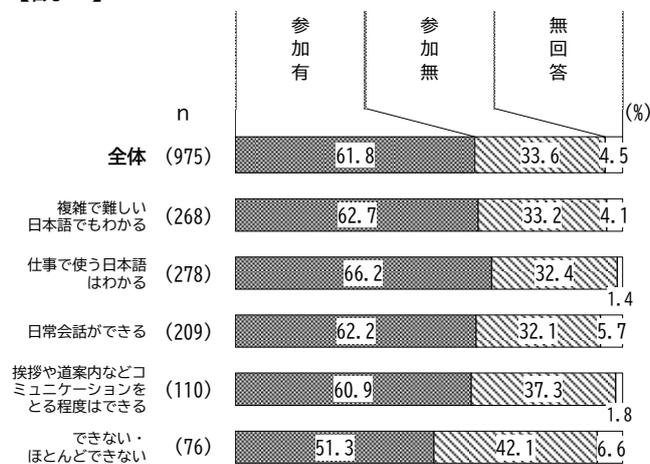
【聞く】



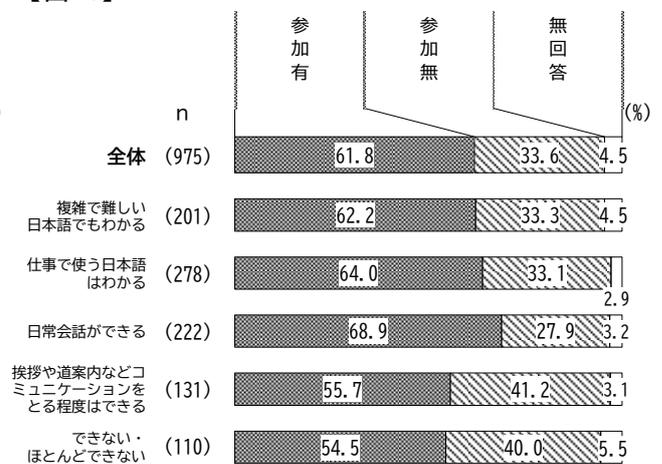
【話す】



【読む】



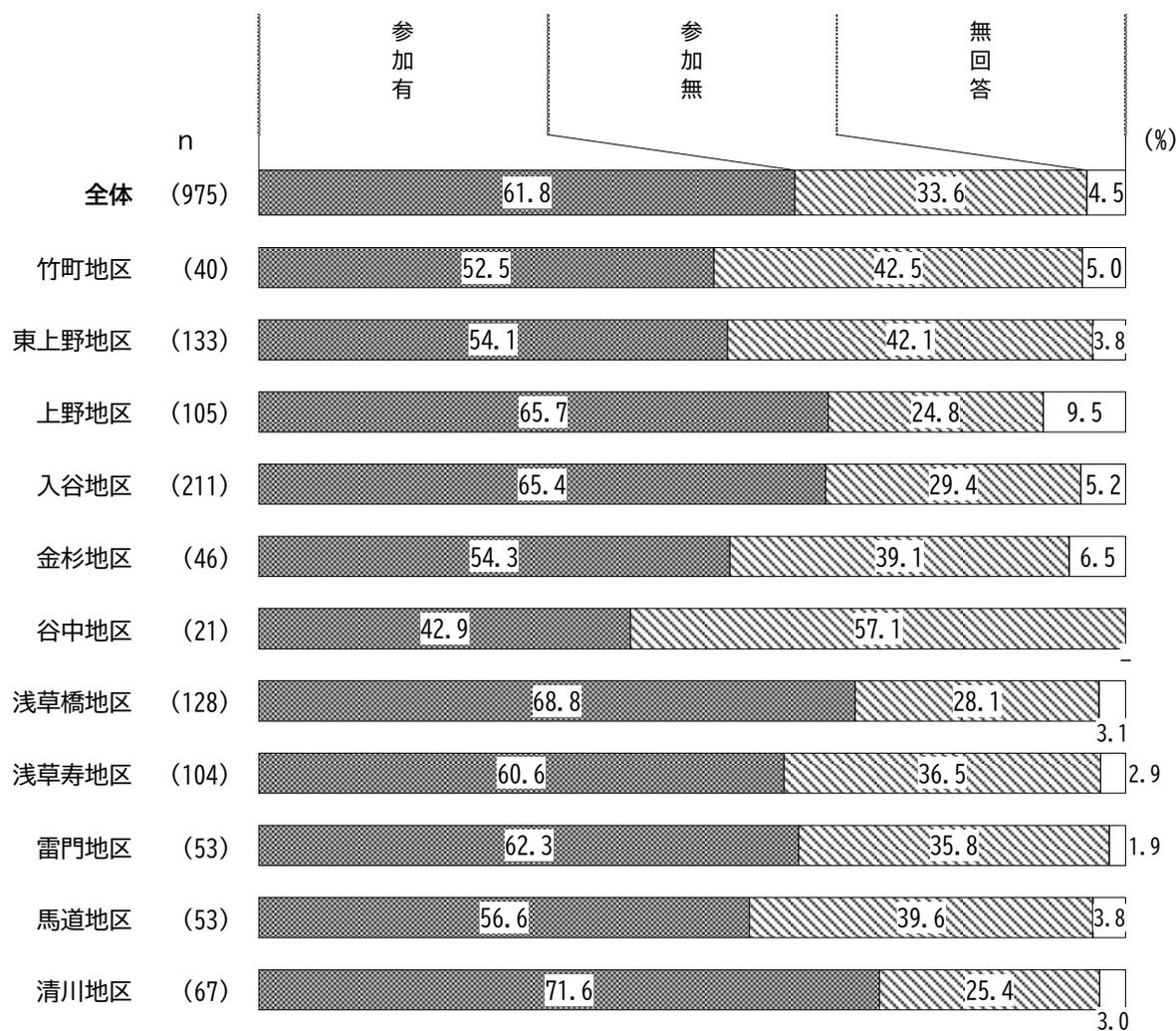
【書く】



【居住地域別】

「参加有」は「清川地区」で70%を超え、全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域活動の参加状況  
【C. 日本文化に触れる交流会】（居住地域別）

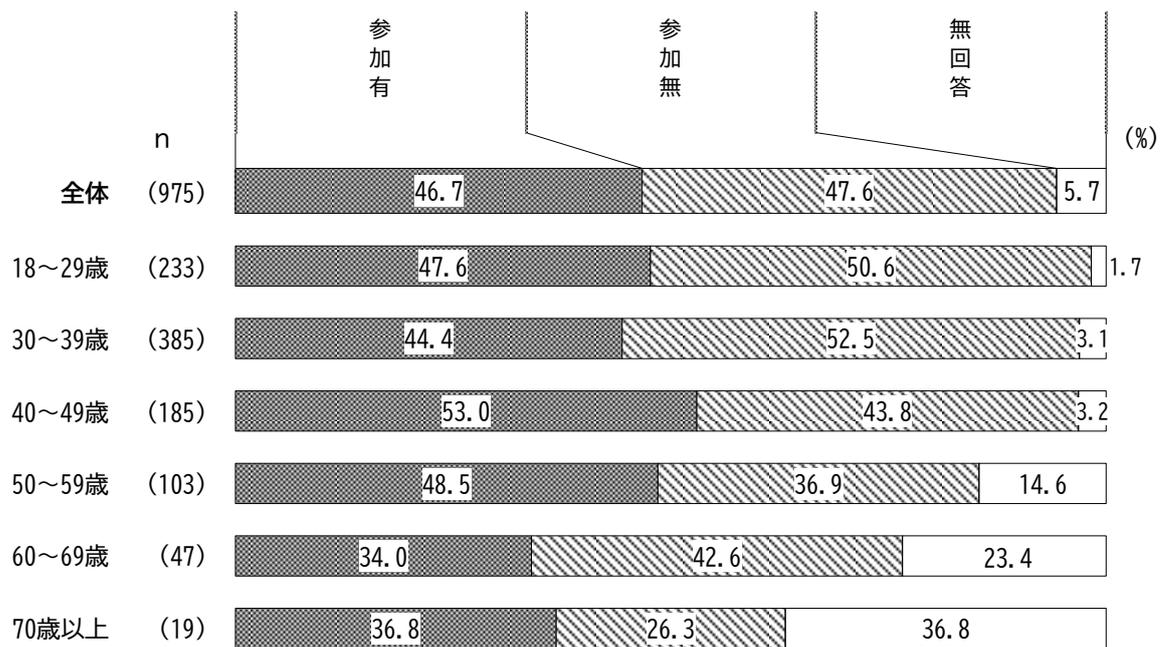


【D. 自分の国の文化を紹介するイベント】

【年齢別】

「40～49歳」「50～59歳」では「参加有」が「参加無」を上回っているものの、「18～29歳」「30～39歳」「60～69歳」では「参加無」が「参加有」を上回っている。

図表 地域活動の参加状況  
【D. 自分の国の文化を紹介するイベント】（年齢別）



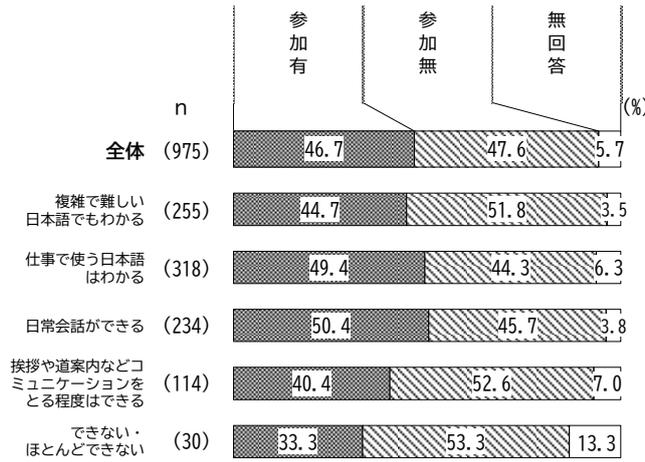
【日本語習得度別】

「聞く」「話す」が「できない・ほとんどできない」で、「参加有」が30%台と低い。  
一方、「読む」「書く」では、日本語習得度別の参加状況にほとんど差異はみられない。

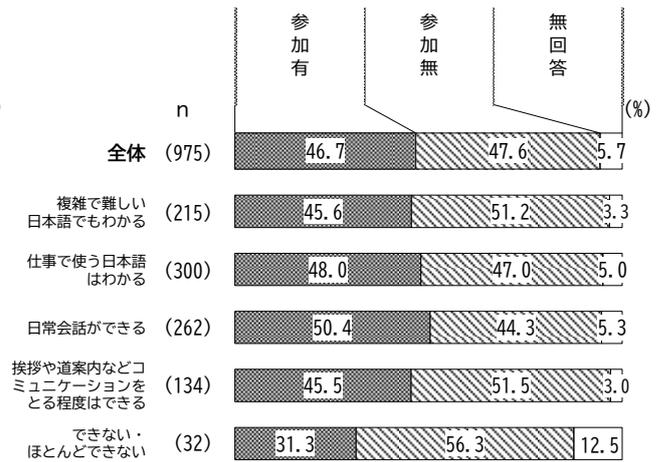
図表 地域活動の参加状況

【D. 自分の国の文化を紹介するイベント】（日本語習得度別）

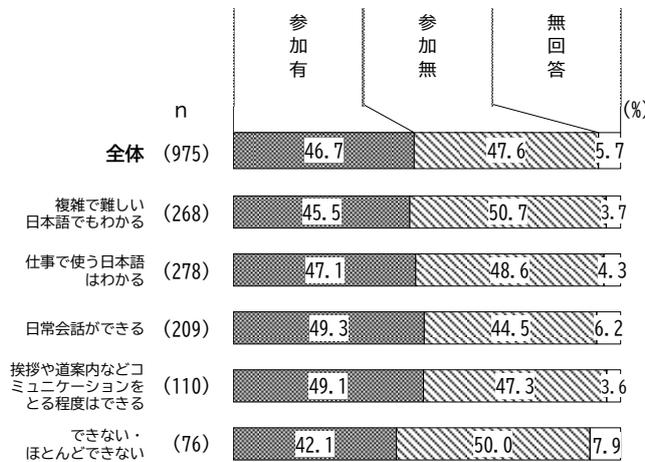
【聞く】



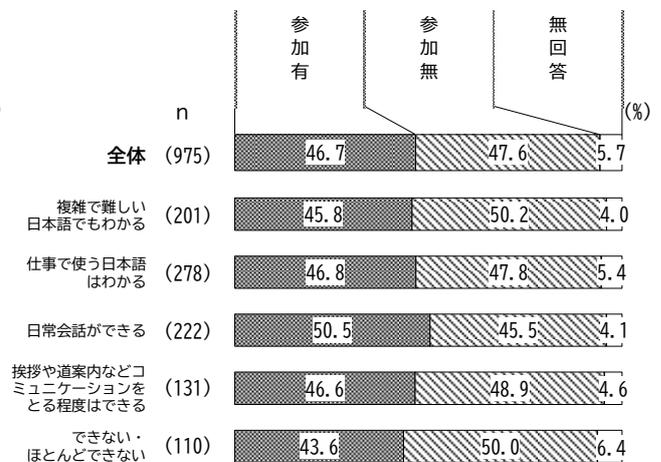
【話す】



【読む】



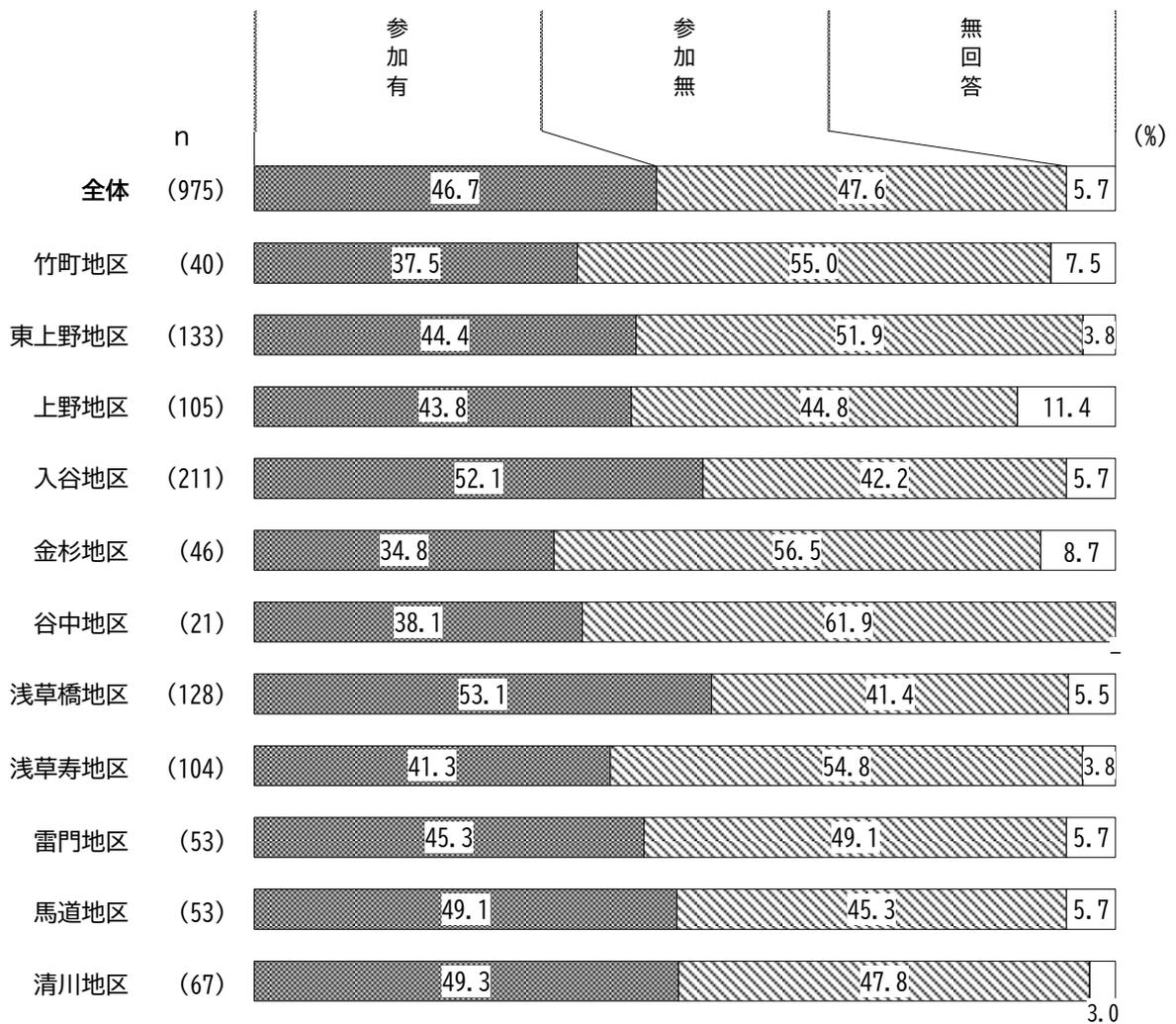
【書く】



【居住地域別】

「参加有」は「入谷地区」「浅草橋地区」で50%台と全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域活動の参加状況  
【D. 自分の国の文化を紹介するイベント】（居住地域別）

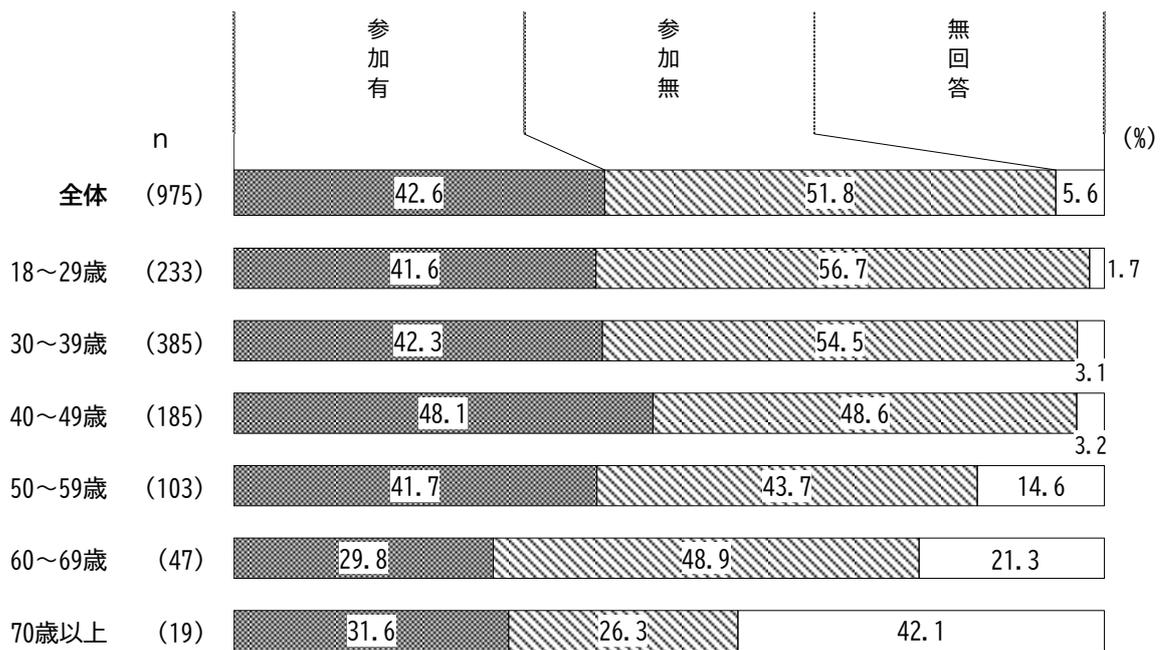


【E. 地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動】

【年齢別】

すべての年代で「参加無」が「参加有」を上回っており、特に「18～29歳」「30～39歳」で「参加無」が50%台と高くなっている。

図表 地域活動の参加状況  
【E. 地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動】（年齢別）



【日本語習得度別】

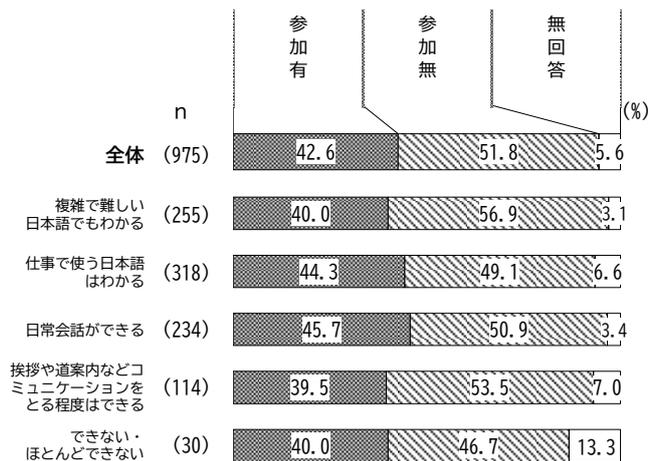
「話す」が「できない・ほとんどできない」で、「参加有」が31.3%と低い。

一方、「聞く」「読む」「書く」では、日本語習得度別の参加状況にほとんど差異はみられない。

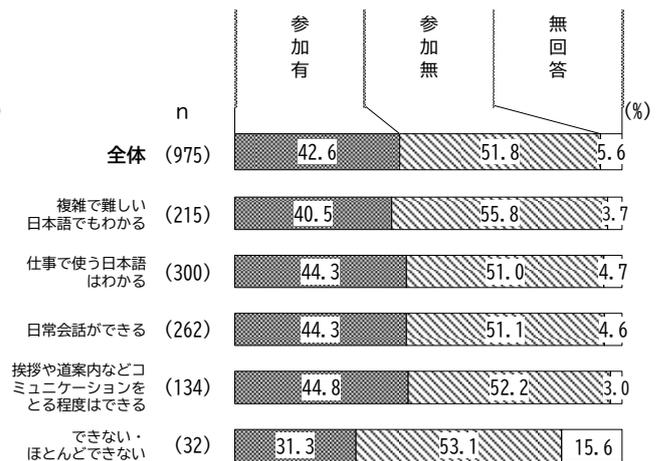
図表 地域活動の参加状況

【E. 地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動】（日本語習得度別）

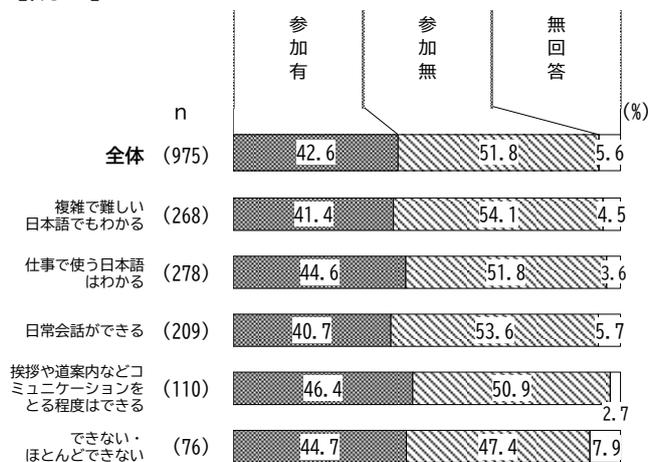
【聞く】



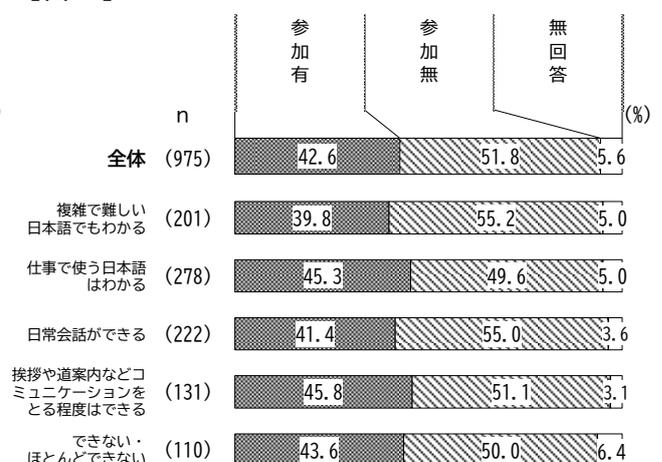
【話す】



【読む】



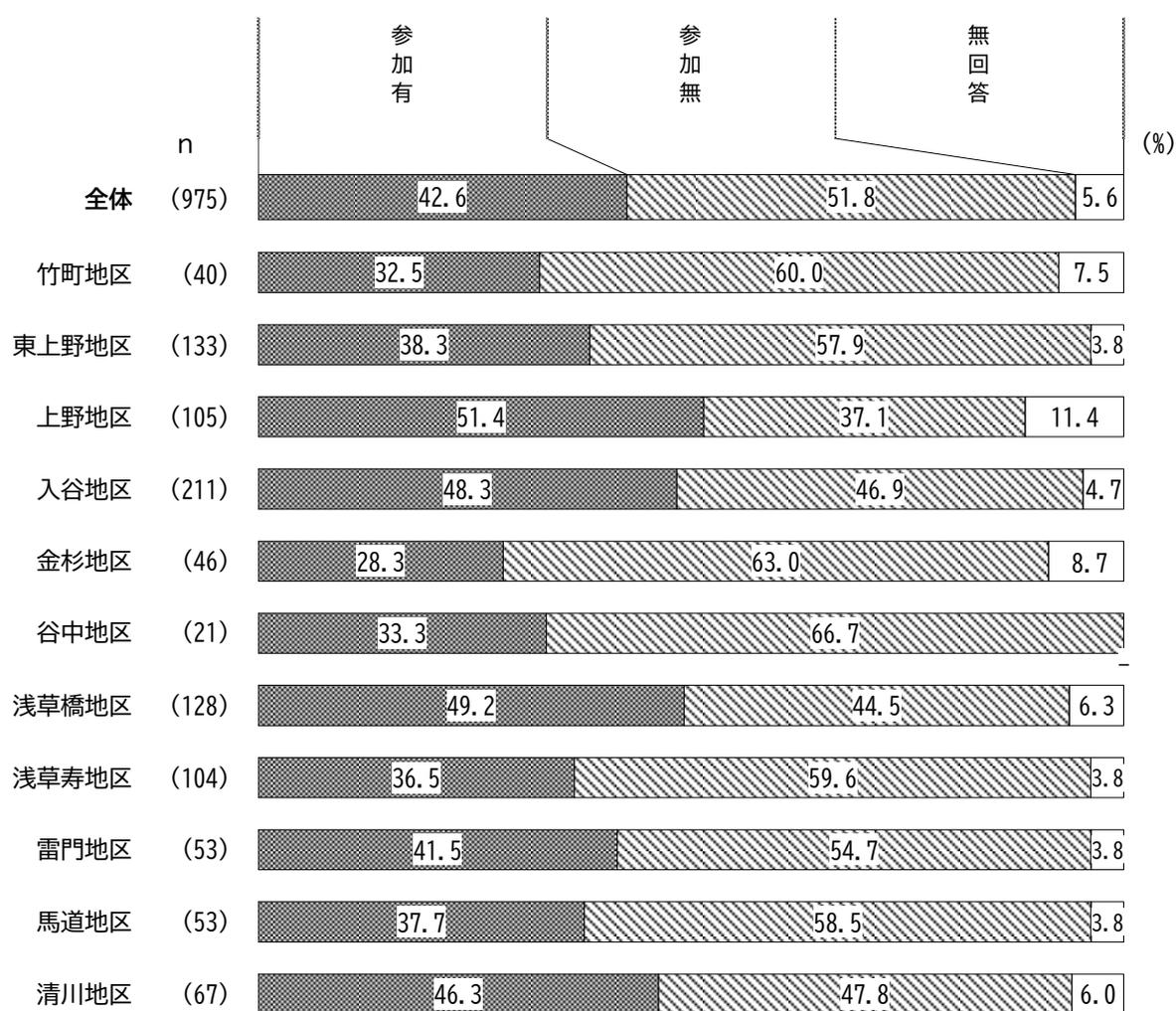
【書く】



【居住地域別】

「参加有」は「上野地区」で50%を超え、「入谷地区」「浅草橋地区」で40%台と全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域活動の参加状況  
【E. 地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動】(居住地域別)

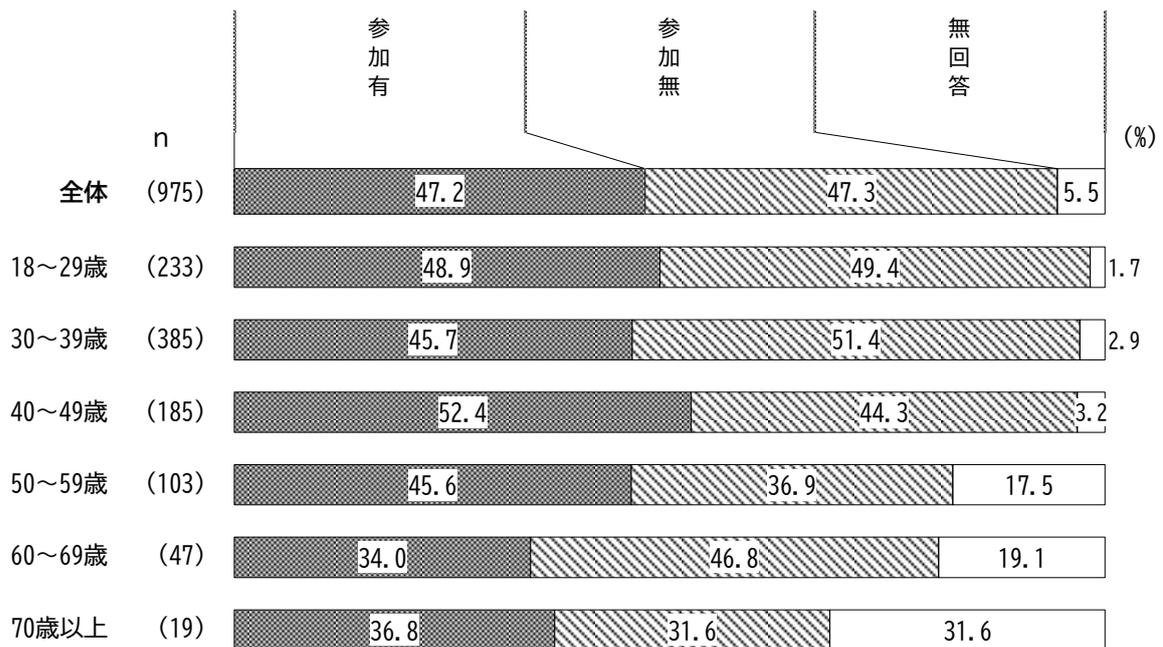


【F. 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動】

【年齢別】

「40～49歳」で「参加有」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、「60～69歳」で「参加有」が全体平均と比較して5ポイント以上低い。

図表 地域活動の参加状況  
【F. 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動】（年齢別）



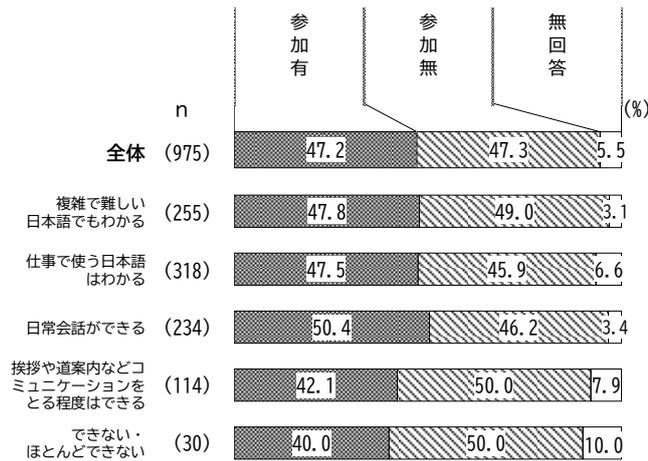
【日本語習得度別】

「書く」が「挨拶や道案内などコミュニケーションをとる程度はできる」で、「参加有」が約40%とやや低い。「聞く」「話す」「読む」では、日本語習得度別の参加状況に一部差がみられる。

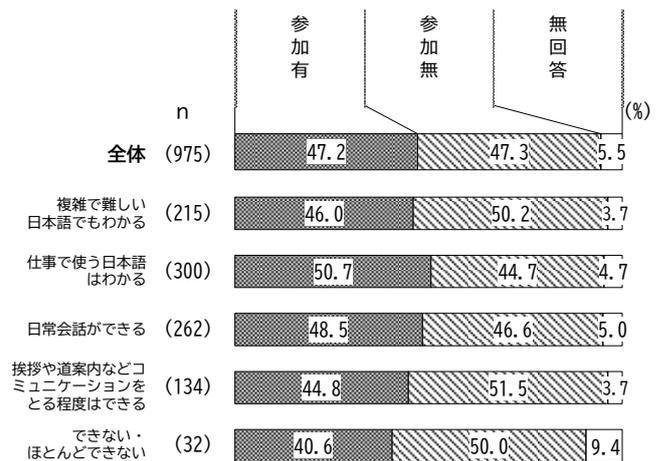
図表 地域活動の参加状況

【F. 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動】（日本語習得度別）

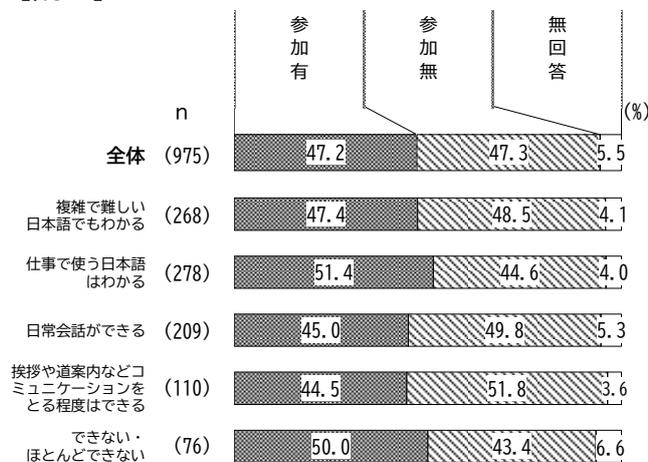
【聞く】



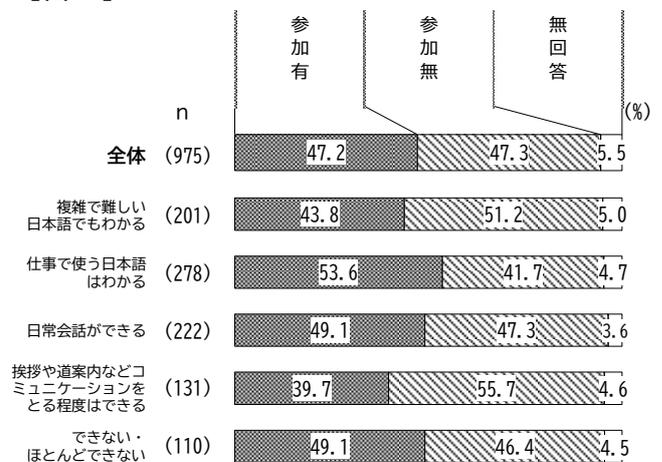
【話す】



【読む】



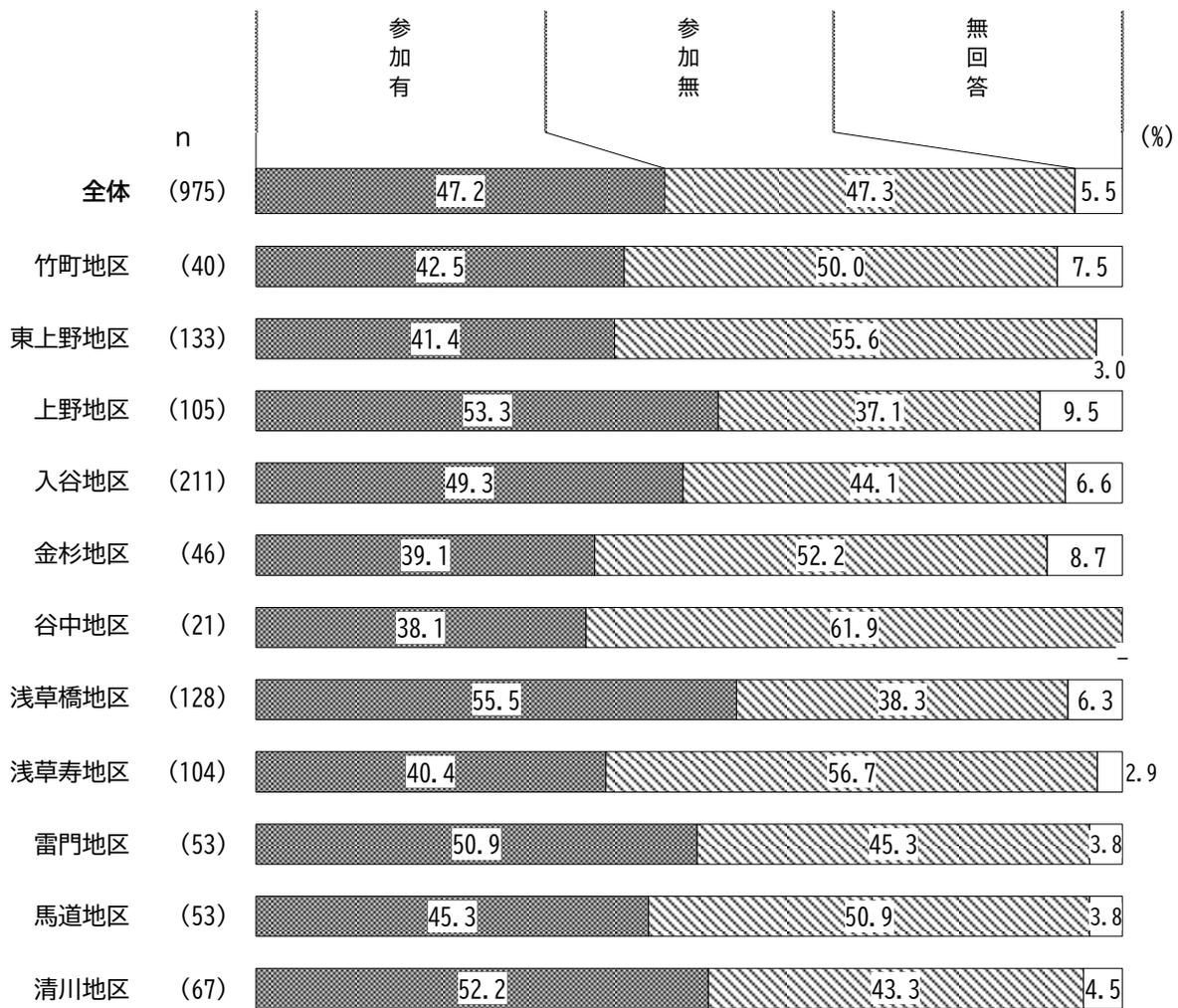
【書く】



【居住地域別】

「参加有」は「上野地区」「浅草橋地区」「雷門地区」「清川地区」で50%台とやや高くなっている。

図表 地域活動の参加状況  
【F. 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動】(居住地域別)

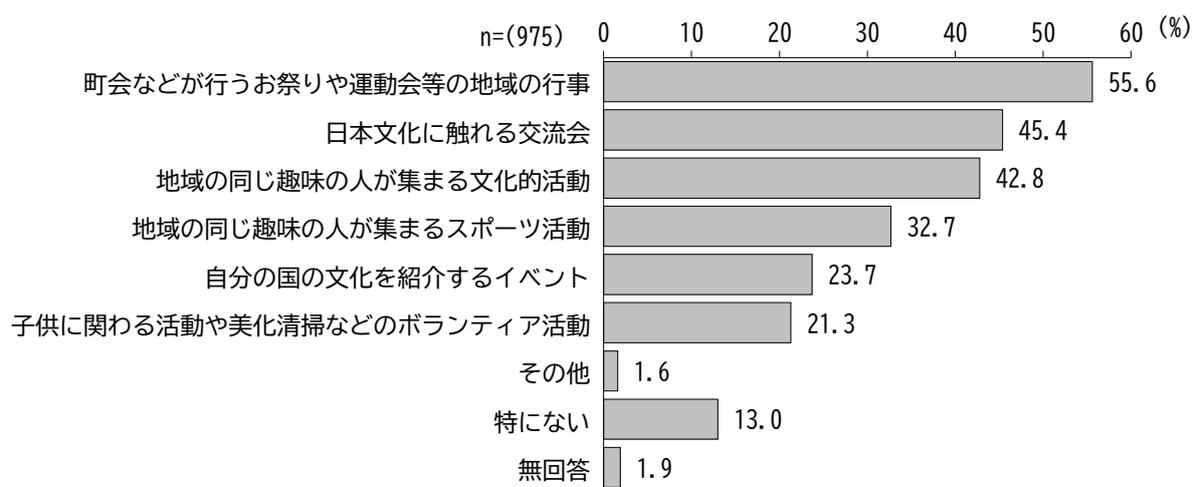


## (2) 今後参加したい地域の活動

問42 今後は、どのような地域の活動に参加したいですか。(当てはまるもの全てに○)

「町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」(55.6%)が最も高く、次いで、「日本文化に触れる交流会」(45.4%)、「地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」(42.8%)、「地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動」(32.7%)となっている。

図表 今後参加したい地域の活動（複数回答）



【国籍別】

「アメリカ」では、「町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」「地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

また、「ベトナム」では「自分の国の文化を紹介するイベント」「子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 今後参加したい地域の活動（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事	日本文化に触れる交流会	地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動	地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動	自分の国の文化を紹介するイベント	子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	542 55.6%	443 45.4%	417 42.8%	319 32.7%	231 23.7%	208 21.3%	16 1.6%	127 13.0%	19 1.9%
中国	472 100.0%	271 57.4%	225 47.7%	213 45.1%	151 32.0%	102 21.6%	84 17.8%	8 1.7%	58 12.3%	6 1.3%
韓国	92 100.0%	33 35.9%	26 28.3%	37 40.2%	24 26.1%	10 10.9%	17 18.5%	1 1.1%	22 23.9%	5 5.4%
ベトナム	41 100.0%	23 56.1%	16 39.0%	10 24.4%	10 24.4%	16 39.0%	13 31.7%	-	5 12.2%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	26 44.1%	19 32.2%	9 15.3%	22 37.3%	14 23.7%	13 22.0%	-	11 18.6%	3 5.1%
台湾	49 100.0%	30 61.2%	15 30.6%	18 36.7%	13 26.5%	9 18.4%	4 8.2%	-	7 14.3%	1 2.0%
アメリカ	35 100.0%	23 65.7%	14 40.0%	24 68.6%	13 37.1%	7 20.0%	9 25.7%	2 5.7%	6 17.1%	-
その他	224 100.0%	135 60.3%	126 56.3%	103 46.0%	84 37.5%	72 32.1%	68 30.4%	5 2.2%	18 8.0%	3 1.3%

【台東区居住年数別】

「1年未満」で「町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」「日本文化に触れる交流会」「自分の国の文化を紹介するイベント」の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、「日本文化に触れる交流会」「地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」では、年数が浅いほど高くなる傾向がみられる。

図表 今後参加したい地域の活動（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事	日本文化に触れる交流会	地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動	地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動	自分の国の文化を紹介するイベント	子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	542 55.6%	443 45.4%	417 42.8%	319 32.7%	231 23.7%	208 21.3%	16 1.6%	127 13.0%	19 1.9%
1年未満	89 100.0%	55 61.8%	52 58.4%	41 46.1%	28 31.5%	29 32.6%	22 24.7%	5 5.6%	12 13.5%	1 1.1%
1年～3年未満	354 100.0%	213 60.2%	186 52.5%	163 46.0%	128 36.2%	94 26.6%	71 20.1%	-	36 10.2%	4 1.1%
3年～5年未満	169 100.0%	90 53.3%	81 47.9%	77 45.6%	61 36.1%	36 21.3%	31 18.3%	3 1.8%	20 11.8%	2 1.2%
5年～10年未満	189 100.0%	112 59.3%	69 36.5%	81 42.9%	59 31.2%	42 22.2%	50 26.5%	5 2.6%	22 11.6%	2 1.1%
10年～20年未満	110 100.0%	47 42.7%	37 33.6%	38 34.5%	32 29.1%	20 18.2%	24 21.8%	2 1.8%	25 22.7%	2 1.8%
20年以上	59 100.0%	25 42.4%	17 28.8%	17 28.8%	10 16.9%	9 15.3%	10 16.9%	-	12 20.3%	7 11.9%

【日本人との交流意向別】

「特にない」以外の項目は日本人との交流意向が高いほど割合も高く、特に「積極的に交流したい」で「町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」「日本文化に触れる交流会」が60%台となっている。

図表 今後参加したい地域の活動（日本人との交流意向別）

上段：人数 下段：%	調査数	町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事	日本文化に触れる交流会	地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動	地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動	自分の国の文化を紹介するイベント	子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	542 55.6%	443 45.4%	417 42.8%	319 32.7%	231 23.7%	208 21.3%	16 1.6%	127 13.0%	19 1.9%
積極的に交流したい	302 100.0%	206 68.2%	185 61.3%	174 57.6%	142 47.0%	105 34.8%	97 32.1%	8 2.6%	17 5.6%	4 1.3%
機会があれば交流したい	570 100.0%	311 54.6%	242 42.5%	231 40.5%	164 28.8%	118 20.7%	104 18.2%	8 1.4%	61 10.7%	8 1.4%
交流したいとは思わない	25 100.0%	8 32.0%	3 12.0%	1 4.0%	1 4.0%	1 4.0%	- -	- -	15 60.0%	- -
わからない	66 100.0%	15 22.7%	12 18.2%	10 15.2%	12 18.2%	6 9.1%	5 7.6%	- -	33 50.0%	1 1.5%

【居住地域別】

「雷門地区」で「町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」、「金杉地区」で「日本文化に触れる交流会」、「浅草寿地区」で「地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」の割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 今後参加したい地域の活動（居住地域別）

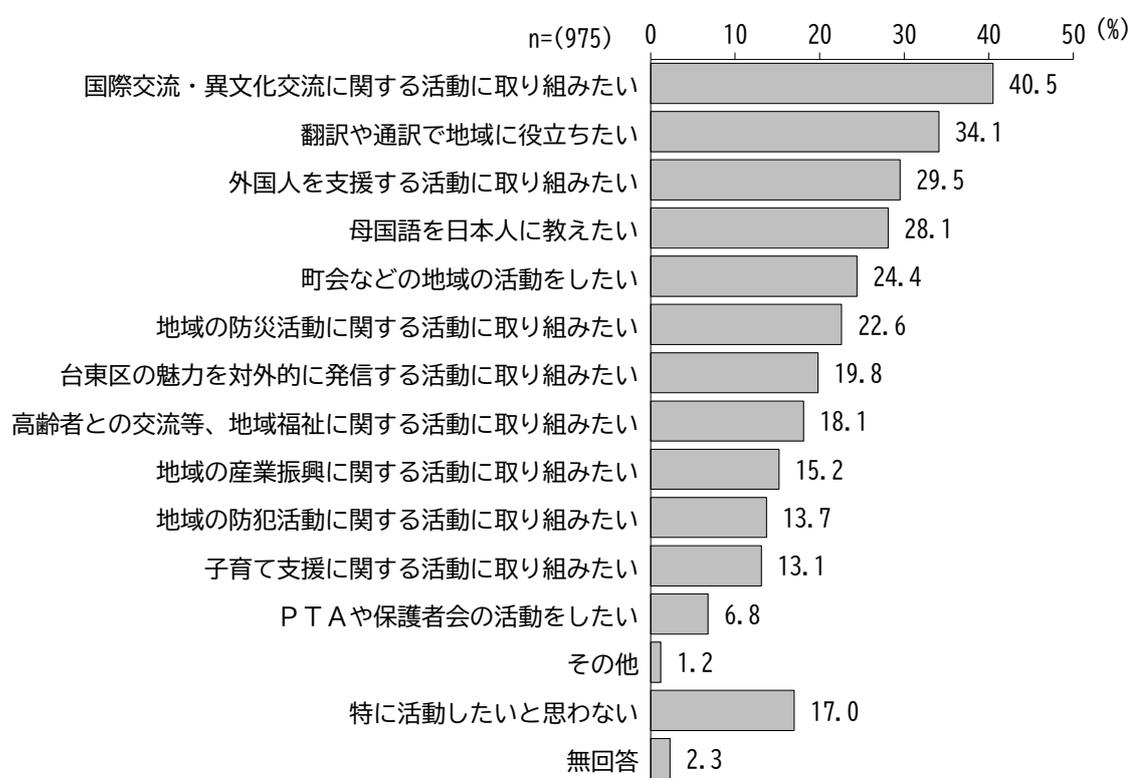
上段：人数 下段：%	調査数	町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事	日本文化に触れる交流会	地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動	地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動	自分の国の文化を紹介するイベント	子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動	その他	特になし	無回答
全体	975 100.0%	542 55.6%	443 45.4%	417 42.8%	319 32.7%	231 23.7%	208 21.3%	16 1.6%	127 13.0%	19 1.9%
竹町地区	40 100.0%	19 47.5%	13 32.5%	11 27.5%	11 27.5%	4 10.0%	5 12.5%	- -	9 22.5%	1 2.5%
東上野地区	133 100.0%	71 53.4%	59 44.4%	61 45.9%	51 38.3%	31 23.3%	24 18.0%	2 1.5%	18 13.5%	2 1.5%
上野地区	105 100.0%	51 48.6%	47 44.8%	35 33.3%	31 29.5%	29 27.6%	24 22.9%	3 2.9%	14 13.3%	3 2.9%
入谷地区	211 100.0%	122 57.8%	106 50.2%	87 41.2%	70 33.2%	47 22.3%	42 19.9%	5 2.4%	27 12.8%	4 1.9%
金杉地区	46 100.0%	25 54.3%	25 54.3%	21 45.7%	11 23.9%	12 26.1%	13 28.3%	1 2.2%	6 13.0%	1 2.2%
谷中地区	21 100.0%	7 33.3%	5 23.8%	11 52.4%	6 28.6%	4 19.0%	7 33.3%	- -	3 14.3%	- -
浅草橋地区	128 100.0%	78 60.9%	54 42.2%	61 47.7%	49 38.3%	30 23.4%	28 21.9%	1 0.8%	15 11.7%	1 0.8%
浅草寿地区	104 100.0%	57 54.8%	50 48.1%	52 50.0%	39 37.5%	29 27.9%	26 25.0%	- -	12 11.5%	1 1.0%
雷門地区	53 100.0%	36 67.9%	24 45.3%	23 43.4%	15 28.3%	10 18.9%	10 18.9%	1 1.9%	5 9.4%	1 1.9%
馬道地区	53 100.0%	33 62.3%	22 41.5%	22 41.5%	11 20.8%	15 28.3%	14 26.4%	1 1.9%	4 7.5%	3 5.7%
清川地区	67 100.0%	36 53.7%	33 49.3%	29 43.3%	20 29.9%	18 26.9%	13 19.4%	2 3.0%	11 16.4%	1 1.5%

## (3) 地域活動への今後の参加意向

問43 日本人と外国人が助け合いながら生活していくために、皆さんの能力や経験を活かして地域で活躍してほしいと考えています。あなたは、地域の中でどのような活動をしてみたいですか。(当てはまるもの全てに○)

「国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい」(40.5%)が最も高く、次いで、「翻訳や通訳で地域に役立ちたい」(34.1%)、「外国人を支援する活動に取り組みたい」(29.5%)、「母国語を日本人に教えたい」(28.1%)となっている。

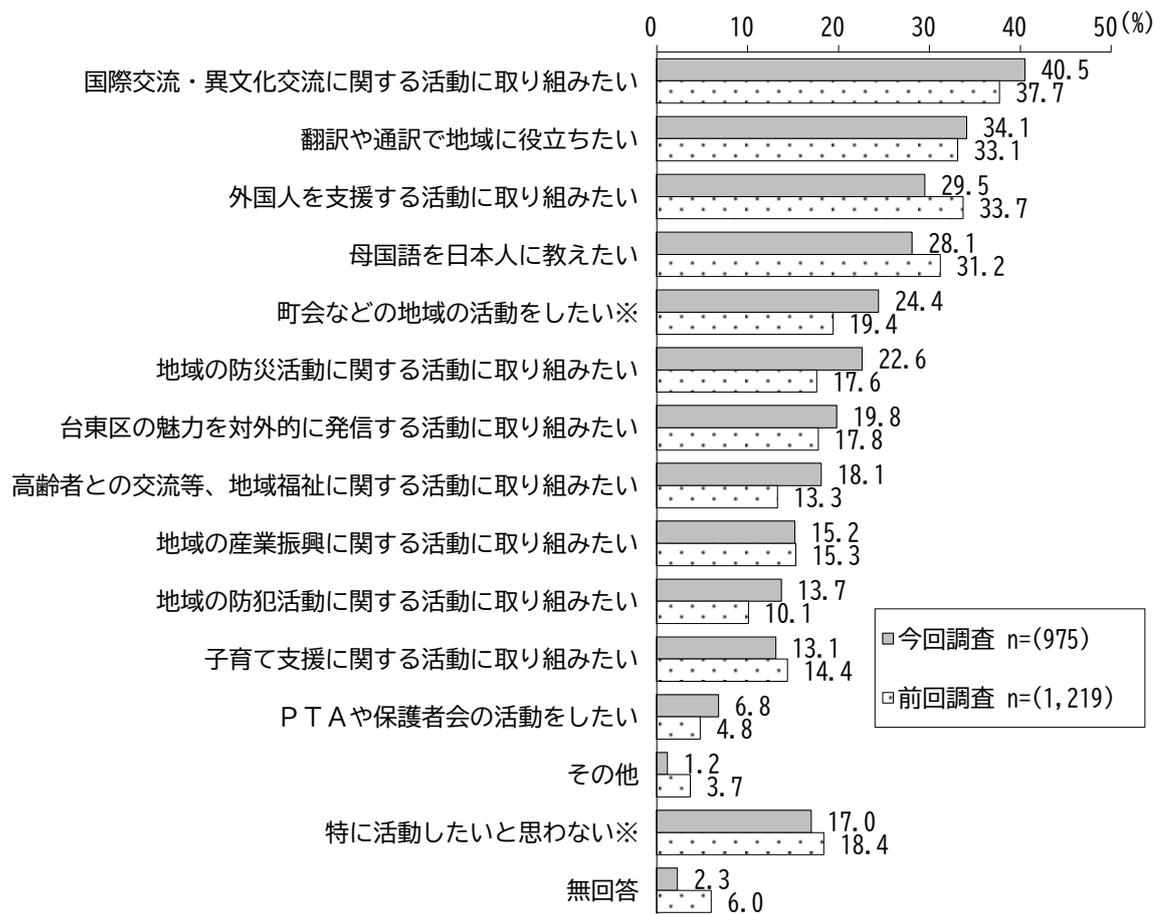
図表 地域活動への今後の参加意向（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「町会などの地域の活動をしたい」「地域の防災活動に関する活動に取り組みたい」がともに5.0ポイント増加している。また、前回2位の「外国人を支援する活動に取り組みたい」と、前回3位の「翻訳や通訳で地域に役立ちたい」の順位が入れ替わっている。

図表 【経年比較】地域活動への今後の参加意向（複数回答）



※今回調査の選択肢「町会などの地域の活動をしたい」は、前回調査では「町会の活動をしたい」であった。

【年齢別】

「国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい」が年代が若いほど高くなる傾向がみられる。また、「18～29歳」で「翻訳や通訳で地域に役立ちたい」、「40～49歳」で「外国人を支援する活動に取り組みたい」「町会などの地域の活動をしたい」「地域の防災活動に関する活動に取り組みたい」「台東区の魅力を対外的に発信する活動に取り組みたい」「子育て支援に関する活動に取り組みたい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。一方、50歳台以降はいずれの活動も参加意向が10～20%台と低く、「特に活動したいと思わない」が「60～69歳」で30%台半ばと全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域活動への今後の参加意向（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい	翻訳や通訳で地域に役立ちたい	外国人を支援する活動に取り組みたい	母国語を日本人に教えたい	町会などの地域の活動をしたい	地域の防災活動に関する活動に取り組みたい	台東区の魅力を対外的に発信する活動に取り組みたい	高齢者との交流等、地域福祉に関する活動に取り組みたい
全体	975 100.0%	395 40.5%	332 34.1%	288 29.5%	274 28.1%	238 24.4%	220 22.6%	193 19.8%	176 18.1%
18～29歳	233 100.0%	105 45.1%	95 40.8%	62 26.6%	74 31.8%	46 19.7%	35 15.0%	36 15.5%	32 13.7%
30～39歳	385 100.0%	173 44.9%	130 33.8%	129 33.5%	110 28.6%	110 28.6%	94 24.4%	78 20.3%	72 18.7%
40～49歳	185 100.0%	75 40.5%	67 36.2%	68 36.8%	56 30.3%	56 30.3%	57 30.8%	47 25.4%	37 20.0%
50～59歳	103 100.0%	28 27.2%	29 28.2%	19 18.4%	27 26.2%	23 22.3%	28 27.2%	22 21.4%	25 24.3%
60～69歳	47 100.0%	11 23.4%	11 23.4%	8 17.0%	5 10.6%	3 6.4%	3 6.4%	6 12.8%	8 17.0%
70歳以上	19 100.0%	2 10.5%	- -	1 5.3%	1 5.3%	- -	1 5.3%	2 10.5%	2 10.5%

上段:人数 下段:%	調査数	地域の産業振興に関する活動に取り組みたい	地域の防災活動に関する活動に取り組みたい	子育て支援に関する活動に取り組みたい	PTAや保護者会の活動をしたい	その他	特に活動したいと思わない	無回答
全体	975 100.0%	148 15.2%	134 13.7%	128 13.1%	66 6.8%	12 1.2%	166 17.0%	22 2.3%
18～29歳	233 100.0%	30 12.9%	21 9.0%	16 6.9%	10 4.3%	1 0.4%	38 16.3%	2 0.9%
30～39歳	385 100.0%	65 16.9%	60 15.6%	61 15.8%	27 7.0%	8 2.1%	62 16.1%	2 0.5%
40～49歳	185 100.0%	33 17.8%	33 17.8%	34 18.4%	20 10.8%	1 0.5%	19 10.3%	3 1.6%
50～59歳	103 100.0%	15 14.6%	15 14.6%	15 14.6%	8 7.8%	1 1.0%	21 20.4%	9 8.7%
60～69歳	47 100.0%	5 10.6%	2 4.3%	2 4.3%	1 2.1%	1 2.1%	16 34.0%	4 8.5%
70歳以上	19 100.0%	- -	1 5.3%	- -	- -	- -	10 52.6%	2 10.5%

### 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細

#### 【国籍別】

「ベトナム」で「国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい」、「中国」で「翻訳や通訳で地域に役立ちたい」、「フィリピン」で「地域の防災活動に関する活動に取り組みたい」、「アメリカ」で「町会などの地域の活動をしたい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。一方、「特に活動したいと思わない」割合は、「韓国」「台湾」で30%台と高くなっている。

図表 地域活動への今後の参加意向（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい	翻訳や通訳で地域に役立ちたい	外国人を支援する活動に取り組みたい	母国語を日本人に教えたい	町会などの地域の活動をしたい	地域の防災活動に関する活動に取り組みたい	台東区の魅力を対外的に発信する活動に取り組みたい	高齢者との交流等、地域福祉に関する活動に取り組みたい
全体	975 100.0%	395 40.5%	332 34.1%	288 29.5%	274 28.1%	238 24.4%	220 22.6%	193 19.8%	176 18.1%
中国	472 100.0%	214 45.3%	191 40.5%	146 30.9%	153 32.4%	124 26.3%	112 23.7%	98 20.8%	86 18.2%
韓国	92 100.0%	21 22.8%	35 38.0%	21 22.8%	24 26.1%	13 14.1%	5 5.4%	10 10.9%	16 17.4%
ベトナム	41 100.0%	21 51.2%	11 26.8%	12 29.3%	12 29.3%	10 24.4%	9 22.0%	4 9.8%	4 9.8%
フィリピン	59 100.0%	11 18.6%	5 8.5%	13 22.0%	5 8.5%	5 8.5%	20 33.9%	15 25.4%	12 20.3%
台湾	49 100.0%	20 40.8%	15 30.6%	10 20.4%	11 22.4%	14 28.6%	6 12.2%	12 24.5%	6 12.2%
アメリカ	35 100.0%	11 31.4%	8 22.9%	10 28.6%	5 14.3%	14 40.0%	4 11.4%	9 25.7%	6 17.1%
その他	224 100.0%	96 42.9%	67 29.9%	75 33.5%	63 28.1%	58 25.9%	62 27.7%	43 19.2%	46 20.5%

上段:人数 下段:%	調査数	地域の産業振興に関する活動に取り組みたい	地域の防犯活動に関する活動に取り組みたい	子育て支援に関する活動に取り組みたい	PTAや保護者会の活動をしたい	その他	特に活動したいと思わない	無回答
全体	975 100.0%	148 15.2%	134 13.7%	128 13.1%	66 6.8%	12 1.2%	166 17.0%	22 2.3%
中国	472 100.0%	93 19.7%	70 14.8%	66 14.0%	33 7.0%	4 0.8%	62 13.1%	8 1.7%
韓国	92 100.0%	10 10.9%	5 5.4%	11 12.0%	8 8.7%	1 1.1%	28 30.4%	4 4.3%
ベトナム	41 100.0%	4 9.8%	3 7.3%	7 17.1%	3 7.3%	1 2.4%	4 9.8%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	5 8.5%	8 13.6%	9 15.3%	6 10.2%	-	13 22.0%	5 8.5%
台湾	49 100.0%	4 8.2%	4 8.2%	1 2.0%	1 2.0%	-	15 30.6%	-
アメリカ	35 100.0%	2 5.7%	4 11.4%	7 20.0%	4 11.4%	4 11.4%	7 20.0%	-
その他	224 100.0%	30 13.4%	38 17.0%	27 12.1%	11 4.9%	2 0.9%	37 16.5%	4 1.8%

【居住地域別】

「東上野地区」で「国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい」、「馬道地区」で「翻訳や通訳で地域に役立ちたい」、「浅草寿地区」で「外国人を支援する活動に取り組みたい」の割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 地域活動への今後の参加意向（居住地域別）

上段：人数 下段：%	調査数	国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい	翻訳や通訳で地域に役立ちたい	外国人を支援する活動に取り組みたい	母国語を日本人に教えたい	町会などの地域の活動をし たい	地域の防災活動に関する活動 に取り組み たい	台東区の魅力 を対外的に発 信する活動に 取り組みたい	高齢者との交 流等、地域福祉 に関する活動 に取り組みたい
全体	975 100.0%	395 40.5%	332 34.1%	288 29.5%	274 28.1%	238 24.4%	220 22.6%	193 19.8%	176 18.1%
竹町地区	40 100.0%	8 20.0%	11 27.5%	4 10.0%	11 27.5%	6 15.0%	9 22.5%	2 5.0%	6 15.0%
東上野地区	133 100.0%	69 51.9%	51 38.3%	43 32.3%	30 22.6%	37 27.8%	32 24.1%	29 21.8%	24 18.0%
上野地区	105 100.0%	40 38.1%	22 21.0%	23 21.9%	30 28.6%	18 17.1%	15 14.3%	20 19.0%	12 11.4%
入谷地区	211 100.0%	81 38.4%	79 37.4%	63 29.9%	63 29.9%	45 21.3%	43 20.4%	40 19.0%	36 17.1%
金杉地区	46 100.0%	16 34.8%	16 34.8%	15 32.6%	16 34.8%	12 26.1%	8 17.4%	11 23.9%	5 10.9%
谷中地区	21 100.0%	7 33.3%	2 9.5%	6 28.6%	5 23.8%	5 23.8%	2 9.5%	5 23.8%	5 23.8%
浅草橋地区	128 100.0%	58 45.3%	43 33.6%	38 29.7%	36 28.1%	35 27.3%	35 27.3%	26 20.3%	30 23.4%
浅草寿地区	104 100.0%	50 48.1%	37 35.6%	41 39.4%	28 26.9%	27 26.0%	31 29.8%	22 21.2%	25 24.0%
雷門地区	53 100.0%	20 37.7%	20 37.7%	18 34.0%	19 35.8%	16 30.2%	15 28.3%	13 24.5%	12 22.6%
馬道地区	53 100.0%	14 26.4%	22 41.5%	15 28.3%	13 24.5%	14 26.4%	8 15.1%	9 17.0%	6 11.3%
清川地区	67 100.0%	28 41.8%	25 37.3%	20 29.9%	19 28.4%	18 26.9%	16 23.9%	13 19.4%	11 16.4%

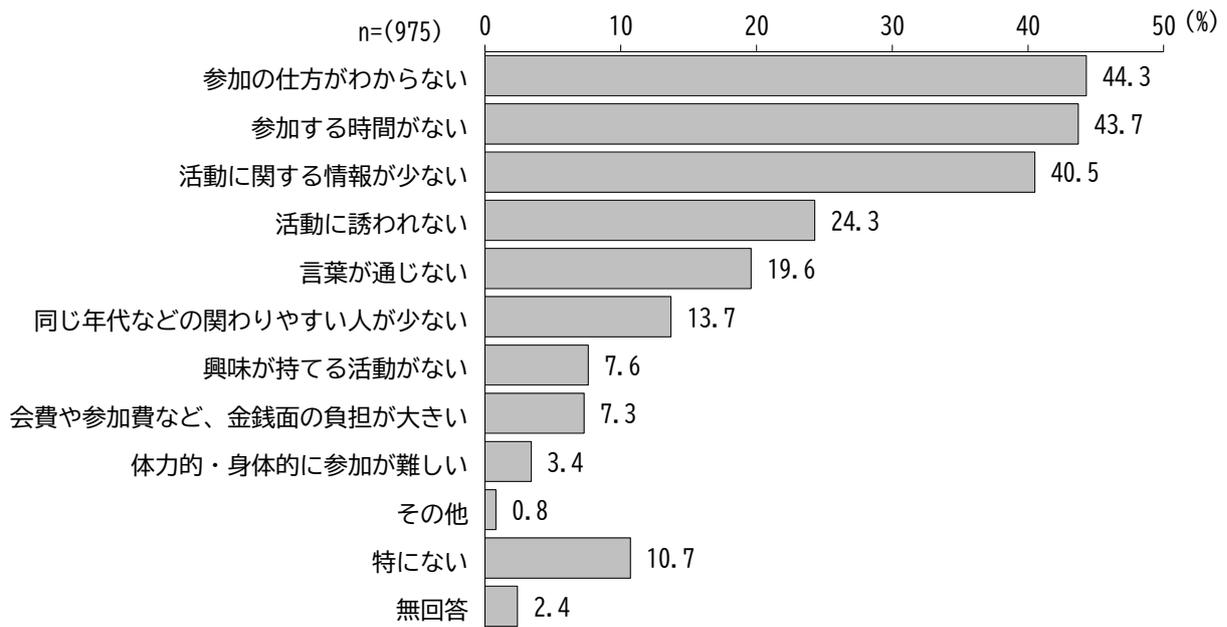
上段：人数 下段：%	調査数	地域の産業振興に関する活動 に取り組み たい	地域の防犯活 動に関する活 動に取り組み たい	子育て支援に 関する活動に 取り組みたい	PTAや保護者 会の活動をし たい	その他	特に活動した いと思わない	無回答
全体	975 100.0%	148 15.2%	134 13.7%	128 13.1%	66 6.8%	12 1.2%	166 17.0%	22 2.3%
竹町地区	40 100.0%	4 10.0%	3 7.5%	4 10.0%	2 5.0%	-	10 25.0%	1 2.5%
東上野地区	133 100.0%	21 15.8%	21 15.8%	13 9.8%	8 6.0%	1 0.8%	16 12.0%	4 3.0%
上野地区	105 100.0%	15 14.3%	9 8.6%	15 14.3%	9 8.6%	1 1.0%	24 22.9%	1 1.0%
入谷地区	211 100.0%	31 14.7%	24 11.4%	21 10.0%	13 6.2%	5 2.4%	28 13.3%	5 2.4%
金杉地区	46 100.0%	8 17.4%	6 13.0%	9 19.6%	3 6.5%	1 2.2%	12 26.1%	1 2.2%
谷中地区	21 100.0%	1 4.8%	1 4.8%	5 23.8%	3 14.3%	-	2 9.5%	-
浅草橋地区	128 100.0%	17 13.3%	21 16.4%	21 16.4%	11 8.6%	1 0.8%	21 16.4%	2 1.6%
浅草寿地区	104 100.0%	22 21.2%	18 17.3%	14 13.5%	5 4.8%	1 1.0%	18 17.3%	3 2.9%
雷門地区	53 100.0%	10 18.9%	11 20.8%	7 13.2%	4 7.5%	-	7 13.2%	1 1.9%
馬道地区	53 100.0%	8 15.1%	6 11.3%	6 11.3%	2 3.8%	1 1.9%	12 22.6%	3 5.7%
清川地区	67 100.0%	10 14.9%	12 17.9%	12 17.9%	6 9.0%	-	14 20.9%	1 1.5%

(4) 自身が地域で活動するときの困りごと

問44 あなたが地域で活動するときの困りごとは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

「参加の仕方がわからない」(44.3%)が最も高く、次いで、「参加する時間がない」(43.7%)、「活動に関する情報が少ない」(40.5%)、「活動に誘われない」(24.3%)となっている。

図表 自身が地域で活動するときの困りごと (複数回答)



【国籍別】

「ベトナム」「その他」では、「参加の仕方がわからない」「言葉が通じない」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。「ベトナム」では「参加する時間がない」も高くなっている。

また、「アメリカ」では「参加する時間がない」「活動に関する情報が少ない」「活動に誘われない」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 自身が地域で活動するときの困りごと（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	参加の仕方がわからない	参加する時間がない	活動に関する情報が少ない	活動に誘われない	言葉が通じない	同じ年代などの関わりやすい人が少ない
全体	975 100.0%	432 44.3%	426 43.7%	395 40.5%	237 24.3%	191 19.6%	134 13.7%
中国	472 100.0%	195 41.3%	213 45.1%	203 43.0%	114 24.2%	92 19.5%	84 17.8%
韓国	92 100.0%	32 34.8%	30 32.6%	29 31.5%	15 16.3%	4 4.3%	12 13.0%
ベトナム	41 100.0%	24 58.5%	24 58.5%	15 36.6%	6 14.6%	13 31.7%	2 4.9%
フィリピン	59 100.0%	18 30.5%	21 35.6%	15 25.4%	8 13.6%	11 18.6%	6 10.2%
台湾	49 100.0%	20 40.8%	15 30.6%	18 36.7%	13 26.5%	8 16.3%	9 18.4%
アメリカ	35 100.0%	17 48.6%	18 51.4%	20 57.1%	11 31.4%	7 20.0%	3 8.6%
その他	224 100.0%	125 55.8%	103 46.0%	94 42.0%	70 31.3%	55 24.6%	18 8.0%

上段:人数 下段:%	調査数	興味が持てる活動がない	会費や参加費など、金銭面の負担が大きい	体力的・身体的に参加が難しい	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	74 7.6%	71 7.3%	33 3.4%	8 0.8%	104 10.7%	23 2.4%
中国	472 100.0%	32 6.8%	32 6.8%	17 3.6%	4 0.8%	38 8.1%	8 1.7%
韓国	92 100.0%	15 16.3%	7 7.6%	3 3.3%	- -	20 21.7%	3 3.3%
ベトナム	41 100.0%	4 9.8%	6 14.6%	2 4.9%	1 2.4%	2 4.9%	2 4.9%
フィリピン	59 100.0%	6 10.2%	3 5.1%	4 6.8%	1 1.7%	7 11.9%	6 10.2%
台湾	49 100.0%	2 4.1%	5 10.2%	- -	- -	9 18.4%	1 2.0%
アメリカ	35 100.0%	3 8.6%	1 2.9%	1 2.9%	- -	3 8.6%	- -
その他	224 100.0%	12 5.4%	17 7.6%	5 2.2%	2 0.9%	25 11.2%	3 1.3%

### 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細

#### 【職業別】

「会社勤務（経営者・役員）」で「参加の仕方がわからない」「活動に関する情報が少ない」が、「会社勤務（一般正社員）」で「参加する時間がない」が、「学生」で「活動に誘われない」「同じ年代などの関わりやすい人が少ない」が、「専業主婦・主夫」で「言葉が通じない」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 自身が地域で活動するときの困りごと（職業別）

上段:人数 下段:%	調査数	参加の仕方がわからない	参加する時間がない	活動に関する情報が少ない	活動に誘われない	言葉が通じない	同じ年代などの関わりやすい人が少ない
全体	975 100.0%	432 44.3%	426 43.7%	395 40.5%	237 24.3%	191 19.6%	134 13.7%
会社勤務 (経営者・役員)	109 100.0%	55 50.5%	48 44.0%	54 49.5%	30 27.5%	19 17.4%	10 9.2%
会社勤務 (一般正社員)	425 100.0%	200 47.1%	223 52.5%	182 42.8%	106 24.9%	62 14.6%	60 14.1%
自営業者	49 100.0%	23 46.9%	24 49.0%	22 44.9%	14 28.6%	10 20.4%	11 22.4%
公務員・団体職員	8 100.0%	2 25.0%	3 37.5%	4 50.0%	3 37.5%	2 25.0%	- -
契約・嘱託・ 派遣社員	35 100.0%	16 45.7%	15 42.9%	13 37.1%	7 20.0%	8 22.9%	2 5.7%
パート・アルバイト	101 100.0%	36 35.6%	37 36.6%	31 30.7%	13 12.9%	22 21.8%	9 8.9%
専業主婦・主夫	61 100.0%	23 37.7%	10 16.4%	22 36.1%	16 26.2%	22 36.1%	7 11.5%
学生	107 100.0%	46 43.0%	48 44.9%	48 44.9%	36 33.6%	28 26.2%	25 23.4%
無職	43 100.0%	16 37.2%	6 14.0%	9 20.9%	4 9.3%	12 27.9%	4 9.3%
その他	29 100.0%	13 44.8%	11 37.9%	7 24.1%	4 13.8%	4 13.8%	4 13.8%

上段:人数 下段:%	調査数	興味を持てる活動がない	会費や参加費など、金銭面の負担が大きい	体力的・身体的に参加が難しい	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	74 7.6%	71 7.3%	33 3.4%	8 0.8%	104 10.7%	23 2.4%
会社勤務 (経営者・役員)	109 100.0%	5 4.6%	4 3.7%	2 1.8%	1 0.9%	11 10.1%	2 1.8%
会社勤務 (一般正社員)	425 100.0%	34 8.0%	31 7.3%	8 1.9%	3 0.7%	39 9.2%	5 1.2%
自営業者	49 100.0%	7 14.3%	2 4.1%	2 4.1%	-	4 8.2%	1 2.0%
公務員・団体職員	8 100.0%	-	1 12.5%	-	1 12.5%	1 12.5%	-
契約・嘱託・ 派遣社員	35 100.0%	2 5.7%	2 5.7%	1 2.9%	-	6 17.1%	1 2.9%
パート・アルバイト	101 100.0%	5 5.0%	6 5.9%	3 3.0%	-	17 16.8%	2 2.0%
専業主婦・主夫	61 100.0%	6 9.8%	7 11.5%	8 13.1%	2 3.3%	5 8.2%	4 6.6%
学生	107 100.0%	9 8.4%	14 13.1%	3 2.8%	1 0.9%	10 9.3%	-
無職	43 100.0%	4 9.3%	3 7.0%	6 14.0%	-	8 18.6%	4 9.3%
その他	29 100.0%	2 6.9%	-	-	-	3 10.3%	2 6.9%

【年齢別】

年代が若いほど「活動に誘われない」「同じ年代などの関わりやすい人が少ない」が高くなる傾向がみられる。また、「30～39歳」では「参加する時間がない」、「40～49歳」では「言葉が通じない」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。一方、「特にない」が「60～69歳」で20%台半ばと全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 自身が地域で活動するときの困りごと（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	参加の仕方が わからない	参加する時間 がない	活動に関する 情報が少ない	活動に誘われ ない	言葉が通じな い	同じ年代など の関わりやす い人が少ない
全体	975 100.0%	432 44.3%	426 43.7%	395 40.5%	237 24.3%	191 19.6%	134 13.7%
18～29歳	233 100.0%	104 44.6%	104 44.6%	100 42.9%	69 29.6%	38 16.3%	49 21.0%
30～39歳	385 100.0%	183 47.5%	193 50.1%	160 41.6%	105 27.3%	81 21.0%	54 14.0%
40～49歳	185 100.0%	84 45.4%	74 40.0%	83 44.9%	43 23.2%	47 25.4%	19 10.3%
50～59歳	103 100.0%	47 45.6%	36 35.0%	40 38.8%	15 14.6%	16 15.5%	8 7.8%
60～69歳	47 100.0%	12 25.5%	9 19.1%	9 19.1%	5 10.6%	3 6.4%	4 8.5%
70歳以上	19 100.0%	1 5.3%	8 42.1%	2 10.5%	-	5 26.3%	-

上段:人数 下段:%	調査数	興味を持てる 活動がない	会費や参加費 など、金銭面の 負担が大きい	体力的・身体的 に参加が難し い	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	74 7.6%	71 7.3%	33 3.4%	8 0.8%	104 10.7%	23 2.4%
18～29歳	233 100.0%	17 7.3%	28 12.0%	7 3.0%	2 0.9%	27 11.6%	3 1.3%
30～39歳	385 100.0%	30 7.8%	25 6.5%	8 2.1%	4 1.0%	39 10.1%	3 0.8%
40～49歳	185 100.0%	17 9.2%	9 4.9%	3 1.6%	1 0.5%	9 4.9%	3 1.6%
50～59歳	103 100.0%	7 6.8%	7 6.8%	6 5.8%	1 1.0%	11 10.7%	7 6.8%
60～69歳	47 100.0%	2 4.3%	-	4 8.5%	-	13 27.7%	5 10.6%
70歳以上	19 100.0%	1 5.3%	2 10.5%	4 21.1%	-	5 26.3%	2 10.5%

### 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細

#### 【居住地域別】

「浅草橋地区」で「参加の仕方がわからない」が約50%、「雷門地区」「馬道地区」で「活動に誘われない」が30%台と高くなっている。

図表 自身が地域で活動するときの困りごと（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	参加の仕方がわからない	参加する時間がない	活動に関する情報が少ない	活動に誘われない	言葉が通じない	同じ年代などの関わりやすい人が少ない
全体	975 100.0%	432 44.3%	426 43.7%	395 40.5%	237 24.3%	191 19.6%	134 13.7%
竹町地区	40 100.0%	14 35.0%	19 47.5%	12 30.0%	7 17.5%	6 15.0%	4 10.0%
東上野地区	133 100.0%	65 48.9%	57 42.9%	59 44.4%	38 28.6%	31 23.3%	25 18.8%
上野地区	105 100.0%	39 37.1%	47 44.8%	35 33.3%	16 15.2%	19 18.1%	8 7.6%
入谷地区	211 100.0%	89 42.2%	98 46.4%	85 40.3%	45 21.3%	32 15.2%	30 14.2%
金杉地区	46 100.0%	21 45.7%	19 41.3%	19 41.3%	12 26.1%	11 23.9%	7 15.2%
谷中地区	21 100.0%	11 52.4%	11 52.4%	10 47.6%	6 28.6%	7 33.3%	5 23.8%
浅草橋地区	128 100.0%	65 50.8%	53 41.4%	48 37.5%	33 25.8%	26 20.3%	19 14.8%
浅草寿地区	104 100.0%	48 46.2%	43 41.3%	46 44.2%	29 27.9%	23 22.1%	8 7.7%
雷門地区	53 100.0%	21 39.6%	24 45.3%	19 35.8%	16 30.2%	15 28.3%	10 18.9%
馬道地区	53 100.0%	25 47.2%	23 43.4%	24 45.3%	16 30.2%	5 9.4%	5 9.4%
清川地区	67 100.0%	26 38.8%	26 38.8%	30 44.8%	12 17.9%	10 14.9%	10 14.9%

上段:人数 下段:%	調査数	興味が持てる活動がない	会費や参加費など、金銭面の負担が大きい	体力的・身体的に参加が難しい	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	74 7.6%	71 7.3%	33 3.4%	8 0.8%	104 10.7%	23 2.4%
竹町地区	40 100.0%	2 5.0%	1 2.5%	2 5.0%	-	6 15.0%	-
東上野地区	133 100.0%	12 9.0%	13 9.8%	4 3.0%	1 0.8%	12 9.0%	3 2.3%
上野地区	105 100.0%	3 2.9%	7 6.7%	5 4.8%	1 1.0%	13 12.4%	2 1.9%
入谷地区	211 100.0%	13 6.2%	14 6.6%	3 1.4%	2 0.9%	26 12.3%	5 2.4%
金杉地区	46 100.0%	7 15.2%	6 13.0%	1 2.2%	1 2.2%	3 6.5%	2 4.3%
谷中地区	21 100.0%	3 14.3%	3 14.3%	-	-	-	-
浅草橋地区	128 100.0%	12 9.4%	11 8.6%	3 2.3%	1 0.8%	11 8.6%	5 3.9%
浅草寿地区	104 100.0%	8 7.7%	4 3.8%	2 1.9%	-	12 11.5%	2 1.9%
雷門地区	53 100.0%	3 5.7%	2 3.8%	5 9.4%	-	4 7.5%	-
馬道地区	53 100.0%	3 5.7%	2 3.8%	2 3.8%	-	7 13.2%	3 5.7%
清川地区	67 100.0%	4 6.0%	6 9.0%	4 6.0%	1 1.5%	10 14.9%	1 1.5%

## (5) 台東区における多文化共生の推進についての意見（自由記述）

問45 台東区における地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるため、ご意見がありましたらご記入ください。

台東区における多文化共生の推進に対する自由記述に213名（回答者に占める割合で21.8%）の回答があった。以下に、アンケート調査の内容にあわせて記述内容を整理し、自由記述の件数と主な内容を掲載する（趣旨が不明な意見3名、意見が無いまたはわからないと記述された意見38名は除く）。

## ①多文化共生・地域での日本人とのかかわりに関すること（72件）

- ・台東区は美しい街です。外国人も多いですが、日本人は親切で敬意を払ってくれます。（その他・30～39歳）
- ・市内で起こりうる予期せぬ災害時にボランティア活動ができるように、私たちのような外国人も無料訓練を受けることは一般的になっている。（訓練を通して）このような姿を見せることで、必要な際には私たちも日本人のために役立てるということを理解してくれるだろう。（フィリピン・40～49歳）
- ・差別なくしてください。（その他・20～29歳）
- ・外国人と日本人の間には「言葉の壁」、「制度の壁」、「心の壁」という3つの壁があります。なかでも一番の障壁となるのが「心の壁」と呼ばれる偏見であり、それを払拭することが重要と考えられます。（中国・30～39歳）
- ・私たちのような外国人も平等に扱ってもらえたらと思っている。（フィリピン・40～49歳）
- ・外国人が悪いことをしたとしても、それはその人の性格で、その人の国の人全員が悪いというイメージに思わないでほしいです。（ミャンマー・20～29歳）
- ・人が他者を差別する場合、自分がステレオタイプや偏見の影響によりそうしていると、自ら意識することはなかなか難しいと思います。多文化共生の環境を作るために、会社でのセクハラやパワハラ教育みたいに、「差別」とは？から普及するのが、もしかすると効果的かもとふと思いました。（中国・30～39歳）
- ・外国人との共生に関する台東区の取り組みには感謝している。お互いの偏見や差別をなくせると良い。日本にいるほとんどの外国人は日本のことが好きで、日本の秩序や清潔さ、モラルの高さに好感を持っている。私は、日本の文化をこれからも尊重したいし、一日も早く溶け込みたいと思っている。（中国・60～69歳）
- ・お互いの文化を理解する事。（ミャンマー・40～49歳）
- ・何もしないほうが良いと思う。税金も日本人のために使う方が良いでしょう。なぜなら、多文化共生社会は包括的な社会環境の結果である。それを政治目標としてどのように達成するかは、さらなる不公平を生み出すだけだと思う。私の意見では、現在の日本社会は寛容すぎると思う。（中国・20～29歳）
- ・翻訳者や通訳者として地元の人々の手助けをしたいと思っている。（ネパール・40～49歳）

- ・外国人と地元の人々が一緒に活動に参加し、お互いを知り、助け合い、和やかで友好的な生活環境を築く。(中国・30～39歳)
- ・いつもお互いに助け合う。(ベトナム・20～29歳)
- ・結束と相互の信頼が必要だと思います。そうすれば、和を以て共生できる。(インド・50～59歳)
- ・互いに学び合って多くの日本人と友達になる。(中国・40～49歳)
- ・物事が上手く行くように、みんながコミュニケーションを取れるようになればと思う。ありがとうございます。(フィリピン・50～59歳)
- ・双方にとって共生が負担にならないよう、適切なバランスを保つことが重要です。外国人住民は日本語を学ぶ努力をする必要がありますが、日本人住民も心を開く必要があります。真の多様性の効果は、背景そのものからではなく、人々の実際の経験(知識、職業、興味)から生まれるからです。(その他・30～39歳)
- ・お互いを理解できるチャンスをもっと増やしていきたいです。(中国・30～39歳)
- ・会話を促進し、日本人と外国人の間に何らかの接点をもたらすよう試みるのが大切です。(その他・30～39歳)
- ・日本人が気を遣うのではなく外国人が日本の風習や法律、ルールを学ばなければならない。日本人は外国人だと構えずに非常識だと思うことは教えてあげれば良いのでは?頭ごなしで怒るのではなく。また、日本人は欧米人には優しいがアジア系の人には口調が厳しくなる。(韓国・50～59歳)
- ・外国人に対し、まず日本の習慣やルールなどについて教育と広報を行う必要があると思う。そうした上で日本人と交流することで、不要な誤解を減らし、より良い交流を行えるようになると思う。(中国・50～59歳)
- ・ライングループを作ったりSNSを活用したりして、人々がコミュニティに参加しやすくなるよう工夫する。(中国・30～39歳)
- ・台東区のコミュニティはよくしてくれていて、日本人はとても親切で礼儀正しいというのが私の意見です。コミュニケーションには言葉が重要で、私の場合は日本人がもう少し英語を話してくれるとありがたいです。日本人が少しでも英語を話せば、どんな外国人居住者にとってもコミュニケーションが容易になるでしょう。(インド・20～29歳)
- ・理解を深めるためのコミュニティを作ることだと思います。(台湾・30～39歳)
- ・絆は頻繁な交流によって築かれます。だから一緒に過ごす機会を増やす活動が必要ですね。しかし、皆、仕事や家庭で忙しく(特に日本の過酷な労働環境では)外国人を理解しようとする時間など誰にあるのでしょうか?(その他・40～49歳)
- ・地域に住む外国人についてもっと知ることは、(日本の)子供たちや若者にとっても良いことだと思う。(その他・50～59歳)
- ・子供の頃から正しい価値観を教えて、偏見のない人に、グローバル的になる。(中国・30～39歳)
- ・日本人は他国に関心を高めてくれたらと思います。(中国・30～39歳)

## ②地域でのイベントを通じた交流に関すること（34件）

- ・観光以外でも日本人と外国人が交流できる機会が必要だと思います。また、私のように地域のイベントやボランティア活動に興味があるにもかかわらず、参加方法が分からない人が多いと思います。チラシなどで誘うのが良いかもしれません。（その他・20～29歳）
- ・普段は看板など見ないので、活動やお知らせなども知らないのです。（中国・30～39歳）
- ・お祭りやお祝い事の際に、マンションの外国人も地域行事にお誘いいただいているが、今後もっとそれが広まっていけば良いと思う。日本在住の外国人とその家族をもっと誘って欲しい。（フィリピン・20～29歳）
- ・自分も子育てをしているので、日本のパパママたちとも知り合いたいと思っていますが、文化の違いもあってか、一緒に遊んだり交流できる機会がなかなかないと感じています。ぜひ、いろいろな国の親子が参加できる活動を企画していただけたら嬉しいです。今回このアンケートをいただけて、とてもありがたく思います。皆さんのご努力を感じることができ、感謝しています。（中国・30～39歳）
- ・毎朝、公園でラジオ体操をやる文化はとても素敵だと思います。たまに朝の太極拳など、外国のストレッチを皆で一緒にやりたいと思ったことがあります。そのようなイベントの開催を検討していただけたら、楽しく参加したいと思います。（中国・40～49歳）
- ・1番簡単な方法は交流イベントだと思います。例えば、外国の料理祭りかな？（タイ・30～39歳）
- ・一緒に、もっとお祭りを企画しましょう。（インド・40～49歳）
- ・人が集まるイベントや互いに交流する活動を日ごろから行うと良い。例えば、カラオケ大会や老人福祉活動など。（中国・50～59歳）
- ・一緒に交流した方がよいと思う。例えばボランティアや防災活動、祭りなどです。（その他・30～39歳）
- ・いろんな国の文化を紹介したり、体験するイベントがあったら嬉しいです。（韓国・30～39歳）
- ・台東区は、日本人と外国人居住者がそれぞれの伝統を共有する文化交流イベントを促進することで、調和を図ることができると思います。ギリシャ人として、私は自国の言語と文化を共有し、相互理解を深めたいと考えています。お互いから学ぶことで、より強く、より包摂的なコミュニティを築くことができるでしょう。（その他・40～49歳）

## ③日常生活のルールやマナーに関すること（22件）

- ・ごみ出しなど、ルールやマナーを守る。挨拶などをしっかりと行う。（台湾・40～49歳）
- ・我々外国人は日本の生活の決まりごとをきちんと守るようにする。日本人は外国人に対し偏見の目で見ないことを心がける。（韓国・60～69歳）
- ・外国人が日本で暮らす上で大変お世話になっています。感謝しています。同時に、外国人ではありますが、税金をたくさん納付し、社会のルールを守り、日本の社会に溶けこむ努力もしています。そういう外国人もたくさんいることを一般の日本人も知ってほしいです。（中国・50～59歳）
- ・日本社会の常識やマナーについて、外国人の中には知らない人が多いと感じます。日本人にとっては「当たり前」だと思っていることでも、外国の方には、わからない場合が多いです。

だからこそ、日本人の側から説明したり、教えたりすることが大切だと思います。(中国・30～39歳)

- ・外国人が自らの生活を日本に合わせていけるようなプロモーションなら何でも良いと思います。日本人が外国人に合わせてるのではなく、私たち外国人こそ学ぶ必要があります。(その他・30～39歳)
- ・台東区では、ごみの捨て方など、台東区に住む外国人のための日常生活ルールを普及させ、誰もが生活ルールを守れるようになればと思います。(中国・50～59歳)
- ・日本に住む外国人に日本のマナー(電車などのマナー)などを学んでもらえるとより良い日本社会ができると思います。要するに、「郷に入っては郷に従え」です。(フィリピン・20～29歳)
- ・台東区には日本の文化を尊重しない、ルール違反をする外国人が多いです。日本人と共生するためには日本語や日本のルールの学習が必ず必要です。それができないと結局それぞれの国ごとのコミュニティになってしまいます。最近、外国人のトラブルが増えて、日本で真面目に働いている外国人にも影響があります。まずは多文化環境を作る前に日本人が安心して外国人を受け入れるための対策を模索してください。(アメリカ・30～39歳)

#### ④区の施策に関すること (20件)

- ・台東区の活動に関するニュースが届かない。台東区は、SNSやメールを通じて、このような活動のプロモーションを改善することができないだろうか。(その他・30～39歳)
- ・こういうアンケート調査などの活動を通じて、重要かつ緊急性がある課題をしぼって、重点的に対策を取ったほうが効果があると思います。(中国・60～69歳)
- ・このようなアンケートをいただくのは初めてで、台東区が外国人を大切にしてくださっていると感じ、うれしく思います。イベントにはあまり参加しておらず、内容もよく分からないため意見は難しいですが、今後の取り組みを楽しみにしています。(台湾・30～39歳)
- ・台東区すごくいいと思います！(中国・50～59歳)
- ・これは外国人が地域社会にさらに溶け込む素晴らしい機会であり、台東区による非常に素晴らしい取り組みです。ありがとうございます！(フランス・40～49歳)
- ・台東区に住むことができ、とても安全な暮らしができています。(ネパール・20～29歳)

#### ⑤言葉や日本語学習に関すること (12件)

- ・短期(1ヶ月程度)の日本語教室を開いてほしい。または有料の個別日本語学習。(中国・30～39歳)
- ・特に子供たちへの日本語学習支援を増やしてください。(フィリピン・30～39歳)
- ・多言語での情報発信やサービスの案内、大変助かります。いつもありがとうございます。(ベトナム・20～29歳)
- ・母国語で無料相談が受けられるとありがたいです。(その他・30～39歳)

⑥日本での生活に関すること（6件）

- ・東京での生活が楽しい。（中国・40～49歳）
- ・税金と年金の支払いが大変。（フィリピン・30～39歳）

⑦観光客や観光施策に関すること（4件）

- ・差別や偏見をなくすことだと思います。また、台東区に泊まる観光客へのマナー啓発の発信も重要です。定住している人は分かっているけど、旅行で来た人＝外国人のため、長く住んでいる人の負の影響もないとは言えません。（台湾・30～39歳）

⑧本アンケートに関すること（2件）

- ・お互いを理解するためには、日本人も同様にアンケートが必要だと思います。（中国・30～39歳）

※掲載した意見は、母国語で書かれた場合は翻訳を介している。また、文意が通じやすくするためや特定の国籍や集団等に対する意見については偏見や差別、誤解を招かないようにするため一部を他の言葉に置き換えているが、基本的に記載された意見をそのまま掲載したもので、区の見解を示したものではない。



## 第4章 日本人意識調査 調査結果の詳細



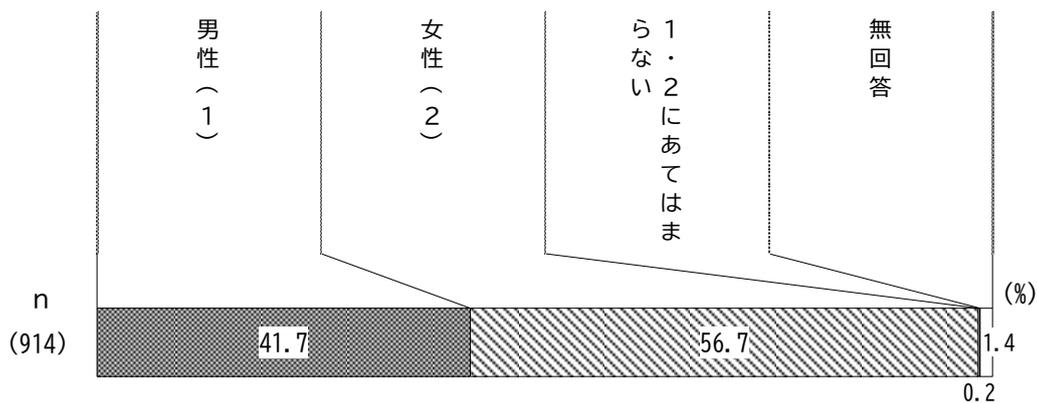
## 1. 回答者の属性

### (1) 性別

問1 あなたの性別をお選びください。(ひとつだけ○)

「男性」が41.7%、「女性」が56.7%となっている。

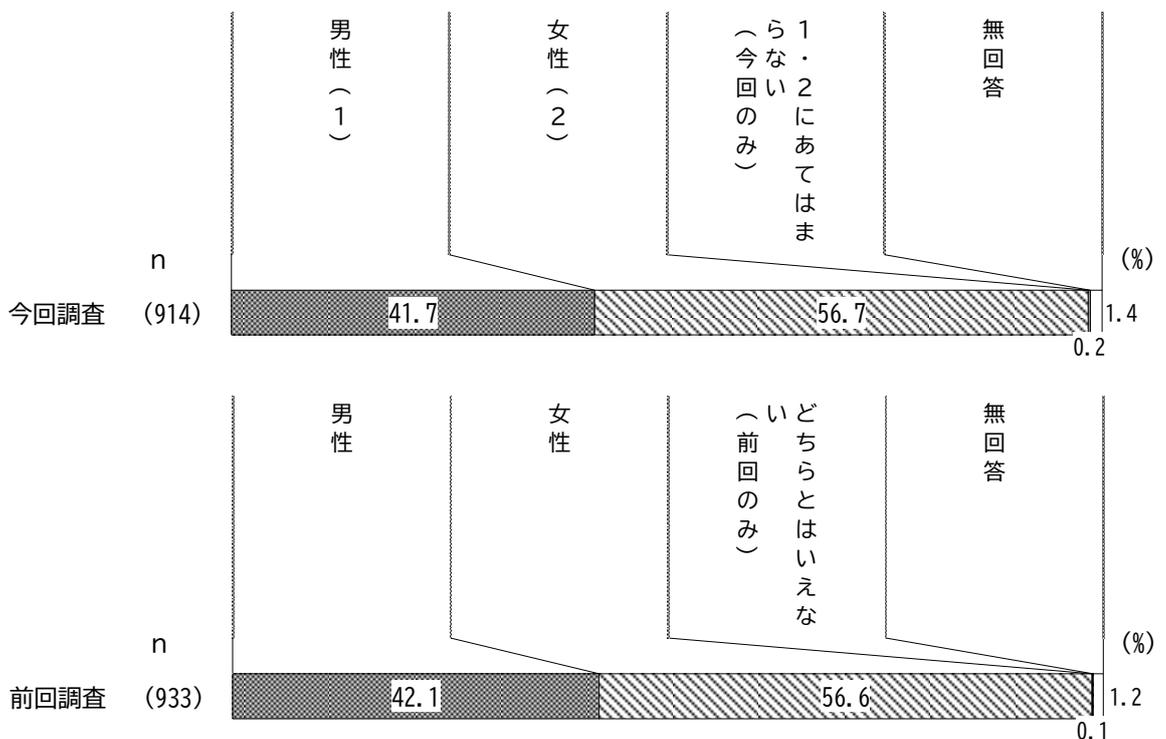
図表 性別（単一回答）



#### 【参考：経年比較】

前回との比較では、大きな差異はみられない。

図表 【参考：経年比較】性別（単一回答）



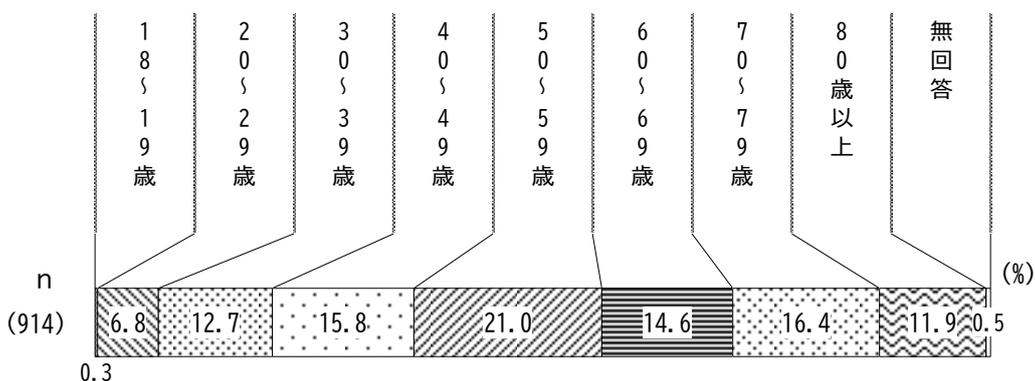
※前回調査の選択肢「どちらとはいえない」が、今回調査より「1・2にあてはまらない」に変更になっており、参考までに経年比較した。

(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(ひとつだけ○)

「50～59歳」(21.0%)が最も高く、次いで、「70～79歳」(16.4%)、「40～49歳」(15.8%)となっている。

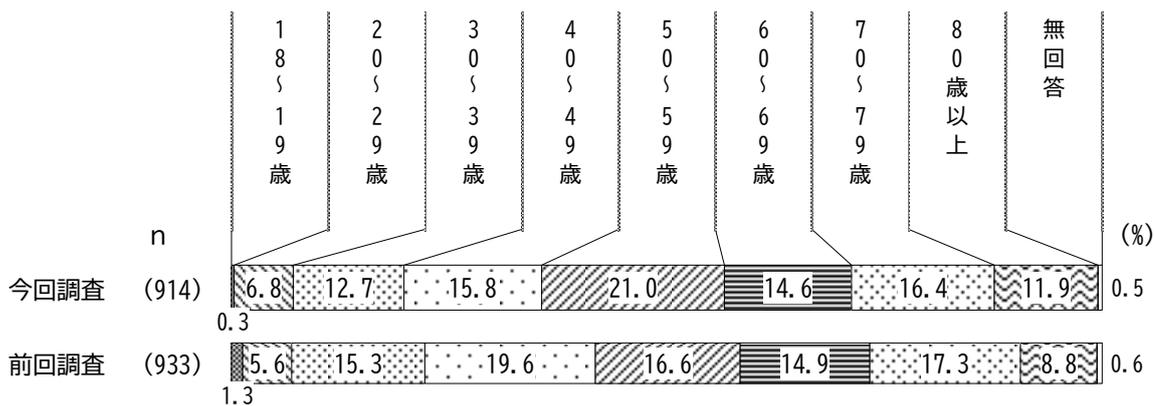
図表 年齢 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、大きな差異はみられないが、「40～49歳」がやや減少し、「50～59歳」がやや増加している。

図表 【経年比較】年齢 (単一回答)

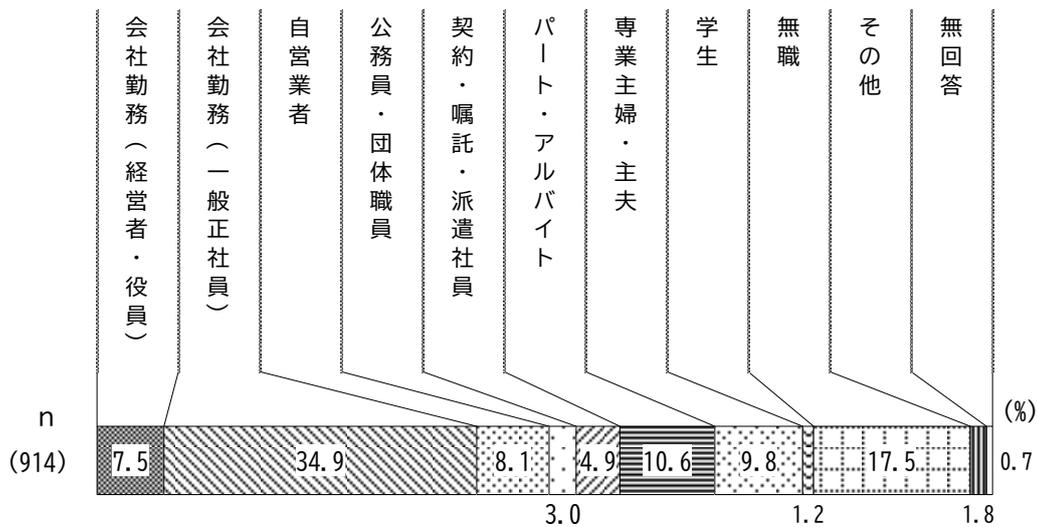


(3) 職業

問3 あなたのお仕事は、大きく分けて以下の中のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

「会社勤務（一般正社員）」(34.9%) が最も高く、次いで、「無職」(17.5%)、「パート・アルバイト」(10.6%) となっている。

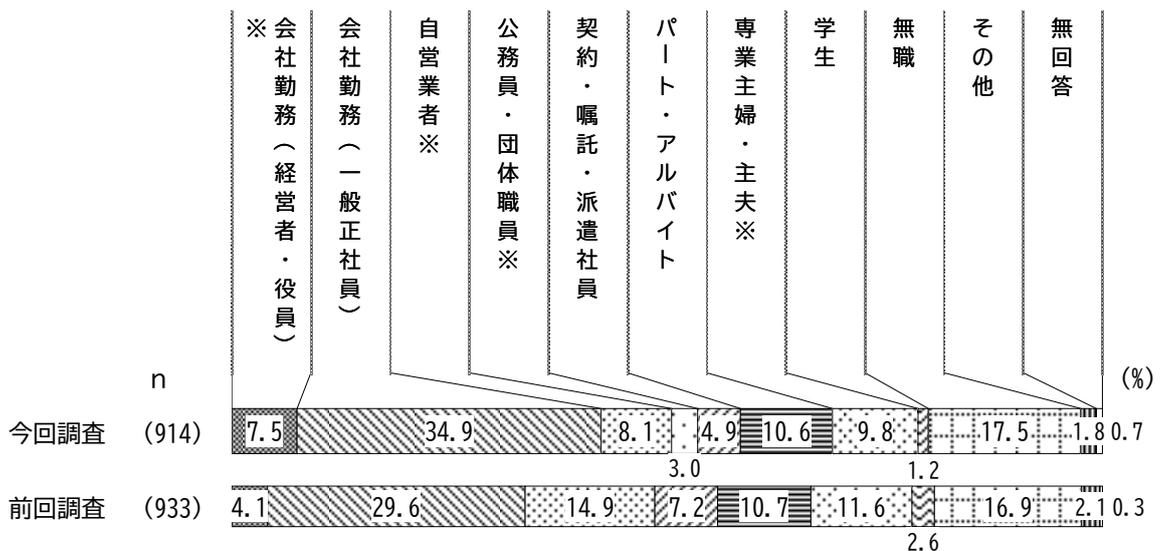
図表 職業（単一回答）



【経年比較】

前回との比較は、選択肢が一部異なるため参考程度にとどめる。

図表 【経年比較】職業（単一回答）



※今回調査の選択肢「会社勤務（経営者・役員）」は前回調査では「会社勤務（役員）」、「自営業者」は「自営業者・経営者」、「専業主婦・主夫」は「家事」であった。

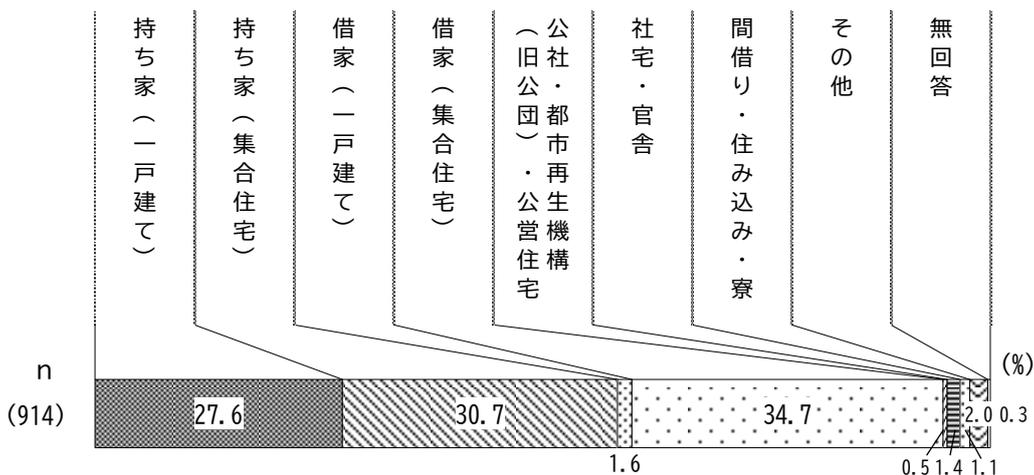
※今回調査より、選択肢「公務員・団体職員」が追加された。

(4) 居住形態

問4 あなたのお住まいは、次のうちどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

「借家（集合住宅）」(34.7%) が最も高く、次いで、「持ち家（集合住宅）」(30.7%)、「持ち家（一戸建て）」(27.6%) となっている。

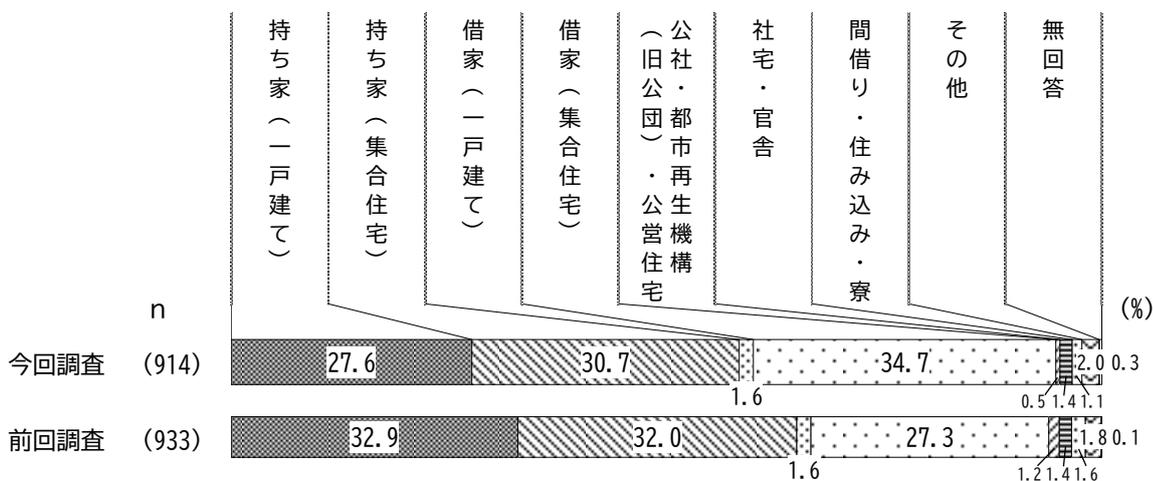
図表 居住形態（単一回答）



【経年比較】

前回の比較では、「持ち家（一戸建て）」が5.3ポイント減少し、「借家（集合住宅）」が7.4ポイント増加している。

図表 【経年比較】居住形態（単一回答）

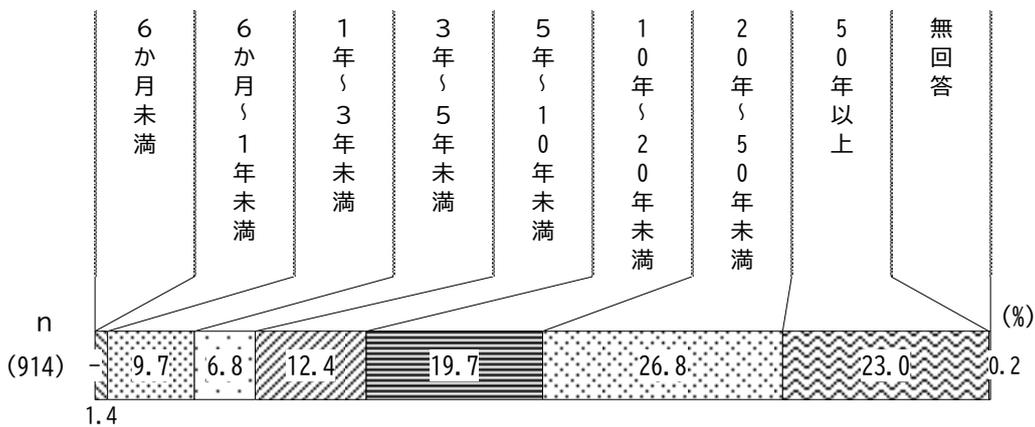


(5) 台東区での居住年数

問5 あなたは、台東区にどのくらい住んでいますか。(ひとつだけ○)

「20年～50年未満」(26.8%)が最も高く、次いで、「50年以上」(23.0%)、「10年～20年未満」(19.7%)となっている。

図表 台東区での居住年数 (単一回答)

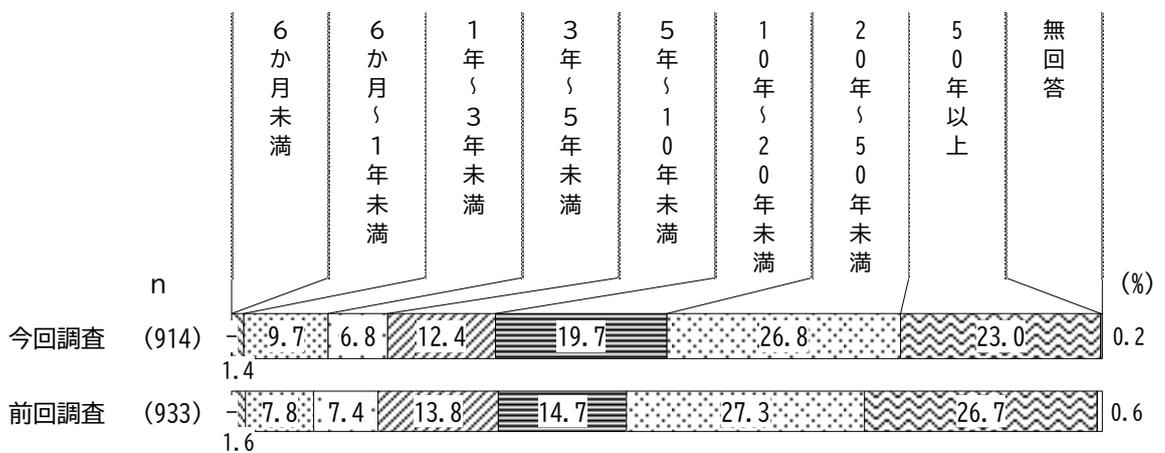


※「6か月未満」は0%であった。

【経年比較】

前回との比較では、「10年～20年未満」が5.0ポイント増加している。

図表 【経年比較】 台東区での居住年数 (単一回答)



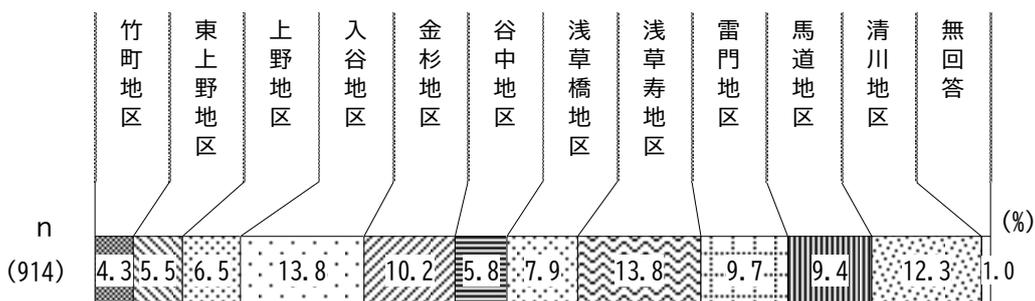
※「6か月未満」は0%であった。

(6) 居住地域

問6 あなたの住んでいる地域を把握するため封筒のお名前の右下にある1～11の数字を選択してください。(ひとつだけ○)

「入谷地区」「浅草寿地区」(共に13.8%)が最も高く、次いで、「清川地区」(12.3%)、「金杉地区」(10.2%)となっている。

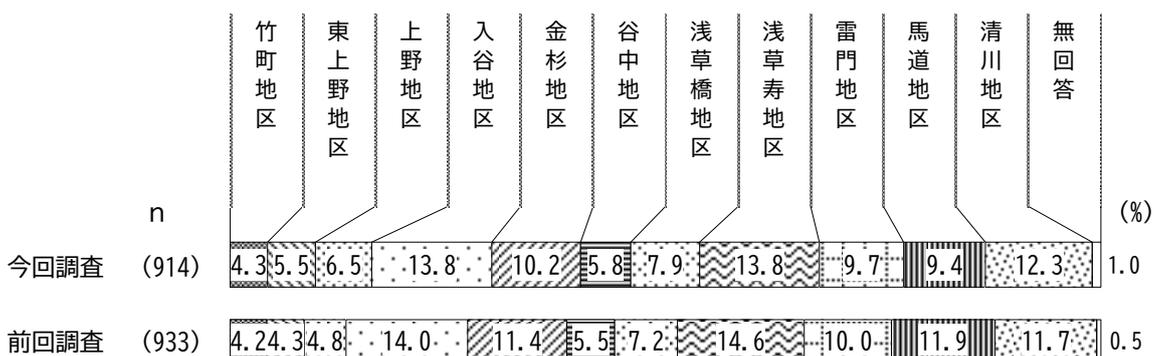
図表 居住地域 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、大きな違いはみられない。

図表 【経年比較】居住地域 (単一回答)

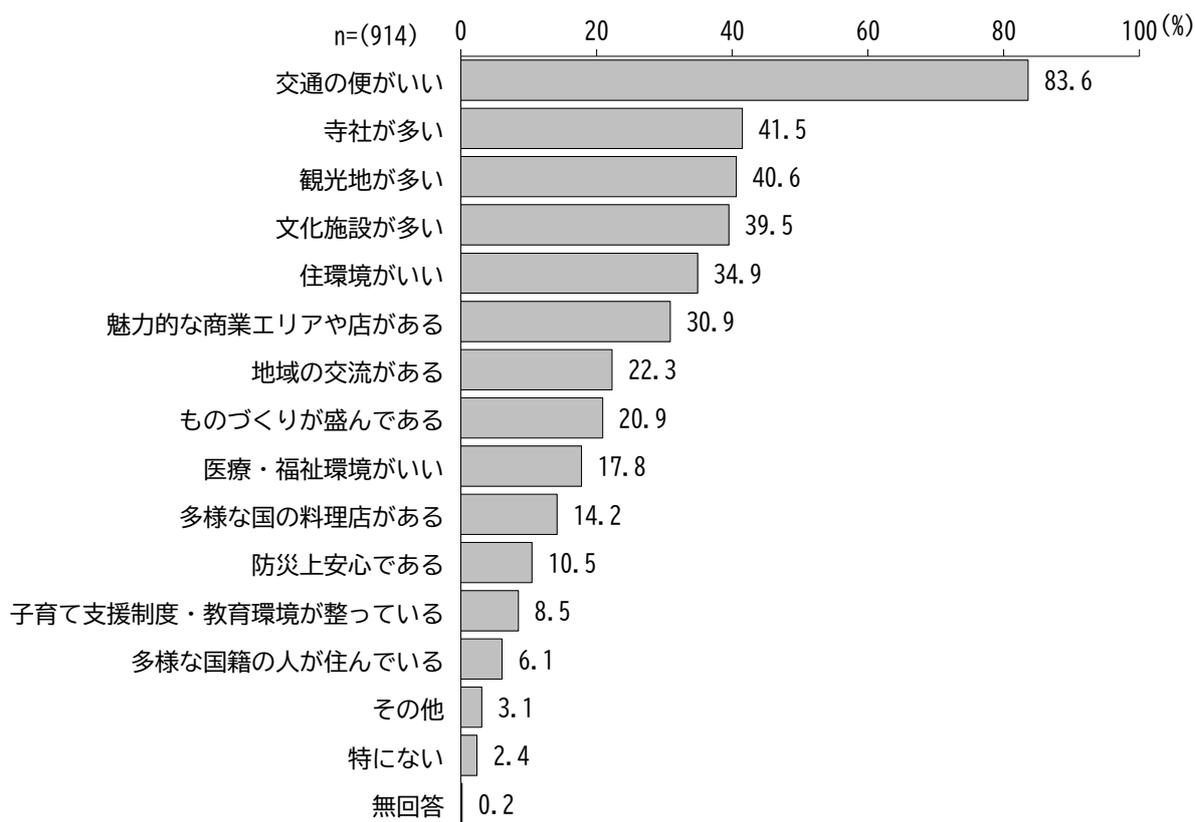


## (7) 台東区の魅力

問7 台東区の魅力は何だと思えますか。(当てはまるもの全てに○)

「交通の便がいい」(83.6%)が最も高く、次いで、「寺社が多い」(41.5%)、「観光地が多い」(40.6%)、「文化施設が多い」(39.5%)となっている。

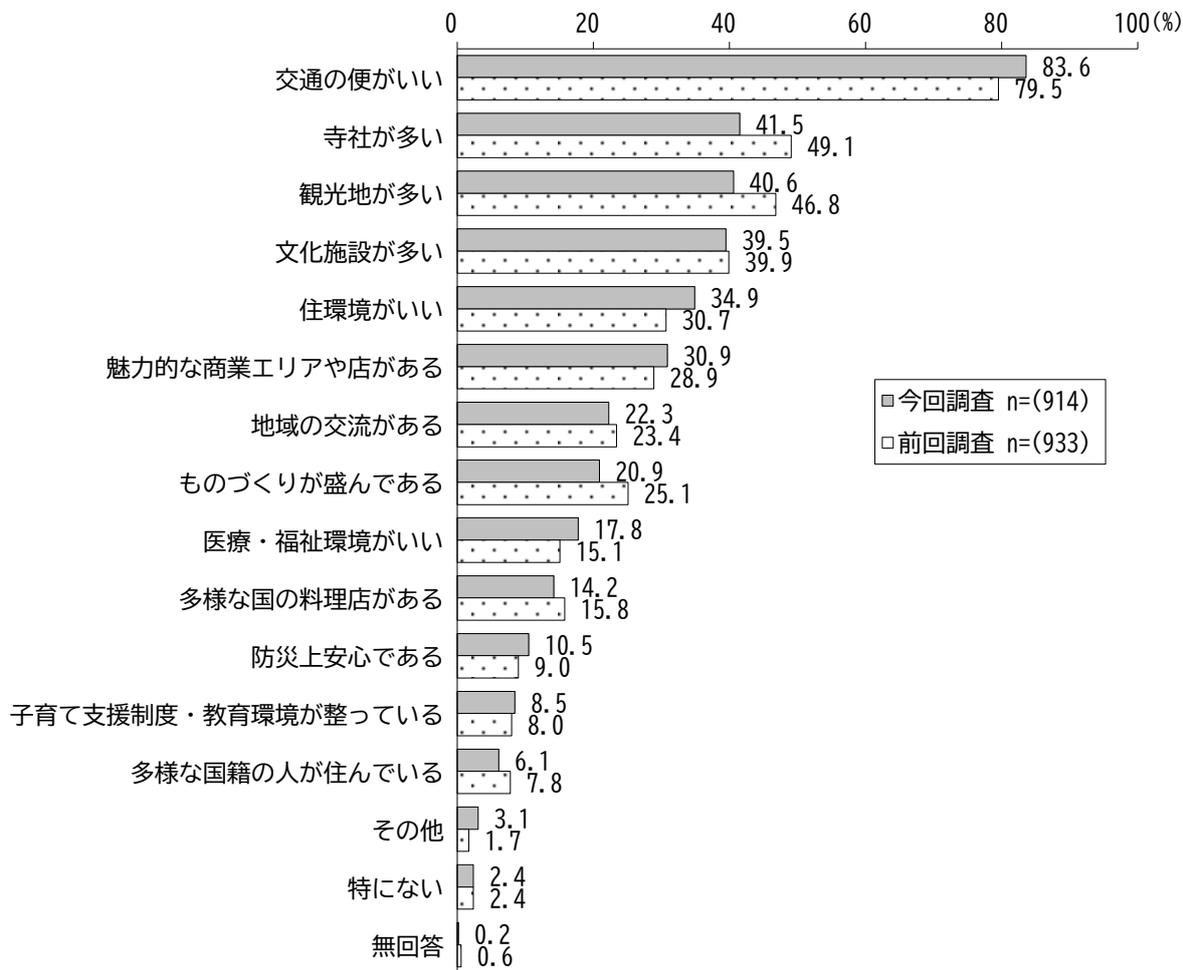
図表 台東区の魅力（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「寺社が多い」が7.6ポイント減少、「観光地が多い」が6.2ポイント減少しているが、魅力の順位に大きな差異はみられない。

図表 【経年比較】台東区の魅力（複数回答）

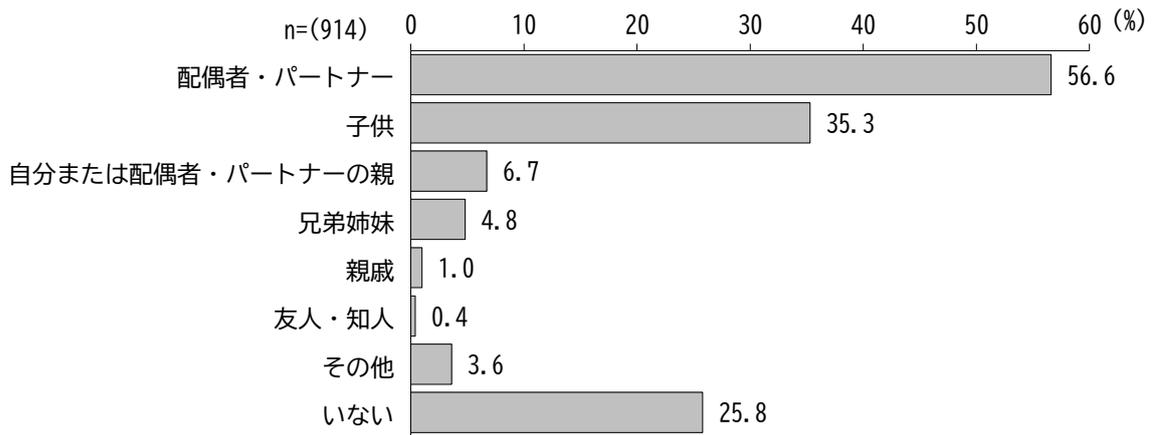


(8) 同居者

問8 あなたが現在一緒に住んでいる人はどなたですか。(当てはまるもの全てに○)

「配偶者・パートナー」(56.6%)が最も高く、次いで、「子供」(35.3%)、「いない」(25.8%)となっている。

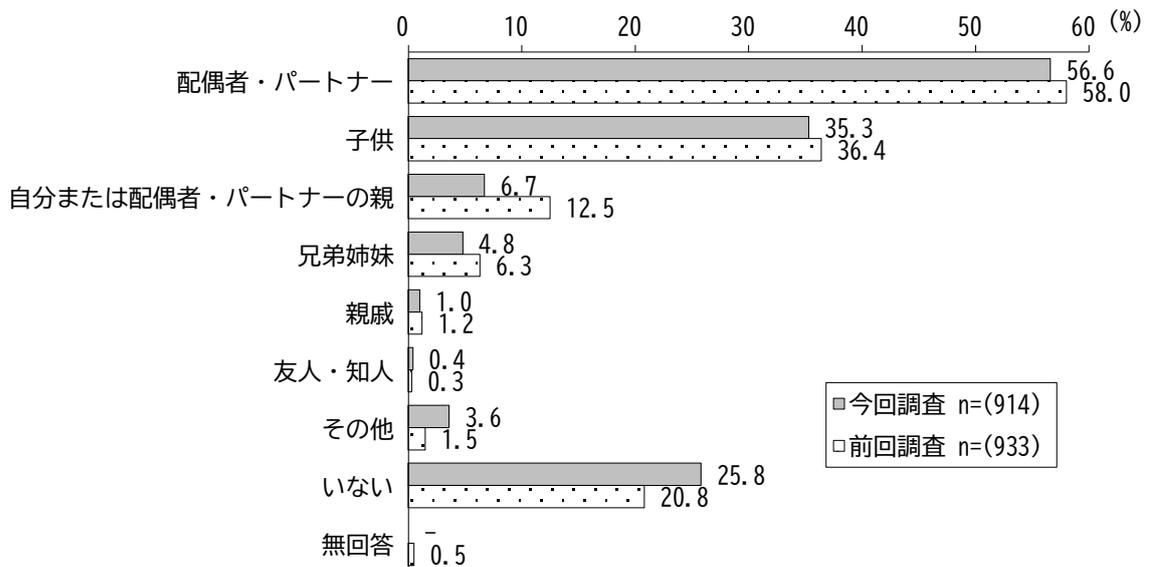
図表 同居者 (複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、「いない」が5.0ポイント増加しており、日本人区民も単身世帯が増加している可能性がうかがえる。一方、「自分または配偶者・パートナーの親」が5.8ポイント減少している。

図表 【経年比較】同居者 (複数回答)

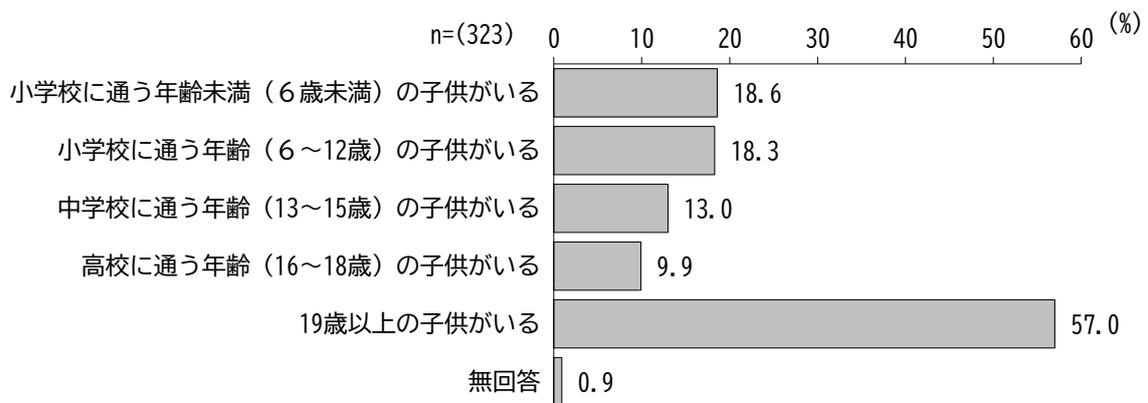


(9) 子供の年齢

問8-2 【問8で「2 子供」と回答した方にお聞きます。】  
 あなたの子供は何歳ですか。(当てはまるもの全てに○)

「19歳以上の子供がいる」(57.0%)が最も高く、半数以上占めている。次いで、「小学校に通う年齢未満(6歳未満)の子供がいる」(18.6%)、「小学校に通う年齢(6~12歳)の子供がいる」(18.3%)となっている。

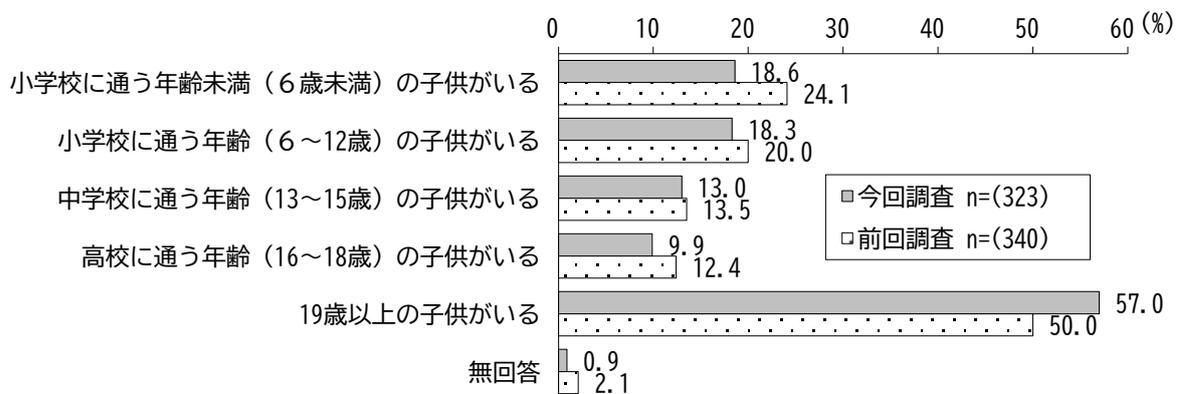
図表 子供の年齢(複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、「19歳以上の子供がいる」が7.0ポイント増加している。一方、「小学校に通う年齢未満(6歳未満)の子供がいる」が5.5ポイント減少している。

図表 【経年比較】子供の年齢(複数回答)

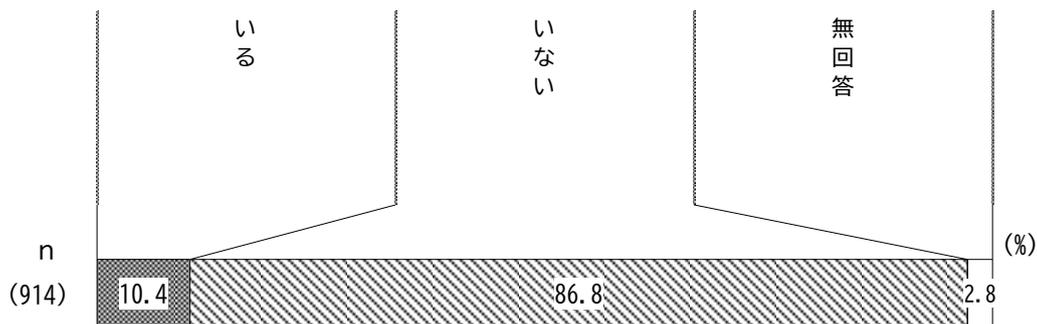


(10) 外国人や外国にルーツを持つ人の有無

問9 あなたの家族や親戚には外国人や外国にルーツを持つ人はいますか。(ひとつだけ○)

外国人や外国にルーツを持つ人が「いる」が10.4%となっている。

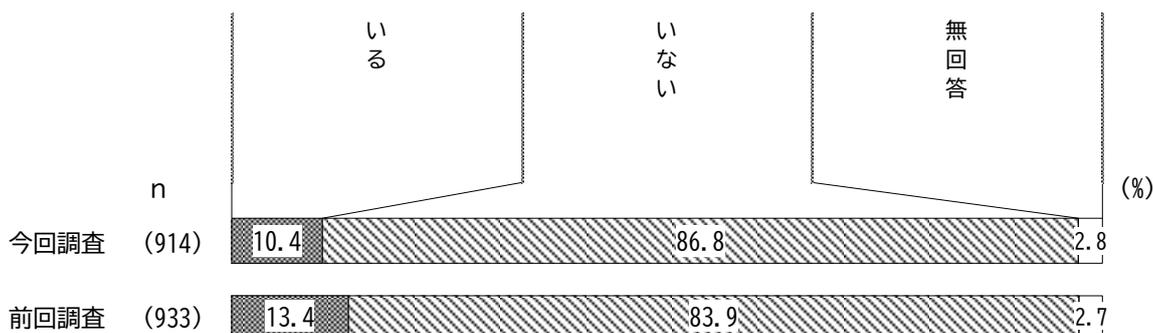
図表 外国人や外国にルーツを持つ人の有無 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「いる」がやや減少している。

図表 【経年比較】外国人や外国にルーツを持つ人の有無 (単一回答)



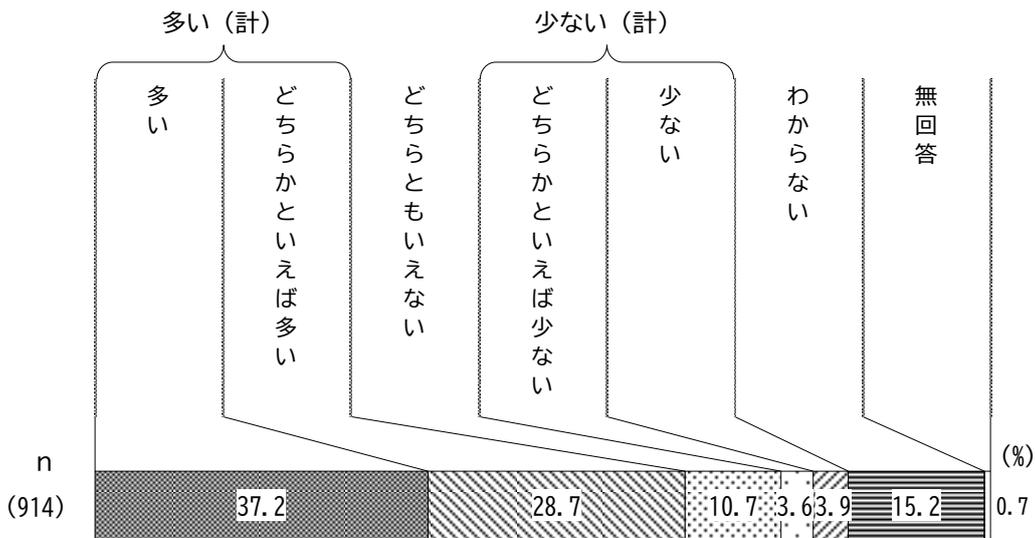
## 2. 地域で暮らす外国人とのかかわりについて

### (1) 外国人が多いと感じるか

問10 台東区に住んでいる外国人は多いと感じますか。(ひとつだけ○)

「多い」(37.2%)が最も高く、次いで、「どちらかといえば多い」(28.7%)、「わからない」(15.2%)となっている。「多い」「どちらかといえば多い」の合計の割合は65.9%である。

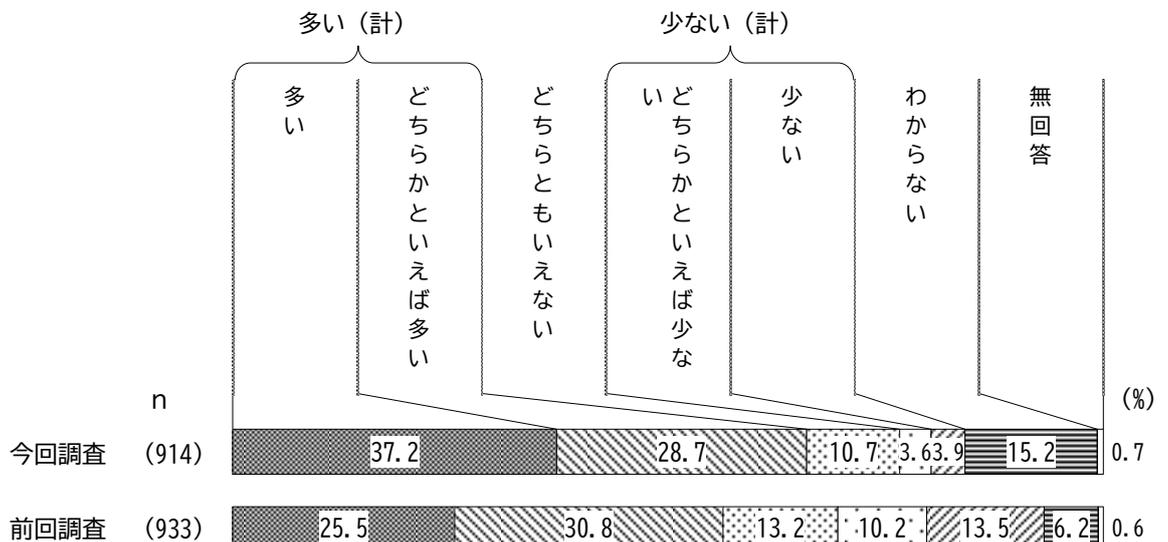
図表 外国人が多いと感じるか(単一回答)



#### 【経年比較】

前回との比較では、「多い」「どちらかといえば多い」の合計の割合が9.6ポイント、「わからない」が9.0ポイント増加する一方、「どちらかといえば少ない」「少ない」の合計の割合は16.2ポイント減少している。

図表 【経年比較】外国人が多いと感じるか(単一回答)



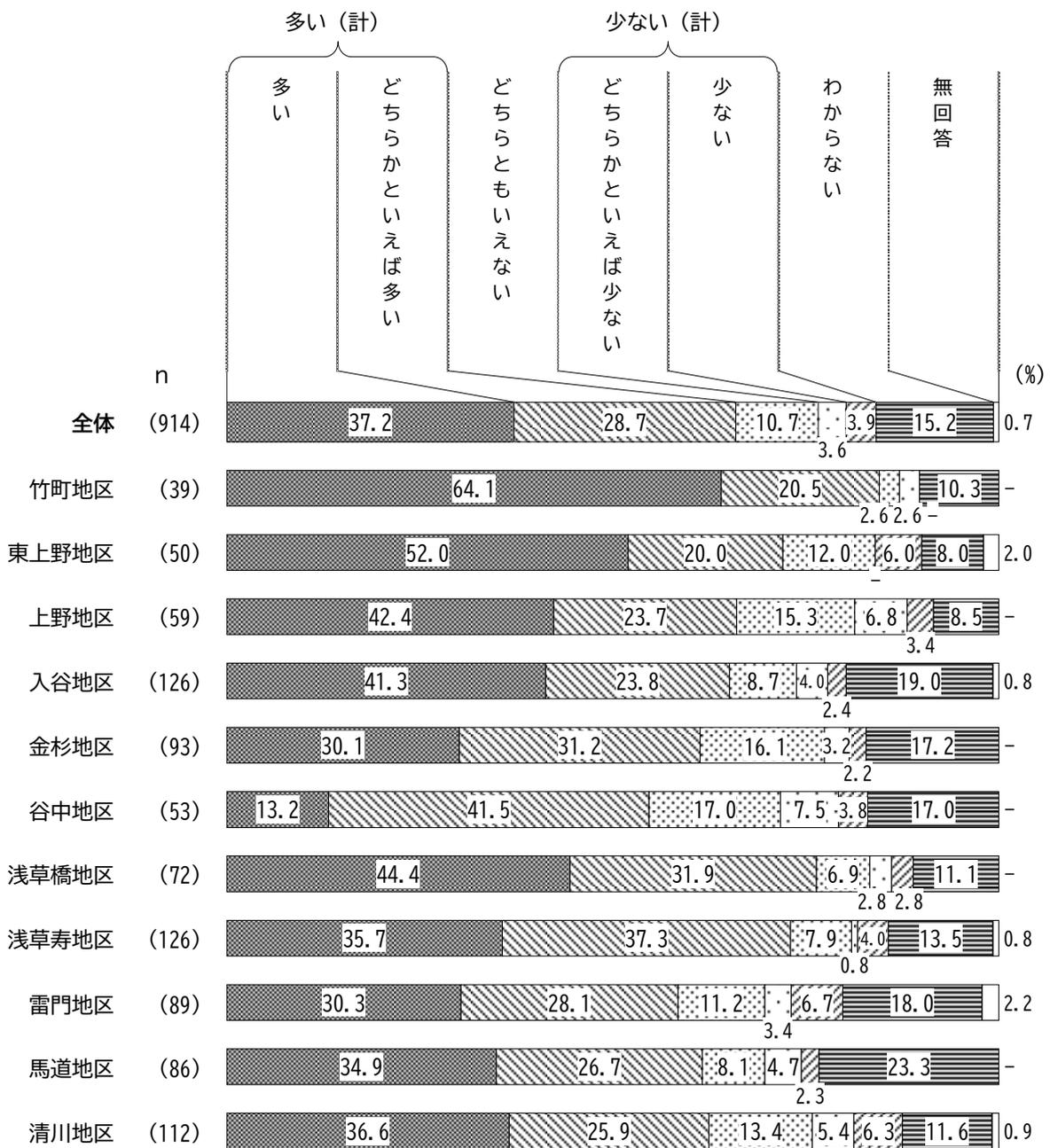
※前回調査の設問では「身近なところに外国人は多いと感じますか。」となっていた。

【居住地域別】

「多い」「どちらかといえば多い」の合計の割合は、「竹町地区」「浅草橋地区」「浅草寿地区」「東上野地区」で全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

一方、「谷中地区」「雷門地区」は全体平均と比較して5ポイント以上低くなっている。

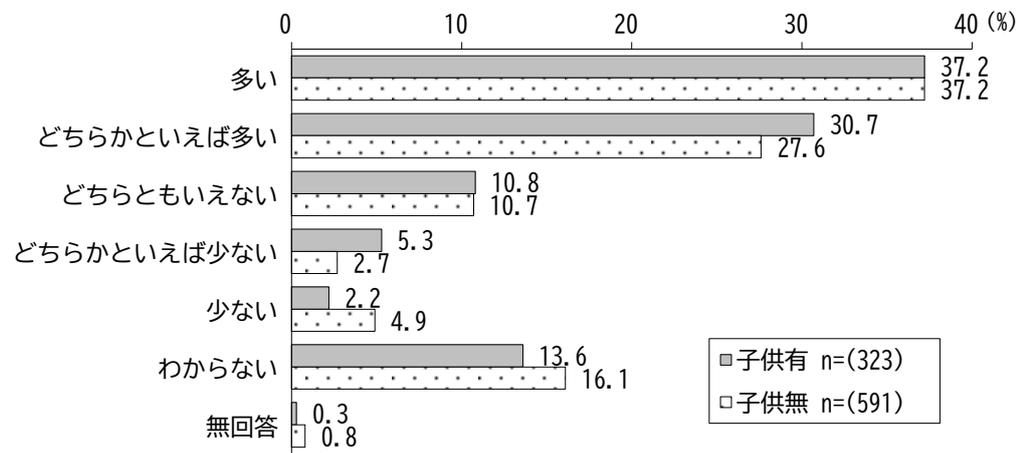
図表 外国人が多いと感じるか（居住地域別）



【子供の有無別】

「多い」「どちらかといえば多い」の合計の割合は、「子供有」「子供無」では大きな差はみられない。

図表 外国人が多いと感じるか（子供の有無別）

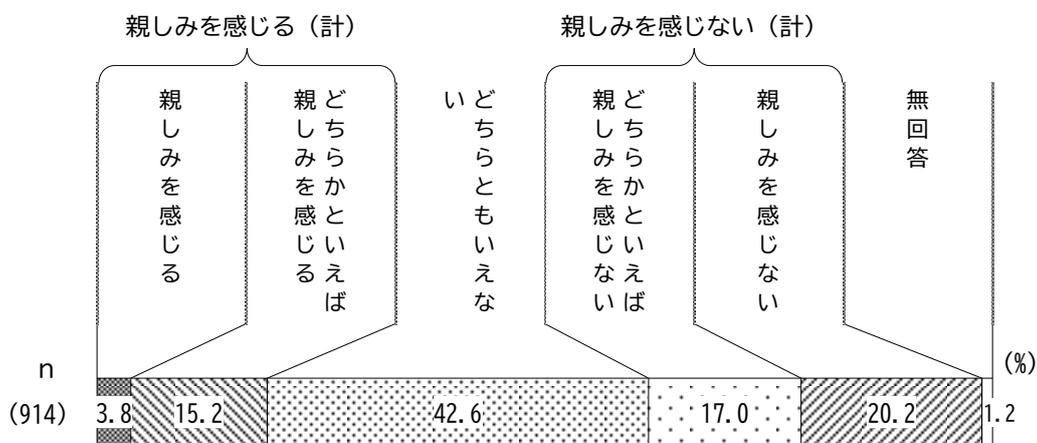


(2) 地域の外国人に対する親しみ度合い

問11 あなたは、地域に暮らす外国人にどれくらい親しみを感ずますか。(ひとつだけ○)

「どちらともいえない」(42.6%)が最も高く、次いで、「親しみを感ずない」(20.2%)、「どちらかといえば親しみを感ずない」(17.0%)となっている。「親しみを感ずない」「どちらかといえば親しみを感ずない」の合計の割合は37.2%で、「親しみを感ずる」「どちらかといえば親しみを感ずる」の合計の割合は19.0%である。

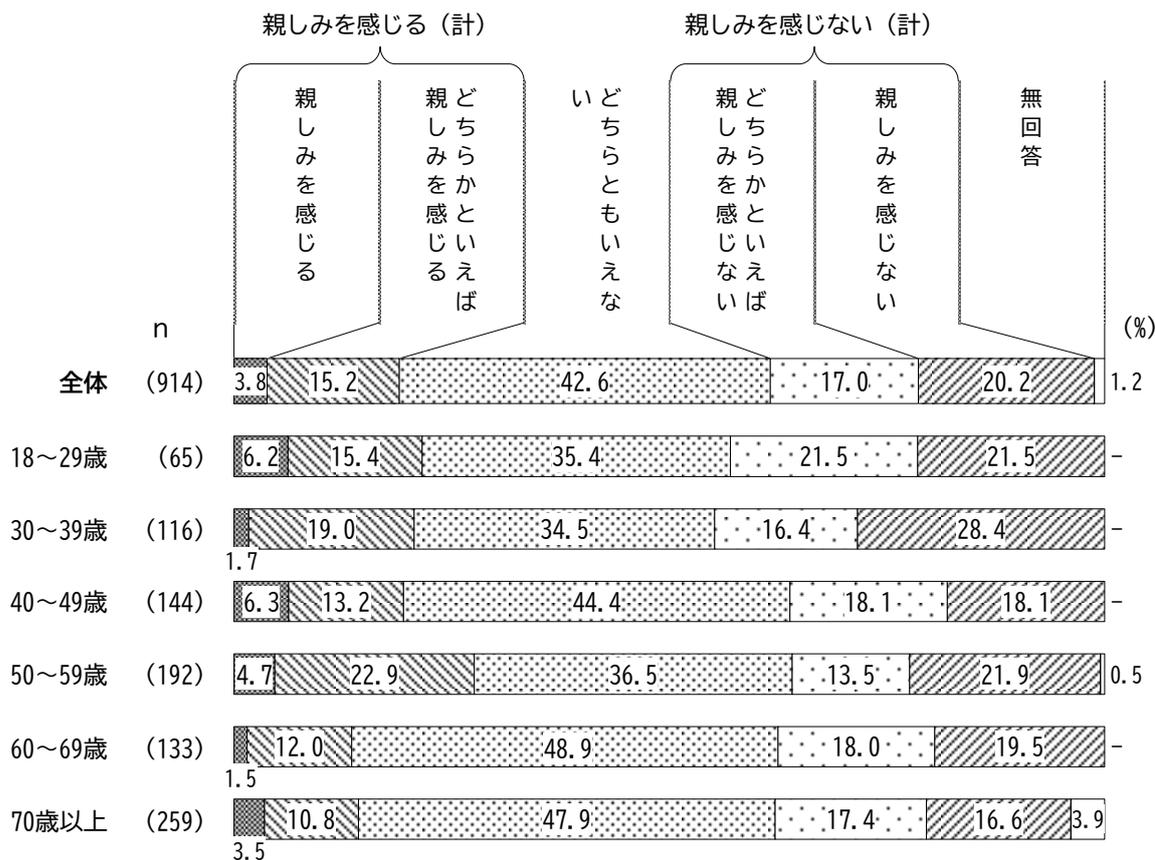
図表 地域の外国人に対する親しみ度合い (単一回答)



【年齢別】

「親しみを感じない」「どちらかといえば親しみを感じない」の合計の割合は、「18～29歳」「30～39歳」で全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。一方、「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」の合計の割合は、「50～59歳」で全体平均と比較して5ポイント以上高いものの、「60～69歳」では13.5%と低くなっている。

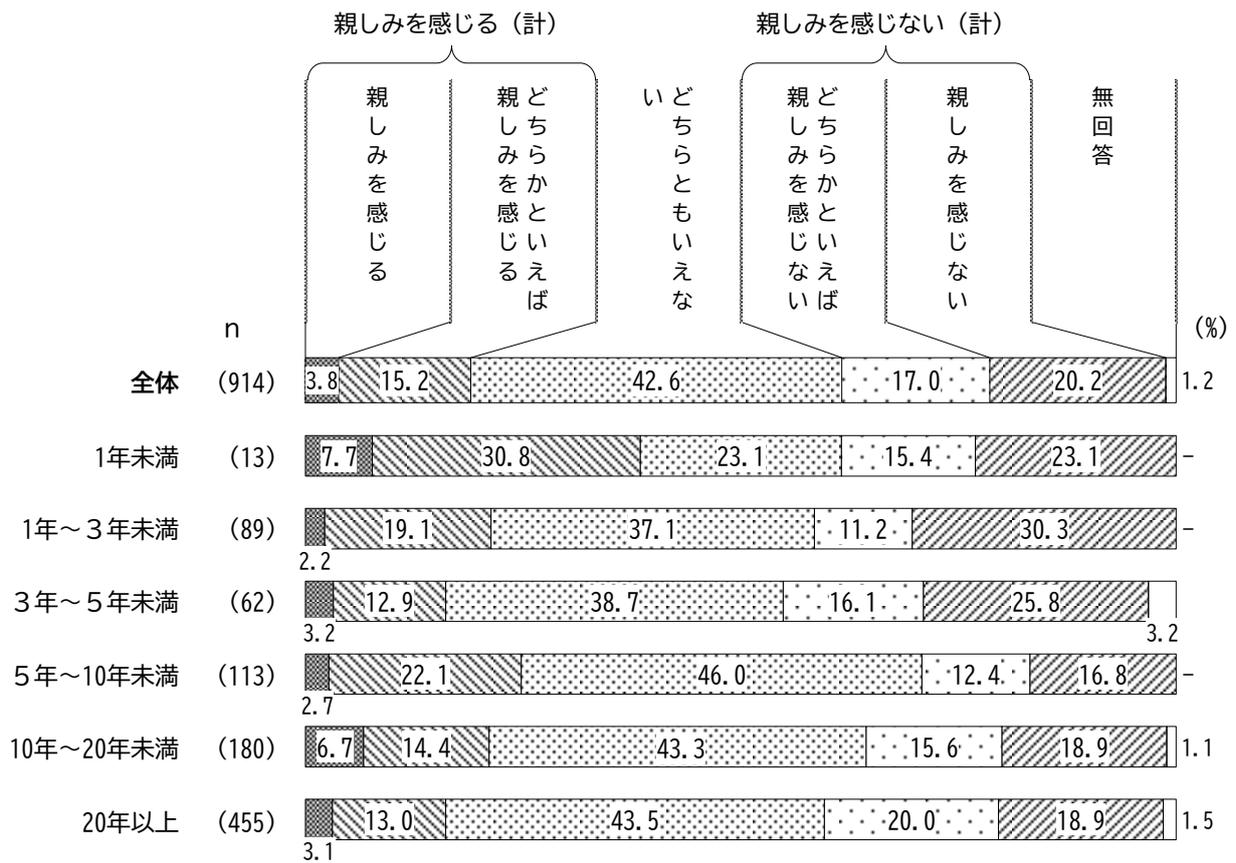
図表 地域の外国人に対する親しみ度合い（年齢別）



【台東区居住年数別】

「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」の合計の割合は、「1年未満」で全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。1年以上では「親しみを感じない」「どちらかといえば親しみを感じない」の合計の割合の方が高く、「1年～3年未満」「3年～5年未満」「20年以上」では20ポイント以上の差がある。

図表 地域の外国人に対する親しみ度合い（台東区居住年数別）

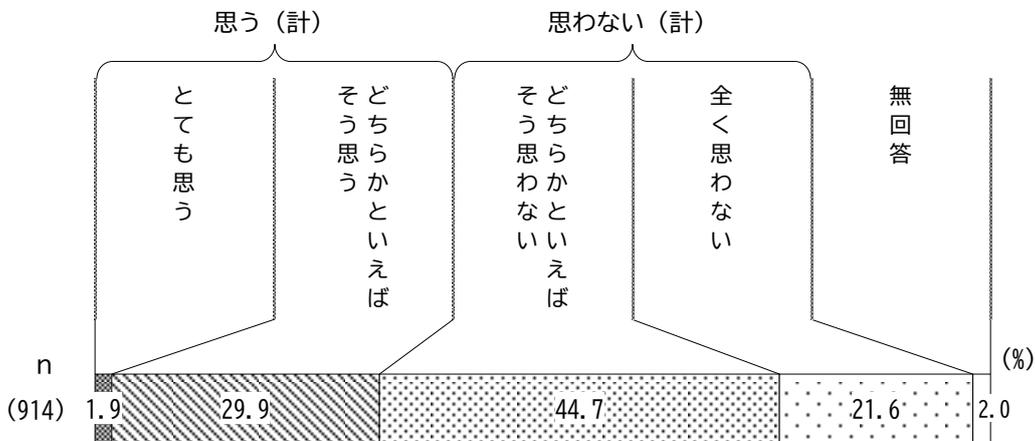


(3) 地域の中での日本人と外国人のかかわり

問12 台東区では地域の中で日本人と外国人が互いにコミュニケーションがとれていると思いますか。(ひとつだけ○)

「どちらかといえばそう思わない」(44.7%)が最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」(29.9%)、「全く思わない」(21.6%)となっている。「とても思う」「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が31.8%に対し、「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計の割合は66.3%と高くなっている。

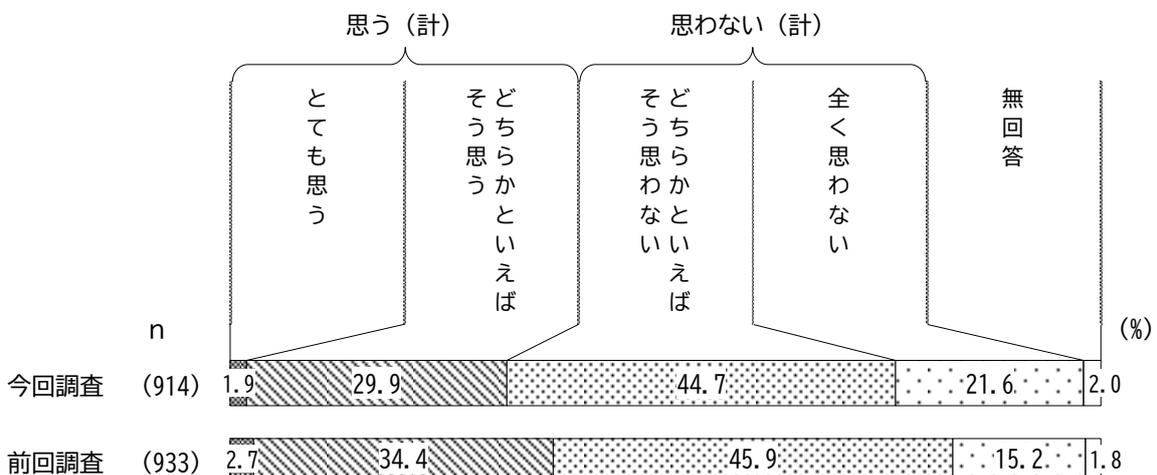
図表 地域の中で日本人と外国人のコミュニケーションがとれているか(単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が5.3ポイント減少する一方、「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計の割合が5.2ポイント増加している。

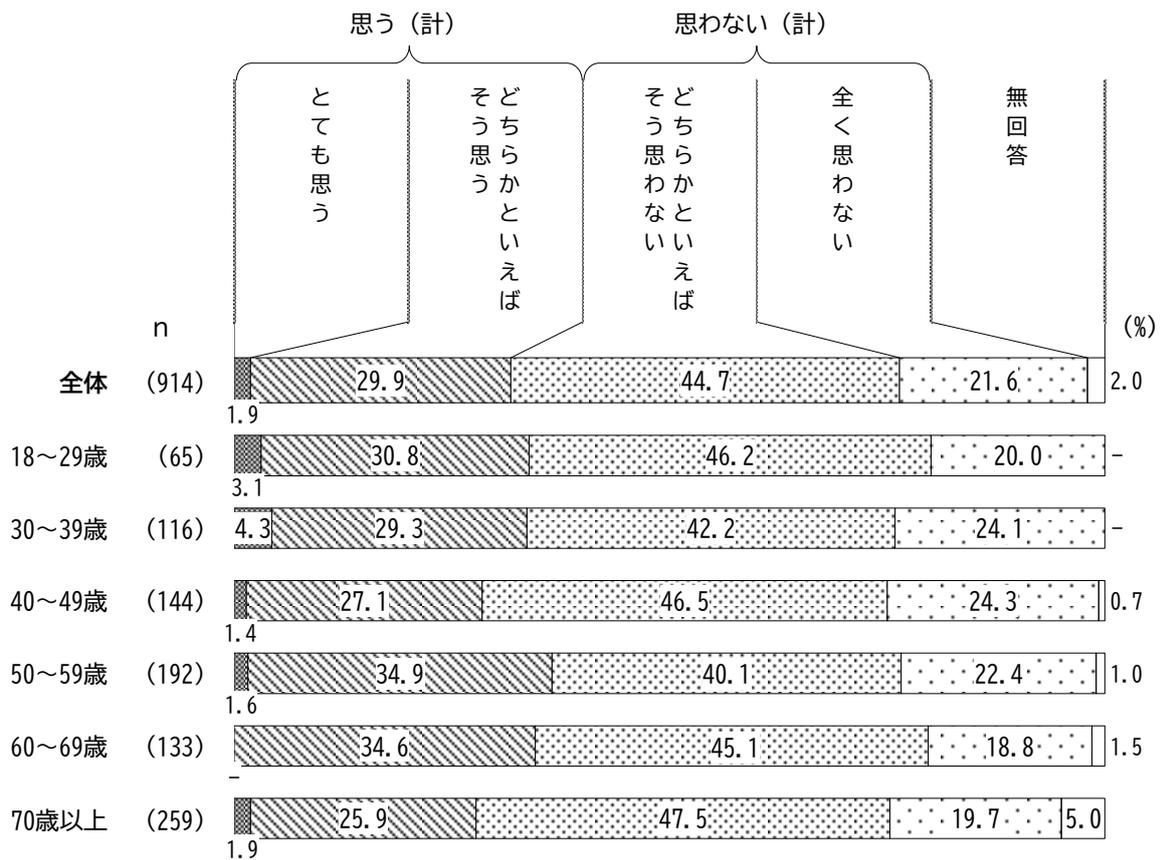
図表 【経年比較】 地域の中で日本人と外国人のコミュニケーションがとれているか (単一回答)



【年齢別】

すべての年代で「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計の割合が、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」の合計の割合を上回っている。

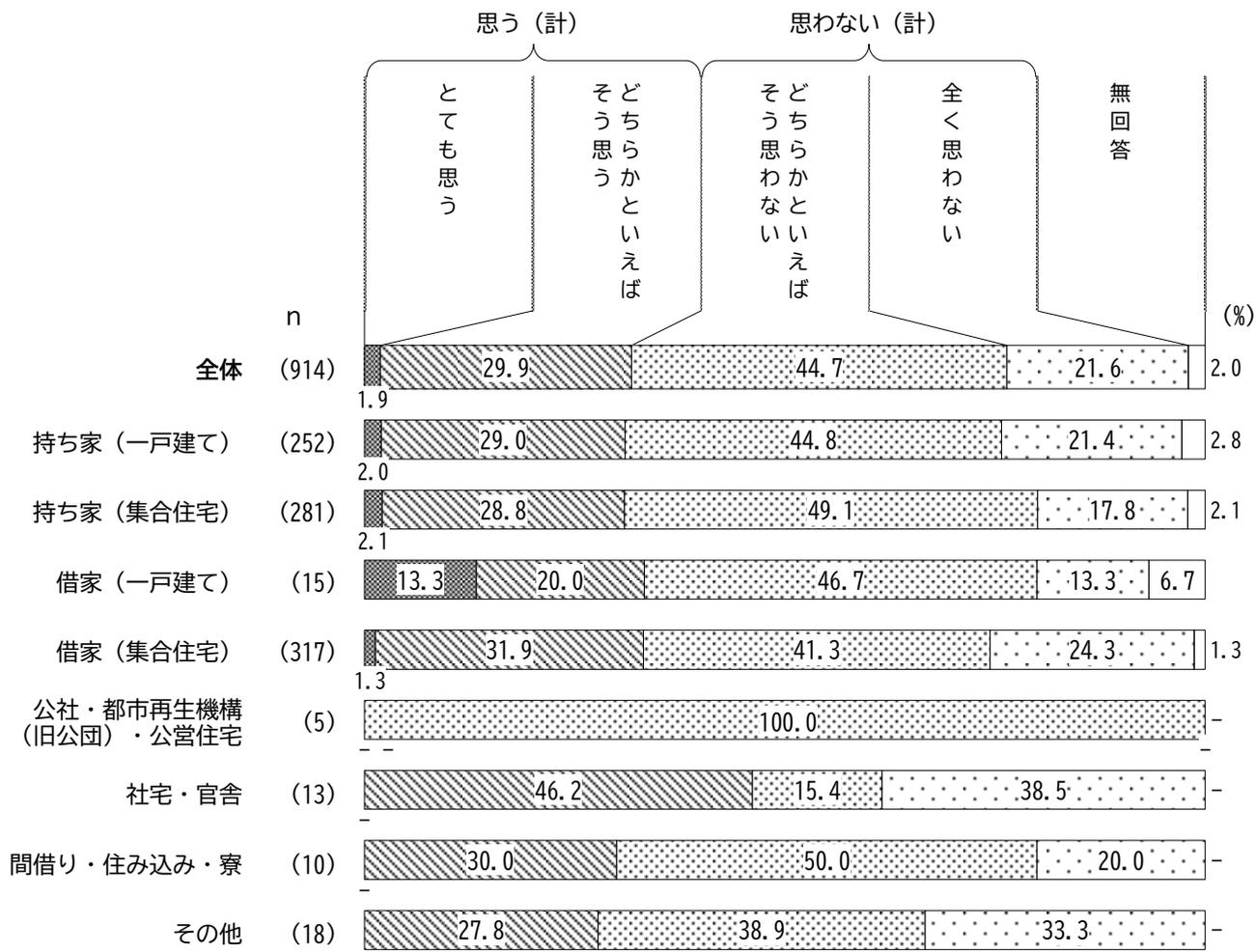
図表 地域の中で日本人と外国人のコミュニケーションがとれているか（年齢別）



【居住形態別】

すべての居住形態で「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計の割合が、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」の合計の割合を上回っている。

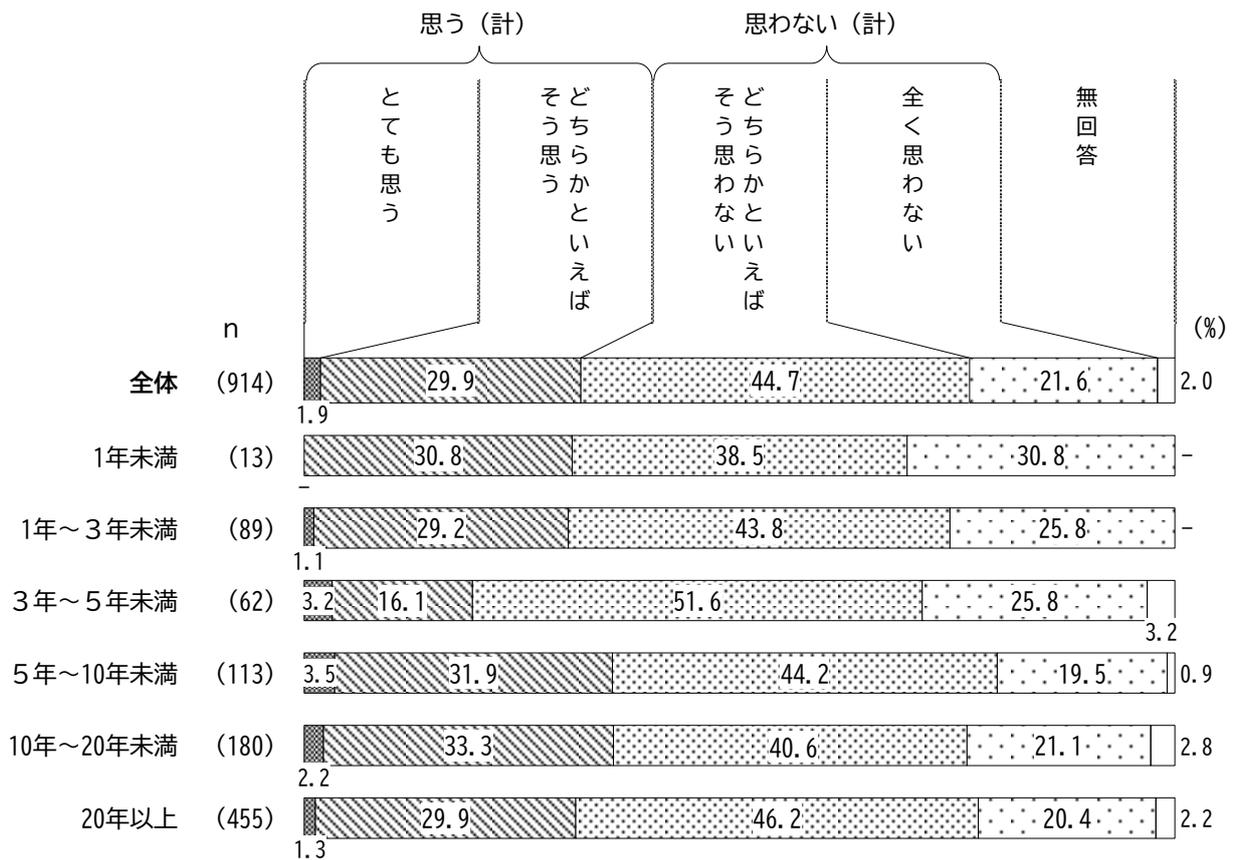
図表 地域の中で日本人と外国人のコミュニケーションがとれているか（居住形態別）



【台東区居住年数別】

「5年～10年未満」「10年～20年未満」で「とても思う」「どちらかといえば思う」の合計の割合が全体平均と比較してやや高く、「3年～5年未満」で「全く思わない」「どちらかといえば思わない」の合計の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域の中で日本人と外国人のコミュニケーションがとれているか（台東区居住年数別）

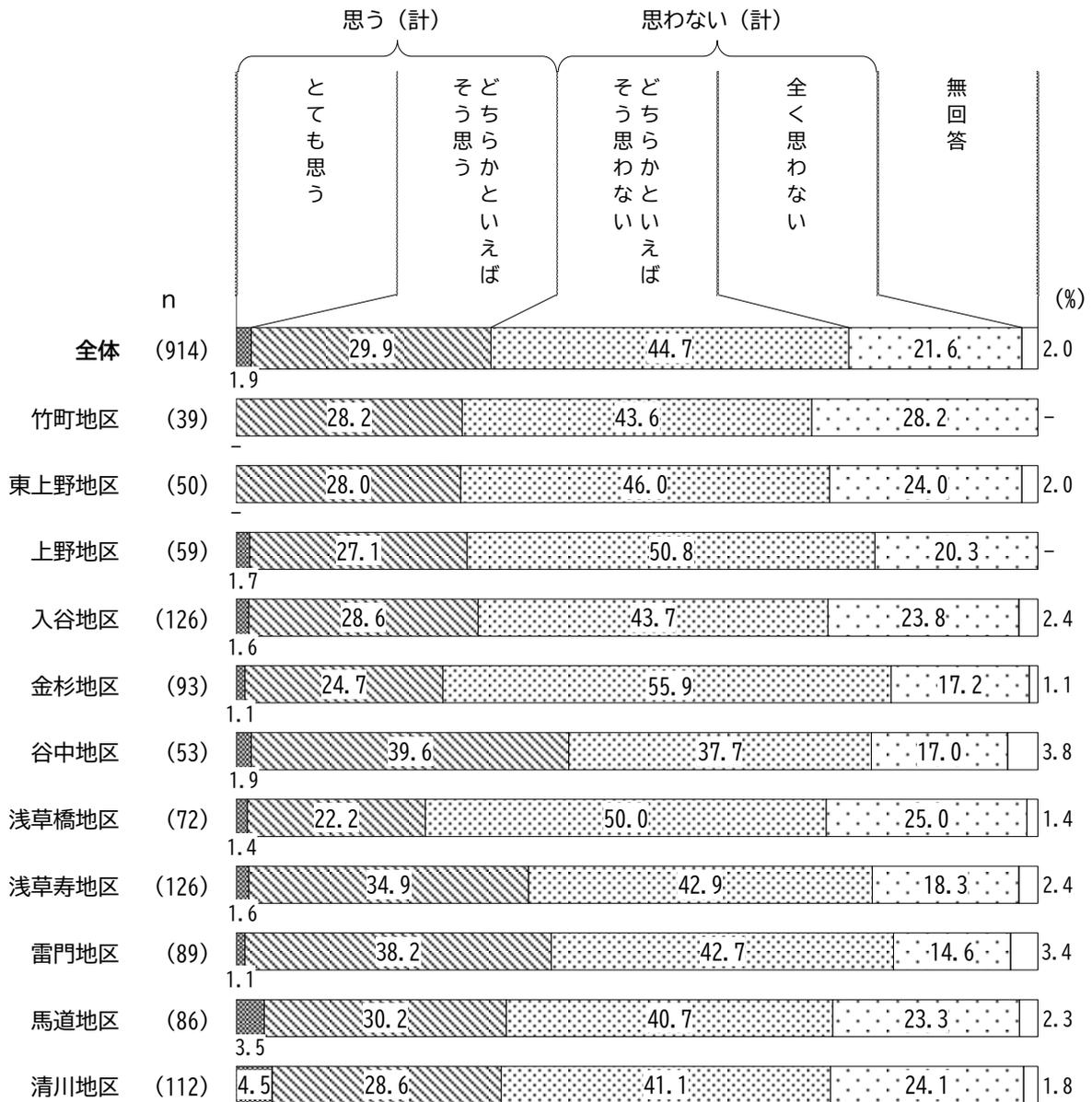


【居住地域別】

「谷中地区」「雷門地区」で「とても思う」「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

一方、「竹町地区」「金杉地区」「浅草橋地区」では「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域の中で日本人と外国人のコミュニケーションがとれているか（居住地域別）

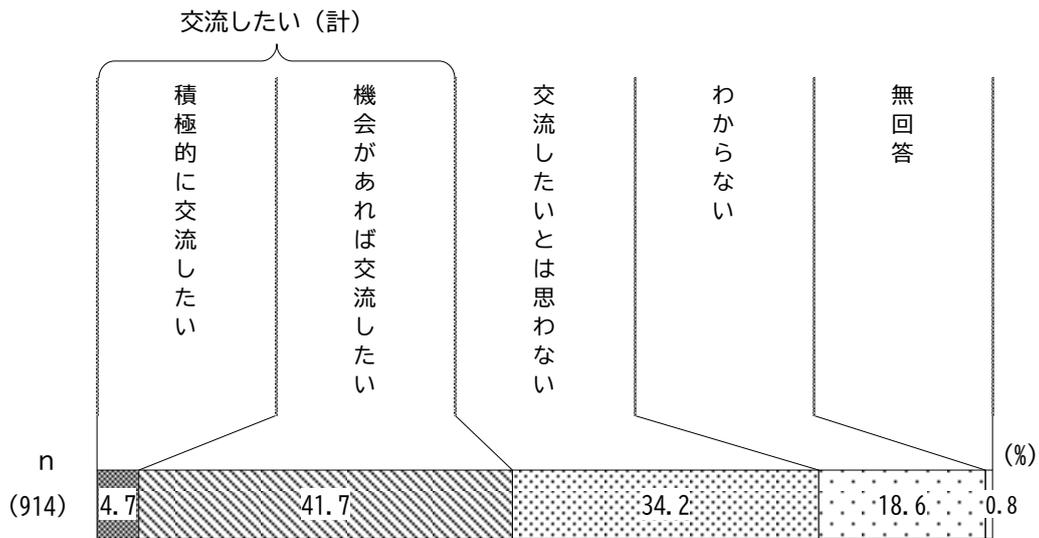


(4) 外国人との交流意向

問13 あなたはこれから、外国人ともっと交流したいですか。(ひとつだけ○)

「機会があれば交流したい」(41.7%)が最も高くなっている。次いで、「交流したいとは思わない」(34.2%)、「わからない」(18.6%)となっている。「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合は46.4%である。

図表 外国人との交流意向 (単一回答)

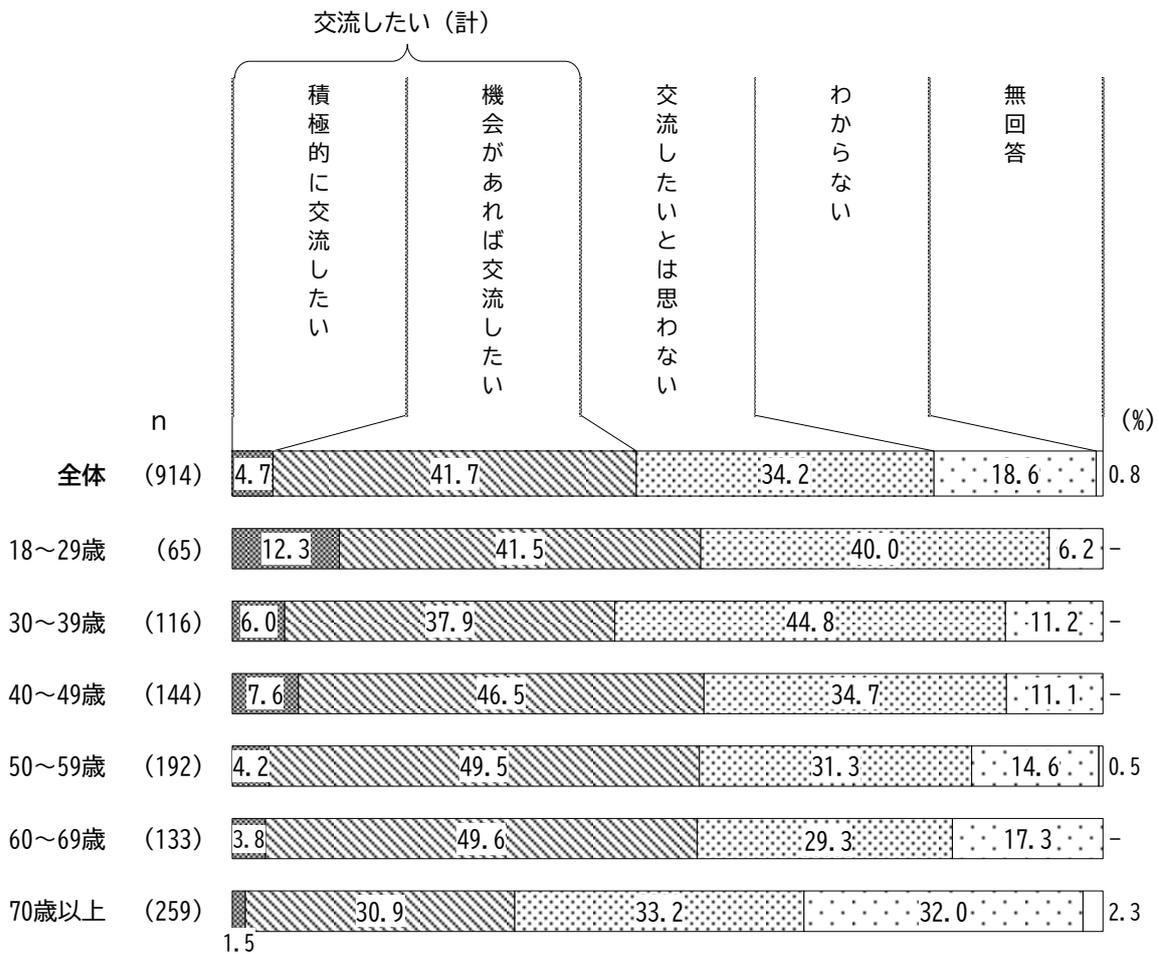


【年齢別】

「18～29歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」で「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合が50%台となっている。また、「70歳以上」は「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合が32.4%で、全体平均と比較して5ポイント以上低くなっている。

一方、「18～29歳」「30～39歳」で「交流したいとは思わない」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 外国人との交流意向（年齢別）

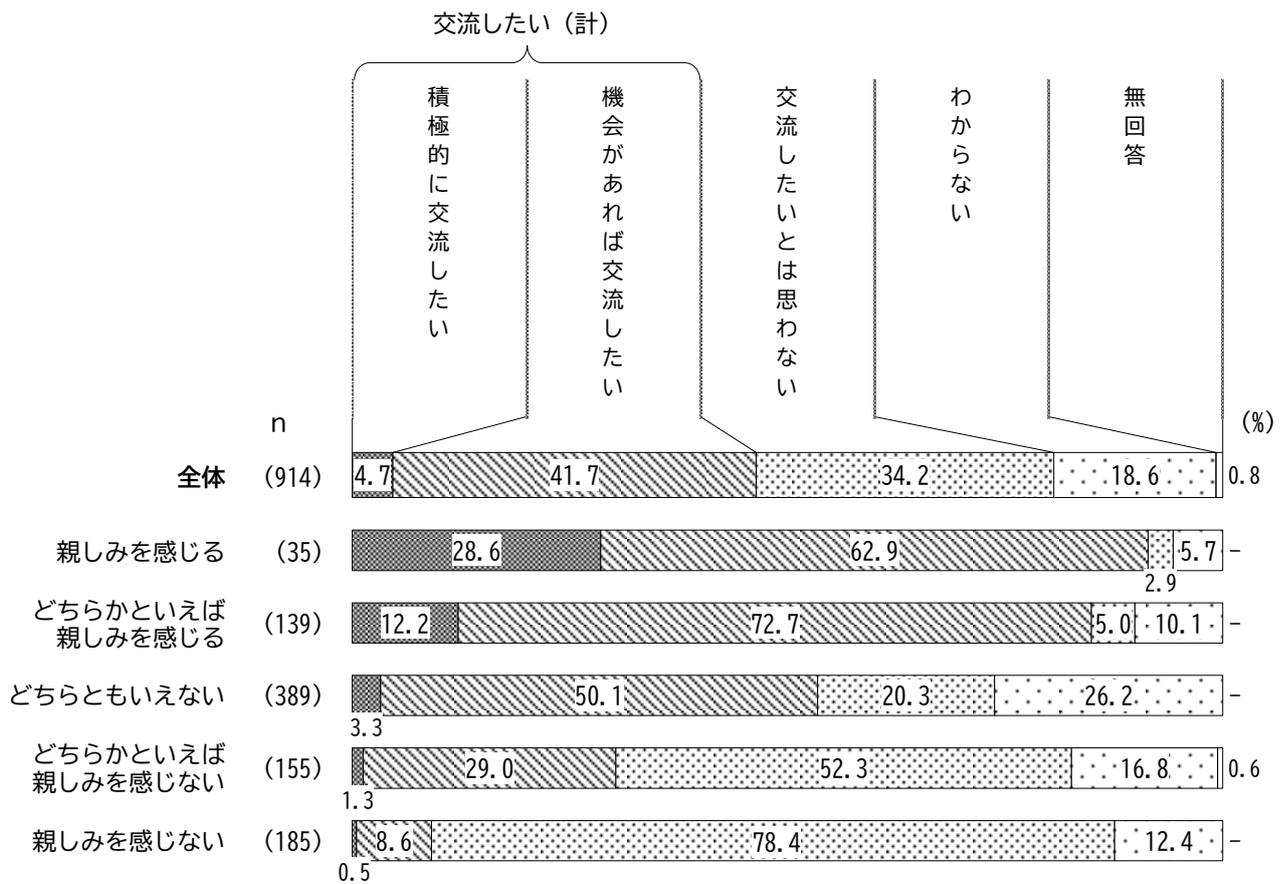


【外国人への親しみ度合い別】

外国人に対して「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」と回答した人は、「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

一方、外国人に対して「親しみを感じない」「どちらかといえば親しみを感じない」と回答した人は、「交流したいとは思わない」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 外国人との交流意向（外国人への親しみ度合い別）

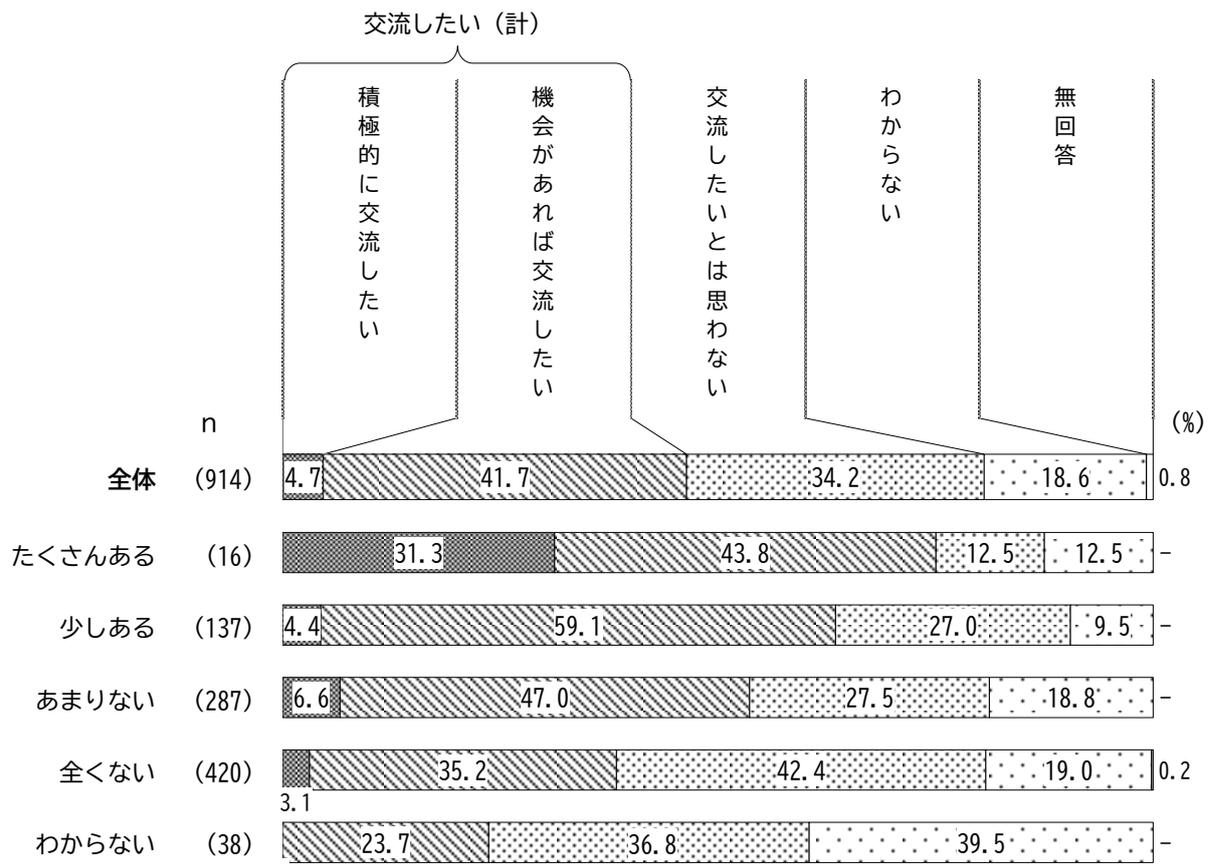


【外国人との交流頻度別】

外国人との交流が「たくさんある」「少しある」と回答した人は、「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

一方、外国人との交流が「全くない」と回答した人は、「交流したいとは思わない」が42.4%と、全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 外国人との交流意向（外国人との交流頻度別）



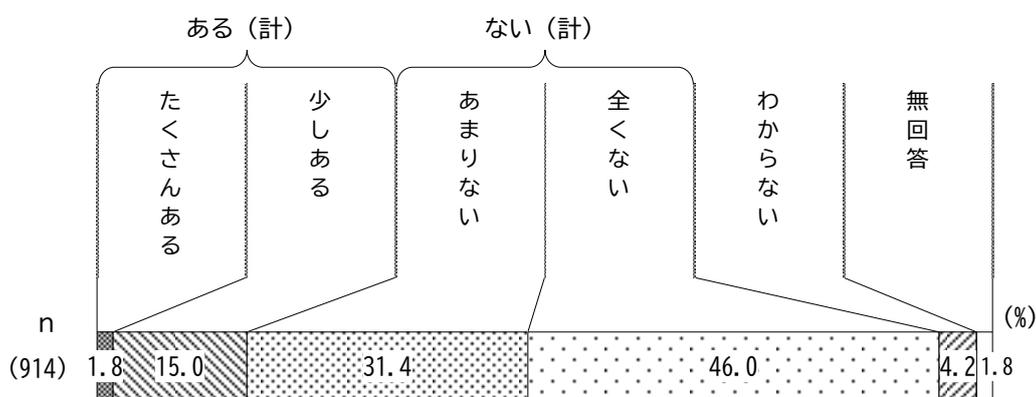
(5) 地域に暮らす外国人と交流する機会

問14 地域に暮らす外国人と交流する機会がありますか。(ひとつだけ○)

「全くない」(46.0%)が最も高く、次いで、「あまりない」(31.4%)、「少しある」(15.0%)となっている。

「たくさんある」「少しある」の合計の割合は16.8%となっている。一方、「あまりない」「全くない」の合計の割合は77.4%と高くなっている。

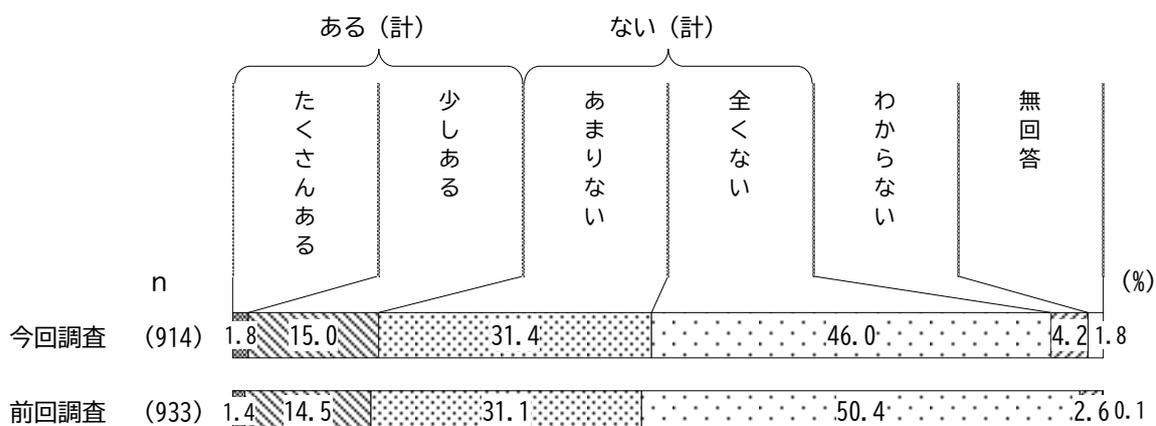
図表 地域に暮らす外国人と交流する機会 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「たくさんある」「少しある」の合計の割合に大きな差異はみられないが、「あまりない」「全くない」の合計の割合はやや減少している。

図表 【経年比較】 地域に暮らす外国人と交流する機会 (単一回答)

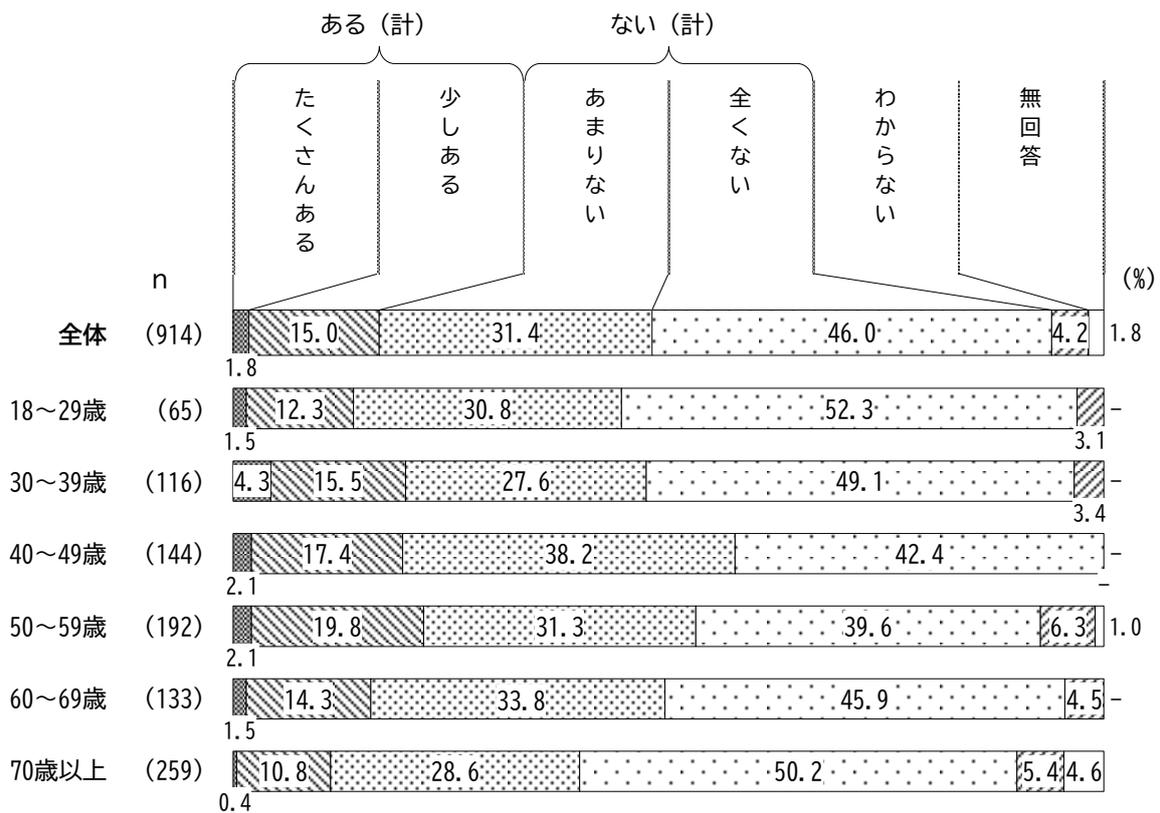


【年齢別】

「50～59歳」で「たくさんある」「少しある」の合計の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

一方、「あまりない」「全くない」の合計の割合は、「18～29歳」で全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

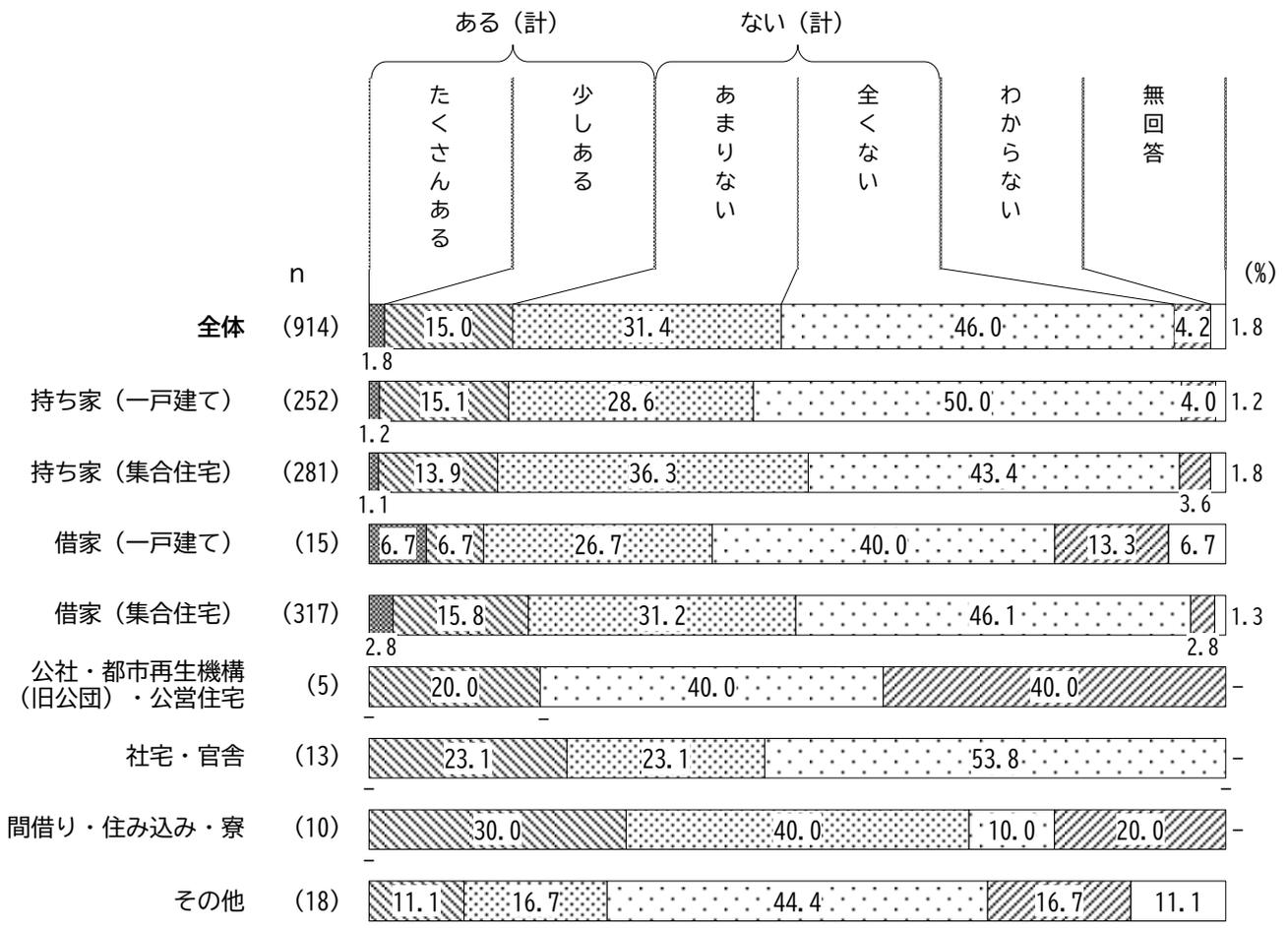
図表 地域に暮らす外国人と交流する機会（年齢別）



【居住形態別】

特に大きな差異はみられない。

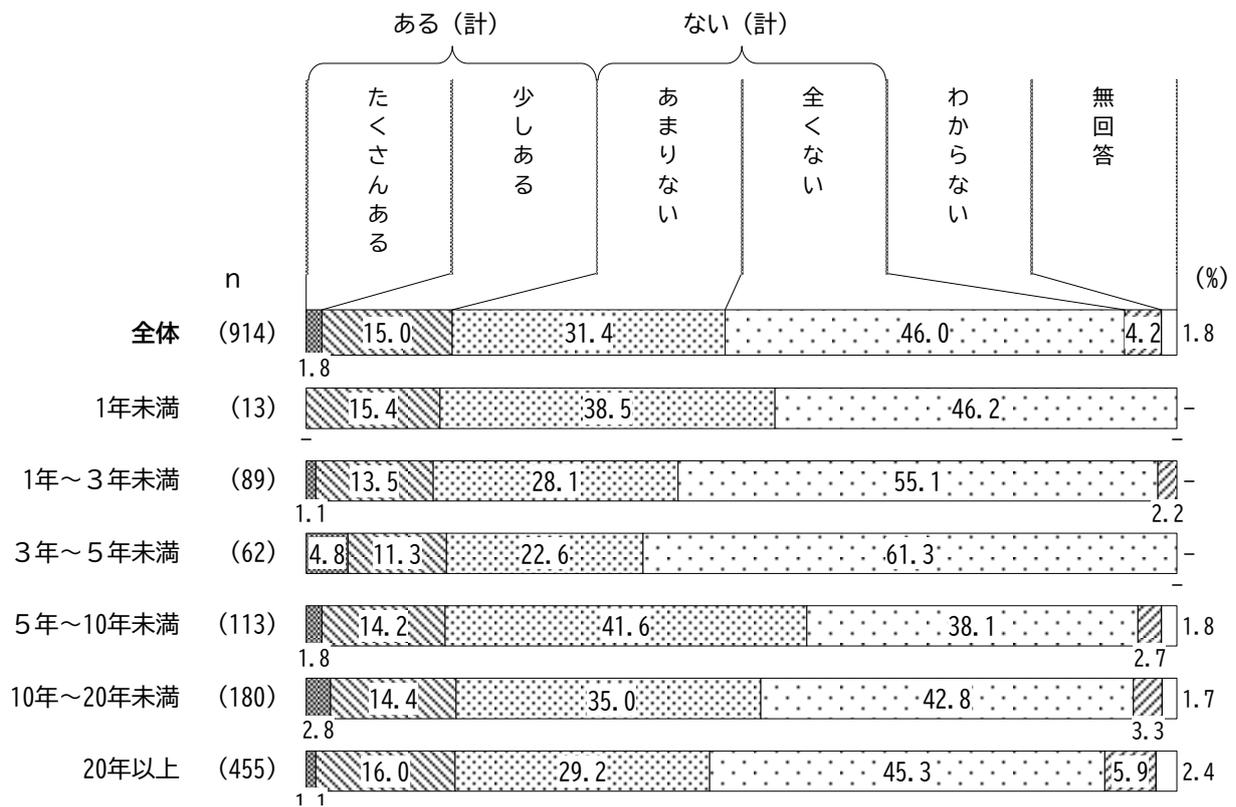
図表 地域に暮らす外国人と交流する機会（居住形態別）



【台東区居住年数別】

居住年数が短いほど「あまりない」「全くない」の合計の割合がおおむね高い傾向にあり、「1年～3年未満」「3年～5年未満」では80%台と高くなっている。「たくさんある」「少しある」の合計の割合はいずれの居住年数も10%台となっている。

図表 地域に暮らす外国人と交流する機会（台東区居住年数別）

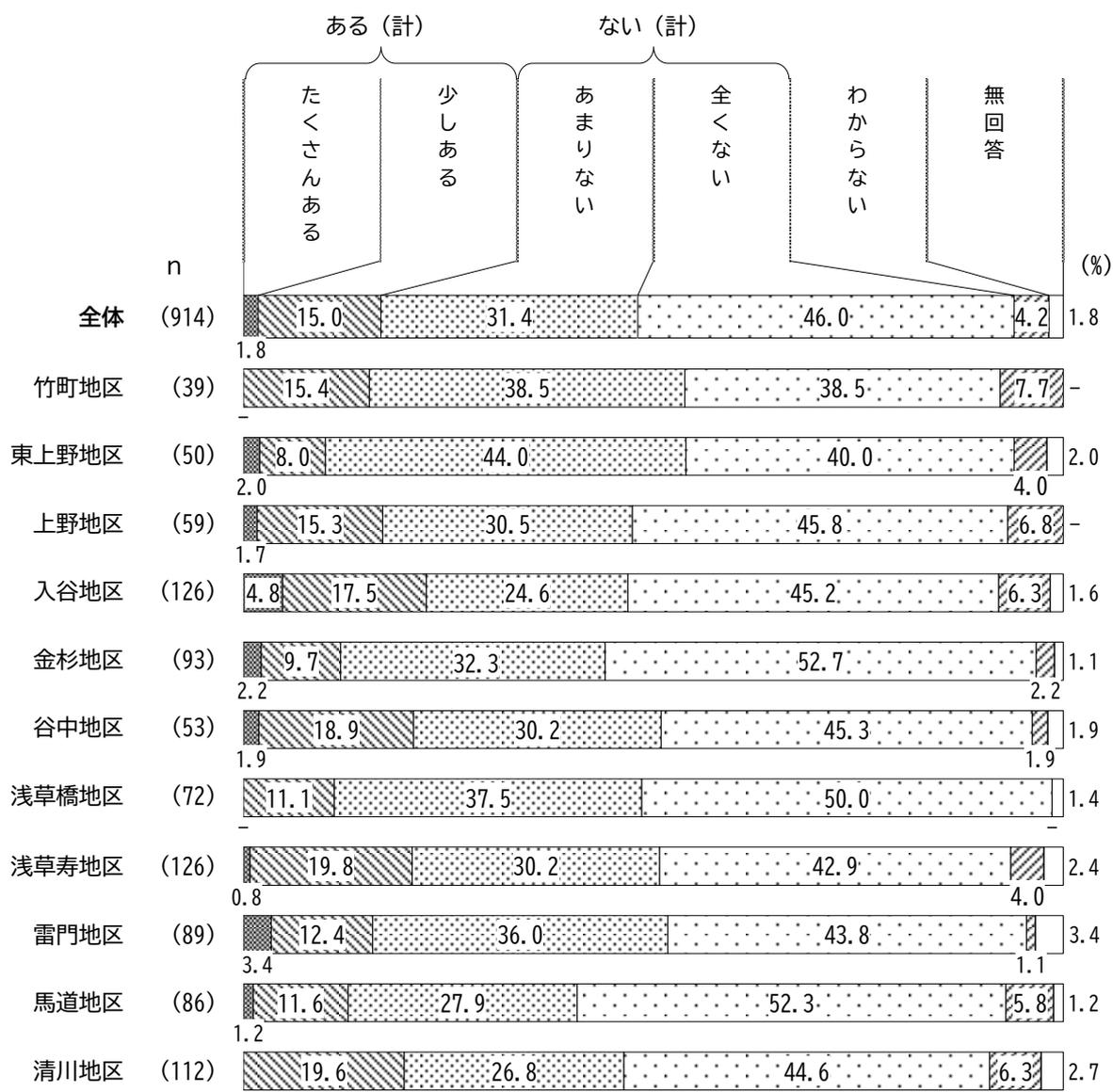


【居住地域別】

「入谷地区」で「たくさんある」「少しある」の合計の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

一方、「東上野地区」「金杉地区」「浅草橋地区」では、「あまりない」「全くない」の合計の割合が、全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

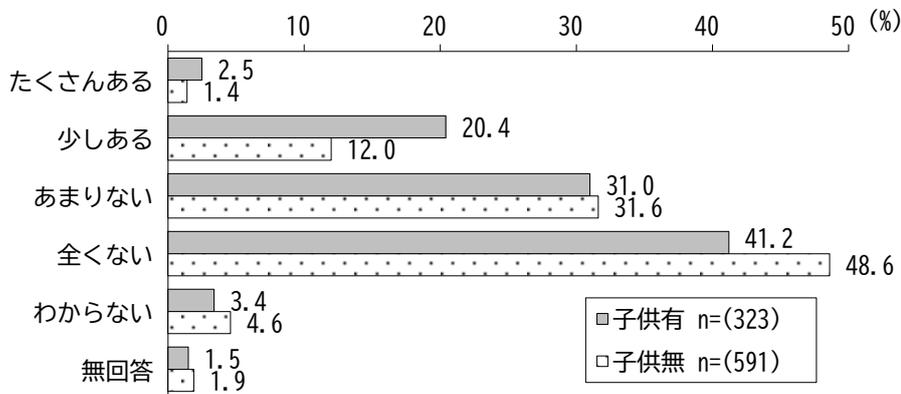
図表 地域に暮らす外国人と交流する機会（居住地域別）



【子供の有無別】

「たくさんある」「少しある」の合計の割合は、「子供無」より「子供有」の方が9.5ポイント高くなっている。

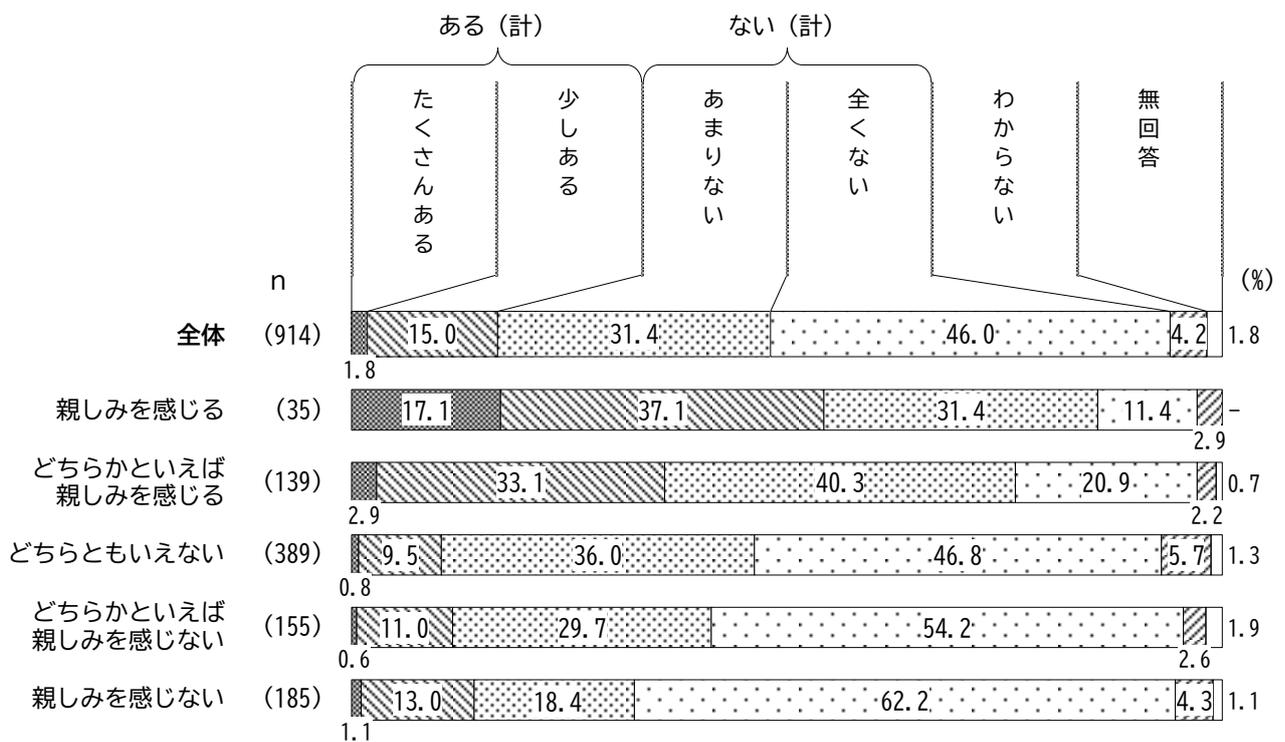
図表 地域に暮らす外国人と交流する機会（子供の有無別）



【外国人への親しみ度合い別】

外国人に「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」と回答した人は、交流する機会が「たくさんある」「少しある」の合計の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

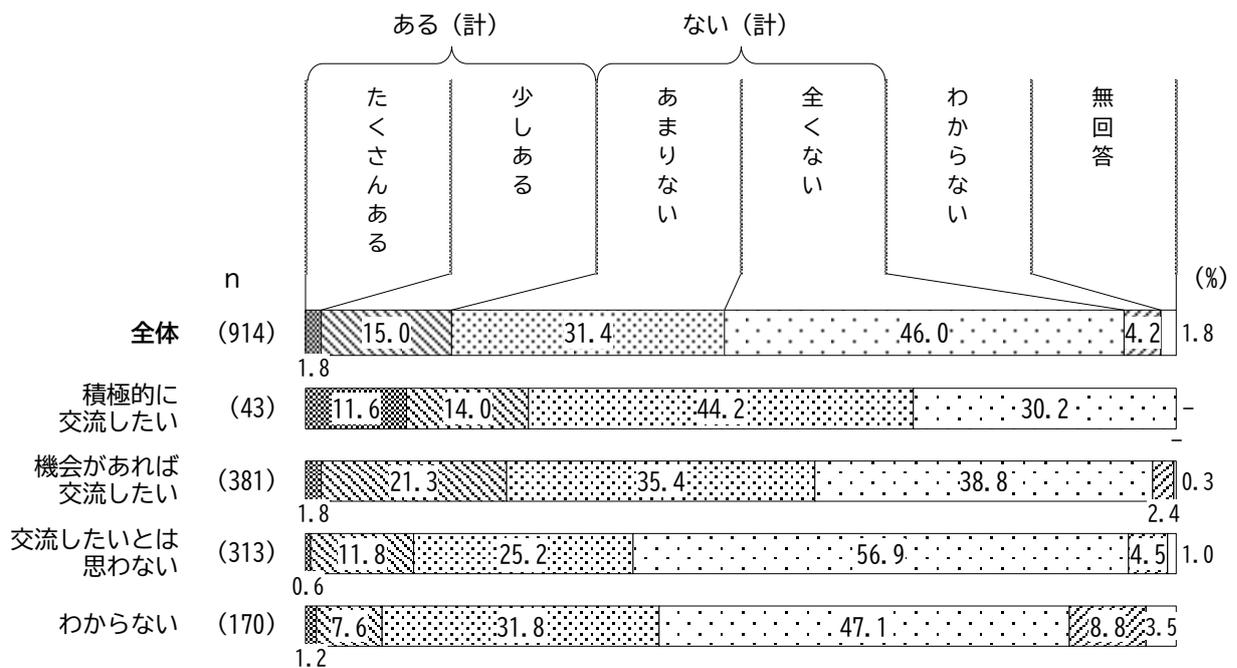
図表 地域に暮らす外国人と交流する機会（外国人への親しみ度合い別）



【外国人との交流意向別】

外国人と「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」と回答した人は、交流する機会が「たくさんある」「少しある」の合計の割合がいずれも20%台であり、全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人と交流する機会（外国人との交流意向別）

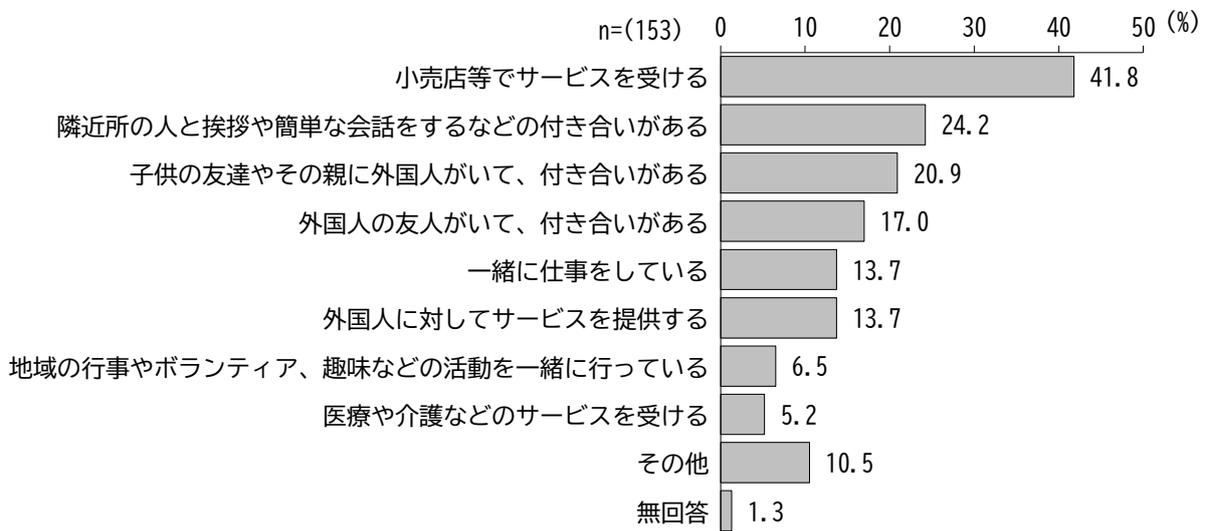


(6) 地域内で外国人とかかわる場面

問14-2 【問14で「1 たくさんある」「2 少しある」と回答した方にお聞きします。】  
 あなたが地域で暮らす外国人と関わるのはどのような場面ですか。  
 (当てはまるもの全てに○)

地域に暮らす外国人との交流の機会が「たくさんある」「少しある」と回答した人は、地域内で外国人とかかわる場面として、「小売店等でサービスを受ける」(41.8%)が最も高く、次いで、「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」(24.2%)、「子供の友達やその親に外国人がいて、付き合いがある」(20.9%)となっている。

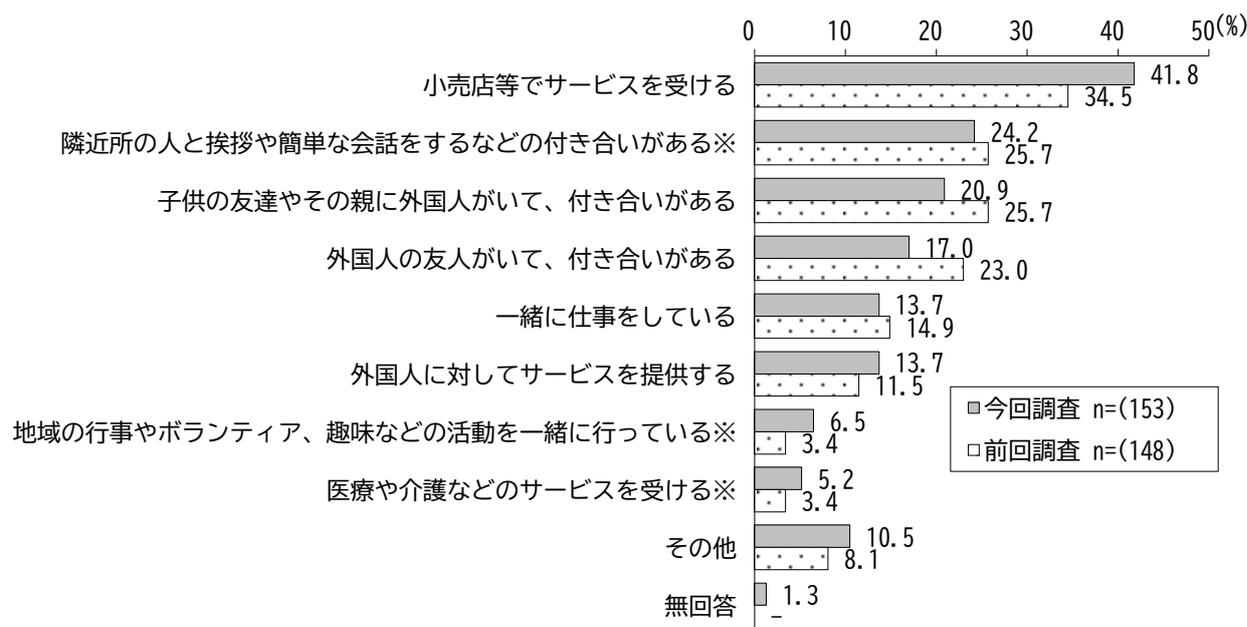
図表 地域内で外国人とかかわる場面 (複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、「小売店等でサービスを受ける」は前回より7.3ポイント増加している。一方、「外国人の友人がいて、付き合いがある」は6.0ポイント減少し、「子供の友達やその親に外国人がいて、付き合いがある」もやや減少している。比較的親しい関わりの場面が減少している可能性が考えられる。

図表 【経年比較】地域内で外国人とかかわる場面（複数回答）



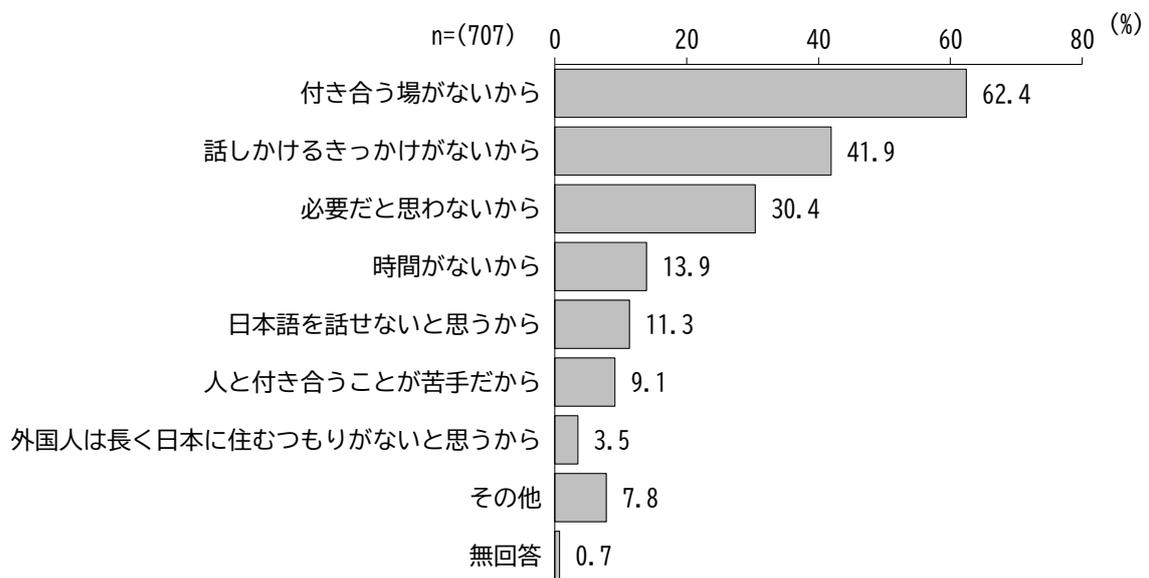
※今回調査の選択肢「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」は前回調査では「隣近所の付き合いがある」、「地域の行事やボランティア、趣味などの活動を一緒に行っている」は「地域活動で一緒に活動している」、「医療や介護などのサービスを受ける」は「医療や介護現場でサービスを受ける」であった。

(7) 地域に暮らす外国人と交流する機会がない理由

問14-3 【問14で「3 あまりない」「4 全くない」と回答した方にお聞きします。】  
 あなたが地域で暮らす外国人と交流する機会がないのはなぜですか。  
 (当てはまるもの全てに○)

地域に暮らす外国人との交流の機会が「あまりない」「全くない」と回答した人で、地域内で外国人と交流する機会がない理由として、「付き合う場がないから」(62.4%)が最も高く、次いで、「話しかけるきっかけがないから」(41.9%)、「必要だと思わないから」(30.4%)となっている。

図表 地域に暮らす外国人と交流する機会がない理由 (複数回答)



## 【年齢別】

「18～29歳」「40～49歳」「50～59歳」で「付き合う場がないから」と回答した割合が全体平均と比べて5ポイント以上高い。また、「18～29歳」で「話しかけるきっかけがないから」が、「30～39歳」で「話しかけるきっかけがないから」「必要だと思わないから」が、「50～59歳」で「時間がないから」が他の年齢と比較して高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人と交流する機会がない理由（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	付き合う場がないから	話しかけるきっかけがないから	必要だと思わないから	時間がないから	日本語を話せないと思うから	人と付き合うことが苦手だから	外国人は長く日本に住むつもりがないと思うから	その他	無回答
全体	707 100.0%	441 62.4%	296 41.9%	215 30.4%	98 13.9%	80 11.3%	64 9.1%	25 3.5%	55 7.8%	5 0.7%
18～29歳	54 100.0%	37 68.5%	30 55.6%	16 29.6%	10 18.5%	6 11.1%	5 9.3%	- -	2 3.7%	1 1.9%
30～39歳	89 100.0%	56 62.9%	42 47.2%	35 39.3%	13 14.6%	11 12.4%	12 13.5%	3 3.4%	3 3.4%	- -
40～49歳	116 100.0%	81 69.8%	51 44.0%	30 25.9%	11 9.5%	13 11.2%	9 7.8%	5 4.3%	8 6.9%	- -
50～59歳	136 100.0%	97 71.3%	58 42.6%	36 26.5%	29 21.3%	16 11.8%	12 8.8%	4 2.9%	11 8.1%	- -
60～69歳	106 100.0%	62 58.5%	44 41.5%	26 24.5%	17 16.0%	7 6.6%	5 4.7%	2 1.9%	11 10.4%	1 0.9%
70歳以上	204 100.0%	106 52.0%	70 34.3%	71 34.8%	18 8.8%	27 13.2%	21 10.3%	11 5.4%	20 9.8%	3 1.5%

【居住地域別】

「上野地区」「谷中地区」「馬道地区」で「付き合う場がないから」「話しかけるきっかけがないから」、「浅草寿地区」で「付き合う場がないから」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人と交流する機会がない理由（居住地域別）

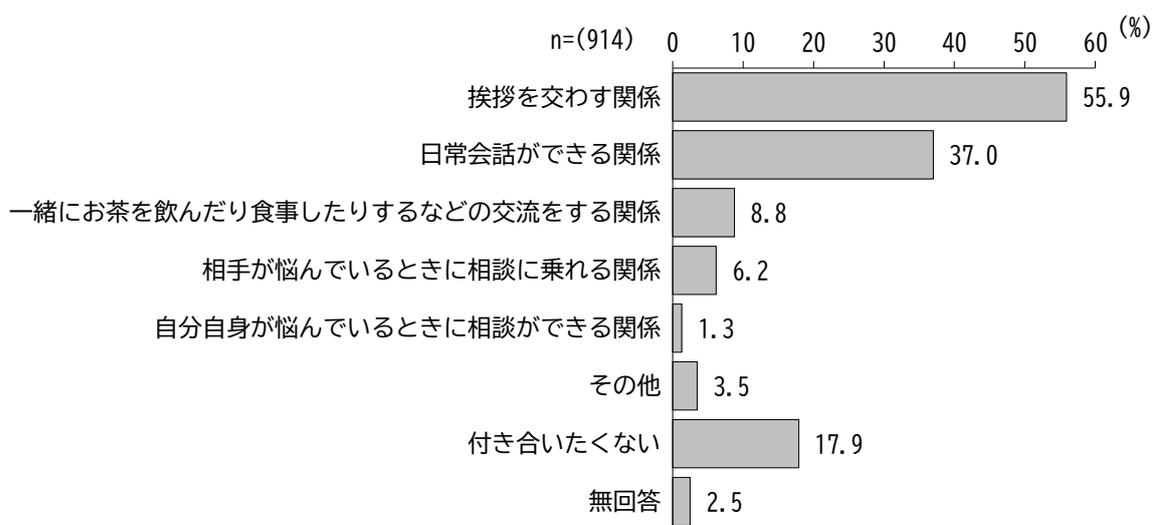
上段:人数 下段:%	調査数	付き合う場がないから	話しかけるきっかけがないから	必要だと思わないから	時間がないから	日本語を話せないと思うから	人と付き合うことが苦手だから	外国人は長く日本に住むつもりがないと思うから	その他	無回答
全体	707 100.0%	441 62.4%	296 41.9%	215 30.4%	98 13.9%	80 11.3%	64 9.1%	25 3.5%	55 7.8%	5 0.7%
竹町地区	30 100.0%	17 56.7%	12 40.0%	10 33.3%	3 10.0%	5 16.7%	5 16.7%	1 3.3%	2 6.7%	-
東上野地区	42 100.0%	24 57.1%	17 40.5%	14 33.3%	4 9.5%	6 14.3%	2 4.8%	1 2.4%	2 4.8%	-
上野地区	45 100.0%	31 68.9%	24 53.3%	15 33.3%	4 8.9%	4 8.9%	4 8.9%	2 4.4%	3 6.7%	-
入谷地区	88 100.0%	57 64.8%	35 39.8%	29 33.0%	12 13.6%	8 9.1%	6 6.8%	2 2.3%	6 6.8%	1 1.1%
金杉地区	79 100.0%	45 57.0%	29 36.7%	27 34.2%	15 19.0%	10 12.7%	10 12.7%	4 5.1%	7 8.9%	1 1.3%
谷中地区	40 100.0%	28 70.0%	19 47.5%	10 25.0%	5 12.5%	5 12.5%	4 10.0%	1 2.5%	4 10.0%	-
浅草橋地区	63 100.0%	37 58.7%	26 41.3%	20 31.7%	9 14.3%	4 6.3%	5 7.9%	4 6.3%	6 9.5%	-
浅草寿地区	92 100.0%	64 69.6%	39 42.4%	24 26.1%	17 18.5%	13 14.1%	6 6.5%	4 4.3%	5 5.4%	1 1.1%
雷門地区	71 100.0%	40 56.3%	29 40.8%	21 29.6%	8 11.3%	8 11.3%	4 5.6%	2 2.8%	8 11.3%	1 1.4%
馬道地区	69 100.0%	47 68.1%	38 55.1%	18 26.1%	11 15.9%	6 8.7%	8 11.6%	1 1.4%	4 5.8%	1 1.4%
清川地区	80 100.0%	47 58.8%	26 32.5%	26 32.5%	9 11.3%	9 11.3%	8 10.0%	3 3.8%	7 8.8%	-

(8) 地域に暮らす外国人とどのような付き合いをしていきたいか

問15 地域に暮らす外国人とどのような付き合いをしていきたいですか。  
(当てはまるもの全てに○)

「挨拶を交わす関係」(55.9%)が最も高く、次いで、「日常会話ができる関係」(37.0%)となっている。一方、「付き合いたくない」は17.9%となっている。

図表 地域に暮らす外国人とどのような付き合いをしていきたいか (複数回答)



【年齢別】

「70歳以上」で「挨拶を交わす関係」、「50～59歳」で「日常会話ができる関係」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

一方、「18～29歳」「30～39歳」では「付き合いたくない」が20%台と、全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域に暮らす外国人とどのような付き合いをしていきたいか (年齢別)

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす関係	日常会話ができる関係	一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係	相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係	自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係	その他	付き合いたくない	無回答
全体	914 100.0%	511 55.9%	338 37.0%	80 8.8%	57 6.2%	12 1.3%	32 3.5%	164 17.9%	23 2.5%
18～29歳	65 100.0%	28 43.1%	21 32.3%	8 12.3%	3 4.6%	1 1.5%	1 1.5%	16 24.6%	1 1.5%
30～39歳	116 100.0%	61 52.6%	30 25.9%	10 8.6%	4 3.4%	1 0.9%	7 6.0%	32 27.6%	-
40～49歳	144 100.0%	76 52.8%	56 38.9%	16 11.1%	15 10.4%	4 2.8%	3 2.1%	28 19.4%	2 1.4%
50～59歳	192 100.0%	106 55.2%	107 55.7%	21 10.9%	15 7.8%	4 2.1%	5 2.6%	27 14.1%	4 2.1%
60～69歳	133 100.0%	76 57.1%	55 41.4%	12 9.0%	8 6.0%	1 0.8%	5 3.8%	19 14.3%	2 1.5%
70歳以上	259 100.0%	162 62.5%	68 26.3%	13 5.0%	12 4.6%	1 0.4%	11 4.2%	40 15.4%	14 5.4%

【台東区居住年数別】

「20年以上」で「挨拶を交わす関係」、「1年～3年未満」「5年～10年未満」「10年～20年未満」で「日常会話ができる関係」、「1年～3年未満」で「一緒にお茶を飲んだり食事をしたりするなどの交流をする関係」、「1年～3年未満」「3年～5年未満」で「付き合いたくない」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域に暮らす外国人とどのような付き合いをしていきたいか（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす関係	日常会話ができる関係	一緒にお茶を飲んだり食事をしたりするなどの交流をする関係	相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係	自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係	その他	付き合いたくない	無回答
全体	914 100.0%	511 55.9%	338 37.0%	80 8.8%	57 6.2%	12 1.3%	32 3.5%	164 17.9%	23 2.5%
1年未満	13 100.0%	7 53.8%	3 23.1%	1 7.7%	- -	- -	1 7.7%	1 7.7%	- -
1年～3年未満	89 100.0%	39 43.8%	39 43.8%	17 19.1%	8 9.0%	1 1.1%	- -	24 27.0%	- -
3年～5年未満	62 100.0%	29 46.8%	18 29.0%	5 8.1%	5 8.1%	2 3.2%	4 6.5%	18 29.0%	- -
5年～10年未満	113 100.0%	67 59.3%	50 44.2%	15 13.3%	8 7.1%	5 4.4%	2 1.8%	19 16.8%	3 2.7%
10年～20年未満	180 100.0%	92 51.1%	80 44.4%	19 10.6%	18 10.0%	3 1.7%	4 2.2%	31 17.2%	6 3.3%
20年以上	455 100.0%	277 60.9%	147 32.3%	23 5.1%	18 4.0%	1 0.2%	20 4.4%	71 15.6%	14 3.1%

【外国人との交流機会の頻度別】

外国人との交流機会の頻度が多いほど、「日常会話ができる関係」「相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係」の割合が高い傾向がみられる。

一方、交流機会の頻度が少ないほど「挨拶を交わす関係」の割合がおおむね高い傾向にある。

図表 地域に暮らす外国人とどのような付き合いをしていきたいか  
(外国人との交流機会の頻度別)

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす関係	日常会話ができる関係	一緒にお茶を飲んだり食事をしたりするなどの交流をする関係	相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係	自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係	その他	付き合いたくない	無回答
全体	914 100.0%	511 55.9%	338 37.0%	80 8.8%	57 6.2%	12 1.3%	32 3.5%	164 17.9%	23 2.5%
たくさんある	16 100.0%	6 37.5%	10 62.5%	4 25.0%	5 31.3%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	- -
少しある	137 100.0%	70 51.1%	67 48.9%	13 9.5%	10 7.3%	2 1.5%	3 2.2%	21 15.3%	5 3.6%
あまりない	287 100.0%	179 62.4%	115 40.1%	34 11.8%	24 8.4%	4 1.4%	9 3.1%	32 11.1%	6 2.1%
全くない	420 100.0%	231 55.0%	131 31.2%	28 6.7%	18 4.3%	5 1.2%	15 3.6%	94 22.4%	8 1.9%
わからない	38 100.0%	19 50.0%	9 23.7%	- -	- -	- -	2 5.3%	10 26.3%	3 7.9%

【居住地域別】

「谷中地区」で「挨拶を交わす関係」、「浅草寿地区」で「挨拶を交わす関係」「日常会話ができる関係」、「雷門地区」で「一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係」「相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。「竹町地区」「清川地区」では「付き合いたくない」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人とどのような付き合いをしていきたいか（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす 関係	日常会話か できる関係	一緒にお茶を 飲んだり食事し たりするなどの 交流をする関 係	相手が悩んで いるときに相 談に乗れる関 係	自分自身が悩 んでいるときに 相談ができる 関係	その他	付き合いたく ない	無回答
全体	914 100.0%	511 55.9%	338 37.0%	80 8.8%	57 6.2%	12 1.3%	32 3.5%	164 17.9%	23 2.5%
竹町地区	39 100.0%	18 46.2%	10 25.6%	3 7.7%	3 7.7%	- -	2 5.1%	12 30.8%	2 5.1%
東上野地区	50 100.0%	25 50.0%	19 38.0%	5 10.0%	4 8.0%	1 2.0%	4 8.0%	11 22.0%	1 2.0%
上野地区	59 100.0%	29 49.2%	21 35.6%	5 8.5%	6 10.2%	- -	2 3.4%	10 16.9%	2 3.4%
入谷地区	126 100.0%	70 55.6%	41 32.5%	10 7.9%	4 3.2%	1 0.8%	3 2.4%	25 19.8%	2 1.6%
金杉地区	93 100.0%	50 53.8%	37 39.8%	6 6.5%	5 5.4%	1 1.1%	4 4.3%	17 18.3%	1 1.1%
谷中地区	53 100.0%	39 73.6%	20 37.7%	6 11.3%	4 7.5%	- -	1 1.9%	4 7.5%	3 5.7%
浅草橋地区	72 100.0%	39 54.2%	30 41.7%	4 5.6%	5 6.9%	1 1.4%	5 6.9%	12 16.7%	2 2.8%
浅草寿地区	126 100.0%	77 61.1%	60 47.6%	9 7.1%	6 4.8%	2 1.6%	3 2.4%	18 14.3%	3 2.4%
雷門地区	89 100.0%	50 56.2%	37 41.6%	19 21.3%	11 12.4%	1 1.1%	- -	16 18.0%	2 2.2%
馬道地区	86 100.0%	52 60.5%	28 32.6%	7 8.1%	4 4.7%	3 3.5%	3 3.5%	11 12.8%	1 1.2%
清川地区	112 100.0%	58 51.8%	32 28.6%	6 5.4%	4 3.6%	2 1.8%	4 3.6%	27 24.1%	4 3.6%

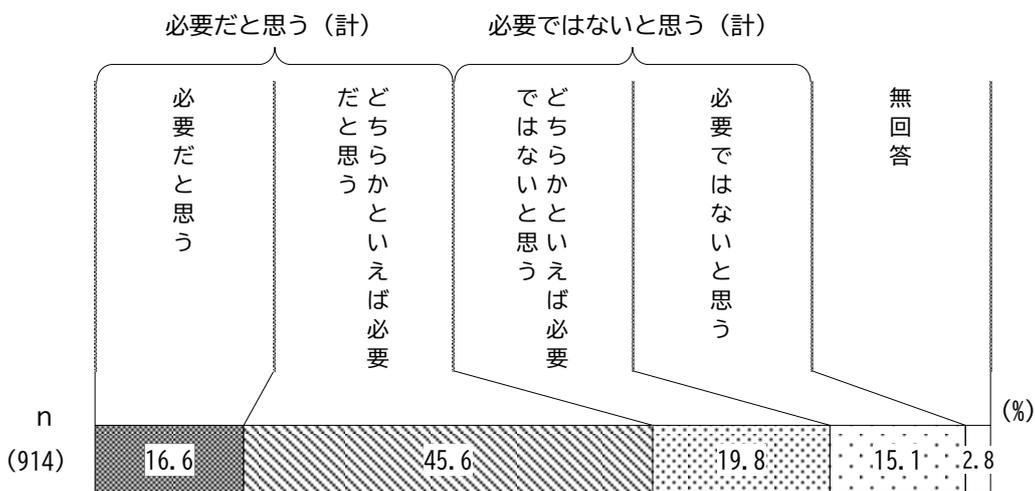
(9) 今後、地域で外国人が活躍することは必要か

問16 あなたは、経済活動や地域コミュニティの担い手として、今後、地域で外国人が活躍することは必要だと思いますか。(ひとつだけ○)

「どちらかといえば必要だと思う」(45.6%)が最も高く、次いで、「どちらかといえば必要ではないと思う」(19.8%)、「必要だと思う」(16.6%)となっている。

「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」の合計の割合は62.2%。一方、「どちらかといえば必要ではないと思う」「必要ではないと思う」の合計の割合は34.9%となっている。

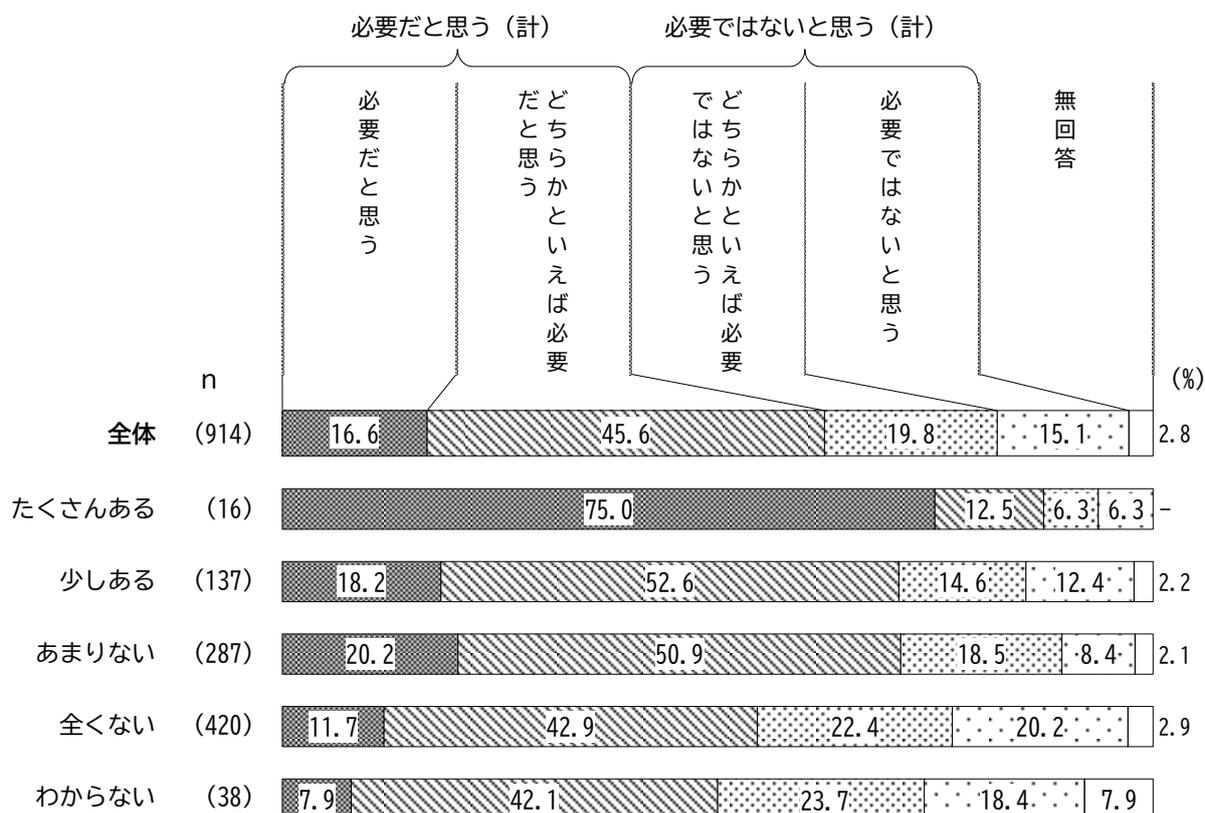
図表 今後、地域で外国人が活躍することは必要か (単一回答)



【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会の頻度が多いほど、「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」の合計の割合が高い傾向があり、「たくさんある」で87.5%となっている。

図表 今後、地域で外国人が活躍することは必要か（外国人との交流機会の頻度別）

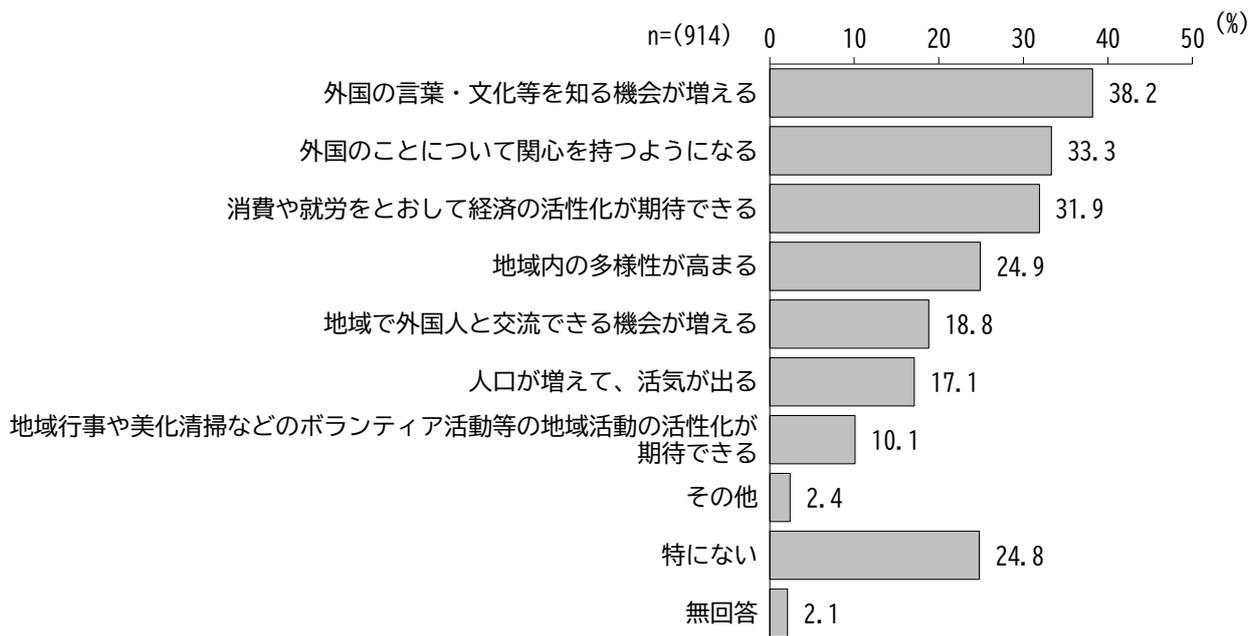


(10) 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなること

問17 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなる事は何だと思えますか。  
 (当てはまるもの全てに○)

「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」(38.2%)が最も高く、次いで、「外国のことについて関心を持つようになる」(33.3%)、「消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる」(31.9%)となっている。

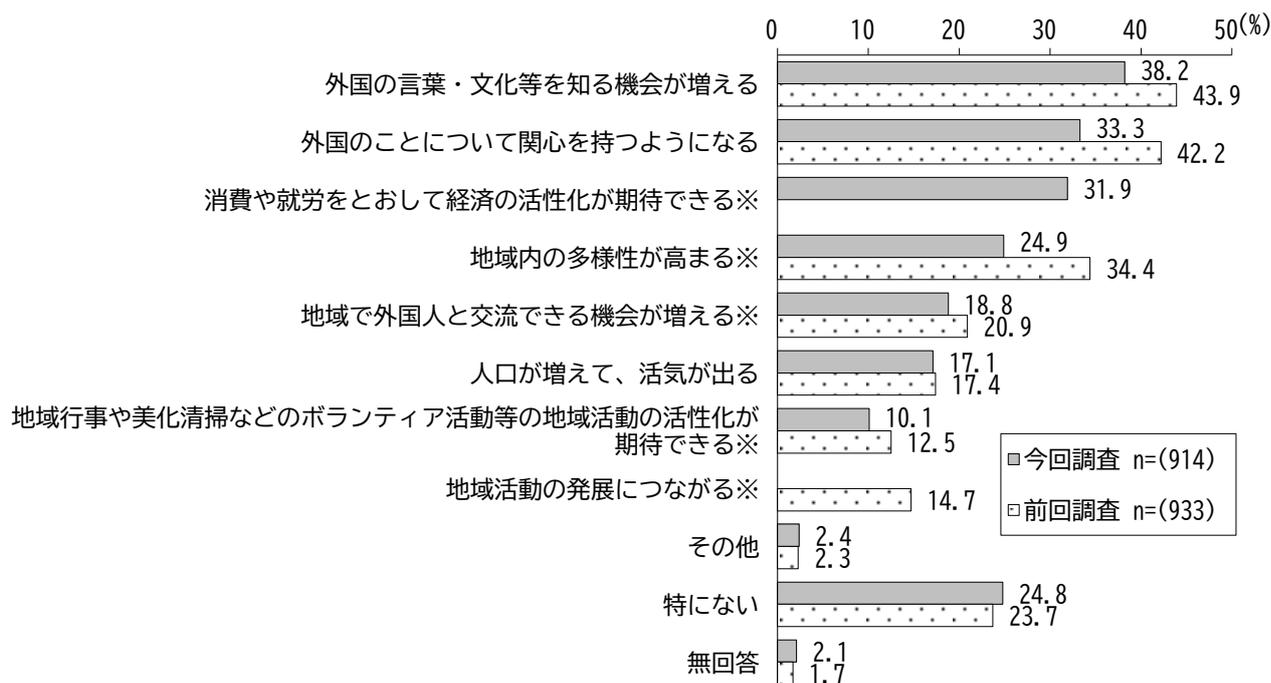
図表 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなること（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「地域内の多様性が高まる」が9.5ポイント、「外国のことについて関心を持つようになる」が8.9ポイント、「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」が5.7ポイント減少している。他の項目も前回から減少傾向がみられ、外国人増加によるプラスの効果への期待が弱まっていることが考えられる。

図表 【経年比較】地域に暮らす外国人が増えることにより良くなること（複数回答）



※今回調査の選択肢「地域内の多様性が高まる」は前回調査では「地域内の多様性が広がる」、「地域で外国人と交流できる機会が増える」は「地域で他の国籍の方と交流できる機会が増える」、「地域行事や美化清掃などのボランティア活動等の地域活動の活性化が期待できる」は「お祭り等の地域活動の活性化が期待できる」であった。  
 ※今回調査より、選択肢「消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる」が追加された。  
 ※前回調査より、選択肢「地域活動の発展につながる」が削除された。

【年齢別】

「18～29歳」で「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」「地域で外国人と交流できる機会が増える」、「40～49歳」で「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」「人口が増えて活気が出る」、「50～59歳」で「外国のことについて関心を持つようになる」「地域内の多様性が高まる」が高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなること（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国の言葉・文化等を知る機会が増える	外国のことについて関心を持つようになる	消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる	地域内の多様性が高まる	地域で外国人と交流できる機会が増える	人口が増えて、活気が出る	地域行事や美化清掃などのボランティア活動等の地域活動の活性化が期待できる	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	349 38.2%	304 33.3%	292 31.9%	228 24.9%	172 18.8%	156 17.1%	92 10.1%	22 2.4%	227 24.8%	19 2.1%
18～29歳	65 100.0%	31 47.7%	24 36.9%	23 35.4%	15 23.1%	16 24.6%	9 13.8%	4 6.2%	1 1.5%	10 15.4%	1 1.5%
30～39歳	116 100.0%	35 30.2%	38 32.8%	40 34.5%	24 20.7%	14 12.1%	19 16.4%	5 4.3%	2 1.7%	40 34.5%	- -
40～49歳	144 100.0%	68 47.2%	53 36.8%	53 36.8%	34 23.6%	28 19.4%	33 22.9%	17 11.8%	2 1.4%	38 26.4%	1 0.7%
50～59歳	192 100.0%	81 42.2%	78 40.6%	66 34.4%	62 32.3%	45 23.4%	40 20.8%	24 12.5%	6 3.1%	39 20.3%	3 1.6%
60～69歳	133 100.0%	44 33.1%	39 29.3%	45 33.8%	37 27.8%	24 18.0%	22 16.5%	14 10.5%	3 2.3%	26 19.5%	3 2.3%
70歳以上	259 100.0%	90 34.7%	72 27.8%	65 25.1%	56 21.6%	43 16.6%	33 12.7%	28 10.8%	8 3.1%	71 27.4%	11 4.2%

【台東区居住年数別】

「10年～20年未満」で「外国のことについて関心を持つようになる」、「1年～3年未満」で「消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる」、「5年～10年未満」で「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」「消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる」「地域内の多様性が高まる」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。一方、「3年～5年未満」で「特にない」が33.9%と高い。

図表 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなること（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国の言葉・文化等を知る機会が増える	外国のことについて関心を持つようになる	消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる	地域内の多様性が高まる	地域で外国人と交流できる機会が増える	人口が増えて、活気が出る	地域行事や美化清掃などのボランティア活動等の地域活動の活性化が期待できる	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	349 38.2%	304 33.3%	292 31.9%	228 24.9%	172 18.8%	156 17.1%	92 10.1%	22 2.4%	227 24.8%	19 2.1%
1年未満	13 100.0%	6 46.2%	4 30.8%	6 46.2%	3 23.1%	3 23.1%	3 23.1%	1 7.7%	- -	1 7.7%	- -
1年～3年未満	89 100.0%	37 41.6%	30 33.7%	37 41.6%	24 27.0%	19 21.3%	19 21.3%	6 6.7%	2 2.2%	17 19.1%	- -
3年～5年未満	62 100.0%	20 32.3%	20 32.3%	20 32.3%	17 27.4%	12 19.4%	9 14.5%	5 8.1%	3 4.8%	21 33.9%	- -
5年～10年未満	113 100.0%	49 43.4%	40 35.4%	53 46.9%	34 30.1%	25 22.1%	30 26.5%	20 17.7%	3 2.7%	22 19.5%	2 1.8%
10年～20年未満	180 100.0%	75 41.7%	69 38.3%	59 32.8%	49 27.2%	35 19.4%	34 18.9%	18 10.0%	3 1.7%	43 23.9%	4 2.2%
20年以上	455 100.0%	160 35.2%	139 30.5%	117 25.7%	100 22.0%	77 16.9%	60 13.2%	41 9.0%	11 2.4%	123 27.0%	13 2.9%

【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会の頻度が多いほど、「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」「外国のことについて関心を持つようになる」「消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる」の割合が高い傾向にあり、特に交流機会が「たくさんある」ではいずれも50%台となっている。

図表 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなること（外国人との交流機会の頻度別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国の言葉・文化等を知る機会が増える	外国のことについて関心を持つようになる	消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる	地域内の多様性が高まる	地域で外国人と交流できる機会が増える	人口が増えて、活気が出る	地域行事や美化清掃などのボランティア活動等の地域活動の活性化が期待できる	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	349 38.2%	304 33.3%	292 31.9%	228 24.9%	172 18.8%	156 17.1%	92 10.1%	22 2.4%	227 24.8%	19 2.1%
たくさんある	16 100.0%	8 50.0%	9 56.3%	8 50.0%	6 37.5%	7 43.8%	5 31.3%	3 18.8%	- -	2 12.5%	- -
少しある	137 100.0%	58 42.3%	58 42.3%	44 32.1%	32 23.4%	28 20.4%	25 18.2%	8 5.8%	2 1.5%	28 20.4%	5 3.6%
あまりない	287 100.0%	115 40.1%	107 37.3%	99 34.5%	98 34.1%	64 22.3%	61 21.3%	37 12.9%	4 1.4%	53 18.5%	5 1.7%
全くない	420 100.0%	154 36.7%	123 29.3%	131 31.2%	81 19.3%	69 16.4%	61 14.5%	41 9.8%	15 3.6%	118 28.1%	7 1.7%
わからない	38 100.0%	8 21.1%	6 15.8%	7 18.4%	7 18.4%	1 2.6%	2 5.3%	1 2.6%	- -	18 47.4%	1 2.6%

【居住地域別】

「谷中地区」では全体平均より5ポイント以上高い項目が多く、「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」「地域内の多様性が高まる」「消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる」「地域で外国人と交流できる機会が増える」が高くなっている。

また、「雷門地区」で「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」が、「上野地区」「浅草寿地区」で「外国のことについて関心を持つようになる」が、「浅草橋地区」で「消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる」、「金杉地区」で「外国のことについて関心を持つようになる」「消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなること（居住地域別）

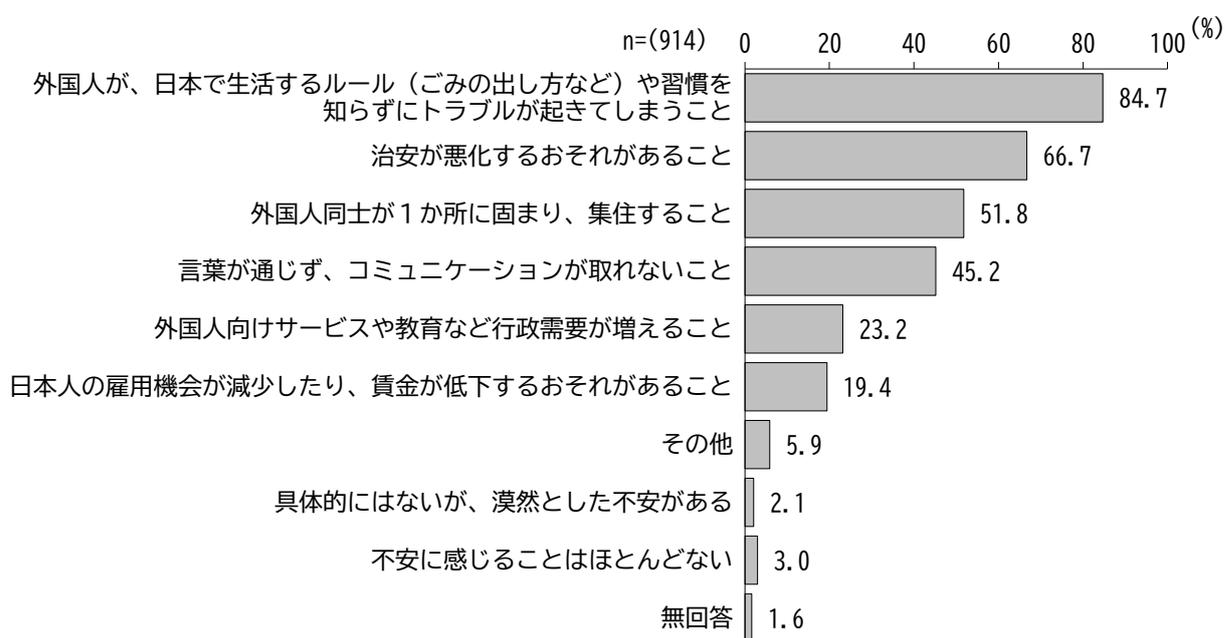
上段:人数 下段:%	調査数	外国の言葉・文化等を知る機会が増える	外国のことについて関心を持つようになる	消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる	地域内の多様性が高まる	地域で外国人と交流できる機会が増える	人口が増えて、活気が出る	地域行事や美化清掃などのボランティア活動等の地域活動の活性化が期待できる	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	349 38.2%	304 33.3%	292 31.9%	228 24.9%	172 18.8%	156 17.1%	92 10.1%	22 2.4%	227 24.8%	19 2.1%
竹町地区	39 100.0%	8 20.5%	8 20.5%	8 20.5%	8 20.5%	7 17.9%	7 17.9%	4 10.3%	- -	13 33.3%	1 2.6%
東上野地区	50 100.0%	19 38.0%	15 30.0%	20 40.0%	10 20.0%	10 20.0%	8 16.0%	2 4.0%	2 4.0%	12 24.0%	2 4.0%
上野地区	59 100.0%	20 33.9%	24 40.7%	16 27.1%	11 18.6%	6 10.2%	10 16.9%	3 5.1%	2 3.4%	15 25.4%	1 1.7%
入谷地区	126 100.0%	44 34.9%	40 31.7%	39 31.0%	28 22.2%	23 18.3%	12 9.5%	8 6.3%	1 0.8%	33 26.2%	1 0.8%
金杉地区	93 100.0%	39 41.9%	39 41.9%	38 40.9%	19 20.4%	18 19.4%	18 19.4%	9 9.7%	4 4.3%	21 22.6%	1 1.1%
谷中地区	53 100.0%	25 47.2%	19 35.8%	22 41.5%	24 45.3%	13 24.5%	9 17.0%	10 18.9%	1 1.9%	8 15.1%	2 3.8%
浅草橋地区	72 100.0%	23 31.9%	18 25.0%	33 45.8%	19 26.4%	14 19.4%	17 23.6%	10 13.9%	4 5.6%	13 18.1%	2 2.8%
浅草寿地区	126 100.0%	52 41.3%	51 40.5%	48 38.1%	35 27.8%	24 19.0%	25 19.8%	15 11.9%	1 0.8%	27 21.4%	2 1.6%
雷門地区	89 100.0%	41 46.1%	30 33.7%	26 29.2%	28 31.5%	21 23.6%	17 19.1%	15 16.9%	1 1.1%	22 24.7%	- -
馬道地区	86 100.0%	32 37.2%	20 23.3%	19 22.1%	20 23.3%	17 19.8%	13 15.1%	12 14.0%	1 1.2%	23 26.7%	2 2.3%
清川地区	112 100.0%	45 40.2%	39 34.8%	22 19.6%	26 23.2%	19 17.0%	20 17.9%	4 3.6%	3 2.7%	36 32.1%	3 2.7%

## (11) 地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じること

問18 地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じることは何ですか。  
(当てはまるもの全てに○)

「外国人が、日本で生活するルール（ごみの出し方など）や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと」（84.7%）が最も高く、次いで、「治安が悪化するおそれがあること」（66.7%）、「外国人同士が1か所に固まり、集住すること」（51.8%）、「言葉が通じず、コミュニケーションが取れないこと」（45.2%）となっている。

図表 地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じること（複数回答）

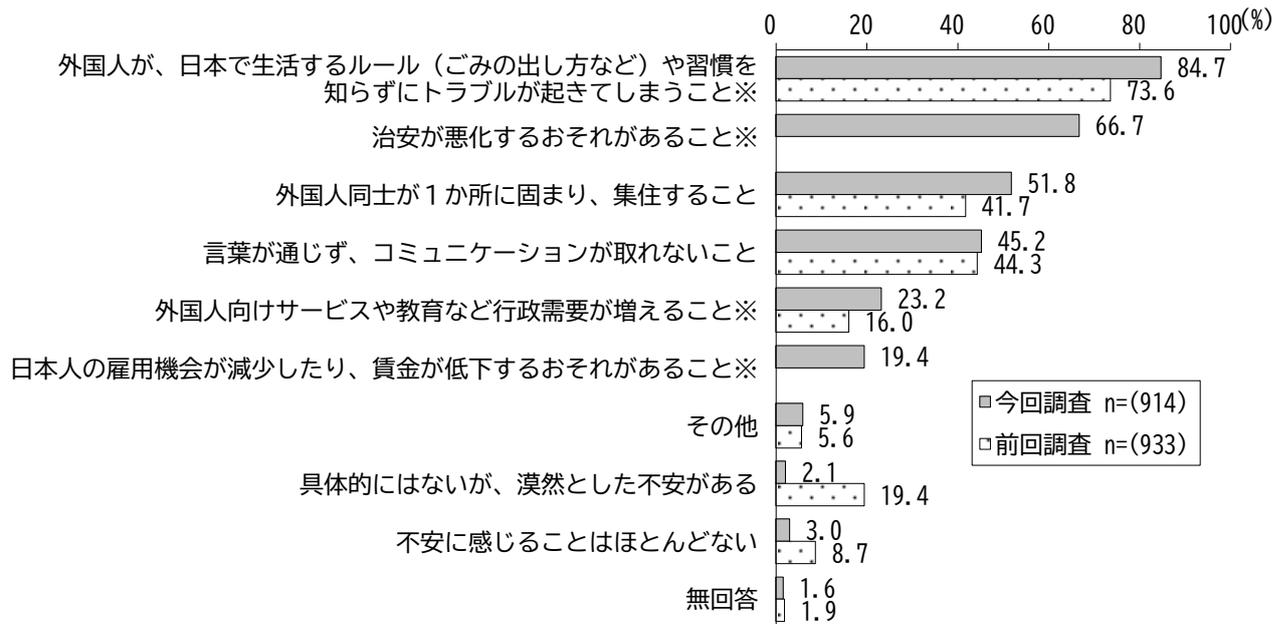


【経年比較】

前回との比較では、「外国人が、日本で生活するルール（ごみの出し方など）や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと」「外国人同士が1か所に固まり、集住すること」が10ポイント以上、また、「外国人向けサービスや教育など行政需要が増えること」が7.2ポイント増加している。

一方、「具体的にはないが、漠然とした不安がある」は17.3ポイント減少している。

図表 【経年比較】地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じる事（複数回答）



※今回調査の選択肢「外国人が、日本で生活するルール（ごみの出し方など）や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと」は前回調査では「外国人が日本で生活するルールや習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと」、「外国人向けサービスや教育など行政需要が増えること」は「外国人向けサービスや教育など社会的負担が増えること」であった。

※今回調査より、選択肢「治安が悪化するおそれがあること」「日本人の雇用機会が減少したり、賃金が低下するおそれがあること」が追加された。

【年齢別】

40歳代以下で「外国人が、日本で生活するルール（ごみの出し方など）や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと」が90%以上で全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。また、50歳代以下では「治安が悪化するおそれがあること」が70%～80%台で高い。

図表 地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じること（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国人が、日本で生活するルール(ごみの出し方など)や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと	治安が悪化するおそれがあること	外国人同士が1か所に固まり、集住すること	言葉が通じず、コミュニケーションが取れないこと	外国人向けサービスや教育など行政需要が増えること	日本人の雇用機会が減少したり、賃金が低下するおそれがあること	その他	具体的にはないが、漠然とした不安がある	不安に感じることはほとんどない	無回答
全体	914 100.0%	774 84.7%	610 66.7%	473 51.8%	413 45.2%	212 23.2%	177 19.4%	54 5.9%	19 2.1%	27 3.0%	15 1.6%
18～29歳	65 100.0%	60 92.3%	50 76.9%	34 52.3%	34 52.3%	24 36.9%	22 33.8%	2 3.1%	-	1 1.5%	1 1.5%
30～39歳	116 100.0%	105 90.5%	97 83.6%	65 56.0%	67 57.8%	32 27.6%	39 33.6%	9 7.8%	1 0.9%	1 0.9%	-
40～49歳	144 100.0%	132 91.7%	109 75.7%	92 63.9%	70 48.6%	41 28.5%	35 24.3%	11 7.6%	-	2 1.4%	1 0.7%
50～59歳	192 100.0%	167 87.0%	145 75.5%	104 54.2%	87 45.3%	49 25.5%	37 19.3%	16 8.3%	2 1.0%	7 3.6%	3 1.6%
60～69歳	133 100.0%	119 89.5%	88 66.2%	78 58.6%	60 45.1%	34 25.6%	19 14.3%	8 6.0%	1 0.8%	4 3.0%	2 1.5%
70歳以上	259 100.0%	187 72.2%	117 45.2%	96 37.1%	93 35.9%	30 11.6%	24 9.3%	6 2.3%	14 5.4%	12 4.6%	8 3.1%

【台東区居住年数別】

「1年～3年未満」で「外国人が、日本で生活するルール（ごみの出し方など）や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと」、10年未満では「治安が悪化するおそれがあること」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。また、「5年～10年未満」はほとんどの項目で全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じること（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国人が、日本で生活するルール(ごみの出し方など)や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと	治安が悪化するおそれがあること	外国人同士が1か所に固まり、集住すること	言葉が通じず、コミュニケーションが取れないこと	外国人向けサービスや教育など行政需要が増えること	日本人の雇用機会が減少したり、賃金が低下するおそれがあること	その他	具体的にはないが、漠然とした不安がある	不安に感じることはほとんどない	無回答
全体	914 100.0%	774 84.7%	610 66.7%	473 51.8%	413 45.2%	212 23.2%	177 19.4%	54 5.9%	19 2.1%	27 3.0%	15 1.6%
1年未満	13 100.0%	11 84.6%	11 84.6%	7 53.8%	6 46.2%	2 15.4%	2 15.4%	-	-	-	-
1年～3年未満	89 100.0%	85 95.5%	70 78.7%	47 52.8%	42 47.2%	30 33.7%	30 33.7%	6 6.7%	1 1.1%	1 1.1%	-
3年～5年未満	62 100.0%	55 88.7%	52 83.9%	33 53.2%	27 43.5%	18 29.0%	15 24.2%	4 6.5%	-	1 1.6%	-
5年～10年未満	113 100.0%	100 88.5%	87 77.0%	68 60.2%	60 53.1%	33 29.2%	31 27.4%	7 6.2%	1 0.9%	1 0.9%	2 1.8%
10年～20年未満	180 100.0%	155 86.1%	127 70.6%	100 55.6%	87 48.3%	43 23.9%	30 16.7%	15 8.3%	-	5 2.8%	6 3.3%
20年以上	455 100.0%	368 80.9%	263 57.8%	218 47.9%	191 42.0%	86 18.9%	69 15.2%	22 4.8%	17 3.7%	17 3.7%	7 1.5%

【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会が少ないほど「治安が悪化するおそれがあること」が増加する傾向がみられる。

図表 地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じること  
(外国人との交流機会の頻度別)

	調査数	外国人が、日本で生活するルール(ごみの出し方など)や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと	治安が悪化するおそれがあること	外国人同士が1か所に固まり、集住すること	言葉が通じず、コミュニケーションが取れないこと	外国人向けサービスや教育など行政需要が増えること	日本人の雇用機会が減少したり、賃金が低下するおそれがあること	その他	具体的にはないが、漠然とした不安がある	不安に感じることはほとんどない	無回答
上段:人数 下段:%											
全体	914 100.0%	774 84.7%	610 66.7%	473 51.8%	413 45.2%	212 23.2%	177 19.4%	54 5.9%	19 2.1%	27 3.0%	15 1.6%
たくさんある	16 100.0%	14 87.5%	8 50.0%	9 56.3%	7 43.8%	4 25.0%	5 31.3%	-	-	-	-
少しある	137 100.0%	116 84.7%	82 59.9%	68 49.6%	64 46.7%	36 26.3%	27 19.7%	10 7.3%	-	4 2.9%	3 2.2%
あまりない	287 100.0%	243 84.7%	187 65.2%	143 49.8%	123 42.9%	59 20.6%	46 16.0%	13 4.5%	4 1.4%	8 2.8%	4 1.4%
全くない	420 100.0%	362 86.2%	299 71.2%	233 55.5%	197 46.9%	98 23.3%	87 20.7%	29 6.9%	11 2.6%	12 2.9%	5 1.2%
わからない	38 100.0%	28 73.7%	24 63.2%	12 31.6%	16 42.1%	11 28.9%	9 23.7%	1 2.6%	3 7.9%	2 5.3%	2 5.3%

【居住地域別】

「金杉地区」「浅草橋地区」「雷門地区」で「外国人が、日本で生活するルール（ごみの出し方など）や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと」が90%台と全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、「竹町地区」「上野地区」「浅草橋地区」は「治安が悪化するおそれがあること」、「竹町地区」「浅草橋地区」で「外国人同士が1か所に固まり、集住すること」、「金杉地区」「浅草寿地区」で「言葉が通じず、コミュニケーションが取れないこと」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じる事（居住地域別）

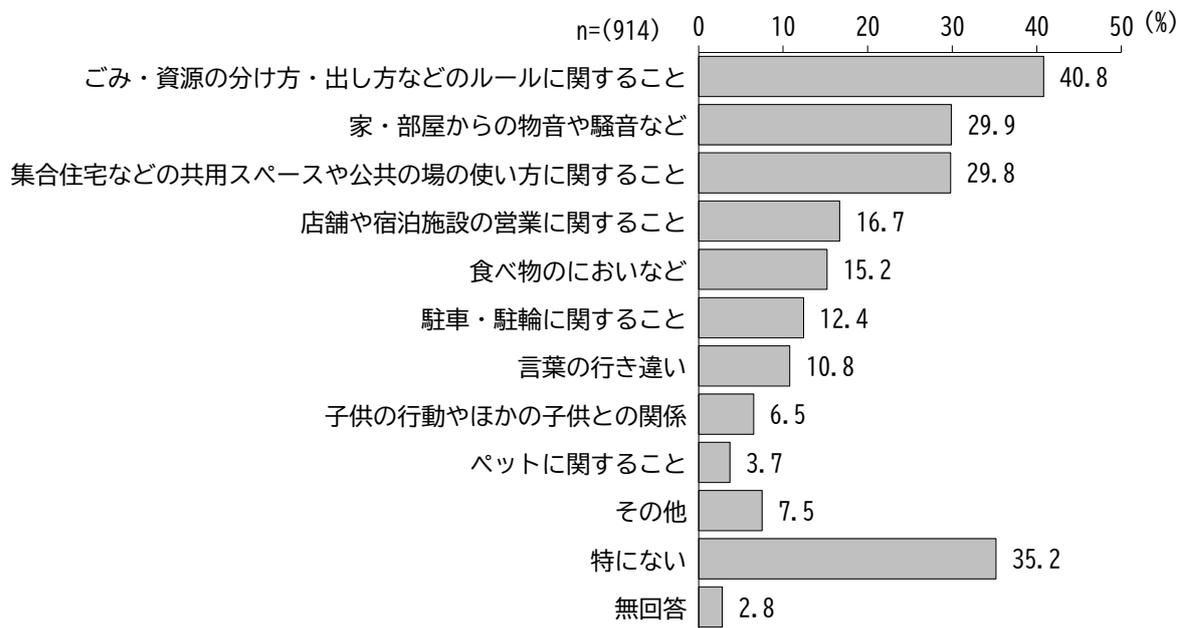
上段:人数 下段:%	調査数	外国人が、日本で生活するルール(ごみの出し方など)や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと	治安が悪化するおそれがあること	外国人同士が1か所に固まり、集住すること	言葉が通じず、コミュニケーションが取れないこと	外国人向けサービスや教育など行政需要が増えること	日本人の雇用機会が減少したり、賃金が低下するおそれがあること	その他	具体的にはないが、漠然とした不安がある	不安に感じることはほとんどない	無回答
全体	914 100.0%	774 84.7%	610 66.7%	473 51.8%	413 45.2%	212 23.2%	177 19.4%	54 5.9%	19 2.1%	27 3.0%	15 1.6%
竹町地区	39 100.0%	32 82.1%	29 74.4%	26 66.7%	13 33.3%	11 28.2%	8 20.5%	2 5.1%	- -	- -	1 2.6%
東上野地区	50 100.0%	37 74.0%	34 68.0%	25 50.0%	23 46.0%	17 34.0%	10 20.0%	5 10.0%	1 2.0%	5 10.0%	2 4.0%
上野地区	59 100.0%	50 84.7%	45 76.3%	30 50.8%	29 49.2%	12 20.3%	13 22.0%	3 5.1%	- -	1 1.7%	2 3.4%
入谷地区	126 100.0%	108 85.7%	89 70.6%	71 56.3%	50 39.7%	32 25.4%	26 20.6%	11 8.7%	3 2.4%	3 2.4%	- -
金杉地区	93 100.0%	84 90.3%	61 65.6%	49 52.7%	49 52.7%	26 28.0%	17 18.3%	5 5.4%	1 1.1%	1 1.1%	1 1.1%
谷中地区	53 100.0%	45 84.9%	30 56.6%	26 49.1%	23 43.4%	10 18.9%	9 17.0%	4 7.5%	1 1.9%	3 5.7%	2 3.8%
浅草橋地区	72 100.0%	65 90.3%	52 72.2%	48 66.7%	29 40.3%	19 26.4%	16 22.2%	5 6.9%	1 1.4%	2 2.8%	2 2.8%
浅草寿地区	126 100.0%	110 87.3%	82 65.1%	64 50.8%	67 53.2%	23 18.3%	19 15.1%	4 3.2%	2 1.6%	2 1.6%	2 1.6%
雷門地区	89 100.0%	82 92.1%	61 68.5%	48 53.9%	42 47.2%	27 30.3%	19 21.3%	4 4.5%	2 2.2%	1 1.1%	- -
馬道地区	86 100.0%	73 84.9%	58 67.4%	36 41.9%	41 47.7%	13 15.1%	21 24.4%	4 4.7%	1 1.2%	- -	1 1.2%
清川地区	112 100.0%	81 72.3%	64 57.1%	47 42.0%	44 39.3%	21 18.8%	19 17.0%	5 4.5%	6 5.4%	9 8.0%	2 1.8%

(12) 地域に暮らす外国人との関係で困った経験

問19 今までに、地域に暮らす外国人との関係で困った経験は何ですか。  
 (当てはまるもの全てに○)

「ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること」(40.8%)が最も高く、次いで、「家・部屋からの物音や騒音など」(29.9%)、「集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること」(29.8%)となっている。一方、「特にない」は35.2%となっている。

図表 地域に暮らす外国人との関係で困った経験 (複数回答)

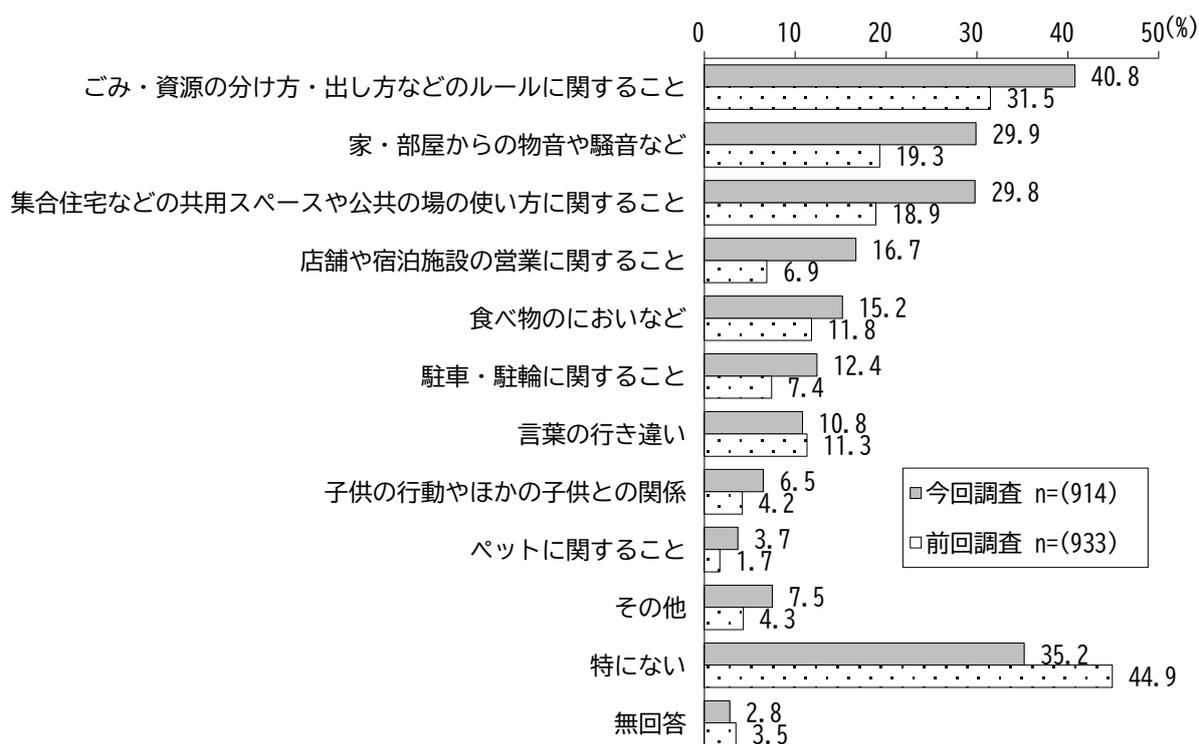


【経年比較】

前回との比較では、「集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること」「家・部屋からの物音や騒音など」が10ポイント以上、「店舗や宿泊施設の営業に関すること」「ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること」が9ポイント以上、「駐車・駐輪に関すること」が5.0ポイント増加している。「特にない」を除いて、前回7位の「店舗や宿泊施設の営業に関すること」は今回4位に上昇している。

一方、「特にない」は9.7ポイント減少している。

図表 【経年比較】地域に暮らす外国人との関係で困った経験（複数回答）



【年齢別】

「50～59歳」で「ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、50歳代以下では「家・部屋からの物音や騒音など」「集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人との関係で困った経験（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること	家・部屋からの物音や騒音など	集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること	店舗や宿泊施設の営業に関すること	食べ物のおいなど	駐車・駐輪に関すること
全体	914 100.0%	373 40.8%	273 29.9%	272 29.8%	153 16.7%	139 15.2%	113 12.4%
18～29歳	65 100.0%	22 33.8%	26 40.0%	26 40.0%	9 13.8%	14 21.5%	9 13.8%
30～39歳	116 100.0%	38 32.8%	43 37.1%	46 39.7%	21 18.1%	22 19.0%	13 11.2%
40～49歳	144 100.0%	58 40.3%	59 41.0%	62 43.1%	41 28.5%	32 22.2%	26 18.1%
50～59歳	192 100.0%	95 49.5%	67 34.9%	69 35.9%	38 19.8%	29 15.1%	26 13.5%
60～69歳	133 100.0%	57 42.9%	31 23.3%	27 20.3%	19 14.3%	19 14.3%	18 13.5%
70歳以上	259 100.0%	100 38.6%	44 17.0%	39 15.1%	24 9.3%	21 8.1%	20 7.7%

上段:人数 下段:%	調査数	言葉の行き違い	子供の行動やほかの子供との関係	ペットに関すること	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	99 10.8%	59 6.5%	34 3.7%	69 7.5%	322 35.2%	26 2.8%
18～29歳	65 100.0%	16 24.6%	5 7.7%	6 9.2%	4 6.2%	18 27.7%	2 3.1%
30～39歳	116 100.0%	14 12.1%	12 10.3%	4 3.4%	11 9.5%	34 29.3%	- -
40～49歳	144 100.0%	21 14.6%	17 11.8%	10 6.9%	17 11.8%	39 27.1%	1 0.7%
50～59歳	192 100.0%	15 7.8%	17 8.9%	5 2.6%	18 9.4%	58 30.2%	5 2.6%
60～69歳	133 100.0%	13 9.8%	5 3.8%	6 4.5%	9 6.8%	52 39.1%	4 3.0%
70歳以上	259 100.0%	19 7.3%	2 0.8%	2 0.8%	8 3.1%	120 46.3%	14 5.4%

【居住形態別】

「借家（集合住宅）」で「家・部屋からの物音や騒音など」、「持ち家（集合住宅）」で「集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域に暮らす外国人との関係で困った経験（居住形態別）

上段:人数 下段:%	調査数	ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること	家・部屋からの物音や騒音など	集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること	店舗や宿泊施設の営業に関すること	食べ物のにおいなど	駐車・駐輪に関すること
全体	914 100.0%	373 40.8%	273 29.9%	272 29.8%	153 16.7%	139 15.2%	113 12.4%
持ち家(一戸建て)	252 100.0%	97 38.5%	66 26.2%	47 18.7%	40 15.9%	31 12.3%	30 11.9%
持ち家(集合住宅)	281 100.0%	128 45.6%	77 27.4%	98 34.9%	53 18.9%	42 14.9%	36 12.8%
借家(一戸建て)	15 100.0%	4 26.7%	6 40.0%	4 26.7%	2 13.3%	2 13.3%	1 6.7%
借家(集合住宅)	317 100.0%	127 40.1%	114 36.0%	110 34.7%	52 16.4%	56 17.7%	41 12.9%
公社・都市再生機構(旧公団)・公営住宅	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	2 40.0%	- -	1 20.0%	1 20.0%
社宅・官舎	13 100.0%	5 38.5%	4 30.8%	7 53.8%	2 15.4%	4 30.8%	2 15.4%
間借り・住み込み・寮	10 100.0%	2 20.0%	2 20.0%	- -	1 10.0%	1 10.0%	- -
その他	18 100.0%	6 33.3%	2 11.1%	3 16.7%	3 16.7%	2 11.1%	2 11.1%

上段:人数 下段:%	調査数	言葉の行き違い	子供の行動やほかの子供との関係	ペットに関すること	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	99 10.8%	59 6.5%	34 3.7%	69 7.5%	322 35.2%	26 2.8%
持ち家(一戸建て)	252 100.0%	26 10.3%	12 4.8%	8 3.2%	14 5.6%	96 38.1%	10 4.0%
持ち家(集合住宅)	281 100.0%	27 9.6%	24 8.5%	9 3.2%	18 6.4%	97 34.5%	7 2.5%
借家(一戸建て)	15 100.0%	3 20.0%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	7 46.7%	1 6.7%
借家(集合住宅)	317 100.0%	37 11.7%	18 5.7%	16 5.0%	33 10.4%	102 32.2%	6 1.9%
公社・都市再生機構(旧公団)・公営住宅	5 100.0%	2 40.0%	- -	- -	- -	1 20.0%	- -
社宅・官舎	13 100.0%	1 7.7%	2 15.4%	- -	1 7.7%	5 38.5%	- -
間借り・住み込み・寮	10 100.0%	2 20.0%	1 10.0%	- -	- -	6 60.0%	- -
その他	18 100.0%	1 5.6%	- -	- -	2 11.1%	7 38.9%	1 5.6%

【台東区居住年数別】

「3年～5年未満」で「ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、居住年数が10年未満では「家・部屋からの物音や騒音など」、「1年～3年未満」「3年～5年未満」「10年～20年未満」では「集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人との関係で困った経験（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること	家・部屋からの物音や騒音など	集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること	店舗や宿泊施設の営業に関すること	食べ物のにおいなど	駐車・駐輪に関すること
全体	914 100.0%	373 40.8%	273 29.9%	272 29.8%	153 16.7%	139 15.2%	113 12.4%
1年未満	13 100.0%	3 23.1%	5 38.5%	7 53.8%	3 23.1%	2 15.4%	2 15.4%
1年～3年未満	89 100.0%	30 33.7%	34 38.2%	35 39.3%	9 10.1%	15 16.9%	10 11.2%
3年～5年未満	62 100.0%	30 48.4%	27 43.5%	26 41.9%	10 16.1%	11 17.7%	6 9.7%
5年～10年未満	113 100.0%	38 33.6%	40 35.4%	34 30.1%	24 21.2%	18 15.9%	9 8.0%
10年～20年未満	180 100.0%	72 40.0%	57 31.7%	71 39.4%	38 21.1%	38 21.1%	25 13.9%
20年以上	455 100.0%	200 44.0%	110 24.2%	99 21.8%	69 15.2%	55 12.1%	61 13.4%

上段:人数 下段:%	調査数	言葉の行き違い	子供の行動やほかの子供との関係	ペットに関すること	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	99 10.8%	59 6.5%	34 3.7%	69 7.5%	322 35.2%	26 2.8%
1年未満	13 100.0%	1 7.7%	1 7.7%	- -	1 7.7%	1 7.7%	- -
1年～3年未満	89 100.0%	9 10.1%	9 10.1%	4 4.5%	8 9.0%	28 31.5%	1 1.1%
3年～5年未満	62 100.0%	9 14.5%	4 6.5%	4 6.5%	4 6.5%	21 33.9%	- -
5年～10年未満	113 100.0%	11 9.7%	8 7.1%	4 3.5%	16 14.2%	39 34.5%	2 1.8%
10年～20年未満	180 100.0%	20 11.1%	13 7.2%	7 3.9%	13 7.2%	52 28.9%	6 3.3%
20年以上	455 100.0%	49 10.8%	24 5.3%	15 3.3%	27 5.9%	179 39.3%	17 3.7%

【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会が「少しある」では、「ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること」「店舗や宿泊施設の営業に関すること」「駐車・駐輪に関すること」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、交流機会が多いほど「家・部屋からの物音や騒音など」の割合が高い傾向がみられる。

図表 地域に暮らす外国人との関係で困った経験（外国人との交流機会の頻度別）

上段:人数 下段:%	調査数	ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること	家・部屋からの物音や騒音など	集合住宅などの共用スペースや公共場の使い方に関すること	店舗や宿泊施設の営業に関すること	食べ物のおいなど	駐車・駐輪に関すること
全体	914 100.0%	373 40.8%	273 29.9%	272 29.8%	153 16.7%	139 15.2%	113 12.4%
たくさんある	16 100.0%	7 43.8%	6 37.5%	6 37.5%	3 18.8%	2 12.5%	2 12.5%
少しある	137 100.0%	63 46.0%	46 33.6%	45 32.8%	30 21.9%	22 16.1%	30 21.9%
あまりない	287 100.0%	119 41.5%	86 30.0%	85 29.6%	50 17.4%	50 17.4%	32 11.1%
全くない	420 100.0%	166 39.5%	121 28.8%	127 30.2%	62 14.8%	56 13.3%	44 10.5%
わからない	38 100.0%	14 36.8%	10 26.3%	6 15.8%	7 18.4%	7 18.4%	4 10.5%

上段:人数 下段:%	調査数	言葉の行き違い	子供の行動やほかの子供との関係	ペットに関すること	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	99 10.8%	59 6.5%	34 3.7%	69 7.5%	322 35.2%	26 2.8%
たくさんある	16 100.0%	3 18.8%	2 12.5%	1 6.3%	3 18.8%	6 37.5%	-
少しある	137 100.0%	17 12.4%	11 8.0%	5 3.6%	17 12.4%	39 28.5%	5 3.6%
あまりない	287 100.0%	26 9.1%	16 5.6%	9 3.1%	18 6.3%	90 31.4%	10 3.5%
全くない	420 100.0%	49 11.7%	24 5.7%	17 4.0%	26 6.2%	159 37.9%	10 2.4%
わからない	38 100.0%	4 10.5%	5 13.2%	2 5.3%	4 10.5%	18 47.4%	1 2.6%

## 第4章 日本人意識調査 調査結果の詳細

### 【居住地域別】

「竹町地区」では全体平均と比較して5ポイント以上高い項目が多く、「特にない」は他の地域と比較すると最も低くなっている。

図表 地域に暮らす外国人との関係で困った経験（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること	家・部屋からの物音や騒音など	集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること	店舗や宿泊施設の営業に関すること	食べ物のおいなど	駐車・駐輪に関すること
全体	914 100.0%	373 40.8%	273 29.9%	272 29.8%	153 16.7%	139 15.2%	113 12.4%
竹町地区	39 100.0%	20 51.3%	15 38.5%	17 43.6%	7 17.9%	9 23.1%	8 20.5%
東上野地区	50 100.0%	19 38.0%	18 36.0%	16 32.0%	8 16.0%	7 14.0%	3 6.0%
上野地区	59 100.0%	29 49.2%	15 25.4%	22 37.3%	8 13.6%	9 15.3%	9 15.3%
入谷地区	126 100.0%	54 42.9%	40 31.7%	29 23.0%	25 19.8%	21 16.7%	15 11.9%
金杉地区	93 100.0%	41 44.1%	29 31.2%	38 40.9%	20 21.5%	21 22.6%	14 15.1%
谷中地区	53 100.0%	19 35.8%	9 17.0%	11 20.8%	5 9.4%	5 9.4%	7 13.2%
浅草橋地区	72 100.0%	29 40.3%	25 34.7%	22 30.6%	17 23.6%	15 20.8%	8 11.1%
浅草寿地区	126 100.0%	52 41.3%	47 37.3%	37 29.4%	23 18.3%	17 13.5%	19 15.1%
雷門地区	89 100.0%	34 38.2%	26 29.2%	31 34.8%	19 21.3%	11 12.4%	7 7.9%
馬道地区	86 100.0%	35 40.7%	23 26.7%	26 30.2%	10 11.6%	8 9.3%	7 8.1%
清川地区	112 100.0%	36 32.1%	25 22.3%	22 19.6%	9 8.0%	15 13.4%	15 13.4%

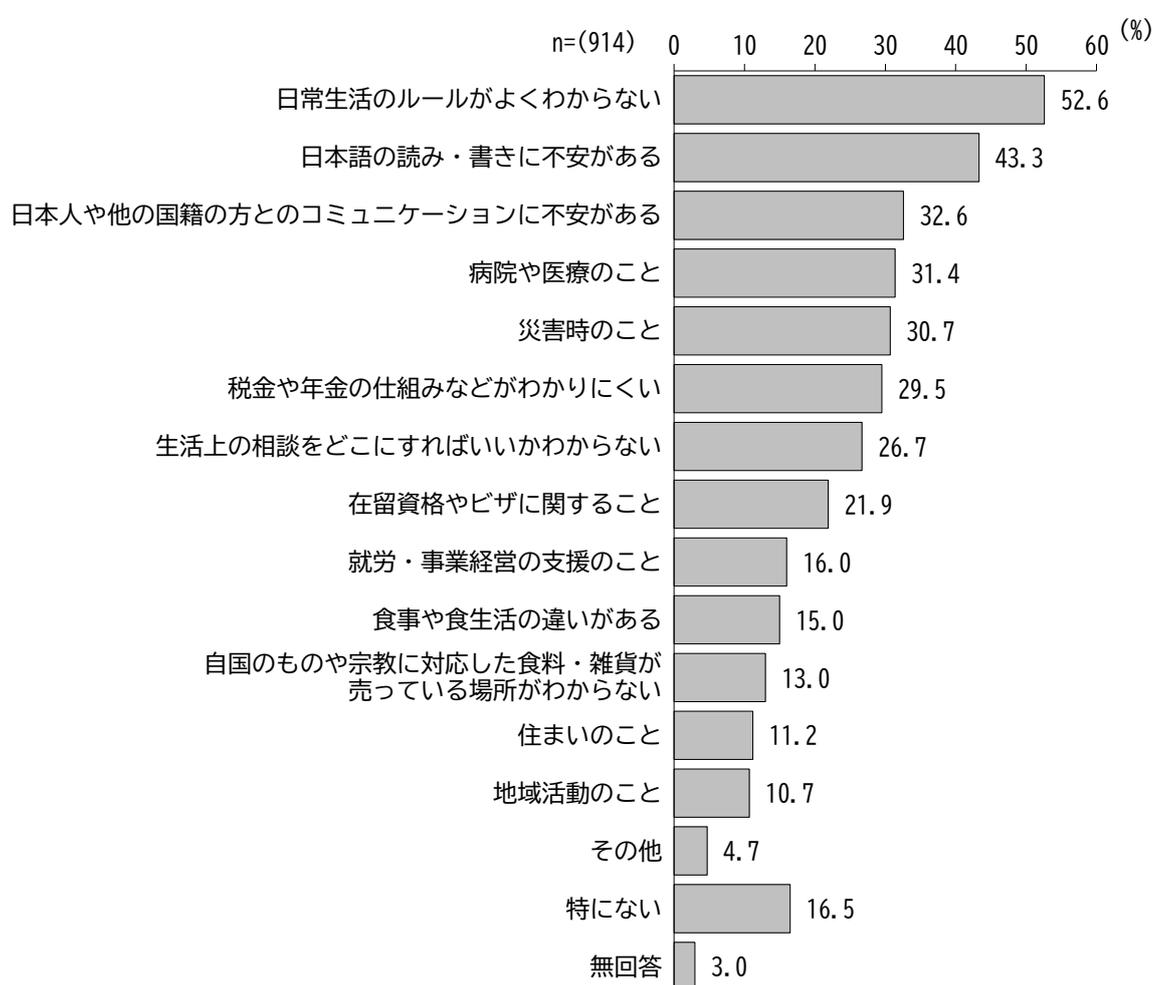
上段:人数 下段:%	調査数	言葉の行き違い	子供の行動やほかの子供との関係	ペットに関する こと	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	99 10.8%	59 6.5%	34 3.7%	69 7.5%	322 35.2%	26 2.8%
竹町地区	39 100.0%	1 2.6%	6 15.4%	3 7.7%	4 10.3%	8 20.5%	3 7.7%
東上野地区	50 100.0%	3 6.0%	- -	1 2.0%	2 4.0%	13 26.0%	2 4.0%
上野地区	59 100.0%	8 13.6%	6 10.2%	4 6.8%	5 8.5%	16 27.1%	1 1.7%
入谷地区	126 100.0%	17 13.5%	3 2.4%	5 4.0%	14 11.1%	47 37.3%	1 0.8%
金杉地区	93 100.0%	10 10.8%	10 10.8%	4 4.3%	6 6.5%	34 36.6%	1 1.1%
谷中地区	53 100.0%	8 15.1%	2 3.8%	2 3.8%	3 5.7%	24 45.3%	3 5.7%
浅草橋地区	72 100.0%	7 9.7%	7 9.7%	4 5.6%	5 6.9%	19 26.4%	3 4.2%
浅草寿地区	126 100.0%	9 7.1%	8 6.3%	3 2.4%	6 4.8%	48 38.1%	3 2.4%
雷門地区	89 100.0%	12 13.5%	8 9.0%	5 5.6%	8 9.0%	32 36.0%	2 2.2%
馬道地区	86 100.0%	12 14.0%	3 3.5%	2 2.3%	5 5.8%	30 34.9%	3 3.5%
清川地区	112 100.0%	12 10.7%	6 5.4%	1 0.9%	10 8.9%	49 43.8%	3 2.7%

## (13) 地域に暮らす外国人が不安を感じていると思うこと

問20 地域に暮らす外国人が困っていたり、不安を感じていたりすることは何だと思えますか（あるいは何ですか）。（当てはまるもの全てに○）

「日常生活のルールがよくわからない」（52.6%）が最も高く、次いで、「日本語の読み・書きに不安がある」（43.3%）、「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」（32.6%）、「病院や医療のこと」（31.4%）、「災害時のこと」（30.7%）、「税金や年金の仕組みなどがわかりにくい」（29.5%）、「生活上の相談をどこにすればいいかわからない」（26.7%）となっている。

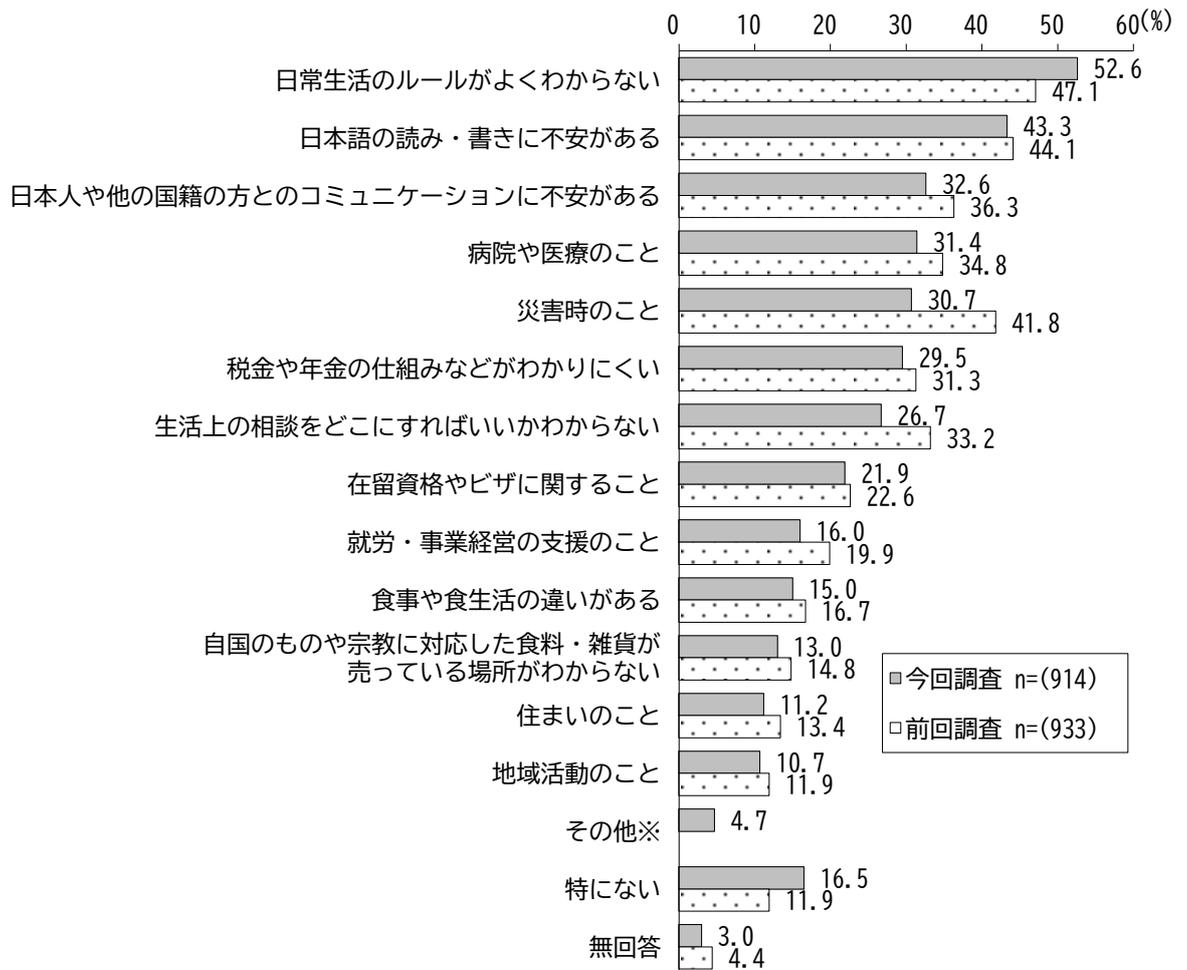
図表 地域に暮らす外国人が不安を感じていると思うこと（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「日常生活のルールがよくわからない」が5.5ポイント増加している。一方、「災害時のこと」は11.1ポイント、「生活上の相談をどこにすればいいかわからない」は6.5ポイント減少している。全体的に、減少傾向にある項目が多く、日本人区民が想定する外国人区民の不安は前回よりも低く認識されていることがわかります。

図表 【経年比較】地域に暮らす外国人が不安を感じていると思うこと（複数回答）



※今回調査より、選択肢「その他」が追加された。

【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会が「あまりない」で「日常生活のルールがよくわからない」「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」「税金や年金の仕組みなどがわかりにくい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域に暮らす外国人が不安を感じていると思うこと（外国人との交流機会の頻度別）

	調査数	日常生活のルールがよくわからない	日本語の読み書きに不安がある	日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある	病院や医療のこと	災害時のこと	税金や年金の仕組みなどがわかりにくい	生活上の相談をどこにすればいいかわからない	在留資格やビザに関すること
全体	914 100.0%	481 52.6%	396 43.3%	298 32.6%	287 31.4%	281 30.7%	270 29.5%	244 26.7%	200 21.9%
たくさんある	16 100.0%	4 25.0%	8 50.0%	6 37.5%	6 37.5%	2 12.5%	6 37.5%	4 25.0%	6 37.5%
少しある	137 100.0%	66 48.2%	64 46.7%	48 35.0%	43 31.4%	48 35.0%	43 31.4%	35 25.5%	36 26.3%
あまりない	287 100.0%	180 62.7%	137 47.7%	109 38.0%	102 35.5%	102 35.5%	103 35.9%	87 30.3%	70 24.4%
全くない	420 100.0%	211 50.2%	173 41.2%	128 30.5%	122 29.0%	119 28.3%	108 25.7%	108 25.7%	79 18.8%
わからない	38 100.0%	16 42.1%	11 28.9%	6 15.8%	10 26.3%	9 23.7%	8 21.1%	7 18.4%	7 18.4%

	調査数	就労・事業経営の支援のこと	食事や食生活の違いがある	自国のものや宗教に対応した食料・雑貨が売っている場所がわからない	住まいのこと	地域活動のこと	その他	特になし	無回答
全体	914 100.0%	146 16.0%	137 15.0%	119 13.0%	102 11.2%	98 10.7%	43 4.7%	151 16.5%	27 3.0%
たくさんある	16 100.0%	3 18.8%	2 12.5%	2 12.5%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	2 12.5%
少しある	137 100.0%	20 14.6%	22 16.1%	16 11.7%	15 10.9%	14 10.2%	4 2.9%	20 14.6%	3 2.2%
あまりない	287 100.0%	51 17.8%	52 18.1%	48 16.7%	40 13.9%	39 13.6%	10 3.5%	33 11.5%	5 1.7%
全くない	420 100.0%	66 15.7%	55 13.1%	49 11.7%	40 9.5%	38 9.0%	26 6.2%	79 18.8%	12 2.9%
わからない	38 100.0%	5 13.2%	4 10.5%	3 7.9%	5 13.2%	4 10.5%	1 2.6%	13 34.2%	2 5.3%

【年齢別】

「60～69歳」で「日常生活のルールがよくわからない」「日本語の読み・書きに不安がある」「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」「病院や医療のこと」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、「18～29歳」で「税金や年金の仕組みなどがわかりにくい」「在留資格やビザに関すること」「就労・事業経営の支援のこと」が、「50～59歳」で「日本語の読み・書きに不安がある」「災害時のこと」「生活上の相談をどこにすればいいかわからない」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人が不安を感じていると思うこと（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	日常生活の ルールがよくわ からない	日本語の読み・ 書きに不安が ある	日本人や他の 国籍の方との コミュニケーションに不安が ある	病院や医療の こと	災害時のこと	税金や年金の 仕組みなどが わかりにくい	生活上の相談 をどこにすれば いいかわから ない	在留資格やビ ザに関すること
全体	914 100.0%	481 52.6%	396 43.3%	298 32.6%	287 31.4%	281 30.7%	270 29.5%	244 26.7%	200 21.9%
18～29歳	65 100.0%	31 47.7%	25 38.5%	22 33.8%	17 26.2%	20 30.8%	25 38.5%	18 27.7%	19 29.2%
30～39歳	116 100.0%	45 38.8%	38 32.8%	28 24.1%	26 22.4%	26 22.4%	37 31.9%	19 16.4%	30 25.9%
40～49歳	144 100.0%	81 56.3%	58 40.3%	52 36.1%	44 30.6%	39 27.1%	46 31.9%	42 29.2%	30 20.8%
50～59歳	192 100.0%	107 55.7%	93 48.4%	66 34.4%	68 35.4%	77 40.1%	63 32.8%	65 33.9%	44 22.9%
60～69歳	133 100.0%	87 65.4%	73 54.9%	55 41.4%	56 42.1%	45 33.8%	41 30.8%	41 30.8%	31 23.3%
70歳以上	259 100.0%	127 49.0%	108 41.7%	73 28.2%	76 29.3%	73 28.2%	56 21.6%	57 22.0%	45 17.4%

上段:人数 下段:%	調査数	就労・事業経営 の支援のこと	食事や食生活 の違いがある	自国のものや 宗教に対応し た食料・雑貨が 売っている場 所がわからない	住まいのこと	地域活動のこ と	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	146 16.0%	137 15.0%	119 13.0%	102 11.2%	98 10.7%	43 4.7%	151 16.5%	27 3.0%
18～29歳	65 100.0%	14 21.5%	11 16.9%	8 12.3%	6 9.2%	8 12.3%	1 1.5%	12 18.5%	1 1.5%
30～39歳	116 100.0%	19 16.4%	15 12.9%	14 12.1%	14 12.1%	7 6.0%	8 6.9%	28 24.1%	1 0.9%
40～49歳	144 100.0%	24 16.7%	25 17.4%	19 13.2%	14 9.7%	12 8.3%	8 5.6%	19 13.2%	-
50～59歳	192 100.0%	39 20.3%	34 17.7%	30 15.6%	28 14.6%	21 10.9%	12 6.3%	29 15.1%	4 2.1%
60～69歳	133 100.0%	22 16.5%	17 12.8%	19 14.3%	15 11.3%	18 13.5%	4 3.0%	11 8.3%	6 4.5%
70歳以上	259 100.0%	28 10.8%	33 12.7%	28 10.8%	24 9.3%	32 12.4%	10 3.9%	52 20.1%	14 5.4%

【居住地域別】

「上野地区」「金杉地区」「浅草寿地区」で「日常生活のルールがよくわからない」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域に暮らす外国人が不安を感じていると思うこと（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	日常生活のルールがよくわからない	日本語の読み書きに不安がある	日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある	病院や医療のこと	災害時のこと	税金や年金の仕組みなどがわかりにくい	生活上の相談をどこにすればいいかわからない	在留資格やビザに関すること
全体	914 100.0%	481 52.6%	396 43.3%	298 32.6%	287 31.4%	281 30.7%	270 29.5%	244 26.7%	200 21.9%
竹町地区	39 100.0%	17 43.6%	17 43.6%	9 23.1%	6 15.4%	7 17.9%	9 23.1%	6 15.4%	5 12.8%
東上野地区	50 100.0%	26 52.0%	21 42.0%	15 30.0%	12 24.0%	12 24.0%	13 26.0%	15 30.0%	14 28.0%
上野地区	59 100.0%	37 62.7%	24 40.7%	17 28.8%	19 32.2%	17 28.8%	22 37.3%	16 27.1%	14 23.7%
入谷地区	126 100.0%	62 49.2%	57 45.2%	30 23.8%	38 30.2%	41 32.5%	28 22.2%	30 23.8%	32 25.4%
金杉地区	93 100.0%	55 59.1%	45 48.4%	34 36.6%	31 33.3%	33 35.5%	35 37.6%	33 35.5%	24 25.8%
谷中地区	53 100.0%	28 52.8%	24 45.3%	23 43.4%	18 34.0%	18 34.0%	17 32.1%	16 30.2%	17 32.1%
浅草橋地区	72 100.0%	37 51.4%	27 37.5%	26 36.1%	22 30.6%	20 27.8%	14 19.4%	14 19.4%	13 18.1%
浅草寿地区	126 100.0%	75 59.5%	60 47.6%	43 34.1%	41 32.5%	43 34.1%	42 33.3%	33 26.2%	27 21.4%
雷門地区	89 100.0%	46 51.7%	35 39.3%	30 33.7%	37 41.6%	30 33.7%	32 36.0%	28 31.5%	16 18.0%
馬道地区	86 100.0%	42 48.8%	42 48.8%	37 43.0%	29 33.7%	28 32.6%	28 32.6%	26 30.2%	18 20.9%
清川地区	112 100.0%	51 45.5%	39 34.8%	31 27.7%	33 29.5%	29 25.9%	28 25.0%	24 21.4%	19 17.0%

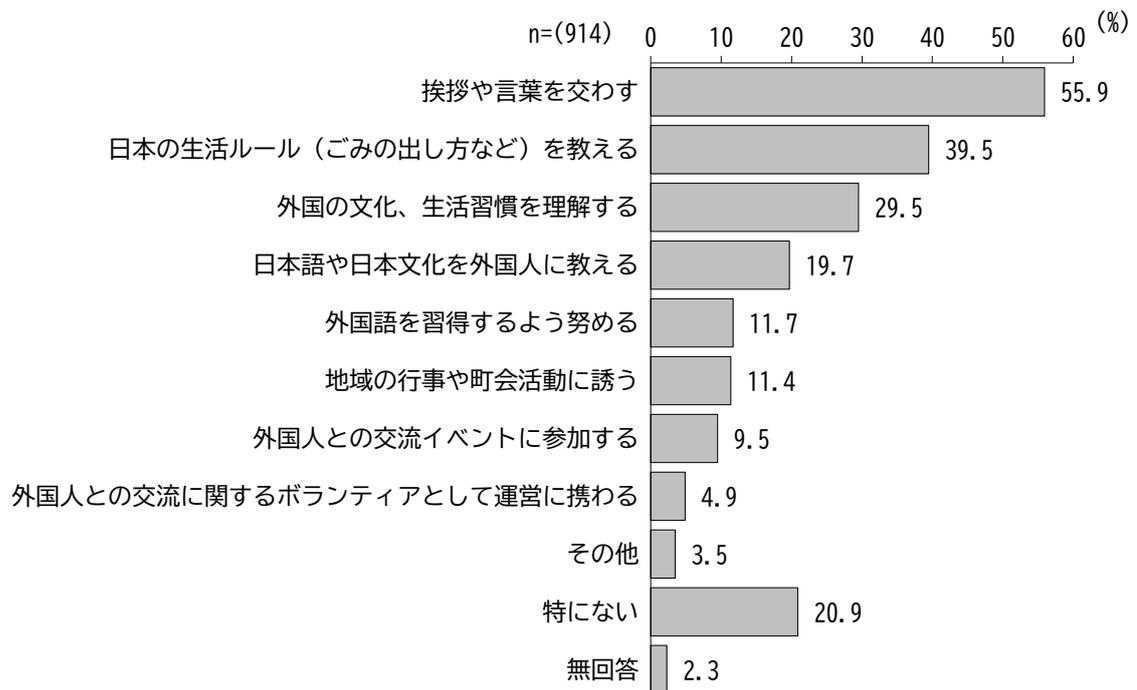
上段:人数 下段:%	調査数	就労・事業経営の支援のこと	食事や食生活の違いがある	自国のものや宗教に対応した食料・雑貨が売っていない場所がある	住まいのこと	地域活動のこと	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	146 16.0%	137 15.0%	119 13.0%	102 11.2%	98 10.7%	43 4.7%	151 16.5%	27 3.0%
竹町地区	39 100.0%	4 10.3%	9 23.1%	5 12.8%	2 5.1%	3 7.7%	3 7.7%	11 28.2%	2 5.1%
東上野地区	50 100.0%	7 14.0%	9 18.0%	10 20.0%	8 16.0%	5 10.0%	6 12.0%	8 16.0%	1 2.0%
上野地区	59 100.0%	10 16.9%	7 11.9%	2 3.4%	9 15.3%	5 8.5%	5 8.5%	13 22.0%	-
入谷地区	126 100.0%	26 20.6%	12 9.5%	13 10.3%	10 7.9%	10 7.9%	7 5.6%	25 19.8%	1 0.8%
金杉地区	93 100.0%	19 20.4%	19 20.4%	12 12.9%	12 12.9%	10 10.8%	6 6.5%	10 10.8%	1 1.1%
谷中地区	53 100.0%	7 13.2%	7 13.2%	6 11.3%	5 9.4%	7 13.2%	1 1.9%	6 11.3%	2 3.8%
浅草橋地区	72 100.0%	10 13.9%	8 11.1%	8 11.1%	8 11.1%	5 6.9%	5 6.9%	11 15.3%	4 5.6%
浅草寿地区	126 100.0%	21 16.7%	21 16.7%	16 12.7%	17 13.5%	16 12.7%	5 4.0%	15 11.9%	3 2.4%
雷門地区	89 100.0%	14 15.7%	12 13.5%	15 16.9%	6 6.7%	9 10.1%	2 2.2%	12 13.5%	7 7.9%
馬道地区	86 100.0%	14 16.3%	13 15.1%	13 15.1%	12 14.0%	14 16.3%	2 2.3%	13 15.1%	2 2.3%
清川地区	112 100.0%	13 11.6%	20 17.9%	17 15.2%	13 11.6%	13 11.6%	1 0.9%	25 22.3%	4 3.6%

(14) 地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできること

問21 あなたが地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできることは何だ  
 と思いますか。(当てはまるもの全てに○)

「挨拶や言葉を交わす」(55.9%)が最も高く、次いで、「日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教える」(39.5%)、「外国の文化、生活習慣を理解する」(29.5%)、「日本語や日本文化を外国人に教える」(19.7%)となっている。一方、「特にない」は20.9%となっている。

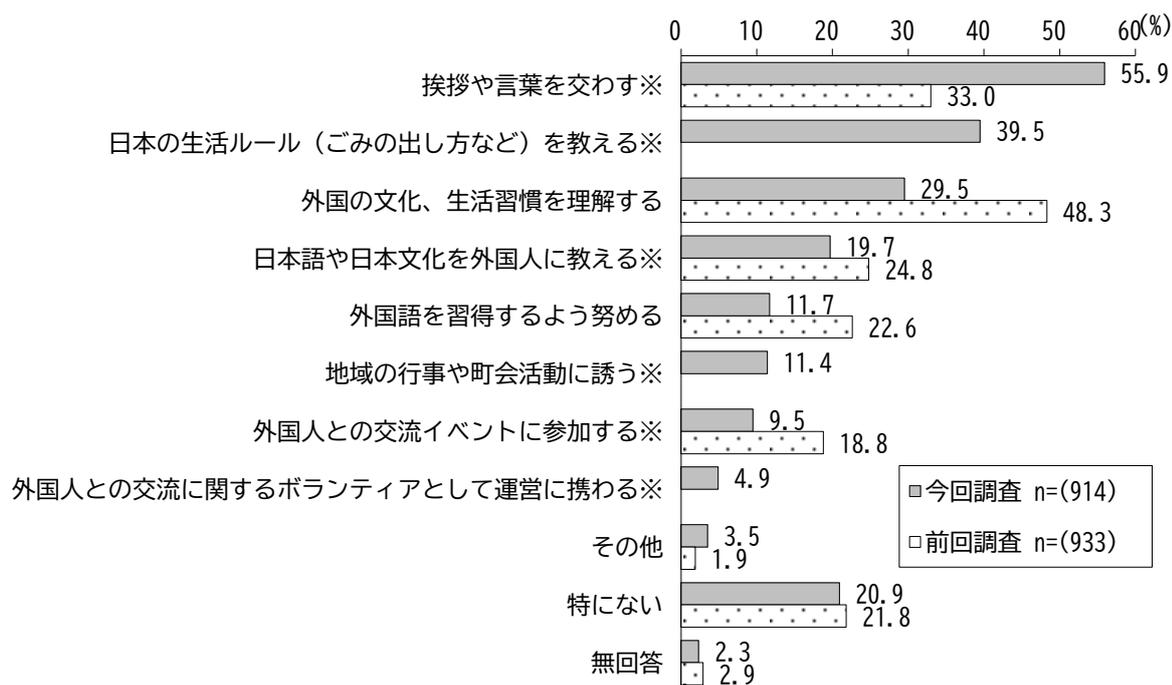
図表 地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできること(複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、「挨拶や言葉を交わす」が22.9ポイント増加している。一方、「外国の文化、生活習慣を理解する」は18.8ポイント、「外国語を習得するよう努める」は10.9ポイント、「外国人との交流イベントに参加する」は9.3ポイント、「日本語や日本文化を外国人に教える」は5.1ポイント減少している。

図表 【経年比較】地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできること  
(複数回答)



※今回調査の選択肢「挨拶や言葉を交わす」は前回調査では「日頃から、外国人と言葉を交わす」、「日本語や日本文化を外国人に教える」は「日本語、日本の習慣を外国人に紹介する」、「外国人との交流イベントに参加する」は「外国人との交流会など、国際交流の行事に参加する」であった。

※今回調査より、選択肢「日本の生活ルール（ごみの出し方など）を教える」「地域の行事や町会活動に誘う」「外国人との交流に関するボランティアとして運営に携わる」が追加された。

【年齢別】

「50～59歳」で「挨拶や言葉を交わす」「外国の文化、生活習慣を理解する」、「60～69歳」で「日本の生活ルール（ごみの出し方など）を教える」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。一方、40歳代以下では「挨拶や言葉を交わす」「日本の生活ルール（ごみの出し方など）を教える」が全体平均と比較して5ポイント以上低くなっている。

図表 地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできること（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶や言葉を 交わす	日本の生活 ルール(ごみの 出し方など)を 教える	外国の文化、生 活習慣を理解 する	日本語や日本 文化を外国人 に教える	外国語を習得 するよう努める	地域の行事や 町会活動に誘 う
全体	914 100.0%	511 55.9%	361 39.5%	270 29.5%	180 19.7%	107 11.7%	104 11.4%
18～29歳	65 100.0%	31 47.7%	21 32.3%	18 27.7%	13 20.0%	9 13.8%	9 13.8%
30～39歳	116 100.0%	56 48.3%	39 33.6%	30 25.9%	30 25.9%	16 13.8%	9 7.8%
40～49歳	144 100.0%	80 55.6%	47 32.6%	43 29.9%	31 21.5%	21 14.6%	13 9.0%
50～59歳	192 100.0%	126 65.6%	78 40.6%	68 35.4%	38 19.8%	28 14.6%	20 10.4%
60～69歳	133 100.0%	73 54.9%	61 45.9%	42 31.6%	26 19.5%	12 9.0%	18 13.5%
70歳以上	259 100.0%	145 56.0%	113 43.6%	69 26.6%	41 15.8%	21 8.1%	35 13.5%

上段:人数 下段:%	調査数	外国人との交 流イベントに参 加する	外国人との交 流に関するボ ランティアとし て運営に携わ る	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	87 9.5%	45 4.9%	32 3.5%	191 20.9%	21 2.3%
18～29歳	65 100.0%	7 10.8%	5 7.7%	1 1.5%	16 24.6%	1 1.5%
30～39歳	116 100.0%	10 8.6%	3 2.6%	2 1.7%	34 29.3%	1 0.9%
40～49歳	144 100.0%	16 11.1%	10 6.9%	9 6.3%	29 20.1%	- -
50～59歳	192 100.0%	24 12.5%	17 8.9%	8 4.2%	32 16.7%	3 1.6%
60～69歳	133 100.0%	11 8.3%	5 3.8%	4 3.0%	22 16.5%	4 3.0%
70歳以上	259 100.0%	18 6.9%	5 1.9%	7 2.7%	57 22.0%	11 4.2%

【台東区居住年数別】

「5年～10年未満」では全体平均と比較して5ポイント以上高い項目が多くなっている。また、「挨拶や言葉を交わす」は5年未満よりも5年以上の方が割合が高い傾向がみられる。

図表 地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできること  
(台東区居住年数別)

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶や言葉を交わす	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教える	外国の文化、生活習慣を理解する	日本語や日本文化を外国人に教える	外国語を習得するよう努める	地域の行事や町会活動に誘う
全体	914 100.0%	511 55.9%	361 39.5%	270 29.5%	180 19.7%	107 11.7%	104 11.4%
1年未満	13 100.0%	6 46.2%	4 30.8%	7 53.8%	5 38.5%	3 23.1%	- -
1年～3年未満	89 100.0%	41 46.1%	39 43.8%	23 25.8%	21 23.6%	11 12.4%	9 10.1%
3年～5年未満	62 100.0%	25 40.3%	18 29.0%	14 22.6%	10 16.1%	5 8.1%	4 6.5%
5年～10年未満	113 100.0%	74 65.5%	51 45.1%	43 38.1%	28 24.8%	22 19.5%	12 10.6%
10年～20年未満	180 100.0%	102 56.7%	60 33.3%	52 28.9%	39 21.7%	25 13.9%	23 12.8%
20年以上	455 100.0%	261 57.4%	188 41.3%	129 28.4%	76 16.7%	39 8.6%	55 12.1%

上段:人数 下段:%	調査数	外国人との交流イベントに参加する	外国人との交流に関するボランティアとして運営に携わる	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	87 9.5%	45 4.9%	32 3.5%	191 20.9%	21 2.3%
1年未満	13 100.0%	- -	- -	- -	1 7.7%	- -
1年～3年未満	89 100.0%	17 19.1%	12 13.5%	1 1.1%	23 25.8%	2 2.2%
3年～5年未満	62 100.0%	6 9.7%	3 4.8%	2 3.2%	21 33.9%	1 1.6%
5年～10年未満	113 100.0%	19 16.8%	12 10.6%	6 5.3%	16 14.2%	- -
10年～20年未満	180 100.0%	14 7.8%	8 4.4%	5 2.8%	36 20.0%	3 1.7%
20年以上	455 100.0%	30 6.6%	10 2.2%	18 4.0%	94 20.7%	15 3.3%

【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会が「あまりない」で「挨拶や言葉を交わす」が全体平均と比較して5ポイント以上高く、交流機会が「少しある」では「日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教える」「外国の文化、生活習慣を理解する」「日本語や日本文化を外国人に教える」「地域の行事や町会活動に誘う」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできること  
(外国人との交流機会の頻度別)

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶や言葉を交わす	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教える	外国の文化、生活習慣を理解する	日本語や日本文化を外国人に教える	外国語を習得するよう努める	地域の行事や町会活動に誘う
全体	914 100.0%	511 55.9%	361 39.5%	270 29.5%	180 19.7%	107 11.7%	104 11.4%
たくさんある	16 100.0%	10 62.5%	8 50.0%	6 37.5%	8 50.0%	5 31.3%	6 37.5%
少しある	137 100.0%	80 58.4%	66 48.2%	53 38.7%	34 24.8%	18 13.1%	24 17.5%
あまりない	287 100.0%	183 63.8%	123 42.9%	93 32.4%	63 22.0%	37 12.9%	44 15.3%
全くない	420 100.0%	216 51.4%	151 36.0%	105 25.0%	69 16.4%	46 11.0%	28 6.7%
わからない	38 100.0%	16 42.1%	8 21.1%	7 18.4%	4 10.5%	1 2.6%	1 2.6%

上段:人数 下段:%	調査数	外国人との交流イベントに参加する	外国人との交流に関するボランティアとして運営に携わる	その他	特になし	無回答
全体	914 100.0%	87 9.5%	45 4.9%	32 3.5%	191 20.9%	21 2.3%
たくさんある	16 100.0%	3 18.8%	4 25.0%	1 6.3%	- -	2 12.5%
少しある	137 100.0%	10 7.3%	7 5.1%	3 2.2%	23 16.8%	4 2.9%
あまりない	287 100.0%	39 13.6%	20 7.0%	10 3.5%	34 11.8%	4 1.4%
全くない	420 100.0%	34 8.1%	13 3.1%	16 3.8%	113 26.9%	8 1.9%
わからない	38 100.0%	- -	1 2.6%	1 2.6%	16 42.1%	1 2.6%

【居住地域別】

「東上野地区」「上野地区」「谷中地区」「馬道地区」で「挨拶や言葉を交わす」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、「上野地区」では「日本の生活ルール（ごみの出し方など）を教える」も高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできること（居住地域別）

上段：人数 下段：%	調査数	挨拶や言葉を交わす	日本の生活ルール（ごみの出し方など）を教える	外国の文化、生活習慣を理解する	日本語や日本文化を外国人に教える	外国語を習得するよう努める	地域の行事や町会活動に誘う
全体	914 100.0%	511 55.9%	361 39.5%	270 29.5%	180 19.7%	107 11.7%	104 11.4%
竹町地区	39 100.0%	20 51.3%	12 30.8%	7 17.9%	7 17.9%	1 2.6%	2 5.1%
東上野地区	50 100.0%	31 62.0%	23 46.0%	19 38.0%	13 26.0%	6 12.0%	7 14.0%
上野地区	59 100.0%	37 62.7%	29 49.2%	11 18.6%	13 22.0%	5 8.5%	6 10.2%
入谷地区	126 100.0%	60 47.6%	45 35.7%	32 25.4%	27 21.4%	16 12.7%	10 7.9%
金杉地区	93 100.0%	53 57.0%	40 43.0%	35 37.6%	21 22.6%	10 10.8%	9 9.7%
谷中地区	53 100.0%	39 73.6%	20 37.7%	18 34.0%	5 9.4%	8 15.1%	6 11.3%
浅草橋地区	72 100.0%	35 48.6%	24 33.3%	18 25.0%	16 22.2%	7 9.7%	10 13.9%
浅草寿地区	126 100.0%	67 53.2%	51 40.5%	43 34.1%	21 16.7%	19 15.1%	18 14.3%
雷門地区	89 100.0%	51 57.3%	35 39.3%	29 32.6%	19 21.3%	15 16.9%	15 16.9%
馬道地区	86 100.0%	55 64.0%	36 41.9%	27 31.4%	19 22.1%	11 12.8%	11 12.8%
清川地区	112 100.0%	59 52.7%	43 38.4%	29 25.9%	18 16.1%	8 7.1%	8 7.1%

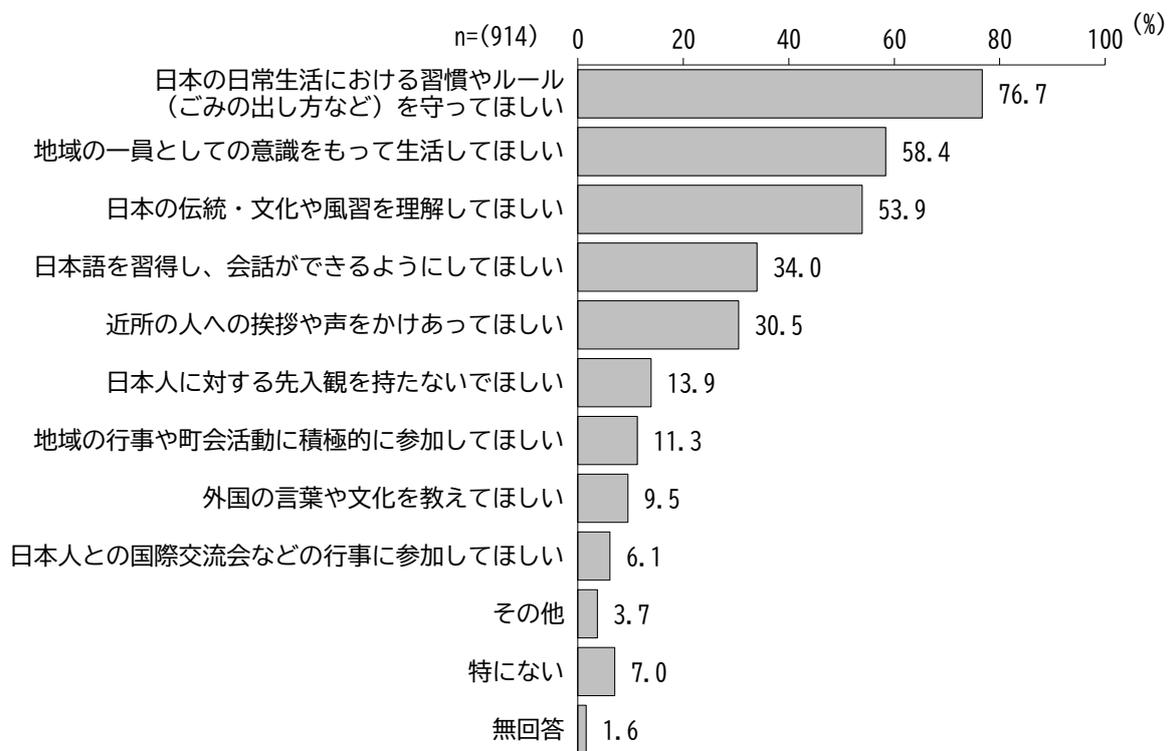
上段：人数 下段：%	調査数	外国人との交流イベントに参加する	外国人との交流に関するボランティアとして運営に携わる	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	87 9.5%	45 4.9%	32 3.5%	191 20.9%	21 2.3%
竹町地区	39 100.0%	2 5.1%	-	1 2.6%	10 25.6%	2 5.1%
東上野地区	50 100.0%	6 12.0%	3 6.0%	2 4.0%	9 18.0%	1 2.0%
上野地区	59 100.0%	2 3.4%	3 5.1%	2 3.4%	12 20.3%	-
入谷地区	126 100.0%	11 8.7%	6 4.8%	6 4.8%	32 25.4%	-
金杉地区	93 100.0%	6 6.5%	4 4.3%	6 6.5%	21 22.6%	1 1.1%
谷中地区	53 100.0%	8 15.1%	4 7.5%	2 3.8%	6 11.3%	2 3.8%
浅草橋地区	72 100.0%	6 8.3%	6 8.3%	5 6.9%	15 20.8%	3 4.2%
浅草寿地区	126 100.0%	14 11.1%	8 6.3%	2 1.6%	25 19.8%	3 2.4%
雷門地区	89 100.0%	14 15.7%	6 6.7%	4 4.5%	13 14.6%	4 4.5%
馬道地区	86 100.0%	11 12.8%	4 4.7%	-	17 19.8%	1 1.2%
清川地区	112 100.0%	7 6.3%	-	2 1.8%	29 25.9%	4 3.6%

(15) 住民相互の理解のために、外国人に求めること

問22 住民相互の理解を深めるために、地域に暮らす外国人に求めることは何ですか。  
(当てはまるもの全てに○)

「日本の日常生活における習慣やルール（ごみの出し方など）を守ってほしい」（76.7%）が最も高い。次いで、「地域の一員としての意識をもって生活してほしい」（58.4%）、「日本の伝統・文化や風習を理解してほしい」（53.9%）、「日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい」（34.0%）、「近所の人への挨拶や声をかけあってほしい」（30.5%）となっている。

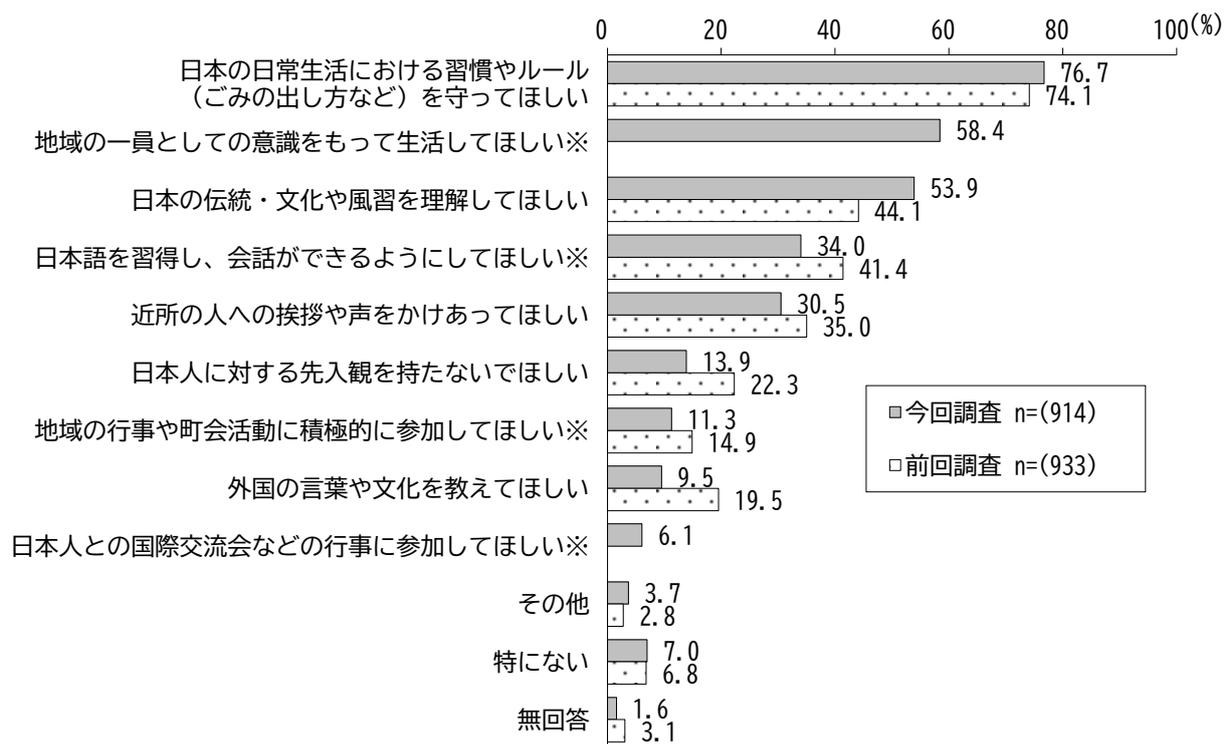
図表 住民相互の理解のために、外国人に求めること（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「日本の伝統・文化や風習を理解してほしい」が9.8ポイント増加している。一方、「外国の言葉や文化を教えてほしい」は10.0ポイント、「日本人に対する先入観を持たないでほしい」は8.4ポイント、「日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい」は7.4ポイント減少している。

図表 【経年比較】住民相互の理解のために、外国人に求めること（複数回答）



※今回調査の選択肢「日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい」は前回調査では「日本語を勉強し、会話ができるようにする」、「地域の行事や町会活動に積極的に参加してほしい」は「地域の行事に積極的に参加する」であった。

※今回調査より、選択肢「地域の一員としての意識をもって生活してほしい」「日本人との国際交流会などの行事に参加してほしい」が追加された。

【年齢別】

「30～39歳」「40～49歳」で「日本の日常生活における習慣やルール（ごみの出し方など）を守ってほしい」、「18～29歳」「40～49歳」「60～69歳」で「日本の伝統・文化や風習を理解してほしい」、「30～39歳」で「日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 住民相互の理解のために、外国人に求めること（年齢別）

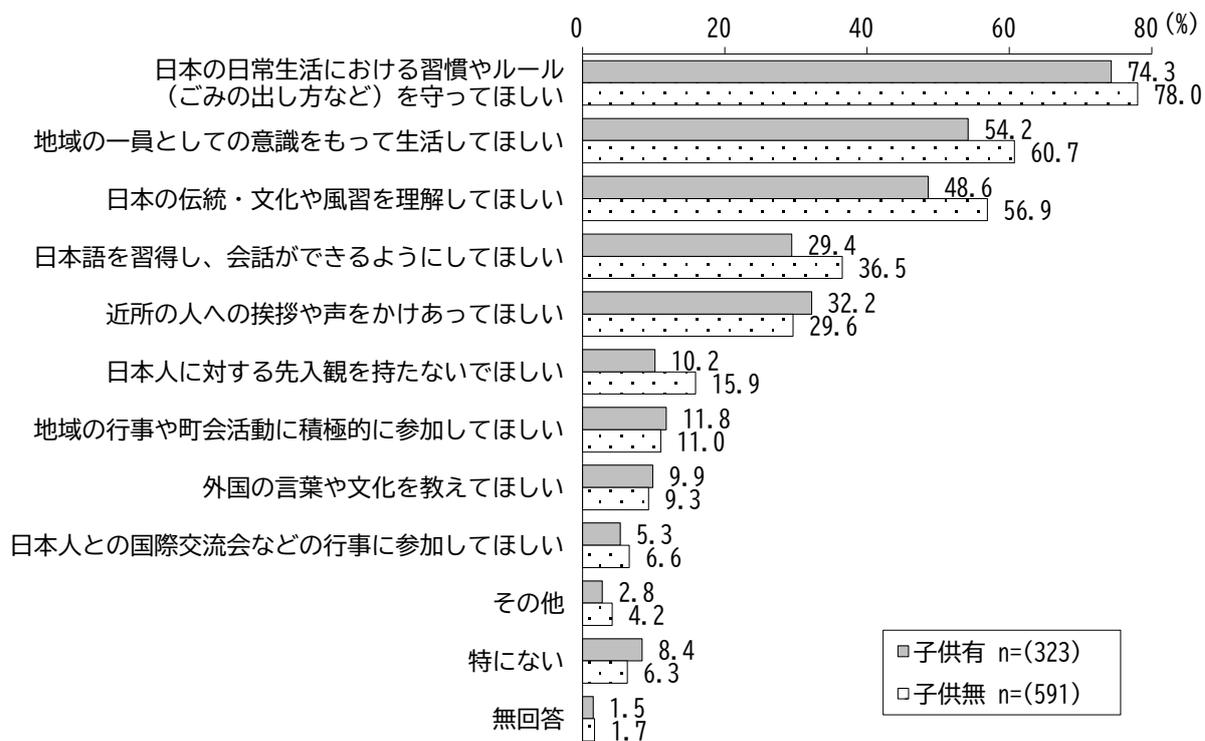
上段:人数 下段:%	調査数	日本の日常生活における習慣やルール(ごみの出し方など)を守ってほしい	地域の一人としての意識をもって生活してほしい	日本の伝統・文化や風習を理解してほしい	日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい	近所の人への挨拶や声をかけあってほしい	日本人に対する先入観を持たないでほしい
全体	914 100.0%	701 76.7%	534 58.4%	493 53.9%	311 34.0%	279 30.5%	127 13.9%
18～29歳	65 100.0%	48 73.8%	39 60.0%	43 66.2%	25 38.5%	6 9.2%	6 9.2%
30～39歳	116 100.0%	96 82.8%	68 58.6%	68 58.6%	48 41.4%	25 21.6%	13 11.2%
40～49歳	144 100.0%	123 85.4%	86 59.7%	85 59.0%	47 32.6%	38 26.4%	22 15.3%
50～59歳	192 100.0%	146 76.0%	120 62.5%	97 50.5%	74 38.5%	63 32.8%	32 16.7%
60～69歳	133 100.0%	104 78.2%	84 63.2%	81 60.9%	35 26.3%	49 36.8%	15 11.3%
70歳以上	259 100.0%	181 69.9%	134 51.7%	117 45.2%	81 31.3%	97 37.5%	39 15.1%

上段:人数 下段:%	調査数	地域の行事や町会活動に積極的に参加してほしい	外国の言葉や文化を教えてほしい	日本人との国際交流会などの行事に参加してほしい	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	103 11.3%	87 9.5%	56 6.1%	34 3.7%	64 7.0%	15 1.6%
18～29歳	65 100.0%	3 4.6%	4 6.2%	3 4.6%	-	4 6.2%	1 1.5%
30～39歳	116 100.0%	6 5.2%	12 10.3%	3 2.6%	5 4.3%	6 5.2%	-
40～49歳	144 100.0%	16 11.1%	15 10.4%	6 4.2%	8 5.6%	5 3.5%	-
50～59歳	192 100.0%	24 12.5%	22 11.5%	11 5.7%	14 7.3%	12 6.3%	3 1.6%
60～69歳	133 100.0%	18 13.5%	7 5.3%	8 6.0%	3 2.3%	6 4.5%	3 2.3%
70歳以上	259 100.0%	36 13.9%	27 10.4%	25 9.7%	2 0.8%	29 11.2%	8 3.1%

【子供の有無別】

「子供無」で「地域の一員としての意識をもって生活してほしい」「日本の伝統・文化や風習を理解してほしい」「日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい」「日本人に対する先入観を持たないでほしい」が「子供有」よりも高くなっている。

図表 住民相互の理解のために、外国人に求めること（子供の有無別）



【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会が少ないほど「日本の日常生活における習慣やルール（ごみの出し方など）を守ってほしい」「日本の伝統・文化や風習を理解してほしい」の割合がおおむね高くなる傾向がみられる。また、交流機会が「少しある」で「日本人に対する先入観を持たないでほしい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 住民相互の理解のために、外国人に求めること（外国人との交流機会の頻度別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本の日常生活における習慣やルール(ごみの出し方など)を守ってほしい	地域の一人としての意識をもって生活してほしい	日本の伝統・文化や風習を理解してほしい	日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい	近所の人への挨拶や声をかけあってほしい	日本人に対する先入観を持たないでほしい
全体	914 100.0%	701 76.7%	534 58.4%	493 53.9%	311 34.0%	279 30.5%	127 13.9%
たくさんある	16 100.0%	9 56.3%	11 68.8%	4 25.0%	6 37.5%	3 18.8%	3 18.8%
少しある	137 100.0%	101 73.7%	82 59.9%	66 48.2%	44 32.1%	43 31.4%	26 19.0%
あまりない	287 100.0%	227 79.1%	180 62.7%	165 57.5%	94 32.8%	96 33.4%	34 11.8%
全くない	420 100.0%	331 78.8%	239 56.9%	235 56.0%	150 35.7%	122 29.0%	57 13.6%
わからない	38 100.0%	25 65.8%	19 50.0%	17 44.7%	14 36.8%	10 26.3%	5 13.2%

上段:人数 下段:%	調査数	地域の行事や町会活動に積極的に参加してほしい	外国の言葉や文化を教えてほしい	日本人との国際交流会などの行事に参加してほしい	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	103 11.3%	87 9.5%	56 6.1%	34 3.7%	64 7.0%	15 1.6%
たくさんある	16 100.0%	3 18.8%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	2 12.5%
少しある	137 100.0%	14 10.2%	19 13.9%	8 5.8%	5 3.6%	8 5.8%	4 2.9%
あまりない	287 100.0%	34 11.8%	29 10.1%	19 6.6%	13 4.5%	10 3.5%	3 1.0%
全くない	420 100.0%	44 10.5%	35 8.3%	24 5.7%	14 3.3%	31 7.4%	4 1.0%
わからない	38 100.0%	6 15.8%	3 7.9%	3 7.9%	1 2.6%	9 23.7%	- -

【居住地域別】

「上野地区」「浅草橋地区」で「日本の日常生活における習慣やルール（ごみの出し方など）を守ってほしい」、「竹町地区」「上野地区」で「地域の一員としての意識をもって生活してほしい」、「東上野地区」で「日本の伝統・文化や風習を理解してほしい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 住民相互の理解のために、外国人に求めること（居住地域別）

上段：人数 下段：%	調査数	日本の日常生活における習慣やルール（ごみの出し方など）を守ってほしい	地域の一員としての意識をもって生活してほしい	日本の伝統・文化や風習を理解してほしい	日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい	近所の人への挨拶や声をかけあってほしい	日本人に対する先入観を持たないでほしい
全体	914 100.0%	701 76.7%	534 58.4%	493 53.9%	311 34.0%	279 30.5%	127 13.9%
竹町地区	39 100.0%	29 74.4%	26 66.7%	22 56.4%	15 38.5%	7 17.9%	3 7.7%
東上野地区	50 100.0%	37 74.0%	32 64.0%	34 68.0%	17 34.0%	16 32.0%	5 10.0%
上野地区	59 100.0%	52 88.1%	40 67.8%	35 59.3%	24 40.7%	21 35.6%	12 20.3%
入谷地区	126 100.0%	91 72.2%	68 54.0%	64 50.8%	41 32.5%	29 23.0%	15 11.9%
金杉地区	93 100.0%	74 79.6%	53 57.0%	55 59.1%	35 37.6%	30 32.3%	11 11.8%
谷中地区	53 100.0%	38 71.7%	31 58.5%	29 54.7%	16 30.2%	17 32.1%	6 11.3%
浅草橋地区	72 100.0%	61 84.7%	38 52.8%	38 52.8%	27 37.5%	16 22.2%	11 15.3%
浅草寿地区	126 100.0%	95 75.4%	74 58.7%	68 54.0%	39 31.0%	44 34.9%	22 17.5%
雷門地区	89 100.0%	68 76.4%	55 61.8%	49 55.1%	33 37.1%	33 37.1%	17 19.1%
馬道地区	86 100.0%	69 80.2%	50 58.1%	48 55.8%	28 32.6%	29 33.7%	10 11.6%
清川地区	112 100.0%	80 71.4%	60 53.6%	47 42.0%	33 29.5%	35 31.3%	11 9.8%

上段：人数 下段：%	調査数	地域の行事や町会活動に積極的に参加してほしい	外国の言葉や文化を教えてほしい	日本人との国際交流会などの行事に参加してほしい	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	103 11.3%	87 9.5%	56 6.1%	34 3.7%	64 7.0%	15 1.6%
竹町地区	39 100.0%	1 2.6%	3 7.7%	- -	- -	2 5.1%	1 2.6%
東上野地区	50 100.0%	6 12.0%	4 8.0%	3 6.0%	3 6.0%	3 6.0%	1 2.0%
上野地区	59 100.0%	9 15.3%	7 11.9%	4 6.8%	- -	3 5.1%	- -
入谷地区	126 100.0%	9 7.1%	9 7.1%	8 6.3%	7 5.6%	13 10.3%	- -
金杉地区	93 100.0%	9 9.7%	7 7.5%	8 8.6%	6 6.5%	9 9.7%	- -
谷中地区	53 100.0%	7 13.2%	5 9.4%	4 7.5%	1 1.9%	5 9.4%	2 3.8%
浅草橋地区	72 100.0%	6 8.3%	7 9.7%	4 5.6%	3 4.2%	4 5.6%	2 2.8%
浅草寿地区	126 100.0%	15 11.9%	17 13.5%	10 7.9%	4 3.2%	6 4.8%	3 2.4%
雷門地区	89 100.0%	17 19.1%	10 11.2%	7 7.9%	5 5.6%	3 3.4%	3 3.4%
馬道地区	86 100.0%	11 12.8%	11 12.8%	5 5.8%	1 1.2%	6 7.0%	1 1.2%
清川地区	112 100.0%	11 9.8%	6 5.4%	2 1.8%	4 3.6%	9 8.0%	2 1.8%

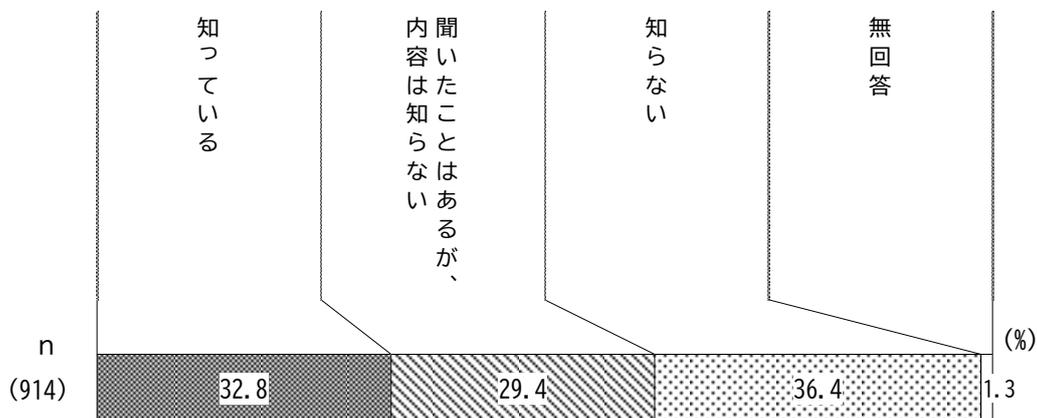
### 3. 多文化共生のまちづくりについて

#### (1) 「多文化共生社会」という言葉の認知度

問23 多文化共生とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていくこと」をいいます。あなたは多文化共生社会という言葉を知っていますか。(ひとつだけ○)

「知っている」が32.8%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が29.4%、「知らない」が36.4%となっている。「知っている」と「聞いたことはあるが、内容は知らない」を合わせた認知度は62.2%である。

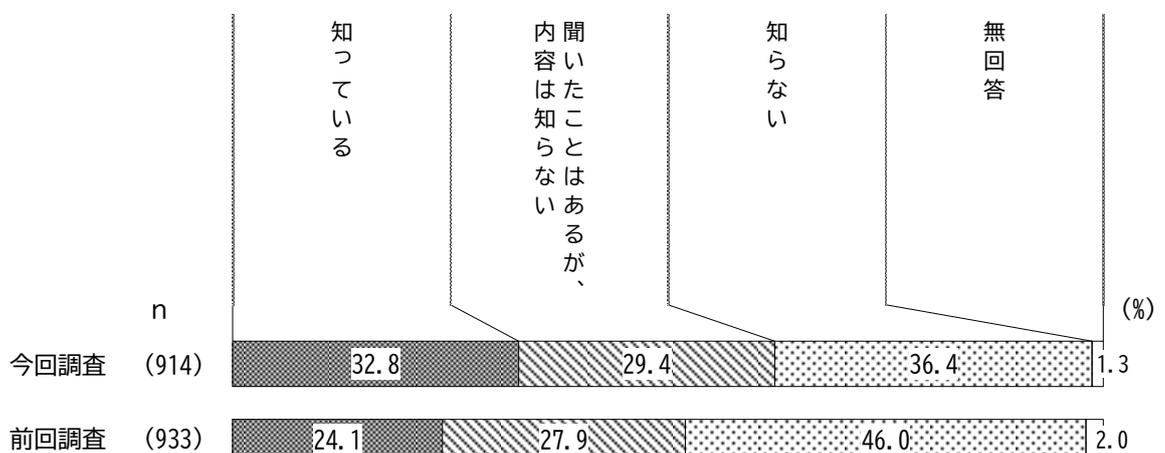
図表 「多文化共生社会」という言葉の認知度 (単一回答)



#### 【経年比較】

前回との比較では、「知っている」が8.7ポイント増加している。一方、「知らない」は9.6ポイント減少している。

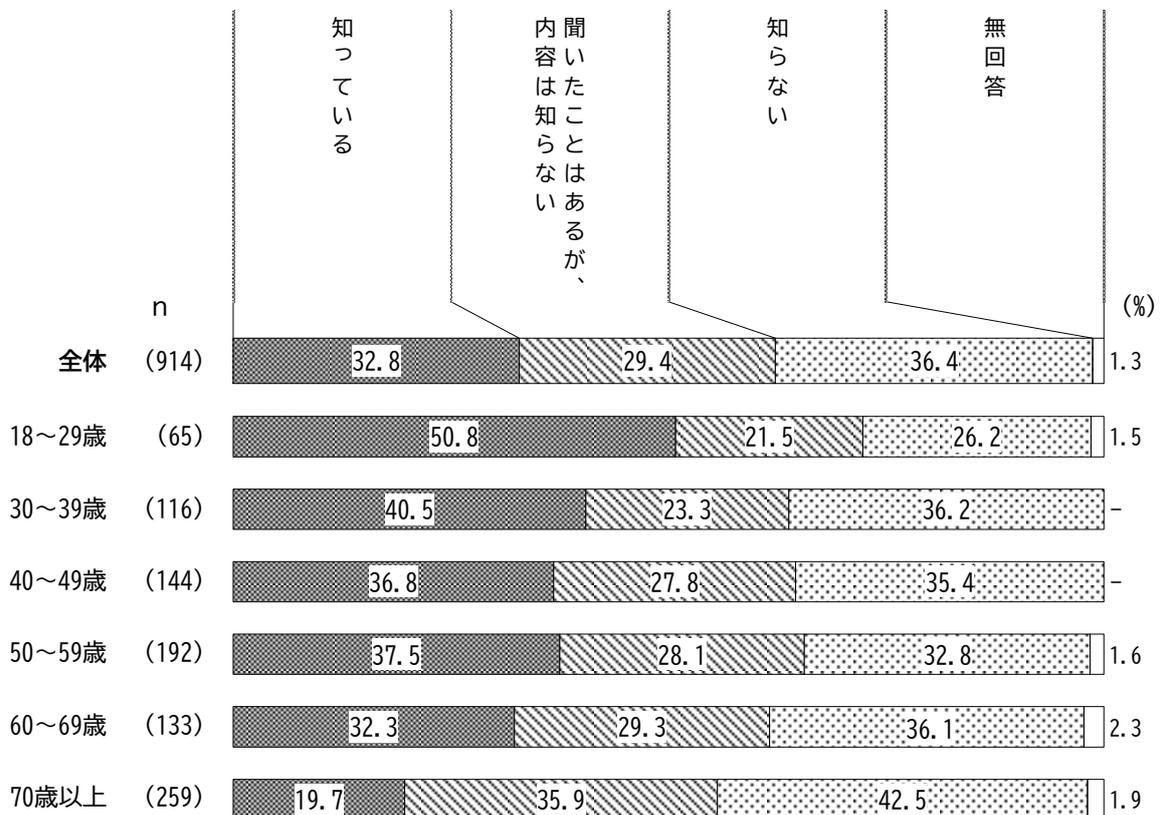
図表 【経年比較】「多文化共生社会」という言葉の認知度 (単一回答)



【年齢別】

年代が若いほど「知っている」がおおむね高い傾向にあり、「18～29歳」「30～39歳」で全体平均と比較して5ポイント以上高い。

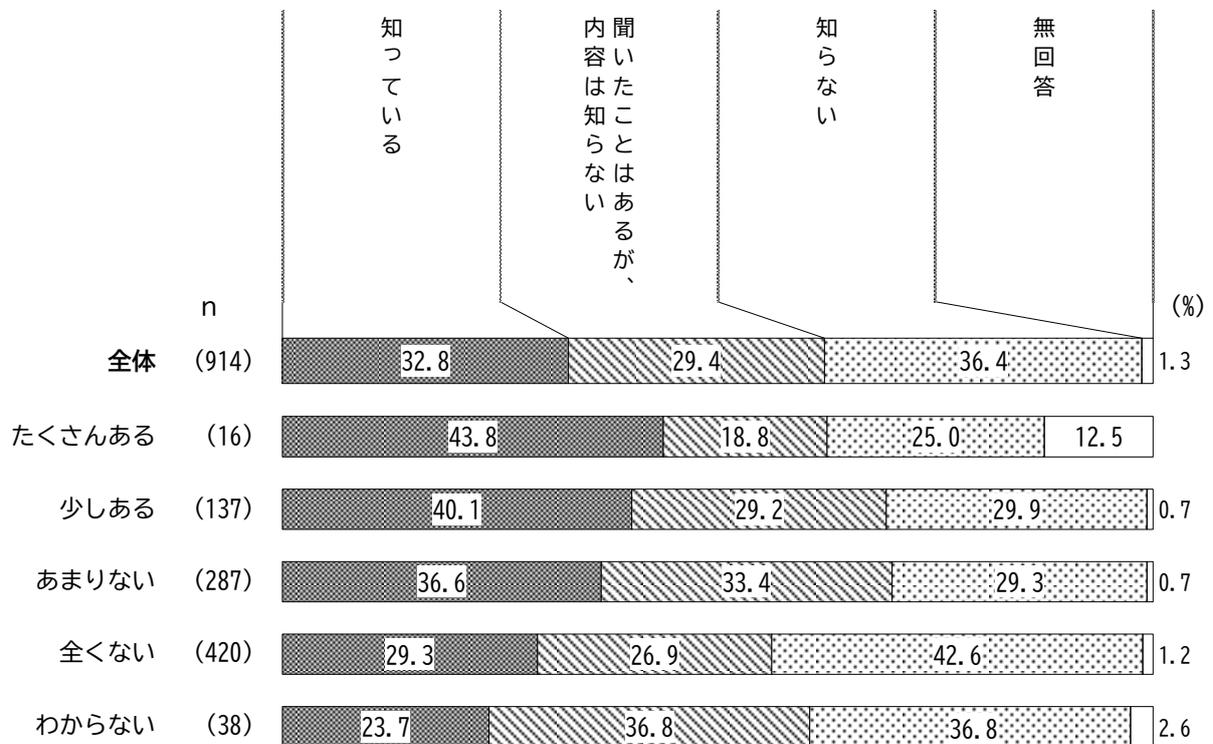
図表 「多文化共生社会」という言葉の認知度（年齢別）



【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会の頻度が多いほど「知っている」がおおむね高い傾向にあり、交流機会が「たくさんある」「少しある」で「知っている」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

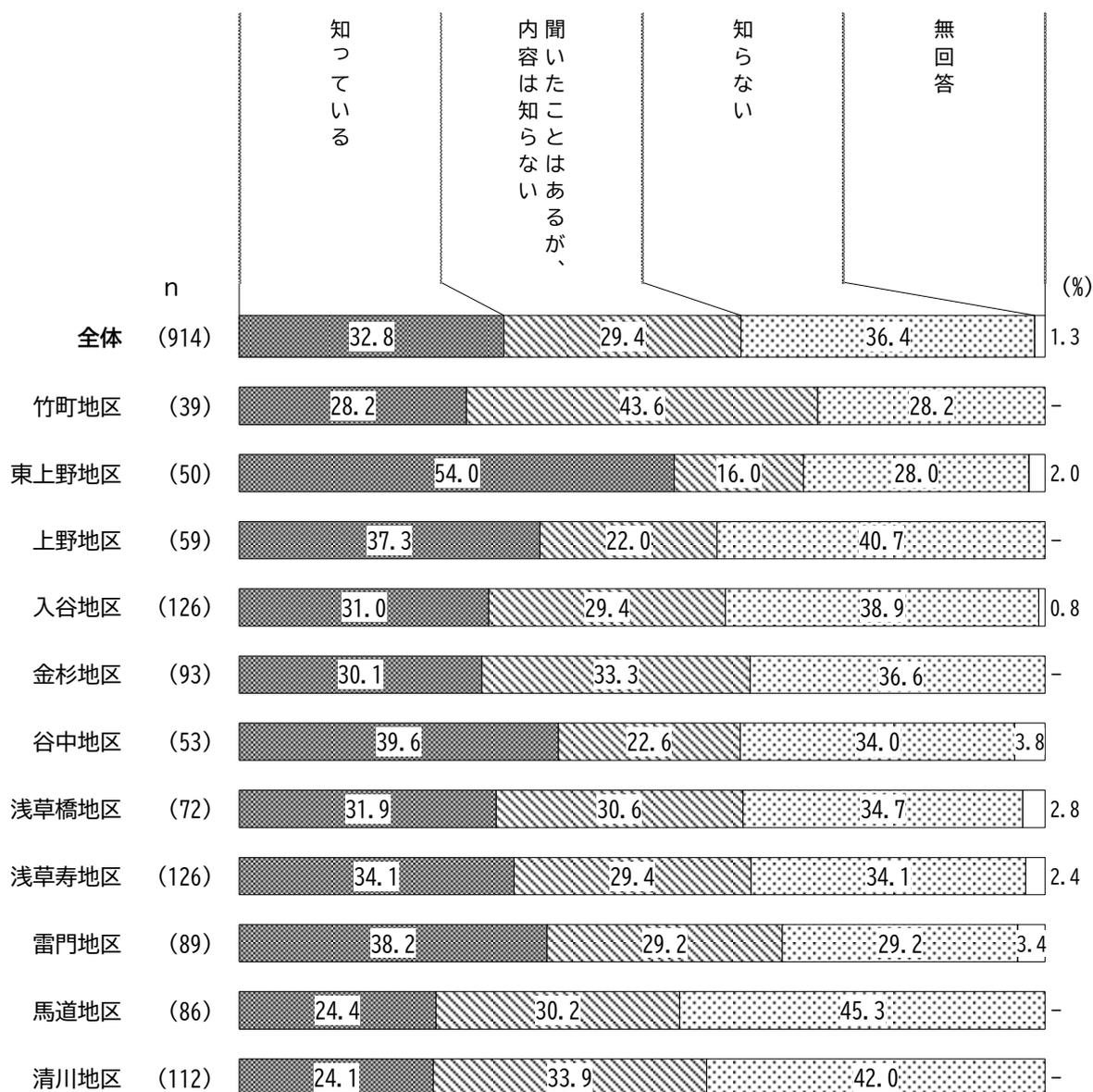
図表 「多文化共生社会」という言葉の認知度（外国人との交流機会の頻度別）



【居住地域別】

「東上野地区」で「知っている」が50%台半ばと、高くなっている。一方、「上野地区」「入谷地区」「金杉地区」「浅草橋地区」「馬道地区」「清川地区」では「知らない」の割合が「知っている」を上回っている。居住地域により認知度に差がみられる。

図表 「多文化共生社会」という言葉の認知度（居住地域別）

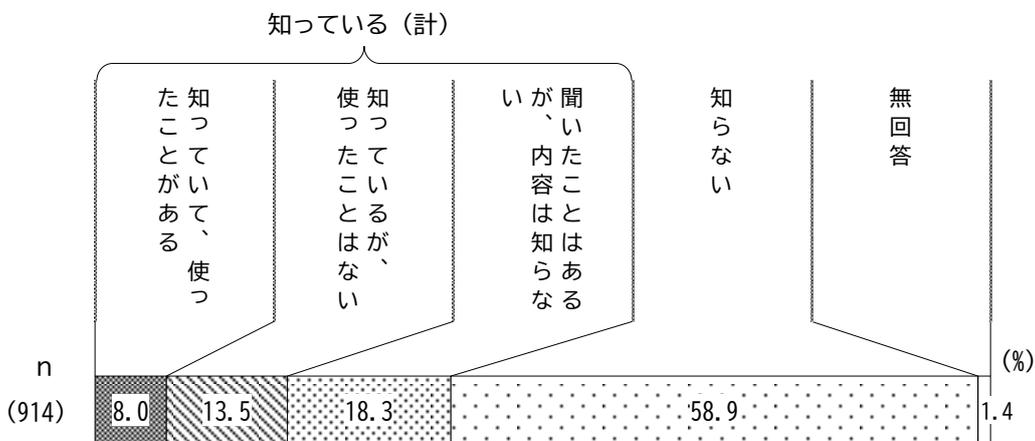


(2) 「やさしい日本語」の認知度

問24 台東区では、他の国籍の方とコミュニケーションを取るために、長い文章を短くしたり、簡単な言葉に言い換えたりする「やさしい日本語」の活用を推進していますが、あなたは、「やさしい日本語」を知っていますか。(ひとつだけ○)

「知っていて、使ったことがある」が8.0%、「知っているが、使ったことはない」「聞いたことはあるが、内容は知らない」が18.3%となっており、3つを合わせた認知度は39.8%である。一方、「知らない」は58.9%と半数以上を占めている。

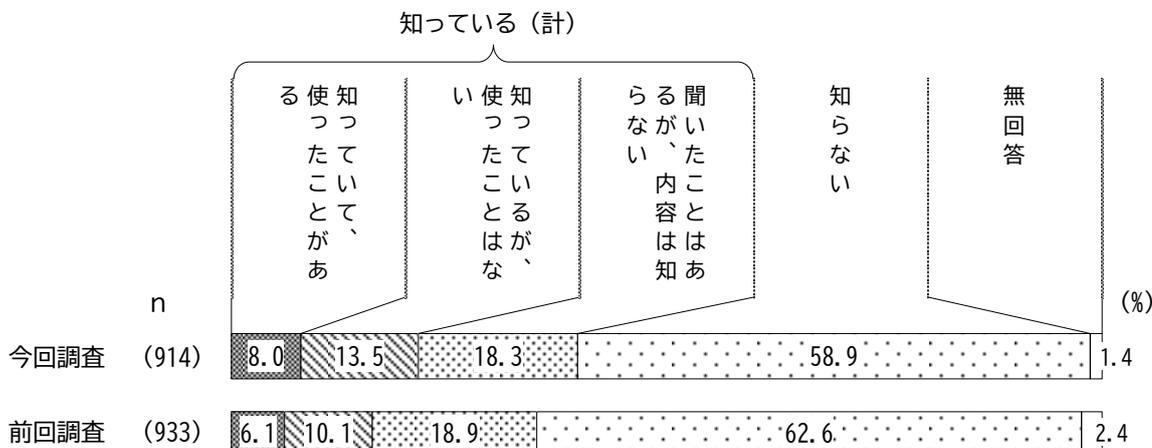
図表 「やさしい日本語」の認知度 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「知っていて、使ったことがある」「知っているが、使ったことはない」「聞いたことはあるが、内容は知らない」の3つを合わせた認知度はやや増加している。

図表 【経年比較】「やさしい日本語」の認知度 (単一回答)

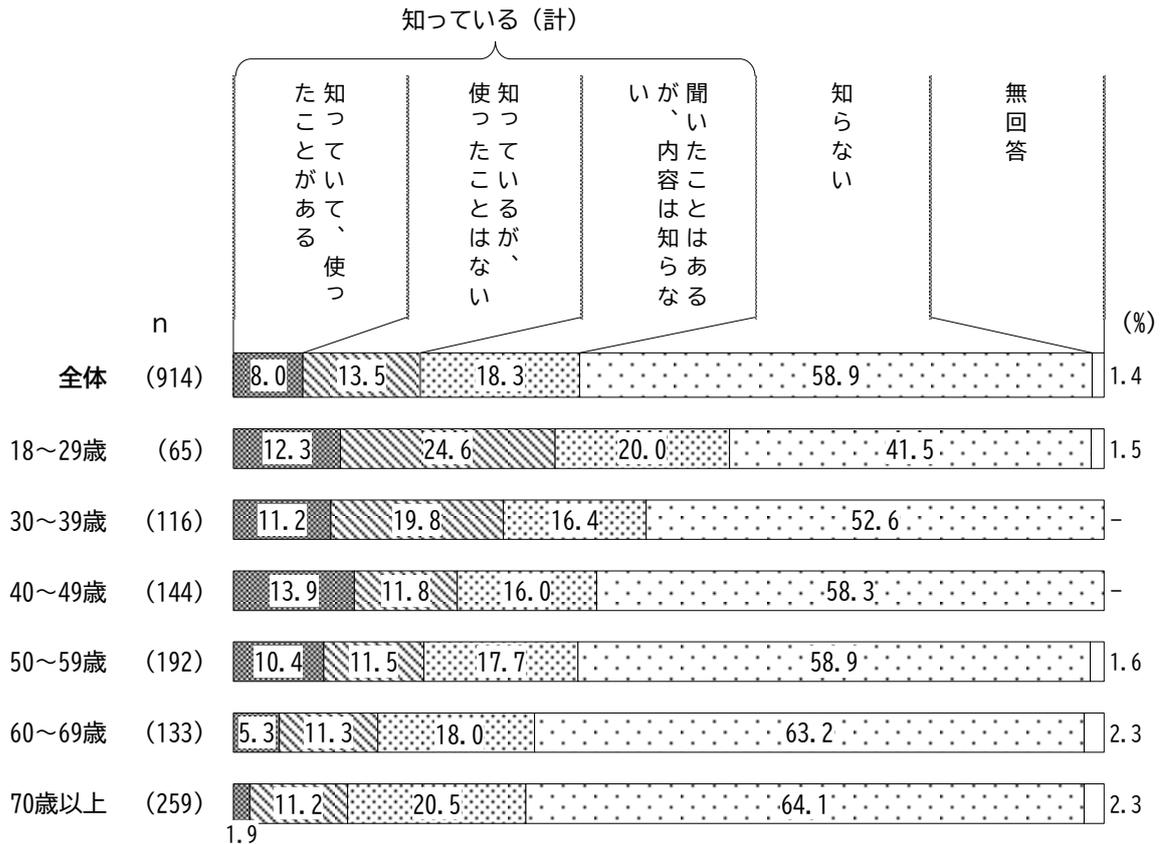


【年齢別】

年代が若いほど認知度が高く、「18～29歳」で「知っている、使ったことがある」「知っているが、使ったことはない」「聞いたことはあるが、内容は知らない」を合わせた認知度は半数以上を占めている。

一方、60歳以上では「知らない」が60%以上を占めている。

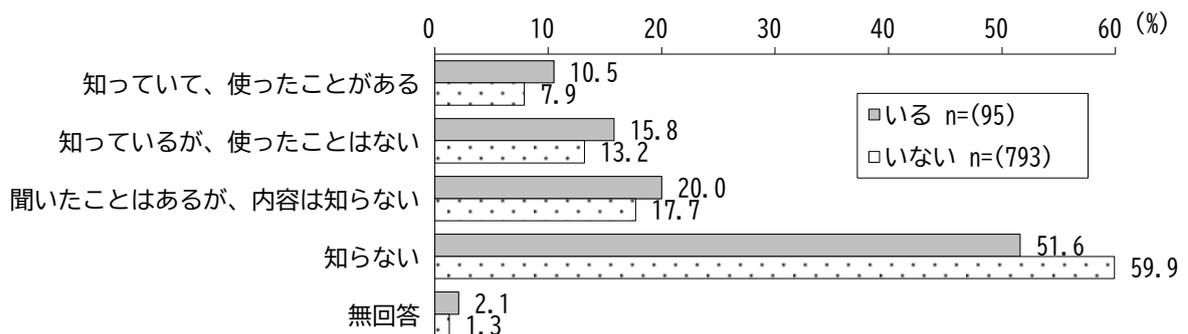
図表 「やさしい日本語」の認知度（年齢別）



【家族や親戚の外国人の有無別】

「知っている、使ったことがある」「知っているが、使ったことはない」「聞いたことはあるが、内容は知らない」を合わせた認知度は、家族や親戚に外国人が「いる」で46.3%となっており、「いない」よりも7.5ポイント高くなっている。

図表 「やさしい日本語」の認知度（家族や親戚の外国人の有無別）

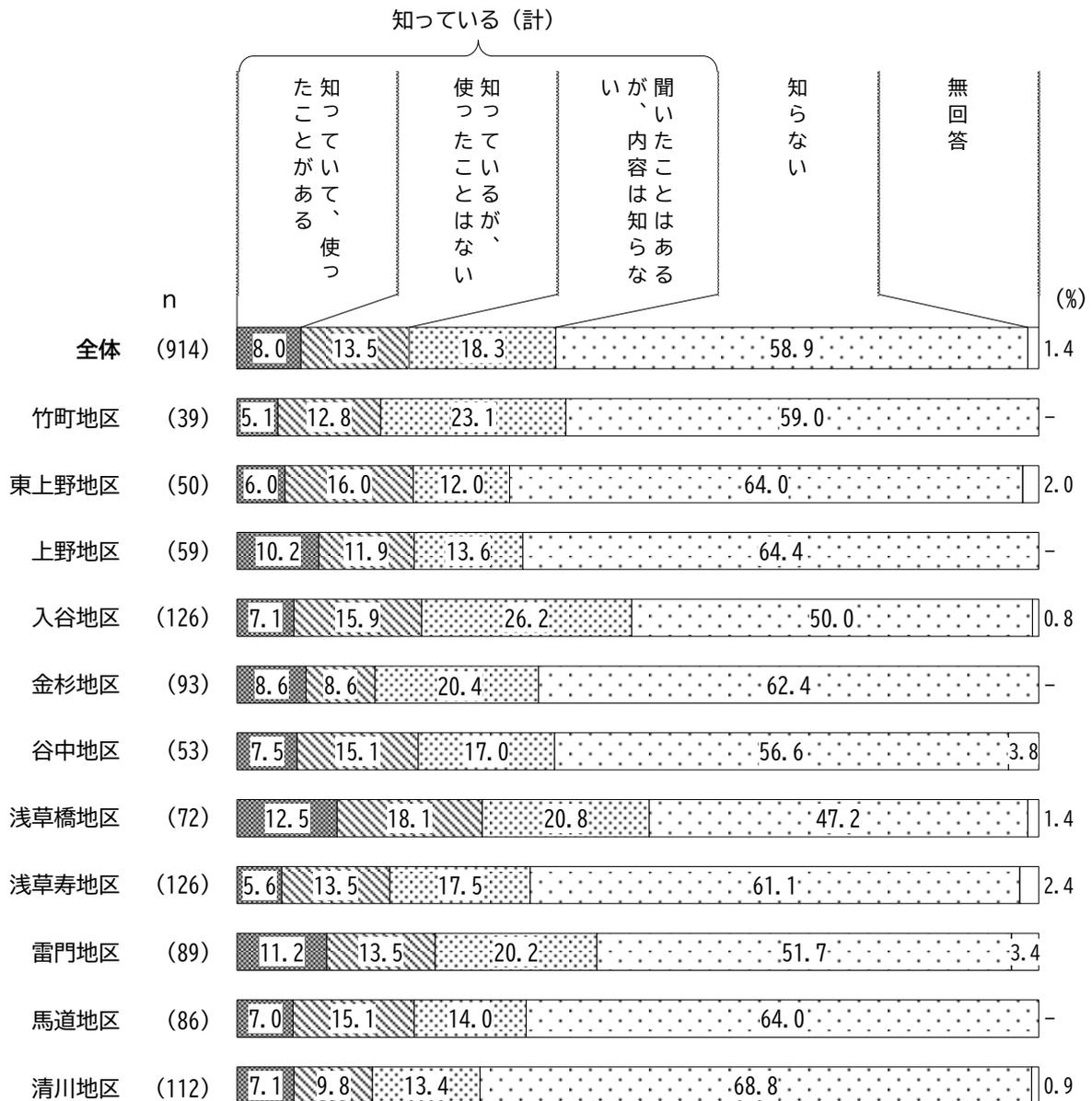


【居住地域別】

「知っている、使ったことがある」「知っているが、使ったことはない」「聞いたことはあるが、内容は知らない」を合わせた認知度は、「入谷地区」「浅草橋地区」「雷門地区」で全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

一方、「東上野地区」「上野地区」「金杉地区」「浅草寿地区」「馬道地区」「清川地区」では「知らない」が60%以上を占めている。

図表 「やさしい日本語」の認知度（居住地域別）

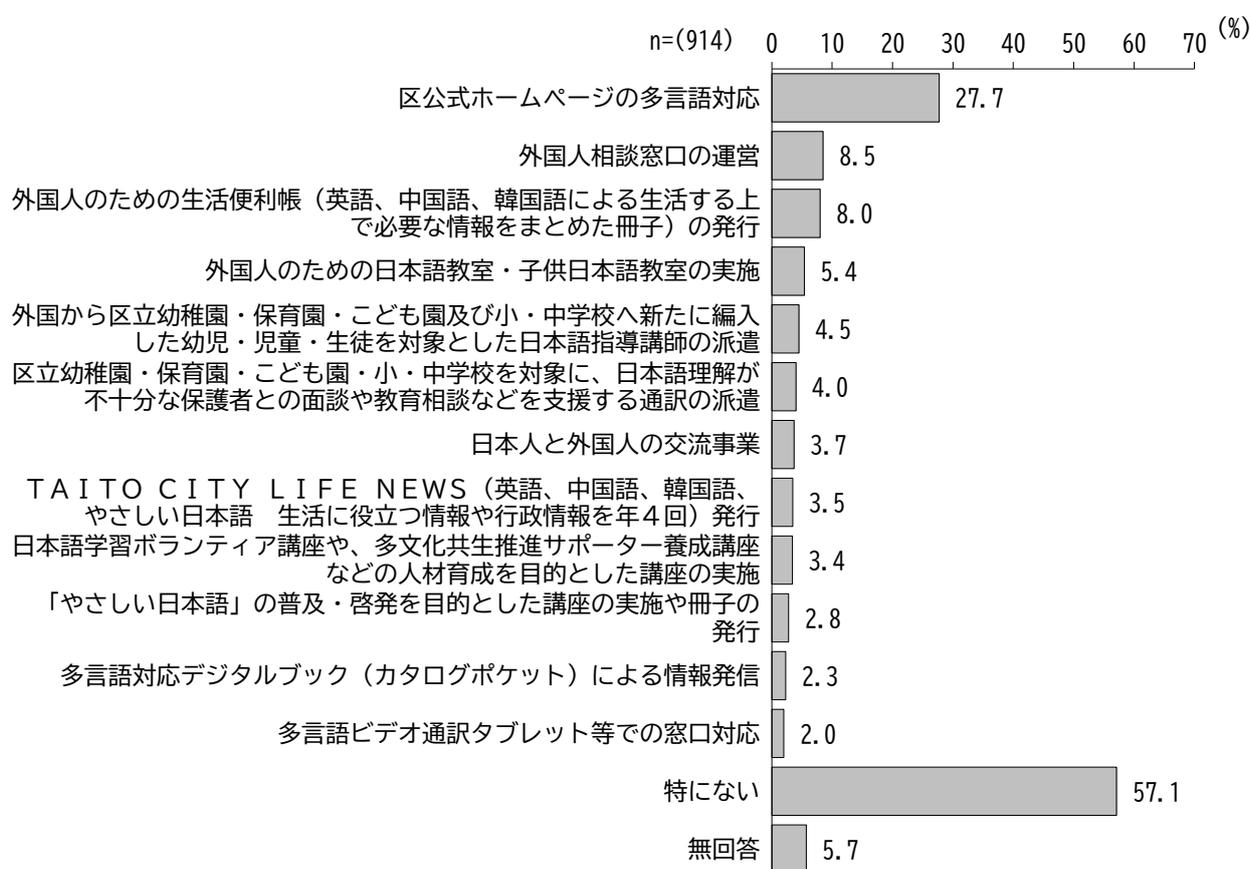


(3) 多文化共生に関するサービスや取組の認知度

問25 台東区が実施している多文化共生に関する取組で知っているものは何ですか。  
(当てはまるもの全てに○)

「区公式ホームページの多言語対応」(27.7%)が最も高く、次いで、「外国人相談窓口の運営」(8.5%)、「外国人のための生活便利帳(英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子)の発行」(8.0%)となっている。一方、「特にない」は57.1%と半数以上を占めている。

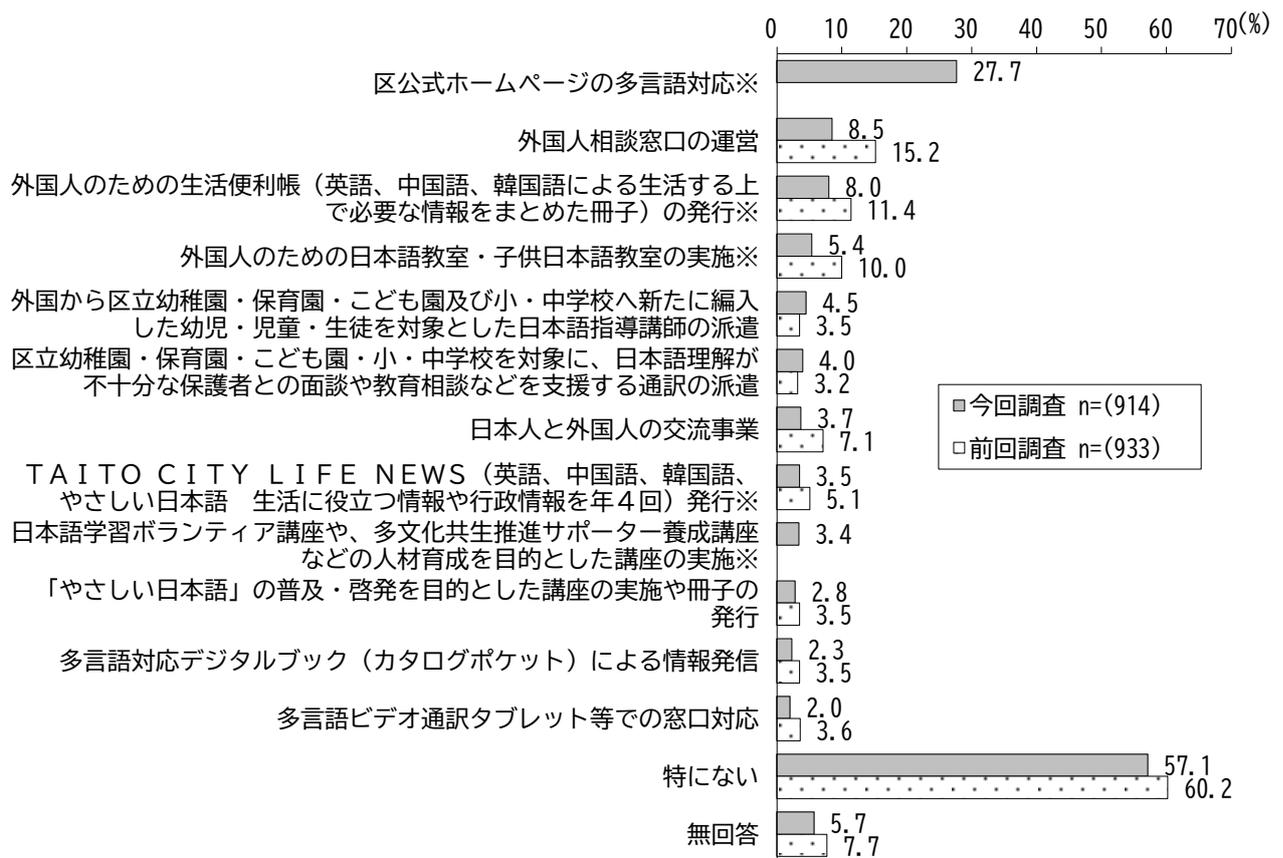
図表 多文化共生に関するサービスや取組の認知度(複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、「外国人相談窓口の運営」が6.7ポイント減少し、「外国人のための生活便利帳（英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子）の発行」「外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施」「日本人と外国人の交流事業」や「特にない」もやや減少しているが、認知度の順位では大きな差異はみられない。

図表 【経年比較】多文化共生に関するサービスや取組の認知度（複数回答）



※今回調査の選択肢「外国人のための生活便利帳（英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子）の発行」は前回調査では「生活する上で必要な情報を多言語でまとめた「生活便利帳」の発行」、「TAITO CITY LIFE NEWS（英語、中国語、韓国語、やさしい日本語 生活に役立つ情報や行政情報を年4回）発行」は「生活に役立つ情報や行政情報を、英語、中国語、韓国語、やさしい日本語で年4回発行する「多言語情報紙」の発行」、「外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施」は「外国人のための日本語教室の実施」であった。

※今回調査より、選択肢「区公式ホームページの多言語対応」「日本語学習ボランティア講座や、多文化共生推進サポーター養成講座などの人材育成を目的とした講座の実施」が追加された。

【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会が多いほどサービスや取組の認知度が高い傾向にあり、交流機会が「少しある」で「区公式ホームページの多言語対応」「外国から区立幼稚園・保育園・こども園及び小・中学校へ新たに編入した幼児・児童・生徒を対象とした日本語指導講師の派遣」の認知度が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 多文化共生に関するサービスや取組の認知度（外国人との交流機会の頻度別）

上段:人数 下段:%	調査数	区公式ホームページの多言語対応	外国人相談窓口の運営	外国人のための生活便利帳(英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子)の発行	外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施	外国から区立幼稚園・保育園・こども園及び小・中学校へ新たに編入した幼児・児童・生徒を対象とした日本語指導講師の派遣	区立幼稚園・保育園・こども園・小・中学校を対象に、日本語理解が不十分な保護者との面談や教育相談などを支援する通訳の派遣	日本人と外国人の交流事業
全体	914 100.0%	253 27.7%	78 8.5%	73 8.0%	49 5.4%	41 4.5%	37 4.0%	34 3.7%
たくさんある	16 100.0%	7 43.8%	3 18.8%	2 12.5%	3 18.8%	2 12.5%	3 18.8%	2 12.5%
少しある	137 100.0%	52 38.0%	13 9.5%	15 10.9%	9 6.6%	14 10.2%	11 8.0%	6 4.4%
あまりない	287 100.0%	92 32.1%	35 12.2%	29 10.1%	12 4.2%	13 4.5%	12 4.2%	12 4.2%
全くない	420 100.0%	93 22.1%	24 5.7%	24 5.7%	24 5.7%	12 2.9%	10 2.4%	14 3.3%
わからない	38 100.0%	9 23.7%	2 5.3%	2 5.3%	1 2.6%	-	1 2.6%	-

上段:人数 下段:%	調査数	TAITO CITY LIFE NEWS(英語、中国語、韓国語、やさしい日本語 生活に役立つ情報や行政情報を年4回)発行	日本語学習ボランティア講座や、多文化共生推進サポーター養成講座などの人材育成を目的とした講座の実施	「やさしい日本語」の普及・啓発を目的とした講座の実施や冊子の発行	多言語対応デジタルブック(カタログポケット)による情報発信	多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応	特になし	無回答
全体	914 100.0%	32 3.5%	31 3.4%	26 2.8%	21 2.3%	18 2.0%	522 57.1%	52 5.7%
たくさんある	16 100.0%	2 12.5%	2 12.5%	3 18.8%	2 12.5%	-	5 31.3%	1 6.3%
少しある	137 100.0%	7 5.1%	10 7.3%	5 3.6%	6 4.4%	6 4.4%	56 40.9%	13 9.5%
あまりない	287 100.0%	9 3.1%	9 3.1%	9 3.1%	4 1.4%	3 1.0%	159 55.4%	7 2.4%
全くない	420 100.0%	14 3.3%	8 1.9%	8 1.9%	9 2.1%	8 1.9%	269 64.0%	22 5.2%
わからない	38 100.0%	-	2 5.3%	-	-	1 2.6%	23 60.5%	4 10.5%

【居住地域別】

「上野地区」「金杉地区」「浅草寿地区」「雷門地区」で「区公式ホームページの多言語対応」、「谷中地区」「雷門地区」で「外国人相談窓口の運営」、「雷門地区」で「外国人のための生活便利帳（英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子）の発行」、「竹町地区」で「外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 多文化共生に関するサービスや取組の認知度（居住地域別）

	調査数	区公式ホームページの多言語対応	外国人相談窓口の運営	外国人のための生活便利帳（英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子）の発行	外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施	外国から区立幼稚園・保育園・こども園及び小・中学校へ新たに編入した幼児・児童と生徒を対象とした日本語指導講師の派遣	区立幼稚園・保育園・こども園・小・中学校を対象に、日本語理解が不十分な保護者との面談や教育相談などを支援する通訳の派遣	日本人と外国人の交流事業
全体	914 100.0%	253 27.7%	78 8.5%	73 8.0%	49 5.4%	41 4.5%	37 4.0%	34 3.7%
竹町地区	39 100.0%	10 25.6%	2 5.1%	4 10.3%	5 12.8%	2 5.1%	- -	2 5.1%
東上野地区	50 100.0%	11 22.0%	3 6.0%	3 6.0%	1 2.0%	2 4.0%	2 4.0%	1 2.0%
上野地区	59 100.0%	20 33.9%	6 10.2%	6 10.2%	5 8.5%	3 5.1%	3 5.1%	5 8.5%
入谷地区	126 100.0%	27 21.4%	6 4.8%	5 4.0%	5 4.0%	5 4.0%	5 4.0%	4 3.2%
金杉地区	93 100.0%	33 35.5%	6 6.5%	9 9.7%	7 7.5%	4 4.3%	4 4.3%	3 3.2%
谷中地区	53 100.0%	14 26.4%	8 15.1%	4 7.5%	5 9.4%	4 7.5%	4 7.5%	3 5.7%
浅草橋地区	72 100.0%	23 31.9%	8 11.1%	6 8.3%	1 1.4%	2 2.8%	1 1.4%	2 2.8%
浅草寿地区	126 100.0%	45 35.7%	11 8.7%	11 8.7%	5 4.0%	7 5.6%	7 5.6%	5 4.0%
雷門地区	89 100.0%	34 38.2%	12 13.5%	16 18.0%	6 6.7%	4 4.5%	6 6.7%	5 5.6%
馬道地区	86 100.0%	17 19.8%	9 10.5%	3 3.5%	3 3.5%	4 4.7%	1 1.2%	2 2.3%
清川地区	112 100.0%	18 16.1%	6 5.4%	6 5.4%	6 5.4%	4 3.6%	3 2.7%	2 1.8%

（他の選択肢のデータは次ページに続く）

図表 多文化共生に関するサービスや取組の認知度（居住地域別）

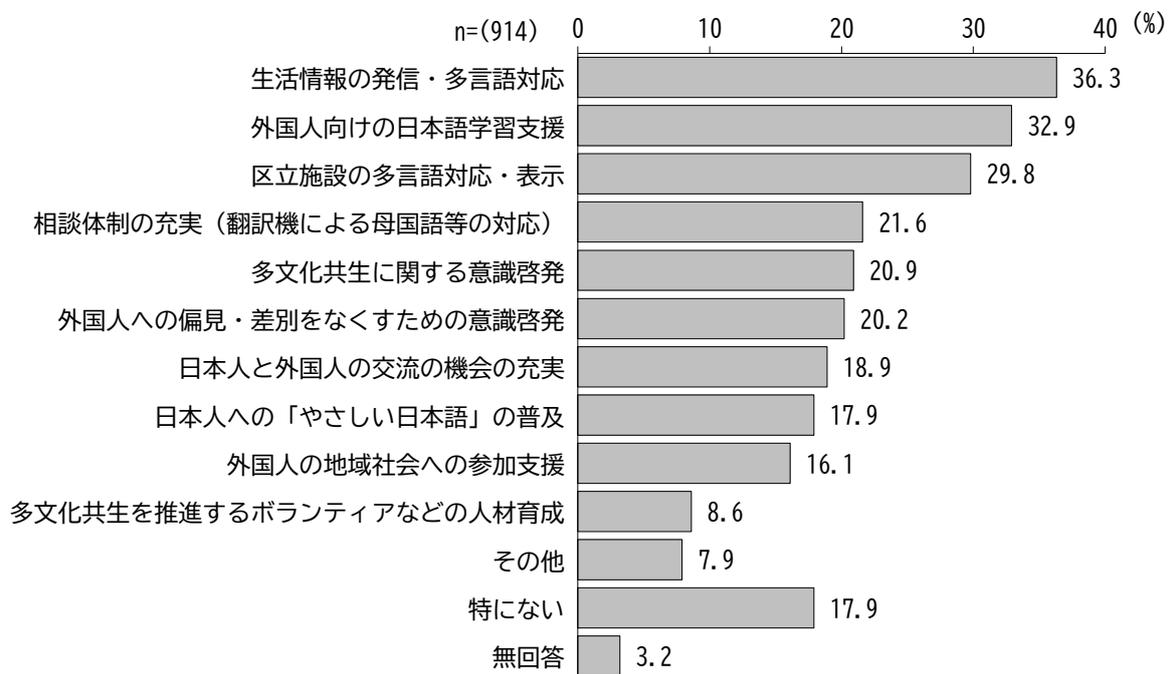
上段:人数 下段:%	調査数	TAITO CITY LIFE NEWS (英語、中国語、 韓国語、やさし い日本語 生活 に役立つ情報 や行政情報を 年4回)発行	日本語学習ボ ランティア講座 や、多文化共生 推進サポーター 養成講座など の人材育成を 目的とした講 座の実施	「やさしい日本 語」の普及・啓 発を目的とした 講座の実施や 冊子の発行	多言語対応デ ジタルブック (カタログボ ケット)による 情報発信	多言語ビデオ 通訳タブレット 等での窓口対 応	特になし	無回答
全体	914 100.0%	32 3.5%	31 3.4%	26 2.8%	21 2.3%	18 2.0%	522 57.1%	52 5.7%
竹町地区	39 100.0%	1 2.6%	2 5.1%	1 2.6%	2 5.1%	1 2.6%	14 35.9%	4 10.3%
東上野地区	50 100.0%	3 6.0%	1 2.0%	1 2.0%	1 2.0%	1 2.0%	33 66.0%	3 6.0%
上野地区	59 100.0%	2 3.4%	3 5.1%	3 5.1%	1 1.7%	1 1.7%	29 49.2%	1 1.7%
入谷地区	126 100.0%	3 2.4%	2 1.6%	1 0.8%	3 2.4%	2 1.6%	79 62.7%	7 5.6%
金杉地区	93 100.0%	4 4.3%	6 6.5%	3 3.2%	- -	- -	55 59.1%	- -
谷中地区	53 100.0%	- -	4 7.5%	3 5.7%	1 1.9%	1 1.9%	25 47.2%	8 15.1%
浅草橋地区	72 100.0%	4 5.6%	2 2.8%	6 8.3%	2 2.8%	1 1.4%	44 61.1%	1 1.4%
浅草寿地区	126 100.0%	4 3.2%	4 3.2%	3 2.4%	4 3.2%	2 1.6%	63 50.0%	8 6.3%
雷門地区	89 100.0%	8 9.0%	5 5.6%	2 2.2%	3 3.4%	5 5.6%	41 46.1%	5 5.6%
馬道地区	86 100.0%	- -	- -	1 1.2%	2 2.3%	1 1.2%	55 64.0%	8 9.3%
清川地区	112 100.0%	3 2.7%	2 1.8%	2 1.8%	2 1.8%	3 2.7%	76 67.9%	7 6.3%

(4) 台東区が力を入れるべきだと思うこと

問26 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、台東区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

「生活情報の発信・多言語対応」(36.3%)が最も高く、次いで、「外国人向けの日本語学習支援」(32.9%)、「区立施設の多言語対応・表示」(29.8%)、「相談体制の充実(翻訳機による母国語等の対応)」(21.6%)、「多文化共生に関する意識啓発」(20.9%)、「外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」(20.2%)となっている。一方、「特にない」は17.9%となっている。

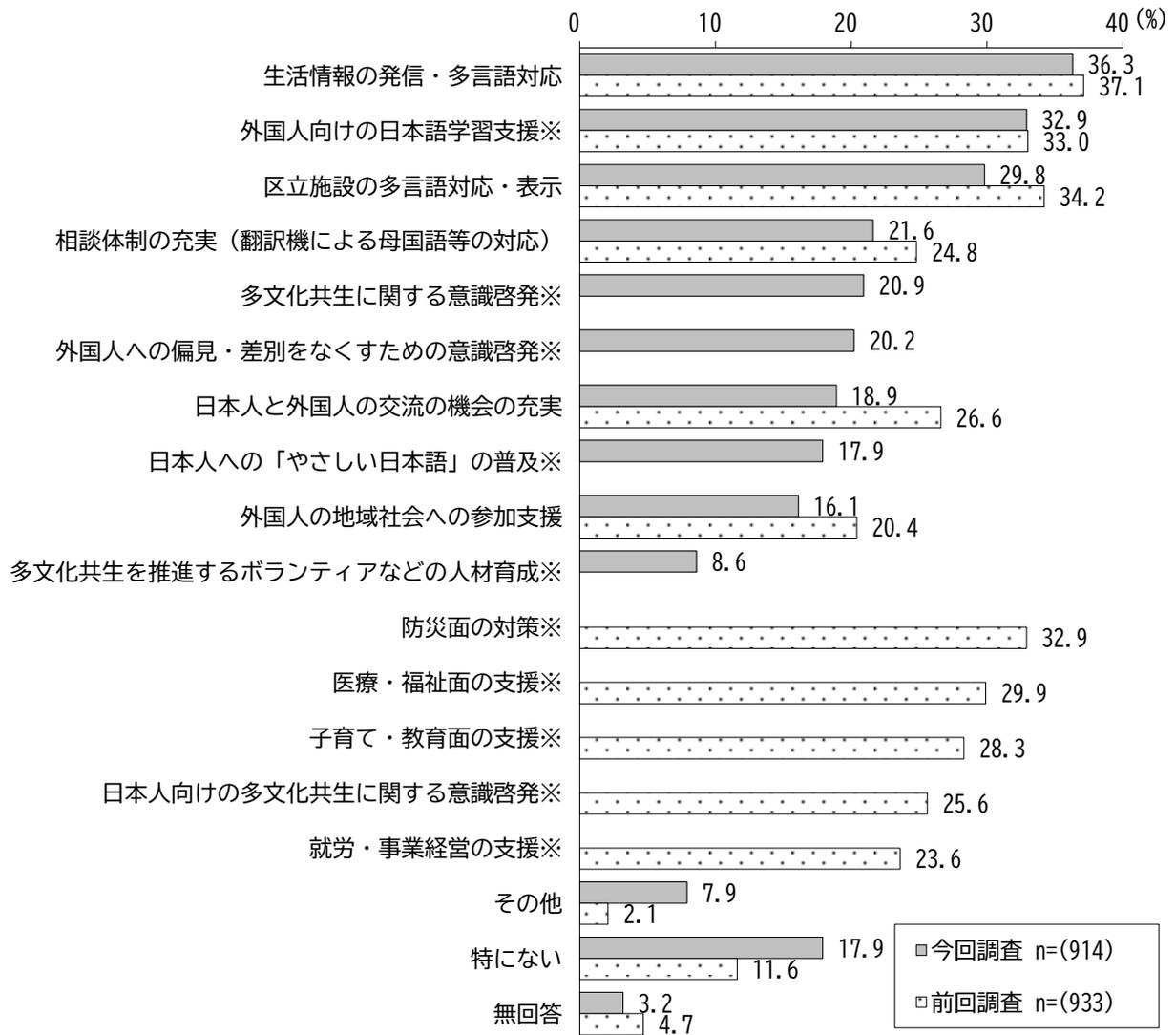
図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと(複数回答)



【経年比較】

前回調査から選択肢の変更が多いが、比較可能な項目でみると、「日本人と外国人の交流の機会の充実」が7.7ポイント減少し、「区立施設の多言語対応・表示」「相談体制の充実（翻訳機による母国語等の対応）」「外国人の地域社会への参加支援」がやや減少している。

図表 【経年比較】台東区が力を入れるべきだと思うこと（複数回答）



※今回調査の選択肢「外国人向けの日本語学習支援」は前回調査では「外国人向けの日本語習得支援」、「相談体制の充実（翻訳機による母国語等の対応）」は「相談体制の充実・通訳配置（多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応を含む）」であった。

※今回調査より、選択肢「日本人への「やさしい日本語」の普及」「外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」「多文化共生に関する意識啓発」「多文化共生を推進するボランティアなどの人材育成」が追加された。

※前回調査より、選択肢「防災面の対策」「子育て・教育面の支援」「医療・福祉面の支援」「就労・事業経営の支援」「日本人向けの多文化共生に関する意識啓発」が削除された。

【年齢別】

「50～59歳」「60～69歳」で全体平均と比較して5ポイント以上高い項目が多くなっている。「50～59歳」では「生活情報の発信・多言語対応」「外国人向けの日本語学習支援」「相談体制の充実（翻訳機による母国語等の対応）」「外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」が、「60～69歳」では「外国人向けの日本語学習支援」「多文化共生に関する意識啓発」「外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」がそれぞれ全体平均と比較して5ポイント以上高い。

一方、「30～39歳」で「特にない」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	生活情報の発信・多言語対応	外国人向けの日本語学習支援	区立施設の多言語対応・表示	相談体制の充実(翻訳機による母国語等の対応)	多文化共生に関する意識啓発	外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発	日本人と外国人の交流の機会の充実
全体	914 100.0%	332 36.3%	301 32.9%	272 29.8%	197 21.6%	191 20.9%	185 20.2%	173 18.9%
18～29歳	65 100.0%	25 38.5%	22 33.8%	20 30.8%	13 20.0%	9 13.8%	8 12.3%	9 13.8%
30～39歳	116 100.0%	32 27.6%	30 25.9%	28 24.1%	25 21.6%	14 12.1%	17 14.7%	22 19.0%
40～49歳	144 100.0%	57 39.6%	40 27.8%	43 29.9%	31 21.5%	29 20.1%	23 16.0%	27 18.8%
50～59歳	192 100.0%	95 49.5%	73 38.0%	65 33.9%	53 27.6%	44 22.9%	49 25.5%	38 19.8%
60～69歳	133 100.0%	54 40.6%	56 42.1%	42 31.6%	30 22.6%	38 28.6%	34 25.6%	31 23.3%
70歳以上	259 100.0%	69 26.6%	79 30.5%	73 28.2%	43 16.6%	57 22.0%	54 20.8%	45 17.4%

上段:人数 下段:%	調査数	日本人への「やさしい日本語」の普及	外国人の地域社会への参加支援	多文化共生を推進するボランティアなどの人材育成	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	164 17.9%	147 16.1%	79 8.6%	72 7.9%	164 17.9%	29 3.2%
18～29歳	65 100.0%	10 15.4%	7 10.8%	3 4.6%	6 9.2%	10 15.4%	1 1.5%
30～39歳	116 100.0%	13 11.2%	15 12.9%	6 5.2%	11 9.5%	28 24.1%	1 0.9%
40～49歳	144 100.0%	26 18.1%	24 16.7%	9 6.3%	21 14.6%	25 17.4%	1 0.7%
50～59歳	192 100.0%	40 20.8%	43 22.4%	20 10.4%	20 10.4%	23 12.0%	2 1.0%
60～69歳	133 100.0%	27 20.3%	26 19.5%	12 9.0%	10 7.5%	16 12.0%	4 3.0%
70歳以上	259 100.0%	47 18.1%	32 12.4%	29 11.2%	3 1.2%	59 22.8%	20 7.7%

【居住地域別】

「上野地区」「谷中地区」「浅草寿地区」「雷門地区」「馬道地区」で「生活情報の発信・多言語対応」が、「金杉地区」では「外国人向けの日本語学習支援」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	生活情報の発信・多言語対応	外国人向けの日本語学習支援	区立施設が多言語対応・表示	相談体制の充実(翻訳機による母国語等の対応)	多文化共生に関する意識啓発	外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発	日本人と外国人の交流の機会の充実
全体	914 100.0%	332 36.3%	301 32.9%	272 29.8%	197 21.6%	191 20.9%	185 20.2%	173 18.9%
竹町地区	39 100.0%	9 23.1%	13 33.3%	8 20.5%	5 12.8%	6 15.4%	4 10.3%	4 10.3%
東上野地区	50 100.0%	19 38.0%	15 30.0%	11 22.0%	12 24.0%	6 12.0%	14 28.0%	13 26.0%
上野地区	59 100.0%	25 42.4%	20 33.9%	20 33.9%	17 28.8%	12 20.3%	13 22.0%	12 20.3%
入谷地区	126 100.0%	37 29.4%	44 34.9%	28 22.2%	27 21.4%	18 14.3%	22 17.5%	18 14.3%
金杉地区	93 100.0%	35 37.6%	38 40.9%	33 35.5%	20 21.5%	27 29.0%	20 21.5%	13 14.0%
谷中地区	53 100.0%	23 43.4%	17 32.1%	19 35.8%	9 17.0%	14 26.4%	12 22.6%	11 20.8%
浅草橋地区	72 100.0%	17 23.6%	23 31.9%	16 22.2%	16 22.2%	16 22.2%	13 18.1%	18 25.0%
浅草寿地区	126 100.0%	52 41.3%	45 35.7%	49 38.9%	27 21.4%	31 24.6%	25 19.8%	26 20.6%
雷門地区	89 100.0%	42 47.2%	27 30.3%	28 31.5%	25 28.1%	29 32.6%	21 23.6%	19 21.3%
馬道地区	86 100.0%	38 44.2%	23 26.7%	27 31.4%	20 23.3%	17 19.8%	22 25.6%	24 27.9%
清川地区	112 100.0%	33 29.5%	33 29.5%	32 28.6%	18 16.1%	15 13.4%	19 17.0%	15 13.4%

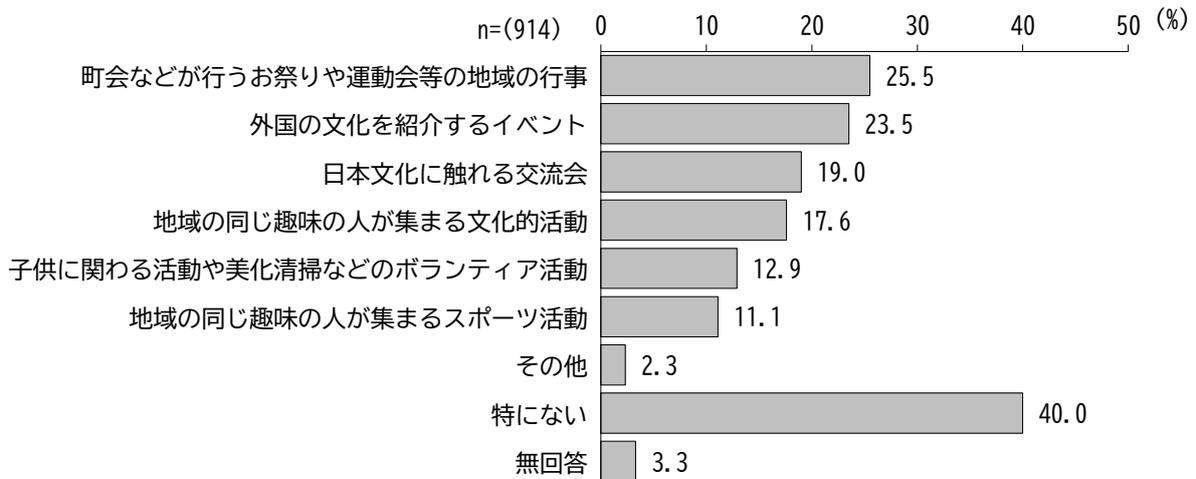
上段:人数 下段:%	調査数	日本人への「やさしい日本語」の普及	外国人の地域社会への参加支援	多文化共生を推進するボランティアなどの人材育成	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	164 17.9%	147 16.1%	79 8.6%	72 7.9%	164 17.9%	29 3.2%
竹町地区	39 100.0%	3 7.7%	3 7.7%	4 10.3%	4 10.3%	5 12.8%	1 2.6%
東上野地区	50 100.0%	5 10.0%	8 16.0%	3 6.0%	7 14.0%	12 24.0%	-
上野地区	59 100.0%	10 16.9%	11 18.6%	4 6.8%	5 8.5%	9 15.3%	2 3.4%
入谷地区	126 100.0%	15 11.9%	12 9.5%	5 4.0%	12 9.5%	21 16.7%	3 2.4%
金杉地区	93 100.0%	29 31.2%	21 22.6%	8 8.6%	7 7.5%	21 22.6%	1 1.1%
谷中地区	53 100.0%	15 28.3%	17 32.1%	10 18.9%	3 5.7%	4 7.5%	3 5.7%
浅草橋地区	72 100.0%	11 15.3%	11 15.3%	7 9.7%	7 9.7%	13 18.1%	3 4.2%
浅草寿地区	126 100.0%	22 17.5%	20 15.9%	13 10.3%	8 6.3%	24 19.0%	5 4.0%
雷門地区	89 100.0%	17 19.1%	16 18.0%	8 9.0%	8 9.0%	10 11.2%	1 1.1%
馬道地区	86 100.0%	16 18.6%	16 18.6%	11 12.8%	6 7.0%	16 18.6%	3 3.5%
清川地区	112 100.0%	19 17.0%	11 9.8%	6 5.4%	4 3.6%	27 24.1%	5 4.5%

(5) 今後参加したい地域の活動

問27 地域で暮らす外国人との理解を促進するためにどのような地域の活動に参加したいですか。(当てはまるもの全てに○)

「町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」(25.5%)が最も高く、次いで、「外国の文化を紹介するイベント」(23.5%)、「日本文化に触れる交流会」(19.0%)、「地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」(17.6%)となっている。一方、「特にない」は40.0%となっている。

図表 今後参加したい地域の活動（複数回答）



【年齢別】

「40～49歳」「50～59歳」で「外国の文化を紹介するイベント」が、「50～59歳」で「地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」が、「30～39歳」で「子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

一方、「30～39歳」では「特にない」が50%となり、全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 今後参加したい地域の活動（年齢別）

年齢	調査数	町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事	外国の文化を紹介するイベント	日本文化に触れる交流会	地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動	子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動	地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動	その他	特にない	無回答
全体	914	233	215	174	161	118	101	21	366	30
	100.0%	25.5%	23.5%	19.0%	17.6%	12.9%	11.1%	2.3%	40.0%	3.3%
18～29歳	65	18	10	9	10	5	6	1	29	1
	100.0%	27.7%	15.4%	13.8%	15.4%	7.7%	9.2%	1.5%	44.6%	1.5%
30～39歳	116	30	23	10	17	23	15	-	58	-
	100.0%	25.9%	19.8%	8.6%	14.7%	19.8%	12.9%	-	50.0%	-
40～49歳	144	36	43	32	27	17	22	3	52	2
	100.0%	25.0%	29.9%	22.2%	18.8%	11.8%	15.3%	2.1%	36.1%	1.4%
50～59歳	192	52	64	45	44	30	29	6	58	2
	100.0%	27.1%	33.3%	23.4%	22.9%	15.6%	15.1%	3.1%	30.2%	1.0%
60～69歳	133	26	33	29	23	16	13	3	57	4
	100.0%	19.5%	24.8%	21.8%	17.3%	12.0%	9.8%	2.3%	42.9%	3.0%
70歳以上	259	69	42	49	38	26	16	7	110	21
	100.0%	26.6%	16.2%	18.9%	14.7%	10.0%	6.2%	2.7%	42.5%	8.1%

【居住地域別】

「上野地区」「雷門地区」で「町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」、「上野地区」で「外国の文化を紹介するイベント」、「東上野地区」で「地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」「地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動」、「浅草寿地区」で「地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」「子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、「谷中地区」は全ての活動が全体平均を上回っている。

一方、「竹町地区」「東上野地区」「入谷地区」で「特にない」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 今後参加したい地域の活動（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事	外国の文化を紹介するイベント	日本文化に触れる交流会	地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動	子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動	地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	233 25.5%	215 23.5%	174 19.0%	161 17.6%	118 12.9%	101 11.1%	21 2.3%	366 40.0%	30 3.3%
竹町地区	39 100.0%	9 23.1%	9 23.1%	4 10.3%	1 2.6%	1 2.6%	2 5.1%	- -	21 53.8%	2 5.1%
東上野地区	50 100.0%	4 8.0%	9 18.0%	10 20.0%	13 26.0%	2 4.0%	12 24.0%	3 6.0%	24 48.0%	- -
上野地区	59 100.0%	21 35.6%	17 28.8%	12 20.3%	13 22.0%	9 15.3%	9 15.3%	2 3.4%	25 42.4%	2 3.4%
入谷地区	126 100.0%	28 22.2%	23 18.3%	27 21.4%	15 11.9%	14 11.1%	12 9.5%	2 1.6%	58 46.0%	3 2.4%
金杉地区	93 100.0%	22 23.7%	22 23.7%	17 18.3%	17 18.3%	13 14.0%	5 5.4%	3 3.2%	41 44.1%	- -
谷中地区	53 100.0%	14 26.4%	17 32.1%	13 24.5%	12 22.6%	14 26.4%	9 17.0%	2 3.8%	12 22.6%	4 7.5%
浅草橋地区	72 100.0%	19 26.4%	16 22.2%	16 22.2%	10 13.9%	8 11.1%	7 9.7%	2 2.8%	25 34.7%	5 6.9%
浅草寿地区	126 100.0%	36 28.6%	35 27.8%	21 16.7%	31 24.6%	23 18.3%	17 13.5%	1 0.8%	44 34.9%	4 3.2%
雷門地区	89 100.0%	29 32.6%	25 28.1%	16 18.0%	21 23.6%	14 15.7%	9 10.1%	3 3.4%	29 32.6%	1 1.1%
馬道地区	86 100.0%	21 24.4%	20 23.3%	19 22.1%	14 16.3%	11 12.8%	8 9.3%	- -	36 41.9%	3 3.5%
清川地区	112 100.0%	29 25.9%	21 18.8%	18 16.1%	14 12.5%	9 8.0%	10 8.9%	3 2.7%	45 40.2%	5 4.5%

## (6) 台東区における多文化共生の推進についての意見（自由記述）

問28 台東区における多文化共生の推進について、ご意見がありましたらご記入ください。

台東区における多文化共生の推進に対する自由記述に247名（回答者に占める割合で27.0%）の回答があった。内訳は、多文化共生に理解・賛成する意見が43名、不安・懸念を感じる意見が161名、中立的な意見が7名、理解・賛成、不安・懸念、中立的な意見を併せて記述した意見が16名、趣旨が不明な意見が1名、意見が無いまたはわからないと記述された意見が19名であった。

なお、1名の自由記述に複数の内容の意見が含まれている場合、これを分野ごとに分けて整理し、その件数をカウントした。

以下に、分野ごとに該当する意見の件数と、その主な内容を記載する。

### 1. 多文化共生に関すること（102件）

#### (1) 理解・賛成する意見（41件）

##### 【主な意見の内容】

- ・自分が海外で生活等をした経験から多文化共生推進に理解や賛成をする意見
- ・多文化交流を進めるための企画やイベントの提案、区が主導した交流機会の創出を求める意見
- ・区が多文化共生を推進していることがわかり安心した、もっとPRしてほしい、応援しているという意見

#### (2) 不安・懸念を感じるなどとする意見（55件）

##### 【主な意見の内容】

- ・外国人が多すぎる、共生できる限界を超えているとする意見
- ・日本に来たのだから、外国人が日本の生活習慣、文化に合わせるべきとするものや、日本人から譲歩するものではないとする意見
- ・多文化共生を進めることに日本人のメリットがない、負担が大きいとする意見
- ・外国人の受入れにより日本の伝統的な文化が失われる懸念や生活の変化への不安を訴える意見
- ・海外で移民政策が失敗しているなどとし、外国人の受入れや多文化共生の推進に反対する意見

#### (3) 中立的な意見（6件）

##### 【主な意見の内容】

- ・多文化共生の言葉を初めて知ったという意見
- ・日本人・外国人に関わらず、ルールが守られ気持ちよく過ごせば十分だという意見

## 2. ルール・マナーに関すること (81件)

### (1) 外国人のルール・マナーに肯定的な意見 (6件)

#### 【主な意見の内容】

- ・近所や店舗で外国人と接する経験から、外国人が生活に必要なルールを理解していると感じるという意見

### (2) 外国人のルール・マナーの順守に不安・懸念を感じるなどとする意見 (72件)

#### 【主な意見の内容】

- ・外国人に以下のルール・マナー違反があると指摘する意見
  - ◇自転車や車の通行、駐輪などの交通ルール
  - ◇ごみの出し方や分別、ポイ捨ての禁止等の生活上のルール
  - ◇騒音、振動などの住居など相隣関係のルール
  - ◇公園や道路など公共空間でのルール
  - ◇ルール違反を指摘しても直さない
- ・外国人に地域で暮らす以上、地域の習慣やルールを学ぶこと、それに従うこととの順守を求める意見
- ・外国人に、地域に定着しルールを守るという意識が乏しいとの懸念を示すものや、こうした意識をしっかりと持ってほしいとする意見
- ・自国の文化や習慣をそのまま日本に持ち込んでいるとの指摘や、そのような行動に対する不満を表明する意見
- ・区が様々な生活上のルールを外国人に伝えると共に、これを守るよう強い働きかけを求める意見

### (3) 中立的な意見 (3件)

#### 【主な意見の内容】

- ・日本でのごみ出しのルールや考え方などマンガでわかりやすく伝えたらどうかという意見

## 3. 民泊・観光に関すること (35件)

### (1) 観光施策を推進すべきという意見 (1件)

### (2) 観光施策の推進に不安・懸念を感じるなどとする意見 (34件)

#### 【主な意見の内容】

- ・民泊が多すぎるとする指摘、地域が民泊だらけになり不安だとする意見
- ・観光客の以下のマナー違反を指摘する意見
  - ◇路線バスへの大きなスーツケースの持込み、優先席の理解が無いなど公共交通機関の利用ルール
  - ◇大声を出す、横並びの歩行、地べたへの座り込み等の公共空間でのマナー
  - ◇ポイ捨てなどのごみに関するマナー

◇列への割り込みや飲食店での長居

- ・届出の無い民泊の営業、宿泊定員を超える利用、白ナンバーの乗用車等による観光客の送迎などが行われているとし、許されるものではないなどとする意見
- ・観光客が多すぎて迷惑を被ったり、生活への支障があるとし、マナー啓発やインバウンド対策、ビザの発給や民泊開設の制限などを求める意見

#### 4. 行政による外国人への対応を求める意見（33件）

（1）行政に外国人に対して積極的な対応を求める意見（31件）

【主な意見の内容】

- ・治安の維持や税金等の収納、生活上のルールを守らせることの徹底を行政が強力に進めるよう求める意見
- ・ルール違反に対して罰則を設ける等強制力を持たせ、これを行政が厳格に運用するよう求める意見
- ・行政が、国民や地域住民の意見を無視して外国人受入れ施策等を進めているとする意見、このことを前提に施策を改めるよう求める意見
- ・行政が治安の維持や地域社会の安定のため、外国人受入れをコントロールすべきとの意見

（2）外国人に対して中立的な行政対応を求める意見（2件）

#### 5. 治安・街の安全に不安・懸念を感じるなどとする意見（31件）

【主な意見の内容】

- ・海外では移民の受入れにより治安が悪化しているとし、このことから日本に外国人の受入れをすべきではないなどとする意見
- ・外国人が増えることにより治安の悪化や犯罪の増加が懸念されるとする意見
- ・体格の良い外国人の存在や外国人学生の集団での駅周辺のすれ違いなどに不安を感じるなどとする意見

#### 6. 外国人向けの施策ではなく、日本人向けの施策を優先すべきなどとする意見（30件）

【主な意見の内容】

- ・外国人を優遇するのではなく、日本人のための施策を優先させるべきとの意見
- ・自分たちが納めた税金が外国人のために使われるのは納得できない、日本人のために使うべきとする意見
- ・外国人が社会保障制度などの悪用を目的に来日しているとし、そのことで日本人の負担が増すことを許さない、是正を求めるなどとする意見
- ・外国人が集住することにより自国民だけのコミュニティを形成するなどし、日本人の暮らしに支障が出たり、不安が生じるとする意見

## 7. 移民等の外国人受入れに関する意見（24件）

### （1）移民や外国人受入れに理解・賛成する意見（3件）

#### 【主な意見の内容】

- ・日本の人口が減っているため、外国人の受入れを推進すべきという意見

### （2）移民や外国人受入れに不安・懸念を感じるなどとする意見（19件）

#### 【主な意見の内容】

- ・外国人の受入れを反対する意見や、在留する人の数を減らすよう求める意見
- ・海外の移民政策は失敗しているとして、日本も同じことをしているとし、不安を感じるという意見
- ・外国人に対する見方や考え方から、多文化共生や移民などに反対する意見

### （3）中立的な意見（2件）

## 8. 特定の国籍・宗教に対して不安・懸念を感じるなどとする意見（12件）

#### 【主な意見の内容】

- ・特定の国籍や宗教の信者に対して不満、不安を訴える意見、受入れを行うべきでないとする意見
- ・特定の国籍の人に土地を売るべきではない、買い占めを行っているなどと指摘する意見

## 9. 本アンケートの実施に関すること（9件）

### （1）アンケートの実施が相互理解の促進に悪い影響を与えないか懸念する意見（1件）

### （2）アンケートの実施に疑問を感じるなどとする意見（7件）

#### 【主な意見の内容】

- ・アンケートの設問が、多文化共生の推進に誘導しているなどとする意見や、このアンケートの実施に税金が費やされることは問題があるとする意見

### （3）アンケートの実施に中立的な意見（1件）

## 10. 言語や多言語表記に関すること（6件）

### （1）言語や多言語表記に寛容的な意見（1件）

### （2）外国人が日本語を習得すべきとする意見や、多言語表記が不要する意見（5件）

#### 【主な意見の内容】

- ・公共施設の多言語表記が過剰である、英語のみで対応可能ではないかとする意見
- ・自分が留学した際の経験などから、外国人が日本に住む場合、日本語習得は必須条件だとする意見

11. その他（10件）

- （1）日本人と外国人を区別するべきではないという意見（3件）
- （2）まちづくりに関する意見（2件）
- （3）外国人が集住することへの不安を訴える意見（1件）
- （4）その他（障害者施策の充実等を求める意見）（3件）
- （5）主旨をくみとりがたい意見（1件）

12. 意見なし・わからないとの記述（19件）

※掲載した意見は、主な意見を要約したものであり、区の見解を示したものではない。また、特定の国籍や集団等に対する意見については偏見や差別、誤解を招かないようにするため一部を他の言葉に置き換えている。

## 第5章 外国人・日本人 共通設問の比較

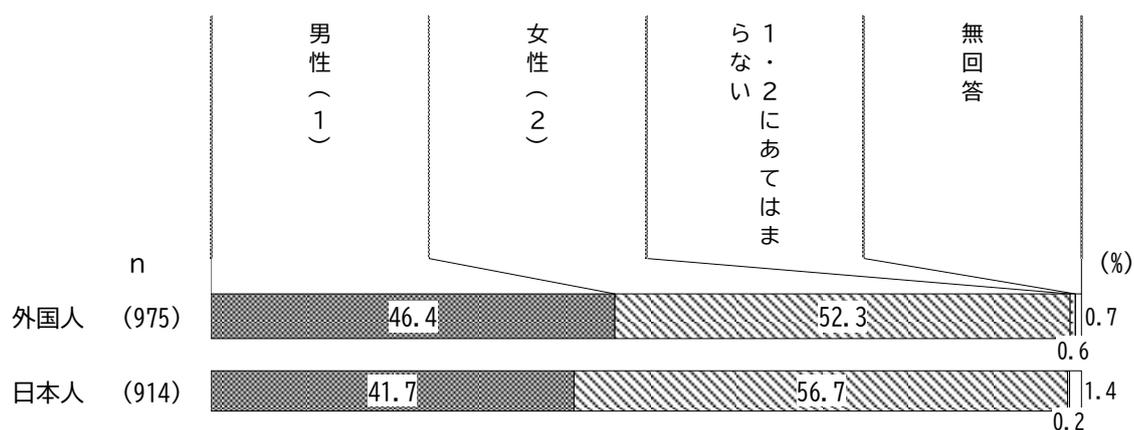


## 1. 回答者の属性

### (1) 性別 (外国人：問1、日本人：問1)

外国人は、「男性」(46.4%)、「女性」(52.3%)に対し、日本人は「男性」(41.7%)、「女性」(56.7%)となっており、外国人・日本人ともに「女性」が高い。

図表 性別 (単一回答)

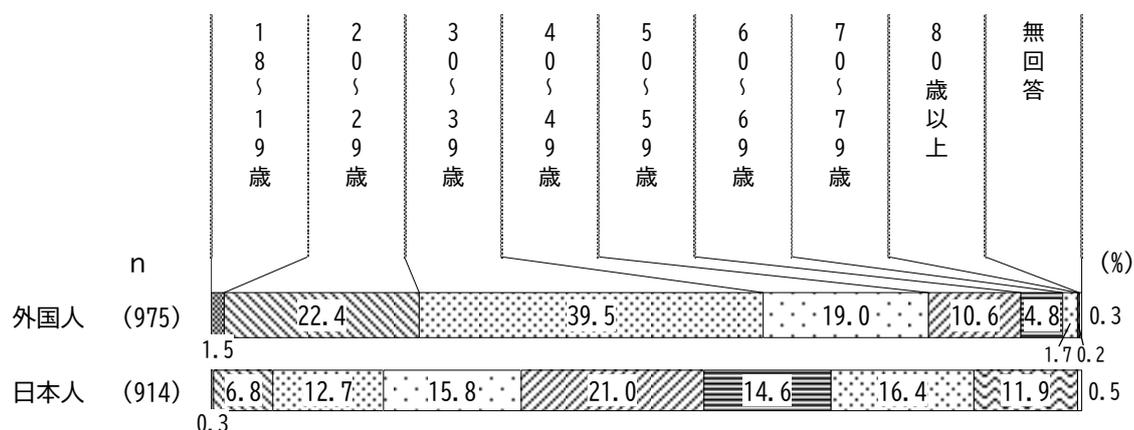


### (2) 年齢 (外国人：問2、日本人：問2)

外国人は、「30～39歳」(39.5%)が最も高かったのに対し、日本人は「50～59歳」(21.0%)が最も高くなっている。

18～49歳を合計すると、外国人は82.4%、日本人は35.6%となり、外国人の方が年代は若く、日本人は年代が分散している。

図表 年齢 (単一回答)

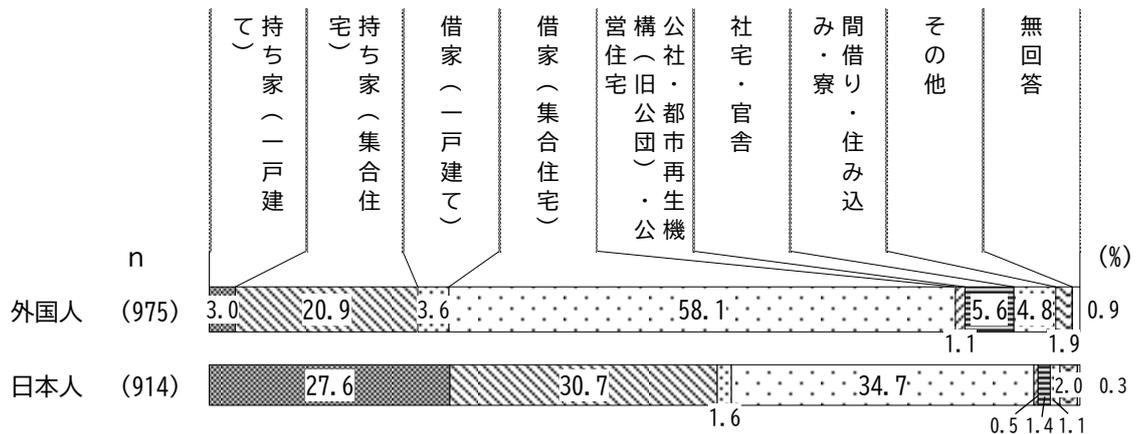


(3) 居住形態 (外国人：問5、日本人：問4)

外国人・日本人ともに、「借家 (集合住宅)」が最も高く、それぞれ58.1%・34.7%となっている。次いで、「持ち家 (集合住宅)」がそれぞれ20.9%・30.7%となっている。

「持ち家 (一戸建て)」「持ち家 (集合住宅)」を合計すると、外国人の23.9%に対し、日本人は58.3%と外国人よりも高くなっている。

図表 居住形態 (単一回答)



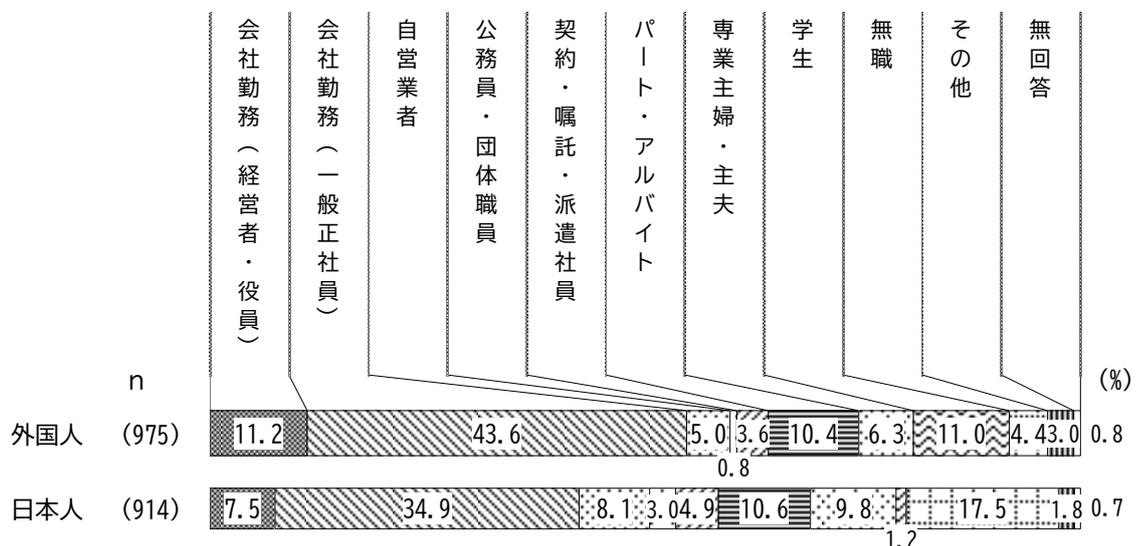
(4) 職業 (外国人：問6、日本人：問3)

外国人・日本人ともに「会社勤務(一般正社員)」が最も高く、それぞれ43.6%・34.9%となっている。

就業者(「会社勤務(経営者・役員)」「会社勤務(一般正社員)」「自営業者」「公務員・団体職員」「契約・嘱託・派遣社員」「パート・アルバイト」の合計)は、外国人(74.6%)、日本人(69.0%)となっており、外国人の方が割合が高い。

「学生」は外国人の11.0%に対し、日本人は1.2%となっている。

図表 職業 (単一回答)

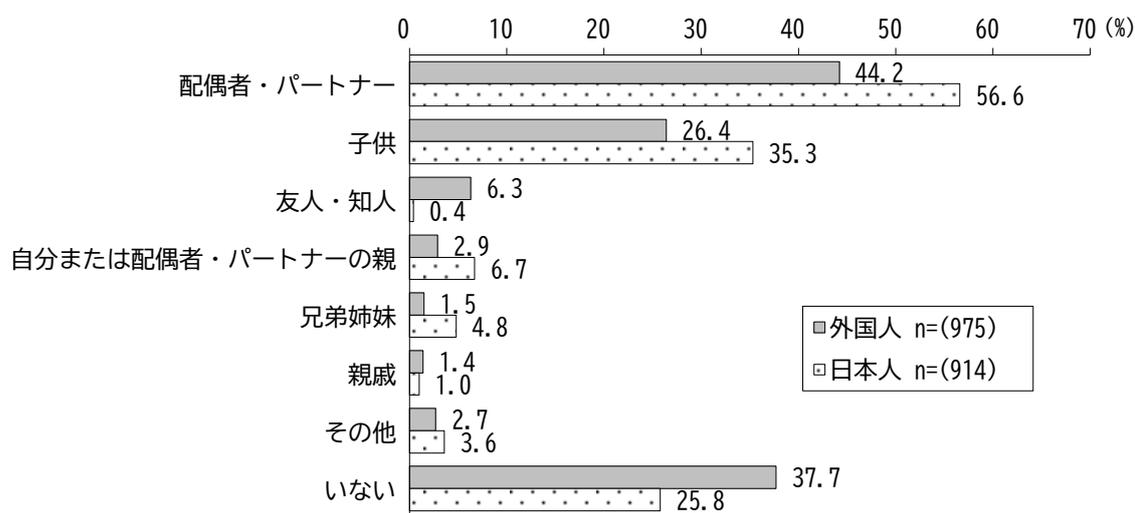


(5) 同居者 (外国人：問8、日本人：問8)

外国人・日本人ともに「配偶者・パートナー」が最も高く、それぞれ44.2%・56.6%となっている。次いで、外国人は「いない」(37.7%)、日本人は「子供」(35.3%)となっている。

外国人は、「友人・知人」が6.3%に対し、日本人は0.4%となっている。

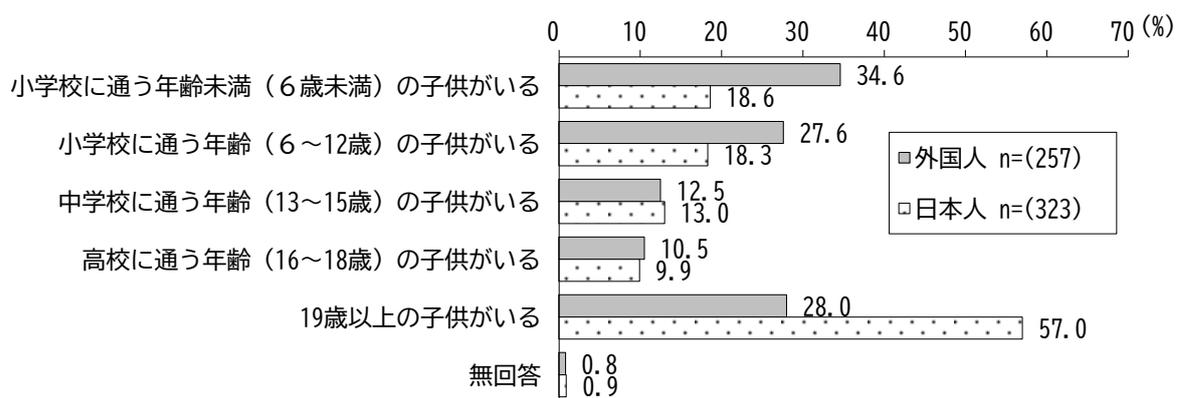
図表 同居者 (複数回答)



(6) 子供の年齢 (外国人：問8-2、日本人：問8-2)

外国人は、「小学校に通う年齢未満 (6歳未満) の子供がいる」(34.6%)が最も高いのに対し、日本人は、「19歳以上の子供がいる」(57.0%)が最も高くなっている。

図表 子供の年齢 (複数回答)

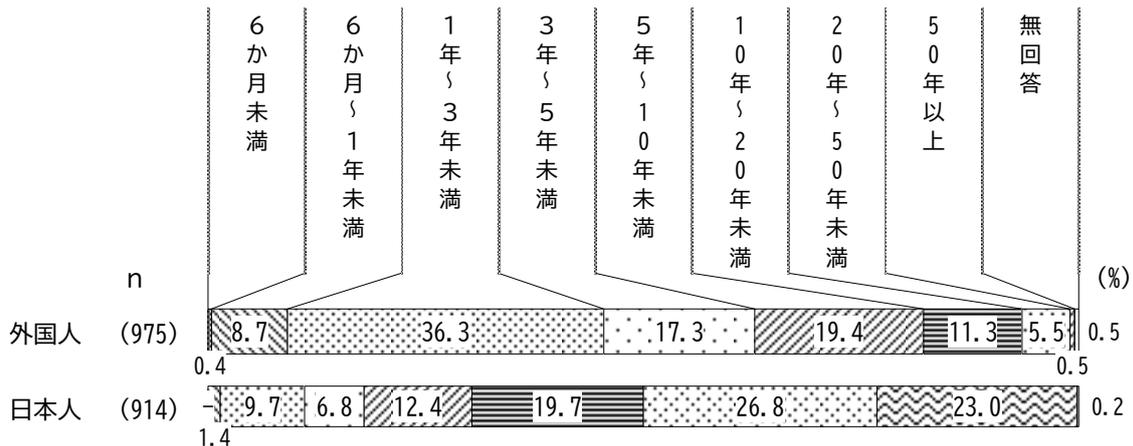


(7) 台東区での居住年数 (外国人：問10、日本人：問5)

外国人は、「1年～3年未満」(36.3%)が最も高いのに対し、日本人は「20年～50年未満」(26.8%)が最も高くなっている。

外国人は、居住年数が5年未満の割合が62.7%で居住年数が短い人が多いのに対し、日本人は10年以上の割合が69.5%と居住年数が長い人が多くなっている。

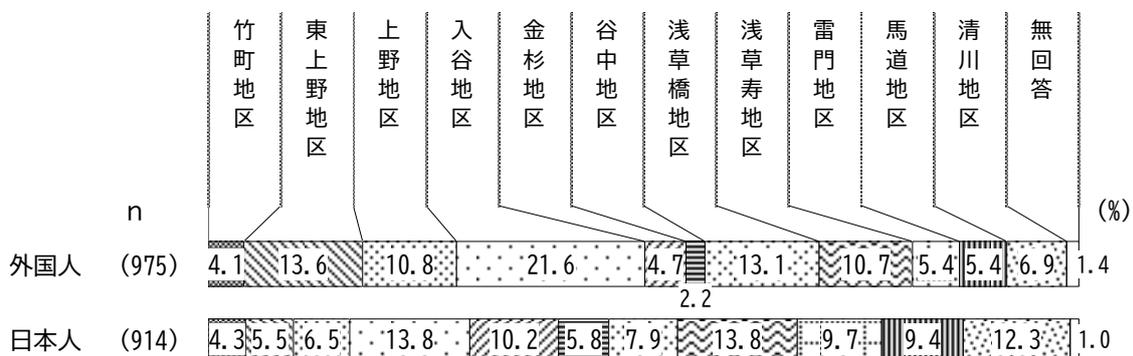
図表 台東区での居住年数 (単一回答)



(8) 居住地域 (外国人：問11、日本人：問6)

外国人は、「入谷地区」(21.6%)が最も高く、「東上野地区」(13.6%)、「浅草橋地区」(13.1%)と続いているのに対し、日本人は「入谷地区」「浅草寿地区」(ともに13.8%)が高く、「清川地区」(12.3%)、「金杉地区」(10.2%)となっている。

図表 居住地域 (単一回答)

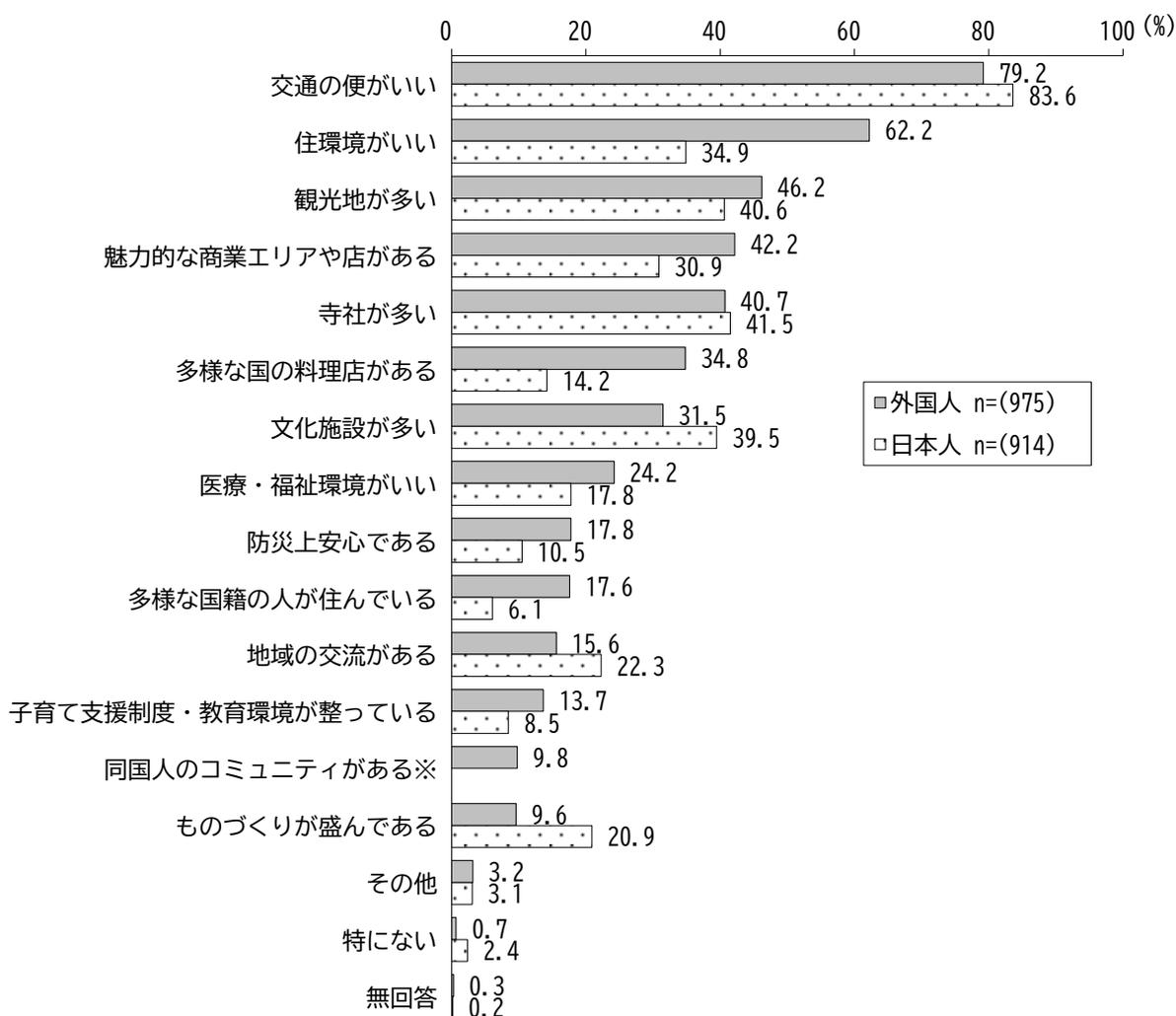


(9) 台東区の魅力 (外国人：問12、日本人：問7)

外国人・日本人ともに「交通の便がいい」が最も高く、79.2%・83.6%となっている。次いで、外国人は「住環境がいい」(62.2%)だが、日本人は「寺社が多い」(41.5%)と2番目の高い項目が異なる。

また、外国人の方が割合が高い項目が多く、特に「住環境がいい」「魅力的な商業エリアや店がある」「多様な国の料理店がある」「多様な国籍の人が済んでいる」は日本人と10ポイント以上の差がある。一方、日本人の方が割合が高い項目は、「文化施設が多い」「地域の交流がある」「ものづくりが盛んである」で5ポイント以上の差がある。

図表 台東区の魅力 (複数回答)



※外国人調査票と日本人調査票に一部相違がある。外国人調査票の選択肢「同国人のコミュニティがある」は、日本人調査票の選択肢には含めていない。

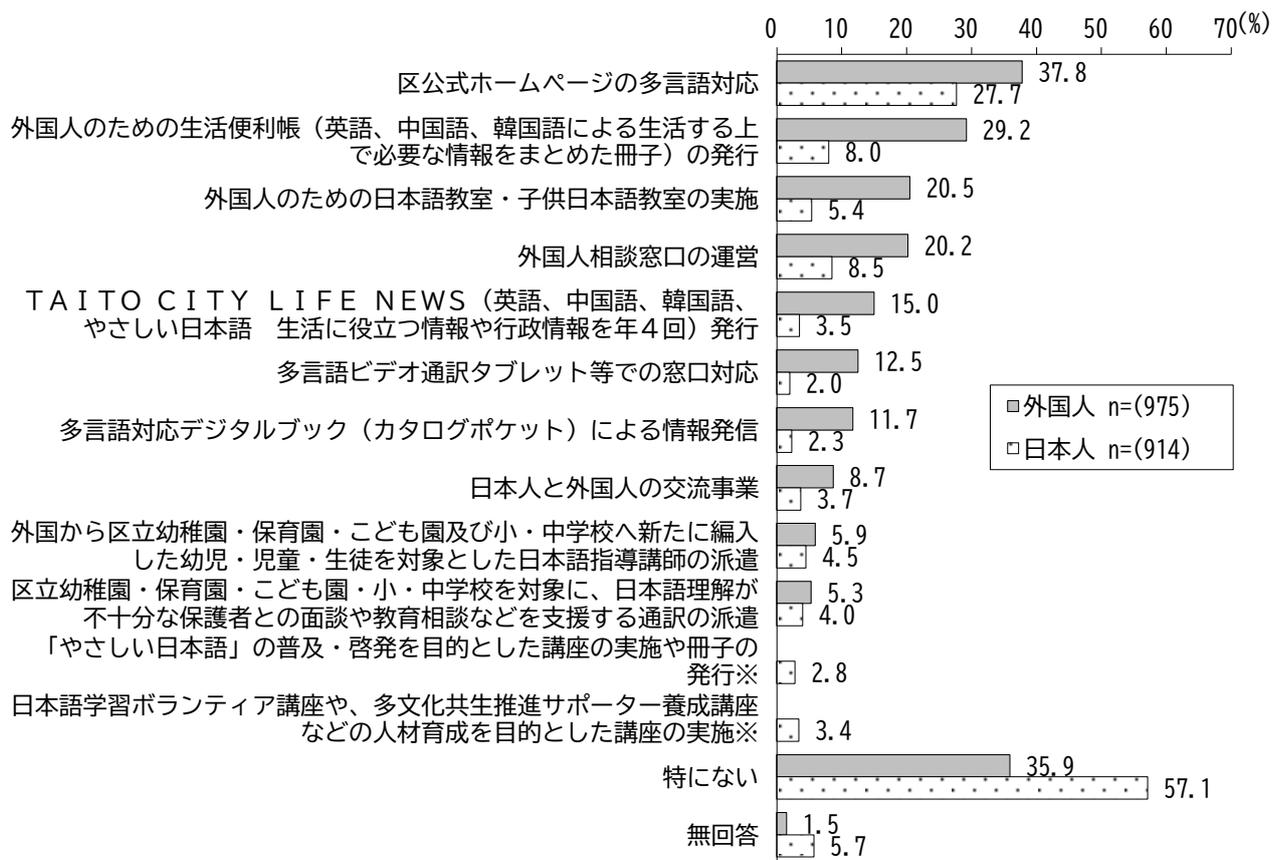
## 2. 台東区の実施について

### (1) 多文化共生に関するサービスや取組の認知度（外国人：問20、日本人：問25）

日本人は、「特になし」が57.1%と最も高く、外国人でも35.9%となっている。知っているサービスや取組としては、外国人・日本人ともに「区公式ホームページの多言語対応」が最も高く、次いで、外国人では「外国人のための生活便利帳（英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子）の発行」、日本人では「外国人相談窓口の運営」となっている。

外国人の上位6項目は日本人よりも10ポイント以上高くなっている。

図表 多文化共生に関するサービスや取組の認知度（複数回答）



※外国人調査票と日本人調査票に一部相違がある。外国人調査票の設問では「台東区で実施している外国人を対象としたサービスや取組を知っていますか」としており、日本人調査の設問では「台東区が実施している多文化共生に関する取組で知っているものは何ですか」としている。

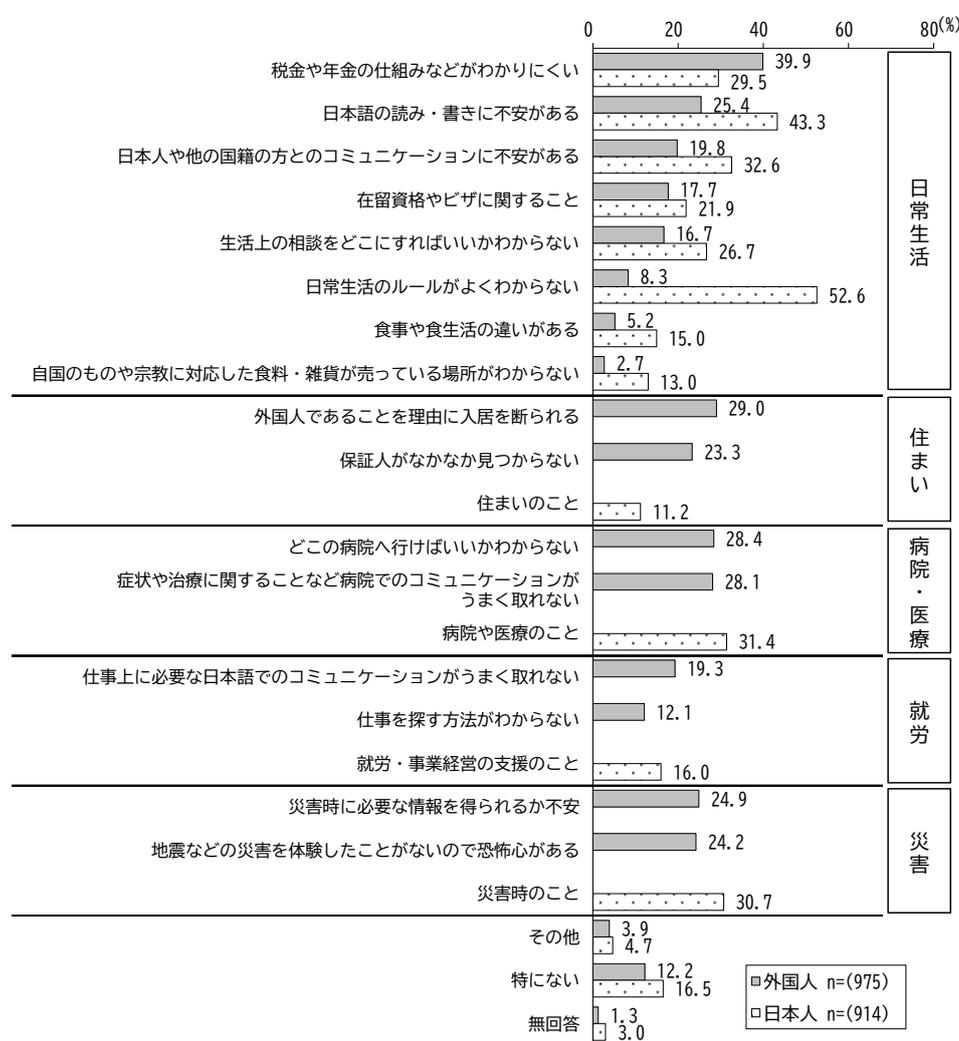
また、日本人調査票の選択肢「「やさしい日本語」の普及・啓発を目的とした講座の実施や冊子の発行」「日本語学習ボランティア講座や、多文化共生推進サポーター養成講座などの人材育成を目的とした講座の実施」は、外国人調査票の選択肢には入っていない。

### 3. 日頃の暮らしについて

(1) 日本での生活で、外国人が困っていることや心配なこと（外国人：問23、日本人：問20）

日本人が思う外国人が困っていることや心配なことは、「日常生活のルールがよくわからない」(52.6%)、「日本語の読み・書きに不安がある」(43.3%)等の割合が高くなっている。一方、外国人は、多くの項目が日本人よりも割合が低く、特に「日常生活のルールがよくわからない」は8.3%と日本人と40ポイント以上の差があり、困っていることに対して、外国人と日本人の認識に差異があることがわかる。なお、外国人は、困っていることや心配なこととして「税金や年金の仕組みなどがわかりにくい」(39.9%)が最も高い。

図表 日本での生活で、外国人が困っていることや心配なこと（複数回答）



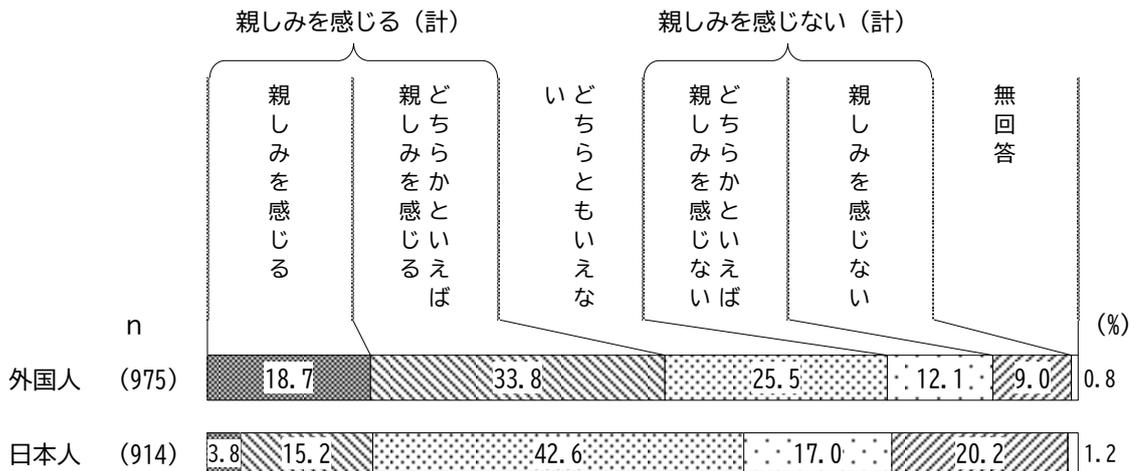
※外国人調査票と日本人調査票に一部相違がある。外国人調査票の設問では「あなたは、日本での生活で、困っていることや心配なことはありますか」としており、日本人調査の設問では「地域に暮らす外国人が困っていたり、不安を感じていたりすることは何だと思えますか（あるいは何ですか）」としている。  
また、「住まい」「病院・医療」「就労」「災害」については、外国人調査票の上位2項目のみを抜粋して掲載している。

#### 4. 地域に暮らす外国人と日本人とのかかわりについて

##### (1) 地域の外国人と日本人の相互の親しみ度合（外国人：問33、日本人：問11）

地域の外国人と日本人に対する互いの親しみ度合については、「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」の合計「親しみを感じる（計）」の割合は、外国人で52.5%に対し、日本人で19.0%と30ポイント以上の差があり、両者の意識に大きな差がみられる。

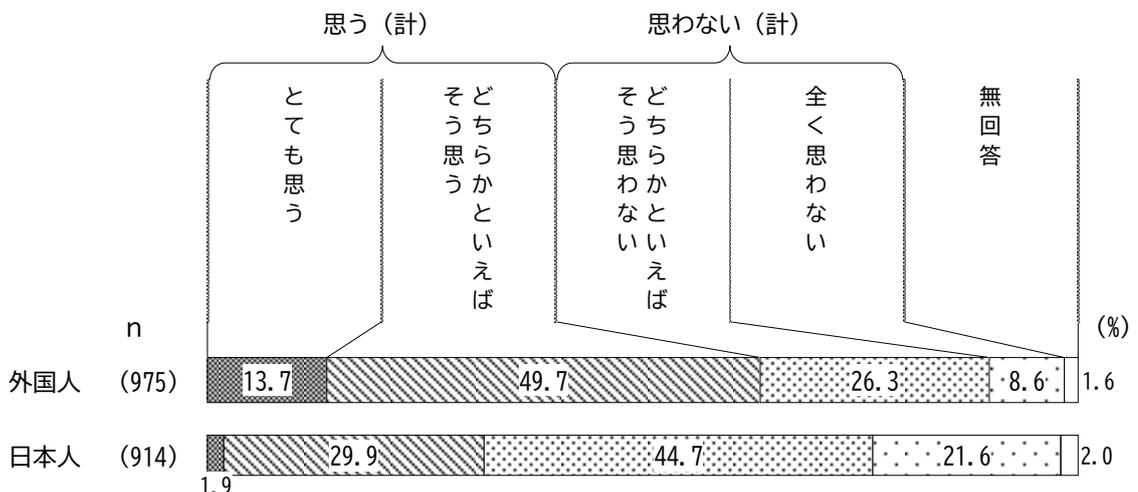
図表 地域の外国人と日本人の相互の親しみ度合（単一回答）



##### (2) 外国人と日本人の地域における相互コミュニケーション（外国人：問34、日本人：問12）

地域の中で日本人と外国人が互いにコミュニケーションをとれていると思うかについては、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」の合計「思う（計）」の割合は、外国人で63.4%に対し、日本人は31.8%と30ポイント以上の差があり、両者の間でコミュニケーションの実感に大きな差がみられる。

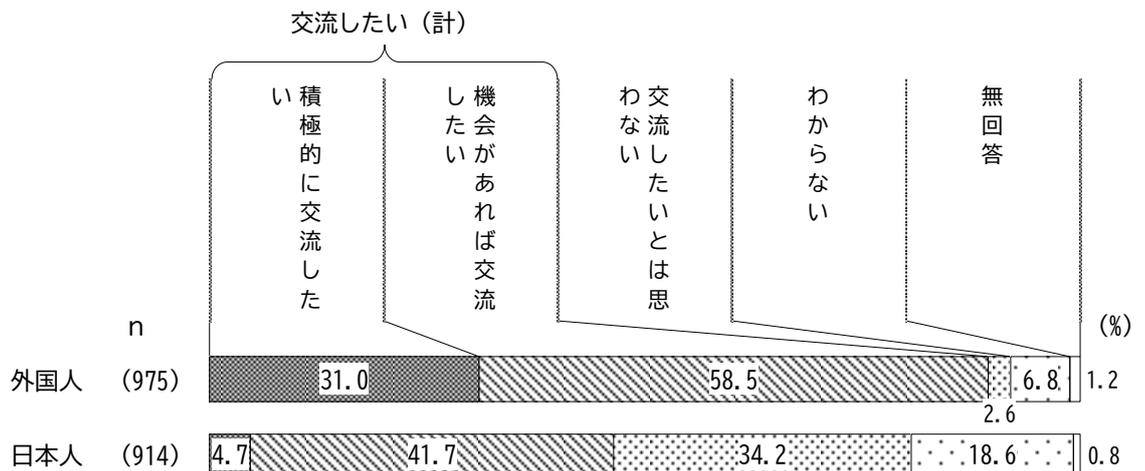
図表 外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか（単一回答）



(3) 地域に暮らす外国人と日本人の交流意向 (外国人：問35、日本人：問13)

地域に暮らす外国人と日本人の交流意向については、「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計「交流したい(計)」の割合は、外国人で89.5%に対し、日本人で46.4%と40ポイント以上の差があり、外国人の方が交流に前向きな姿勢を示していることがわかる。

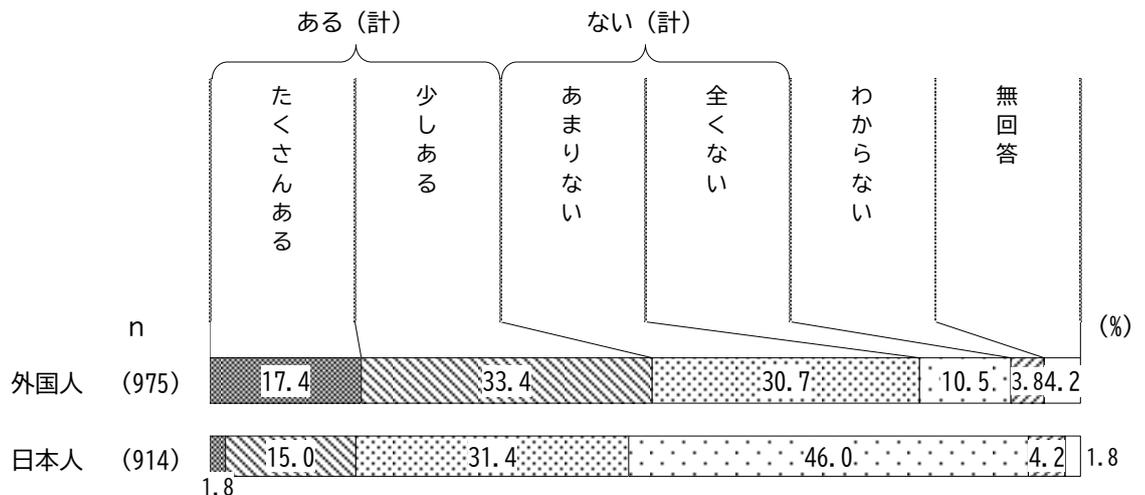
図表 地域に暮らす外国人と日本人の交流意向 (単一回答)



(4) 地域に暮らす外国人と日本人が交流する機会 (外国人：問36、日本人：問14)

地域に暮らす外国人と日本人が交流する機会については、「たくさんある」「少しある」の合計「ある(計)」の割合は、外国人で50.8%に対し、日本人で16.8%と30ポイント以上の差があり、外国人の方が交流する機会が多いと感じていることがわかる。

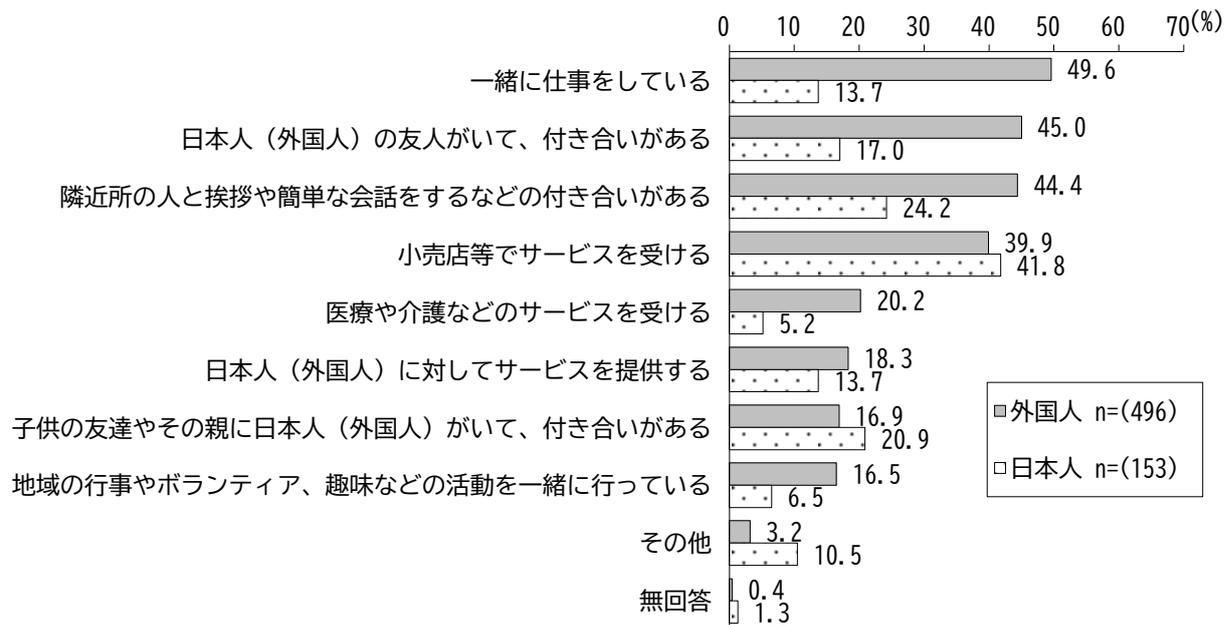
図表 地域に暮らす外国人と日本人が交流する機会 (単一回答)



(5) 地域内で外国人と日本人がかかわる場面（外国人：問36-2、日本人：問14-2）

地域に暮らす外国人・日本人との交流の機会が、「たくさんある」「少しある」と回答した人に、地域内で外国人と日本人がかかわる場面について聞いたところ、日本人は「小売店等でサービスを受ける」(41.8%)が最も高いが、外国人はそれ以上に「一緒に仕事をしている」(49.6%)、「日本人の友人がいて、付き合いがある」(45.0%)、「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」(44.4%)の割合が高くなっている。外国人の方が、職場・友人・近所など日常の中で比較的親密な関わりを実感する人が多いことがうかがえる。

図表 地域内で外国人と日本人がかかわる場面（複数回答）



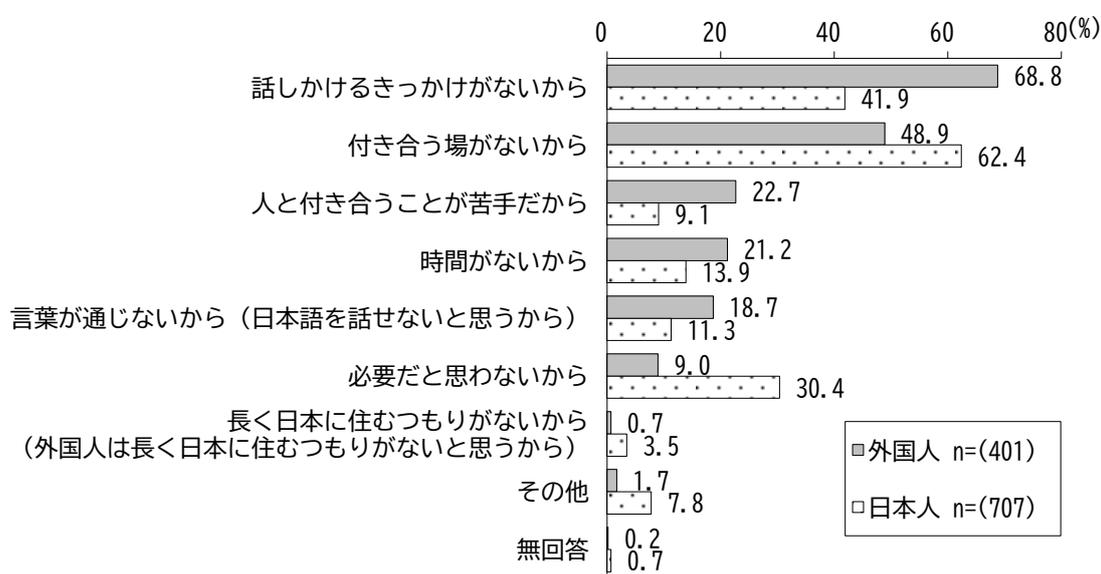
※外国人調査票と日本人調査票に一部相違がある。外国人調査票の選択肢を基本として記載し、相違箇所（ ）として日本人調査票の文言を記載している。

(6) 地域内で外国人と日本人が交流する機会がない理由

(外国人：問36-3、日本人：問14-3)

地域に暮らす外国人・日本人との交流の機会が、「全くない」「あまりない」と回答した人に、地域内で外国人と日本人が交流する機会がない理由について聞いたところ、外国人では「話しかけるきっかけがないから」(68.8%)、「付き合う場がないから」(48.9%)の順であるのに対し、日本人では「付き合う場がないから」(62.4%)が「話しかけるきっかけがないから」(41.9%)を上回る。このほか、外国人の方が割合が高い項目は「人とつき合うことが苦手だから」「時間がないから」「言葉が通じないから」で、日本人の方が割合が高い項目は「必要だと思わないから」となっている。

図表 地域内で外国人と日本人が交流する機会がない理由（複数回答）



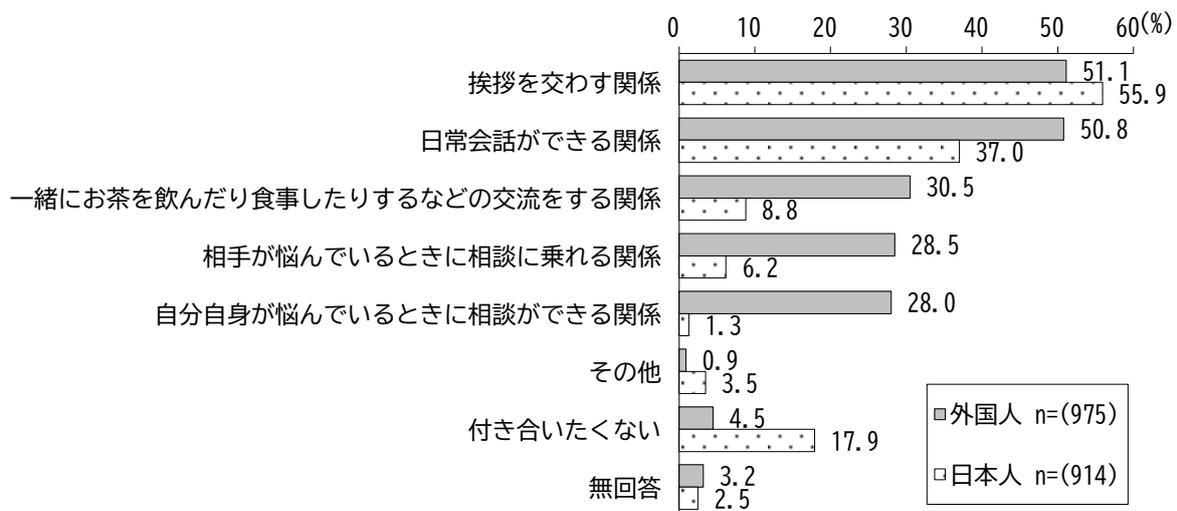
※外国人調査票と日本人調査票に一部相違がある。外国人調査票の選択肢を基本として記載し、相違箇所（ ）として日本人調査票の文言を記載している。

(7) 地域の外国人と日本人がどのようなつき合いをしていきたいか

(外国人：問37、日本人：問15)

外国人・日本人ともに「挨拶を交わす関係」が最も高く、51.1%・55.9%となっており、日常的なつき合いへのニーズに差はみられない。一方で、「挨拶を交わす関係」「付き合いたくない」以外の項目は、外国人の方が10ポイント以上高くなっている。特に「一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係」「相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係」「自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係」は日本人で10%未満であるのに対し、外国人では20%～30%台であり、外国人の方がより親しいつき合いを望む傾向が顕著となっている。

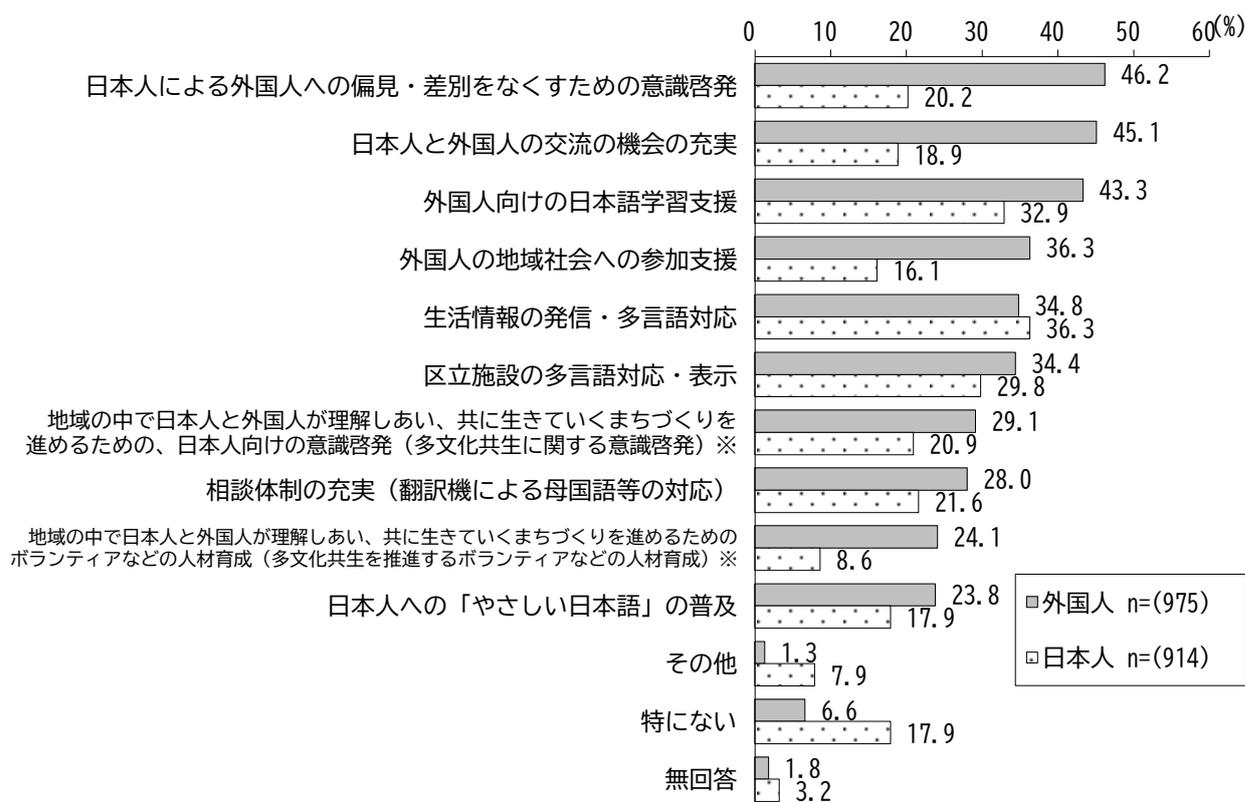
図表 地域の外国人と日本人がどのようなつき合いをしていきたいか（複数回答）



(8) 台東区が力を入れるべきだと思うこと（外国人：問40、日本人：問26）

台東区が力を入れるべきだと思うことをみると、ほとんどの項目で外国人の方が割合が高くなっており、特に「日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」（46.2%）、「日本人と外国人の交流の機会の充実」（45.1%）、「外国人向けの日本語学習支援」（43.3%）が40%台となっている。一方、日本人は「生活情報の発信・多言語対応」（36.3%）が最も高く、次いで「外国人向けの日本語学習支援」（32.9%）、「区立施設の多言語対応・表示」（29.8%）と、行政サービスの分かりやすさや多言語対応へのニーズが多く、外国人の順位とは差異がみられる。

図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと（複数回答）



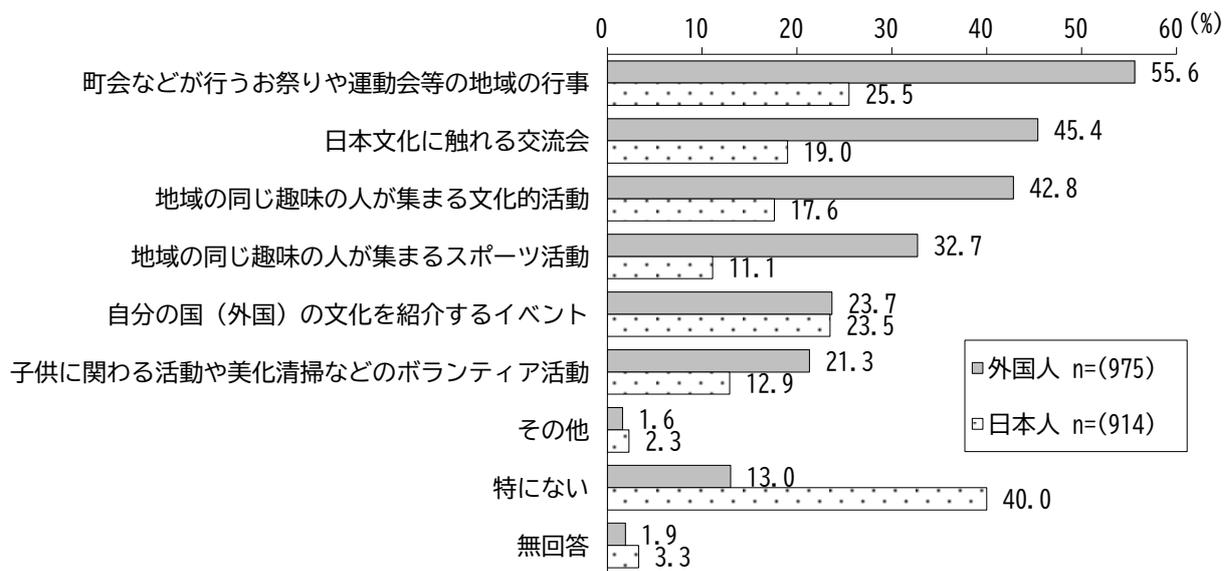
※外国人調査票と日本人調査票に一部相違がある。外国人調査票の選択肢を基本として記載し、相違箇所（ ）として日本人調査票の文言を記載している。

## 5. 地域での活動について

### (1) 今後参加したい地域の活動（外国人：問42、日本人：問27）

日本人は、「特にない」が40.0%と最も高く、外国人（13.0%）よりも27ポイント高い。今後参加したい地域の活動としては、外国人・日本人ともに「町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」が最も高くなっている。ほとんどの項目で外国人の方が割合が高くなっており、外国人の上位4項目は日本人と20ポイント以上の差があり、外国人の方が地域活動へより積極的に関わりたいと考えていることがうかがえる。

図表 今後参加したい地域の活動（複数回答）



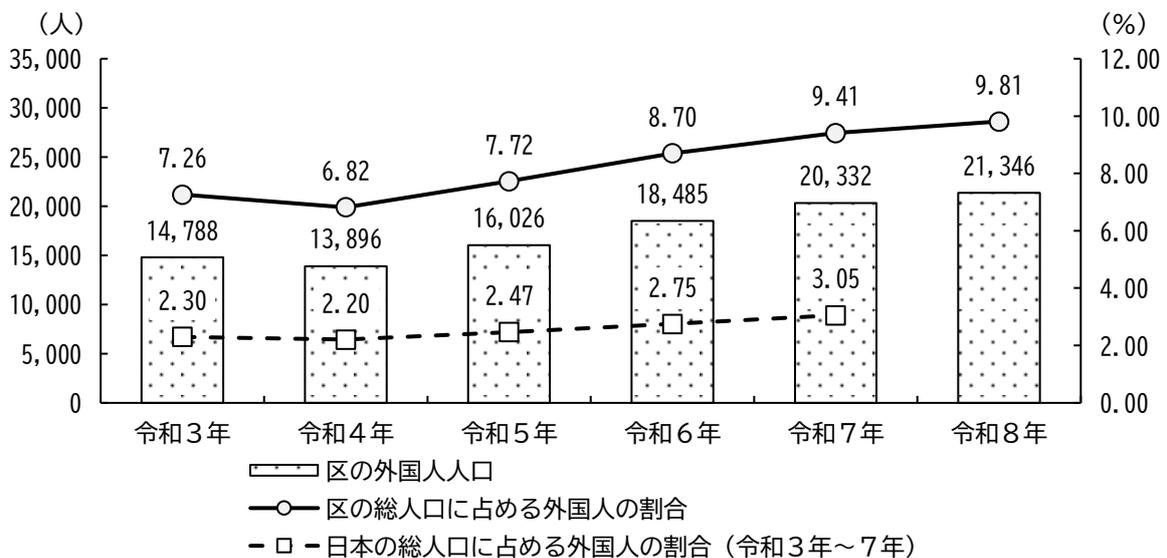
※外国人調査票と日本人調査票に一部相違がある。外国人調査票の設問では「今後は、どのような地域の活動に参加したいですか」としており、日本人調査票の設問では「地域で暮らす外国人との理解を促進するためにどのような地域の活動に参加したいですか」としている。選択肢も一部相違があるため、外国人調査票の選択肢を基本として記載し、相違箇所には（ ）として日本人調査票の文言を記載している。

## 第6章 資料編



## 1. 台東区のデータ

### (1) 台東区の外国人人口・割合と日本の総人口に占める外国人割合の推移



出典：出入国在留管理庁、総務省統計局、東京都の統計（令和3年～7年）（各年1月1日現在）  
 資料：台東区住民基本台帳（令和8年1月1日現在）

### (2) 国籍・地域別人口の推移

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
人口総数	203,647	203,709	207,479	212,388	216,084	217,512
日本人	188,859	189,813	191,453	193,903	195,752	196,166
外国人	14,788	13,896	16,026	18,485	20,332	21,346
中国	6,741	6,128	7,443	9,031	9,882	10,466
韓国	2,860	2,769	2,764	2,816	2,824	2,799
バトナム	732	749	819	954	1,135	1,048
ネパール	417	360	393	561	815	901
フィリピン	734	712	758	776	838	848
台湾	475	441	551	653	769	829
インド	675	675	750	775	799	804
ミャンマー	102	125	179	274	395	529
米国	293	290	332	330	365	408
タイ	338	329	348	367	375	385
その他	1,421	1,318	1,689	1,948	2,135	2,329

出典：東京都の統計（令和3年～7年）（各年1月1日現在）  
 資料：台東区住民基本台帳（令和8年1月1日現在）

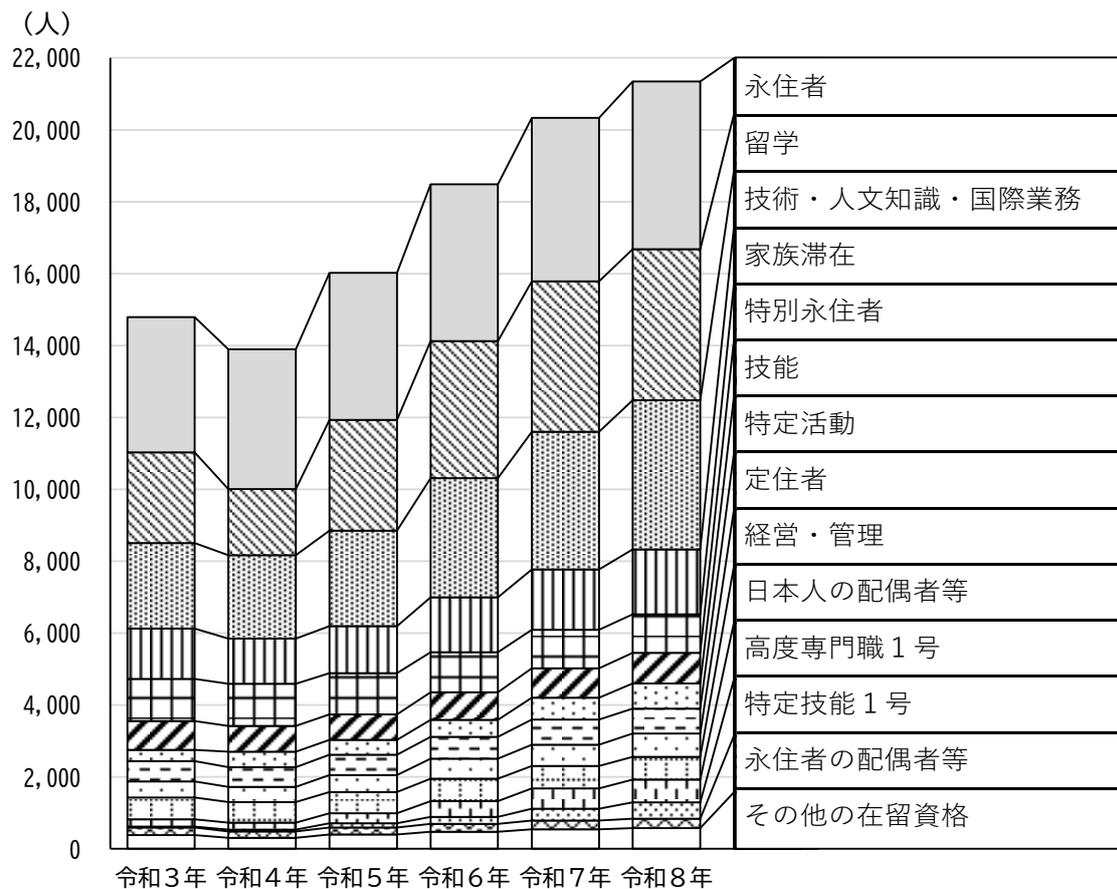
(3) 国籍・地域別人口一覽

(人)

NO	国籍・地域	男	女	計	NO	国籍・地域	男	女	計
1	アフガニスタン	13	0	13	56	レバノン	1	0	1
2	アルジェリア	4	0	4	57	ルクセンブルク	1	0	1
3	アルゼンチン	5	3	8	58	ラトビア	3	2	5
4	オーストラリア	50	22	72	59	リトアニア	4	3	7
5	オーストリア	5	5	10	60	マダガスカル	1	0	1
6	ベルギー	7	2	9	61	マレーシア	44	37	81
7	ボリビア	1	2	3	62	メキシコ	11	11	22
8	ブラジル	44	15	59	63	モンゴル	26	40	66
9	ブルガリア	1	2	3	64	モロッコ	3	2	5
10	ミャンマー	236	293	529	65	マラウイ	1	0	1
11	バングラデシュ	37	9	46	66	ネパール	502	399	901
12	ベラルーシ	5	1	6	67	オランダ	14	3	17
13	カンボジア	14	11	25	68	ニュージーランド	7	4	11
14	カメルーン	1	0	1	69	ニカラグア	0	1	1
15	カナダ	61	31	92	70	ナイジェリア	7	0	7
16	スリランカ	108	56	164	71	ノルウェー	7	2	9
17	チリ	10	1	11	72	パキスタン	36	6	42
18	中国	5,109	5,357	10,466	73	パラグアイ	0	1	1
19	台湾	389	440	829	74	ペルー	9	5	14
20	コロンビア	9	6	15	75	フィリピン	276	572	848
21	コンゴ共和国	2	0	2	76	ポーランド	10	8	18
22	コンゴ民主共和国	2	0	2	77	ポルトガル	7	3	10
23	コスタリカ	1	2	3	78	ルーマニア	3	5	8
24	キューバ	1	2	3	79	ルワンダ	1	0	1
25	キプロス	2	3	5	80	ロシア	44	60	104
26	クオアチア	2	0	2	81	サウジアラビア	1	3	4
27	チェコ	1	0	1	82	セネガル	2	0	2
28	デンマーク	4	0	4	83	スペイン	30	24	54
29	ドミニカ共和国	1	1	2	84	スウェーデン	11	3	14
30	エクアドル	0	1	1	85	スイス	15	3	18
31	エルサルバドル	1	2	3	86	シンガポール	28	25	53
32	エチオピア	18	3	21	87	セントクリストファー・ネイビス	1	0	1
33	エストニア	5	0	5	88	タイ	121	264	385
34	フィンランド	2	3	5	89	チュニジア	17	3	20
35	フランス	136	54	190	90	トルコ	34	7	41
36	フィジー	0	1	1	91	トルクメニスタン	1	0	1
37	ドイツ	49	20	69	92	タジキスタン	1	0	1
38	ガーナ	3	0	3	93	ウガンダ	0	1	1
39	ギリシャ	4	2	6	94	南アフリカ共和国	2	3	5
40	ホンジュラス	0	1	1	95	エジプト	5	4	9
41	ハンガリー	5	3	8	96	英国	111	37	148
42	インド	492	312	804	97	米国	289	119	408
43	インドネシア	148	81	229	98	ウクライナ	17	32	49
44	イラン	15	4	19	99	ウズベキスタン	121	12	133
45	イラク	1	0	1	100	ベネズエラ	4	0	4
46	アイルランド	6	0	6	101	ベトナム	485	563	1,048
47	イスラエル	5	3	8	102	バヌアツ	4	0	4
48	イタリア	45	33	78	103	ジンバブエ	2	1	3
49	ヨルダン	1	1	2	104	アゼルバイジャン	1	0	1
50	朝鮮	55	19	74	105	スロベニア	1	0	1
51	韓国	1,391	1,408	2,799	106	スロバキア	4	0	4
52	ケニア	1	1	2	107	ボスニア・ヘルツェゴビナ	0	1	1
53	キルギス	1	1	2	108	セルビア	1	0	1
54	カザフスタン	3	6	9	109	無国籍・その他	4	4	8
55	ラオス	3	4	7					

資料：台東区住民基本台帳（令和8年1月1日現在）

(4) 在留資格別人口の推移



(人)

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
永住者	3,759	3,885	4,095	4,361	4,543	4,668
留学	2,521	1,842	3,077	3,810	4,188	4,196
技術・人文知識・国際業務	2,382	2,324	2,660	3,319	3,827	4,151
家族滞在	1,402	1,255	1,305	1,529	1,679	1,805
特別永住者	1,171	1,167	1,148	1,110	1,076	1,070
技能	801	724	710	765	819	856
特定活動	310	425	416	474	608	698
定住者	566	553	565	607	698	693
経営・管理	446	420	474	560	586	652
日本人の配偶者等	609	573	586	625	627	632
高度専門職1号	206	191	277	435	561	631
特定技能1号	20	51	117	199	337	460
永住者の配偶者等	209	183	193	213	241	262
その他の在留資格	386	303	403	478	542	572
合計	14,788	13,896	16,026	18,485	20,332	21,346

※「高度専門職1号」は「高度専門職1号イ」「高度専門職1号ロ」「高度専門職1号ハ」を合計した数

資料：台東区住民基本台帳（各年1月1日現在）

(5) 在留資格一覧表

就労が認められる在留資格（活動制限あり）

在留資格	該当例	在留期間
外交	外国政府の大使、公使、総領事、代表団構成員等及びその家族	外交活動の期間
公用	外国政府の大使館・領事館の職員、国際機関等から公の用務で派遣される者等及びその家族	5年、3年、1年、3月、30日又は15日
教授	大学教授等	5年、3年、1年又は3月
芸術	作曲家、画家、著述家等	5年、3年、1年又は3月
宗教	外国の宗教団体から派遣される宣教師等	5年、3年、1年又は3月
報道	外国の報道機関の記者、カメラマン	5年、3年、1年又は3月
高度専門職	ポイント制による高度人材	(1号) 5年
		(2号) 無期限
経営・管理	企業等の経営者・管理者	5年、3年、1年、6月、4月又は3月
法律・会計業務	弁護士、公認会計士等	5年、3年、1年又は3月
医療	医師、歯科医師、看護師	5年、3年、1年又は3月
研究	政府関係機関や私企業等の研究者	5年、3年、1年又は3月
教育	中学校・高等学校等の語学教師等	5年、3年、1年又は3月
技術・人文知識・国際業務	機械工学等の技術者、通訳、デザイナー、私企業の語学教師、マーケティング業務従事者等	5年、3年、1年又は3月
企業内転勤	外国の事業所からの転勤者	5年、3年、1年又は3月
介護	介護福祉士	5年、3年、1年又は3月
興行	俳優、歌手、ダンサー、プロスポーツ選手等	3年、1年、6月、3月又は30日
技能	外国料理の調理師、スポーツ指導者、航空機の操縦者、貴金属等の加工職人等	5年、3年、1年又は3月
特定技能	(1号) 特定産業分野に属する相当程度の知識又は経験を要する技能を要する業務に従事する外国人	法務大臣が個々に指定する期間（3年を超えない範囲）
	(2号) 特定産業分野に属する熟練した技能を要する業務に従事する外国人	3年、2年、1年又は6月
技能実習	技能実習生	(1号) 法務大臣が個々に指定する期間（1年を超えない範囲）
		(2号) 法務大臣が個々に指定する期間（2年を超えない範囲）
		(3号) 法務大臣が個々に指定する期間（2年を超えない範囲）

## 身分・地位に基づく在留資格（活動制限なし）

在留資格	該当例	在留期間
永住者	法務大臣から永住の許可を受けた者（入管特例法の「特別永住者」を除く。）	無期限
日本人の配偶者等	日本人の配偶者・子・特別養子	5年、3年、1年又は6月
永住者の配偶者等	永住者・特別永住者の配偶者及び本邦で出生し引き続き在留している子	5年、3年、1年又は6月
定住者	第三国定住難民、日系3世、中国残留邦人等	5年、3年、1年、6月又は法務大臣が個々に指定する期間（5年を超えない範囲）

## 就労の可否は指定される活動によるもの

在留資格	該当例	在留期間
特定活動	外交官等の家事使用人、ワーキング・ホリデー、経済連携協定に基づく外国人看護師・介護福祉士候補者等	5年、3年、1年、6月、3月又は法務大臣が個々に指定する期間（5年を超えない範囲）

## 就労が認められない在留資格（※）

在留資格	該当例	在留期間
文化活動	日本文化の研究者等	3年、1年、6月又は3月
短期滞在	観光客、会議参加者等	90日若しくは30日又は15日以内の日を単位とする期間
留学	大学、短期大学、高等専門学校、高等学校、中学校及び小学校等の学生・生徒	法務大臣が個々に指定する期間（4年3月を超えない範囲）
研修	研修生	1年、6月又は3月
家族滞在	在留外国人が扶養する配偶者・子	法務大臣が個々に指定する期間（5年を超えない範囲）

（※）資格外活動許可を受けた場合は、一定の範囲内で就労が認められる

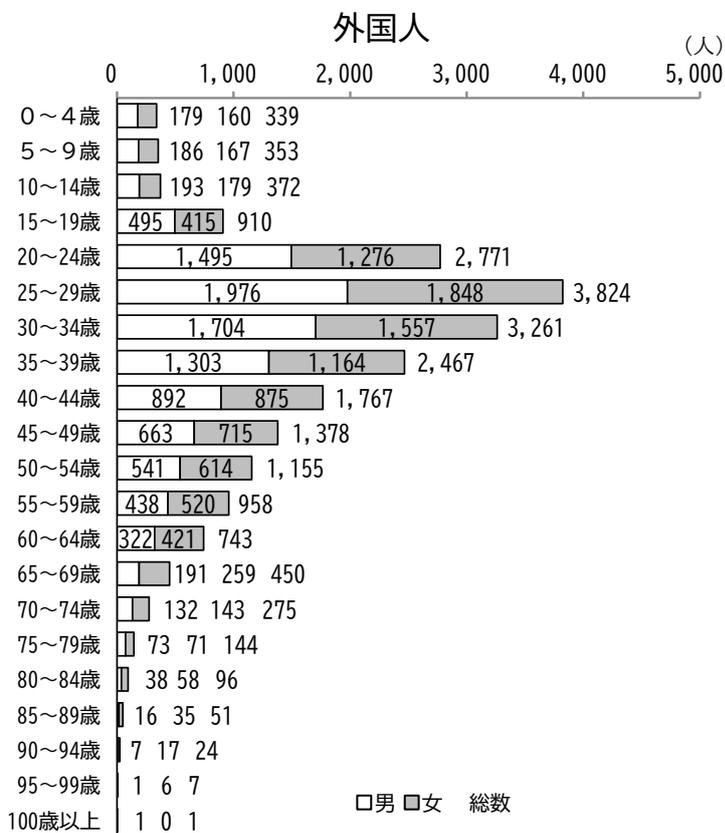
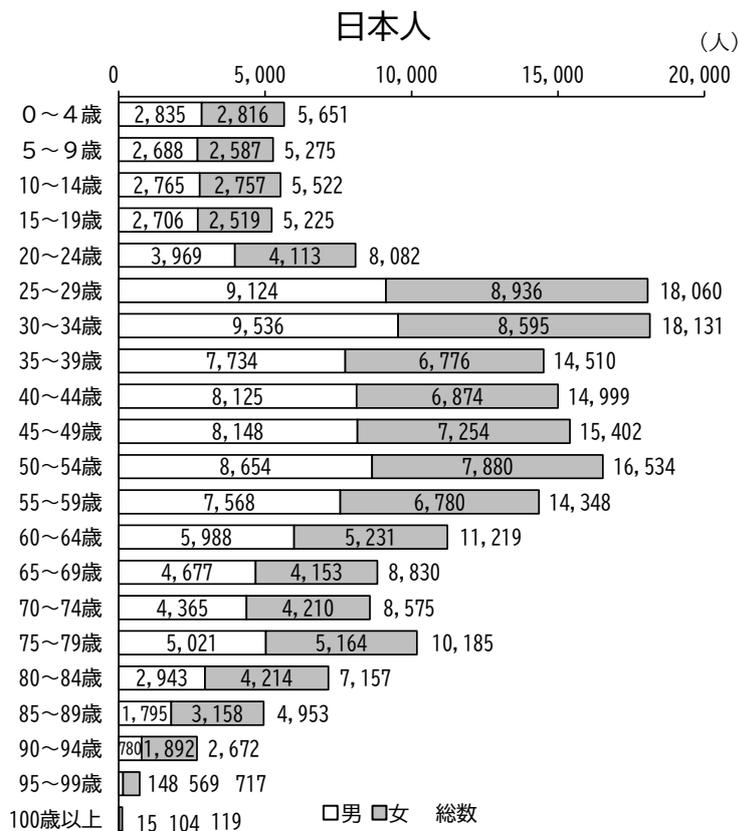
出典：出入国在留管理庁

(6) 地区別世帯人口総数

地区名	世帯数			人口							
	日本人のみ	外国人のみ	混合世帯	男			女			計	
				日本人	外国人	計	日本人	外国人	計		
				男			女			男女計	
日本人のみ	外国人のみ	混合世帯	日本人	外国人	計	日本人	外国人	計	日本人	外国人	計
竹町	5,938	1,128	96	4,908	892	7,162	4,178	688	9,086	1,580	10,666
東上野	3,834	897	64	3,136	628	4,795	2,973	514	6,109	1,142	7,251
上野	4,842	531	104	4,138	402	5,477	4,214	403	8,352	805	9,157
入谷	14,974	2,566	302	12,160	1,742	17,842	12,075	1,760	24,235	3,502	27,737
金杉	13,220	1,818	265	10,775	1,230	15,303	10,979	1,340	21,754	2,570	24,324
谷中	5,643	330	89	4,936	248	6,062	5,228	229	10,164	477	10,641
浅草橋	10,312	1,553	125	8,021	1,073	11,990	7,837	946	15,858	2,019	17,877
浅草寿	18,011	2,021	244	14,405	1,485	20,276	15,139	1,414	29,544	2,899	32,443
雷門	12,432	1,299	202	10,170	910	13,933	10,501	856	20,671	1,766	22,437
馬道	15,228	1,755	260	12,271	1,143	17,243	11,670	1,242	23,941	2,385	26,326
清川	16,774	1,472	277	14,664	1,093	18,523	11,788	1,108	26,452	2,201	28,653
総数	121,208	15,370	2,028	99,584	10,846	138,606	96,582	10,500	196,166	21,346	217,512

資料：台東区住民基本台帳（令和8年1月1日現在）

(7) 年齢別人口



資料：台東区住民基本台帳（令和8年1月1日現在）

## 2. アンケート調査票

### (1) 外国人意識調査 アンケート調査票

#### 令和7年度 台東区多文化共生意識調査 (外国人用)

#### 1. あなたご自身について

問1 あなたの性別をお選びください。(ひとつだけ○)

1 男性	2 女性	3 1・2 にあてはまらない
------	------	----------------

問2 あなたの年齢をお答えください。(ひとつだけ○)

1 18～19歳	3 30～39歳	5 50～59歳	7 70～79歳
2 20～29歳	4 40～49歳	6 60～69歳	8 80歳以上

問3 あなたの国籍・出身地域をお選びください。(ひとつだけ○)

1 中国	6 ネパール	11 アメリカ
2 韓国	7 インド	12 フランス
3 朝鮮	8 台湾	13 その他
4 ベトナム	9 ミャンマー	( )
5 フィリピン	10 タイ	14 無国籍

問4 あなたの日本での在留資格をお選びください。(ひとつだけ○)

1 外交	11 研究	21 短期滞在
2 公用	12 教育	22 留学
3 教授	13 技術・人文知識・国際業務	23 研修
4 芸術	14 企業内転勤	24 家族滞在
5 宗教	15 介護	25 特定活動
6 報道	16 興行	26 永住者・特別永住者
7 高度専門職	17 技能	27 日本人の配偶者等
8 経営・管理	18 特定技能	28 永住者の配偶者等
9 法律・会計業務	19 技能実習	29 定住者
10 医療	20 文化活動	

#### 台東区 多文化共生に関するアンケート調査(外国人用) 調査ご協力をお願いします

日頃より、区政運営にご協力いただきありがとうございます。  
現在、台東区には多くの在住外国人が生活しています。その割合は年々増加しており、今後さらなる増加が予想されています。区では、日本人と外国人が相互に理解・尊重し合い、誰もが地域社会の一員として活躍できる社会の実現を目指して、令和3(2021)年度に「台東区多文化共生推進プラン」を計画期間5年として策定し、これまで様々な施策を展開してきたところですが、その間、日本語教育機関認定法の成立や入管法等の改正等、在住外国人を取り巻く状況が変化してきました。

本調査は日本人及び在住外国人の皆様の声をお聴きして、今後の「多文化共生推進プラン」策定の基礎資料とし、さらには誰もが地域社会の一員として活躍できる社会を実現するために実施するものです。つきましては、ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解のうえご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、本調査の送付は、令和7(2025)年6月時点の住民記録の情報を基に、18歳以上の方へ無作為に行なっております。変更や行き違い等がございましたらご容赦ください。また、お答えいただいた内容は、すべて統計的な数値として処理しますので、個人の特定やプライバシーに関わる内容の公表をすることは一切ございません。

また、「台東区」の多文化共生推進に関する取り組みをご紹介しますので、あわせてご覧下さいますようお願いいたします。

令和7(2025)年9月 台東区

#### 【ご記入にあたってのお願い】

1. 封入されている2種類の調査票は同じ内容です。どちらか1つにご回答ください。
2. この調査票は、宛名のご本人がご記入ください。
3. ご回答は、当てはまる項目の番号を○で囲んでください。

記入例)

問. あなたは、多文化共生に関心がありますか。  
①. ある      2. 少しある      3. ない

回答が「その他」に当てはまる場合は、その番号を○で囲み( )内に具体的な内容をご記入ください。

4. ご回答方法は2通りございます。(いずれかの方法でご回答ください)

- ①本調査票・・・回答をご記入の上、同封の返信用封筒でご返送ください。(切手は不要です)
- ②WEB ページ・・・下記 URL または二次元コードより、回答ページへアクセスしてご回答ください。

<台東区 多文化共生に関するアンケート調査回答ページ>

<https://en.surece.co.jp/taito-mcls-ml/>

ID: ●●●●

Pass: ●●●●



5. ご回答は、10月1日(水)までをお願いします。

<お問い合わせ先>

台東区 総務部 人権・多様性推進課  
TEL:03-5246-1116

問5 あなたのお住まいは、次のうちどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

- |   |           |   |                     |
|---|-----------|---|---------------------|
| 1 | 持ち家(一戸建て) | 5 | 公社・都市再生機構(旧公団)・公営住宅 |
| 2 | 持ち家(集合住宅) | 6 | 社宅・官舎               |
| 3 | 借家(一戸建て)  | 7 | 間借り・住み込み・寮          |
| 4 | 借家(集合住宅)  | 8 | その他( )              |

問6 あなたのお仕事は、大きく分けて以下の中のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

- |   |              |    |           |
|---|--------------|----|-----------|
| 1 | 会社勤務(経営者・役員) | 6  | パート・アルバイト |
| 2 | 会社勤務(一般正社員)  | 7  | 専業主婦・主夫   |
| 3 | 自営業者         | 8  | 学生        |
| 4 | 公務員・団体職員     | 9  | 無職        |
| 5 | 契約・嘱託・派遣社員   | 10 | その他( )    |

問7 あなたは結婚していますか。(ひとつだけ○)

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| 1 | 未婚                    |
| 2 | 結婚している(配偶者は同国人)       |
| 3 | 結婚している(配偶者は日本人)       |
| 4 | 結婚している(配偶者は日本人・同国人以外) |
| 5 | 離婚・死別                 |

問8 あなたが現在一緒に住んでいる人はどなたですか。(当てはまるもの全てに○)

- |   |                  |   |        |
|---|------------------|---|--------|
| 1 | 配偶者・パートナー        | 5 | 親戚     |
| 2 | 子供 ⇒ 問8-2        | 6 | 友人・知人  |
| 3 | 兄弟姉妹             | 7 | その他( ) |
| 4 | 自分または配偶者・パートナーの親 | 8 | いない    |

問8-2 【問8で「2 子供」と回答した方にお聞きします。】あなたの子供は何歳ですか。(当てはまるもの全てに○)

- |   |                        |
|---|------------------------|
| 1 | 小学校に通う年齢未満(6歳未満)の子供がいる |
| 2 | 小学校に通う年齢(6~12歳)の子供がいる  |
| 3 | 中学校に通う年齢(13~15歳)の子供がいる |
| 4 | 高校に通う年齢(16~18歳)の子供がいる  |
| 5 | 19歳以上の子供がいる            |

問9 あなたは、日本にどのくらい住んでいますか。(ひとつだけ○)

- |   |          |   |           |   |           |
|---|----------|---|-----------|---|-----------|
| 1 | 6か月未満    | 4 | 3年~5年未満   | 7 | 20年~50年未満 |
| 2 | 6か月~1年未満 | 5 | 5年~10年未満  | 8 | 50年以上     |
| 3 | 1年~3年未満  | 6 | 10年~20年未満 |   |           |

問10 あなたは、台東区にどのくらい住んでいますか。(ひとつだけ○)

- |   |          |   |           |   |           |
|---|----------|---|-----------|---|-----------|
| 1 | 6か月未満    | 4 | 3年~5年未満   | 7 | 20年~50年未満 |
| 2 | 6か月~1年未満 | 5 | 5年~10年未満  | 8 | 50年以上     |
| 3 | 1年~3年未満  | 6 | 10年~20年未満 |   |           |

問11 あなたの住んでいる地域を把握するため封筒のお名前のお前の右下にある1~11の数字を選択してください。(ひとつだけ○)

- |   |       |   |       |    |      |
|---|-------|---|-------|----|------|
| 1 | 竹町地区  | 5 | 金杉地区  | 9  | 雷門地区 |
| 2 | 東上野地区 | 6 | 谷中地区  | 10 | 馬道地区 |
| 3 | 上野地区  | 7 | 浅草橋地区 | 11 | 清川地区 |
| 4 | 入谷地区  | 8 | 浅草地区  |    |      |

問12 台東区の魅力は何だと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

- |   |                    |    |                |
|---|--------------------|----|----------------|
| 1 | 交通の便がいい            | 9  | 観光地が多い         |
| 2 | 住環境がいい             | 10 | 多様な国の料理店がある    |
| 3 | 地域の交流がある           | 11 | 寺社が多い          |
| 4 | 医療・福祉環境がいい         | 12 | 文化施設が多い        |
| 5 | 子育て支援制度・教育環境が整っている | 13 | ものづくりが盛んである    |
| 6 | 防災上安心である           | 14 | 魅力的な商業エリアや店がある |
| 7 | 多様な国籍の人が住んでいる      | 15 | その他( )         |
| 8 | 同国人のコミュニティがある      | 16 | 特になし           |

問13 台東区は暮らしやすいと思いますか。(ひとつだけ○)

- |   |             |   |           |
|---|-------------|---|-----------|
| 1 | とても暮らしやすい   | 4 | 暮らしにくい    |
| 2 | 暮らしやすい      | 5 | どちらともいえない |
| 3 | あまり暮らしやすくない |   |           |

問14 台東区にどのくらいの期間住みたいと思いますか。(ひとつだけ○)

- |   |             |   |           |
|---|-------------|---|-----------|
| 1 | ずっと住み続けたい   | 4 | すぐに引っ越したい |
| 2 | 当分の間、住み続けたい | 5 | わからない     |
| 3 | いずれ引っ越したい   |   |           |

2. ことばについて

問15 わかる言語はどれですか。(当てはまるものを全てに○)  
また、その中で最も得意な言語はどれですか。項目の番号を1つご記入ください。

1	日本語	6	タガログ語	11	スペイン語
2	中国語	7	タイ語	12	ポルトガル語
3	韓国語・朝鮮語	8	ネパール語	13	ヒンディー語
4	英語	9	ドイツ語	14	その他( )
5	ベトナム語	10	フランス語		

最も得意な言語

問16 あなたはどのくらい日本語ができますか。(それぞれひとつに○)

	複雑で難しい日本語でもわかる	仕事で使う日本語はわかる	日常会話ができる	挨拶や通案内などコミュニケーションをとる程度はできる	できない・ほとんどできない
A 聞く	1	2	3	4	5
B 話す	1	2	3	4	5
C 読む	1	2	3	4	5
D 書く	1	2	3	4	5

問17 日本語をどうやって学んでいますか。(当てはまるものを全てに○)

1	民間の日本語教室で勉強している	5	知り合いに教えてもらっている
2	台東区の日本語教室で勉強している	6	テレビ・ラジオ・本などで勉強している
3	ボランティアの日本語サークルで勉強している	7	オンラインで勉強している
4	家庭教師に教えてもらっている	8	その他( )
		9	勉強していない

問18 あなたは今後、日本語を学びたいと思いますか。(ひとつだけ○)

1	積極的に学びたい	3	あまり学びたくない
2	機会があれば学びたい	4	学びたくない
		5	学ぶ必要はない(日常生活で困っていない)

問19 台東区では「外国人のための日本語教室」「子供日本語教室」を開催しています。日本語教室の開催方法などで、より利用しやすくなるためには何が重要だと思いますか。(当てはまるものを全てに○)

1	現在、区で実施している基礎的なレベルだけでなく、より高度なレベルのクラスがある
2	会話を中心としたクラスである
3	少人数・個別指導に対応したクラスである
4	義務教育の子供向けのクラスがある
5	無料または低額で利用できる
6	台東区内の様々な場所で開催している
7	語学を学びながら、日本の生活習慣や台東区での暮らしに関する情報を知ることができ
8	平日に開催している
9	土日開催している
10	日中に開催している
11	夜間に開催している
12	日本語教室の案内が多言語でわかりやすく広報されている
13	子供連れの参加ができる
14	オンラインで参加できるクラスがある
15	語学を学びながら、地域の人々と交流できる
16	その他( )
17	特になし

3. 台東区の取組について

問20 台東区で実施している外国人を対象としたサービスや取組を知っていますか。(当てはまるものを全てに○)

- 1 区公式ホームページの多言語対応
- 2 外国人のための生活便利帳(英語、中国語、韓国語)による生活する上で必要な情報をまとめた冊子)の発行
- 3 TAITO CITY LIFE NEWS(英語、中国語、韓国語、やさしい日本語)による生活に役立つ情報や行政情報を年4回発行する情報紙)の発行
- 4 多言語対応デジタルブック(カタログポケット)による情報発信
- 5 外国人相談窓口の運営
- 6 多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応
- 7 外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施
- 8 日本人と外国人の交流事業
- 9 外国から区立幼稚園・保育園・こども園及び小・中学校へ新たに編入した幼児・児童・生徒を対象とした日本語指導講師の派遣
- 10 区立幼稚園・保育園・こども園及び小・中学校を対象に、日本語の理解が不十分な保護者との面談や教育相談などを支援する通訳の派遣
- 11 特になし

問21 台東区の取組に対して満足していますか。また、その取組はあなたにとってどのくらい必要ですか。(それぞれひとつに○)

【満足度】

	満足	どちらか といえは 満足	どちらか といえは 不満	不満	わからない
A 区立施設が多言語対応、表示	1	2	3	4	5
B 日本語学習支援	1	2	3	4	5
C 生活情報の発信・多言語対応	1	2	3	4	5
D 相談体制の充実・通訳配置(多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応を含む)	1	2	3	4	5
E 防災面の対策	1	2	3	4	5
F 子育て・教育面の支援	1	2	3	4	5
G 医療・福祉面の支援	1	2	3	4	5
H 就労・事業経営の支援	1	2	3	4	5
I 日本人向けの多文化共生に関する意識啓発	1	2	3	4	5
J 日本人と外国人の交流の機会の充実	1	2	3	4	5
K 外国人の地域社会への参加支援	1	2	3	4	5

【必要度】

	必要	どちらか といえは 必要	どちらか といえは 必要では ない	必要では ない	わからな い
A 区立施設の多言語対応・表示	1	2	3	4	5
B 日本語学習支援	1	2	3	4	5
C 生活情報の発信・多言語対応	1	2	3	4	5
D 相談体制の充実・通訳配置(多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応を含む)	1	2	3	4	5
E 防災面の対策	1	2	3	4	5
F 子育て・教育面の支援	1	2	3	4	5
G 医療・福祉面の支援	1	2	3	4	5
H 就労・事業経営の支援	1	2	3	4	5
I 日本人向けの多文化共生に関する意識啓発	1	2	3	4	5
J 日本人と外国人の交流の機会の充実	1	2	3	4	5
K 外国人の地域社会への参加支援	1	2	3	4	5

問22 令和8(2026)年11月の生涯学習センター改修工事後のリニューアルオープンに合わせ、多言語による一元的な外国人相談窓口を開設する予定です。開設後、どんなことが相談したいですか？(当てはまるものを全てに○)

1 在留資格・ビザ	7 住まい
2 法律	8 防災
3 就労・事業経営の支援	9 地域情報
4 税金・年金・社会保険	10 日本語の学習方法
5 子育て・教育	11 その他( )
6 医療・福祉面の支援	12 特に相談したいことはない

4. 日頃の暮らしについて

問23 あなたは、日本での生活で、困っていることや心配なことはありますか。(当てはまるものを全てに○)

【日常生活】	
1 在留資格やビザに関すること	
2 日本語の読み・書きに不安がある	
3 日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある	
4 税金や年金の仕組みなどがわかりにくい	
5 日常生活のルールがよくわからない	
6 食事や食生活の違いがある	
7 自国のものや宗教に対応した食料・雑貨が売っている場所がわからない	
8 生活上の相談をどこにすればいいかわからない	
【住まい】	
9 外国人であることを理由に入居を断られる	
10 保証人がなかなか見つからない	
11 文化の違いで近隣住民とトラブルになることがある	
【病院・医療】	
12 どの病院へ行けばいいかわからない	
13 病院での手続きがわかりにくい	
14 症状や治療に関する事など病院でのコミュニケーションがうまく取れない	
15 医療費が高い	
【就労】	
16 仕事を探す方法がわからない	
17 希望する仕事につけない	
18 正社員など安定した立場で働けない	
19 外国人ということで賃金が安い	
20 雇用条件が悪い	
21 仕事上に必要な日本語でのコミュニケーションがうまく取れない	

**【災害】**

22 災害時の避難方法がわからない

23 言葉が通じないので自分の要求を伝えられない

24 災害時に必要な情報を得られるか不安

25 日本人との協力関係に不安

26 地震などの災害を体験したことがないので恐怖心がある

**【全体を通して】**

27 その他( )

28 特にない

問24 生活で困ったときの相談先はどこですか。(当てはまるもの全てに○)

1 職場の同僚など仕事関係の人

2 仕事以外の知人、友人(外国人)

3 仕事以外の知人、友人(日本人)

4 仕事以外の知人、友人(日本人以外の外国人)

5 家族、親戚

6 近くに住んでいる人

7 民族団体・同国人の組織

8 教会・寺院など宗教施設

9 保育園・幼稚園、学校の先生

10 ボランティア団体(NPO、NGOを含む)

11 町会

12 区役所や東京都の相談窓口

13 民生委員・児童委員

14 インターネットで解決方法を検索する

15 その他( )

16 誰にも相談しない

17 相談する相手がない

問25 生活していく上で必要な情報は何か。(当てはまるもの全てに○)

1 こみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール

2 地震や台風などの災害や防災についての情報

3 福祉(事業・サービス)に関する情報

4 病院や医療に関する情報

5 税金・年金に関する情報

6 子育て・教育に関する情報

7 就労・事業経営に関する情報

8 住まいに関する情報

9 地域住民と交流できるお祭り等のイベント情報

10 区立施設利用に関する情報

11 その他( )

12 特にない

問26 あなたは、行政サービスや区からのお知らせ、ごみの出し方などの生活のルールをどのような手段で知りますか(A)。また、どのような手段を希望しますか(B)。

**【A 現在、入手している手段】(当てはまるもの全てに○)**

1 家族、親せき聞く

2 日本人の友人や知り合いに聞く

3 同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く

4 会社や学校で聞く

5 区公式ホームページ

6 区のメールやSNS 配信

7 区の広報紙「広報たいとう」

8 区の生活ガイドブック「外国人のための生活便利帳」

9 区の多言語情報紙「TAITO CITY LIFE NEWS」

10 区の外国人相談窓口

11 区以外のインターネット・SNS

12 テレビ・ラジオ

13 新聞・雑誌

14 その他( )

15 特にない

【B 今後、希望する手段】(当てはまるもの全てに○)

- |   |                          |    |                                |
|---|--------------------------|----|--------------------------------|
| 1 | 家族・親せきに関く                | 9  | 区の多言語情報紙「TAITO CITY LIFE NEWS」 |
| 2 | 日本人の友人や知り合いに関く           | 10 | 区の外国人相談窓口                      |
| 3 | 同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに関く  | 11 | 区以外のインターネット・SNS                |
| 4 | 会社や学校で関く                 | 12 | テレビ・ラジオ                        |
| 5 | 区公式ホームページ                | 13 | 新聞・雑誌                          |
| 6 | 区のメールや SNS 配信            | 14 | その他( )                         |
| 7 | 区の広報紙「広報たいとう」            | 15 | 特にない                           |
| 8 | 区の生活ガイドブック「外国人のための生活便利帳」 |    |                                |

問27 あなたが生活していく上で必要な情報を得るときに、最も利用するSNSはどれですか。(○とだけ)

- |   |              |    |                  |
|---|--------------|----|------------------|
| 1 | Facebook     | 7  | Weibo            |
| 2 | LINE         | 8  | WhatsApp         |
| 3 | WeChat       | 9  | TikTok           |
| 4 | YouTube      | 10 | Xiaohongshu(小红书) |
| 5 | X(旧 Twitter) | 11 | その他( )           |
| 6 | Instagram    | 12 | あまり使わない・使わない     |

問28 地震などの災害の時に備えていることはありますか。(当てはまるもの全てに○)

- |    |                             |
|----|-----------------------------|
| 1  | 食料や飲料水、日用品などを準備している         |
| 2  | 家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している |
| 3  | 防災地図やハザードマップを持っている          |
| 4  | 家族の安否確認の方法などを決めている          |
| 5  | 停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している   |
| 6  | 断水に備えて生活用に風呂の水をためおきしている     |
| 7  | 自宅建物や家財を対象とした地震保険に加入している    |
| 8  | 防災訓練・研修に参加している              |
| 9  | その他( )                      |
| 10 | 何を備えればいいのかかわからない            |
| 11 | 特にない                        |

問29 災害に関する活動へ参加したいと思いませんか。(それぞれひとつに○)

	積極的に参加したい	機会があれば参加したい	参加したくない
A 防災訓練など	1	2	3
B 災害発生時、避難所での通訳者としての活動	1	2	3
C 外国人同士の協力体制づくり	1	2	3

※設問30～31はお子さんがいる方のみご回答ください。お子さんがいない方は、設問32へお進みください。

問30 日本での妊娠や出産、育児のことで困ったことはありませんか。(当てはまるもの全てに○)

- |   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 妊娠や出産、育児の支援制度及び各種健診のことがわからない        |
| 2 | 妊娠や出産、育児でわからないことがあっても相談する人、場所がわからない |
| 3 | 用事があるときに一時的に子供を預けるところがみつからない        |
| 4 | 子供が自国の言語、文化にふれる機会が少ない               |
| 5 | 妊娠や出産、育児にかかる費用が高い                   |
| 6 | その他( )                              |
| 7 | 特にない                                |

問31 子供または回答者が幼稚園・保育園・学校で困ったことはありませんか。(それぞれ当てはまるもの全てに○)

【お子さんが幼稚園・保育園等に通っている方、または通われていた方】	
1	日本の幼稚園・保育園等への入園の仕組みがわかりづらかった
2	子供が幼稚園・保育園等に入りづらかった
3	幼稚園・保育園にかかる費用が高い
4	幼稚園・保育園からの連絡内容がわからない
5	先生とのコミュニケーションができない
6	他の保護者とコミュニケーションができない
7	母国の文化・生活習慣を理解してもらえない
8	子供が幼稚園・保育園で友達ができない
9	幼稚園・保育園のことで相談できる人がいない
10	小学校就学のための手続きや準備がわからない
11	その他( )
12	特にない

【お子さんが学校に通っている方、または通われていた方】

- 1 日本の学校への入学手続きの仕方がわかりづらかった
- 2 日本の学校の種類や制度がわからない
- 3 教育にかかる費用が高い
- 4 学校からの連絡内容がわからない
- 5 先生とのコミュニケーションができない
- 6 他の保護者とコミュニケーションができない
- 7 母国の文化・生活習慣を理解してもらえない
- 8 子供からの学習等に関する相談が理解できない
- 9 子供が学校で友達ができない
- 10 学校のことで相談できる人がいない
- 11 子供が日本語での授業を理解できない
- 12 卒業後の進路をどうしていいのかわからない
- 13 卒業後の進学先が限られている・少ない
- 14 卒業後の就職先が限られている・少ない
- 15 進学先の受験の対策がわからない
- 16 その他( )
- 17 特になし

問32 現在、特に困っていることがあればお書きください。

5. 地域で暮らす日本人とのかわりについて

問33 あなたは、地域に暮らす日本人にどれくらい親しみを感じますか。(ひとつだけ○)

- |   |                 |   |                  |
|---|-----------------|---|------------------|
| 1 | 親しみを感じる         | 4 | どちらかといえば親しみを感じない |
| 2 | どちらかといえば親しみを感じる | 5 | 親しみを感じない         |
| 3 | どちらともいえない       |   |                  |

問34 台東区では地域の中で外国人と日本人が互いにコミュニケーションがとれていると思いますか。(ひとつだけ○)

- |   |              |   |                |
|---|--------------|---|----------------|
| 1 | とても思う        | 3 | どちらかといえばそう思わない |
| 2 | どちらかといえばそう思う | 4 | 全く思わない         |

問35 あなたはこれから、日本人ともっと交流したいですか。(ひとつだけ○)

- |   |             |   |             |
|---|-------------|---|-------------|
| 1 | 積極的に交流したい   | 3 | 交流したいとは思わない |
| 2 | 機会があれば交流したい | 4 | わからない       |

問36 地域に暮らす日本人と交流する機会がありますか。(ひとつだけ○)

- |   |        |   |       |           |
|---|--------|---|-------|-----------|
| 1 | たくさんある | 3 | あまりない | } 問36-3 へ |
| 2 | 少しある   | 4 | 全くない  |           |
|   |        | 5 | わからない | → 問37へ    |

問36-2 【問36で「1. たくさんある」「2. 少しある」と回答した方にお聞きします。】あなたが地域内で日本人と関わるのはどのような場面ですか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 一緒に仕事をしている
- 2 日本人の友人がいて、付き合いがある
- 3 子供の友達やその親に日本人がいて、付き合いがある
- 4 地域の行事やボランティア、趣味などの活動を一緒にやっている
- 5 隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある
- 6 小売店等でサービスを受ける
- 7 医療や介護などのサービスを受ける
- 8 日本人に対してサービスを提供する
- 9 その他( )

問36-3 【問36で「3 あまりない」「4 全くない」と回答した方にお聞きします。】あなたが地域内で日本人と交流する機会がないのはなぜですか。(当てはまるもの全てに○)

- |   |                 |   |                |
|---|-----------------|---|----------------|
| 1 | 時間がないから         | 5 | 話しかけるきっかけがないから |
| 2 | 言葉が通じないから       | 6 | つき合う場がないから     |
| 3 | 長く日本に住むつもりがないから | 7 | 必要だと思わないから     |
| 4 | 人とつき合うことが苦手だから  | 8 | その他( )         |

【全員の方にお聞きします。】

問37 地域に暮らす日本人とどのようなつき合いをしたいですか。(当てはまるもの全てに○)

- |   |                             |   |                       |
|---|-----------------------------|---|-----------------------|
| 1 | 挨拶を交わす関係                    | 4 | 自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係 |
| 2 | 日常会話ができる関係                  | 5 | 相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係   |
| 3 | 一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係 | 6 | その他( )                |
|   |                             | 7 | つき合いたくない              |

問38 住民相互の理解を深めるために、日本人に求めることは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- |    |                            |
|----|----------------------------|
| 1  | 外国人への偏見や差別をなくしてほしい         |
| 2  | 外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい |
| 3  | 自分たちの文化や習慣などを理解してほしい       |
| 4  | 挨拶など声をかけてほしい               |
| 5  | 日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい      |
| 6  | 日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてください |
| 7  | 地域の行事や町会活動に誘ってほしい          |
| 8  | 外国語を習得するように努めてほしい          |
| 9  | 外国人との交流会などの行事に参加してほしい      |
| 10 | その他( )                     |
| 11 | 特にない                       |

問39 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるため、あなたが行おうと思うことは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- |    |                            |
|----|----------------------------|
| 1  | 日本の文化、生活習慣を理解する            |
| 2  | 挨拶や言葉を交わす                  |
| 3  | 日本人に母国の言葉や文化を教える           |
| 4  | 日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてください |
| 5  | 地域の行事や町会活動に参加する            |
| 6  | 日本語を習得するよう努める              |
| 7  | 日本人との交流イベントに参加する           |
| 8  | 日本人との交流に関するボランティアとして運営に携わる |
| 9  | その他( )                     |
| 10 | 特にない                       |

問40 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、台東区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 区立施設の多言語対応・表示                                       |
| 2  | 外国人向けの日本語学習支援                                       |
| 3  | 生活情報の発信・多言語対応                                       |
| 4  | 日本人への「やさしい日本語」の普及                                   |
| 5  | 相談体制の充実(翻訳機による母国語等の対応)                              |
| 6  | 日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発                         |
| 7  | 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるための、日本人向けの意識啓発   |
| 8  | 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるためのボランティアなどの人材育成 |
| 9  | 日本人と外国人の交流の機会の充実                                    |
| 10 | 外国人の地域社会への参加支援                                      |
| 11 | その他( )  |
| 12 | 特にない  |

6. 地域での活動について

問41 地域の活動に参加していますか。(それぞれひとつに○)

	よく参加している	時々参加している	あまり参加していない	参加していない
A 町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事	1	2	3	4
B 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動	1	2	3	4
C 日本文化に触れる交流会	1	2	3	4
D 自分の国の文化を紹介するイベント	1	2	3	4
E 地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動	1	2	3	4
F 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動	1	2	3	4

問42 今後は、どのような地域の活動に参加したいですか。(当てはまるもの全てに○)

1 町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事
2 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動
3 日本文化に触れる交流会
4 自分の国の文化を紹介するイベント
5 地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動
6 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動
7 その他( )
8 特にない

問43 日本人と外国人が助け合いながら生活していくために、皆さんの能力や経験を活かして地域で活躍してほしいと考えます。あなたは、地域の中でどのような活動をしてみたいですか。(当てはまるもの全てに○)

1 母国語を日本人に教えたい
2 翻訳や通訳で地域に役立ちたい
3 国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい
4 町会などの地域の活動をしたい
5 PTAや保護者会の活動をしたい
6 地域の防災活動に関する活動に取り組みたい
7 台東区の魅力を対外的に発信する活動に取り組みたい
8 地域の防犯活動に関する活動に取り組みたい
9 子育て支援に関する活動に取り組みたい
10 高齢者との交流等、地域福祉に関する活動に取り組みたい
11 地域の産業振興に関する活動に取り組みたい
12 外国人を支援する活動に取り組みたい
13 その他( )
14 特に活動したいと思わない

問44 あなたが地域で活動するときの困りごとは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

1 参加する時間がない	7 会費や参加費などが大きい
2 参加の仕方がわからない	8 興味を持てない
3 活動に関する情報が少ない	9 体力的・身体的に参加が難しい
4 言葉が通じない	10 その他( )
5 活動に誘われない	11 特にない
6 同じ年代などの関わりやすい人が少ない	

問45 台東区における地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるため、ご意見がありましたらご記入ください。

— ご協力、どうもありがとうございました。 —

ご記入いただきました調査票は、恐縮ですが、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに

10月1日(水曜日)までに郵便ポストに入れてください。

(2) 日本人意識調査 アンケート調査票

台東区 多文化共生に関するアンケート調査(日本人用)  
調査ご協力をお願いします

日頃より、区政運営にご協力いただきましてありがとうございます。  
現在、台東区には多くの在住外国人が生活しています。その割合は年々増加しており、今後ますますなる増加が予想されています。令和3(2021)年度に「台東区多文化共生推進プラン」を計画期間5年として策定し、これまで様々な多文化共生施策を展開してきたところですが、その間、日本語教育機関認定法の成立や入管法等の改正等、在住外国人を取り巻く状況が変化してきました。本調査は日本人及び在住外国人の皆様の声をお聴きして、今後の多文化共生推進プラン策定の基礎資料とし、さらには台東区の多文化共生推進に役立てるために実施するものです。つきましては、ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解のうえご協力くださいませうようお願い申し上げます。なお、本調査の送付は、令和7(2025)年6月時点の住民記録の情報を基に、18歳以上の方へ無作為に行なっております。変更や行き違い等がございましたらご容赦ください。また、お答えいただいた内容は、すべて統計的な数値として処理しますので、個人の特定やプライバシーに関する内容の公表をすることは一切ございません。

令和7(2025)年9月 台東区

【ご記入にあたってのお願い】

- 1. この調査票は、宛名のご本人がご記入ください。
- 2. ご回答は、当てはまる項目の番号を○で囲んでください。

記入例)

問、あなたは、多文化共生に関心がありますか。  
①. ある      2. 少しある      3. ない

回答が「その他」に当てはまる場合は、その番号を○で囲み( )内に具体的な内容をご記入ください。

- 3. ご回答方法は2通りございます。(いずれかの方法でご回答ください)

- ①本調査票・・・回答をご記入の上、同封の返信用封筒でご返送ください。(切手は不要です)
- ②WEB ページ・・・下記 URL または二次元コードより、回答ページへアクセスしてご回答ください。

<台東区 多文化共生に関するアンケート調査回答ページ>  
<https://en.surece.co.jp/taito-mcls-jp/>  
ID: ●●●●  
Pass: ●●●●



- 4. ご回答は、10月1日(水)までをお願いします。

<お問い合わせ先>  
台東区 総務部 人権・多様性推進課  
TEL:03-5246-1116

令和7年度 台東区多文化共生意識調査  
(日本人用)

1. あなたご自身について

問1 あなたの性別をお選びください。(ひとつだけ○)

- 1 男性      2 女性      3 1・2 にあてはまらない

問2 あなたの年齢をお答えください。(ひとつだけ○)

- 1 18～19歳      3 30～39歳      5 50～59歳      7 70～79歳
- 2 20～29歳      4 40～49歳      6 60～69歳      8 80歳以上

問3 あなたのお仕事は、大きく分けて以下の中のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

- 1 会社勤務(経営者・役員)      6 パート・アルバイト
- 2 会社勤務(一般正社員)      7 専業主婦・主夫
- 3 自営業者      8 学生
- 4 公務員・団体職員      9 無職
- 5 契約・嘱託・派遣社員      10 その他( )

問4 あなたのお住まいは、次のうちどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

- 1 持ち家(一戸建て)
- 2 持ち家(集合住宅)
- 3 借家(一戸建て)
- 4 借家(集合住宅)
- 5 公社・都市再生機構(旧公団)・公営住宅
- 6 社宅・官舎
- 7 間借り・住み込み・寮
- 8 その他( )

問5 あなたは、台東区にどのくらい住んでいますか。(ひとつだけ○)

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 6か月未満    | 4 3年～5年未満   | 7 20年～50年未満 |
| 2 6か月～1年未満 | 5 5年～10年未満  | 8 50年以上     |
| 3 1年～3年未満  | 6 10年～20年未満 |             |

問6 あなたの住んでいる地域を把握するため封筒のお名前のお前の右下にある1～11の数字を選択してください。(ひとつだけ○)

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 1 竹町地区  | 5 金杉地区  | 9 雷門地区  |
| 2 東上野地区 | 6 谷中地区  | 10 馬道地区 |
| 3 上野地区  | 7 浅草橋地区 | 11 清川地区 |
| 4 入谷地区  | 8 浅草寿地区 |         |

問7 台東区の魅力は何だと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1 交通の便がいい            | 9 多様な国の料理店がある     |
| 2 住環境がいい             | 10 寺社が多い          |
| 3 地域の交流がある           | 11 文化施設が多い        |
| 4 医療・福祉環境がいい         | 12 ものづくりが盛んである    |
| 5 子育て支援制度・教育環境が整っている | 13 魅力的な商業エリアや店がある |
| 6 防災上安心である           | 14 その他( )         |
| 7 多様な国籍の人が住んでいる      | 15 特にない           |
| 8 観光地が多い             |                   |

問8 あなたが現在一緒に住んでいる人はどなたですか。(当てはまるもの全てに○)

- |                    |          |
|--------------------|----------|
| 1 配偶者・パートナー        | 5 親戚     |
| 2 子供 ⇒ 問8-2 へ      | 6 友人・知人  |
| 3 兄弟姉妹             | 7 その他( ) |
| 4 自分または配偶者・パートナーの親 | 8 いない    |

問8-2 【問8で「子供」と回答した方にお聞きします。】あなたの子供は何歳ですか。(当てはまるもの全てに○)

- |                          |
|--------------------------|
| 1 小学校に通う年齢未満(6歳未満)の子供がいる |
| 2 小学校に通う年齢(6～12歳)の子供がいる  |
| 3 中学校に通う年齢(13～15歳)の子供がいる |
| 4 高校に通う年齢(16～18歳)の子供がいる  |
| 5 19歳以上の子供がいる            |

問9 あなたの家族や親戚には外国人や外国にルーツを持つ人はいますか。(ひとつだけ○)

- |      |       |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

2. 地域で暮らす外国人とのかわりについて

問10 台東区に住んでいる外国人は多いと感じますか。(ひとつだけ○)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 多い         | 4 どちらかといえば少ない |
| 2 どちらかといえば多い | 5 少ない         |
| 3 どちらともいえない  | 6 わからない       |

問11 あなたは、地域で暮らす外国人にどれくらい親しみを感じますか。(ひとつだけ○)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1 親しみを感ずる         | 4 どちらかといえば親しみを感ずらない |
| 2 どちらかといえば親しみを感ずる | 5 親しみを感ずらない         |
| 3 どちらともいえない       | 6 親しみを感ずらない         |

問12 台東区では地域の中で日本人と外国人が互いにコミュニケーションがとれていると思いますか。(ひとつだけ○)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 とても思う        | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 全く思わない         |

問13 あなたはこれから、外国人ともっと交流したいですか。(ひとつだけ○)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1 積極的に交流したい   | 3 交流したいとは思わない |
| 2 機会があれば交流したい | 4 わからない       |

問 14 地域に暮らす外国人と交流する機会がありますか。(〇とつだけ〇)

- |          |          |         |          |
|----------|----------|---------|----------|
| 1 たくさんある | 問 14-2 〆 | 3 あまりない | 問 14-3 〆 |
| 2 少しある   | 〆        | 4 全くない  | 〆        |
|          |          | 5 わからない | 問 15 〆   |

問 14-2 【問 14 で「1 たくさんある」「2 少しある」と回答した方にお聞きします。】あなたが地域で暮らす外国人と関わるのはどのような場面ですか。(当てはまるもの全てに〇)

- 1 一緒に仕事をしている
- 2 外国人の友人がいて、付き合いがある
- 3 子供の友達やその親に外国人がいて、付き合いがある
- 4 地域の行事やボランティア、趣味などの活動と一緒にいる
- 5 隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある
- 6 小売店等でサービスを受ける
- 7 医療や介護などのサービスを受ける
- 8 外国人に対してサービスを提供する
- 9 その他( )

問 14-3 【問 14 で「3 あまりない」「4 全くない」と回答した方にお聞きします。】あなたが地域で暮らす外国人と交流する機会がないのはなぜですか。(当てはまるもの全てに〇)

- 1 時間がないから
- 2 日本語を話せないと思うから
- 3 外国人は長く日本に住むつもりがないと思うから
- 4 人と付き合うことが苦手だから
- 5 話しかけるきっかけがないから
- 6 付き合う場がないから
- 7 必要だと思わないから
- 8 その他( )

【全員の方にお聞きします。】

問 15 地域に暮らす外国人とどのような付き合いをしていきたいですか。(当てはまるもの全てに〇)

- 1 挨拶を交わす関係
- 2 日常会話ができる関係
- 3 一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係
- 4 自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係
- 5 相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係
- 6 その他( )
- 7 付き合いたくない

問 16 あなたは、経済活動や地域コミュニティの担い手として、今後、地域で外国人が活躍することは必要だと思いますか。(〇とつだけ〇)

- 1 必要だと思う
- 2 どちらかといえば必要だと思う
- 3 どちらかといえば必要ではないと思う
- 4 必要ではないと思う

問 17 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなる事は何だと思いますか。(当てはまるもの全てに〇)

- 1 外国の言葉・文化等を知る機会が増える
- 2 外国のことについて関心を持つようになる
- 3 地域内の多様性が高まる
- 4 地域で外国人と交流できる機会が増える
- 5 人口が増えて、活気が出る
- 6 地域行事や美化清掃などのボランティア活動等の地域活動の活性化が期待できる
- 7 消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる
- 8 その他( )
- 9 特にない

問 18 地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じることが何ですか。(当てはまるものを全てに○)

- 1 外国人が、日本で生活するルール(ごみの出し方など)や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと
- 2 言葉が通じず、コミュニケーションが取れないこと
- 3 外国人同士が1か所に固まり、集住すること
- 4 外国人向けサービスや教育など行政需要が増えること
- 5 治安が悪化するおそれがあること
- 6 日本人の雇用機会が減少したり、賃金が低下するおそれがあること
- 7 その他( )
- 8 具体的にはないが、漠然とした不安がある
- 9 不安に感じることはほとんどない

問 19 今までに、地域に暮らす外国人との関係で困った経験は何ですか。(当てはまるものを全てに○)

- 1 ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること
- 2 家・部屋からの物音や騒音など
- 3 集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること
- 4 言葉の行き違い
- 5 子供の行動やほかの子供との関係
- 6 駐車・駐輪に関すること
- 7 ペットに関すること
- 8 食べ物のおいなど
- 9 店舗や宿泊施設の営業に関すること
- 10 その他( )
- 11 特にない

7 / 12

問 20 地域に暮らす外国人が困っていたり、不安を感じていたりすることは何だと思えますか(あるいは何ですか)。(当てはまるものを全てに○)

- 1 在留資格やビザに関すること
- 2 日本語の読み・書きに不安がある
- 3 日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある
- 4 税金や年金の仕組みなどがわかりにくい
- 5 日常生活のルールがよくわからない
- 6 食事や食生活の違いがある
- 7 自国のものや宗教に対応した食料・雑貨が売っている場所がわからない
- 8 生活上の相談をどこにすればいいかわからない
- 9 住まいのこと
- 10 地域活動のこと
- 11 病院や医療のこと
- 12 就労・事業経営の支援のこと
- 13 災害時のこと
- 14 その他( )
- 15 特にない

問 21 あなたが地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできることは何だと思えますか。(当てはまるものを全てに○)

- 1 外国の文化、生活習慣を理解する
- 2 挨拶や言葉を交わす
- 3 日本語や日本文化を外国人に教える
- 4 日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教える
- 5 地域の行事や町会活動に誘う
- 6 外国語を習得するよう努める
- 7 外国人との交流イベントに参加する
- 8 外国人との交流に関するボランティアとして運営に携わる
- 9 その他( )
- 10 特にない

8 / 12

問 22 住民相互の理解を深めるために、地域に暮らす外国人に求めることは何ですか。(当てはまるものを全てに○)

- 1 日本人に対する先入観を持たないでほしい
- 2 地域の一員としての意識をもって生活してほしい
- 3 日本の伝統・文化や風習を理解してほしい
- 4 近所の人への挨拶や声をかけあってほしい
- 5 外国の言葉や文化を教えてほしい
- 6 日本の日常生活における習慣やルール(ごみの出し方など)を守ってほしい
- 7 地域の行事や町会活動に積極的に参加してほしい
- 8 日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい
- 9 日本人との国際交流会などの行事に参加してほしい
- 10 その他( )
- 11 特にない

### 3. 多文化共生のまちづくり

問 23 多文化共生とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていくこと」をいいます。あなたは多文化共生社会という言葉を知っていますか。(○とつだけ○)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはあるが、内容は知らない
- 3 知らない

問 24 台東区では、他の国籍の方とコミュニケーションを取るために、長い文章を短くしたり、簡単な言葉に言い換えたりする「やさしい日本語」の活用を推進していますが、あなたは、「やさしい日本語」を知っていますか。(○とつだけ○)

- 1 知っていて、使ったことがある
- 2 知っているが、使ったことはない
- 3 聞いたことはあるが、内容は知らない
- 4 知らない

問 25 台東区が実施している多文化共生に関する取組で知っているものは何ですか。(当てはまるものを全てに○)

- 1 区公式ホームページの多言語対応
- 2 外国人のための生活便利帳(英語、中国語、韓国語)による生活の上で必要な情報をまとめた冊子)の発行
- 3 TAITO CITY LIFE NEWS(英語、中国語、韓国語、やさしい日本語)による生活に役立つ情報や行政情報を年 4 回発行する(情報紙)の発行
- 4 多言語対応デジタルブック(カタログポケット)による情報発信
- 5 外国人相談窓口の運営
- 6 多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応
- 7 外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施
- 8 日本人と外国人の交流事業
- 9 「やさしい日本語」の普及・啓発を目的とした講座の実施や冊子の発行
- 10 日本語学習ボランティア講座や、多文化共生推進サポーター養成講座などの人材育成を目的とした講座の実施
- 11 外国から区立幼稚園・保育園・こども園及び小・中学校へ新たに編入した幼児・児童・生徒を対象とした日本語指導講師の派遣
- 12 区立幼稚園・保育園・こども園及び小・中学校を対象に、日本語の理解が不十分な保護者との面談や教育相談などを支援する通訳の派遣
- 13 特にない

問 26 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、台東区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 区立施設の多言語対応・表示
- 2 外国人向けの日本語学習支援
- 3 生活情報の発信・多言語対応
- 4 日本人への「やさしい日本語」の普及
- 5 相談体制の充実(翻訳機による母国語等の対応)
- 6 外国人への偏見・差別をなくするための意識啓発
- 7 多文化共生に関する意識啓発
- 8 多文化共生を推進するボランティアなどの人材育成
- 9 日本人と外国人の交流の機会の充実
- 10 外国人の地域社会への参加支援
- 11 その他( )
- 12 特になし

問 27 地域で暮らす外国人との理解を促進するためにどのような地域の活動に参加したいですか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事
- 2 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動
- 3 日本文化に触れる交流会
- 4 外国の文化を紹介するイベント
- 5 地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動
- 6 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動
- 7 その他( )
- 8 特になし

問 28 台東区における多文化共生の推進について、ご意見がありましたらご記入ください。

— ご協力、どうもありがとうございました。 —

ご記入いただきました調査票は、恐縮ですが、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに

10月1日(水曜日)までに郵便ポストに入れてください。

## 令和7年度 台東区多文化共生に関する意識調査報告書

発行年月：令和8年2月

発行：台東区総務部人権・多様性推進課

所在地：〒110-8615 台東区東上野4-5-6

電話：03-5246-1116

図書登録：令和7年度 登録65号